

令和 3 年度

市民意識調査報告書

札幌市
SAPPORO

令和3年度市民意識調査

■第1回市民意識調査

- 1 さっぽろえきバスナビについて
- 2 さぽーとほっと基金について
- 3 応急手当について
- 4 消防団について
- 5 札幌市における自殺対策について

■第2回市民意識調査

- 1 市政広報について
- 2 障がい者コミュニケーション条例等について
- 3 消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて
- 4 市民のICT活用にかかる意識について

■第3回市民意識調査

- 1 郷土意識について
- 2 札幌市の施策・事業について
- 3 各家庭における災害への意識と備えについて
- 4 テレビ・ラジオの視聴状況について
- 5 海外との交流及び外国人との共生について

■第4回市民意識調査

- 1 映像の力を使ったまちづくりについて
- 2 雪対策に関する取り組みについて
- 3 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について
- 4 成年後見制度について
- 5 シティプロモートの推進について
- 6 野生鳥獣への餌やり行為について

目 次

■ 第1回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的-----	5
(2) 項目-----	5
(3) 設計-----	5
(4) 回収結果-----	5
(5) 回答者の属性-----	5
(6) 集計・分析上の注意事項-----	6

2 調査結果の詳細

(1) さっぽろえきバスナビについて

普段利用している交通手段-----	9
さっぽろえきバスナビの認知度-----	10
さっぽろえきバスナビの利用場面-----	11
さっぽろえきバスナビの利用頻度-----	12
さっぽろえきバスナビが役に立つか否か-----	13
さっぽろえきバスナビの便利な機能-----	14
さっぽろえきバスナビを利用していない理由-----	15
さっぽろえきバスナビに必要な機能-----	16

(2) さぼーとほっと基金について

さぼーとほっと基金の認知度-----	17
さぼーとほっと基金の認知方法-----	18
さぼーとほっと基金への寄付の有無-----	19
さぼーとほっと基金に寄付をしたいか否か-----	20
寄付をする際に重要だと思うこと-----	21
寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマ-----	22

(3) 応急手当について

応急手当講習を受けたいか否か-----	23
応急手当講習を受けたくない理由-----	24
どのような応急手当講習が良いと思うか-----	25
応急手当講習の受講しやすい開催方法-----	26
WEB会議システムの使用の有無-----	27
使用している（今後使用したい）WEB会議システムの種類-----	28
心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて119番通報をしたときにほしい手助け（支援）	29

(4) 消防団について	
地域防災への関心の有無-----	30
地域防災に関心がない理由-----	31
ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいか否か-----	32
ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由----	33
消防団の認知度-----	34
消防団の活動で認知している内容-----	35
消防団のPRの認知度-----	36
消防団の立場や待遇の認知度-----	37
消防団に入団した場合に関わってみたいこと-----	38
消防団に入団した場合に不安に感じること-----	39
消防団を身近に感じるきっかけ-----	40
(5) 札幌市における自殺対策について	
自殺対策の取り組みの認知度-----	41
自殺対策の取り組みを認知した方法-----	42
ゲートキーパーの認知度-----	43
悩んでいる人にきづいたときの対応方法-----	44
依存症に関する考え方	
ア 依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない-----	45
イ お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない-----	45
ウ 借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない-----	45
エ 本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切-----	45
オ 本人が依存の問題を認めることから回復が始まる-----	45
カ 依存症の回復には長い時間がかかる-----	45
悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題	
ア 家庭の問題・・・家族の不和、子育て、介護・看病など-----	46
イ 健康の問題・・・自分の病気、体の悩み、心の悩みなど-----	47
ウ 経済的な問題・・・倒産、借金、失業、生活困窮など-----	48
エ 勤務関係の問題・・・転勤、仕事不振、職場の人間関係など-----	49
オ 恋愛関係の問題・・・失恋、結婚の悩みなど-----	50
カ 学校の問題・・・いじめ、学業不振、進路、学校での人間関係など-----	51
キ その他-----	52
悩みや苦労、ストレス、不満を感じたときの対処方法-----	53
死のうとした、死のうと思った経験-----	54
死のうとした、死のうと思った原因-----	55
死のうとした、死のうと思った際に思いとどまった理由-----	56
死のうとした、死のうと思った際にあればよかった（もの）こと-----	57
資料：令和3年度第1回市民意識調査票-----	61

■ 第2回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的-----	81
(2) 項目-----	81
(3) 設計-----	81
(4) 回収結果-----	81
(5) 回答者の属性-----	81
(6) 集計・分析上の注意事項-----	82

2 調査結果の詳細

(1) 市政広報について

「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無-----	85
データ放送によるお知らせ情報配信の認知方法-----	86
「データ放送」でお知らせ情報を利用したことがない理由-----	87
「スマートフォンのアプリ（i さっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知度及び 利用の有無-----	88
「スマートフォンのアプリ（i さっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知方法-----	89
「スマートフォンのアプリ（i さっぽろ）」でお知らせ情報を利用したことがない理由-----	90
広報さっぽろを読んでいる割合-----	91
広報さっぽろを読んでいない理由-----	92
広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしいテーマ-----	93

(2) 障がい者コミュニケーション条例等について

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段の認知度-----	94
障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思えるか-----	95
障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思えるか-----	96
障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいこと-----	97
障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと 思わない理由-----	98
障がいのある方との関り-----	99

(3) 消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて

「札幌市消費者センター」の認知度-----	100
消費者トラブルに遭ったとき、解決するための行動-----	101
解決するための行動によるトラブルの解決率	
ア 自分で販売店、メーカー等と交渉した-----	102
イ 自分で解決方法を調べて対処（無視を含む）した-----	103
ウ 家族・親族に相談した-----	104
エ 友人・知人などに相談した-----	105
オ 消費者センターに相談した-----	106
カ 弁護士会・法テラス等の法律相談を利用した-----	107
キ 警察に相談した-----	108
ク 事業者団体が開設する相談窓口相談した-----	109
ケ 町内会・民生委員など地域の方に相談した-----	110
コ その他-----	111
サ 特に何もしていない-----	112
トラブルによる被害に遭わないための重要な対応-----	113
トラブルによる被害に遭わないために札幌市に力を入れてほしいこと-----	114
学校や市民講座で習ったり、見たりしたことがある消費者教育-----	115
学校や市民講座で習ったり、見たりした消費者教育を認知した方法-----	116
消費者教育の推進のために重要なこと-----	117

(4) 市民のＩＣＴ活用に係る意識について

インターネットの利用機器-----	118
インターネットを利用しない理由-----	119
インターネットを利用しない理由が解消されれば利用したいと思うか-----	120
利用しているＳＮＳの種類-----	121
行政サービスのオンライン化についての考え方-----	122
札幌市の情報化施策に期待すること-----	123

資料：令和３年度第２回市民意識調査票-----	127
-------------------------	-----

■ 第3回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的-----	145
(2) 項目-----	145
(3) 設計-----	145
(4) 回収結果-----	145
(5) 回答者の属性-----	145
(6) 集計・分析上の注意事項-----	146

2 調査結果の詳細

(1) 郷土意識について

札幌の街の愛着度-----	149
札幌の街が好きな理由-----	150
現在住んでいる地域の定住意向度-----	151
定住を望む理由-----	152
定住を望まない理由-----	153

(2) 札幌市の施策・事業について

ア 住宅・まちづくりに関すること-----	154
イ 公共交通の便利さを進める事業-----	154
ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること-----	155
エ ごみや資源回収のこと-----	155
オ 環境保全（公害）に関すること-----	156
カ 河川・湖沼などの整備に関すること-----	156
キ 地震・火災・水害などの防災対策-----	157
ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること-----	157
ケ 交通安全対策に関すること-----	158
コ 道路の整備・維持管理に関すること-----	158
サ 除雪に関すること-----	159
シ 公園や緑地など「みどり」の事業-----	159
ス 子どもの教育に関する事業-----	160
セ 生涯学習などに関する事業-----	160
ソ 文化芸術の振興に関する事業-----	161
タ スポーツ・レクリエーションの事業-----	161
チ 健康づくり、医療、衛生の事業-----	162
ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること-----	162
テ 高齢者福祉に関すること-----	163
ト 障がい者福祉に関すること-----	163
ナ 国際化推進に関すること-----	164

ニ	市民への情報提供や相談に関する事業-----	164
ヌ	市の取り組みに対する総合的な満足度-----	165
	市政に対する評価　〔よくやっていると思うもの〕　順位表-----	166
	市政に対する評価　〔力を入れてほしいもの〕　順位表-----	167
	市政に対する評価　〔プロット図〕-----	168
(3)	各家庭における災害への意識と備えについて	
	家庭で行っている災害対策-----	169
	災害対策をしない理由-----	170
	災害に対する備えが足りているか-----	171
	防災についてこれまでに学んだこと-----	172
	防災について学んだきっかけ-----	173
	災害時に不安に感じること-----	174
	災害時の避難行動-----	175
	避難行動をとらない理由-----	176
(4)	テレビ・ラジオの視聴状況について	
	テレビの視聴頻度-----	177
	ラジオの視聴頻度-----	178
	テレビを視聴する時間帯-----	179
	ラジオを視聴する時間帯-----	180
	テレビやラジオの視聴目的-----	181
	札幌市の広報番組視聴の有無-----	182
	視聴したことがある広報番組-----	183
	広報番組を視聴したときの状況-----	184
	広報番組を視聴したいと思うきっかけ-----	185
	関心がある情報-----	186
	関心がある情報の入手方法-----	187
	利用しているSNS-----	188

(5) 海外との交流及び外国人との共生について	
札幌市の姉妹・友好都市の認知度-----	189
海外交流を進めるに当たり重視してほしいこと-----	190
世界冬の都市市長会の認知度-----	191
多文化共生の認知度-----	192
外国人との付き合いの有無-----	193
外国人と一緒に参加している活動-----	194
外国人と一緒に今後活動したいこと-----	195
外国人市民とのまちづくりで大事だと思うこと-----	196
札幌国際プラザの認知度-----	197
さっぽろ外国人相談窓口の認知度-----	198
国際交流や多文化共生に関するイベントで参加したい内容-----	199
今後の外国人とのかかわり方-----	200
 3 調査実施の概要	
(1) 郷土意識に係る時系列調査結果	
札幌の街に対する愛着度の年度別推移-----	203
札幌の街に対する定住意向の年度別推移-----	203
 (2) 市の施策・事業に係る時系列調査結果	
市政に対する評価の年度別順位一覧表-----	204
市政に関する要望の年度別順位一覧表-----	205
市政に対する評価の区別順位一覧表-----	206
市政に関する要望の区別順位一覧表-----	207
 資料：令和3年度第3回市民意識調査票-----	211

■ 第4回市民意識調査結果

1 調査実施の概要

(1) 目的-----	231
(2) 項目-----	231
(3) 設計-----	231
(4) 回収結果-----	231
(5) 回答者の属性-----	231
(6) 集計・分析上の注意事項-----	232

2 調査結果の詳細

(1) 映像の力を使ったまちづくりについて

フィルムコミッションの言葉の認知度-----	235
札幌市によるフィルムコミッションの取組支援の認知度-----	236
札幌フィルムコミッションのロゴを見たことの有無-----	237
札幌フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法-----	238
撮影を見かけたときの撮影への興味の有無-----	239
撮影を見かけたときに迷惑と感ずるか否か-----	240
撮影を見かけたときに積極的に協力したいか否か-----	241
映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことがあるか否か-----	242
購入商品やサービスをどのような媒体で見かけたか-----	243

(2) 雪対策に関する取り組みについて

かき分け除雪の認知度-----	244
新雪除雪が行われている時間帯の認知度-----	245
新雪除雪で玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理は各家庭で行うことの-----	246
除雪車がロードヒーティングや有料除排雪サービスを利用している場所にも雪を置くことの認知度-----	247
排雪は住宅街の生活道路では行っていないことの認知度-----	248
民間企業などによる有料除排雪サービスの利用有無-----	249
利用した有料除排雪サービスの作業内容-----	250
敷地内から道路へ雪出しをすることはいけないことの認知度-----	251
敷地内から道路へ雪出しをすることはいけないことを守っているか否か-----	252
路上駐車をしてはいけないことの認知度-----	253
路上駐車をしてはいけないことを実践しているか否か-----	254
生活道路の新雪除雪の出動情報を見た媒体-----	255
行ったことがある除雪ボランティア-----	256
除雪ボランティアを始めたきっかけ-----	257

(3) 札幌市役所の仕事の取り組み方に対する評価について	
市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価-----	258
市役所や区役所での手続き経験の有無-----	259
市役所や区役所で行ったことがある手続き-----	260
市役所や区役所での手続きの待ち時間に対する印象-----	261
市役所や区役所での手続きのわかりやすさに対する印象-----	262
改善を望む手続きの内容-----	263
市役所の仕事の取り組み方の評価	
ア 窓口や電話で親切な対応を行っている-----	264
イ 必要な業務（サービス）を実施している-----	265
ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている-----	266
エ 市政情報を積極的に発信している-----	267
(4) 成年後見制度について	
成年後見制度の認知度-----	268
成年後見制度を利用したいと思うか否か-----	269
成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由-----	270
親族の後見人となり支援することに抵抗があるか否か-----	271
親族からの依頼で後見人として支援する場合の環境-----	272
相談できる窓口があった場合に成年後見制度を利用したいと思うか否か-----	273
窓口で相談したいこと-----	274
(5) シティプロモートの推進について	
サッポロスマイルロゴを見たことの有無-----	275
サッポロスマイルロゴの認知度-----	276
サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所-----	277
札幌の魅力について-----	278
札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否か-----	279
札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段-----	280
札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけ-----	281
札幌の情報を知る際の入手手段-----	282
札幌以外の街の情報を知る際の入手手段-----	283
(6) 野生鳥獣への餌やり行為について	
餌やり行為をしたことがあるか否か-----	284
餌やりをしている（したことがある）野生鳥獣の種類-----	285
餌やりをしている（したことがある）理由-----	286
餌やり行為をどう思うか-----	287
餌やり行為によっておこる影響-----	288
間接的な餌やり行為で知っているもの-----	289
餌やり行為を減らす啓発方法-----	290

本調査結果利用上の注意

- (1) Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- (2) 各回答の百分率はNを基数として算出し、小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
また、個々の選択肢比率を合算する場合（「良い」と「やや良い」の合計など）は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。
このため、本文やグラフ上の比率を単純合計したものにならない場合がある。
- (3) 1人の対象者に2つ以上の複数回答を認めた場合は、回答者総数を基数としているので比率の合計は100.0%を超えることがある。

※ この調査結果の概要は札幌市ホームページに掲載されています。

(http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_eng/)

令和3年度 第1回市民意識調査 報告書

調査期間：令和3年6月25日(金)～7月9日(金)

テーマ

- 1 さっぽろえきバスナビについて
- 2 さぽーとほっと基金について
- 3 応急手当について
- 4 消防団について
- 5 札幌市における自殺対策について

札幌市

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 3 年度第 1 回調査では、「さっぽろえきバスナビ」「さぽーとほっと基金」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① さっぽろえきバスナビについて
- ② さぽーとほっと基金について
- ③ 応急手当について
- ④ 消防団について
- ⑤ 札幌市における自殺対策について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和 3 年(2021 年) 6 月 25 日(金)～7 月 9 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,672 (53.4%)

(5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,672	100.0	1,051	39.3	1,604	60.0	4	0.1	13	0.5	2,672	100.0
【性別】												
男性	1,051	39.3	1,051	100.0	-	-	-	-	-	-	1,051	100.0
女性	1,604	60.0	-	-	1,604	100.0	-	-	-	-	1,604	100.0
その他	4	0.1	-	-	-	-	4	100.0	-	-	4	100.0
無回答	13	0.5	-	-	-	-	-	-	13	100.0	13	100.0
【年代】												
29歳以下	220	8.2	93	42.3	125	56.8	2	0.9	-	-	220	100.0
30～39歳	319	11.9	111	34.8	207	64.9	1	0.3	-	-	319	100.0
40～49歳	456	17.1	161	35.3	294	64.5	1	0.2	-	-	456	100.0
50～59歳	444	16.6	185	41.7	259	58.3	-	-	-	-	444	100.0
60～69歳	526	19.7	207	39.4	318	60.5	-	-	1	0.2	526	100.0
70歳以上	691	25.9	292	42.3	397	57.5	-	-	2	0.3	691	100.0
無回答	16	0.6	2	12.5	4	25.0	-	-	10	62.5	16	100.0
【居住区】												
中央区	316	11.8	116	36.7	198	62.7	1	0.3	1	0.3	316	100.0
北区	379	14.2	150	39.6	228	60.2	1	0.3	-	-	379	100.0
東区	335	12.5	136	40.6	198	59.1	-	-	1	0.3	335	100.0
白石区	280	10.5	109	38.9	171	61.1	-	-	-	-	280	100.0
厚別区	178	6.7	71	39.9	107	60.1	-	-	-	-	178	100.0
豊平区	288	10.8	116	40.3	170	59.0	1	0.3	1	0.3	288	100.0
清田区	158	5.9	72	45.6	86	54.4	-	-	-	-	158	100.0
南区	202	7.6	85	42.1	117	57.9	-	-	-	-	202	100.0
西区	323	12.1	121	37.5	201	62.2	1	0.3	-	-	323	100.0
手稲区	193	7.2	74	38.3	119	61.7	-	-	-	-	193	100.0
無回答	20	0.7	1	5.0	9	45.0	-	-	10	50.0	20	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,672	100.0	1,051	39.3	1,604	60.0	4	0.1	13	0.5	2,672	100.0
【職業】												
会社員	741	27.7	408	55.1	333	44.9	-	-	-	-	741	100.0
公務員	116	4.3	71	61.2	45	38.8	-	-	-	-	116	100.0
自営業	144	5.4	93	64.6	51	35.4	-	-	-	-	144	100.0
パート・アルバイト	400	15.0	67	16.8	332	83.0	1	0.3	-	-	400	100.0
主婦・主夫	504	18.9	6	1.2	497	98.6	-	-	1	0.2	504	100.0
学生	76	2.8	38	50.0	36	47.4	2	2.6	-	-	76	100.0
無職	552	20.7	303	54.9	247	44.7	1	0.2	1	0.2	552	100.0
その他	103	3.9	57	55.3	46	44.7	-	-	-	-	103	100.0
無回答	36	1.3	8	22.2	17	47.2	-	-	11	30.6	36	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,649	61.7	718	43.5	929	56.3	-	-	2	0.1	1,649	100.0
乳幼児(0～2歳程度)	128	4.8	42	32.8	86	67.2	-	-	-	-	128	100.0
就学前児童(3～5歳程度)	145	5.4	52	35.9	93	64.1	-	-	-	-	145	100.0
小学生(6～12歳程度)	254	9.5	97	38.2	157	61.8	-	-	-	-	254	100.0
中学生(13～15歳程度)	139	5.2	53	38.1	86	61.9	-	-	-	-	139	100.0
高校生(16～18歳程度)	163	6.1	50	30.7	112	68.7	1	0.6	-	-	163	100.0
大学(院)・専門学校生	120	4.5	42	35.0	78	65.0	-	-	-	-	120	100.0
65歳以上の高齢者	398	14.9	147	36.9	251	63.1	-	-	-	-	398	100.0
上記「1」～「8」以外の方	559	20.9	200	35.8	358	64.0	1	0.2	-	-	559	100.0
いない	452	16.9	176	38.9	272	60.2	3	0.7	1	0.2	452	100.0
無回答	40	1.5	6	15.0	24	60.0	-	-	10	25.0	40	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

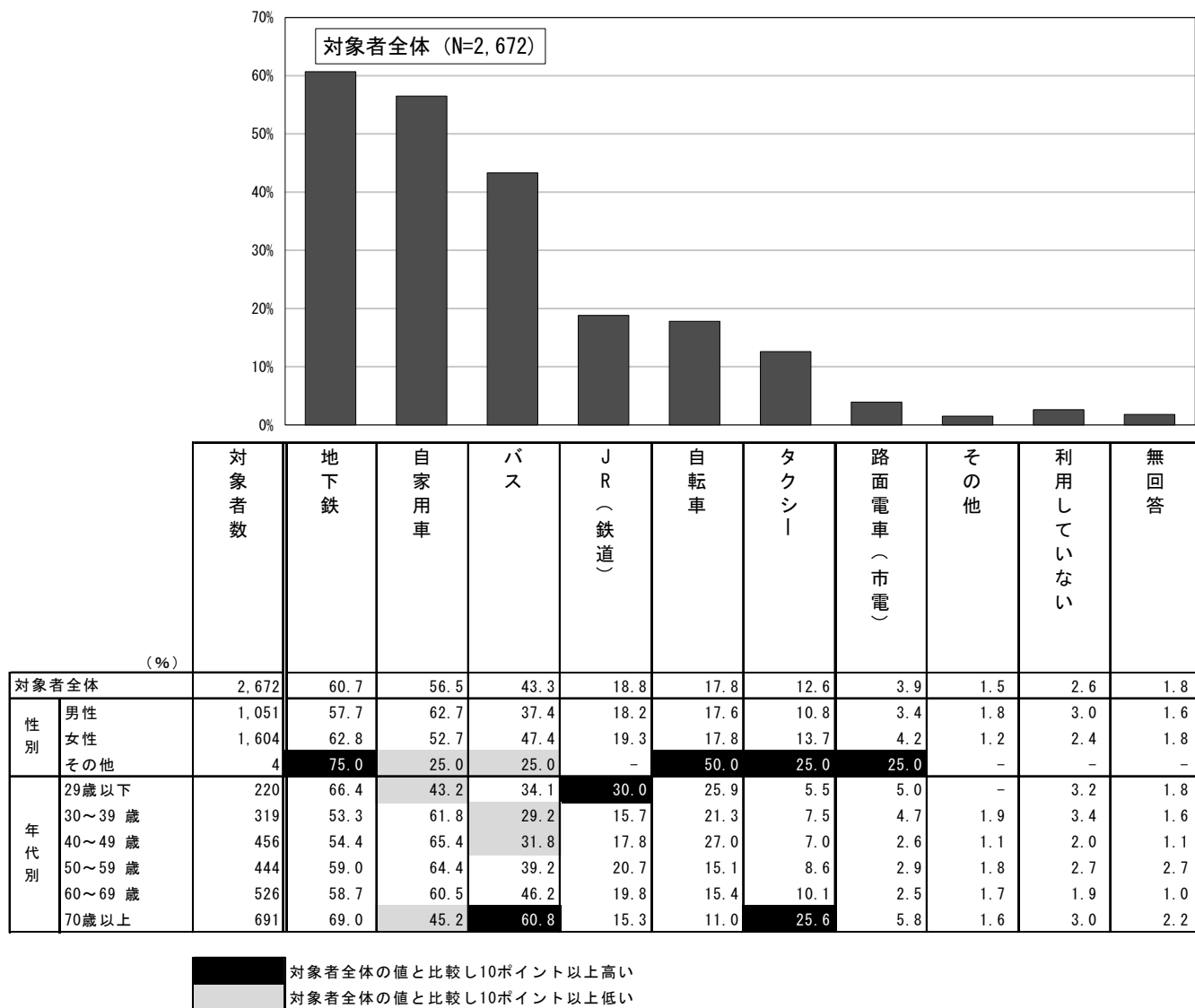
2 調査結果の詳細

(1) さっぽろえきバスナビについて

◇普段利用している交通手段

問1 あなたが、普段利用している交通手段は何ですか。よく利用しているものに3つまで○をつけてください。

普段利用している交通手段は「地下鉄」と回答した人が 60.7%



【全 体】 普段利用している交通手段は、「地下鉄」が 60.7%、「自家用車」が 56.5%、「バス」が 43.3%となっている。

【性 別】 「地下鉄」、「バス」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「自家用車」は男性が 62.7%と、女性の 52.7%より 10.0 ポイント高くなっている。

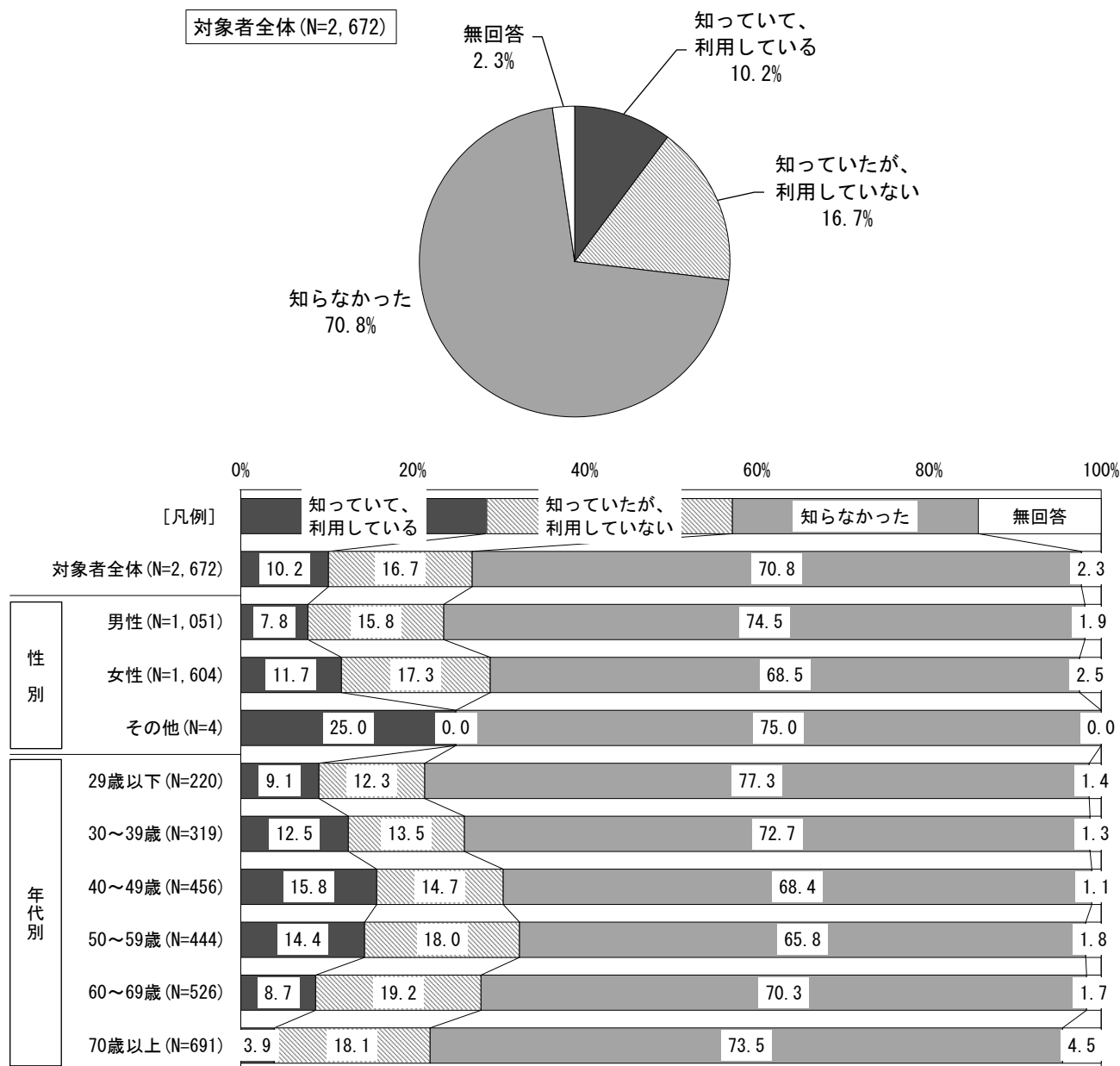
【年代別】 29 歳以下と 70 歳以上では「地下鉄」が、30 歳代～60 歳代では「自家用車」が最も高くなっている。

◇さっぽろえきバスナビの認知度

問2 あなたは、さっぽろえきバスナビを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

さっぽろえきバスナビを“知っている”人は26.9%

※ “知っている”（「知っていて、利用している」＋「知っていたが、利用していない」）



【全 体】さっぽろえきバスナビについて、「知っていて、利用している」が10.2%、「知っていたが、利用していない」が16.7%、合わせると26.9%となっている。一方、「知らなかった」が70.8%となっている。

【性 別】「知らなかった」が男性で74.5%と、女性の68.5%より6.0ポイント高くなっている。

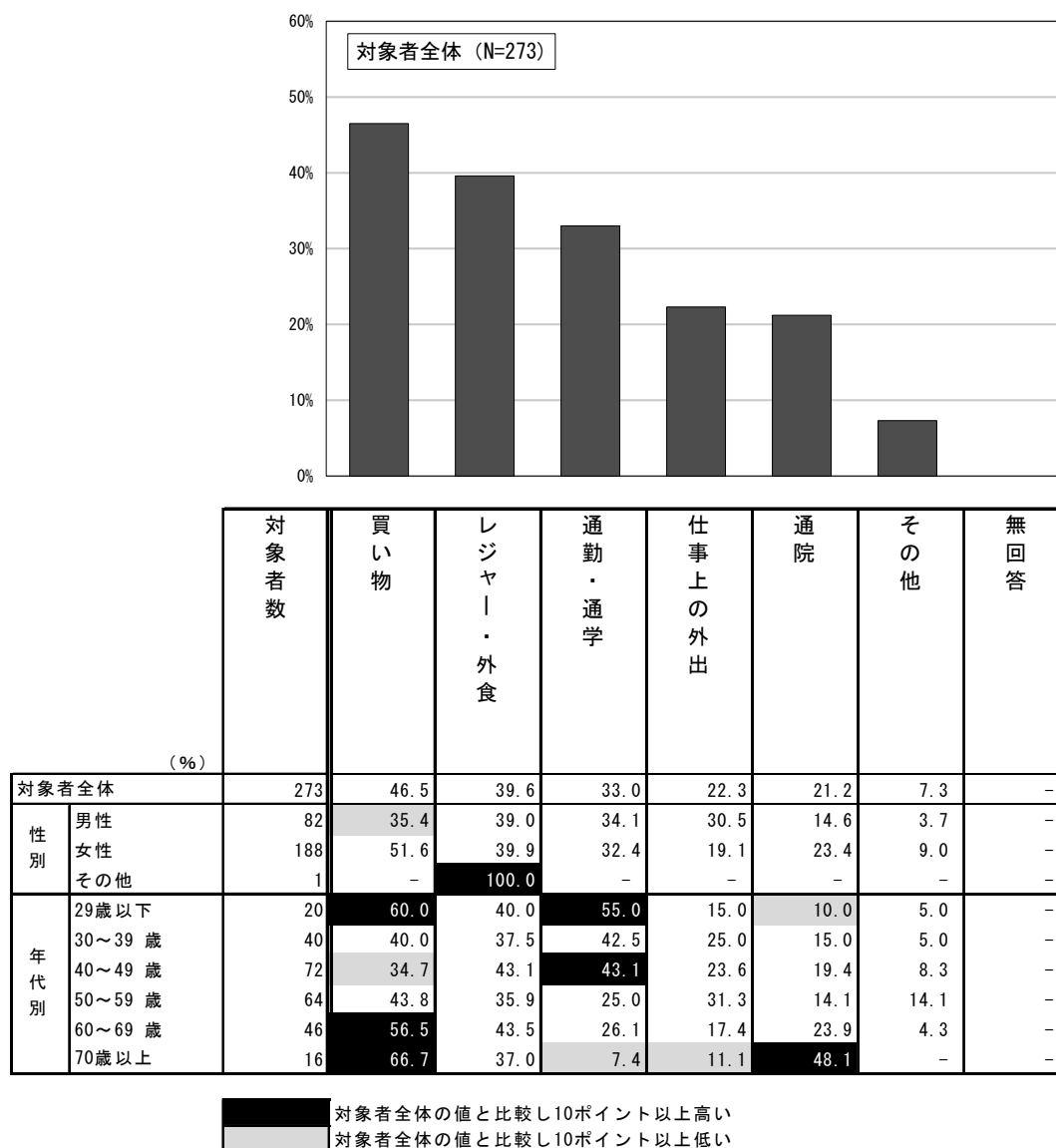
【年代別】「知っていて、利用している」が40歳代（15.8%）で最も高く、次いで50歳代（14.4%）、30歳代（12.5%）となっている。

◇さっぽろえきバスナビの利用場面

《問2で「1 知っていて、利用している」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたは、どのような場面でさっぽろえきバスナビを利用していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろえきバスナビの利用場面は「買い物」と回答した人が46.5%



【全 体】 さっぽろえきバスナビの利用場面は、「買い物」が46.5%、「レジャー・外食」が39.6%、「通勤・通学」が33.0%となっている。

【性 別】 「買い物」、「通院」は女性が男性より8.0ポイント以上高くなっている。また、「仕事上の外出」は男性が30.5%と、女性の19.1%より11.4ポイント高くなっている。

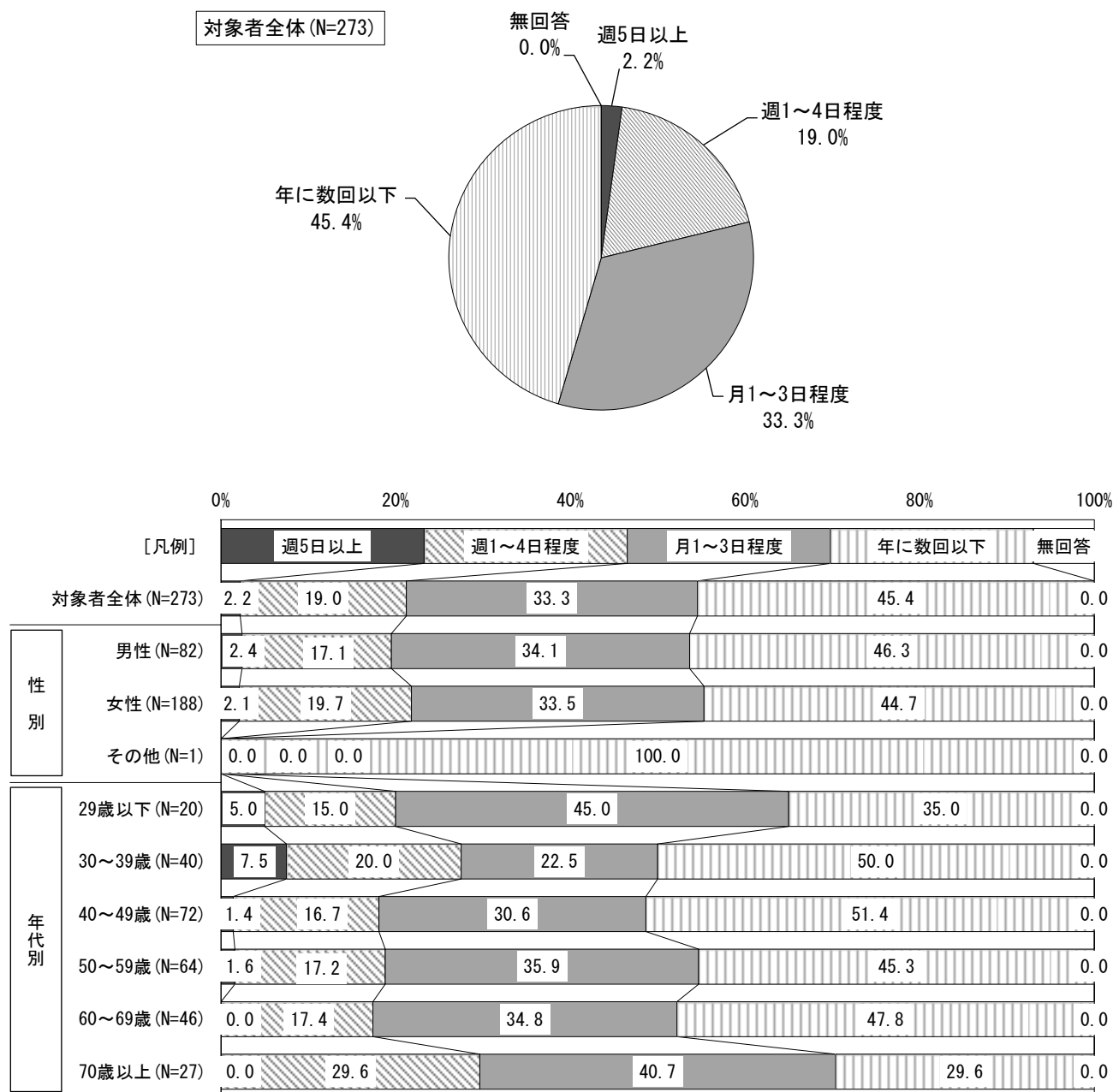
【年代別】 29歳以下と50歳以上では「買い物」が、30歳代では「通勤・通学」が、40歳代では「レジャー・外食」、「通勤・通学」が最も高くなっている。

◇さっぽろえきバスナビの利用頻度

《問2で「1 知っていて、利用している」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 あなたは、さっぽろえきバスナビをどのくらいの頻度で利用していますか。あてはまるものに
1つだけ○をつけてください。

さっぽろえきバスナビの利用頻度は「年に数回以下」と回答した人が45.4%



【全 体】さっぽろえきバスナビの利用頻度は、「週5日以上」が2.2%、「週1～4日程度」が19.0%、「月1～3日程度」が33.3%、「年に数回以下」が45.4%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】29歳以下と70歳以上では「月1～3日程度」が、30歳代～60歳代では「年に数回以下」が最も高くなっている。

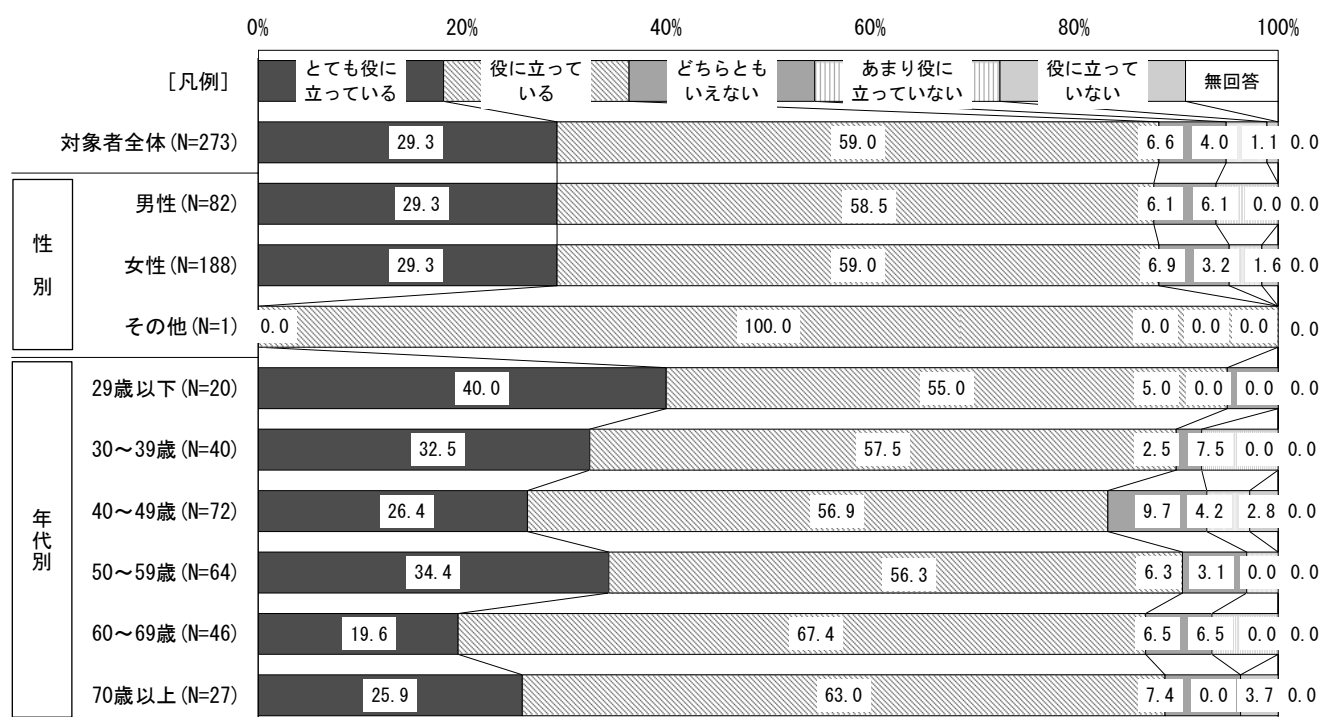
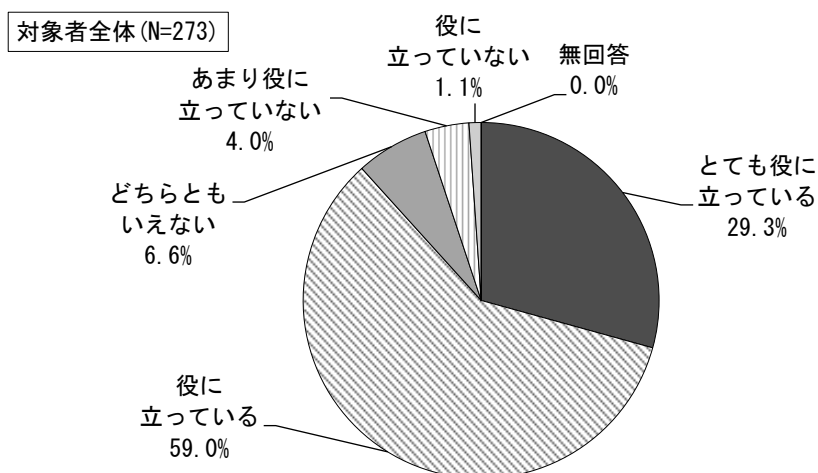
◇さっぽろえきバスナビが役に立つか否か

《問2で「1 知っていて、利用している」と答えた方にお聞きします。》

問2-3 あなたが札幌市内を移動するにあたって、さっぽろえきバスナビは役に立っていると思いますか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

さっぽろえきバスナビが“役に立っている”人は88.3%

※ “役に立っている”（「とても役に立っている」＋「役に立っている」）



【全 体】 さっぽろえきバスナビが役に立つか否かは、「とても役に立っている」が29.3%、「役に立っている」が59.0%、合わせると88.3%となっている。一方、「あまり役に立っていない」が4.0%、「役に立っていない」が1.1%、合わせると5.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

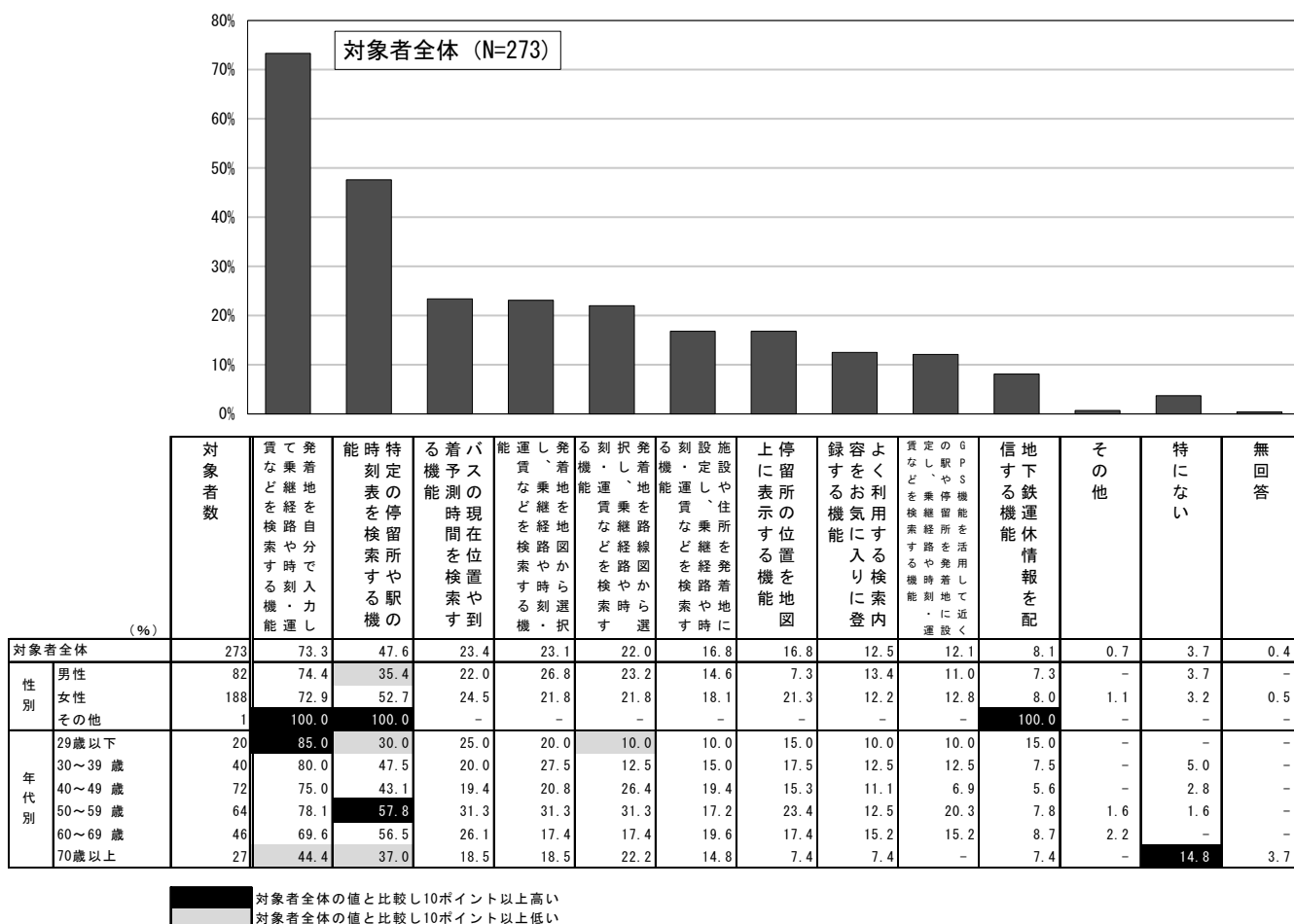
【年代別】 “役に立っている”が29歳以下（95.0%）で最も高く、次いで50歳代（90.6%）、30歳代（90.0%）となっている。

◇さっぽろえきバスナビの便利な機能

《問2で「1 知っていて、利用している」と答えた方にお聞きします。》

問2-4 あなたが、さっぽろえきバスナビでよく利用する、または便利と感じる機能は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろえきバスナビの便利な機能は「発着地を自分で入力して乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能」と回答した人が 73.3%



【全体】さっぽろえきバスナビの便利な機能は、「発着地を自分で入力して乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能」が 73.3%、「特定の停留所や駅の時刻表を検索する機能」が 47.6%、「バスの現在位置や到着予測時間を検索する機能」が 23.4%となっている。

【性別】「特定の停留所や駅の時刻表を検索する機能」、「停留所の位置を地図上に表示する機能」は女性が男性より 14.0 ポイント以上高くなっている。また、「発着地を地図から選択し、乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能」は男性が 26.8%と、女性の 21.8%より 5.0 ポイント高くなっている。

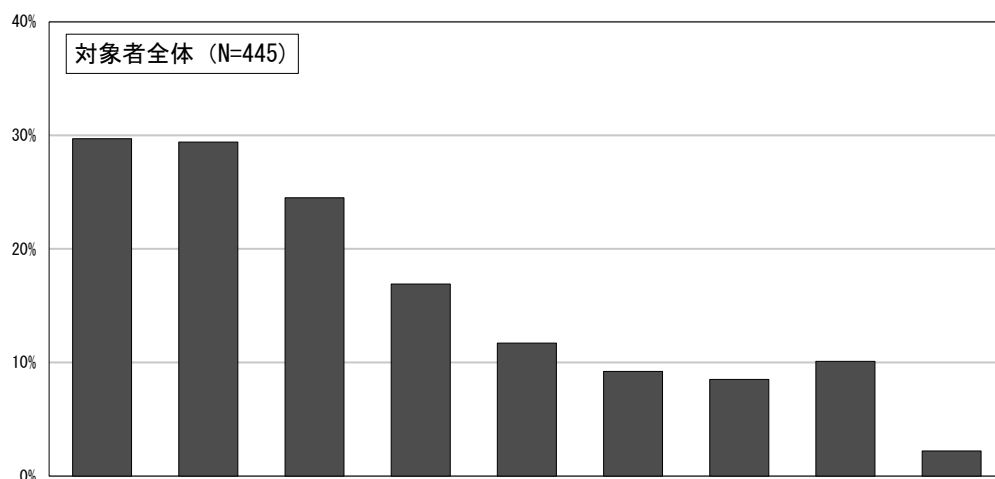
【年代別】「発着地を自分で入力して乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能」が 29 歳以下 (85.0%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (44.4%) と比べると 40.6 ポイントの差となっている。

◇さっぽろえきバスナビを利用していない理由

《問2で「2 知っていたが、利用していない」と答えた方にお聞きします。》

問2-5 あなたが、さっぽろえきバスナビを利用していない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さっぽろえきバスナビを利用しない理由は「他の検索アプリなどを利用しているため」と回答した人が29.7%



		対象者数	他の検索アプリなど	紙の時刻表を利用	経路や時刻などを覚えており、利用する必要がないため	公共交通機関を利用しないため	利用方法がわからないため	過去に利用したが、利用しにくかったため	インターネットを利用しないため	その他	無回答
		(%)									
対象者全体		445	29.7	29.4	24.5	16.9	11.7	9.2	8.5	10.1	2.2
性別	男性	166	25.9	21.7	27.1	22.9	11.4	4.8	7.8	9.6	3.0
	女性	277	32.1	33.9	22.7	13.4	11.9	11.9	9.0	10.1	1.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	27	63.0	11.1	11.1	22.2	3.7	11.1	-	3.7	-
	30～39歳	43	51.2	11.6	16.3	25.6	7.0	18.6	-	9.3	-
	40～49歳	67	40.3	14.9	19.4	23.9	7.5	11.9	3.0	14.9	-
	50～59歳	80	40.0	30.0	18.8	15.0	8.8	17.5	5.0	6.3	-
	60～69歳	101	20.8	35.6	29.7	17.8	11.9	5.0	6.9	10.9	-
	70歳以上	125	10.4	41.6	31.2	9.6	19.2	2.4	20.0	11.2	8.0

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

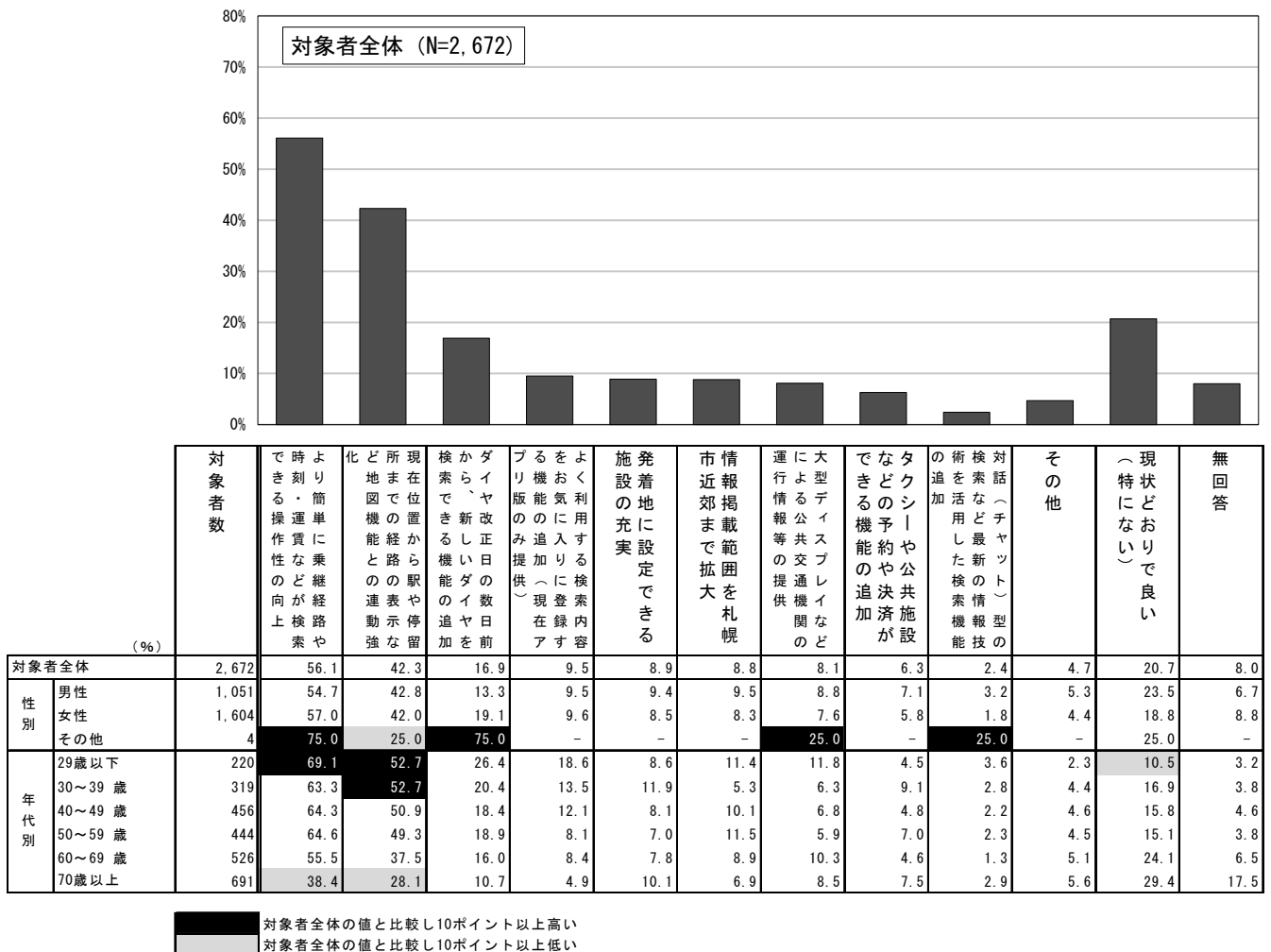
【全体】さっぽろえきバスナビを利用しない理由は、「他の検索アプリなどを利用しているため」が29.7%、「紙の時刻表を利用しているため」が29.4%、「経路や時刻などを覚えており、利用する必要がないため」が24.5%となっている。

【性別】「他の検索アプリなどを利用しているため」、「紙の時刻表を利用しているため」、「過去に利用したが、利用しにくかったため」は女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。また、「公共交通機関を利用しないため」は男性が22.9%と、女性の13.4%より9.5ポイント高くなっている。

【年代別】「他の検索アプリなどを利用しているため」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。また、「紙の時刻表を利用しているため」、「利用方法がわからないため」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

問3 あなたが、今後さっぽろえきバスナビを利用する、または利用しようとする場合に、必要な機能等は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

さっぽろえきバスナビに必要な機能は「より簡単に乗継経路や時刻・運賃などが検索できる操作性の向上」と回答した人が 56.1%



【全 体】さっぽろえきバスナビを利用する場合に必要な機能は、「より簡単に乗継経路や時刻・運賃などが検索できる操作性の向上」が 56.1%、「現在位置から駅や停留所までの経路の表示など地図機能との連動強化」が 42.3%、「ダイヤ改正日の数日前から、新しいダイヤを検索できる機能の追加」が 16.9%となっている。

【性別】「ダイヤ改正日の数日前から、新しいダイヤを検索できる機能の追加」が女性で19.1%と、男性の13.3%より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】「より簡単に乗継経路や時刻・運賃などが検索できる操作性の向上」は29歳以下が69.1%だが、70歳以上では38.4%となっている。

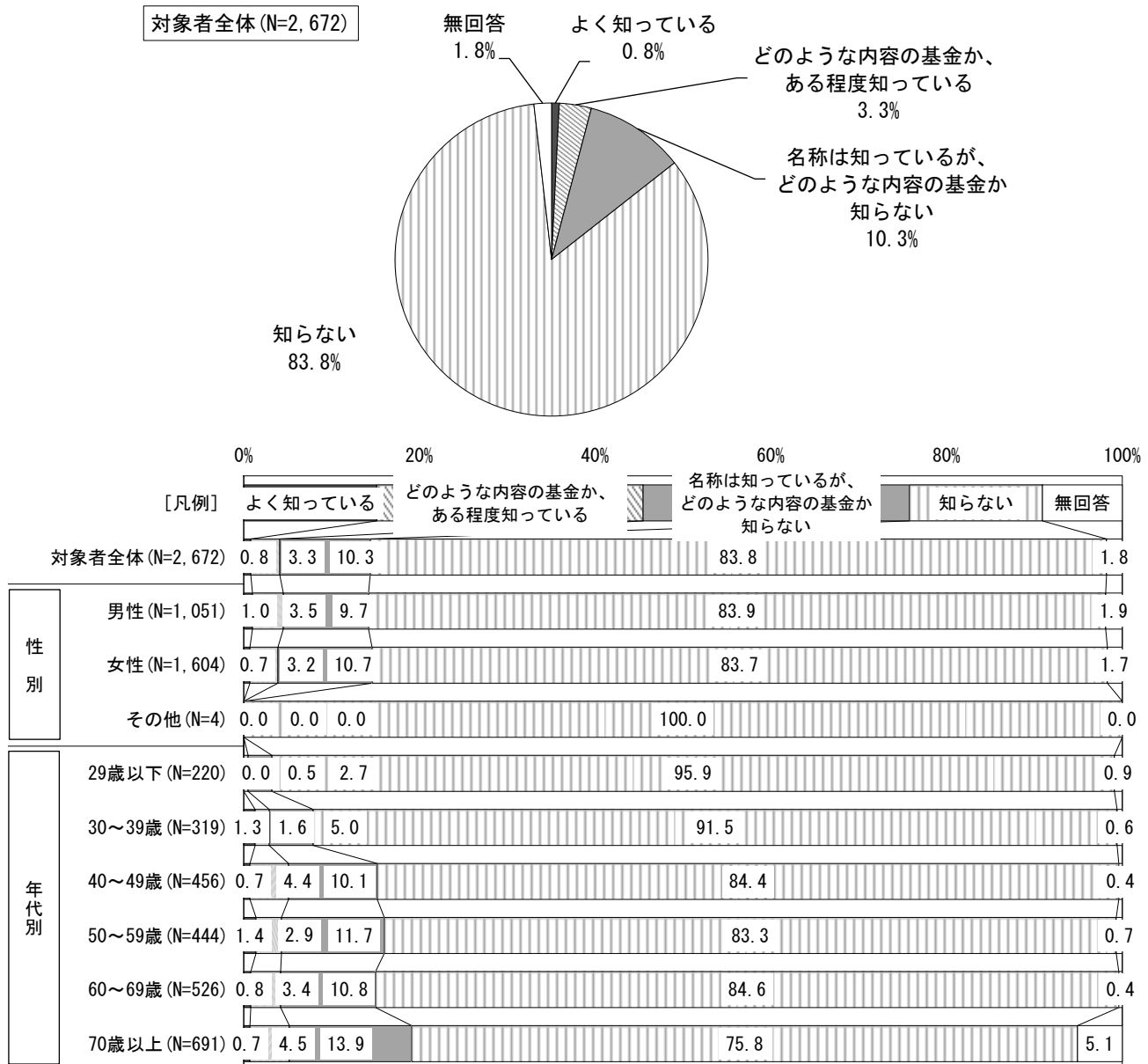
(2) さぼーとほっと基金について

◇さぼーとほっと基金の認知度

問 4 あなたは、さぼーとほっと基金を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○を付けてください。

さぼーとほっと基金を“知っている”人は14.4%

※ “知っている”（「よく知っている」＋「どのような内容の基金か、ある程度知っている」＋「名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない」）



【全 体】 さぼーとほっと基金について、「よく知っている」が0.8%、「どのような内容の基金か、ある程度知っている」が3.3%、「名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない」が10.3%、合わせると14.4%となっている。一方、「知らない」が83.8%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

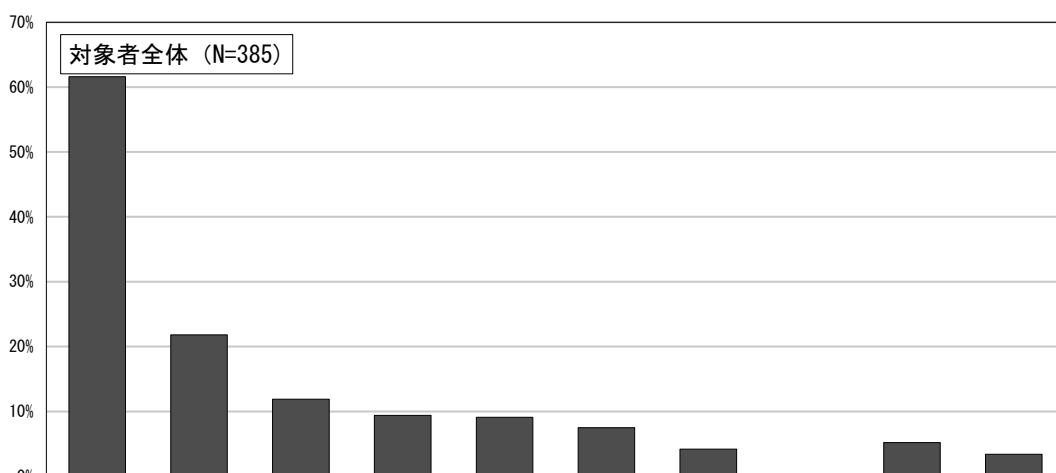
【年代別】 “知っている”が70歳以上(19.1%)で最も高く、次いで50歳代(16.0%)、40歳代(15.2%)となっている。

◇さぽーとほっと基金の認知方法

《問4で「1 よく知っている」、「2 どのような内容の基金か、ある程度知っている」、「3 名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない」と答えた方にお聞きします。》

問4-1 あなたが、さぽーとほっと基金を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

さぽーとほっと基金の認知方法は「札幌市が発行している冊子やパンフレット」と回答した人が61.6%



		対象者数	冊子やパンフレット (%)	テレビ・ラジオ・新聞 (%)	札幌市公式ホームページ (%)	活動を通じて企業に寄付している (%)	イベントや展示など (%)	家族や知人からの口コミ (%)	市民まちづくり活動を行っている団体から紹介された (%)	その他の窓口などで紹介された (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		385	61.6	21.8	11.9	9.4	9.1	7.5	4.2	-	5.2	3.4
性別	男性	149	62.4	26.8	20.8	8.1	5.4	4.7	6.7	-	4.0	3.4
	女性	234	61.1	18.8	6.4	10.3	11.5	9.4	2.6	-	6.0	3.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	7	57.1	28.6	28.6	-	-	-	14.3	-	14.3	-
	30～39歳	25	64.0	16.0	4.0	4.0	8.0	-	-	-	12.0	-
	40～49歳	69	65.2	8.7	11.6	13.0	10.1	10.1	2.9	-	5.8	2.9
	50～59歳	71	53.5	16.9	15.5	9.9	7.0	5.6	5.6	-	8.5	2.8
	60～69歳	79	57.0	20.3	8.9	10.1	10.1	8.9	2.5	-	3.8	5.1
	70歳以上	132	66.7	33.3	12.9	8.3	9.8	8.3	5.3	-	2.3	3.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 さぽーとほっと基金の認知方法は、「札幌市が発行している冊子やパンフレット」が61.6%、「テレビ・ラジオ・新聞」が21.8%、「札幌市公式ホームページ」が11.9%となっている。

【性 別】 「テレビ・ラジオ・新聞」、「札幌市公式ホームページ」は男性が女性より8.0ポイント以上高くなっている。また、「イベントや展示など」は女性が11.5%と、男性の5.4%より6.1ポイント高くなっている。

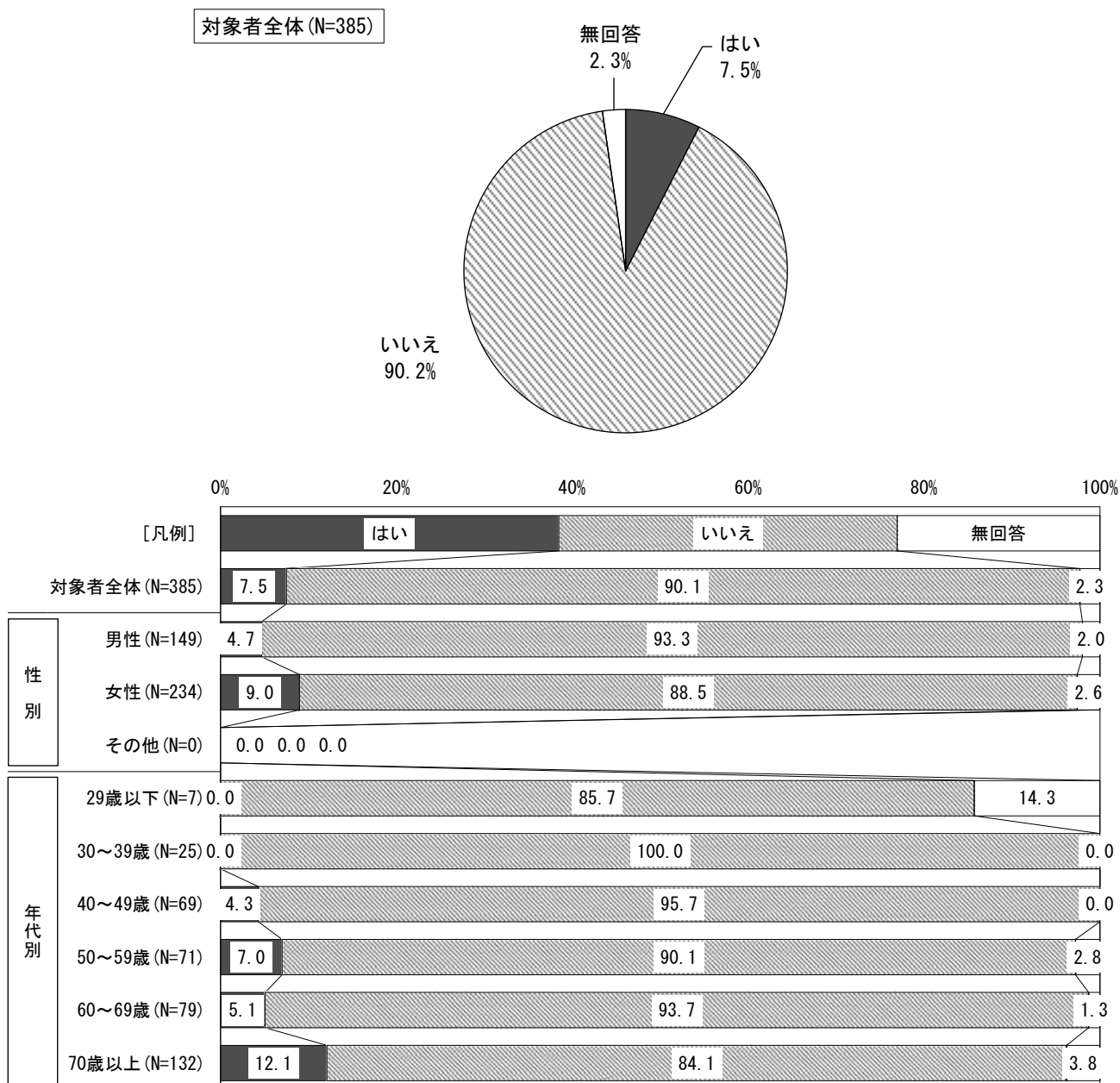
【年代別】 「テレビ・ラジオ・新聞」が70歳以上(33.3%)で最も高く、最も低い40歳代(8.7%)と比べると24.6ポイントの差となっている。

◇さぽーとほっと基金への寄付の有無

《問4で「1 よく知っている」、「2 どのような内容の基金か、ある程度知っている」、「3 名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない」と答えた方にお聞きます。》

問4-2 あなたは、さぽーとほっと基金に寄付をしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

さぽーとほっと基金に寄付したことがある人は7.5%



【全 体】さぽーとほっと基金の寄付の有無について、「はい」が7.5%となっている。一方、「いいえ」が90.1%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

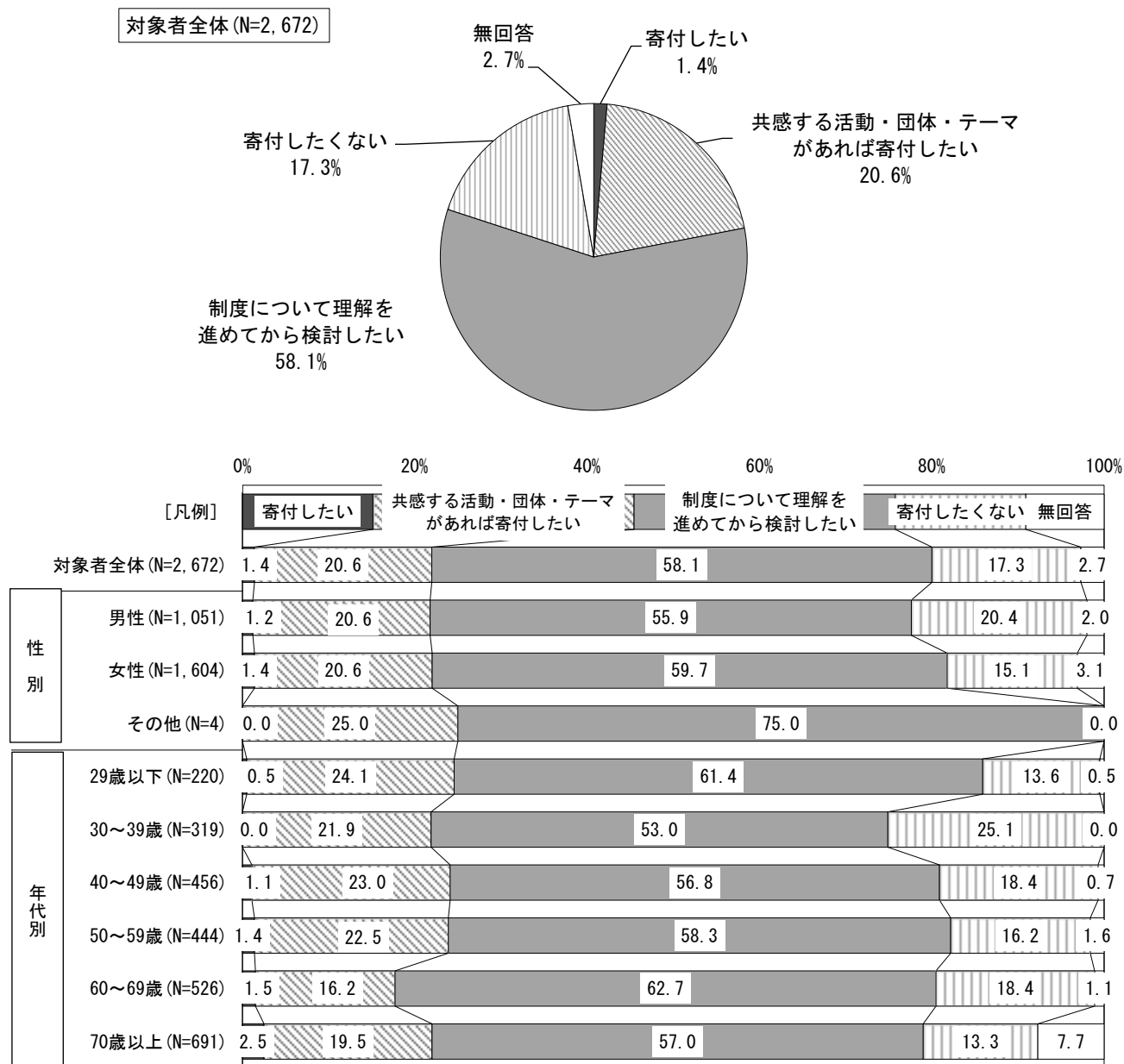
【年代別】「はい」が70歳以上（12.1%）で最も高く、次いで50歳代（7.0%）、60歳代（5.1%）となっている。

◇さぽーとほっと基金に寄付をしたいか否か

問5 あなたは、今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

今後さぽーとほっと基金に“寄付したい”人は22.0%

※ “寄付したい”（「寄付したい」＋「共感する活動・団体・テーマがあれば寄付したい」）



【全 体】 今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいか否かについては、「寄付したい」が1.4%、「共感する活動・団体・テーマがあれば寄付したい」が20.6%、合わせると22.0%となっている。一方、「制度について理解を進めてから検討したい」が58.1%、「寄付したくない」が17.3%となっている。

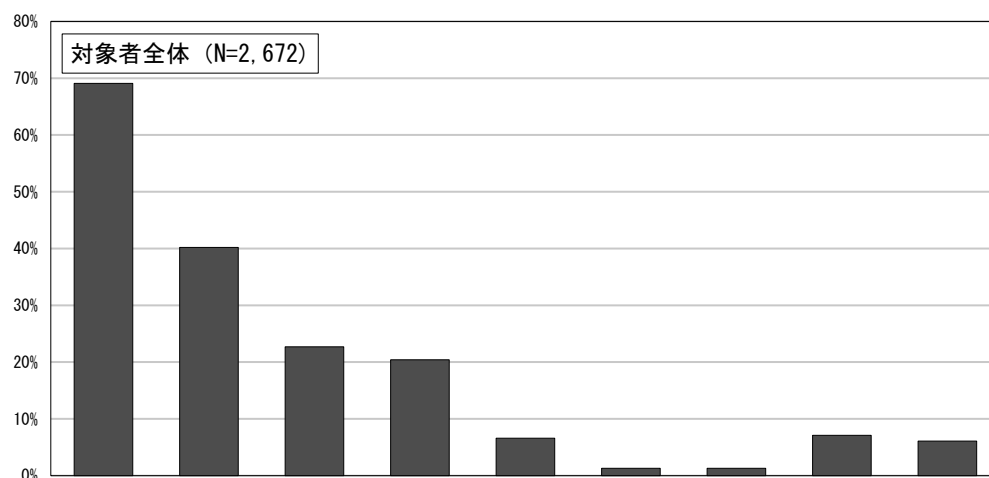
【性 別】 「寄付したくない」が男性で20.4%と、女性の15.1%より5.3ポイント高くなっている。

【年代別】 “寄付したい”が29歳以下(24.5%)で最も高く、次いで40歳代(24.1%)、50歳代(23.9%)となっている。

◇寄付をする際に重要だと思うこと

問6 あなたが、寄付をする際に重要だと思うことは何ですか。あてはまるものを2つまで○をつけてください。

寄付をする際に重要だと思うことは「使い道の透明性が担保されている」と回答した人が 69.1%



		対象者数	使い道の透明性が担保されている (%)	活動内容に共感できる (%)	情報発信・報告がしっかりしている (%)	活動成果が具体的に (%)	身近に活動している (%)	寄付することや感謝状などの特典がある (%)	その他 (%)	特になし (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,672	69.1	40.2	22.7	20.4	6.6	1.3	1.3	7.1	6.1
性別	男性	1,051	67.4	40.6	20.1	22.1	5.5	1.7	1.5	8.8	4.9
	女性	1,604	70.4	40.3	24.5	19.4	7.4	1.1	1.1	5.9	6.7
	その他	4	75.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0
年代別	29歳以下	220	69.1	39.5	23.2	31.4	7.7	4.1	-	4.1	4.1
	30～39 歳	319	74.6	41.7	21.6	24.8	8.8	3.4	1.3	2.8	2.5
	40～49 歳	456	72.8	51.3	15.8	20.8	9.4	1.5	3.3	4.4	2.9
	50～59 歳	444	75.0	44.1	23.6	19.8	7.2	1.4	-	4.1	4.1
	60～69 歳	526	73.4	35.9	26.2	20.5	5.1	-	0.8	8.0	4.6
	70歳以上	691	57.3	33.9	24.0	15.3	4.3	0.3	1.6	12.9	12.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 寄付をする際に重要だと思うことは、「使い道の透明性が担保されている」が 69.1%、「活動内容に共感できる」が 40.2%、「情報発信・報告がしっかりしている」が 22.7%となっている。

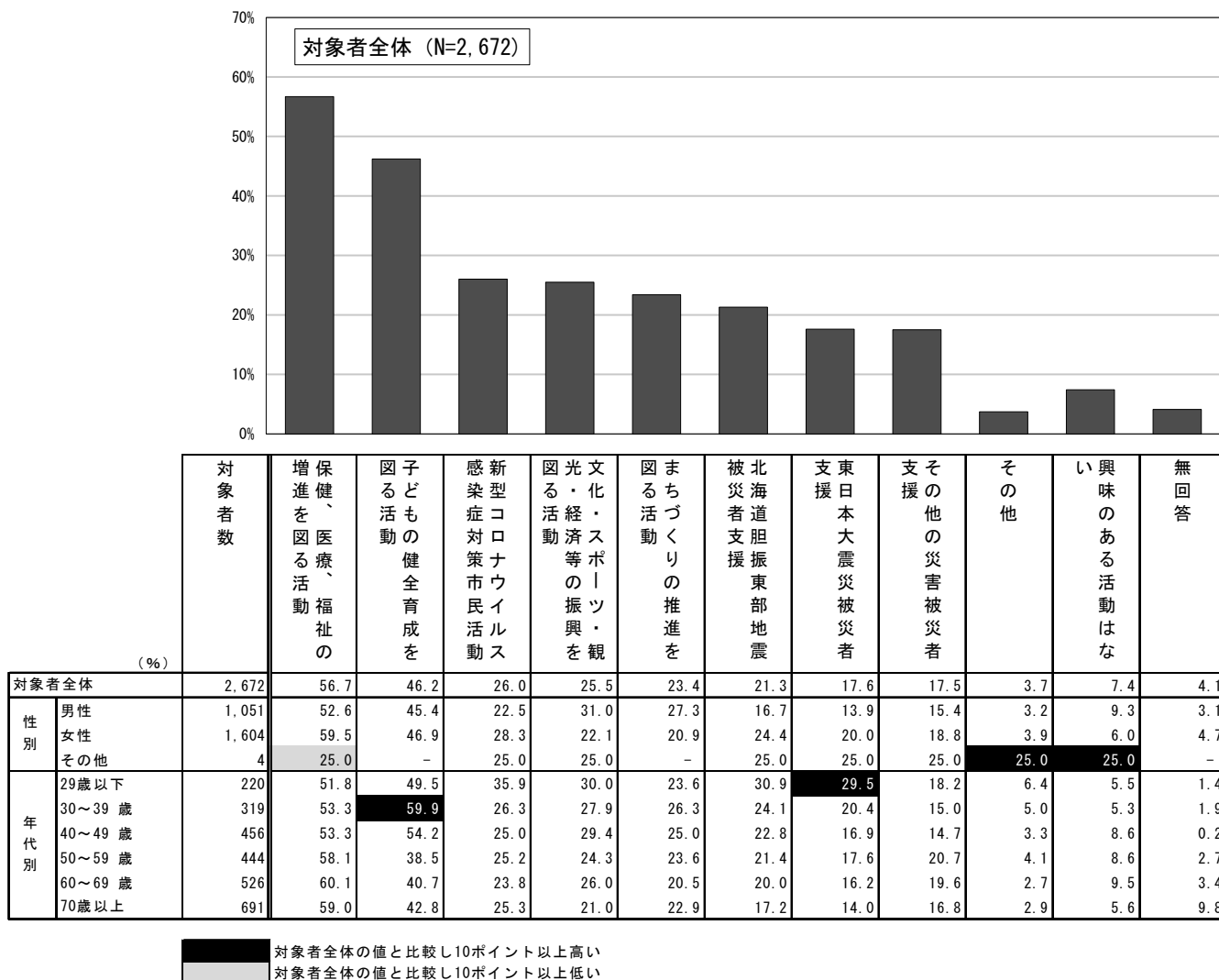
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「活動内容に共感できる」が 40 歳代 (51.3%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (33.9%) と比べると 17.4 ポイントの差となっている。

◇寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマ

問 7 あなたが、寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマを教えてください。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマは「保健、医療、福祉の増進を図る活動」と回答した人が 56.7%



【全 体】寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマは、「保健、医療、福祉の増進を図る活動」が 56.7%、「子どもの健全育成を図る活動」が 46.2%、「新型コロナウイルス感染症対策市民活動」が 26.0%となっている。

【性 別】「保健、医療、福祉の増進を図る活動」、「新型コロナウイルス感染症対策市民活動」、「北海道胆振東部地震被災者支援」、「東日本大震災被災者支援」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「文化・スポーツ・観光・経済等の振興を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」は男性が女性より 6.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】29 歳以下と 50 歳以上では「保健、医療、福祉の増進を図る活動」が、30 歳代と 40 歳代では「子どもの健全育成を図る活動」が最も高くなっている。

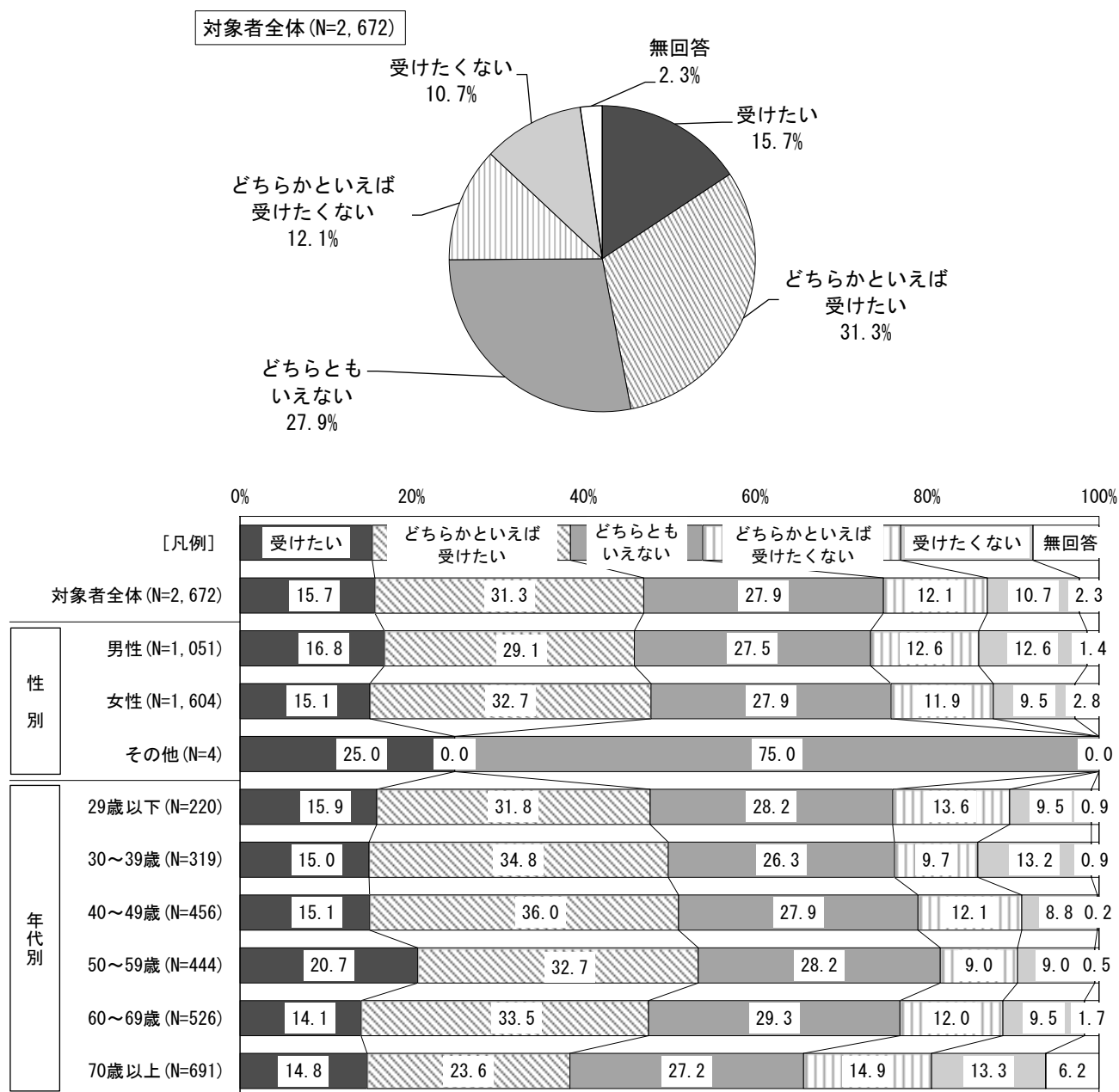
(3) 応急手当について

◇ 応急手当講習を受けたいか否か

問 8 あなたは今後、応急手当講習を受けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

応急手当講習を“受けたい”人は 47.0%

※ “受けたい”（「受けたい」＋「どちらかといえば受けたい」）



【全 体】 応急手当講習を受けたいか否かは、「受けたい」が 15.7%、「どちらかといえば受けたい」が 31.3%、合わせると 47.0%となっている。一方、「どちらかといえば受けたくない」が 12.1%、「受けたくない」が 10.7%、合わせると 22.8%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

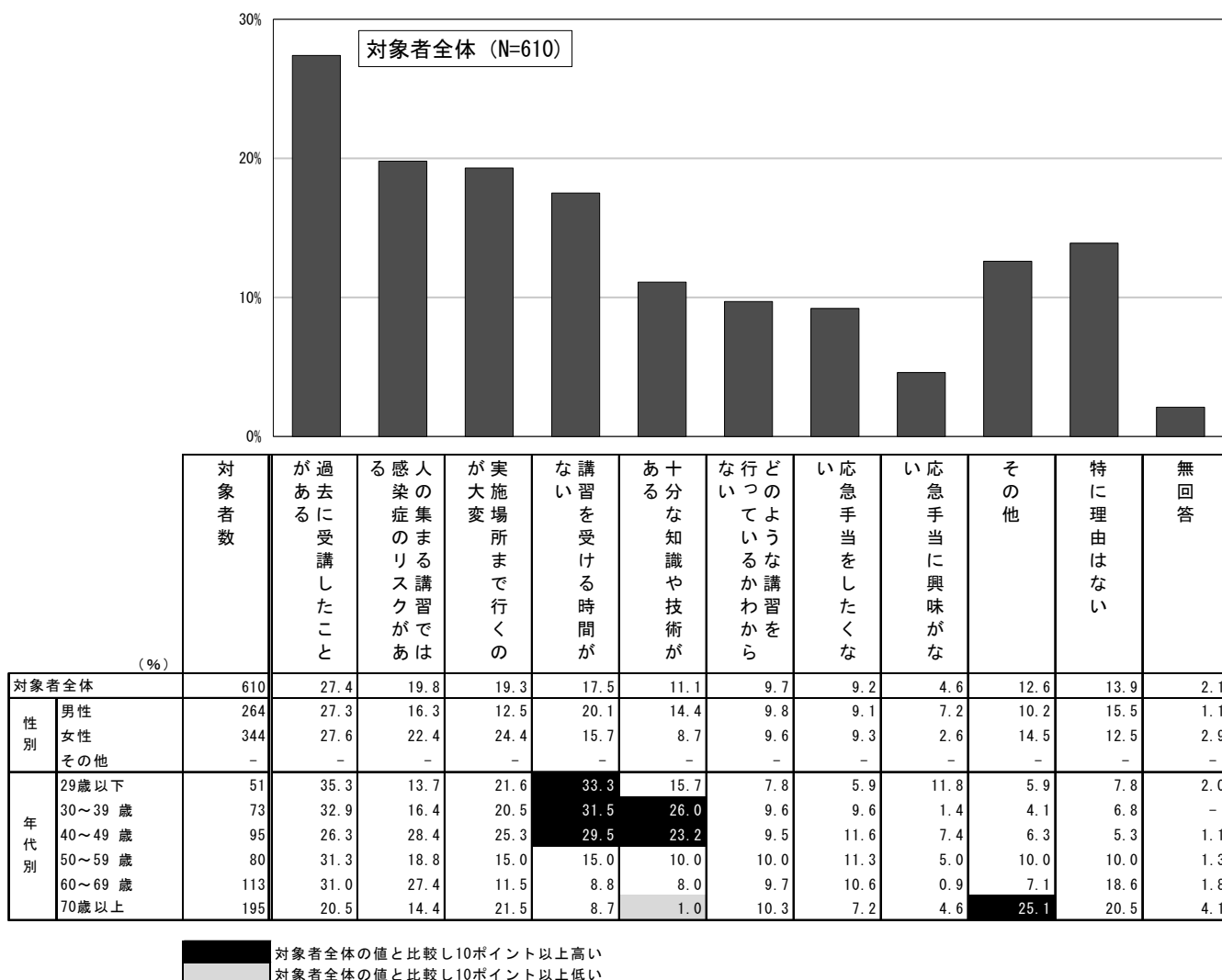
【年代別】 69 歳以下では「どちらかといえば受けたい」が、70 歳以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている

◇応急手当講習を受けたくない理由

《問8で「4 どちらかといえば受けたくない」または「5 受けたくない」と答えた方にお聞きします。》

問8-1 あなたが、受けたくない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

応急手当講習を受けたくない理由は「過去に受講したことがある」と回答した人が27.4%



【全 体】 応急手当講習を受けたくない理由は、「過去に受講したことがある」が27.4%、「人の集まる講習では感染症のリスクがある」が19.8%、「実施場所まで行くのが大変」が19.3%となっている。

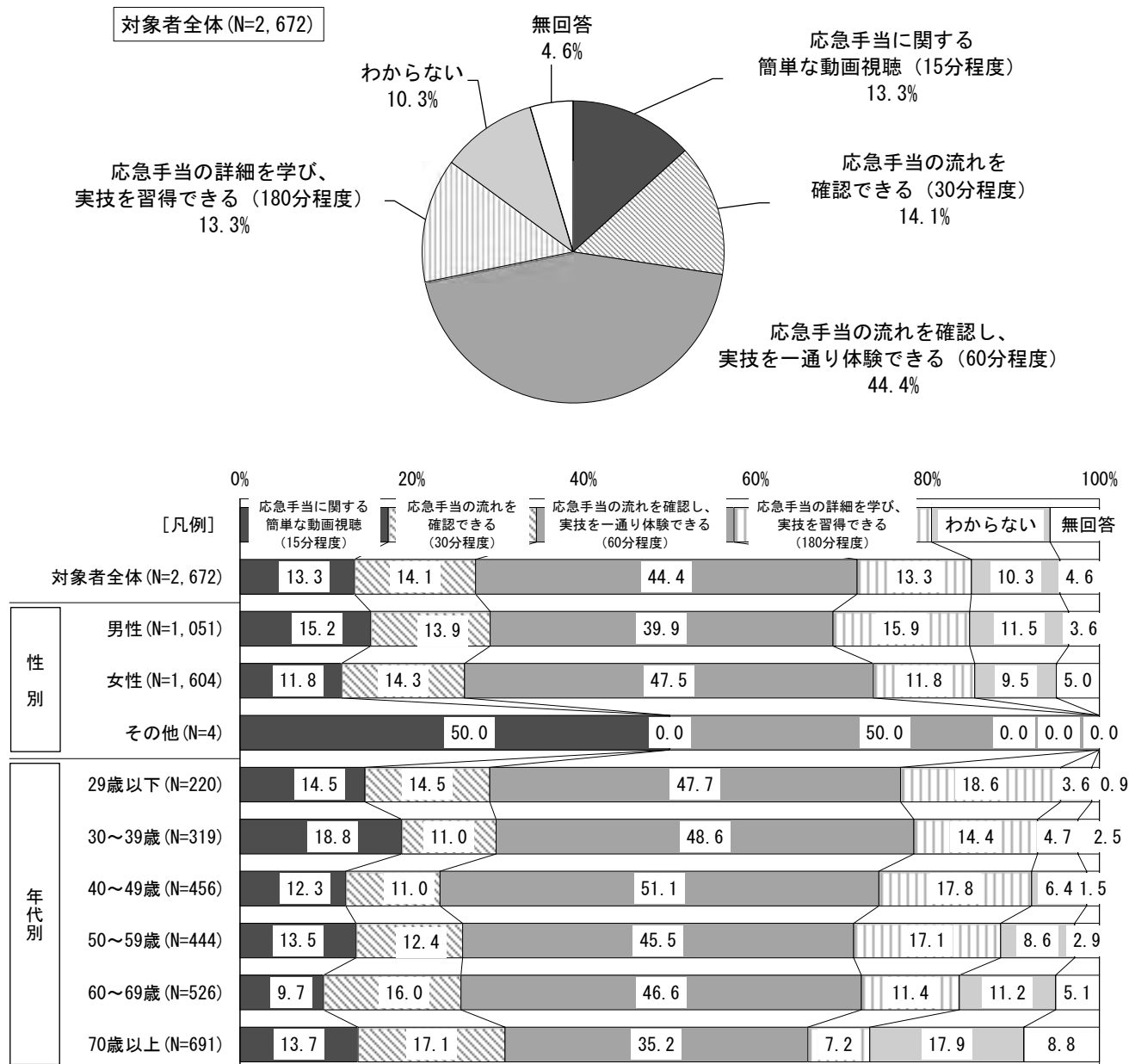
【性 別】 「人の集まる講習では感染症のリスクがある」、「実施場所まで行くのが大変」は女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。また、「十分な知識や技術がある」は男性が14.4%と、女性の8.7%より5.7ポイント高くなっている。

【年代別】 「過去に受講したことがある」が29歳以下(35.3%)で最も高く、次いで30歳代(32.9%)、50歳代(31.3%)となっている

◇どのような応急手当講習が良いと思うか

問9 あなたは、どのような講習内容が良いと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

応急手当講習の内容は「応急手当の流れを確認し、実技を一通り体験できる（60分程度）」が良いと回答した人が44.4%



【全体】 どのような応急手当講習が良いと思うかは、「応急手当に関する簡単な動画視聴（15分程度）」が13.3%、「応急手当の流れを確認できる（30分程度）」が14.1%、「応急手当の流れを確認し、実技を一通り体験できる（60分程度）」が44.4%、「応急手当の詳細を学び、実技を習得できる（180分程度）」が13.3%となっている。

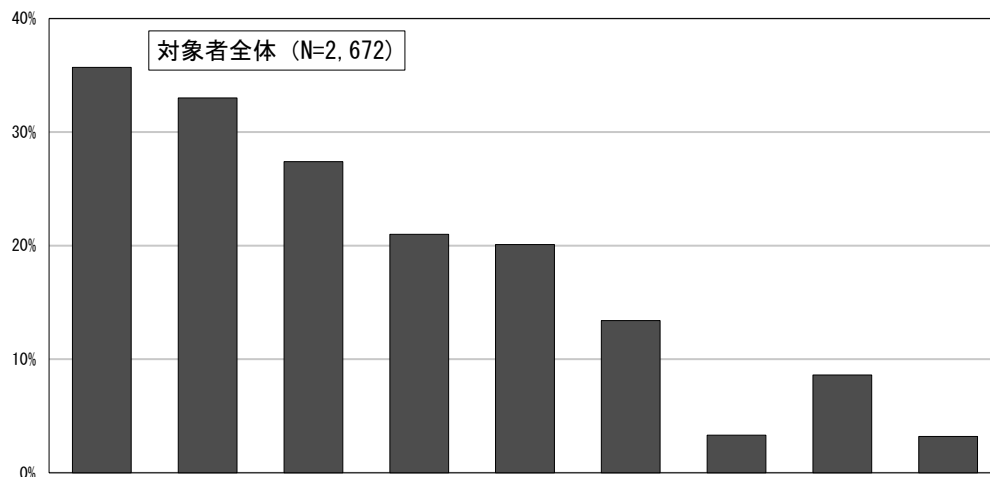
【性別】 「応急手当の流れを確認し、実技を一通り体験できる（60分程度）」が女性で47.5%と、男性の39.9%より7.6ポイント高くなっている。

【年代別】 「応急手当の流れを確認し、実技を一通り体験できる（60分程度）」が40歳代（51.1%）で最も高く、最も低い70歳以上（35.2%）と比べると15.9ポイントの差となっている。

◇応急手当講習の受講しやすい開催方法

問 10 応急手当に関する講習について、あなたが受講しやすいと思う開催方法は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

応急手当講習の受講しやすい開催方法は「町内会等への講師派遣型の講習」と回答した人が 35.7%



		対象者数	町内会等への講師派遣型の講習	動画共有サービス（YouTube等）で応急手当動画を視聴する講習	市民防災センターで開催する講習	ショッピングセンター等のイベントでの講習	スマートフォン等で応急手当のアプリケーションをダウンロードして実施する講習	WEB会議システムで講師が指導する講習	その他	特になし	無回答
		(%)									
対象者全体		2,672	35.7	33.0	27.4	21.0	20.1	13.4	3.3	8.6	3.2
性別	男性	1,051	35.2	32.6	29.7	18.2	20.1	14.1	2.8	10.8	2.5
	女性	1,604	36.2	33.0	25.9	22.9	20.2	12.8	3.7	7.0	3.6
	その他	4	25.0	100.0	25.0	25.0	50.0	75.0	-	-	-
年代別	29歳以下	220	17.7	55.9	21.8	20.5	31.8	23.2	5.0	3.6	0.5
	30～39 歳	319	19.7	49.8	23.5	22.3	30.7	19.7	3.8	4.7	1.9
	40～49 歳	456	29.4	48.0	28.3	23.9	28.3	20.4	5.3	2.6	0.2
	50～59 歳	444	30.9	39.0	34.5	25.0	21.4	19.1	4.5	7.0	0.7
	60～69 歳	526	41.3	25.9	31.4	22.8	16.7	10.1	1.7	8.7	2.1
	70歳以上	691	51.8	10.0	22.4	15.1	8.1	1.9	1.9	16.6	8.7

 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 応急手当講習の受講しやすい開催方法は、「町内会等への講師派遣型の講習」が 35.7%、「動画共有サービス（YouTube 等）で応急手当動画を視聴する講習」が 33.0%、「市民防災センターで開催する講習」が 27.4%となっている。

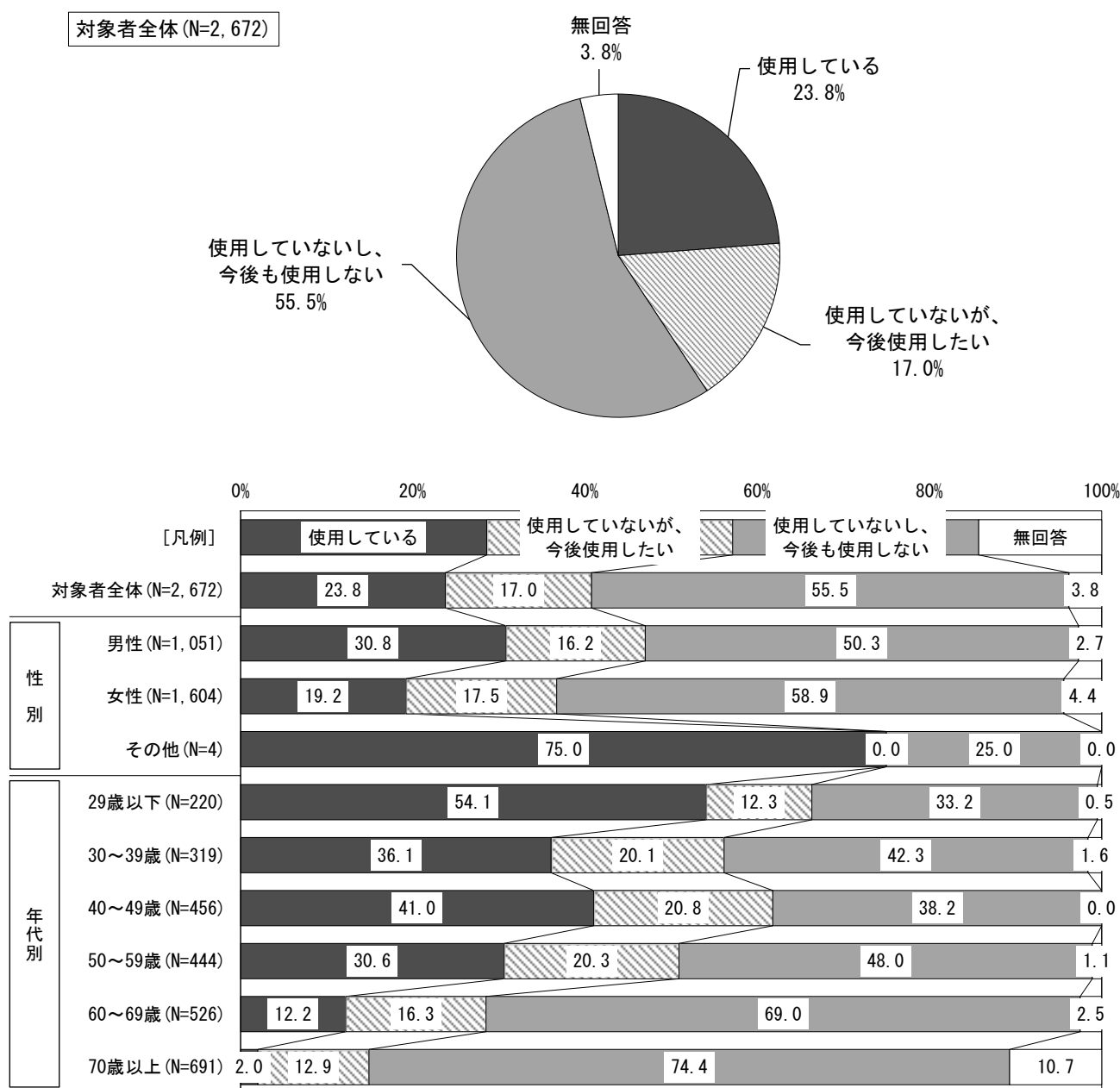
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「町内会等への講師派遣型の講習」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「動画共有サービス（YouTube 等）で応急手当動画を視聴する講習」、「スマートフォン等で応急手当のアプリケーションをダウンロードして実施する講習」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇WEB 会議システムの使用の有無

問 1 1 あなたは普段、WEB 会議システムを使用していますか。または使用したいと考えていますか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

WEB 会議システムを「使用している」人は 23.8%



【全 体】WEB 会議システムを使用の有無は、「使用している」が 23.8%、「使用していないが、今後使用したい」が 17.0%となっている。一方、「使用していないし、今後使用しない」が 55.5%となっている。

【性 別】「使用している」が男性で 30.8%と、女性の 19.2%より 11.6 ポイント高くなっている。また、「使用していないし、今後使用しない」は女性が 58.9%と、男性の 50.3%より 8.6 ポイント高くなっている。

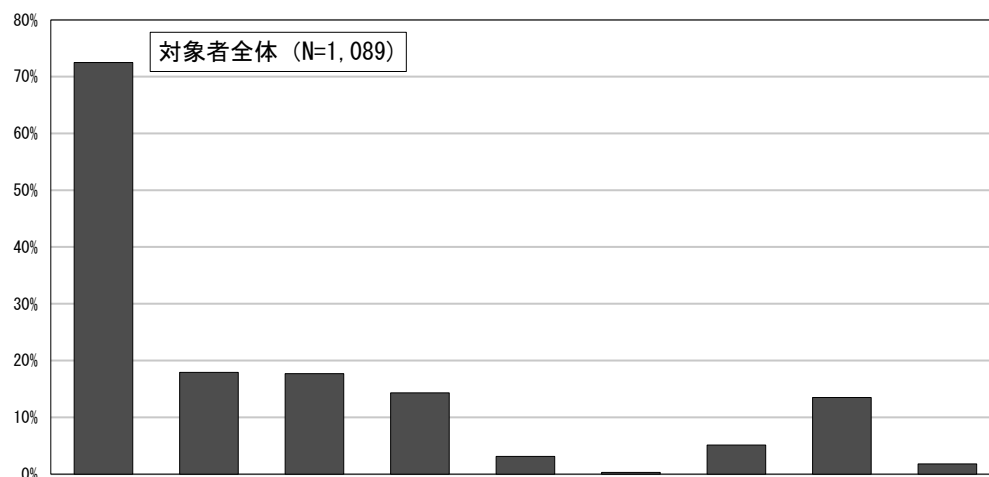
【年代別】29 歳以下と 40 歳代では「使用している」が、30 歳代と 50 歳以上では「使用していないし、今後使用しない」が最も高くなっている。

◇使用している(今後使用したい)WEB 会議システムの種類

《問 1 1 で「1 使用している」または「2 使用していないが、今後使用したい」と答えた方にお聞きします。》

問 1 1-1 あなたは、どのような WEB 会議システムを使用していますか。または使用したいと考えていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

使用している(今後使用したい)WEB 会議システムの種類は「Zoom (ズーム)」と回答した人が 72.5%



		対象者数	Zoom (ズーム)	Microsoft Teams (マイクロソフト チームス)	Skype (スカイプ)	Google Meet (グーグル ミート)	Remote (リモート)	Ring (リング)	その他	わからない	無回答
		(%)									
対象者全体		1,089	72.5	17.9	17.7	14.3	3.1	0.3	5.1	13.5	1.8
性別	男性	494	69.0	25.7	19.4	16.4	3.0	0.2	6.7	12.6	1.8
	女性	588	75.3	11.6	16.5	12.4	3.2	0.3	3.7	14.5	1.9
	その他	3	100.0	-	-	33.3	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	146	93.2	18.5	13.0	21.9	-	-	8.2	1.4	-
	30～39 歳	179	83.2	26.3	24.6	8.9	1.1	-	6.1	3.9	0.6
	40～49 歳	282	82.6	18.8	16.3	19.1	1.4	0.7	6.4	7.8	0.4
	50～59 歳	226	72.6	19.9	19.0	10.6	4.9	-	2.2	15.0	-
	60～69 歳	150	53.3	11.3	18.7	10.7	6.7	-	4.0	26.0	3.3
	70歳以上	103	24.3	5.8	12.6	13.6	6.8	1.0	2.9	41.7	12.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】使用している WEB 会議システムの種類は、「Zoom (ズーム)」が 72.5%、「Microsoft Teams (マイクロソフト チームス)」が 17.9%、「skype (スカイプ)」が 17.7%となっている。

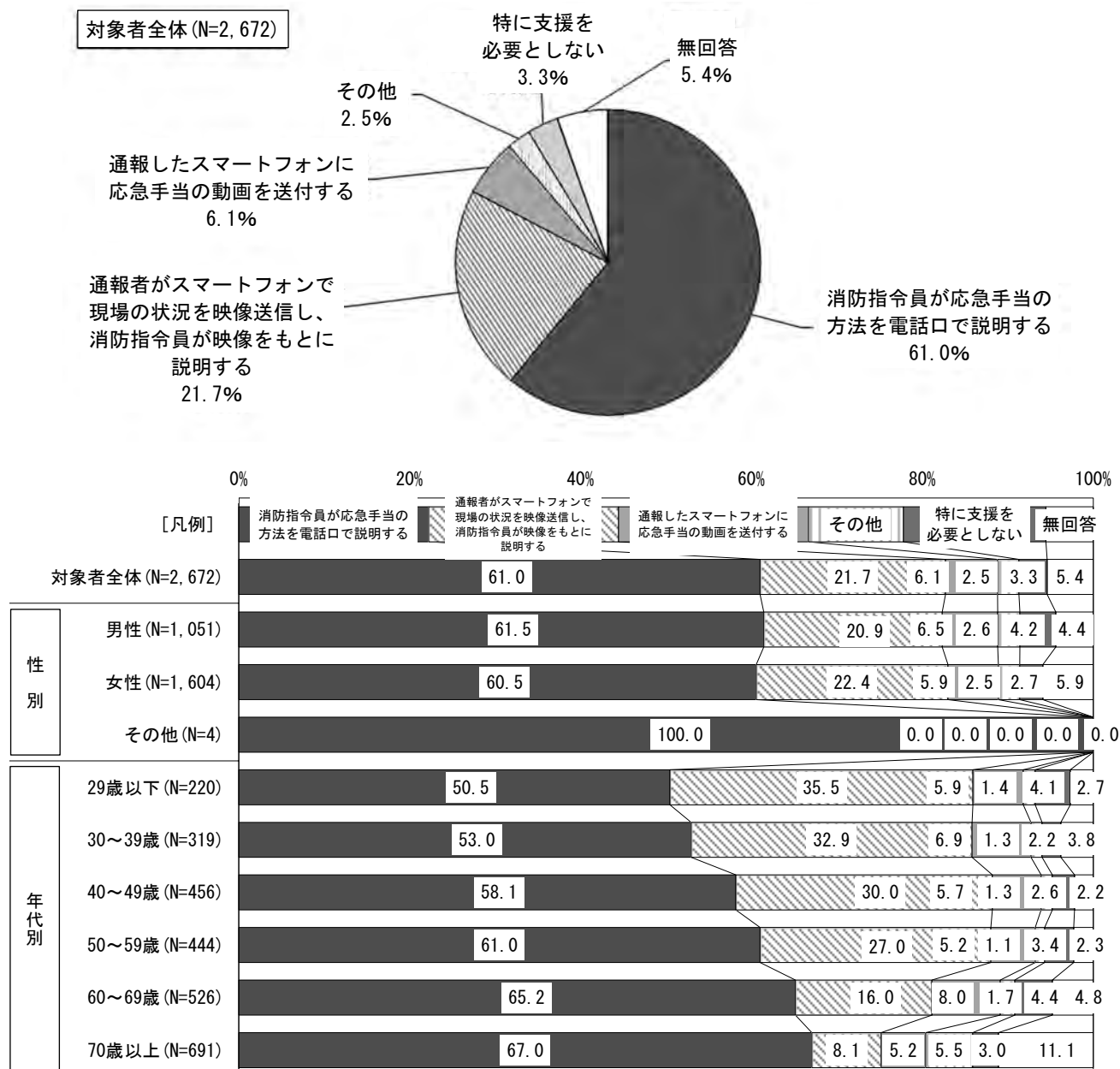
【性 別】「Zoom (ズーム)」が女性で 75.3%と、男性の 69.0%より 6.3 ポイント高くなっている。また、「Microsoft Teams (マイクロソフト チームス)」は男性が 25.7%と、女性の 11.6%より 14.1 ポイント高くなっている。

【年代別】「Zoom (ズーム)」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて 119 番通報をしたときにほしい手助け(支援)

問 1 2 あなたは、心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて 119 番通報をしたとき、どのような手助け(支援)がほしいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて 119 番通報をしたときにほしい手助け(支援)は「消防指令員が応急手当の方法を電話口で説明する」と回答した人が 61.0%



【全 体】心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて 119 番通報をしたときにほしい手助け(支援)は、「消防指令員が応急手当の方法を電話口で説明する」が 61.0%、「通報者がスマートフォンで現場の状況を映像送信し、消防指令員が映像をもとに説明する」が 21.7%、「通報したスマートフォンに応急手当の動画を送付する」が 6.1%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「消防指令員が応急手当の方法を電話口で説明する」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「通報者がスマートフォンで現場の状況を映像送信し、消防指令員が映像をもとに説明する」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

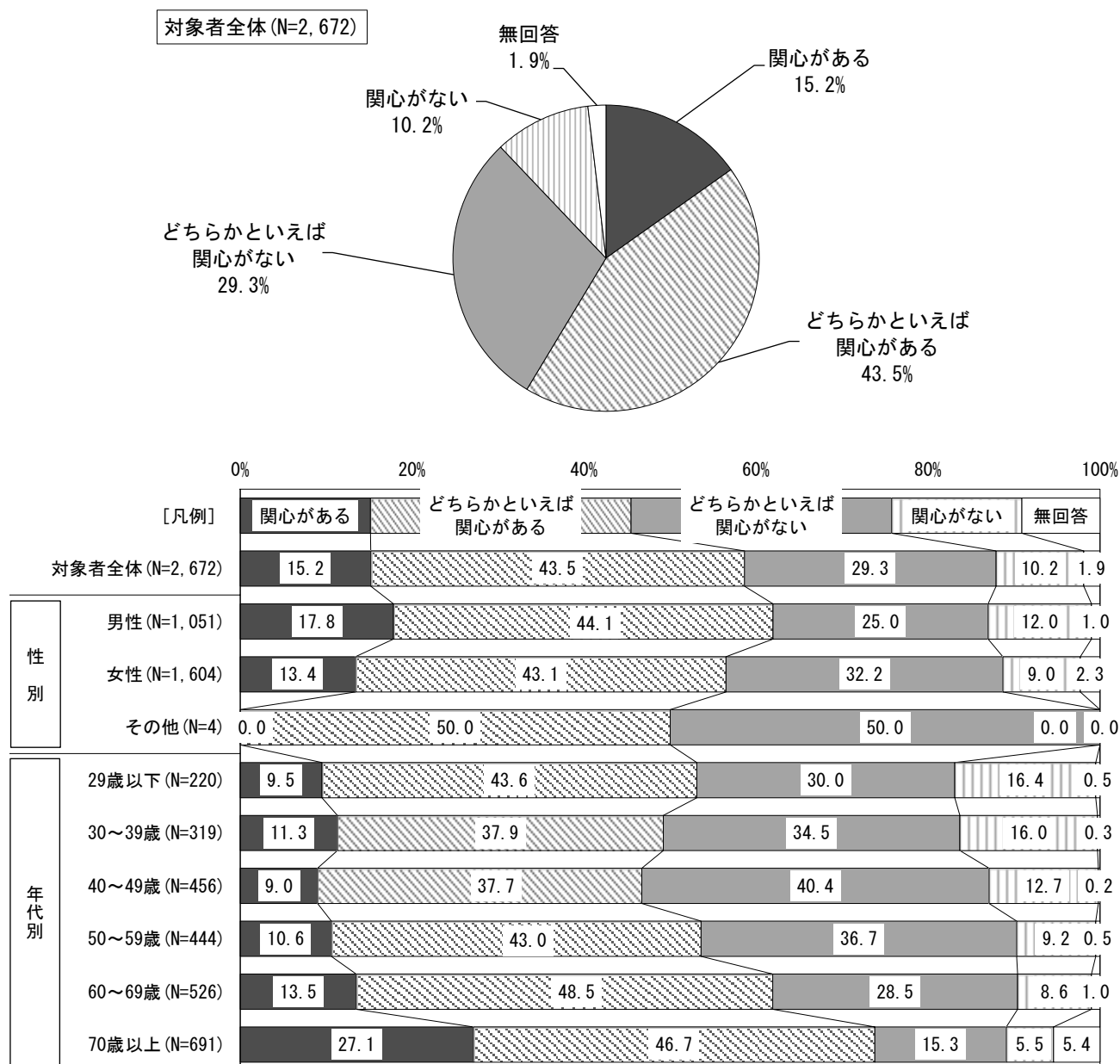
(4) 消防団について

◇地域防災への関心の有無

問 1 3 あなたは、地域防災について関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

地域防災に “関心がある” 人は 58.7%

※ “関心がある” (「関心がある」 + 「どちらかといえば関心がある」)



【全 体】地域防災への関心の有無は、「関心がある」が 15.2%、「どちらかといえば関心がある」が 43.5%、合わせると 58.7%となっている。一方、「どちらかといえば関心がない」が 29.3%、「関心がない」が 10.2%、合わせると 39.4%となっている。

【性 別】「どちらかといえば関心がない」が女性で 32.2%と、男性の 25.0%より 7.2 ポイント高くなっている。

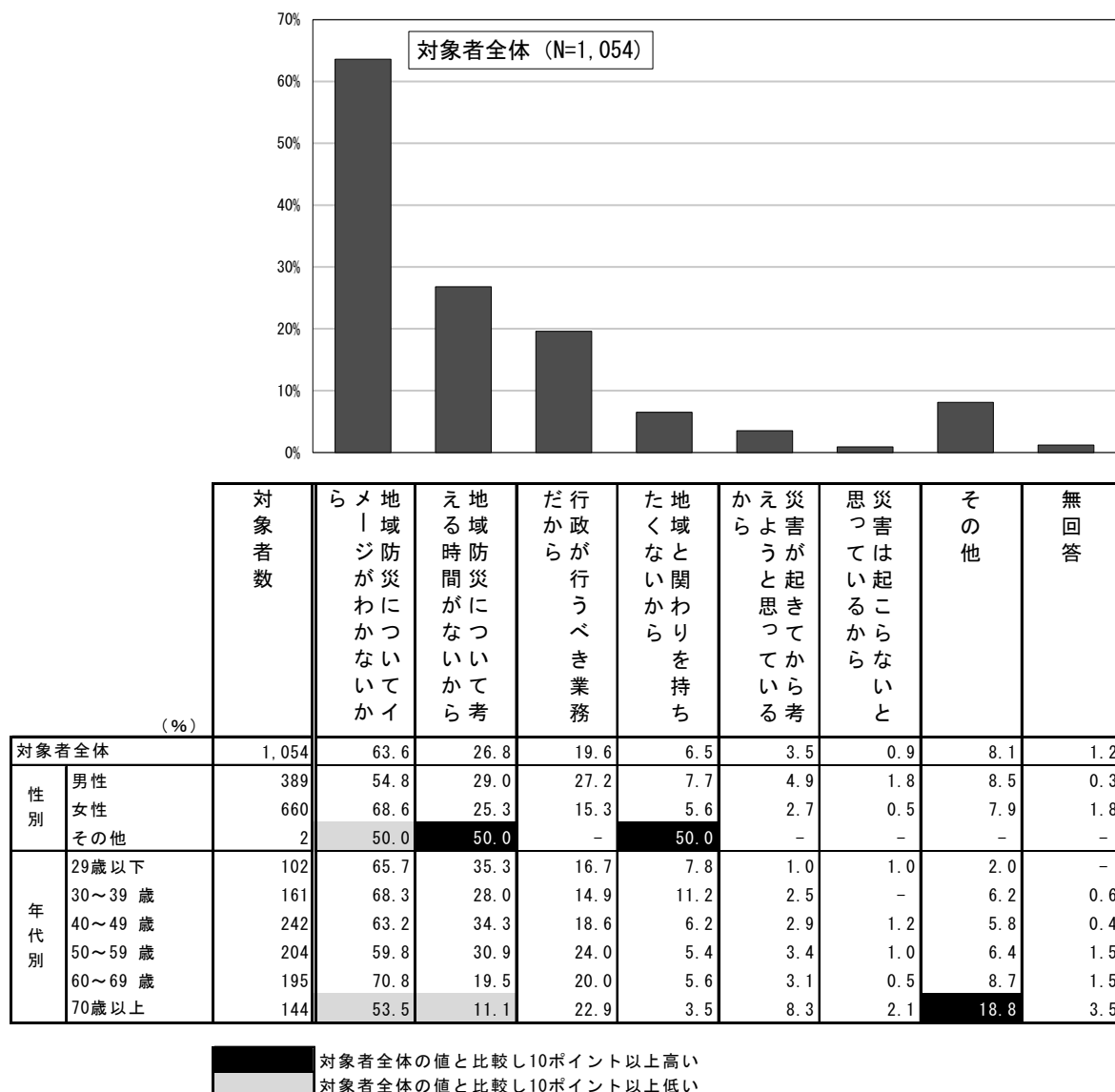
【年代別】39 歳以下と 50 歳以上では「どちらかといえば関心がある」、40 歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。

◇地域防災に関心がない理由

《問 1 3 で「3 どちらかといえば関心がない」または「4 関心がない」と答えた方にお聞きします。》

問 1 3-1 あなたが、関心がない理由はなんですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

地域防災に関心がない理由は「地域防災についてイメージがわからないから」と回答した人が 63.6%



【全 体】地域防災に関心がない理由は、「地域防災についてイメージがわからないから」が 63.6%、「地域防災について考える時間がないから」が 26.8%、「行政が行うべき業務だから」が 19.6% となっている。

【性 別】「地域防災についてイメージがわからないから」が女性で 68.6%と、男性の 54.8%より 13.8 ポイント高くなっている。また、「行政が行うべき業務だから」は男性が 27.2%と、女性の 15.3%より 11.9 ポイント高くなっている。

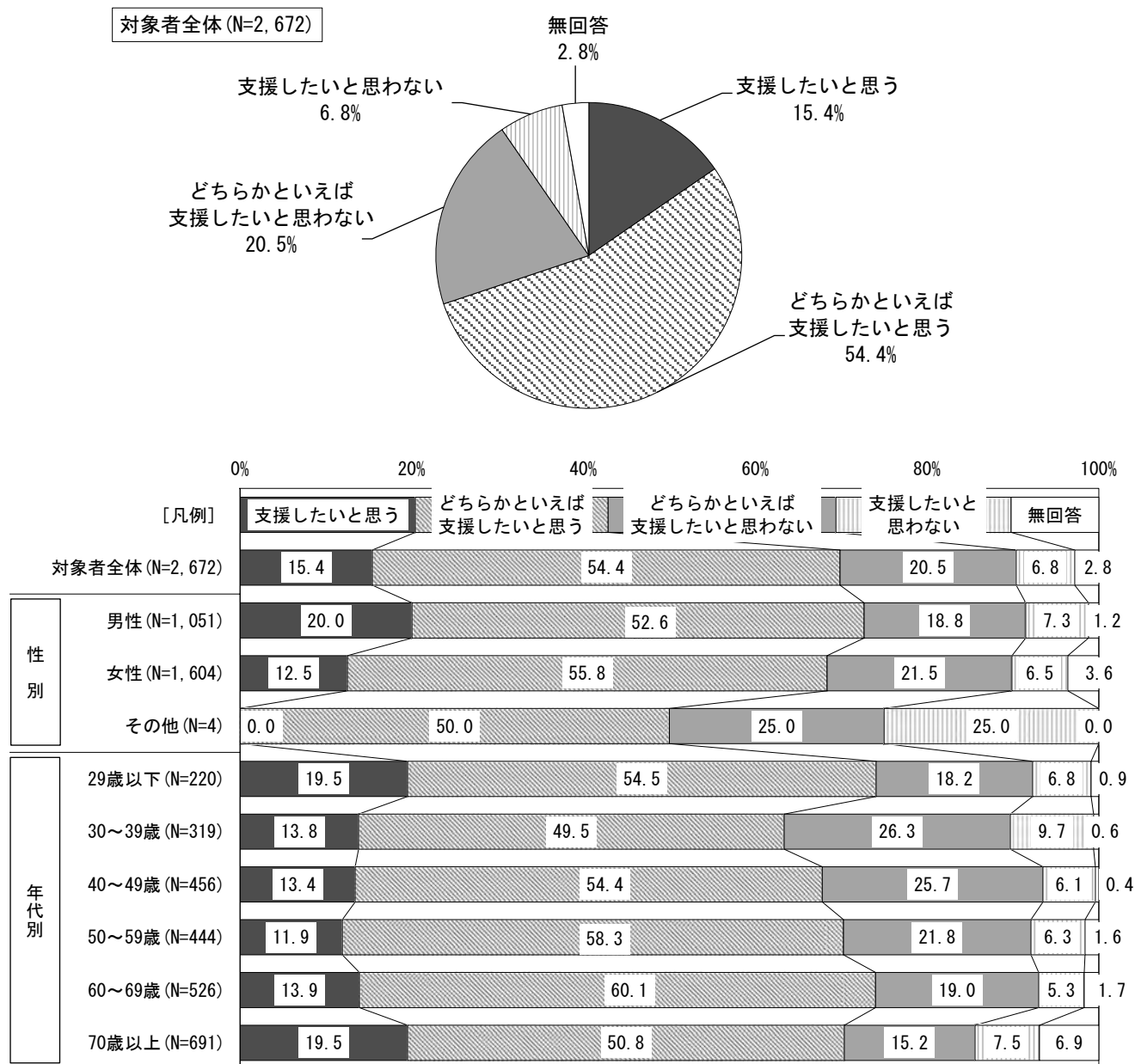
【年代別】「地域防災についてイメージがわからないから」が 60 歳代 (70.8%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (53.5%) と比べると 17.3 ポイントの差となっている。

◇ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいか否か

問 1 4 あなたは、ボランティアで地域貢献をしたり、災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思いますか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける“支援をしたいと思う”人は 69.8%

※ “支援したいと思う”（「支援したいと思う」＋「どちらかといえば支援したいと思う」）



【全 体】 ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいか否かは、「支援したいと思う」が 15.4%、「どちらかといえば支援したいと思う」が 54.4%、合わせると 69.8%となっている。一方、「どちらかといえば支援したいと思わない」が 20.5%、「支援したいと思わない」が 6.8%、合わせると 27.3%となっている。

【性 別】 「支援したいと思う」が男性で 20.0%と、女性の 12.5%より 7.5 ポイント高くなっている。

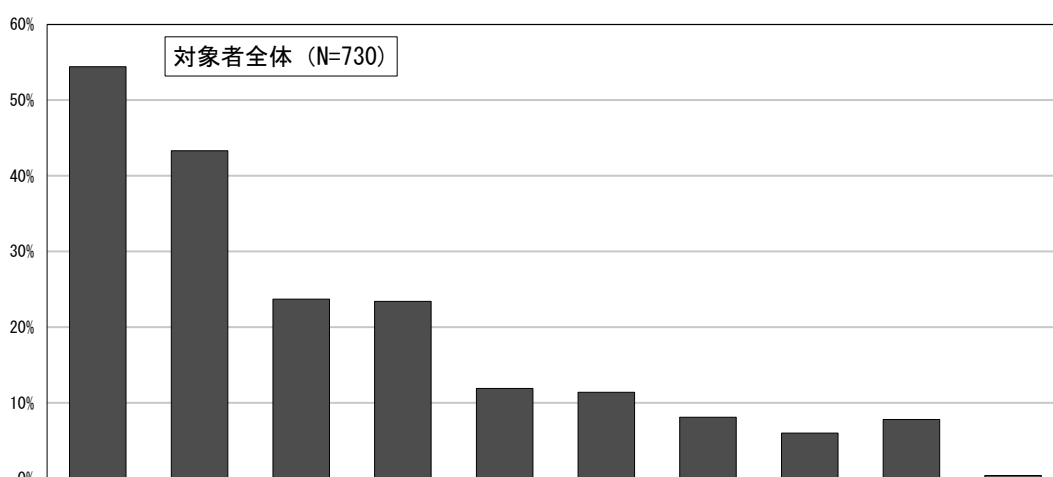
【年代別】 “支援したいと思う” が 29 歳以下 (74.1%) で最も高く、最も低い 30 歳代 (63.3%) と比べると 10.8 ポイントの差となっている。

◇ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由

《問14で「3 どちらかといえば支援したいと思わない」または「4 支援したいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたが、支援をしたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由は「自分自身のことで精一杯だから」と回答した人が54.4%



		対象者数	自分自身のことで精一杯だから (%)	自分自身の体力等により難しいと思うから (%)	支援の方法がわからないから (%)	支援できるような時間が無いから (%)	行政が支援すべきだと思うから (%)	関係することから感染症が怖いため (%)	支援するのが面倒だから (%)	地域と関わりを持ちたくないから (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		730	54.4	43.3	23.7	23.4	11.9	11.4	8.1	6.0	7.8	0.4
性別	男性	275	52.7	36.7	18.9	28.0	17.5	9.1	9.5	7.3	7.6	0.4
	女性	450	55.3	47.1	26.2	20.4	8.4	12.4	7.3	5.1	8.0	0.4
	その他	2	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-
年代別	29歳以下	55	63.6	18.2	30.9	30.9	9.1	3.6	18.2	5.5	3.6	-
	30～39 歳	115	65.2	19.1	23.5	32.2	15.7	11.3	10.4	10.4	9.6	-
	40～49 歳	145	53.8	26.9	29.0	29.0	12.4	13.8	9.0	6.2	10.3	0.7
	50～59 歳	125	50.4	35.2	20.0	29.6	12.0	12.0	9.6	6.4	7.2	-
	60～69 歳	128	50.0	59.4	25.8	16.4	14.8	12.5	7.0	6.3	3.9	-
	70歳以上	157	49.7	77.1	16.6	10.2	7.0	9.6	1.9	2.5	9.6	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由は、「自分自身のことで精一杯だから」が54.4%、「自分自身の体力等により難しいと思うから」が43.3%、「支援の方法がわからないから」が23.7%となっている。

【性別】 「自分自身の体力等により難しいと思うから」、「支援の方法がわからないから」は女性が男性より7.0ポイント以上高くなっている。また、「支援できるような時間が無いから」、「行政が支援すべきだと思うから」は男性が女性より7.0ポイント以上高くなっている。

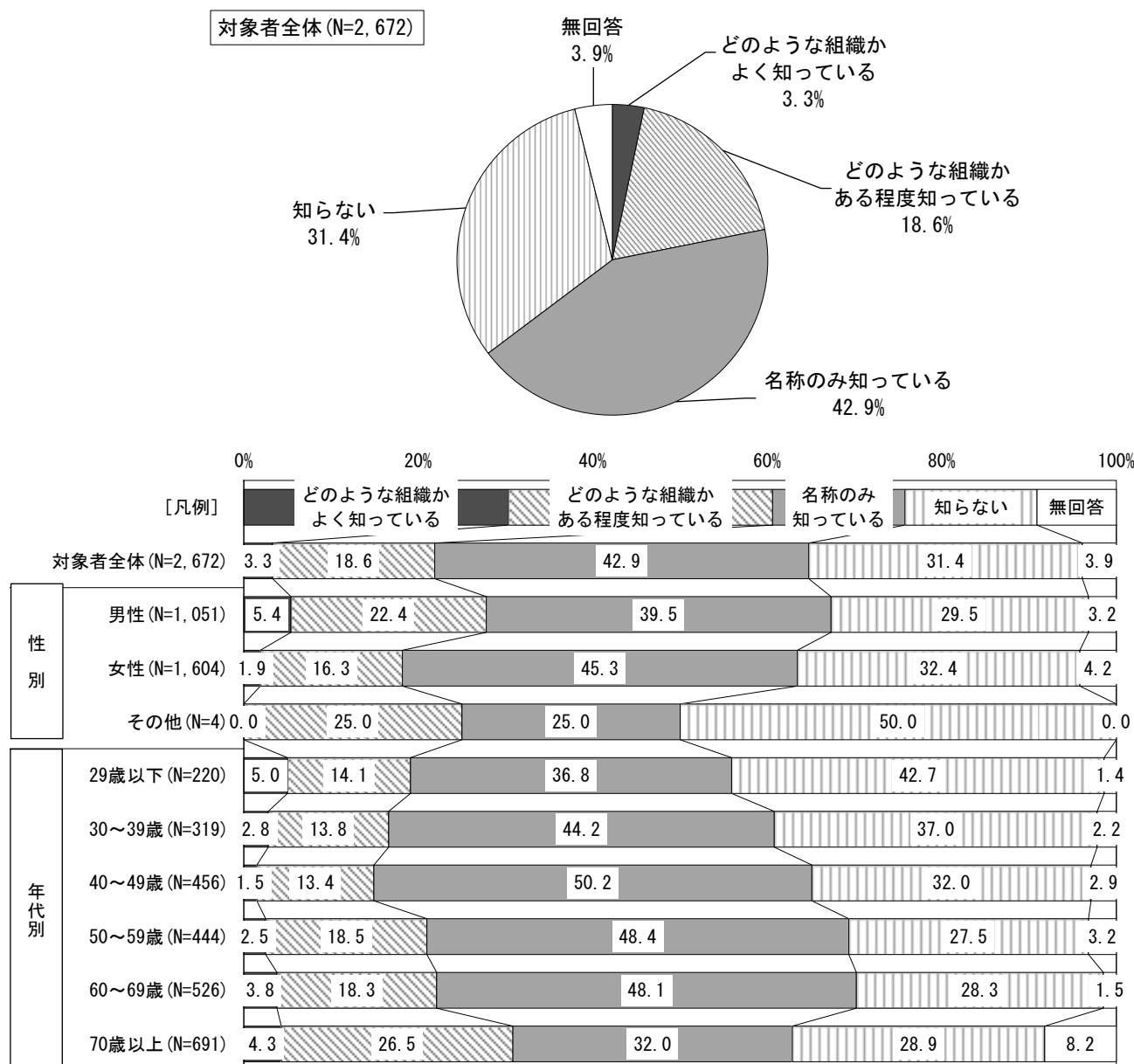
【年代別】 「自分自身のことで精いっぱいだから」は30歳代が65.2%と最も高く、70歳以上が49.7%で一番低くなっている。

◇消防団の認知度

問 1 5 あなたは、地域防災の担い手として組織されている消防団の存在を知っていましたか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

消防団を“知っている”人は 64.8%

※ “知っている”（「どのような組織かよく知っている」＋「どのような組織がある程度知っている」＋「名称のみ知っている」）



【全 体】消防団の認知度は、「どのような組織かよく知っている」が 3.3%、「どのような組織がある程度知っている」が 18.6%、「名称のみ知っている」が 42.9%、合わせると 64.8%となっている。一方、「知らない」が 31.4%となっている。

【性 別】「どのような組織がある程度知っている」が男性で 22.4%と、女性の 16.3%より 6.1 ポイント高くなっている。また「名称のみ知っている」が女性で 45.3%と、男性の 39.5%より 5.8 ポイント高くなっている。

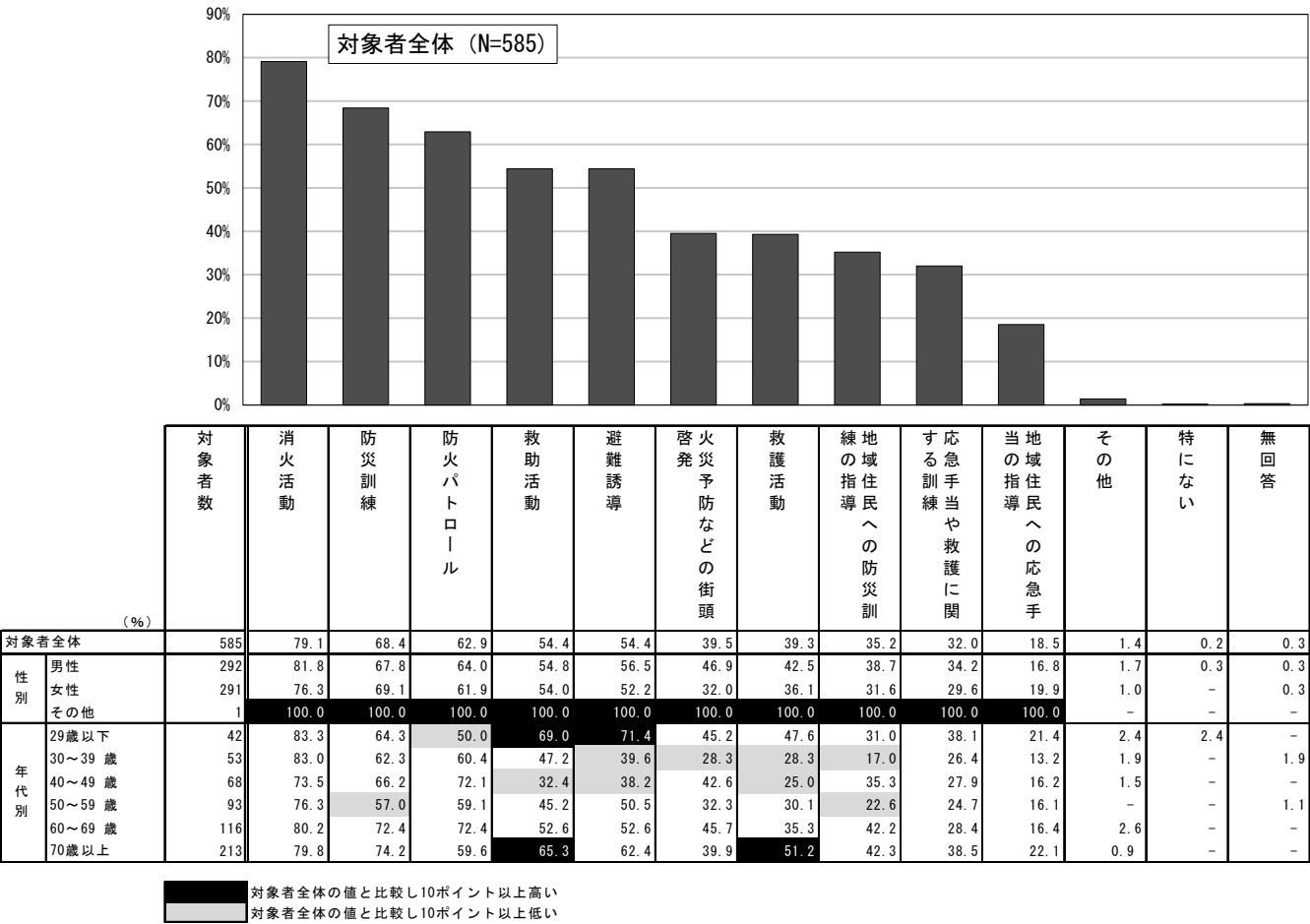
【年代別】“知っている”が 60 歳代 (70.2%) で最も高く、次いで 50 歳代 (69.4%)、40 歳代 (65.1%) となっている。

◇消防団の活動で認知している内容

《問 1 5 で「1 どのような組織かよく知っている」または「2 どのような組織かある程度知っている」と答えた方にお聞きします。》

問 1 5-1 消防団の活動について、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

消防団の活動で認知している内容は「消火活動」と回答した人が 79.1%

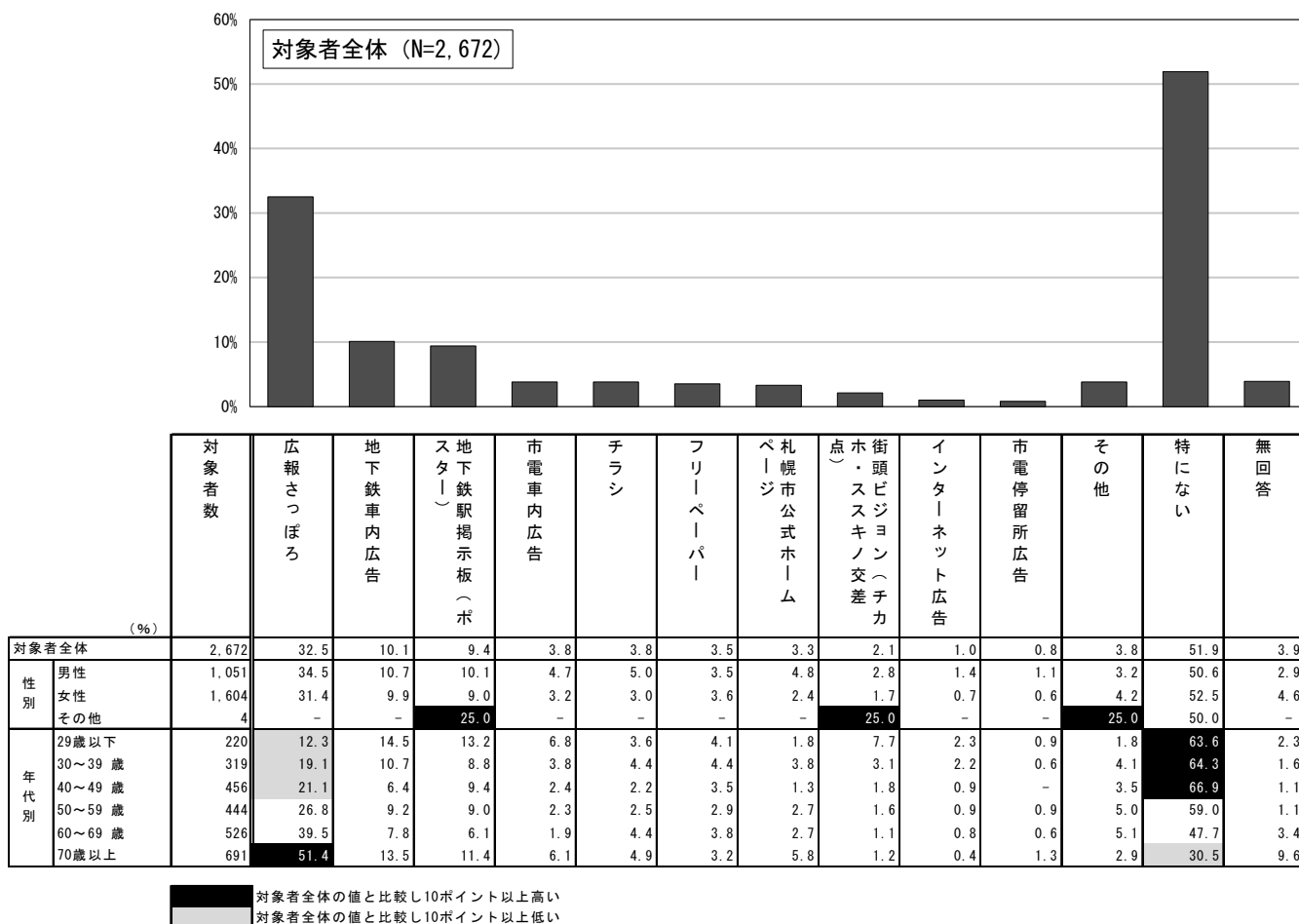


- 【全 体】消防団の活動で認知している内容は、「消火活動」が 79.1%、「防災訓練」が 68.4%、「防火パトロール」が 62.9%となっている。
- 【性 別】「消火活動」、「火災予防などの街頭啓発」、「救護活動」、「地域住民への防災訓練の指導」は男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。
- 【年代別】「救助活動」が 29 歳以下 (69.0%) で最も高く、最も低い 40 歳代 (32.4%) と比べると 36.6 ポイントの差となっている。

◇消防団のPRの認知度

問 1 6 札幌市では、様々な方法で消防団をPRしています。あなたが、見聞きしたことがあるものに、いくつでも○をつけてください。

消防団のPRで見聞きしたことがあるものは「広報さっぽろ」と回答した人が32.5%



【全 体】消防団のPRで見聞きしたことがあるものは、「広報さっぽろ」が32.5%、「地下鉄車内広告」が10.1%、「地下鉄駅掲示版（ポスター）」が9.4%となっている。

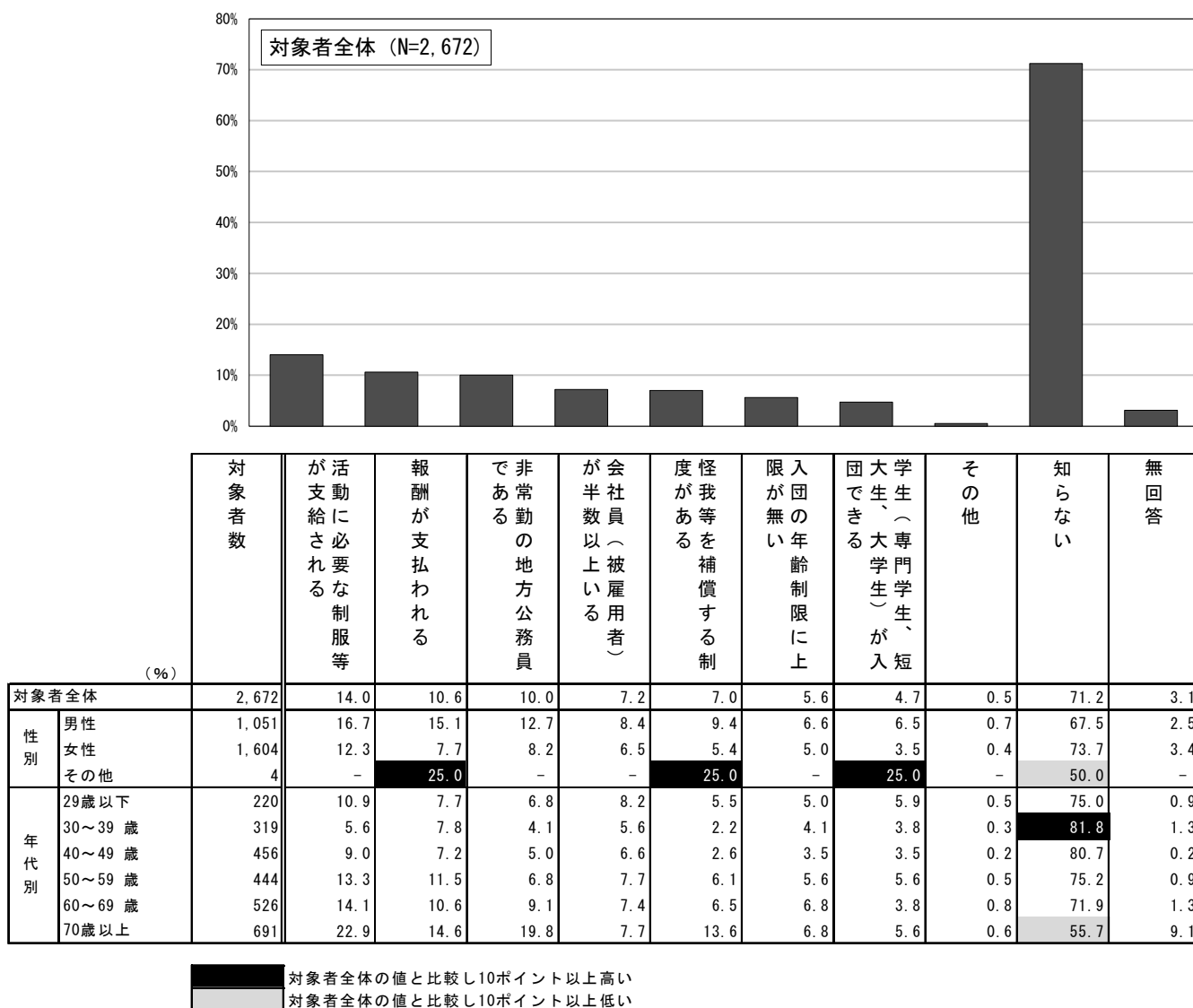
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「広報さっぽろ」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇消防団員の立場や待遇の認知度

問 1 7 あなたは、消防団員の立場や待遇について知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団員の立場や待遇で知っていることは「活動に必要な制服等が支給される」と回答した人が 14.0%



【全 体】消防団員の立場や待遇で知っていることは、「活動に必要な制服等が支給される」が 14.0%、「報酬が支払われる」が 10.6%、「非常勤の地方公務員である」が 10.0%となっている。

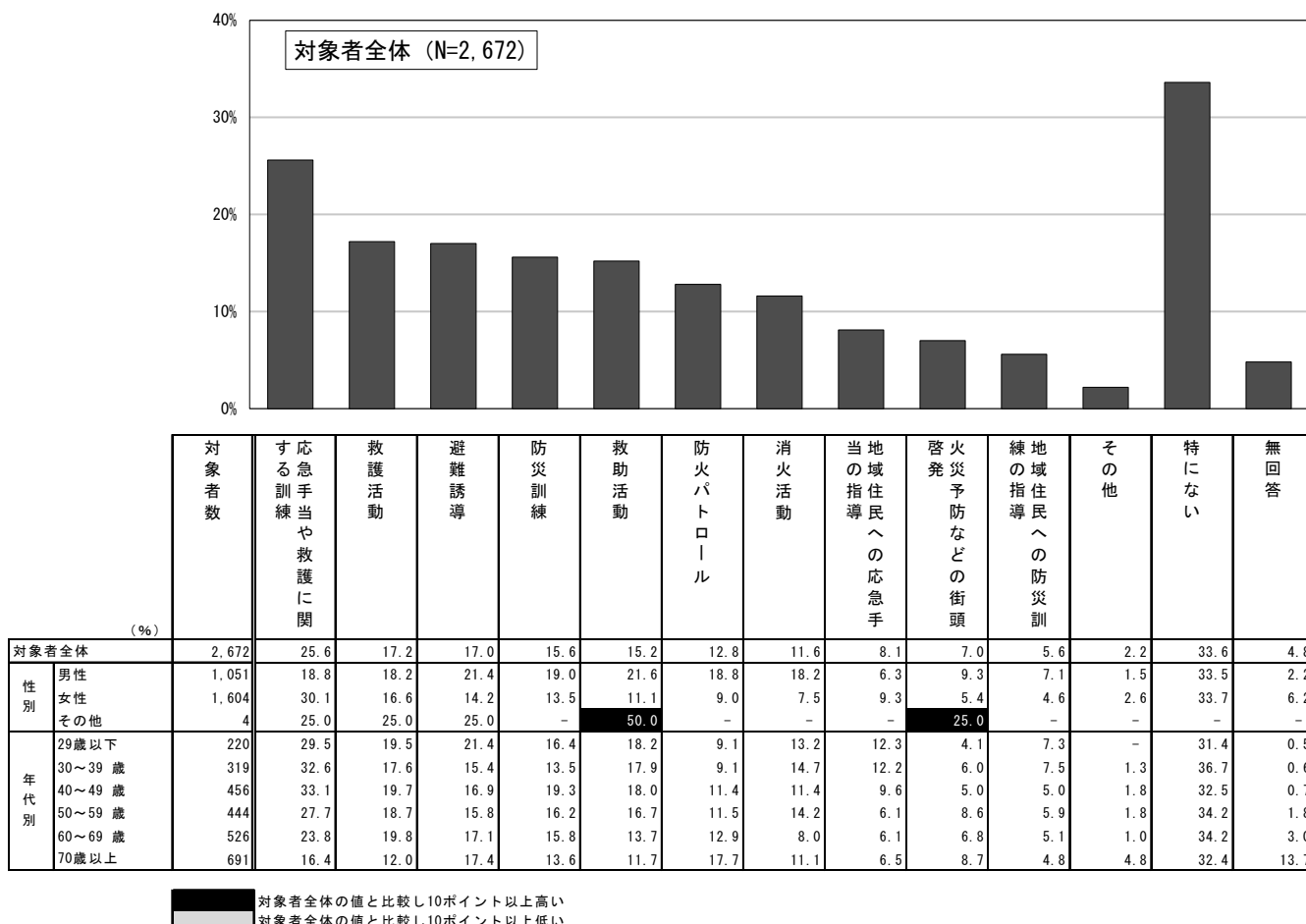
【性 別】「報酬が支払われる」が男性で 15.1%と、女性の 7.7%より 7.4 ポイント高くなっている。また、「知らない」が女性で 73.7%と、男性の 67.5%より 6.2 ポイント高くなっている。

【年代別】「知らない」が 30 歳代 (81.8%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (55.7%) と比べると 26.1 ポイントの差となっている。

◇消防団に入団した場合に関わってみたいこと

問 1 8 あなたが仮に消防団に入団した場合、関わってみたいことはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団に入団した場合に関わってみたいことは「応急手当や救護に関する訓練」と回答した人が25.6%



【全 体】消防団に入団した場合に関わってみたいことは、「応急手当や救護に関する訓練」が25.6%、「救護活動」が17.2%、「避難誘導」が17.0%となっている。

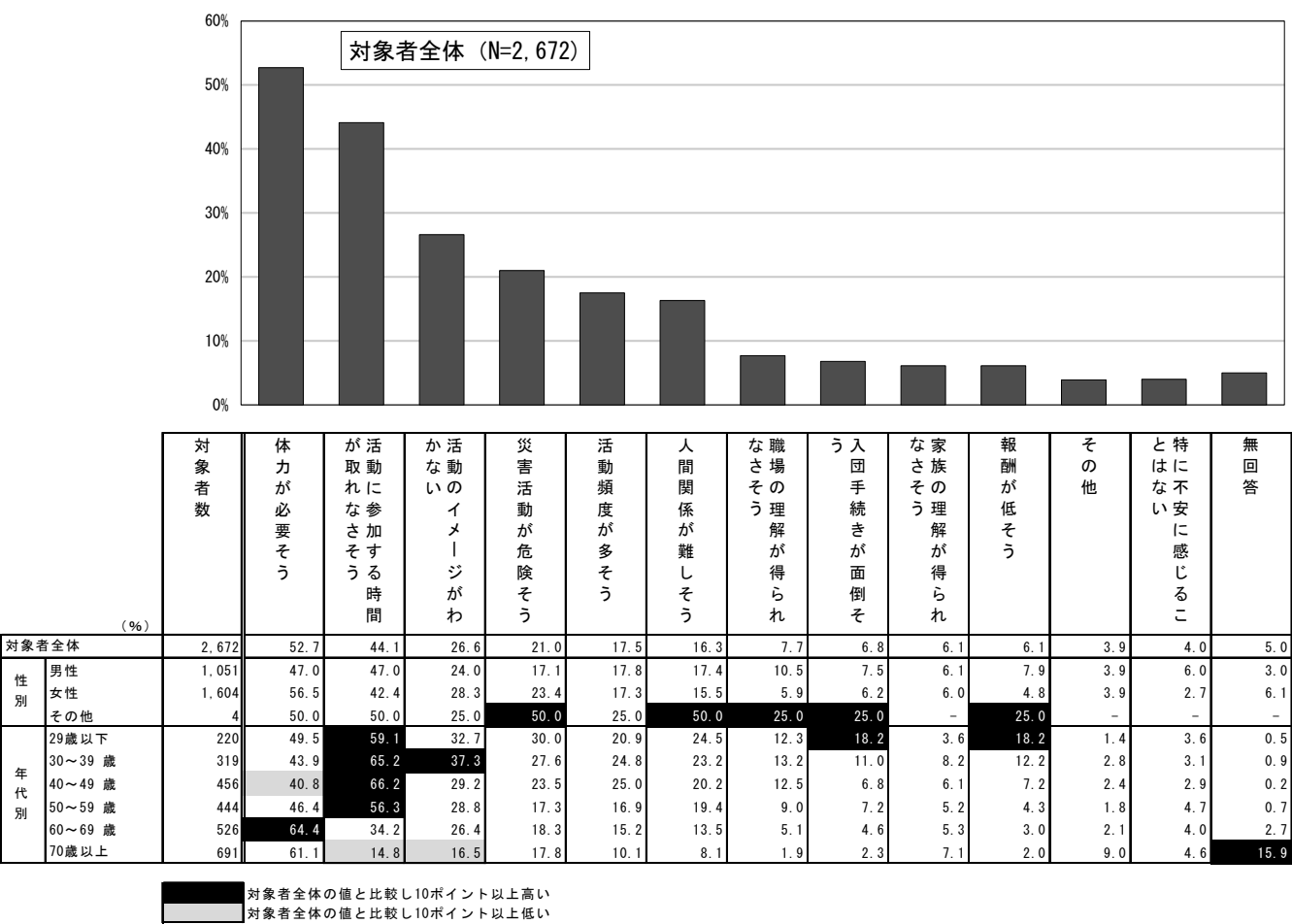
【性 別】「避難誘導」、「防災訓練」、「救助活動」、「防火パトロール」、「消火活動」は男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「応急手当や救護に関する訓練」が女性で30.1%と、男性の18.8%より11.3ポイント高くなっている。

【年代別】「応急手当や救護に関する訓練」では40歳代(33.1%)で最も高く、次いで30歳代(32.6%)、29歳以下(29.5%)となっている。

◇消防団に入団した場合に不安に感じること

問 1 9 あなたが仮に消防団に入団した場合、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団に入団した場合に不安に感じることは「体力が必要そう」と回答した人が 52.7%

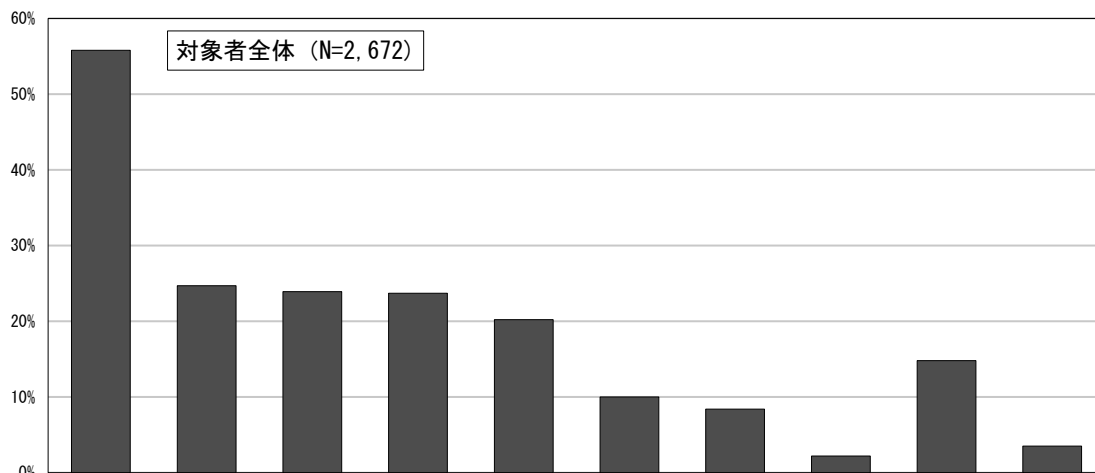


- 【全 体】消防団に入団した場合に不安に感じることは、「体力が必要そう」が 52.7%、「活動に参加する時間が取れなさそう」が 44.1%、「活動のイメージがわからない」が 26.6%となっている。
- 【性 別】「体力が必要そう」、「災害活動が危険そう」は女性が男性より 6.0 ポイント以上高くなっている。
- 【年代別】59 歳以下では「活動に参加する時間が取れなさそう」が、60 歳以上では「体力が必要そう」が最も高くなっている。

◇消防団を身近に感じるきっかけ

問 2 0 あなたはどのようなきっかけがあれば、消防団を身近に感じると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団を身近に感じるきっかけは「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」と回答した人が 55.8%



		対象者数	消防団の活動や訓練を間近に見たとき	消防団として地域行事に積極的に参加する姿を見たとき	消防団の活動や訓練を実際に体験したとき	消防団の経歴や活動を直接聞いたとき	仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき	報酬などの待遇面について知ることができたとき	ホームページや動画などで消防団を見たとき	その他	特になし	無回答
		(%)										
対象者全体		2,672	55.8	24.7	23.9	23.7	20.2	10.0	8.4	2.2	14.8	3.5
性別	男性	1,051	51.8	24.3	24.5	21.1	13.9	10.2	8.9	2.1	19.9	2.7
	女性	1,604	58.7	25.2	23.6	25.4	24.2	9.9	8.0	2.2	11.5	3.9
	その他	4	100.0	-	100.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	220	59.5	23.6	35.9	26.8	31.4	22.7	7.7	0.9	10.0	0.9
	30～39 歳	319	60.8	20.7	28.2	27.0	30.1	18.8	9.7	2.2	11.0	0.9
	40～49 歳	456	54.6	21.5	29.6	24.1	30.0	15.8	10.1	2.6	11.0	1.1
	50～59 歳	444	57.9	24.5	30.2	25.2	21.4	8.1	8.1	1.8	16.0	0.5
	60～69 歳	526	56.8	23.6	19.6	26.4	15.2	5.9	8.0	2.1	18.3	1.3
	70歳以上	691	51.5	30.1	13.9	17.8	8.5	2.3	7.4	2.9	17.2	10.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 消防団を身近に感じるきっかけは、「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」が 55.8%、「消防団として地域行事に積極的に参加する姿を見たとき」が 24.7%、「消防団の活動や訓練を実際に体験したとき」が 23.9%となっている。

【性 別】 「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」、「仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき」は女性が男性より 6.0 ポイント以上高くなっている。

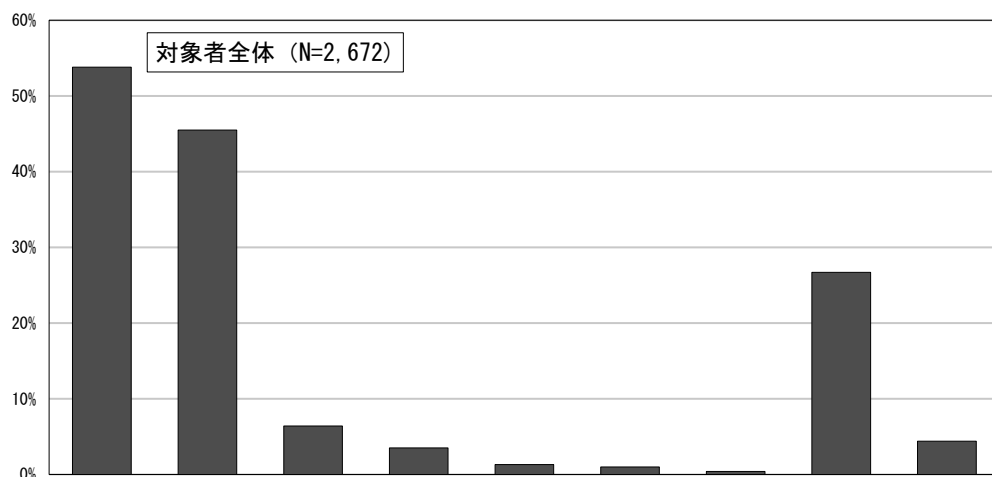
【年代別】 29 歳以下では「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」、「仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき」、「報酬などの待遇面について知ることができたとき」が全体と比べて 11.0 ポイント以上高くなっている。

(5) 札幌市における自殺対策について

◇自殺対策の取り組みの認知度

問 2 1 札幌市における次の自殺対策の取り組みのうち、あなたが知っていたものにいくつでも○をつけてください。

札幌市における自殺対策の取り組みで「北海道いのちの電話」を知っている人が 53.8%



		対象者数	北海道いのちの電話	札幌こころの健康づくり電話相談	札幌市依存症相談窓口	Webサイトのナビ「札幌」	ゲートキーパー研修	「マンガで知ろう」の役割	その他	知らない取り組み	無回答
		(%)									
対象者全体		2,672	53.8	45.5	6.4	3.5	1.3	1.0	0.4	26.7	4.4
性別	男性	1,051	43.0	38.4	7.6	3.6	1.3	1.0	0.3	37.4	3.8
	女性	1,604	60.8	50.2	5.6	3.4	1.2	1.1	0.4	19.6	4.7
	その他	4	100.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	220	45.9	54.1	6.8	5.9	2.7	2.7	-	30.0	1.8
	30～39 歳	319	47.6	36.7	4.7	5.0	1.6	1.3	0.3	36.4	0.3
	40～49 歳	456	52.4	47.8	4.4	5.0	1.8	1.3	0.4	29.2	1.1
	50～59 歳	444	59.5	44.6	5.4	4.5	1.8	1.6	0.2	26.8	1.4
	60～69 歳	526	60.8	47.5	6.7	3.0	1.0	-	0.2	24.1	2.1
	70歳以上	691	50.9	44.6	8.7	0.9	0.3	0.7	0.7	21.6	12.6

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】札幌市における自殺対策の取り組みの認知度は、「北海道いのちの電話」が 53.8%、「札幌こころのセンター心の健康づくり電話相談」が 45.5%、「札幌市依存症相談窓口」が 6.4% となっている。

【性 別】「北海道いのちの電話」が女性で 60.8%と、男性の 43.0%より 17.8 ポイント高くなっている。

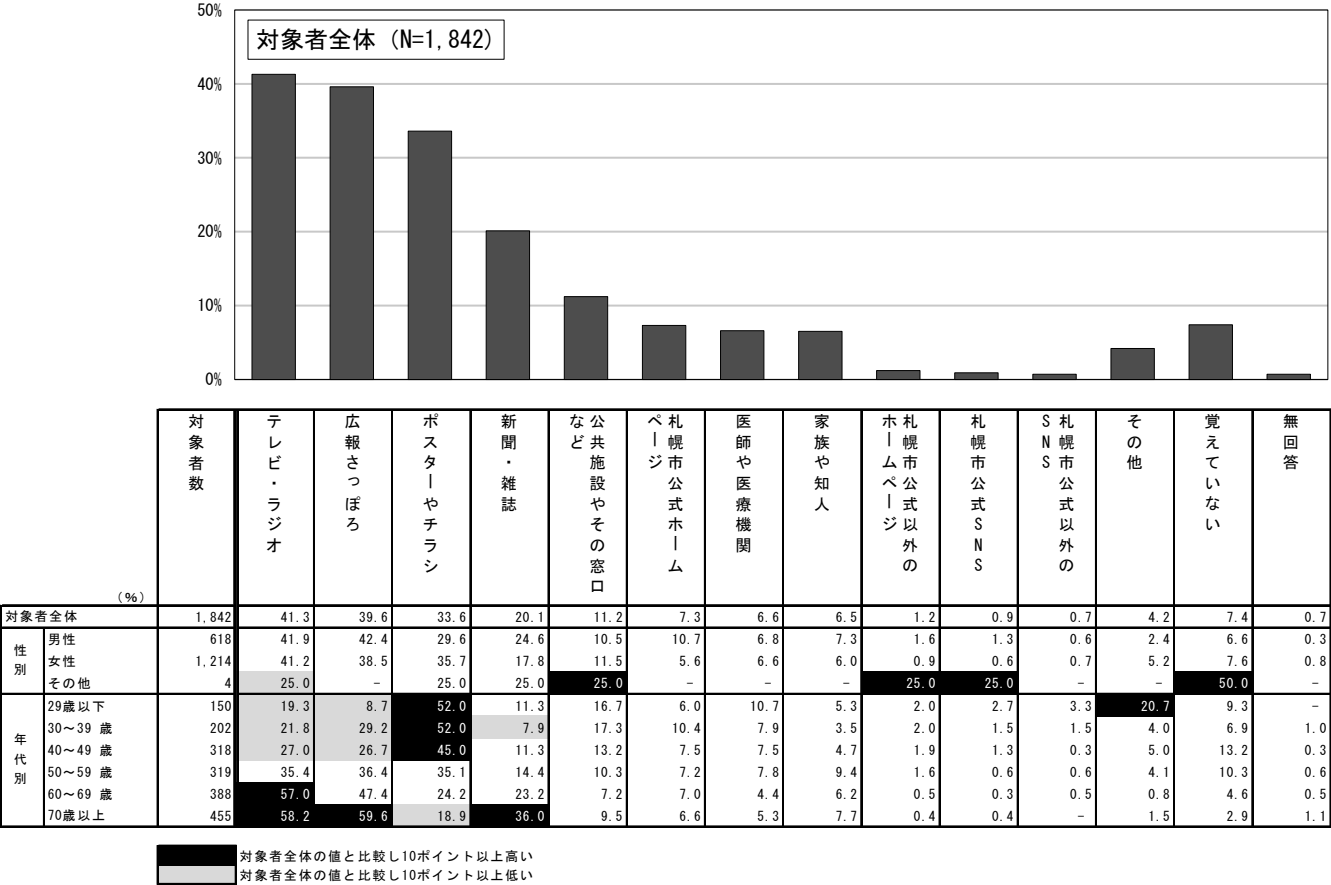
【年代別】29 歳以下は「札幌こころのセンター心の健康づくり電話相談」が、30 歳代以上では「北海道いのちの電話」が最も高くなっている。

◇自殺対策の取り組みを認知した方法

《問 2 1 で「1」～「7」のうち、一つでも自殺対策の取り組みを知っていたと答えた方にお聞きます。》

問 2 1-1 あなたは、札幌市の自殺対策の取り組みをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自殺対策の取り組み情報を「テレビ・ラジオ」で知った人が 41.3%



【全 体】自殺対策の取り組みを認知した方法は、「テレビ・ラジオ」が 41.3%、「広報さっぽろ」が 39.6%、「ポスターやチラシ」が 33.6%となっている。

【性 別】「ポスターやチラシ」が女性で 35.7%と、男性の 29.6%より 6.1 ポイント高くなっている。また、「新聞・雑誌」が男性で 24.6%と、女性の 17.8%より 6.8 ポイント高くなっている。

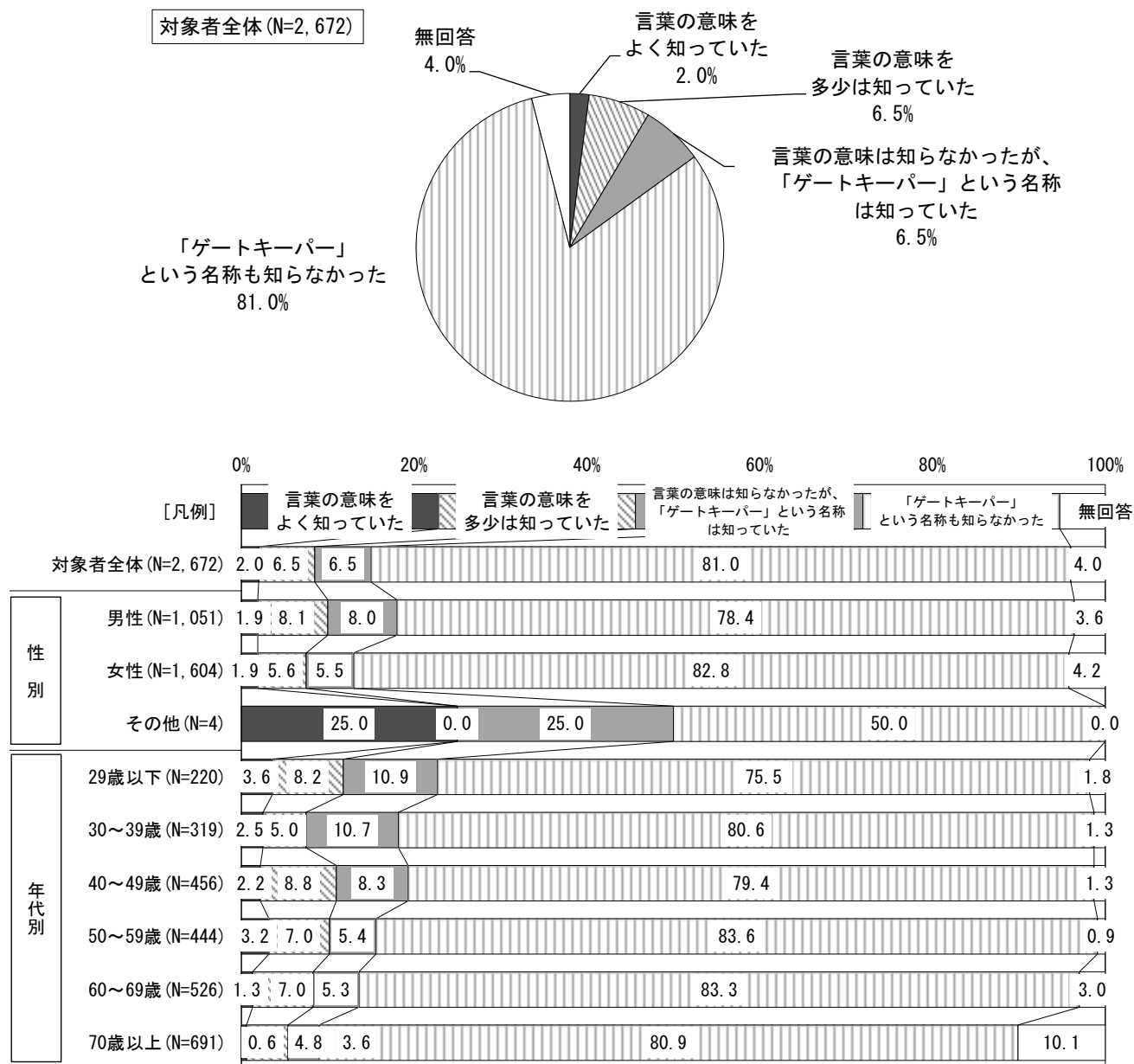
【年代別】49 歳以下では「ポスターやチラシ」が、50 歳代と 70 歳以上では「広報さっぽろ」が、60 歳代では「テレビ・ラジオ」が最も高くなっている。

◇ゲートキーパーの認知度

問 2 2 あなたは、前記の「ゲートキーパー」の意味は知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「ゲートキーパー」の意味を“知っていた”人は8.5%

※ “知っていた”（「言葉の意味をよく知っていた」＋「言葉の意味を多少は知っていた」）



【全 体】 ゲートキーパーの認知度は、「言葉の意味をよく知っていた」が2.0%、「言葉の意味を多少は知っていた」が6.5%、「言葉の意味は知らなかったが、ゲートキーパーという名称は知っていた」が6.5%、「ゲートキーパーという名称も知らなかった」が81.0%となっている。

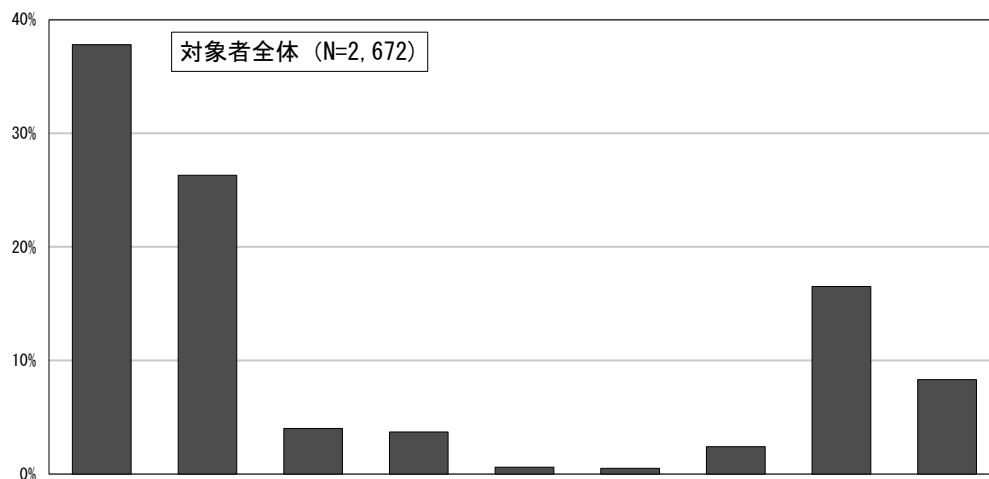
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「ゲートキーパーという言葉の意味を知っていた」が、29歳以下（11.8%）で最も高く、次いで40歳代（11.0%）、50歳代（10.2%）となっている。

◇悩んでいる人にきづいたときの対応方法

問 2 3 あなたは、周りにいる悩んでいる人にきづいたとき、どのように対応するのが最も望ましいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

悩んでいる人への対応は「声をかけてじっくりと話を聞く」人が 37.8%



		対象者数	声をかけてじっくりと話を聞く	心配していることを伝えて見守る	話しかけず、そっとしておく	元気を出すように励ます	気分転換のため外へ連れ出す	理由を問いただす	その他	わからない	無回答
		(%)									
対象者全体		2,672	37.8	26.3	4.0	3.7	0.6	0.5	2.4	16.5	8.3
性別	男性	1,051	40.4	18.9	5.5	4.6	1.1	1.0	2.4	18.9	7.1
	女性	1,604	36.0	31.4	3.0	3.1	0.3	0.2	2.2	14.9	8.9
	その他	4	50.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-
年代別	29歳以下	220	53.6	15.9	5.9	1.8	1.8	0.9	3.2	9.1	7.7
	30～39 歳	319	47.6	32.9	4.4	1.9	0.3	1.3	1.6	7.8	2.2
	40～49 歳	456	48.2	27.0	3.3	2.2	0.7	0.4	3.5	9.2	5.5
	50～59 歳	444	38.7	31.3	3.8	2.3	0.5	0.5	2.5	15.8	4.7
	60～69 歳	526	31.4	28.9	4.0	2.9	1.1	0.4	2.1	21.5	7.8
	70歳以上	691	25.8	21.3	3.8	7.5	0.1	0.3	1.7	24.3	15.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】悩んでいる人にきづいたときの対応方法は、「声をかけてじっくりと話を聞く」が 37.8%、「心配していることを伝えて見守る」が 26.3%、「話しかけず、そっとしておく」が 4.0% となっている。

【性 別】「心配していることを伝えて見守る」が女性で 31.4%と、男性の 18.9%より 12.5 ポイント高くなっている。

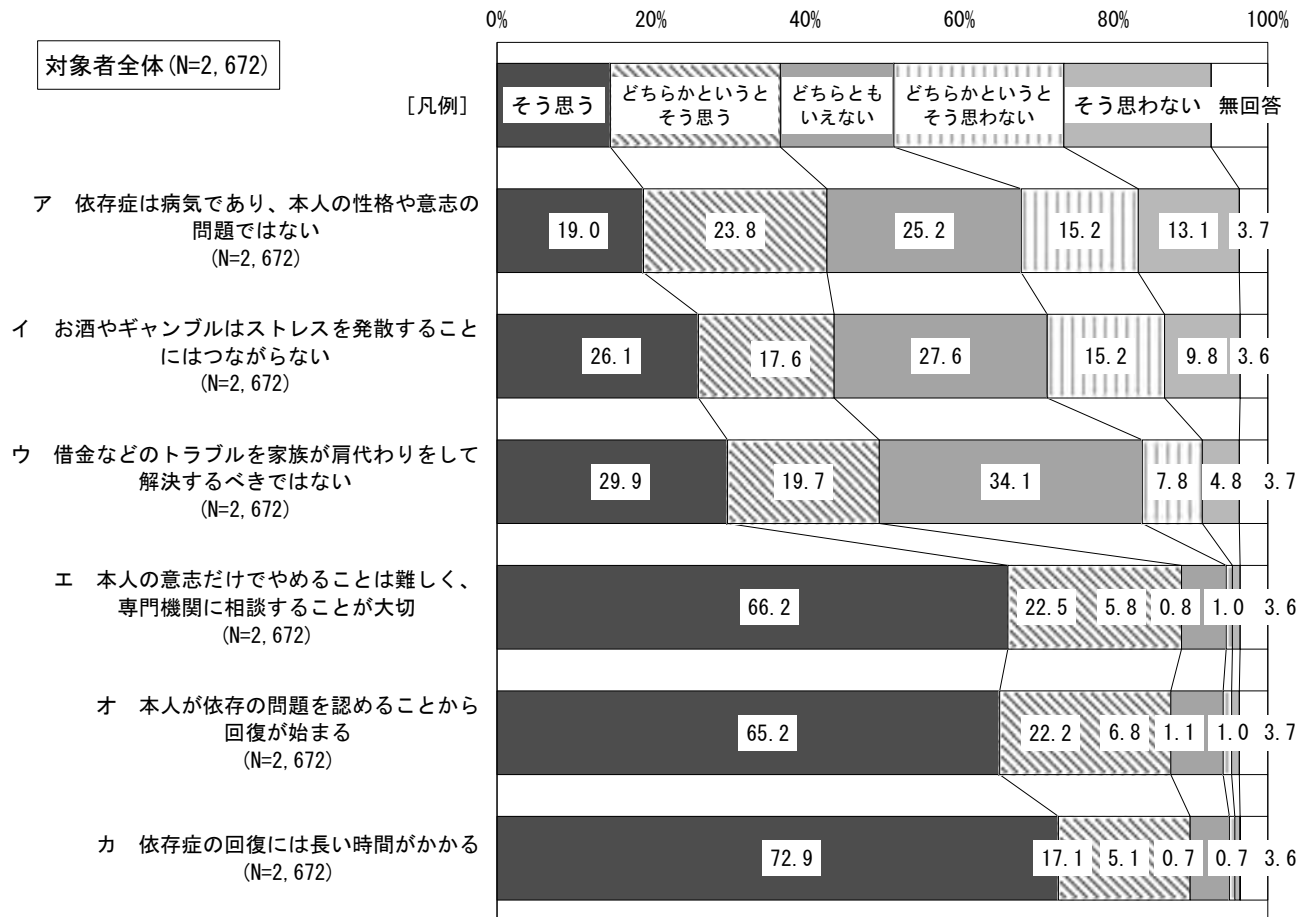
【年代別】「声をかけてじっくりと話を聞く」が 29 歳以下 (53.6%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (25.8%) と比べると 27.8 ポイントの差となっている。

◇依存症に関する考え方

問 2 4 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～カのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

依存症は病気であり、本人の性格や意思の問題ではないについて“そう思う”と回答した人が 42.9%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）



【全 体】“依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない”について「そう思う」が 19.0%、「どちらかというと思う」が 23.8%、合わせると 42.9%となっている。

“お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない”について「そう思う」が 26.1%、「どちらかというと思う」が 17.6%、合わせると 43.8%となっている。

“借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない”について「そう思う」が 29.9%、「どちらかというと思う」が 19.7%、合わせると 49.6%となっている。

“本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切”について「そう思う」が 66.2%、「どちらかというと思う」が 22.5%、合わせると 88.7%となっている。

“本人が依存の問題を認めることから回復が始まる”について、「そう思う」が 65.2%、「どちらかというと思う」が 22.2%、合わせると 87.4%となっている。

“依存症の回復には長い時間がかかる”について「そう思う」が 72.9%、「どちらかというと思う」が 17.1%、合わせると 90.0%となっている。

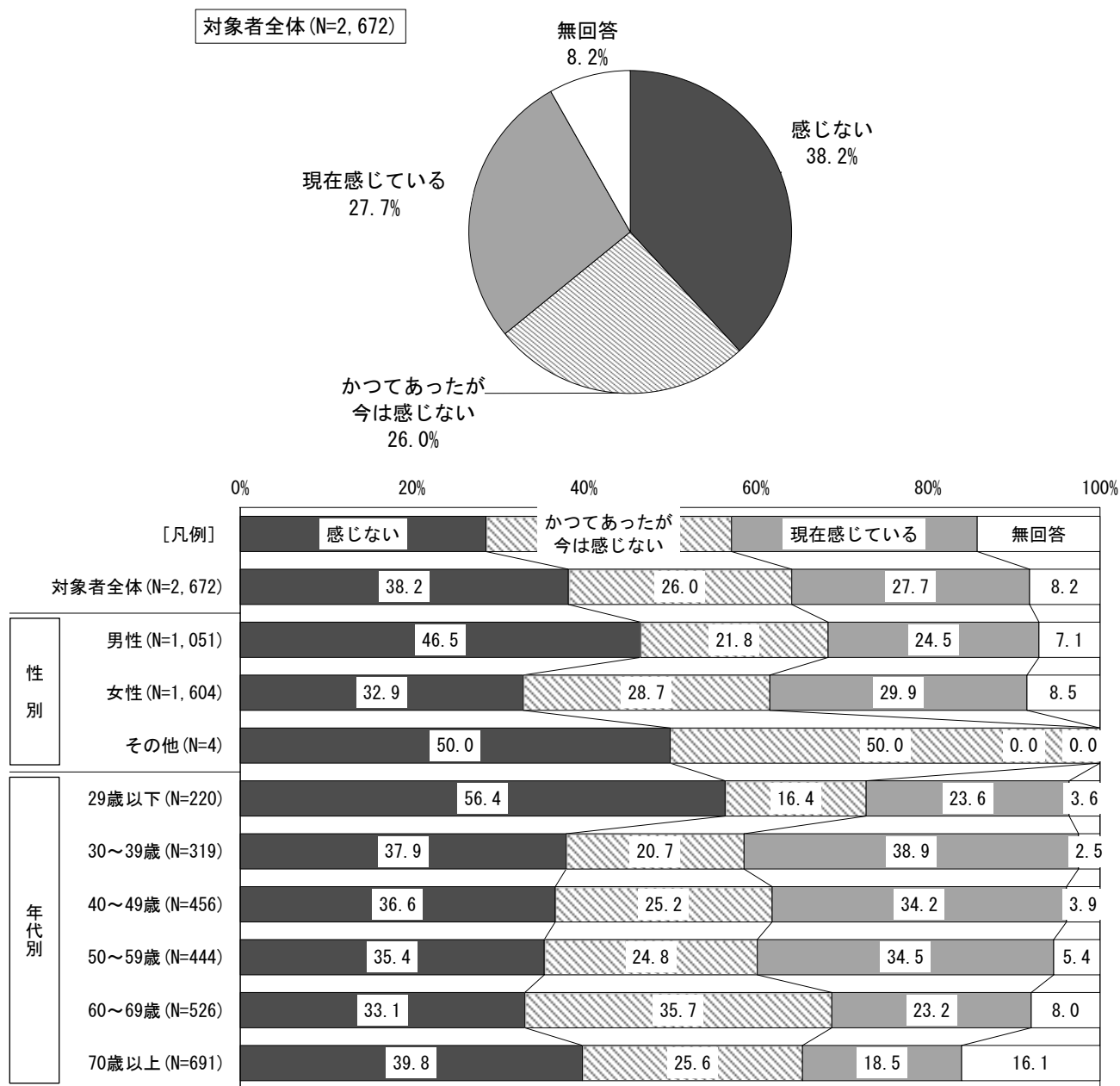
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

ア 家庭の問題・・・家族の不和、子育て、介護・看病など

家族の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 64.2%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】家庭の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 38.2%、「かつてあったが今は感じない」が 26.0%、合わせると 64.2%となっている。一方、「現在感じている」が 27.7%となっている。

【性 別】“感じない”が男性で 68.3%と、女性の 61.6%より 6.7 ポイント高くなっている。また、「現在感じている」は女性が 29.9%と、男性の 24.5%より 5.4 ポイント高くなっている。

【年代別】“感じない”が 29 歳以下 (72.7%) で最も高く、次いで 60 歳代 (68.8%)、70 歳代 (65.4%) となっている。

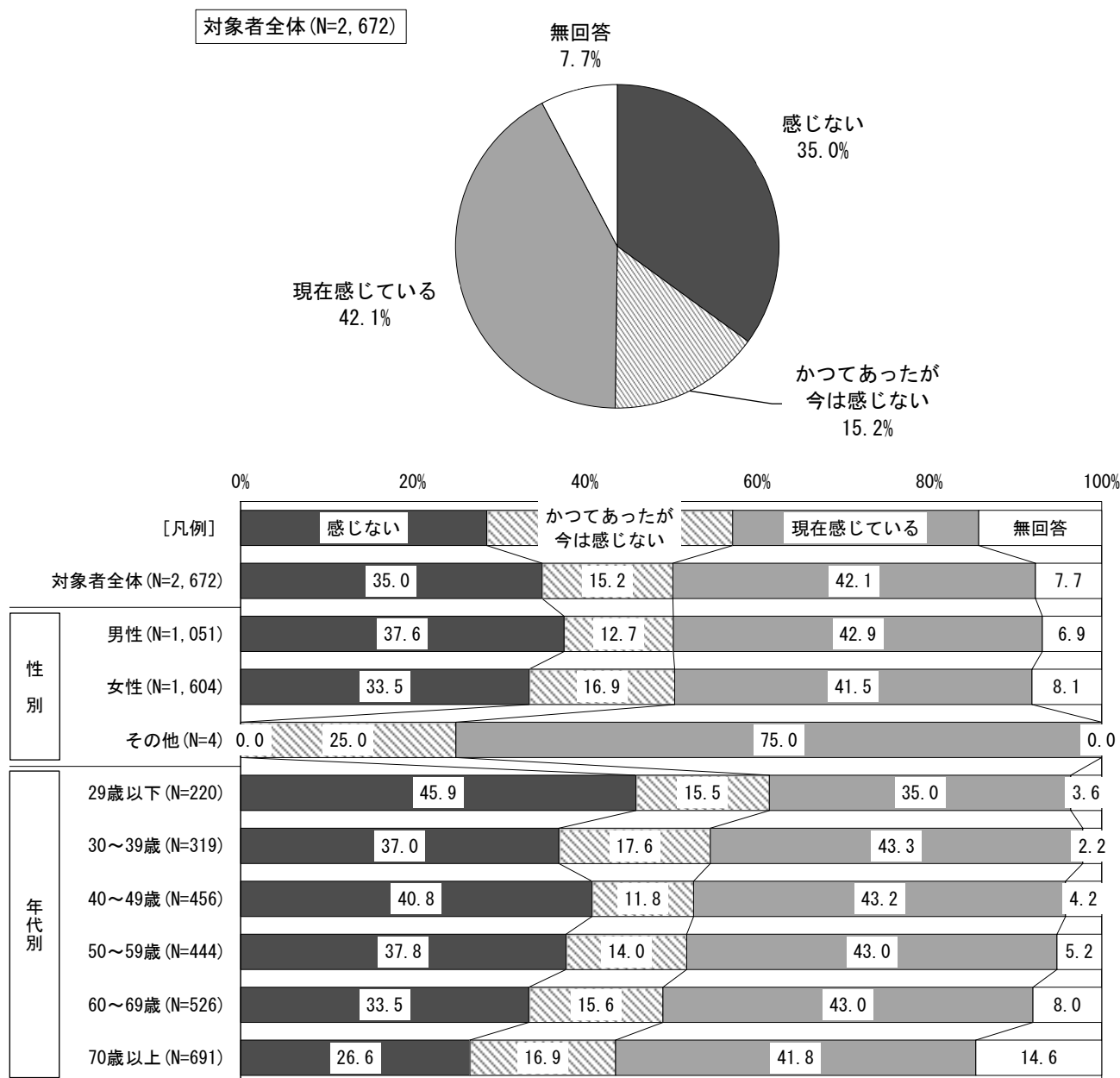
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

イ 健康の問題・・・自分の病気、体の悩み、心の悩みなど

健康の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 50.1%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】健康の問題に悩み苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 35.0%、「かつてあったが今は感じない」が 15.2%、合わせると 50.1%となっている。一方、「現在感じている」が 42.1%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“感じない”が 29 歳以下 (61.4%) で最も高く、次いで 30 歳代 (54.5%)、40 歳代 (52.6%) となっている。

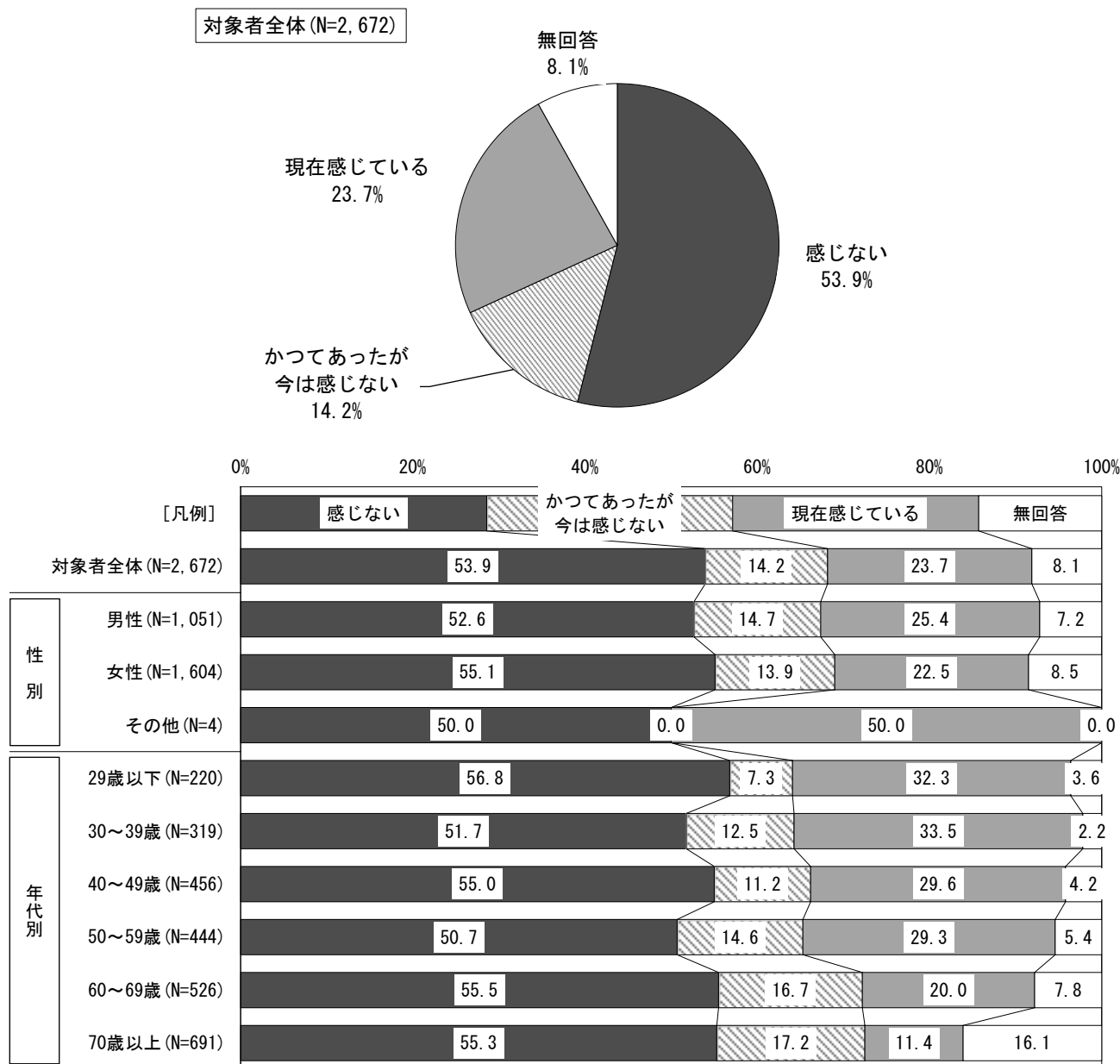
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ 経済的な問題・・・倒産、借金、失業、生活困窮など

経済的な問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 68.2%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】 経済的な問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 53.9%、「かつてあったが今は感じない」が 14.2%、合わせると 68.2%となっている。一方、「現在感じている」が 23.7%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “感じない” が 70 歳以上 (72.5%) で最も高く、次いで 60 歳代 (72.2%)、40 歳代 (66.2%) となっている。

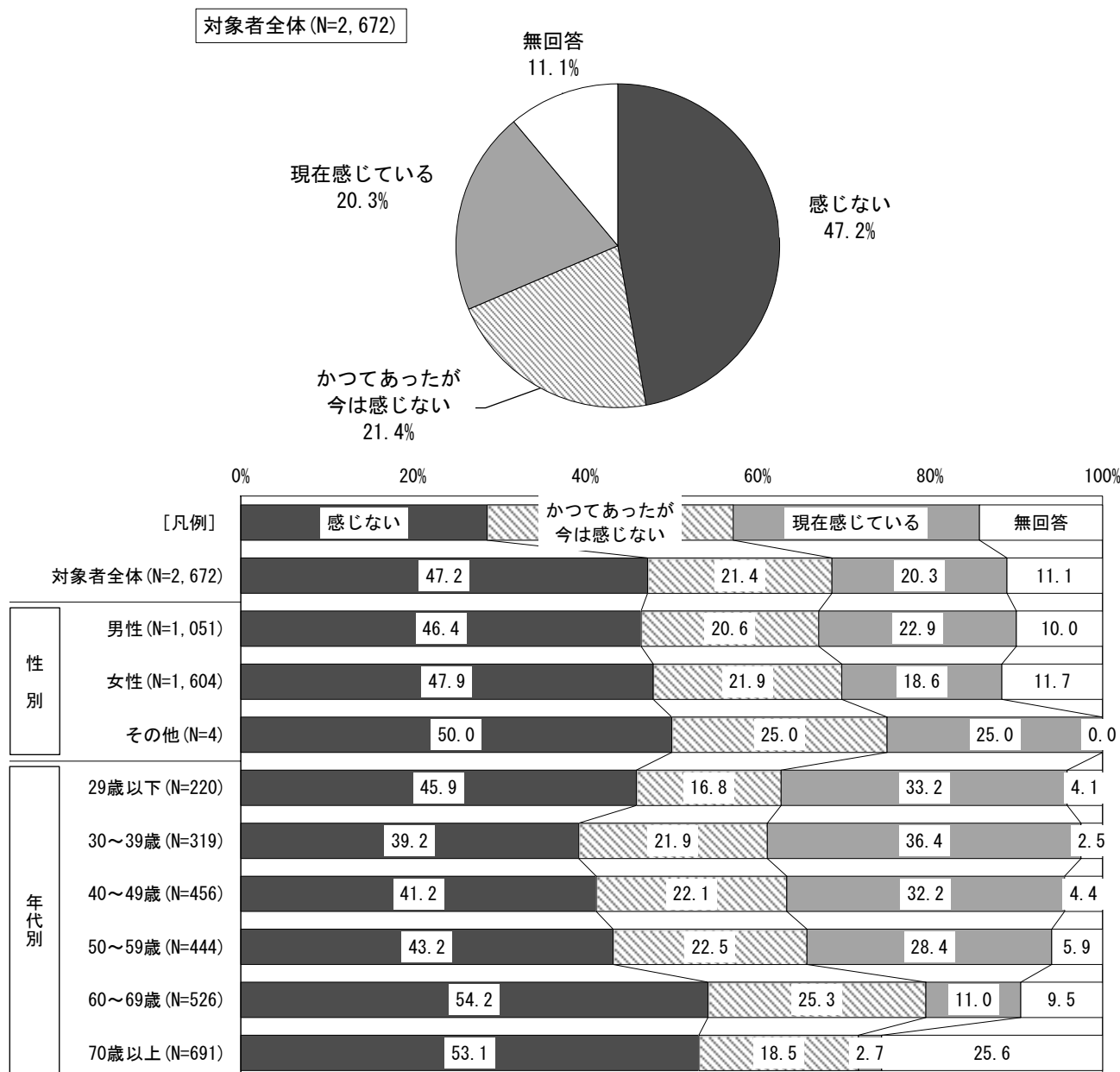
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

エ 勤務関係の問題・・・転勤、仕事不振、職場の人間関係など

勤務関係の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 68.6%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】勤務関係の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 47.2%、「かつてあったが今は感じない」が 21.4%、合わせると 68.6%となっている。一方、「現在感じている」が 20.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“感じない”が 60 歳代 (79.5%) で最も高く、次いで 70 歳以上 (71.6%)、50 歳代 (65.8%) となっている。

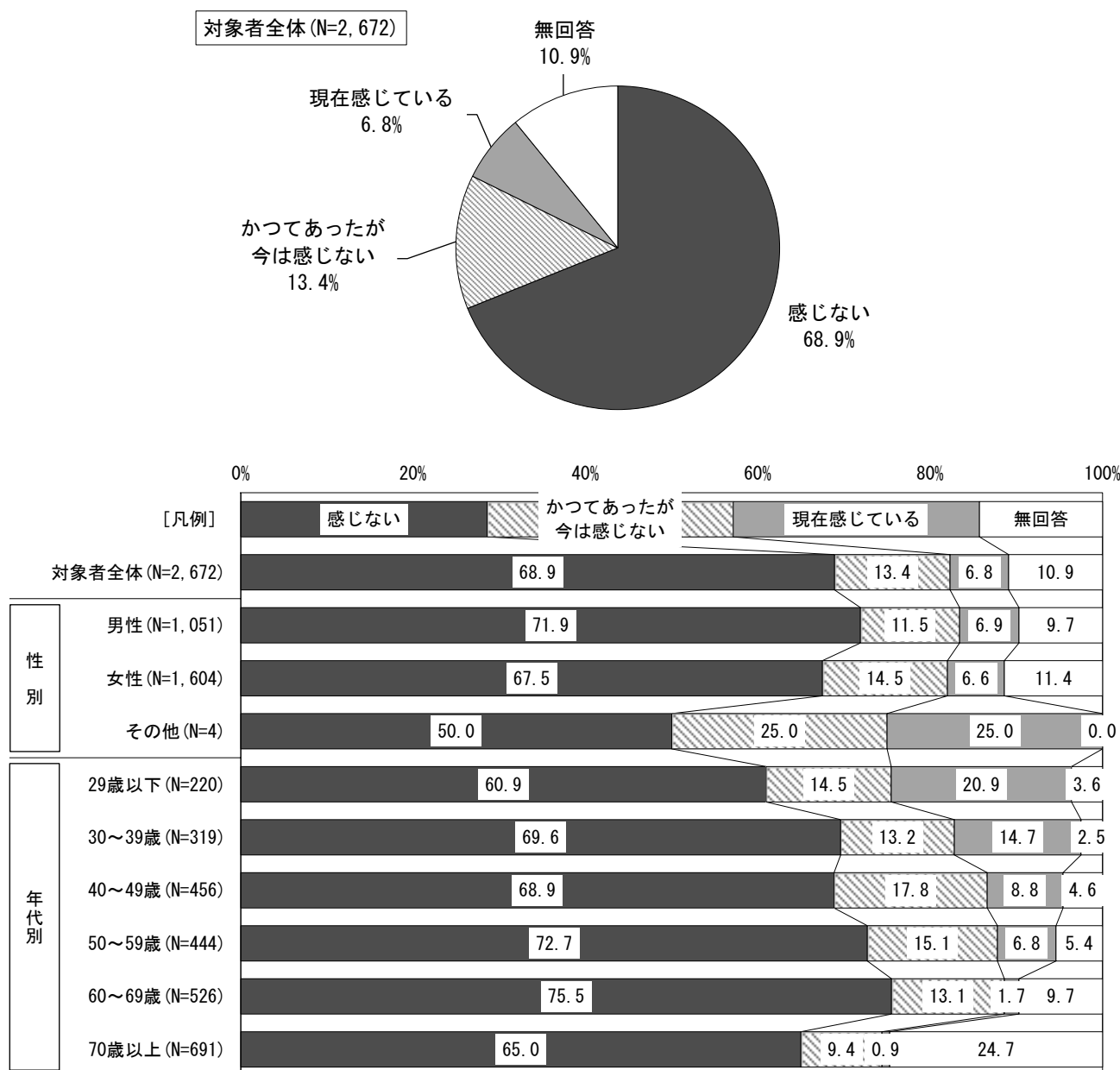
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

オ 恋愛関係の問題・・・失恋、結婚の悩みなど

恋愛関係の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 82.4%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】恋愛関係の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 68.9%、「かつてあったが今は感じない」が 13.4%、合わせると 82.4%となっている。一方、「現在感じている」が 6.8%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“感じない”が 60 歳代 (88.6%) で最も高く、次いで 50 歳代 (87.8%)、40 歳代 (86.6%) となっている。

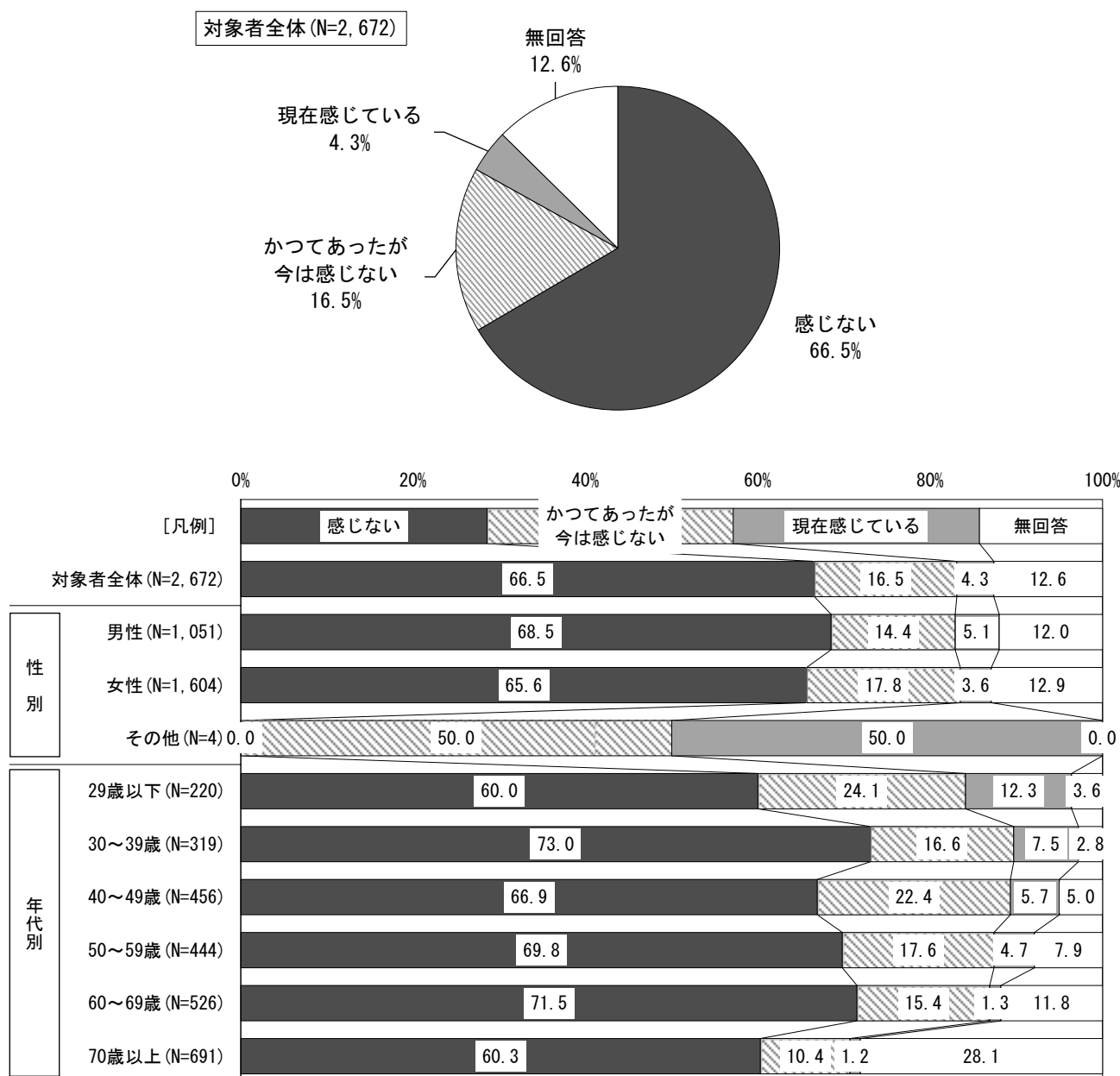
◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

カ 学校の問題・・・いじめ、学業不振、進路、学校での人間関係など

学校の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を“感じない”と回答した人が 83.0%

※ “感じない”（「感じない」＋「かつてあったが今は感じない」）



【全 体】学校の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「感じない」が 66.5%、「かつてあったが今は感じない」が 16.5%、合わせると 83.0%となっている。一方、「現在感じている」が 4.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

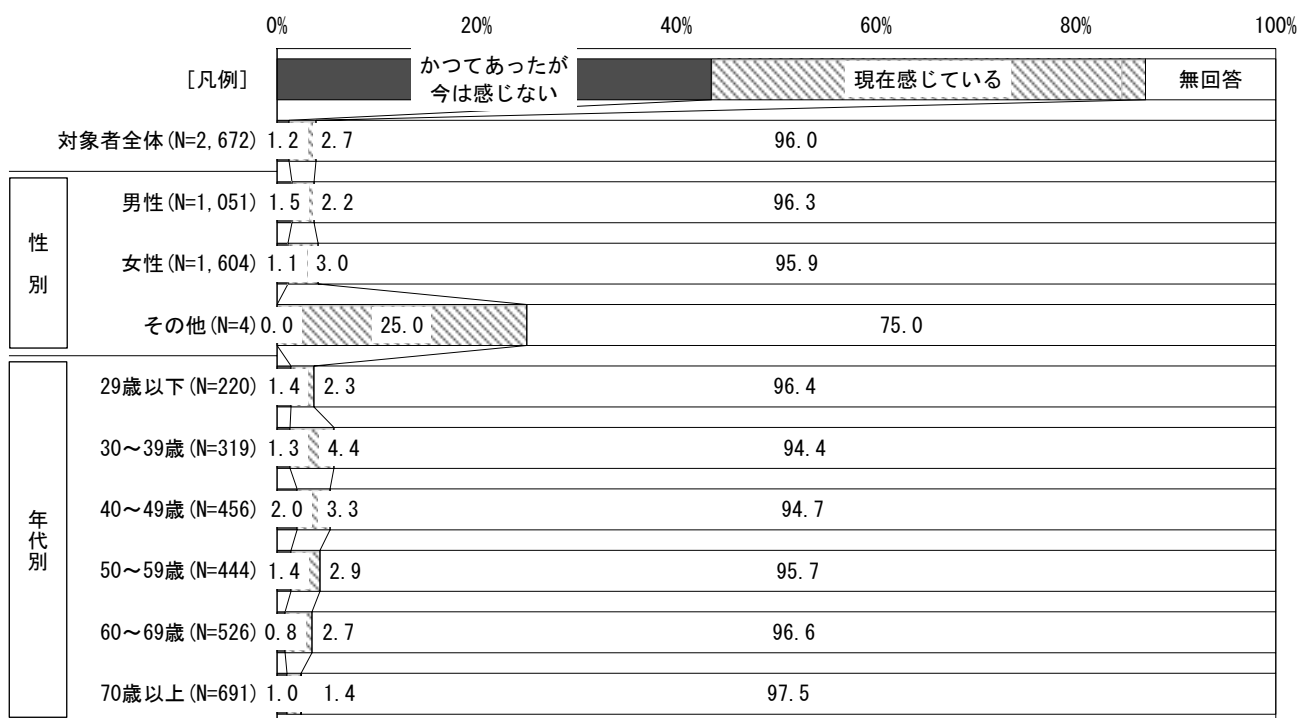
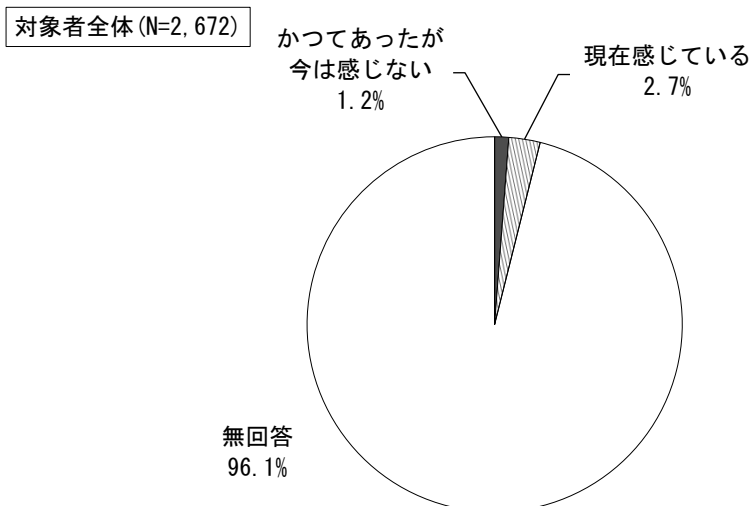
【年代別】“感じない”が 30 歳代 (89.7%) で最も高く、次いで 40 歳代 (89.3%)、50 歳代 (87.4%) となっている。

◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じる問題

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1 つずつ数字に○をつけてください。

キ その他

その他について不満を「かつてあったが今は感じない」と回答した人が 1.2%

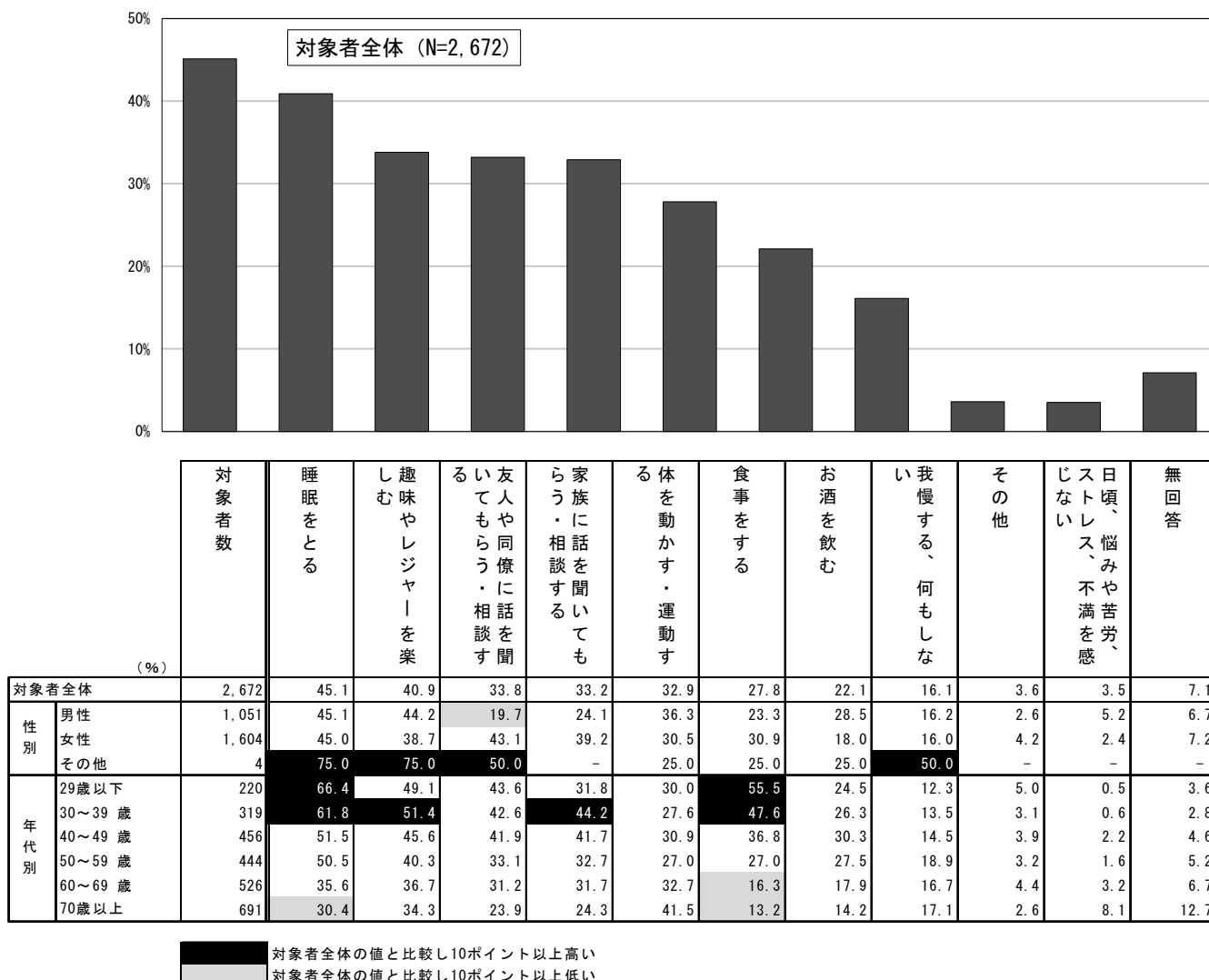


【全 体】その他の問題に悩みや苦労、ストレス、不満を感じるかについて、「かつてあったが今は感じない」が 1.2%、「現在感じている」が 2.7%となっている。

◇悩みや苦労、ストレス、不満を感じたときの対処方法

問 2 6 あなたは日頃、悩みや苦労、ストレス、不満を感じたとき、どのように対処していますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

悩みや苦労、ストレス、不満を感じたときは「睡眠をとる」と回答した人が 45.1%



【全 体】悩みや苦労、ストレス、不満を感じたときの対処方法は、「睡眠をとる」が 45.1%、「趣味やレジャーを楽しむ」が 40.9%、「友人や同僚に話を聞いてもらう・相談する」が 33.8%となっている。

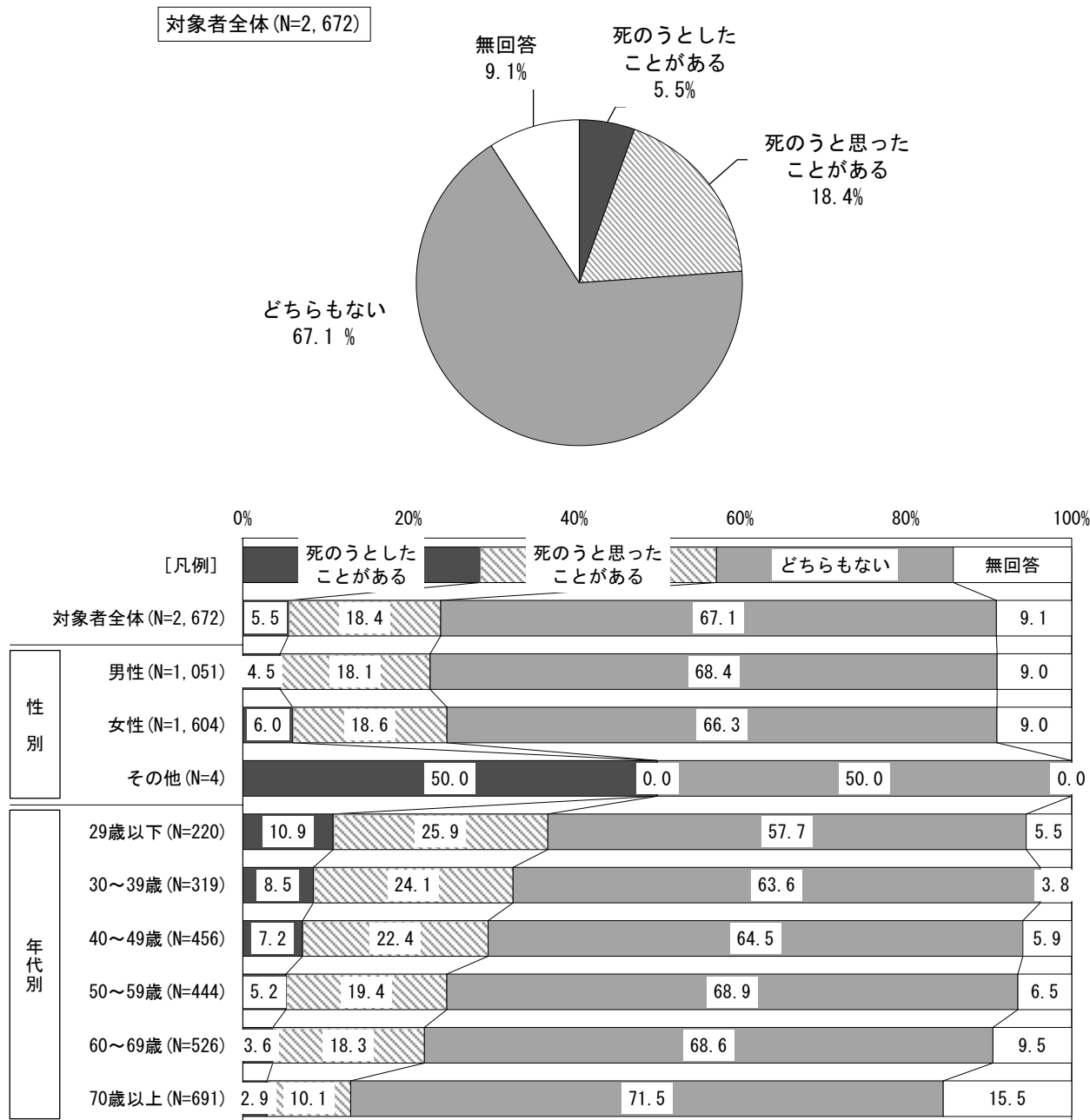
【性 別】「趣味やレジャーを楽しむ」、「体を動かす・運動する」、「お酒を飲む」は男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「友人や同僚に話を聞いてもらう・相談する」、「家族に話を聞いてもらう・相談する」、「食事をする」は女性が男性より 7.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】59 歳以下では「睡眠をとる」が、60 歳以上は「趣味やレジャーを楽しむ」が最も高くなっている。また、「睡眠をとる」、「食事をする」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇死のうとした、死のうと思った経験

問 2 7 あなたは今まで、死のうとした、または死のうと思ったことはありますか。あてはまるものに 1 だけ○をつけてください。

死のうとした、死のうと思った経験は「死のうと思ったことがある」と回答した人が 18.4%



【全 体】 死のうとした、死のうと思った経験は、「死のうとしたことがある」が 5.5%、「死のうと思ったことがある」が 18.4%、「どちらもない」が 67.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

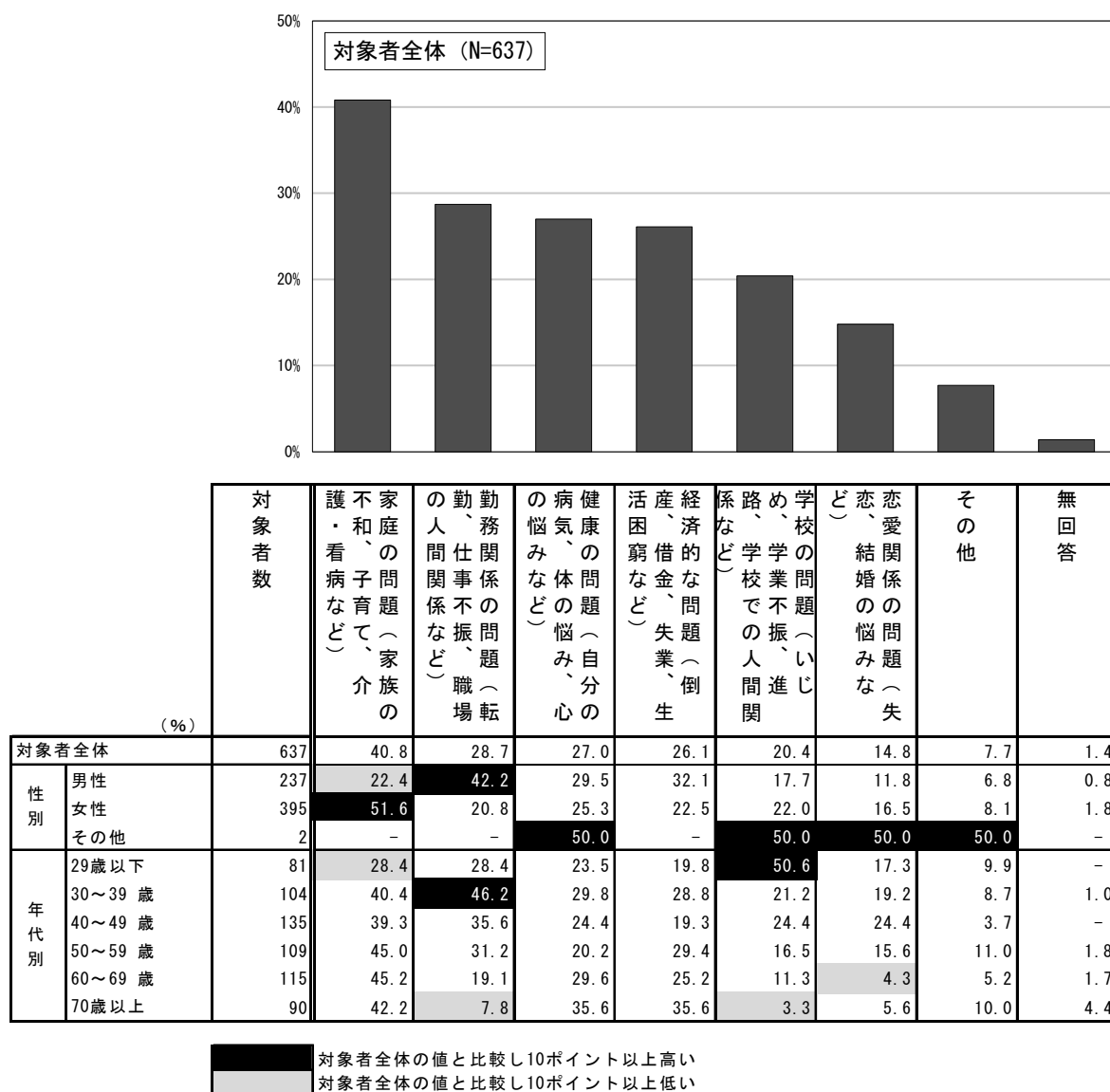
【年代別】 「死のうと思ったことがある」、「死のうとしたことがある」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「どちらもない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇死のうとした、死のうと思った原因

《問 2 7 で「1 死のうとしたことがある」または「2 死のうと思ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問 2 7-1 あなたが、死のうとした、または死のうと思った原因は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

死のうとした、死のうと思った原因は「家庭の問題」と回答した人が 40.8%



【全 体】死のうとした、死のうと思った原因は、「家庭の問題」が 40.8%、「勤務関係の問題」が 28.7%、「健康の問題」が 27.0%となっている。

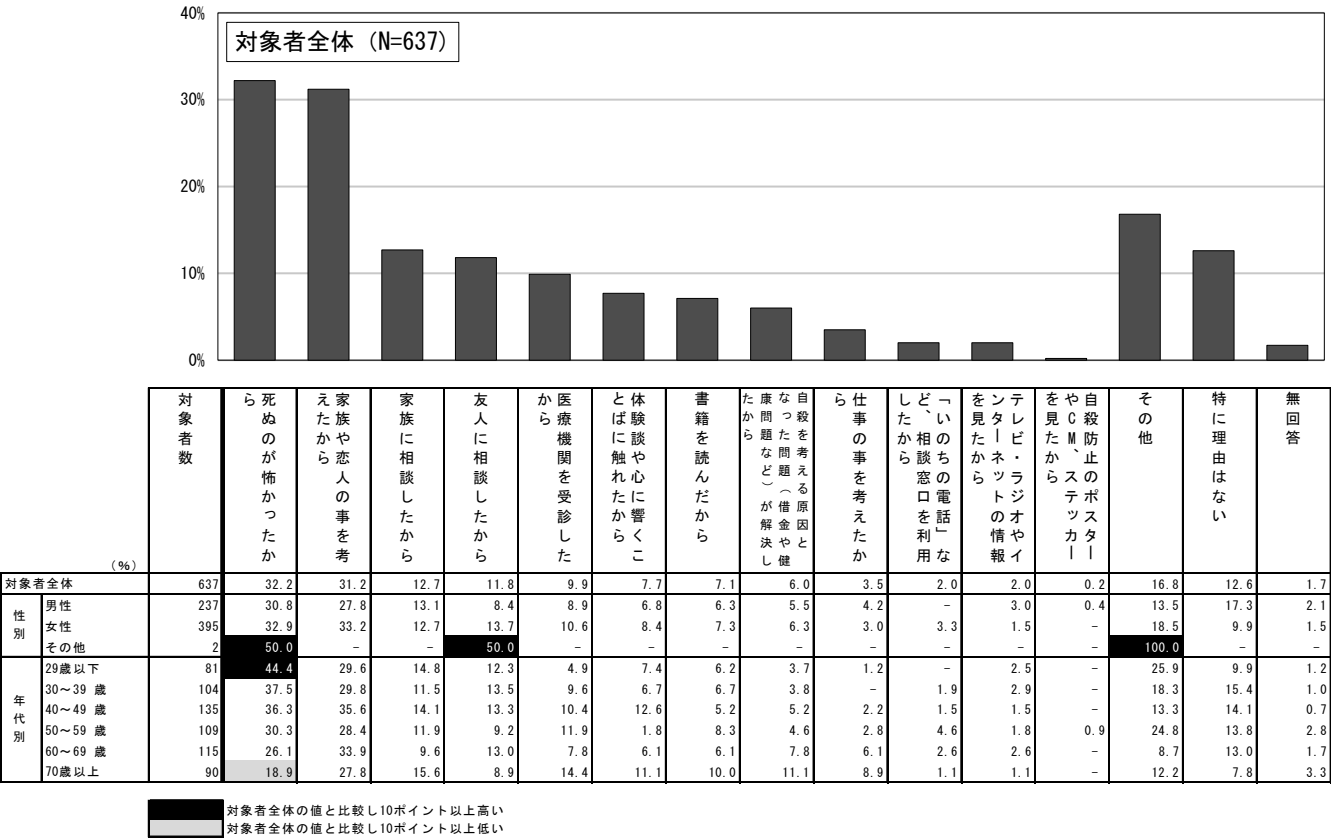
【性 別】「家庭の問題」が女性で 51.6%と、男性の 22.4%より 29.2 ポイント高くなっている。また、「勤務関係の問題」は男性が 42.2%と、女性の 20.8%より 21.4 ポイント高くなっている。

【年代別】29 歳以下では「学校の問題」が、30 歳代では「勤務関係の問題」が、40 歳以上では「家庭の問題」が最も高くなっている。

◇死のうとした、死のうと思った際に思いとどまった理由

問 2 7-2 あなたが、死のうとした、または死のうと思った際に、思いとどまったのはなぜですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

死のうとした、死のうと思った際に思いとどまった理由は「死ぬのが怖かったから」と回答した人が 32.2%

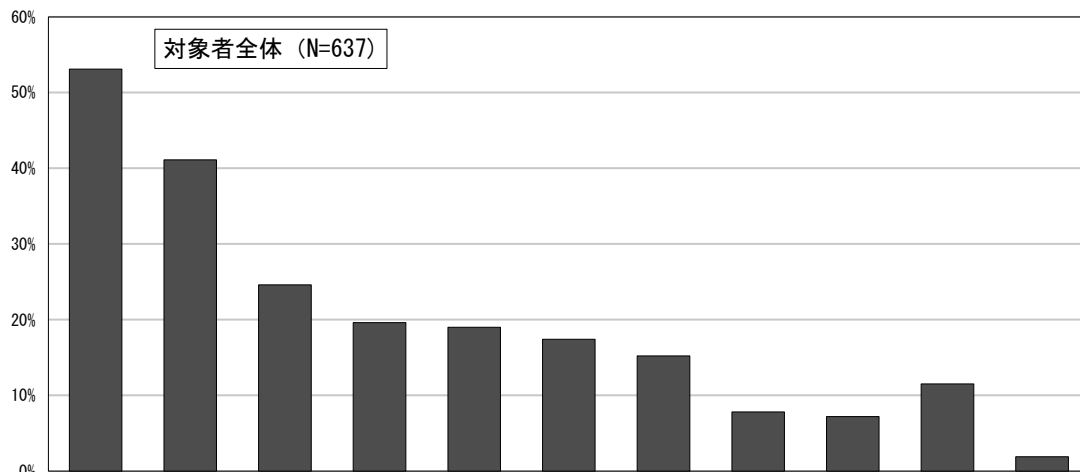


- 【全 体】死のうとした、死のうと思った際に思いとどまった理由は、「死ぬのが怖かったから」が 32.2%、「家族や恋人の事を考えたから」が 31.2%、「家族に相談したから」が 12.7%となっている。
- 【性 別】「家族や恋人の事を考えたから」、「友人に相談したから」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。
- 【年代別】59 歳以下では「死ぬのが怖かったから」が、60 歳以上では「家族や恋人の事を考えたから」が最も高くなっている。

◇死のうとした、死のうと思った際にあればよかった(もの)こと

問 2 7-3 今振り返ると、その際にどのようなことがあれば、よかったと思いますか。すでにあったものや利用したものも含め、あてはまるものいくつでも○をつけてください。

死のうとした、死のうと思った際にあればよかった(もの)ことは「心の支えとなるような日頃の人間関係」と回答した人が 53.1%



		対象者数	心の支えとなるような日頃の人間関係 (%)	相談にのってくれる人 (%)	休みをとれる環境 (%)	死にたいという気持ちに気づいて声をかけてくれる人 (%)	金銭的な援助(例: 食料、住居の提供など) (%)	専門機関・相談窓口の情報 (%)	精神科医療機関(クリニックなど) (%)	体験談や心にと響くこと(インタビューなど) (%)	その他 (%)	特になし (%)	無回答 (%)
対象者全体		637	53.1	41.1	24.6	19.6	19.0	17.4	15.2	7.8	7.2	11.5	1.9
性別	男性	237	52.7	40.9	20.3	18.1	18.6	13.1	13.9	5.1	8.4	13.5	1.7
	女性	395	52.9	41.3	27.1	20.3	19.0	20.0	15.9	9.4	6.6	10.1	2.0
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
年代別	29歳以下	81	51.9	44.4	46.9	30.9	25.9	12.3	17.3	11.1	7.4	12.3	-
	30～39 歳	104	57.7	44.2	31.7	24.0	22.1	21.2	17.3	9.6	10.6	14.4	-
	40～49 歳	135	59.3	45.2	25.9	21.5	24.4	21.5	16.3	9.6	5.2	11.1	0.7
	50～59 歳	109	46.8	38.5	24.8	17.4	16.5	19.3	18.3	8.3	10.1	8.3	1.8
	60～69 歳	115	47.8	34.8	14.8	13.0	10.4	17.4	10.4	5.2	3.5	13.0	1.7
	70歳以上	90	53.3	40.0	6.7	12.2	14.4	8.9	11.1	2.2	7.8	8.9	7.8

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】死のうとした、死のうと思った際にあればよかった(もの) ことについては、「心の支えとなるような日頃の人間関係」が 53.1%と最も高く、次いで「相談にのってくれる人」が 41.1%、「休みをとれる環境」が 24.6%となっている。

【性 別】「休みをとれる環境」、「問題に合った専門機関・相談窓口の情報」は女性が男性より 6.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「休みをとれる環境」、「死にたいという気持ちに気づいて声をかけてくれる人」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

資料 調査票

令和3年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和3年7月9日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 井上 ☎ 011-211-2045 まで

テーマ1 さっぽろえきバスナビについて

札幌市では、利用しやすい公共交通を目指して、「さっぽろえきバスナビ」を運営し、公共交通機関に関する情報を提供しています。

今後もより多くの利用者に有益な情報提供を行っていくため、皆さまの公共交通の情報提供に関する意識などをお聞きし、今後のサイト運営の参考とさせていただきます。

【さっぽろえきバスナビの主な機能について】

パソコンやスマートフォンなどから、市内の地下鉄・路面電車(市電)・バス・JRの時刻、運賃、乗継ルート、バスの現在位置などの情報を手軽に検索することができます。



えきバスナビは
コチラから

問1 あなたが、普段利用している交通手段は何ですか。よく利用しているものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1 地下鉄 | 2 バス |
| 3 路面電車(市電) | 4 JR(鉄道) |
| 5 タクシー | 6 自家用車 |
| 7 自転車 | 8 その他() |
| 9 利用していない | |

問2 あなたは、さっぽろえきバスナビを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | | |
|------------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|---|
| 1 知っていて、利用している | ⇒ | 問2-1 | 問2-2 | 問2-3 | 問2-4 | へ |
| 2 知っていたが、利用していない | ⇒ | 問2-5 | へ | | | |
| 3 知らなかった | ⇒ | 問3 | へ | | | |

《**問2**で「1 知っていて、利用している」と答えた方にお聞きます。》

問2-1 あなたは、どのような場面でさっぽろえきバスナビを利用していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 買い物 | 2 レジャー・外食 |
| 3 通勤・通学 | 4 通院 |
| 5 仕事上の外出 | 6 その他() |

問2-2 あなたは、さっぽろえきバスナビをどのくらいの頻度で利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 週5日以上 | 2 週1～4日程度 |
| 3 月1～3日程度 | 4 年に数回以下 |

問 2－3 あなたが札幌市内を移動するにあたって、さっぽろえきバスナビは役に立っていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とても役に立っている | 2 役に立っている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり役に立っていない |
| 5 役に立っていない | |

問 2－4 あなたが、さっぽろえきバスナビでよく利用する、または便利と感じる機能は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 発着地を自分で入力して乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能
- 2 発着地を地図から選択し、乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能
- 3 発着地を路線図から選択し、乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能
- 4 施設や住所を発着地に設定し、乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能
- 5 G P S機能を活用して近くの駅や停留所を発着地に設定し、乗継経路や時刻・運賃などを検索する機能
- 6 特定の停留所や駅の時刻表を検索する機能
- 7 バスの現在位置や到着予測時間を検索する機能
- 8 停留所の位置を地図上に表示する機能
- 9 よく利用する検索内容をお気に入りに登録する機能
- 10 地下鉄運休情報を配信する機能
- 11 その他 ()
- 12 特になし

《**問 2**で「2 知っていたが、利用していない」と答えた方にお聞きします。》

問 2－5 あなたが、さっぽろえきバスナビを利用していない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 紙の時刻表を利用しているため
- 2 他の検索アプリなどを利用しているため
- 3 利用方法がわからないため
- 4 過去に利用したが、利用しにくかったため
- 5 経路や時刻などを覚えており、利用する必要があるため
- 6 公共交通機関を利用しないため
- 7 インターネットを利用していないため
- 8 その他 ()

《皆さまにお聞きます。》

問3 あなたが、今後さっぽろえきバスナビを利用する、または利用しようとする場合に、必要な機能等は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 より簡単に乗継経路や時刻・運賃などが検索できる操作性の向上
- 2 ダイヤ改正日の数日前から、新しいダイヤを検索できる機能の追加
- 3 現在位置から駅や停留所までの経路の表示など地図機能との連動強化
- 4 よく利用する検索内容をお気に入りに登録する機能の追加（現在アプリ版のみ提供）
- 5 大型ディスプレイなどによる公共交通機関の運行情報等の提供
- 6 発着地に設定できる施設の充実
- 7 情報掲載範囲を札幌市近郊まで拡大
- 8 対話（チャット）型の検索など最新の情報技術を活用した検索機能の追加
- 9 タクシーや公共施設などの予約や決済ができる機能の追加
- 10 その他（ ）
- 11 現状どおりで良い（特にない）

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

新型コロナウイルスと闘う医療従事者に感謝とエールを送ろう！

札幌市では、医療従事者としての誇りを胸に市民の生命を守るため、日夜奮闘する医療従事者の皆さまに対し、心からの感謝の気持ちを伝えるとともに、少しでも心の支えとなっていたけよう応援メッセージを募集しています。

札幌市医療従事者応援プロジェクト

「新型コロナウイルスと闘う医療従事者に応援メッセージを！」

札幌市 応援メッセージ 検索



テーマ2 さぽーとほっと基金について

札幌市のさぽーとほっと基金は、皆さまからの寄付を募り、町内会・ボランティア団体・NPO などが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支えています。

そこで、市民の皆さまの基金に関する意識や関心のある活動分野をお聞きし、今後の施策の参考とさせていただきます。

問4 あなたは、さぽーとほっと基金を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------------------------|---------------|---|-------------|-------------|---|
| 1 よく知っている | } | ⇒ | 問4-1 | 問4-2 | へ |
| 2 どのような内容の基金か、ある程度知っている | | | | | |
| 3 名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない | | | | | |
| 4 知らない | ⇒ 問5 へ | | | | |

《**問4**で「1 よく知っている」、「2 どのような内容の基金か、ある程度知っている」、「3 名称は知っているが、どのような内容の基金か知らない」と答えた方にお聞きします。》

問4-1 あなたが、さぽーとほっと基金を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 札幌市が発行している冊子やパンフレット |
| 2 札幌市公式ホームページ |
| 3 さぽーとほっと基金に寄付している企業の活動を通じて |
| 4 市民まちづくり活動を行っている団体から紹介された |
| 5 イベントや展示など |
| 6 テレビ・ラジオ・新聞 |
| 7 家族や知人からの口コミ |
| 8 他の窓口などで紹介された |
| 9 その他 () |

問4-2 あなたは、さぽーとほっと基金に寄付をしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------|
| 1 はい |
| 2 いいえ |

さぽーとほっと基金では、寄付の行き先として、さぽーとほっと基金登録団体や分野、テーマを指定することができます。

《皆さまにお聞きます。》

問5 あなたは、今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 寄付したい
- 2 共感する活動・団体・テーマがあれば寄付したい
- 3 制度について理解を進めてから検討したい
- 4 寄付したくない

問6 あなたが、寄付をする際に重要だと思うことは何ですか。あてはまるものを2つまで○をつけてください。

- 1 使い道の透明性が担保されている
- 2 情報発信・報告がしっかりしている
- 3 活動内容に共感できる
- 4 活動成果が具体的である
- 5 身近に活動していて親しみが持てる
- 6 寄付することで感謝状などの特典がある
- 7 その他（ ）
- 8 特にない

問7 あなたが、寄付をする先として興味・関心の高いまちづくり活動の分野・テーマを教えてください。あてはまるものをいくつでも○をつけてください。

- 1 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- 2 まちづくりの推進を図る活動
- 3 文化・スポーツ・観光・経済等の振興を図る活動
- 4 子どもの健全育成を図る活動
- 5 新型コロナウイルス感染症対策市民活動
- 6 東日本大震災被災者支援
- 7 北海道胆振東部地震被災者支援
- 8 その他の災害被災者支援
- 9 その他（ ）
- 10 興味のある活動はない

テーマ3 応急手当について

病気や事故で倒れてしまった方などの命を救うためには、救急車が到着するまでの間、胸骨圧迫（心臓マッサージ）などの応急手当をすることが重要です。

札幌市ではこれまで、応急手当講習を開催するとともに、119番通報時に応急手当の方法を電話口で教えるなどの取り組みを行っております。

そこで、皆さまに応急手当に関する意識などをお聞きし、今後の普及啓発事業の参考にさせていただきます。

現在、札幌市では市民防災センターで応急手当講習を開催したり、町内会等に講師を派遣して講習を実施しています。

この講習では、心臓が停止した人に対する心肺蘇生法やAEDの使い方、口や喉に物が詰まった時の除去法、出血時の止血法、乳幼児などの子どもに対して行う応急手当などを学ぶことができます。

問 8 あなたは今後、応急手当講習を受けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 受けたい
2 どちらかといえば受けたい
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば受けたくない
5 受けたくない
- } ⇒ 問9 へ
- } ⇒ 問8-1 へ

《問8で「4 どちらかといえば受けたくない」または「5 受けたくない」と答えた方にお聞きます。》

問 8-1 あなたが、受けたくない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------------|----|---------------------|
| 1 | どのような講習を行っているかわからない | 2 | 講習を受ける時間がない |
| 3 | 実施場所まで行くのが大変 | 4 | 応急手当をしたくない |
| 5 | 応急手当に興味がない | 6 | 人の集まる講習では感染症のリスクがある |
| 7 | 十分な知識や技術がある | 8 | 過去に受講したことがある |
| 9 | その他（ ） | 10 | 特に理由はない |

《皆さまにお聞きします。》

問9 あなたは、どのような講習内容が良いと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 応急手当に関する簡単な動画視聴 (15分程度)
- 2 応急手当の流れを確認できる (30分程度)
- 3 応急手当の流れを確認し、実技を一通り体験できる (60分程度)
- 4 応急手当の詳細を学び、実技を習得できる (180分程度)
- 5 わからない

問 1 0 応急手当に関する講習について、あなたが受講しやすいと思う開催方法は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 市民防災センターで開催する講習
- 2 町内会等への講師派遣型の講習
- 3 ショッピングセンター等のイベントでの講習
- 4 WEB会議システムにより、オンラインで講師が指導する講習
- 5 スマートフォン等で応急手当のアプリケーションをダウンロードして実施する講習
- 6 動画共有サービス（Y o u T u b e 等）で応急手当動画を視聴する講習
- 7 その他（ ）
- 8 特にない

札幌市では、自宅など身近な環境で応急手当を学ぶための手法として、WEB会議システムなどのオンラインサービスを導入することを検討しております。

問 1 1 あなたは普段、WEB会議システムを使用していますか。または使用したいと考えていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------|---|---|--------------------|
| 1 使用している | } | ⇒ | 問 1 1 - 1 へ |
| 2 使用していないが、今後使用したい | | | |
| 3 使用していないし、今後も使用しない | | ⇒ | 問 1 2 へ |

《**問 1 1**で「1 使用している」または「2 使用していないが、今後使用したい」と答えた方にお聞きします。》

問 1 1 - 1 あなたは、どのようなWEB会議システムを使用していますか。または使用したいと考えていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 Z o o m （ズーム） | 2 s k y p e （スカイプ） |
| 3 G o o g l e M e e t （グーグル ミート） | 4 M i c r o s o f t T e a m s （マイクロソフト チームス） |
| 5 R e m o t e M e e t i n g （リモート ミーティング） | 6 C a l l i n g （コーリング） |
| 7 その他（ ） | 8 わからない |

《皆さまにお聞きします。》

問 1 2 あなたは、心臓や呼吸の止まった人のそばに居合わせて119番通報をしたとき、どのような手助け(支援)がほしいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 消防指令員が応急手当の方法を電話口で説明する
- 2 通報者がスマートフォンで現場の状況を映像送信し、消防指令員が映像をもとに説明する
- 3 通報したスマートフォンに応急手当の動画を送付する
- 4 その他（ ）
- 5 特に支援を必要としない

テーマ4 消防団について

札幌市では、自然災害などへの対応策として、地域防災体制の強化に力を入れています。この地域防災を担う組織の一つに消防団がありますが、近年、消防団員のなり手不足が問題となっています。

そこで、皆さまの消防団への関心度などについてお聞きし、今後の消防団活動促進の参考にさせていただきます。

○「地域防災」とは、地域や近隣の方々が互いに協力し合って取り組む防災活動のことをいいます。
○「消防団」とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために集まった組織です。

問 1 3 あなたは、地域防災について関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---|----------------------|
| 1 関心がある | } | ⇒ 問 1 4 へ |
| 2 どちらかといえば関心がある | | |
| 3 どちらかといえば関心がない | } | ⇒ 問 1 3 - 1 へ |
| 4 関心がない | | |

《**問 1 3**で「3 どちらかといえば関心がない」または「4 関心がない」と答えた方にお聞きします。》

問 1 3 - 1 あなたが、関心がない理由はなんですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 地域防災についてイメージがわからないから |
| 2 地域防災について考える時間がないから |
| 3 行政が行うべき業務だから |
| 4 災害は起こらないと思っているから |
| 5 災害が起きてから考えようと思っているから |
| 6 地域と関わりを持ちたくないから |
| 7 その他 () |

《皆さまにお聞きします。》

問 1 4 あなたは、ボランティアで地域貢献をしたり、災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|---|----------------------|
| 1 支援したいと思う | } | ⇒ 問 1 5 へ |
| 2 どちらかといえば支援したいと思う | | |
| 3 どちらかといえば支援したいと思わない | } | ⇒ 問 1 4 - 1 へ |
| 4 支援したいと思わない | | |

《問14で「3 どちらかといえば支援したいと思わない」または「4 支援したいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたが、支援をしたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 支援の方法がわからないから | 2 支援するのが面倒だから |
| 3 自分自身のことで精一杯だから | 4 自分自身の体力等により難しいと思うから |
| 5 支援できるような時間が無いから | 6 行政が支援すべきだと思うから |
| 7 関わることで感染症が怖いから | 8 地域と関わりを持ちたくないから |
| 9 その他 () | |

《皆さまにお聞きします。》

問15 あなたは、地域防災の担い手として組織されている消防団の存在を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 どのような組織がよく知っている | } ⇒ 問15-1 へ |
| 2 どのような組織がある程度知っている | |
| 3 名称のみ知っている | } ⇒ 問16 へ |
| 4 知らない | |

《問15で「1 どのような組織がよく知っている」または「2 どのような組織がある程度知っている」と答えた方にお聞きします。》

問15-1 消防団の活動について、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 1 消火活動 | 2 救助活動 | 3 救護活動 |
| 4 避難誘導 | 5 防災訓練 | 6 防火パトロール |
| 7 応急手当や救護に関する訓練 | 8 地域住民への防災訓練の指導 | |
| 9 地域住民への応急手当の指導 | 10 火災予防などの街頭啓発 | |
| 11 その他 () | 12 特にない | |

《皆さまにお聞きします。》

問16 札幌市では、様々な方法で消防団をPRしています。あなたが、見聞きしたことがあるものに、いくつでも○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-------------|---------------|
| 1 市電車内広告 | 2 市電停留所広告 | 3 地下鉄車内広告 |
| 4 地下鉄駅掲示板（ポスター） | 5 チラシ | 6 フリーペーパー |
| 7 広報さっぽろ | 8 インターネット広告 | 9 札幌市公式ホームページ |
| 10 街頭ビジョン（チカホ・ススキノ交差点） | 11 その他 () | |
| 12 特にない | | |

問 17

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 非常勤の地方公務員である | 2 学生（専門学生、短大生、大学生）が入団できる |
| 3 会社員（被雇用者）が半数以上いる | 4 入団の年齢制限に上限が無い |
| 5 怪我等を補償する制度がある | 6 活動に必要な制服等が支給される |
| 7 報酬が支払われる | 8 その他（ ） |
| 9 知らない | |

問 18

- | | | | | | |
|----|---------------|----|---------------|---|---------|
| 1 | 消火活動 | 2 | 救助活動 | 3 | 救護活動 |
| 4 | 避難誘導 | 5 | 防災訓練 | 6 | 防火パトロール |
| 7 | 応急手当や救護に関する訓練 | 8 | 地域住民への防災訓練の指導 | | |
| 9 | 地域住民への応急手当の指導 | 10 | 火災予防などの街頭啓発 | | |
| 11 | その他（ | 12 | 特にない | | |

問 19

- 1 活動に参加する時間が取れなさそう 2 体力が必要そう 3 活動頻度が多そう
4 入団手続きが面倒そう 5 人間関係が難しそう 6 災害活動が危険そう
7 職場の理解が得られなさそう 8 家族の理解が得られなさそう
9 活動のイメージがわからない 10 報酬が低そう
11 その他（ ） 12 特に不安に感じることはない

問 20

- 1 消防団の活動や訓練を間近に見たとき
- 2 消防団の活動や訓練を実際に体験したとき
- 3 消防団として地域行事に積極的に参加する姿を見たとき
- 4 消防団の活動や消防団員の経験を直接聞いたとき
- 5 仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき
- 6 報酬などの待遇面について知ることができたとき
- 7 ホームページや動画などで消防団を見たとき
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

テーマ5 札幌市における自殺対策について

札幌市では、「札幌市自殺総合対策行動計画 2019」に基づき、「ひとりでも多くの命を救う」ことを目標に自殺総合対策事業を行っています。

そこで、市民の皆さまの自殺に関する意識をお聞きし、今後の自殺対策の参考とさせていただきます。

自殺は全国的な社会問題であり、札幌市においても年間 300 人を超える方が自ら命を絶っています。そのため、札幌市では以下のような相談窓口を開設しています。

○札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談 ※12月29日～1月3日はお休みです。

011-622-0556（平日 9 時～17 時）

0570-064-556（平日 17 時～21 時、土日祝休日 10 時～16 時）

問 2 1 札幌市における次の自殺対策の取り組みのうち、あなたが知っていたものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌こころのセンター 心の健康づくり電話相談
- 2 札幌市依存症相談窓口
- 3 Webサイト「札幌こころのナビ」
- 4 ゲートキーパー研修会
- 5 マンガで知ろう「ゲートキーパー」の役割
- 6 北海道いのちの電話
- 7 その他（ ）
- 8 知っている取り組みはない ⇒ **問 2 2** へ

⇒ **問 2 1 - 1** へ

《**問 2 1**で「1」～「7」のうち、一つでも自殺対策の取り組みを知っていたと答えた方にお聞きします。》

問 2 1 - 1 あなたは、札幌市の自殺対策の取り組みをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 ポスターやチラシ | 2 新聞・雑誌 |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 広報さっぽろ |
| 5 札幌市公式ホームページ | 6 札幌市公式以外のホームページ |
| 7 札幌市公式SNS（※） | 8 札幌市公式以外のSNS（※） |
| 9 家族や知人 | 10 公共施設やその窓口など |
| 11 医師や医療機関 | 12 その他（ ） |
| 13 覚えていない | |

※ Facebook、Twitter、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

札幌市では「市民一人ひとりがゲートキーパーになること」を目指して自殺対策に取り組んでいます。「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人にきづき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、みまもる人のことです。特別な資格は必要なく、さまざまな立場の方が、それぞれの立場においてゲートキーパーになることができます。



《皆さまにお聞きます。》

問22 あなたは、前記の「ゲートキーパー」の意味は知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 言葉の意味をよく知っていた
- 2 言葉の意味を多少は知っていた
- 3 言葉の意味は知らなかったが、「ゲートキーパー」という名称は知っていた
- 4 「ゲートキーパー」という名称も知らなかった

問23 あなたは、周りにいる悩んでいる人にきづいたとき、どのように対応するのが最も望ましいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------------|---|---------------------|
| 1 | 話しかけず、そっとしておく | 2 | 気分転換のために無理にでも外へ連れ出す |
| 3 | 元気を出すように励ます | 4 | 理由を問いただす |
| 5 | 心配していることを伝えて見守る | 6 | 声をかけてじっくりと話を聞く |
| 7 | その他（ ） | 8 | わからない |

自ら命を絶たれた方の多くは、さまざまな悩みにより心理的に追い込まれ、直前には精神疾患が考えられる状態にあったことが明らかになっています。中でも、アルコールなどの依存症は、自殺のリスクを高めることが指摘されています。

問24 アルコールやギャンブル、薬物などの依存症に関するあなたの考えを教えてください。次のア～カのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

依存症に関する考え方	そう思う	どちらかというと そう思う	どちらともいえない	どちらかというと そう思わない	そう思わない
ア 依存症は病気であり、本人の性格や意志の問題ではない	1	2	3	4	5
イ お酒やギャンブルはストレスを発散することにはつながらない	1	2	3	4	5
ウ 借金などのトラブルを家族が肩代わりをして解決するべきではない	1	2	3	4	5
エ 本人の意志だけでやめることは難しく、専門機関に相談することが大切	1	2	3	4	5
オ 本人が依存の問題を認めることから回復が始まる	1	2	3	4	5
カ 依存症の回復には長い時間がかかる	1	2	3	4	5

悩んだときのこころの状態では、追いつめられたり、自分の周りが見えなくなってしまうますが、このような感情は、悩みを抱えてストレスがかかっている状態のときには、だれでも感じてしまう可能性のある、自然な反応です。

問 2 5 あなたは日頃、次の問題に関して悩みや苦労、ストレス、不満を感じますか。次のア～キのそれぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

悩みや苦労、ストレス、不満の種類	感じない	かつてあったが今は感じない	現在感じている
ア 家庭の問題 …… 家族の不和、子育て、介護・看病 など	1	2	3
イ 健康の問題 …… 自分の病気、体の悩み、心の悩み など	1	2	3
ウ 経済的な問題 …… 倒産、借金、失業、生活困窮 など	1	2	3
エ 勤務関係の問題 …… 転勤、仕事不振、職場の人間関係 など	1	2	3
オ 恋愛関係の問題 …… 失恋、結婚の悩み など	1	2	3
カ 学校の問題 …… いじめ、学業不振、進路、学校での人間関係 など	1	2	3
キ その他 ()		2	3

問 2 6 あなたは日頃、悩みや苦労、ストレス、不満を感じたとき、どのように対処していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 体を動かす・運動する | 2 睡眠をとる |
| 3 食事をする | 4 お酒を飲む |
| 5 家族に話を聞いてもらう・相談する | 6 友人や同僚に話を聞いてもらう・相談する |
| 7 趣味やレジャーを楽しむ | 8 我慢する、何もしない |
| 9 その他 () | 10 日頃、悩みや苦労、ストレス、不満を感じない |

問 2 7 あなたは今まで、死のうとした、または死のうと思ったことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 死のうとしたことがある | } ⇒ 問 2 7 - 1 問 2 7 - 2 問 2 7 - 3 へ |
| 2 死のうと思ったことがある | |
| 3 どちらもない ⇒ 1 6 ページ | へ |

《問27で「1 死のうとしたことがある」または「2 死のうと思ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問27-1 あなたが、死のうとした、または死のうと思った原因は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家庭の問題…………… 家族の不和、子育て、介護・看病 など
- 2 健康の問題…………… 自分の病気、体の悩み、心の悩み など
- 3 経済的な問題…………… 倒産、借金、失業、生活困窮 など
- 4 勤務関係の問題…………… 転勤、仕事不振、職場の人間関係 など
- 5 恋愛関係の問題…………… 失恋、結婚の悩み など
- 6 学校の問題…………… いじめ、学業不振、進路、学校での人間関係 など
- 7 その他 ()

問27-2 あなたが、死のうとした、または死のうと思った際に、思いとどまったのはなぜですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家族に相談したから
- 2 友人に相談したから
- 3 家族や恋人の事を考えたから
- 4 仕事の事を考えたから
- 5 医療機関を受診したから
- 6 死ぬのが怖かったから
- 7 書籍を読んだから
- 8 体験談や心に響くことばに触れたから
- 9 「いのちの電話」など、相談窓口を利用したから
- 10 自殺防止のポスターやCM、ステッカーを見たから
- 11 自殺を考える原因となった問題（借金や健康問題など）が解決したから
- 12 テレビ・ラジオやインターネットの情報を見たから
- 13 その他 ()
- 14 特に理由はない

問27-3 今振り返ると、その際にどのようなことがあれば、よかったと思いますか。すでにあつたものや利用したものも含め、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 心の支えとなるような日頃の人間関係
- 2 死にたいという気持ちに気づいて声をかけてくれる人
- 3 相談にのってくれる人
- 4 問題に合った専門機関・相談窓口の情報
- 5 具体的援助（例：金銭の貸与、子どもの預かり、食事・住居の提供など）
- 6 体験談や心に響くことば（インターネットサイトなど）
- 7 休みをとれる環境
- 8 精神科医療機関（クリニックや病院）
- 9 その他 ()
- 10 特にない

悩んでいる人にきづいたとき、「死にたい」と打ち明けられたときの望ましい対応について

○ こころの健康（札幌こころのセンター）「知って欲しい、自殺について」

(URL) <https://www.city.sapporo.jp/eisei/gyomu/seisin/knows/index.html>

○ 「札幌こころのナビ」

(URL) <http://www2.city.sapporo.jp/hottokenai-kokoro/hottokenai-kokoro.html>



最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は(令和3年6月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください。)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は(あてはまるものにいくつでも○をつけてください。)

- 1 配偶者 2 乳幼児(0～2歳程度)
3 就学前児童(3～5歳程度) 4 小学生(6～12歳程度)
5 中学生(13～15歳程度) 6 高校生(16～18歳程度)
7 大学(院)・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和3年7月9日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

令和3年度 第2回市民意識調査 報告書

調査期間：令和3年8月20日(金)～9月3日(金)

テーマ

- 1 市政広報について
- 2 障がい者コミュニケーション条例等について
- 3 消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて
- 4 市民のICT活用にかかる意識について

札幌市

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 3 年度第 2 回調査では、「市政広報」「障がい者コミュニケーション条例」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 市政広報について
- ② 障がい者コミュニケーション条例等について
- ③ 消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて
- ④ 市民の I C T 活用にかかる意識について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和 3 年(2021 年) 8 月 20 日(金)～9 月 3 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,478 (49.6%)

(5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,478	100.0	1,004	40.5	1,416	57.1	8	0.3	50	2.0	2,478	100.0
【性別】												
男性	1,004	40.5	1,004	100.0	-	-	-	-	-	-	1,004	100.0
女性	1,416	57.1	-	-	1,416	100.0	-	-	-	-	1,416	100.0
その他	8	0.3	-	-	-	-	8	100.0	-	-	8	100.0
無回答	50	2.0	-	-	-	-	-	-	50	100.0	50	100.0
【年代】												
29歳以下	210	8.5	86	41.0	121	57.6	1	0.5	2	1.0	210	100.0
30～39歳	252	10.2	92	36.5	157	62.3	3	1.2	-	-	252	100.0
40～49歳	418	16.9	170	40.7	246	58.9	2	0.5	-	-	418	100.0
50～59歳	419	16.9	166	39.6	252	60.1	1	0.2	-	-	419	100.0
60～69歳	491	19.8	215	43.8	275	56.0	-	-	1	0.2	491	100.0
70歳以上	642	25.9	274	42.7	365	56.9	1	0.2	2	0.3	642	100.0
無回答	46	1.9	1	2.2	-	-	-	-	45	97.8	46	100.0
【居住区】												
中央区	289	11.7	104	36.0	183	63.3	2	0.7	-	-	289	100.0
北区	333	13.4	134	40.2	197	59.2	2	0.6	-	-	333	100.0
東区	320	12.9	140	43.8	180	56.3	-	-	-	-	320	100.0
白石区	268	10.8	125	46.6	139	51.9	1	0.4	3	1.1	268	100.0
厚別区	167	6.7	69	41.3	98	58.7	-	-	-	-	167	100.0
豊平区	281	11.3	123	43.8	158	56.2	-	-	-	-	281	100.0
清田区	143	5.8	53	37.1	90	62.9	-	-	-	-	143	100.0
南区	173	7.0	62	35.8	111	64.2	-	-	-	-	173	100.0
西区	270	10.9	111	41.1	156	57.8	2	0.7	1	0.4	270	100.0
手稲区	182	7.3	82	45.1	99	54.4	-	-	1	0.5	182	100.0
無回答	52	2.1	1	1.9	5	9.6	1	1.9	45	86.5	52	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,478	100.0	1,004	40.5	1,416	57.1	8	0.3	50	2.0	2,478	100.0
【職業】												
会社員	719	29.0	416	57.9	301	41.9	1	0.1	1	0.1	719	100.0
公務員	100	4.0	71	71.0	28	28.0	1	1.0	-	-	100	100.0
自営業	114	4.6	75	65.8	39	34.2	-	-	-	-	114	100.0
パート・アルバイト	347	14.0	52	15.0	294	84.7	-	-	1	0.3	347	100.0
主婦・主夫	425	17.2	4	0.9	419	98.6	2	0.5	-	-	425	100.0
学生	59	2.4	27	45.8	31	52.5	-	-	1	1.7	59	100.0
無職	536	21.6	309	57.6	223	41.6	2	0.4	2	0.4	536	100.0
その他	115	4.6	44	38.3	69	60.0	2	1.7	-	-	115	100.0
無回答	63	2.5	6	9.5	12	19.0	-	-	45	71.4	63	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,466	59.2	668	45.6	796	54.3	2	0.1	-	-	1,466	100.0
乳幼児(0～2歳程度)	72	2.9	27	37.5	45	62.5	-	-	-	-	72	100.0
就学前児童(3～5歳程度)	104	4.2	39	37.5	64	61.5	-	-	1	1.0	104	100.0
小学生(6～12歳程度)	188	7.6	67	35.6	120	63.8	-	-	1	0.5	188	100.0
中学生(13～15歳程度)	129	5.2	46	35.7	82	63.6	-	-	1	0.8	129	100.0
高校生(16～18歳程度)	142	5.7	48	33.8	93	65.5	-	-	1	0.7	142	100.0
大学(院)・専門学校生	110	4.4	52	47.3	58	52.7	-	-	-	-	110	100.0
65歳以上の高齢者	381	15.4	147	38.6	230	60.4	2	0.5	2	0.5	381	100.0
上記「1」～「8」以外の方	549	22.2	197	35.9	348	63.4	2	0.4	2	0.4	549	100.0
いない	416	16.8	166	39.9	247	59.4	2	0.5	1	0.2	416	100.0
無回答	70	2.8	10	14.3	14	20.0	1	1.4	45	64.3	70	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

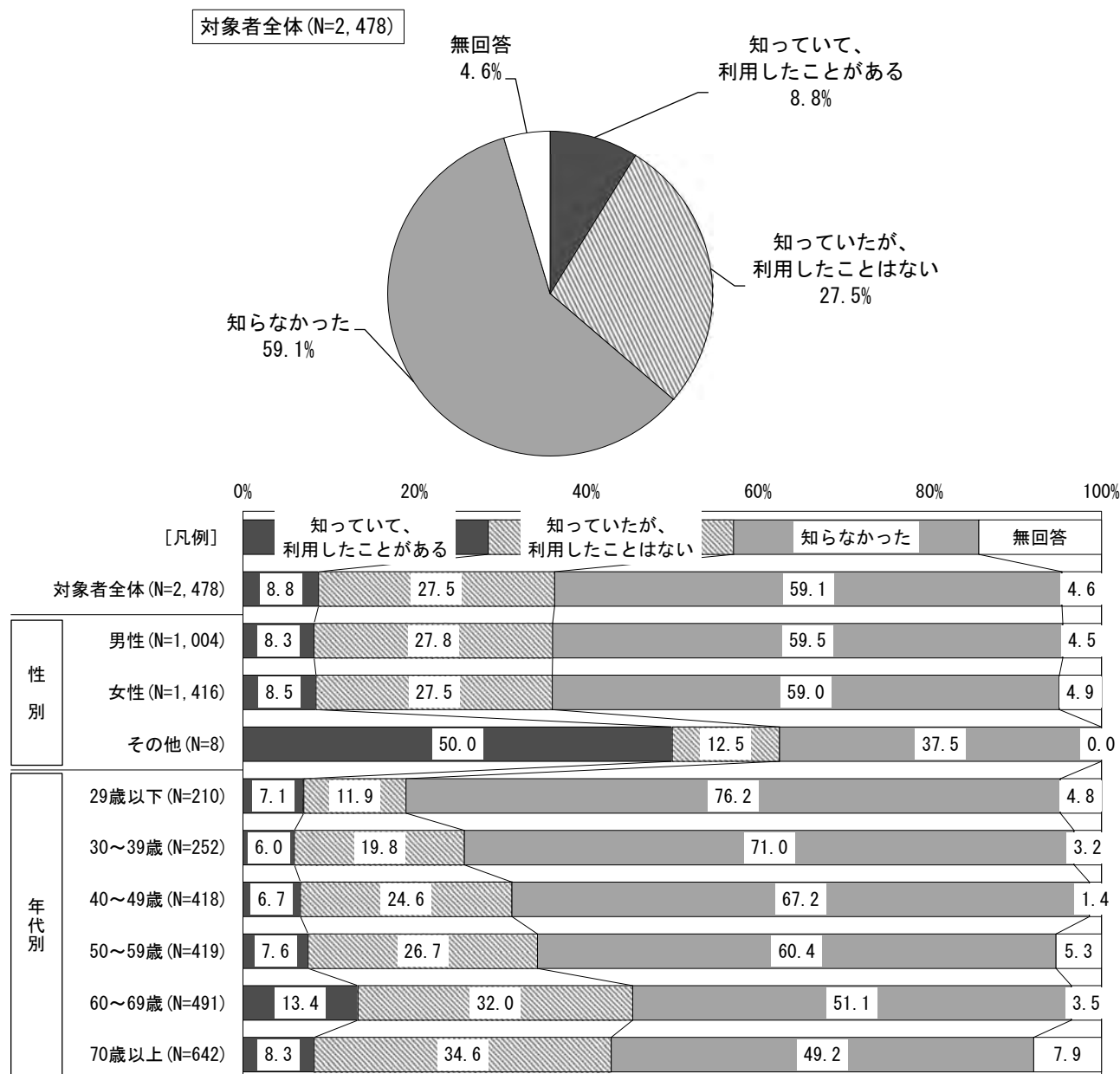
(1) 市政広報について

◇「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無

問1 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が地上デジタルテレビの「データ放送」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市からのお知らせ情報が「データ放送」で配信されていることを“知っていた”人は36.3%

※ “知っていた”（「知っていて、利用したことがある」＋「知っていたが、利用したことはない」）



【全体】「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無は、「知っていて、利用したことがある」が8.8%、「知っていたが、利用したことはない」が27.5%、合わせると36.3%となっている。一方、「知らなかった」が59.1%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

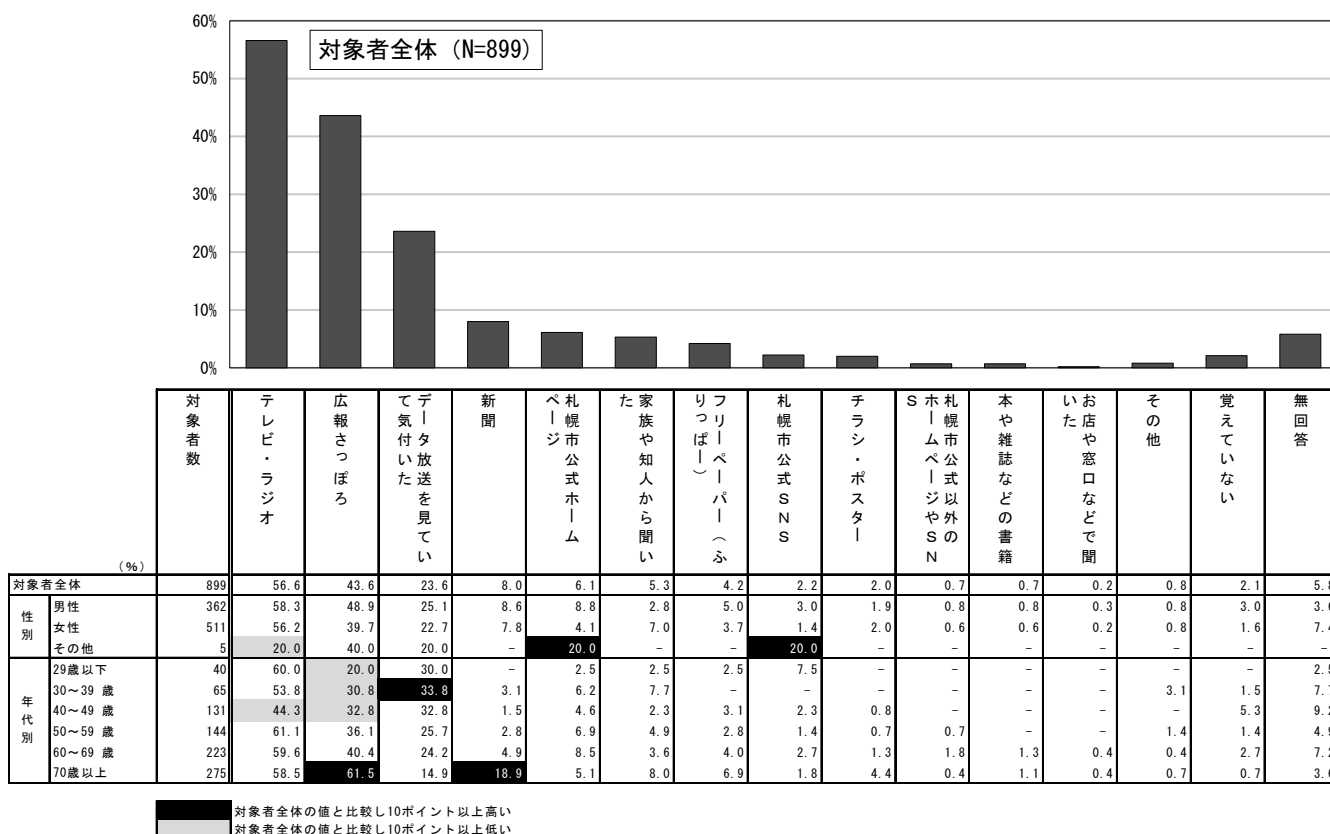
【年代別】“知っていた”が60歳代（45.4%）で最も高く、次いで70歳以上（42.9%）、50歳代（34.3%）となっている。

◇データ放送によるお知らせ情報配信の認知方法

《問1で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたは、地上デジタルテレビの「データ放送」で札幌市からののお知らせ情報が配信されていることを、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

データ放送によるお知らせ情報配信の認知方法は「テレビ・ラジオ」と回答した人が56.6%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 データ放送によるお知らせ情報配信の認知方法は、「テレビ・ラジオ」が56.6%、「広報さっぽろ」が43.6%、「データ放送を見ていて気付いた」が23.6%となっている。

【性別】 「広報さっぽろ」は男性が48.9%と、女性の39.7%より9.2ポイント高くなっている。

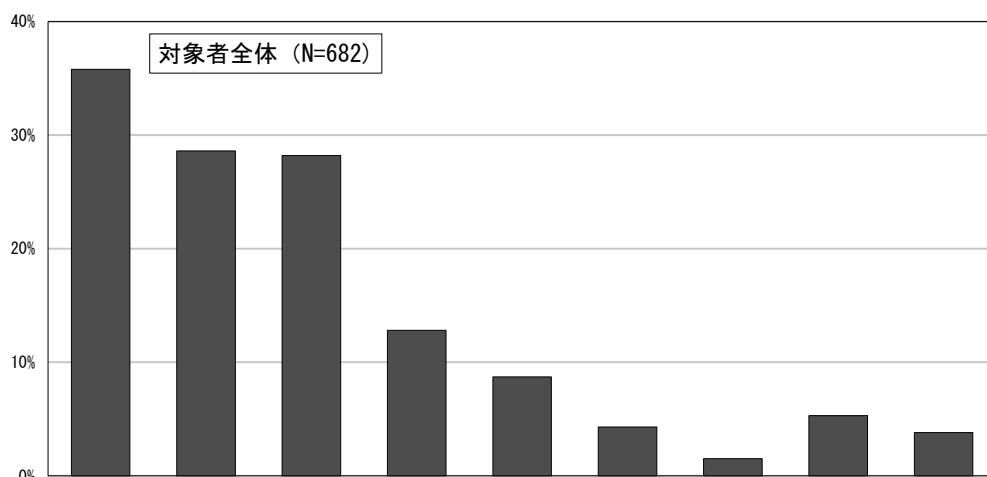
【年代別】 69歳以下では「テレビ・ラジオ」が、70歳以上では「広報さっぽろ」が最も高くなっている。

◇「データ放送」でお知らせ情報を利用したことがない理由

《問1で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問1-2 あなたが、地上デジタルテレビの「データ放送」で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「データ放送」でお知らせ情報を利用したことがない理由は「データ放送を見ないから」と回答した人が 35.8%



		対象者数	データ放送を見ない	お知らせ情報を見たいと思わない	お知らせ情報は別の手段で入手している	お知らせ情報を見ない時間があったから	データ放送の見方が分からない	お知らせ情報を見つけない	テレビを持っていない	その他	無回答
		(%)									
対象者全体		682	35.8	28.6	28.2	12.8	8.7	4.3	1.5	5.3	3.8
性別	男性	279	39.4	30.5	23.7	9.3	6.8	5.0	1.4	5.7	5.0
	女性	390	33.3	27.9	31.5	14.9	10.0	3.8	1.3	5.1	3.1
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	25	32.0	40.0	28.0	20.0	-	4.0	4.0	4.0	-
	30～39 歳	50	30.0	28.0	40.0	16.0	4.0	2.0	2.0	4.0	-
	40～49 歳	103	42.7	35.9	21.4	16.5	1.9	1.0	2.9	2.9	4.9
	50～59 歳	112	35.7	36.6	28.6	16.1	3.6	3.6	-	2.7	1.8
	60～69 歳	157	31.8	30.6	31.8	15.9	7.0	3.2	1.9	7.6	3.8
	70歳以上	222	36.9	20.3	26.1	5.0	17.6	7.7	0.5	6.8	5.9

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「データ放送」でお知らせ情報を利用したことがない理由は、「データ放送を見ないから」が 35.8%、「お知らせ情報を見たいと思わないから」が 28.6%、「お知らせ情報は別の手段で入手しているから」が 28.2%となっている。

【性 別】「データ放送を見ないから」は男性が 39.4%と、女性の 33.3%より 6.1 ポイント高くなっている。また、「お知らせ情報は別の手段で入手しているから」、「お知らせ情報を見る時間がなかったから」は女性が男性より 5.6 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「お知らせ情報を見たいと思わないから」が 29 歳以下 (40.0%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (20.3%) と比べると 19.7 ポイントの差となっている。

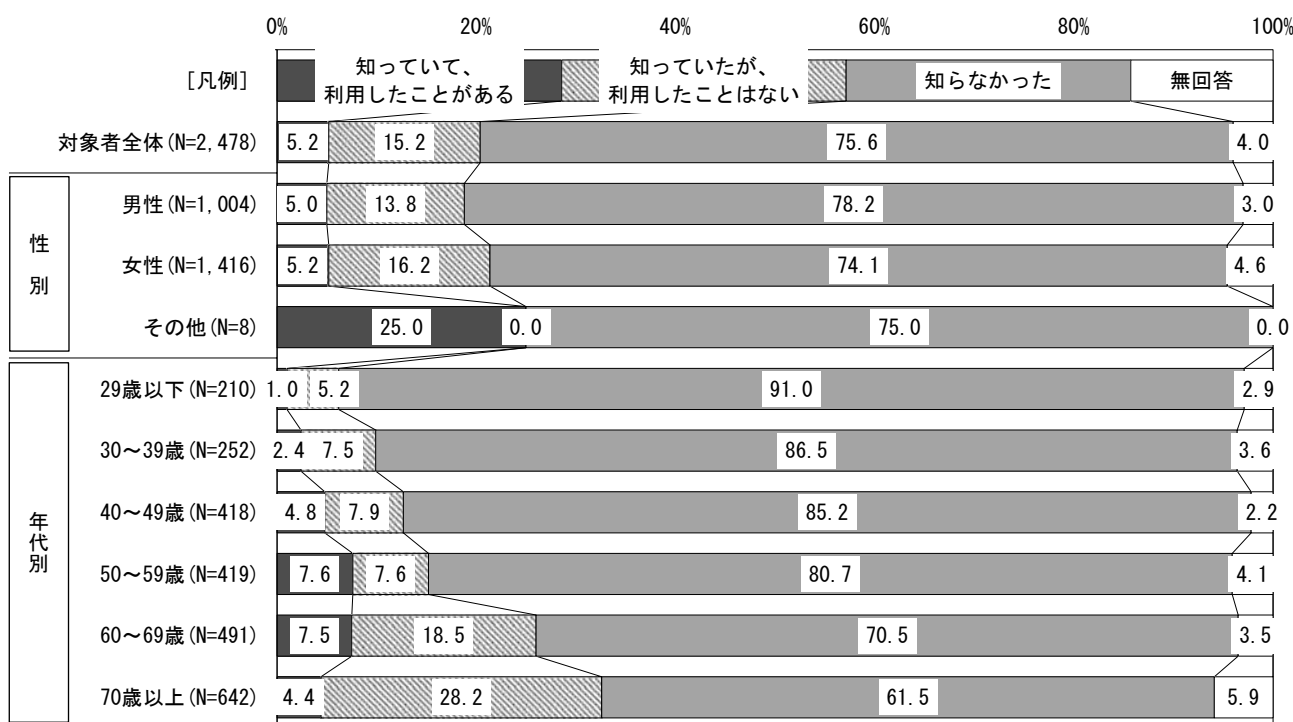
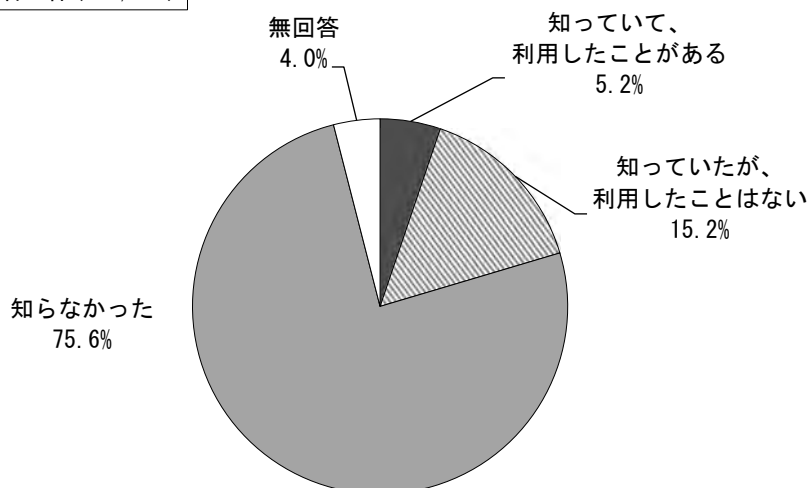
◇「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無

問2 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市からのお知らせ情報が「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」で配信されていることを“知っていた”人は20.4%

※ “知っていた” (「知っていて、利用したことがある」 + 「知っていたが、利用したことはない」)

対象者全体 (N=2, 478)



【全 体】「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」によるお知らせ情報配信の認知度及び利用の有無は、「知っていて、利用したことがある」が 5.2%、「知っていたが、利用したことはない」が 15.2%、合わせると 20.4%となっている。一方、「知らなかった」が 75.6%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

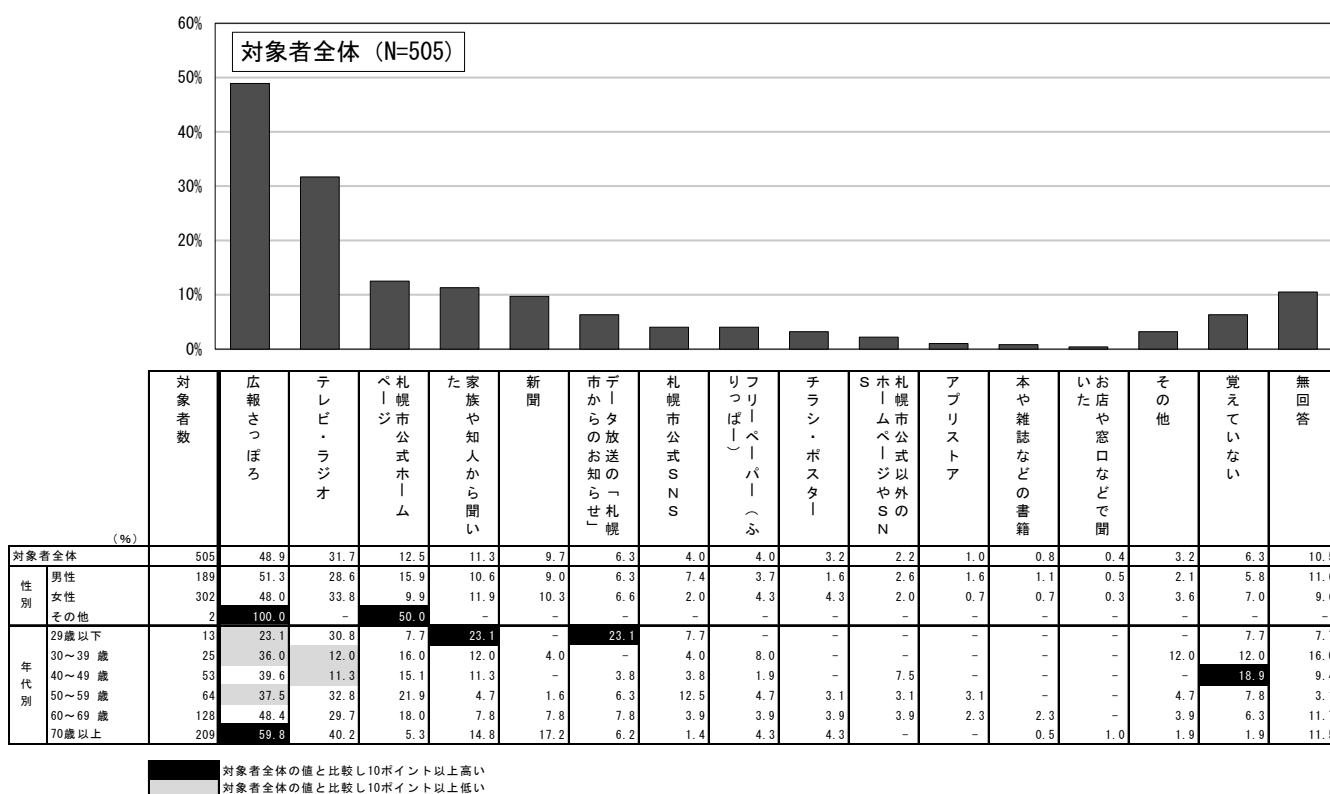
【年代別】“知っていた”は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」によるお知らせ情報配信の認知方法

《問2で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたは、「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」で札幌市からののお知らせ情報が配信されていることを、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」によるお知らせ情報配信の認知方法は「広報さっぽろ」と回答した人が48.9%



【全 体】「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」によるお知らせ情報配信の認知方法、「広報さっぽろ」が48.9%、「テレビ・ラジオ」が31.7%、「札幌市公式ホームページ」が12.5%となっている。

【性 別】「テレビ・ラジオ」は女性が33.8%と、男性の28.6%より5.2ポイント高くなっている。また、「札幌市公式ホームページ」、「札幌市公式SNS」は男性が女性より5.4ポイント以上高くなっている。

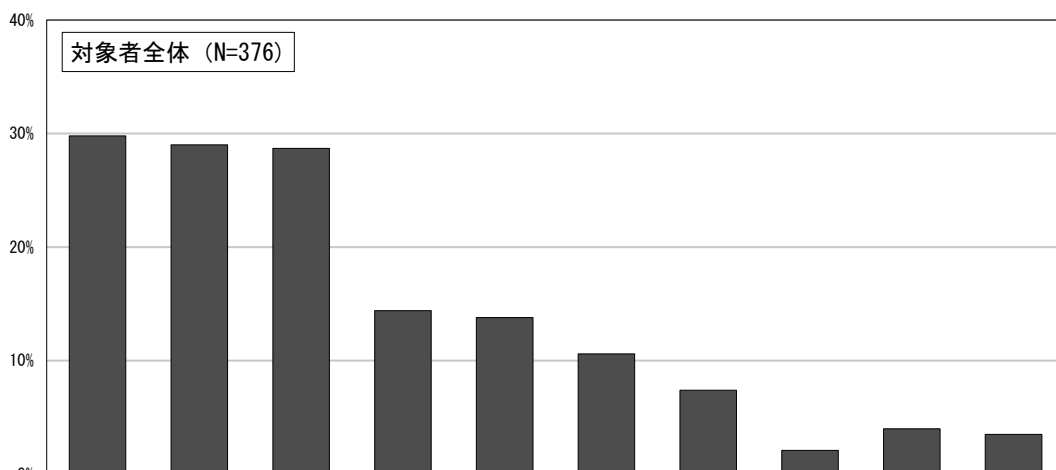
【年代別】29歳以下では「テレビ・ラジオ」が、30歳以上では「広報さっぽろ」が最も高くなっている。

◇「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」でお知らせ情報を利用したことがない理由

《問2で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 あなたが、「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」を利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」でお知らせ情報を利用したことがない理由は「アプリを使わないから」と回答した人が 29.8%



		対象者数	対象者数 (%)	アプリを使わないから	スマートフォンを持っていないから	お知らせ情報は別の手段で入手しているから	お知らせ情報を見たいと思わないから	アプリをダウンロードすることでスマートフォンの容量を圧迫するから	アプリの入手方法が分からないから	使いにくそうだから	アプリをダウンロードする時間がかかりすぎるから	その他	無回答
対象者全体		376	(%)	29.8	29.0	28.7	14.4	13.8	10.6	7.4	2.1	4.0	3.5
性別	男性	137		35.8	30.7	23.4	14.6	7.3	8.0	8.0	2.2	2.9	2.9
	女性	231		26.0	28.1	31.6	14.7	17.3	12.1	7.4	2.2	4.8	3.5
	その他	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	11		18.2	18.2	27.3	45.5	9.1	9.1	9.1	-	-	9.1
	30～39 歳	18		16.7	-	33.3	38.9	22.2	-	11.1	-	11.1	11.1
	40～49 歳	32		-	6.3	43.8	21.9	21.9	-	15.6	6.3	3.1	9.4
	50～59 歳	33		30.3	6.1	24.2	18.2	21.2	3.0	3.0	3.0	9.1	-
	60～69 歳	92		29.3	26.1	31.5	18.5	18.5	5.4	3.3	3.3	4.3	1.1
	70歳以上	181		37.0	42.0	24.9	6.6	7.7	17.7	8.8	1.1	2.8	2.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「スマートフォンのアプリ (i さっぽろ)」でお知らせ情報を利用したことがない理由は、「アプリを使わないから」が 29.8%、「スマートフォンを持っていないから」が 29.0%、「お知らせ情報は別の手段で入手しているから」が 28.7%となっている。

【性 別】「アプリを使わないから」は男性が 35.8%と、女性の 26.0%より 9.8 ポイント高くなっている。また、「お知らせ情報は別の手段で入手しているから」、「アプリをダウンロードすることでスマートフォンの容量を圧迫するから」は女性が男性より 8.2 ポイント以上高くなっている。

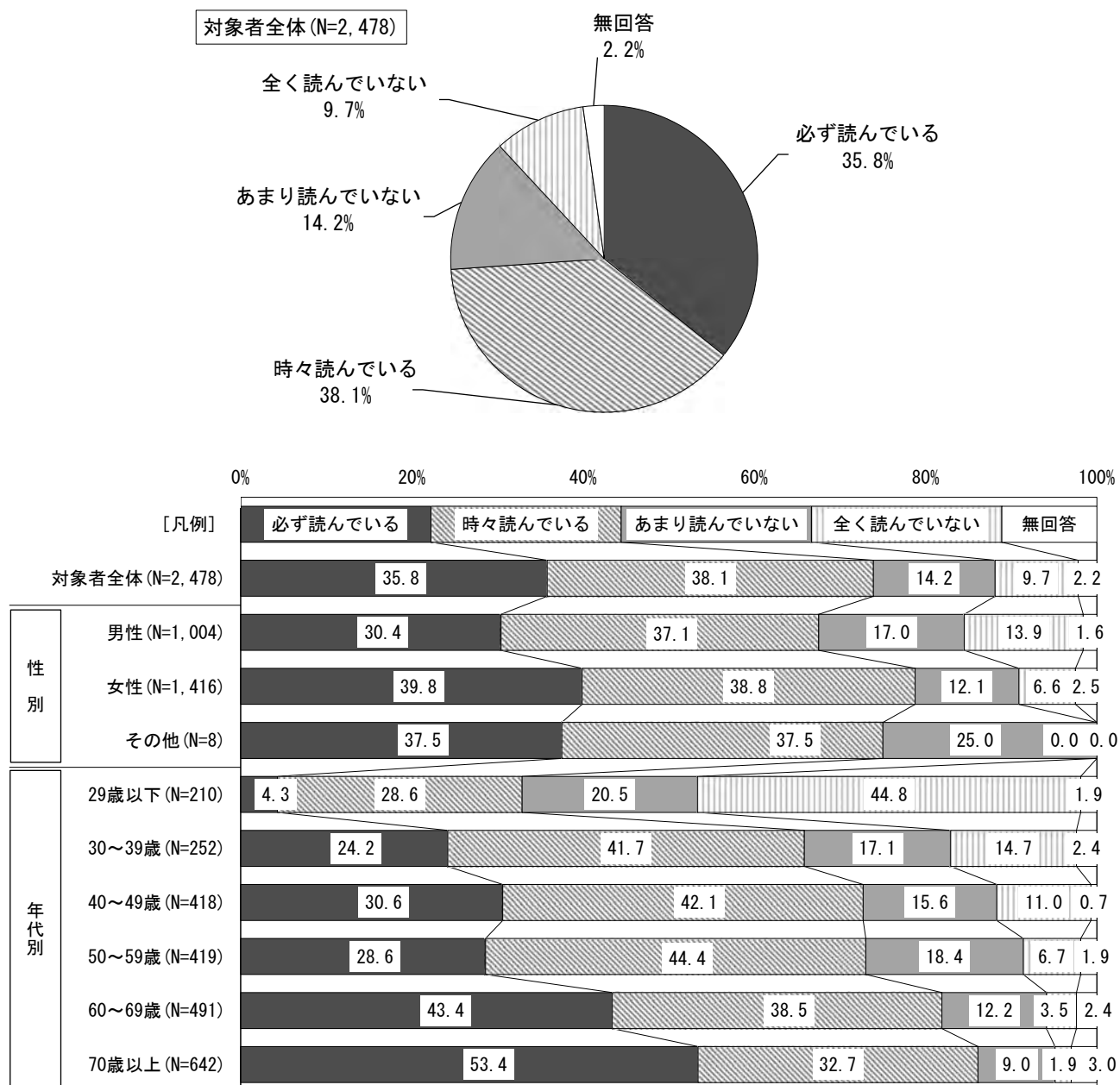
【年代別】 39 歳以下では「お知らせ情報を見たいと思わないから」が、40 歳代と 60 歳代では「お知らせ情報は別の手段で入手しているから」が、50 歳代では「アプリを使わないから」が、70 歳以上では「スマートフォンを持っていないから」が最も高くなっている。

◇広報さっぽろを読んでいる割合

問3 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください（ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含みます。）。

広報さっぽろを“読んでいる”人は73.9%

※ “読んでいる”（「必ず読んでいる」＋「時々読んでいる」）



【全 体】「広報さっぽろ」を読んでいる割合は、「必ず読んでいる」が35.8%、「時々読んでいる」が38.1%、合わせると73.9%となっている。一方、「全く読んでいない」が9.7%となっている。

【性 別】「必ず読んでいる」は女性が39.8%と、男性の30.4%より9.4ポイント高くなっている。また、「全く読んでいない」は男性が13.9%と、女性の6.6%より7.3ポイント高くなっている。

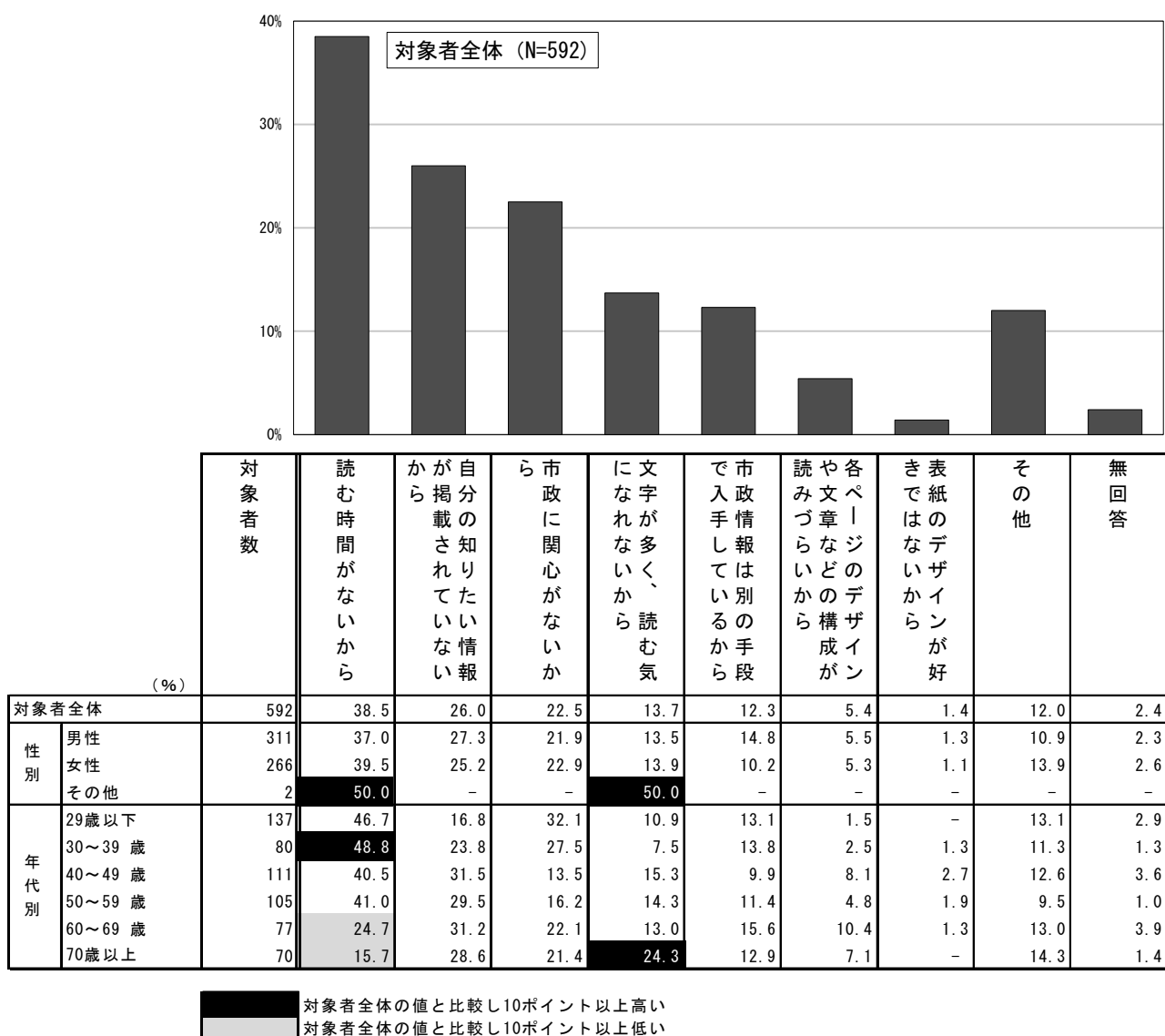
【年代別】60歳以上では「必ず読んでいる」が、30歳から59歳では「時々読んでいる」が、29歳以下では「全く読んでいない」が最も高くなっている。

◇広報さっぽろを読んでいない理由

《問3で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたが、広報さっぽろを読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

広報さっぽろを読んでいない理由は「読む時間がないから」と回答した人が38.5%



【全体】広報さっぽろを読んでいない理由は、「読む時間がないから」が38.5%、「自分の知りたい情報が掲載されていないから」が26.0%、「市政に関心がないから」が22.5%となっている。

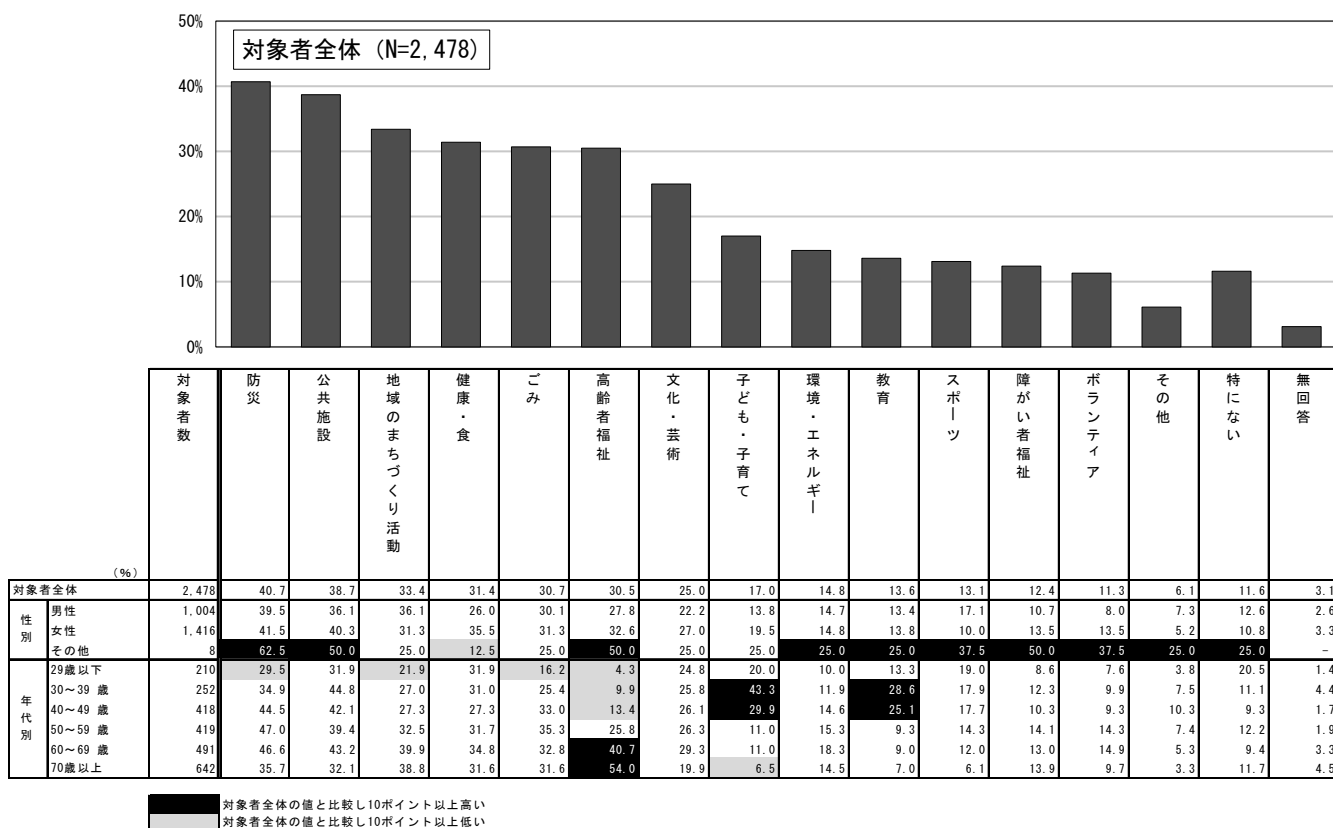
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「読む時間がないから」が30歳代（48.8%）で最も高く、次いで29歳以下（46.7%）、50歳代（41.0%）となっている。また、「文字が多く、読む気になれないから」が70歳以上（24.3%）で最も高く、最も低い30歳代（7.5%）と比べると16.8ポイントの差となっている。

◇広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしいテーマ

問4 あなたが、広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしいテーマは「防災」と回答した人が40.7%



【全 体】 広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしいテーマは、「防災」が40.7%、「公共施設」が38.7%、「地域のまちづくり活動」が33.4%となっている。

【性 別】 「スポーツ」は男性が17.1%と、女性の10.0%より7.1ポイント高くなっている。また、「健康・食」、「子ども・子育て」、「ボランティア」は女性が男性より5.5ポイント以上高くなっている。

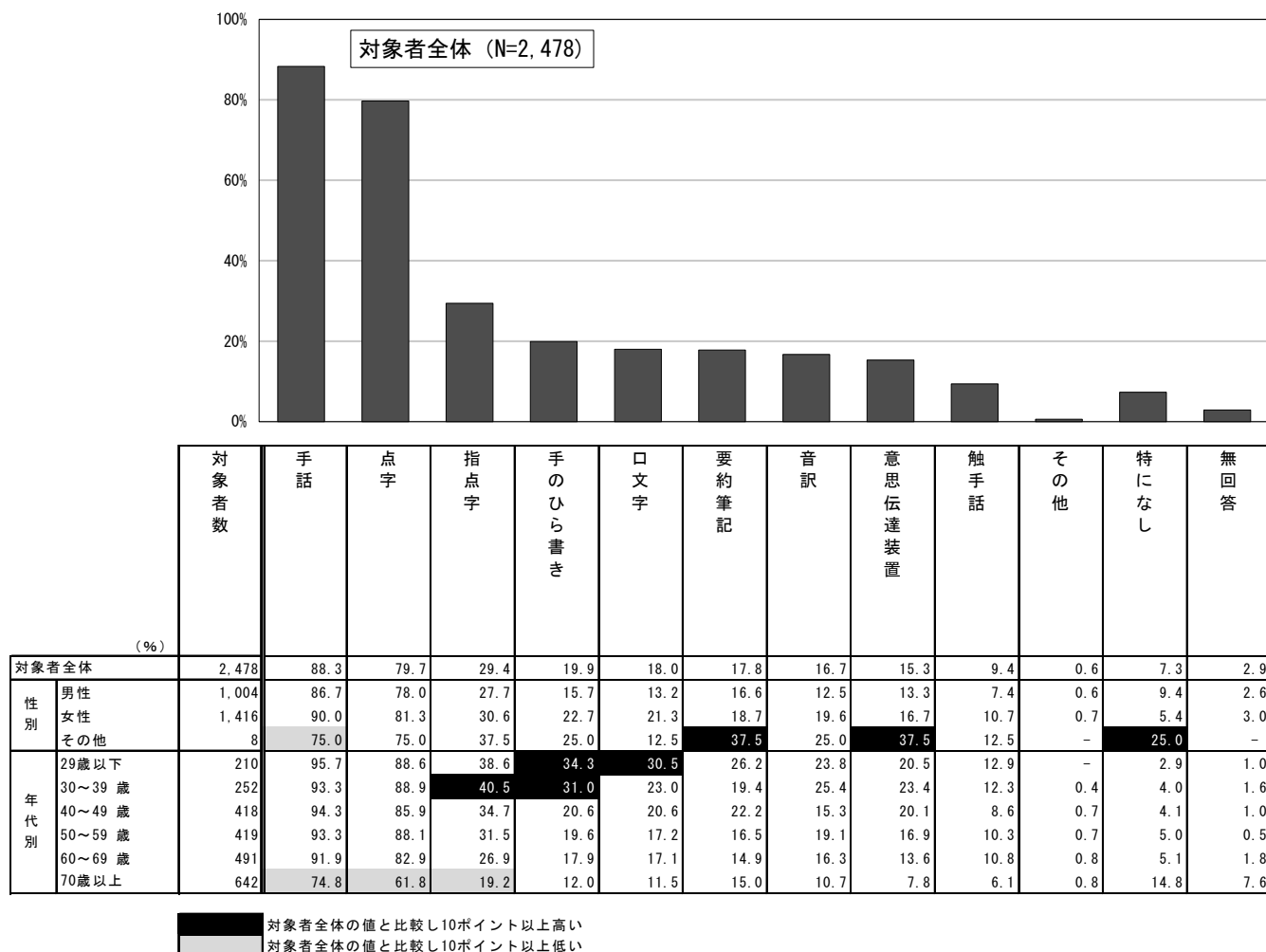
【年代別】 「高齢者福祉」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、29歳以下では「公共施設」と「健康・食」が、30歳代では「公共施設」が、40歳から69歳では「防災」が、70歳以上では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

(2) 障がい者コミュニケーション条例等について

◇障がいのある方が使用するコミュニケーション手段の認知度

問 5 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段は「手話」と回答した人が 88.3%



【全 体】障がいのある方が使用するコミュニケーション手段の認知度は、「手話」が 88.3%、「点字」が 79.7%、「指点字」が 29.4%となっている。

【性 別】「手のひら書き」、「口文字」、「音訳」は女性が男性より 7 ポイント以上高くなっている。

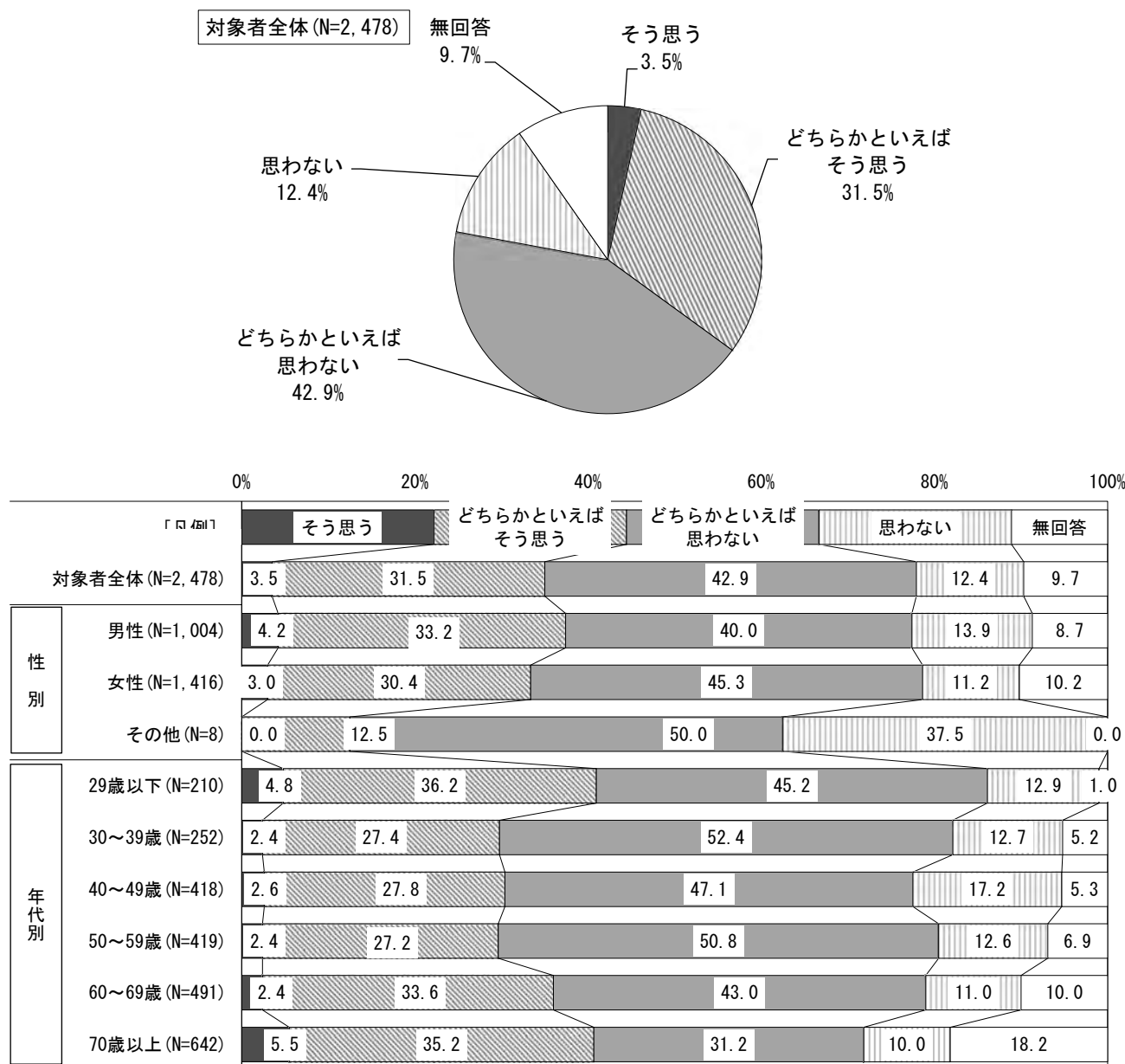
【年代別】「指点字」が 30 歳代 (40.5%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (19.2%) と比べると 21.3 ポイントの差となっている。また、70 歳代では「手話」、「点字」、「指点字」が対象者全体より 10.0 ポイント以上低くなっている。

◇障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うか

問6 あなたは、現在の札幌市は、コミュニケーション上の障がいのある方が、情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うかについて“そう思う”と回答した人が35.0%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）



【全 体】 障がいのある方が情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思うかは、「そう思う」が3.5%、「どちらかといえばそう思う」が31.5%、合わせると35.0%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」が42.9%、「思わない」が12.4%、合わせると55.3%となっている。

【性 別】 「どちらかといえば思わない」は女性が45.3%と、男性の40.0%より5.3ポイント高くなっている。

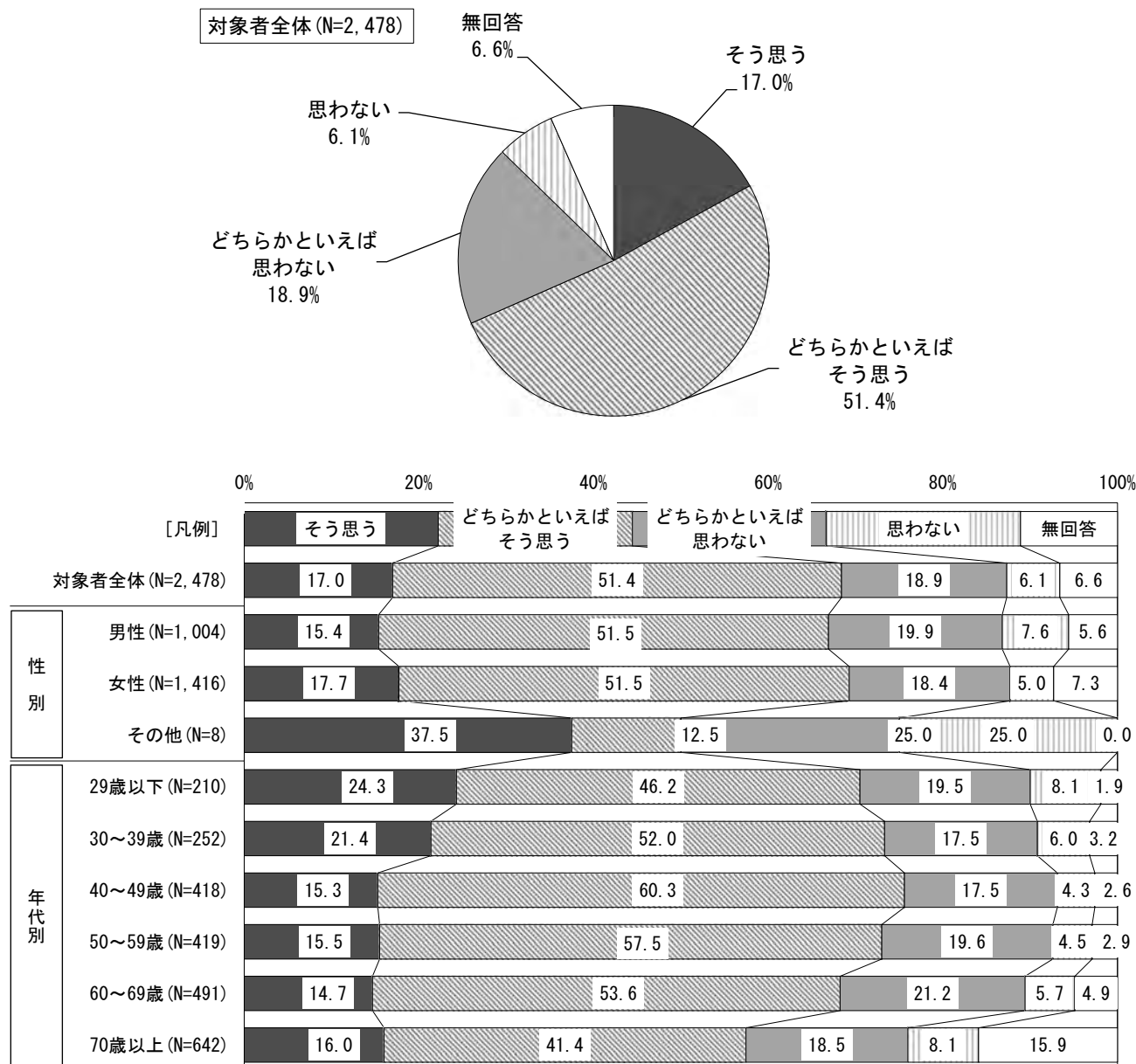
【年代別】 “そう思う”が29歳以下(41.0%)で最も高く、次いで70歳以上(40.7%)、60歳代(36.0%)となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うか

問 7 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかについて
“そう思う”と回答した人が 68.4%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）



【全 体】 障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、「そう思う」が 17.0%、「どちらかといえばそう思う」が 51.4%、合わせると 68.4%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」が 18.9%、「思わない」が 6.1%、合わせると 25.0%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

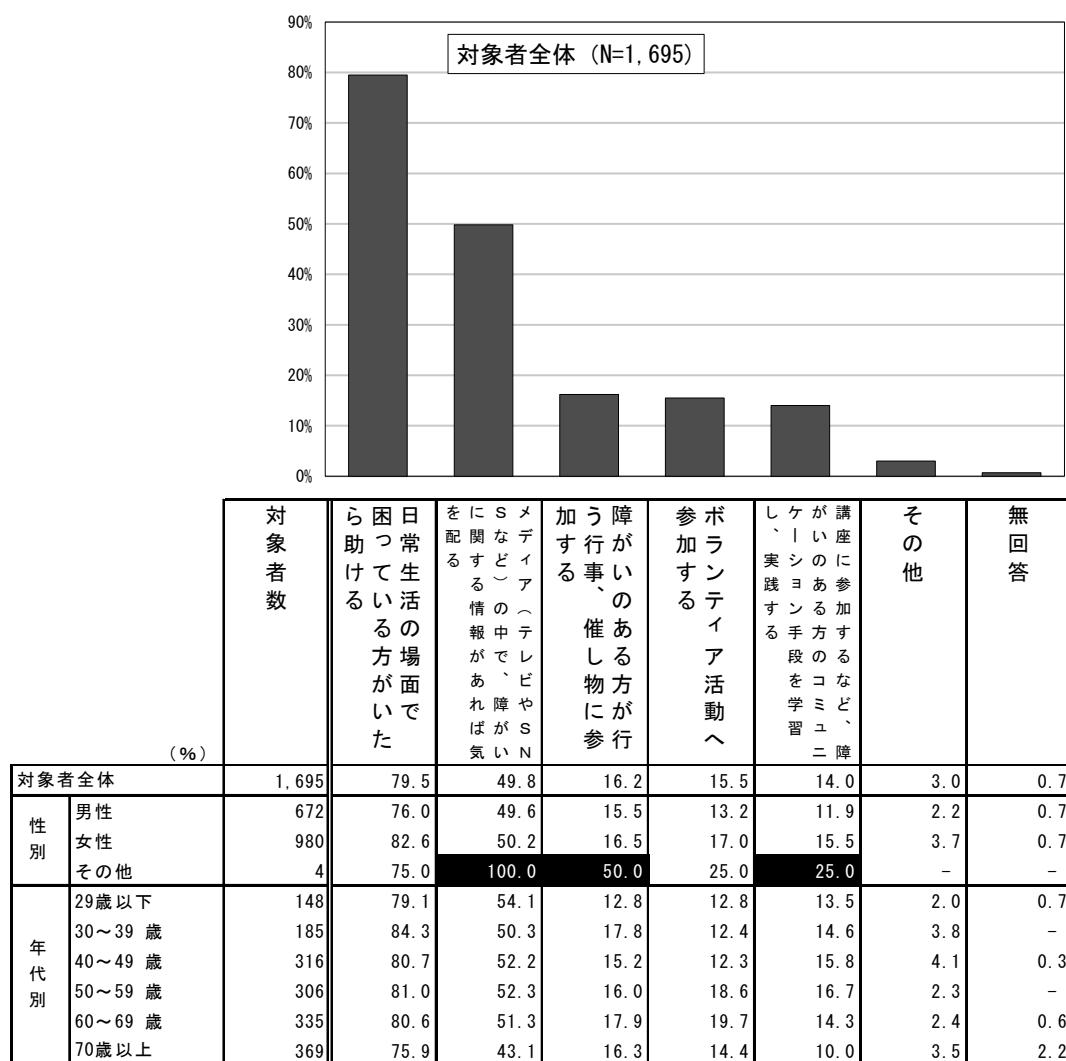
【年代別】 “そう思う”が 40 歳代 (75.6%) で最も高く、次いで 30 歳代 (73.4%)、50 歳代 (73.0%) となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいこと

《問7で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問7-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」と回答した人が79.5%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは、「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が79.5%、「メディアの中で、障がいに関する情報があれば気を配る」が49.8%、「障がいのある方が行う行事、催し物に参加する」が16.2%となっている。

【性 別】「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」は女性が82.6%と、男性の76.0%より6.6ポイント高くなっている。

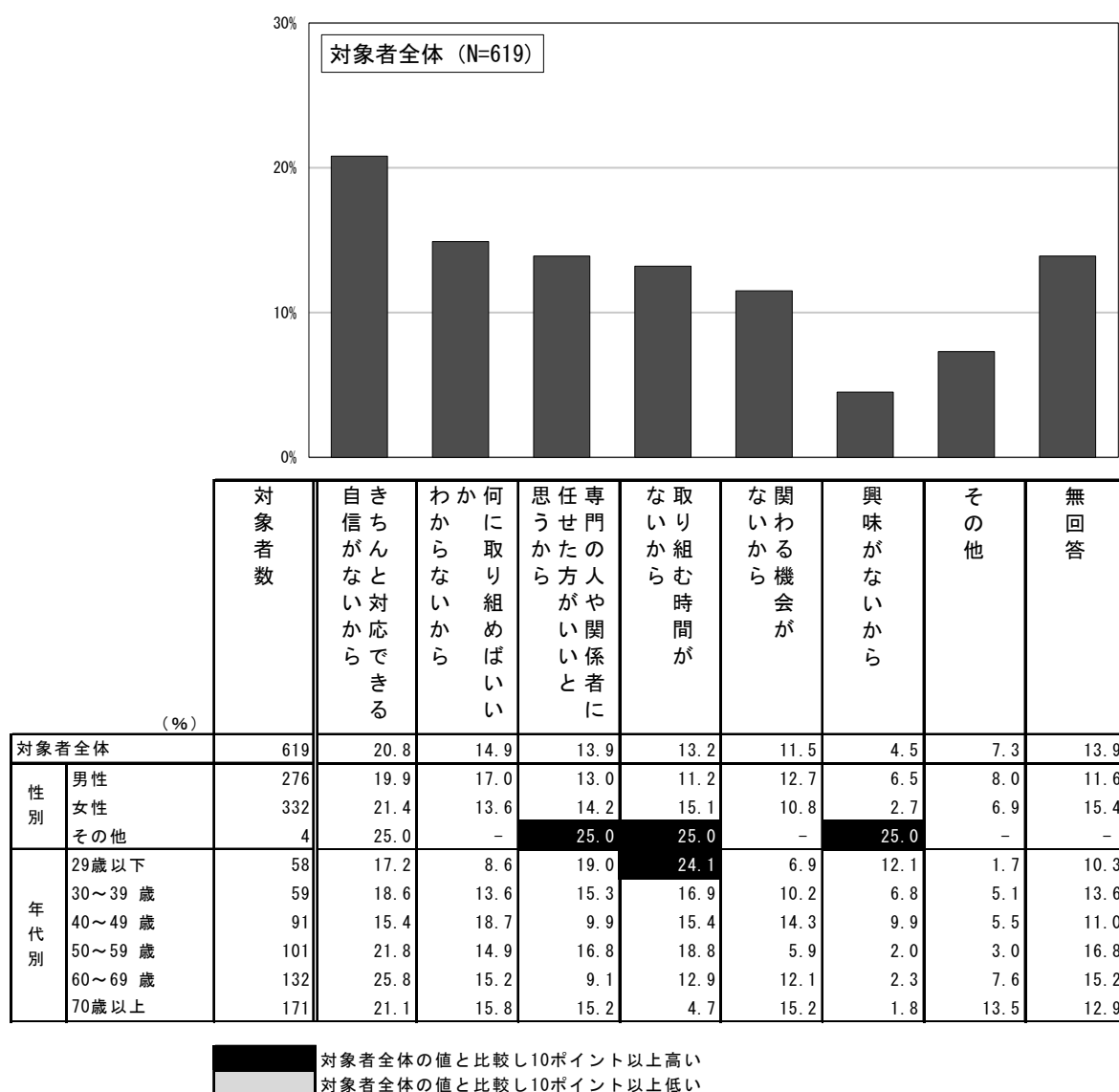
【年代別】「日常生活の場面で困っている方がいたら助ける」が30歳代(84.3%)で最も高く、次いで50歳代(81.0%)、40歳代(80.7%)となっている。

◇障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由

《問7で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問7-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由は「きちんと対応できる自信がないから」と回答した人が20.8%



【全 体】障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」が20.8%、「何に取り組めばいいかわからないから」が14.9%、「専門の人や関係者に任せたいから」が13.9%となっている。

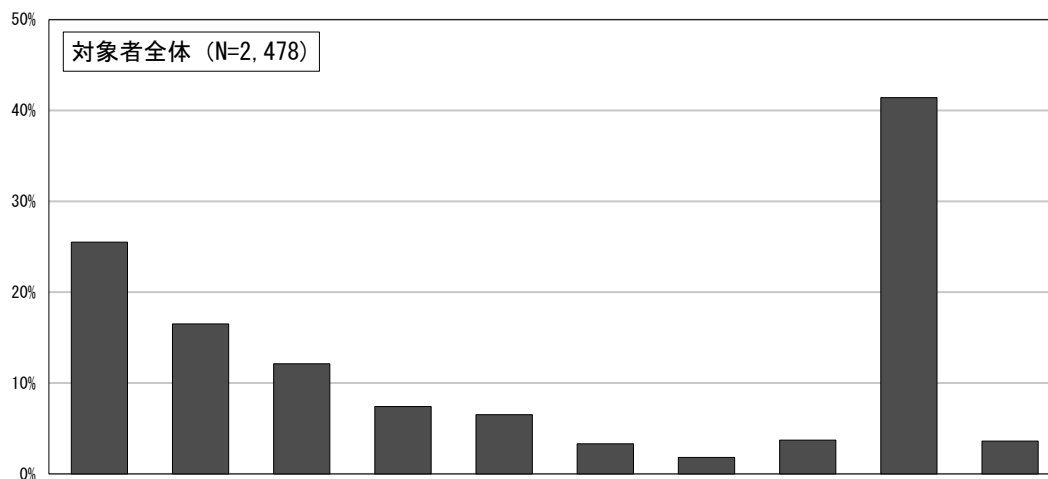
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「きちんと対応できる自信がないから」が60歳代(25.8%)で最も高く、次いで50歳代(21.8%)、70歳以上(21.1%)となっている。

◇障がいのある方との関わり

問 8 あなたと障がい（身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい）のある方との関わりについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

障がいのある方との関わりについて「家族や親戚に障がいのある方がいる」と回答した人が 25.5%



		対象者数	の家族や親戚に障がいがある方がいる (%)	の友人や知人に障がいがある方がいる (%)	が職場に障害のある方がいる (%)	る相手方が先に顧客がやいの引あ (%)	ある自分自身に障がいがある (%)	しが施設や支援団体を支援している (%)	るのティーアールやボランティア関係がない (%)	その他 (%)	方身障がいのある方 (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,478	25.5	16.5	12.1	7.4	6.5	3.3	1.8	3.7	41.4	3.6
性別	男性	1,004	24.8	16.6	12.6	7.6	8.7	2.5	2.0	2.7	42.8	2.9
	女性	1,416	26.1	16.1	11.8	7.2	4.9	4.0	1.8	4.3	40.6	4.1
	その他	8	37.5	37.5	12.5	-	25.0	-	-	12.5	25.0	-
年代別	29歳以下	210	18.6	20.5	16.2	8.1	7.1	5.7	2.4	1.9	49.0	0.5
	30～39 歳	252	27.4	23.4	20.2	9.1	6.3	2.8	1.6	4.4	34.9	1.6
	40～49 歳	418	29.4	16.3	18.4	10.8	4.8	3.3	1.4	3.8	38.8	1.9
	50～59 歳	419	26.0	13.1	13.8	11.9	5.7	4.1	1.2	4.1	39.4	1.7
	60～69 歳	491	27.1	15.9	11.8	5.9	6.7	3.7	2.0	4.3	40.5	2.9
	70歳以上	642	23.4	15.0	2.6	2.2	8.3	2.0	2.3	3.1	45.3	8.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】障がいのある方との関わりは、「家族や親戚に障がいのある方がいる」が 25.5%、「友人や知人に障がいのある方がいる」が 16.5%、「職場に障害のある方がいる」が 12.1%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「家族や親戚に障がいのある方がいる」が 40 歳代 (29.4%) で最も高く、次いで 30 歳代 (27.4%)、60 歳代 (27.1%) となっている。

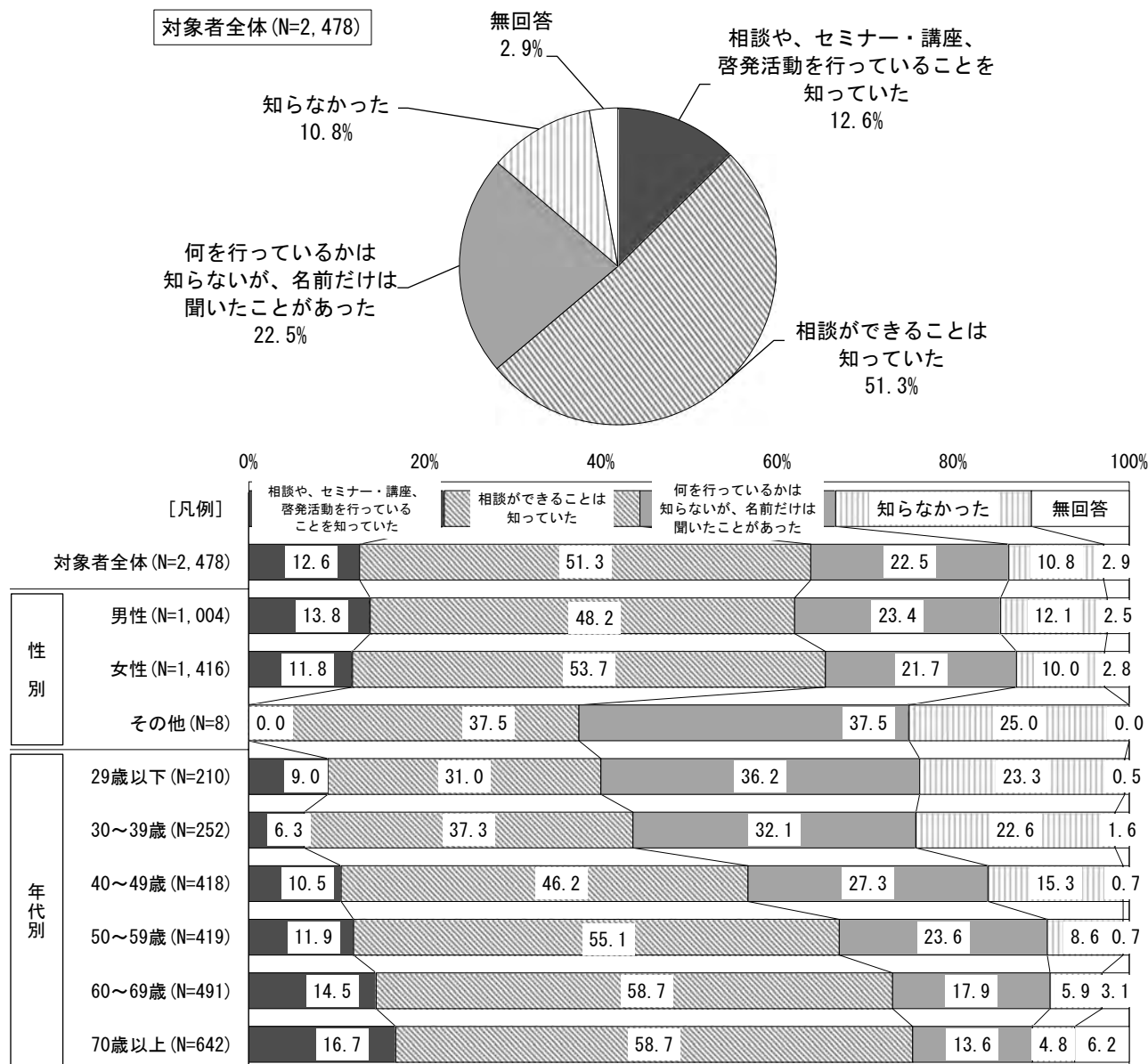
(3)消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて

◇「札幌市消費者センター」の認知度

問9 あなたは、「札幌市消費者センター」について知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「札幌市消費者センター」を“知っていた”と回答した人は86.4%

※“知っていた”（「相談や、セミナー・講座、啓発活動を行っていることを知っていた」＋「相談ができることは知っていた」＋「何を行っているかは知らないが、名前だけは聞いたことがあった」）



【全 体】「札幌市消費者センター」の認知度は、「相談や、セミナー・講座、啓発活動を行っていることを知っていた」が12.6%、「相談ができることは知っていた」が51.3%、「何を行っているかは知らないが、名前だけは聞いたことがあった」が22.5%、合わせると86.4%となっている。一方、「知らなかった」が10.8%となっている。

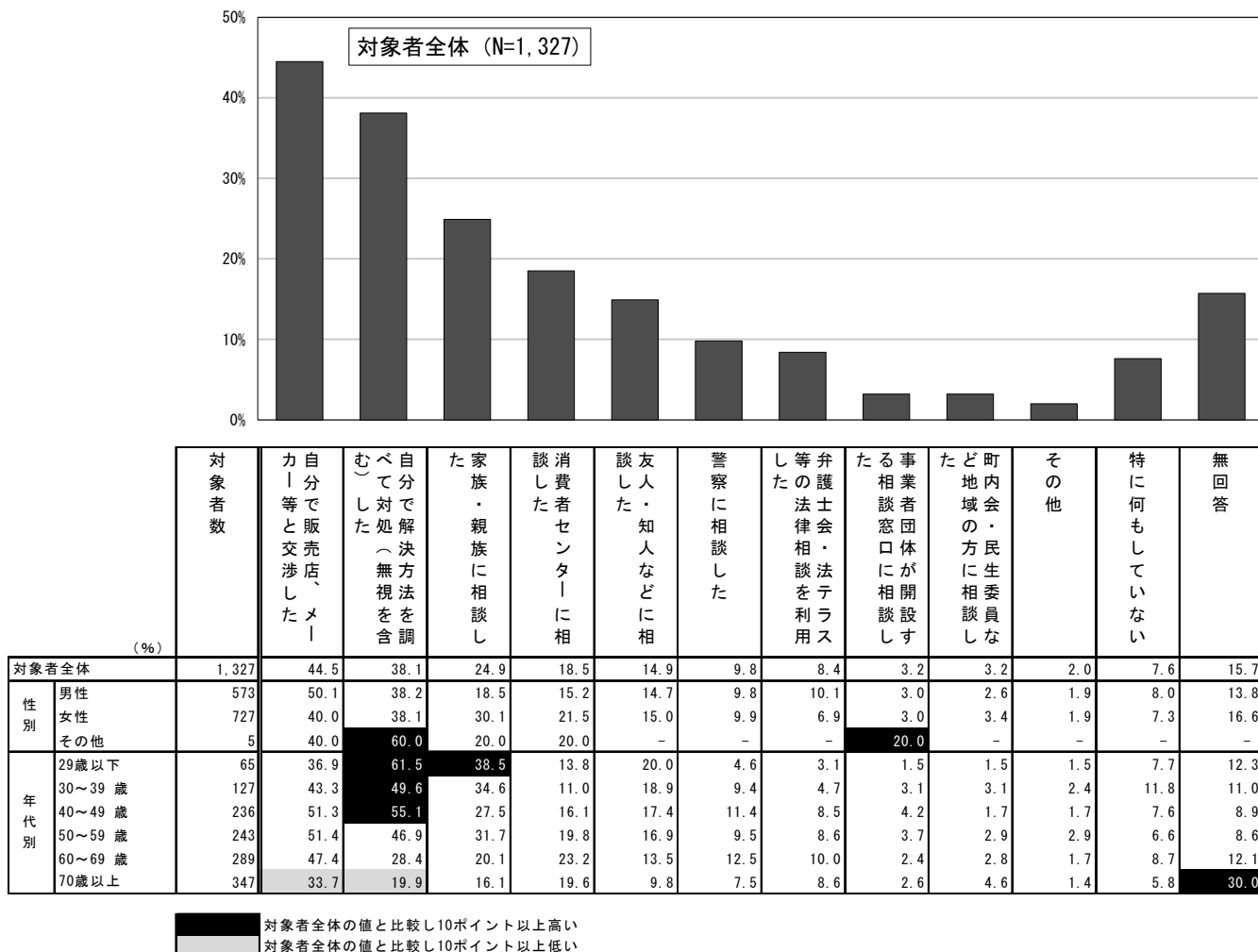
【性 別】「相談ができることは知っていた」は女性が53.7%と、男性の48.2%より5.5ポイント高くなっている。

【年代別】「相談ができることは知っていた」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇消費者トラブルに遭ったとき、解決するための行動

問 10 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するためにどのような行動を取りましたか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消費者トラブルに遭ったとき、解決するための行動は「自分で販売店、メーカー等と交渉した」と回答した人が 44.5%



【全 体】消費者トラブルに遭ったとき、解決するための行動は、「自分で販売店、メーカー等と交渉した」が 44.5%、「自分で解決方法を調べて対処（無視を含む）した」が 38.1%、「家族・親族に相談した」が 24.9%となっている。

【性 別】「自分で販売店、メーカー等と交渉した」は男性が 50.1%と、女性の 40.0%より 10.1 ポイント高くなっている。また、「家族・親族に相談した」、「消費者センターに相談した」は女性が男性より 6.3 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「自分で解決方法を調べて対処（無視を含む）した」が 29 歳以下（61.5%）で最も高く、最も低い 70 歳以上（19.9%）と比べると 41.6 ポイント差となっている。

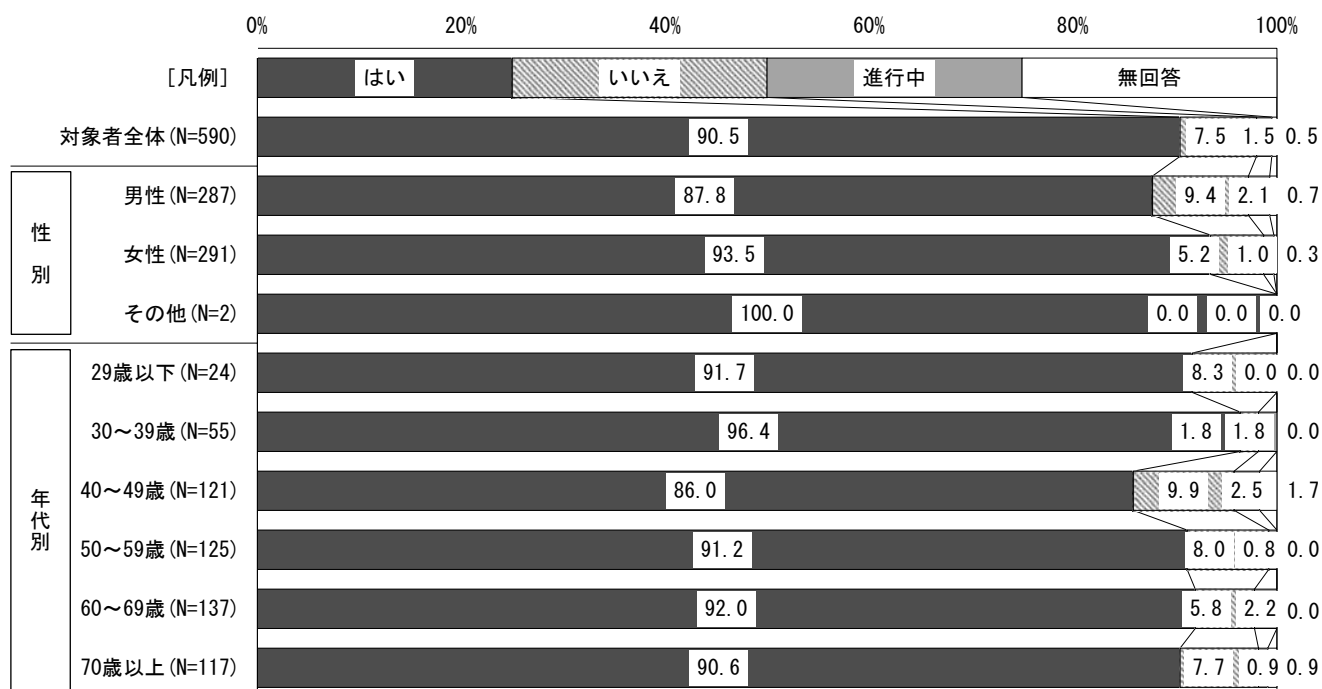
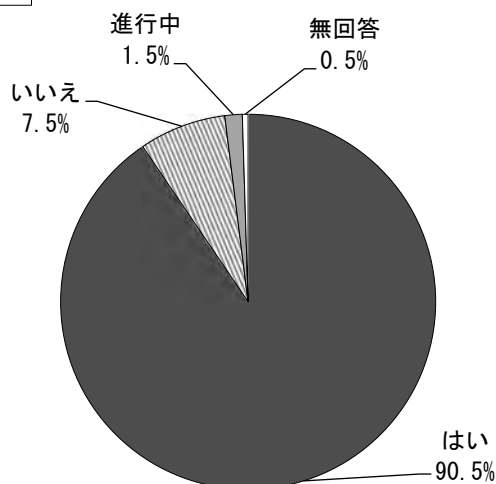
◇解決するための行動によるトラブルの解決率＜ア 自分で販売店、メーカー等と交渉した＞

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

自分で販売店、メーカー等と交渉した人のうち、トラブルが“解決した”人が90.5%

※ “解決した”（「はい」の回答）

対象者全体 (N=590)



【全 体】自分で販売店、メーカー等と交渉したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が90.5%、「いいえ」が7.5%、「進行中」が1.5%となっている。

【性 別】「はい」は女性が93.5%と、男性の87.8%より5.7ポイント高くなっている。

【年代別】「はい」が30歳代（96.4%）で最も高く、次いで60歳代（92.0%）、29歳以下（91.7%）となっている。

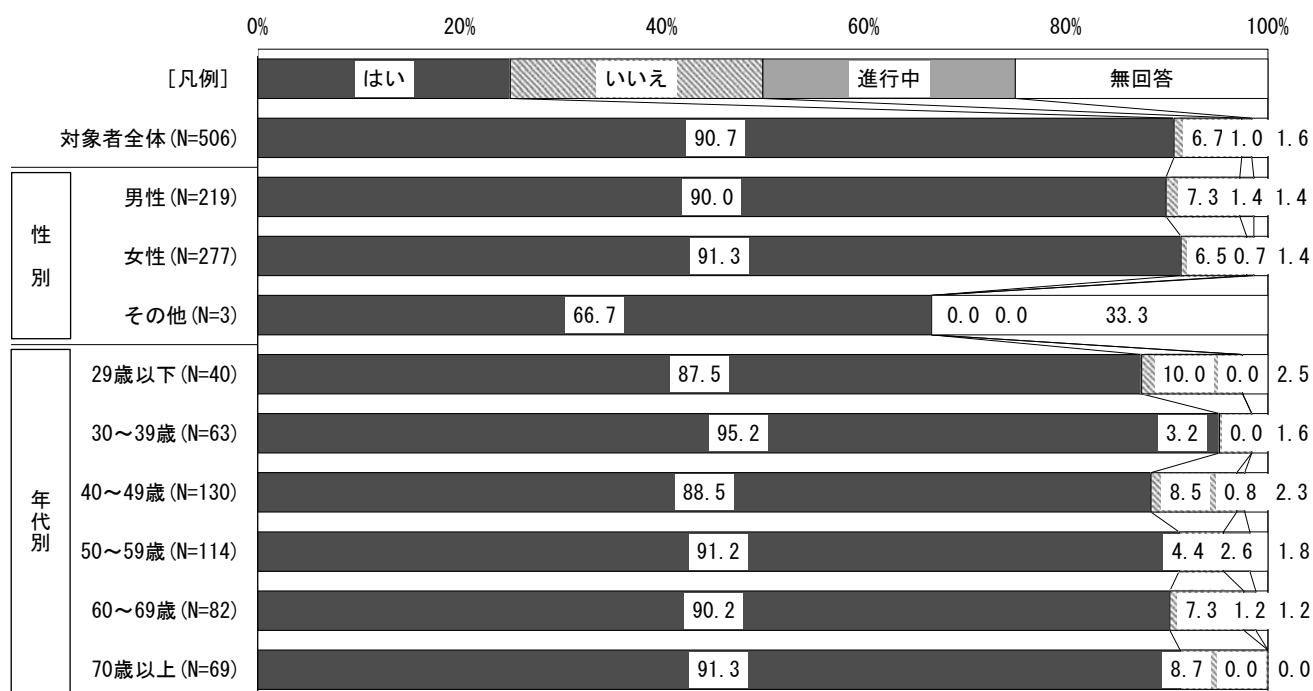
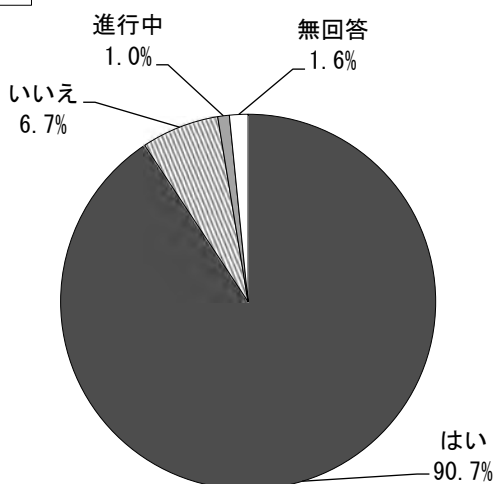
◇解決するための行動によるトラブルの解決率<イ 自分で解決方法を調べて対処(無視を含む)した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

自分で解決方法を調べて対処(無視を含む)した人のうち、トラブルが“解決した”人が90.7%

※ “解決した”(「はい」)の回答)

対象者全体(N=506)



【全 体】自分で解決方法を調べて対処(無視を含む)したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が90.7%、「いいえ」が6.7%、「進行中」が1.0%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

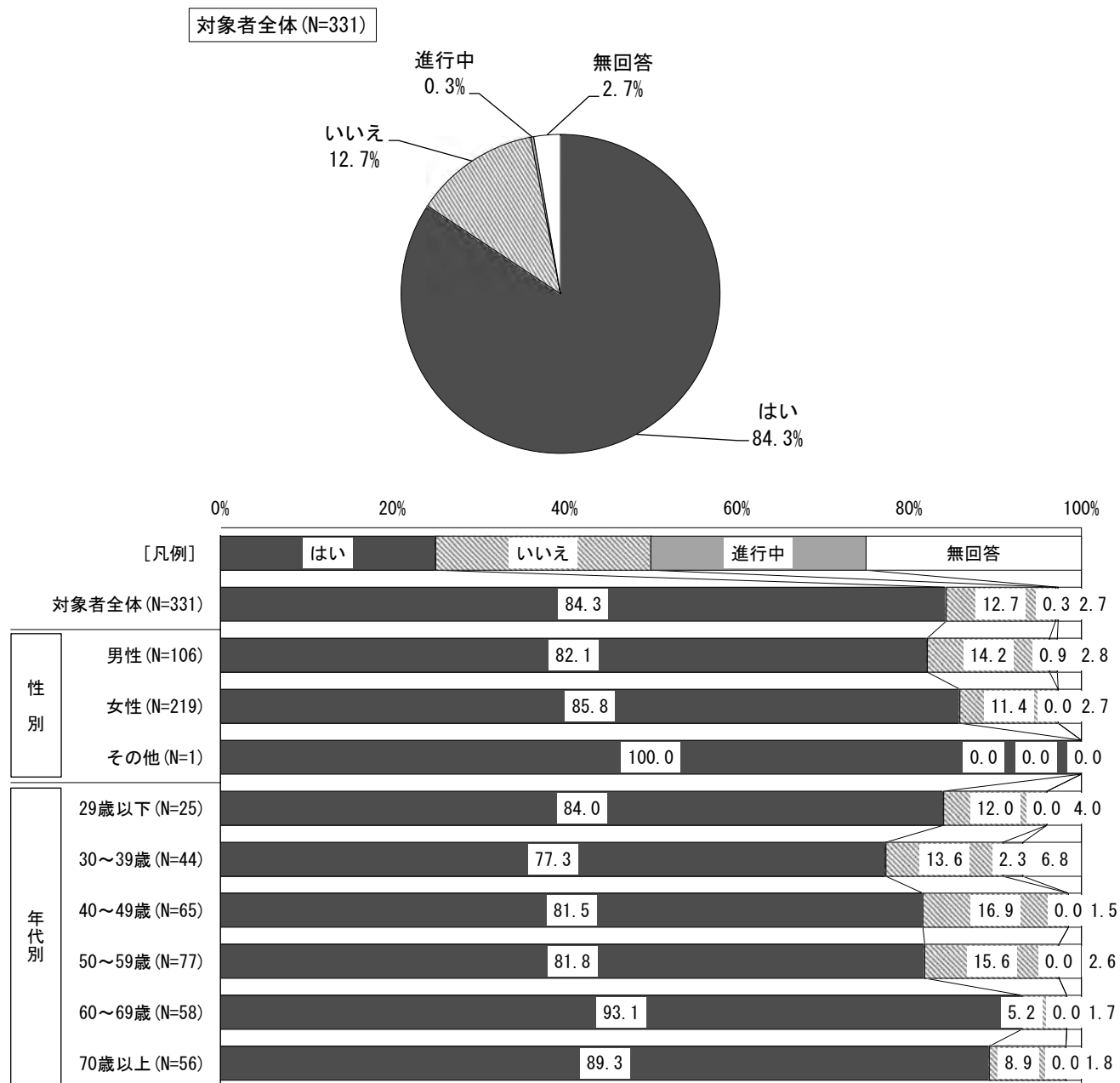
【年代別】「はい」が30歳代(95.2%)で最も高く、次いで70歳以上(91.3%)、50歳代(91.2%)となっている。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率<ウ 家族・親族に相談した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

家族・親族に相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が84.3%

※ “解決した”（「はい」の回答）



【全 体】家族・親族に相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が84.3%、「いいえ」が12.7%、「進行中」が0.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

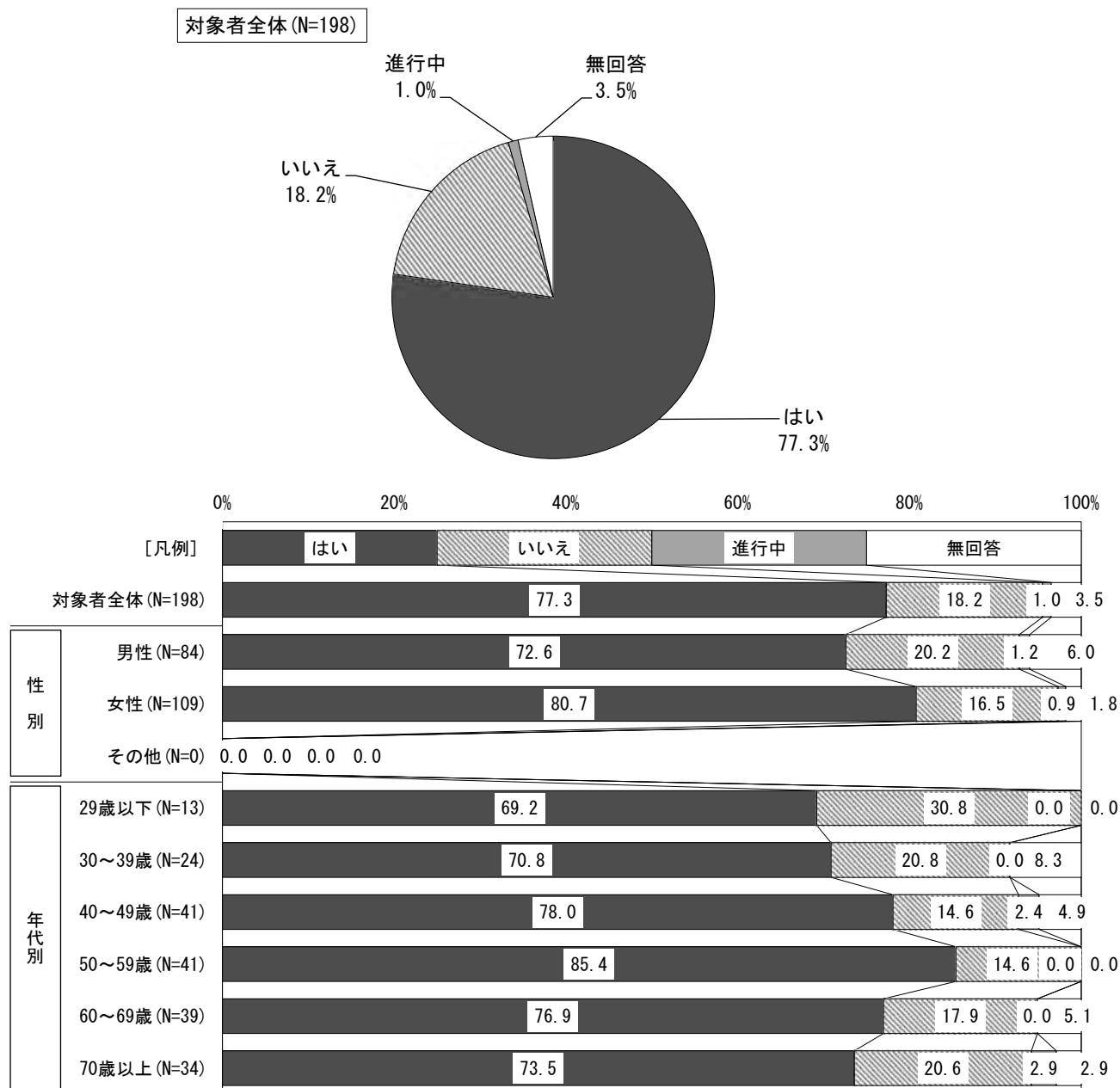
【年代別】「はい」が60歳代（93.1%）で最も高く、次いで70歳以上（89.3%）、29歳以下（84.0%）となっている。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率<エ 友人・知人などに相談した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

友人・知人などに相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が 77.3%

※ “解決した”（「はい」の回答）



【全 体】友人・知人などに相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が 77.3%、「いいえ」が 18.2%、「進行中」が 1.0%となっている。

【性 別】「はい」は女性が 80.7%と、男性の 72.6%より 8.1 ポイント高くなっている。

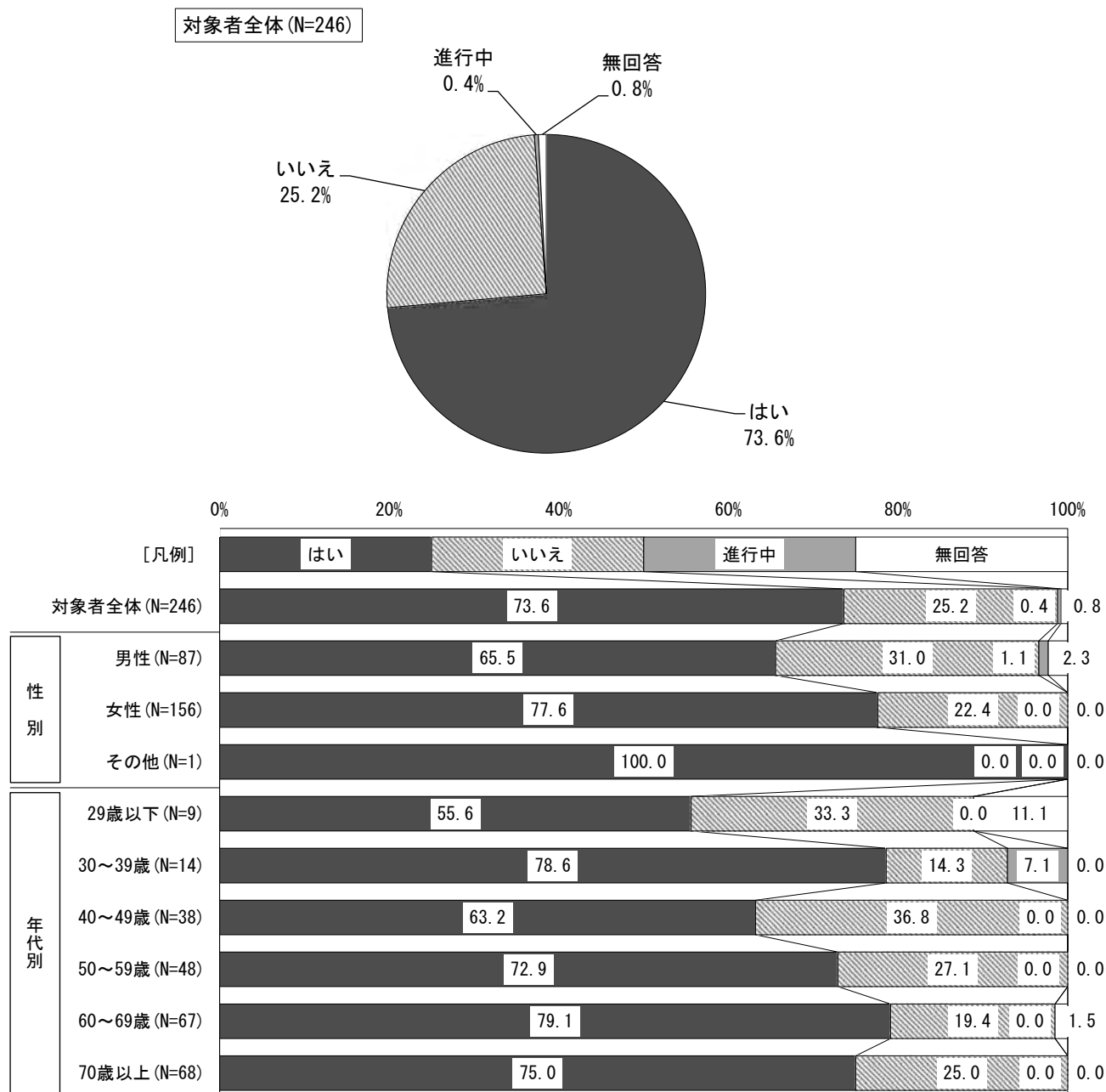
【年代別】「はい」が 50 歳代（85.4%）で最も高く、次いで 40 歳代（78.0%）、60 歳代（76.9%）となっている。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率<オ 消費者センターに相談した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

消費者センターに相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が 73.6%

※ “解決した”（「はい」）の回答



【全 体】消費者センターに相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が 73.6%、「いいえ」が 25.2%、「進行中」が 0.4%となっている。

【性 別】「はい」は女性が 77.6%と、男性の 65.5%より 12.1 ポイント高くなっている。また、「いいえ」は男性が 31.0%と、女性の 22.4%より 8.6 ポイント高くなっている。

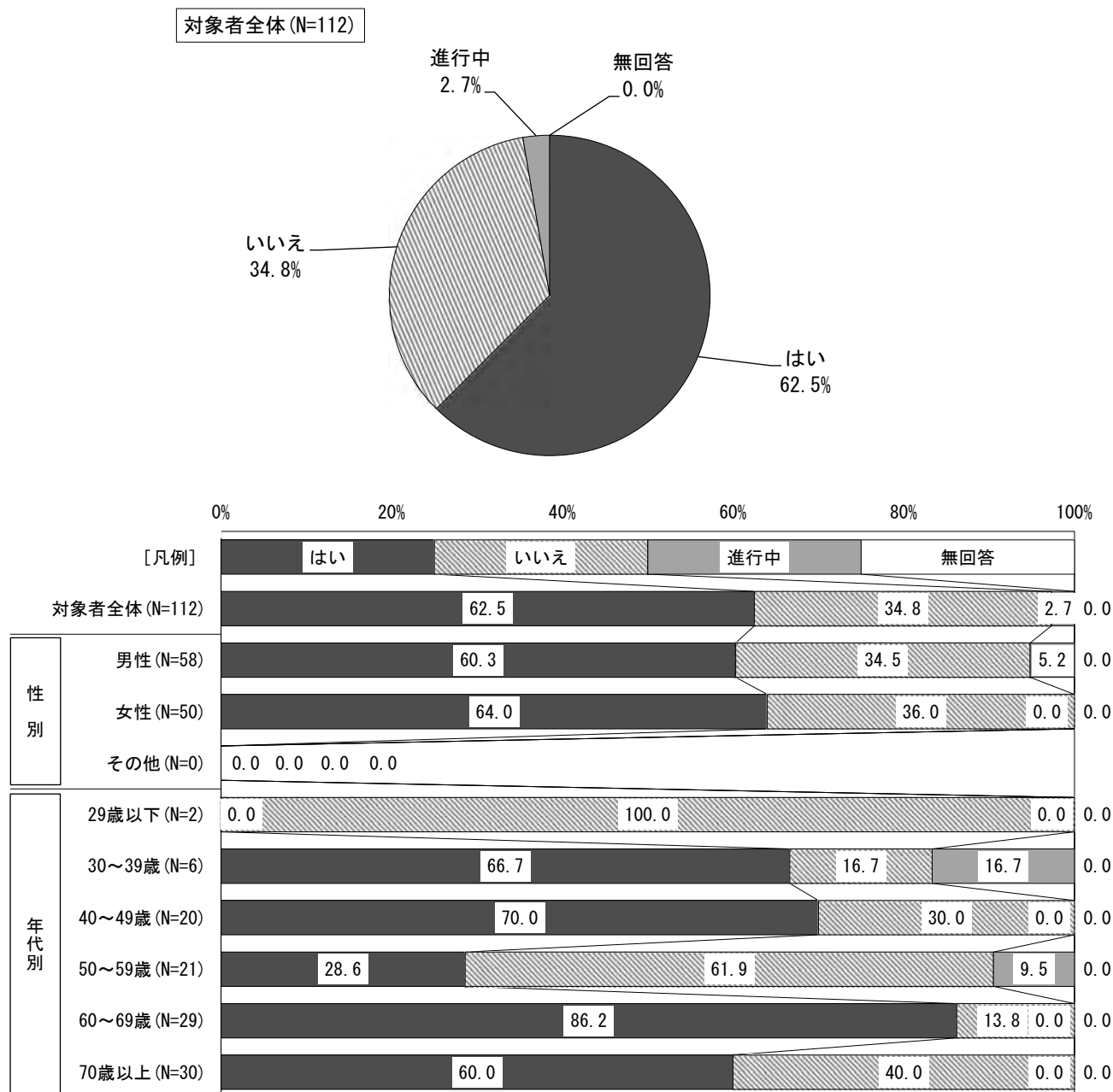
【年代別】「はい」が 60 歳代 (79.1%) で最も高く、次いで 30 歳代 (78.6%)、70 歳以上 (75.0%) となっている。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率＜カ 弁護士会・法テラス等の法律相談を利用した＞

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

弁護士会・法テラス等の法律相談を利用した人のうち、トラブルが“解決した”人が 62.5%

※ “解決した”（「はい」の回答）



【全 体】 弁護士会・法テラス等の法律相談を利用したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が 62.5%、「いいえ」が 34.8%、「進行中」が 2.7%となっている。

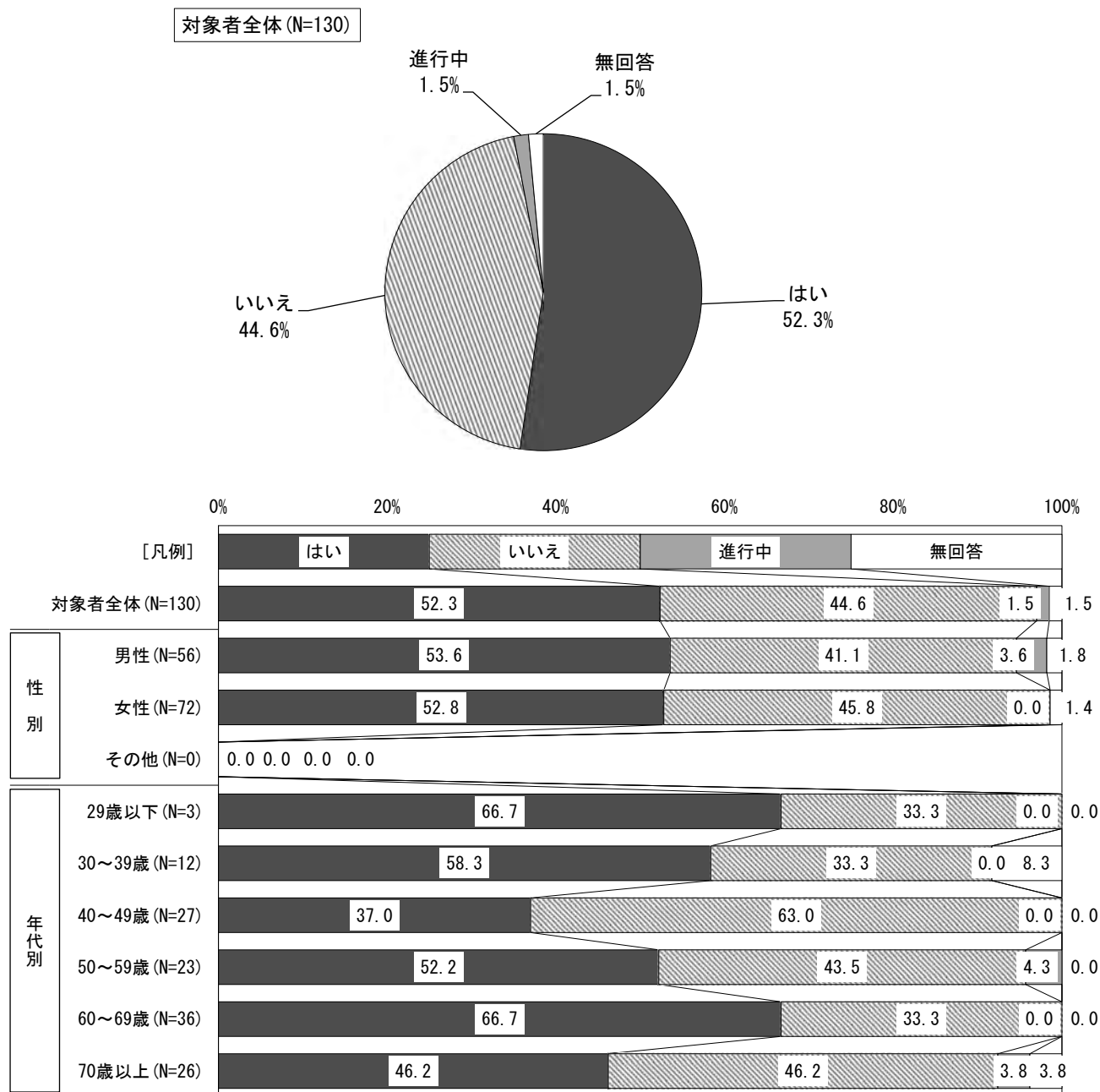
【性 別】 大きな差は見られない。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率<キ 警察に相談した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

警察に相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が 52.3%

※ “解決した”（「はい」）の回答）



【全 体】警察に相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が 52.3%、「いいえ」が 44.6%、「進行中」が 1.5%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

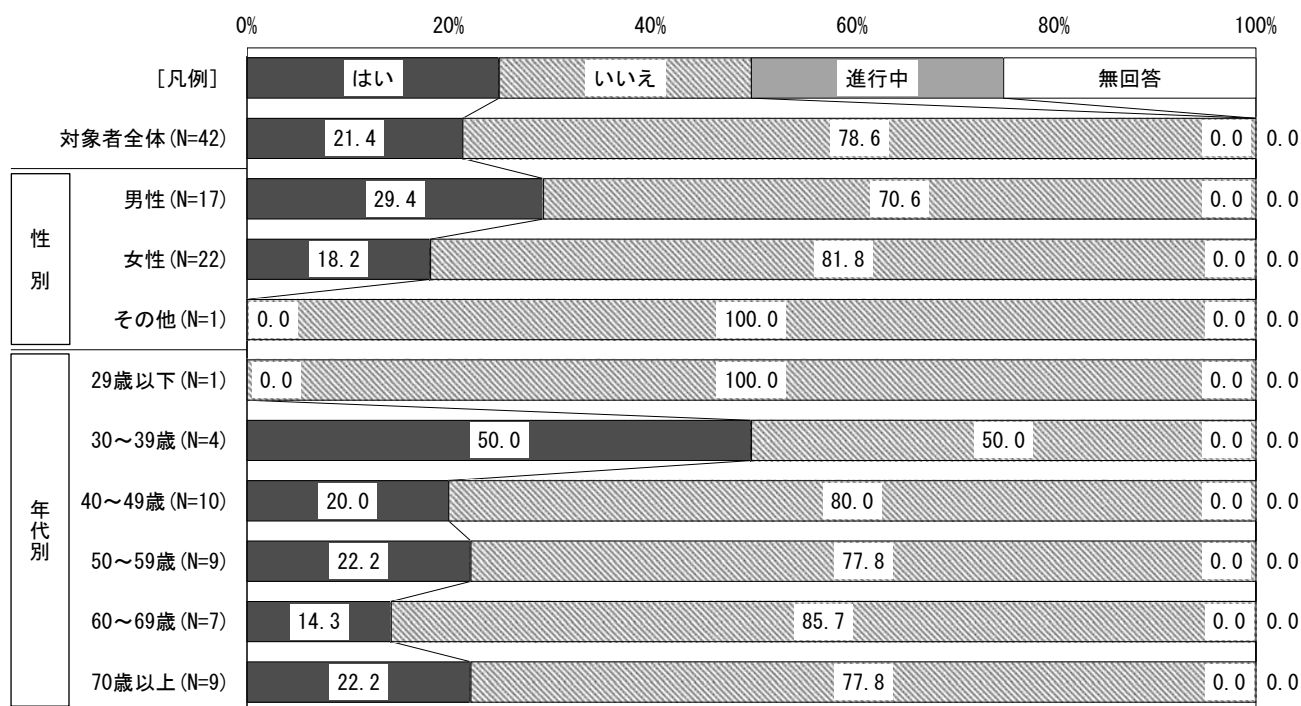
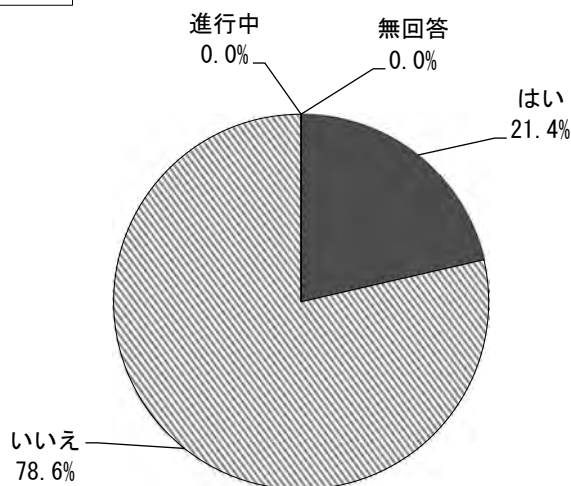
◇解決するための行動によるトラブルの解決率<ク 事業者団体が開設する相談窓口相談した>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

事業者団体が開設する相談窓口相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が21.4%

※ “解決した”（「はい」の回答）

対象者全体 (N=42)



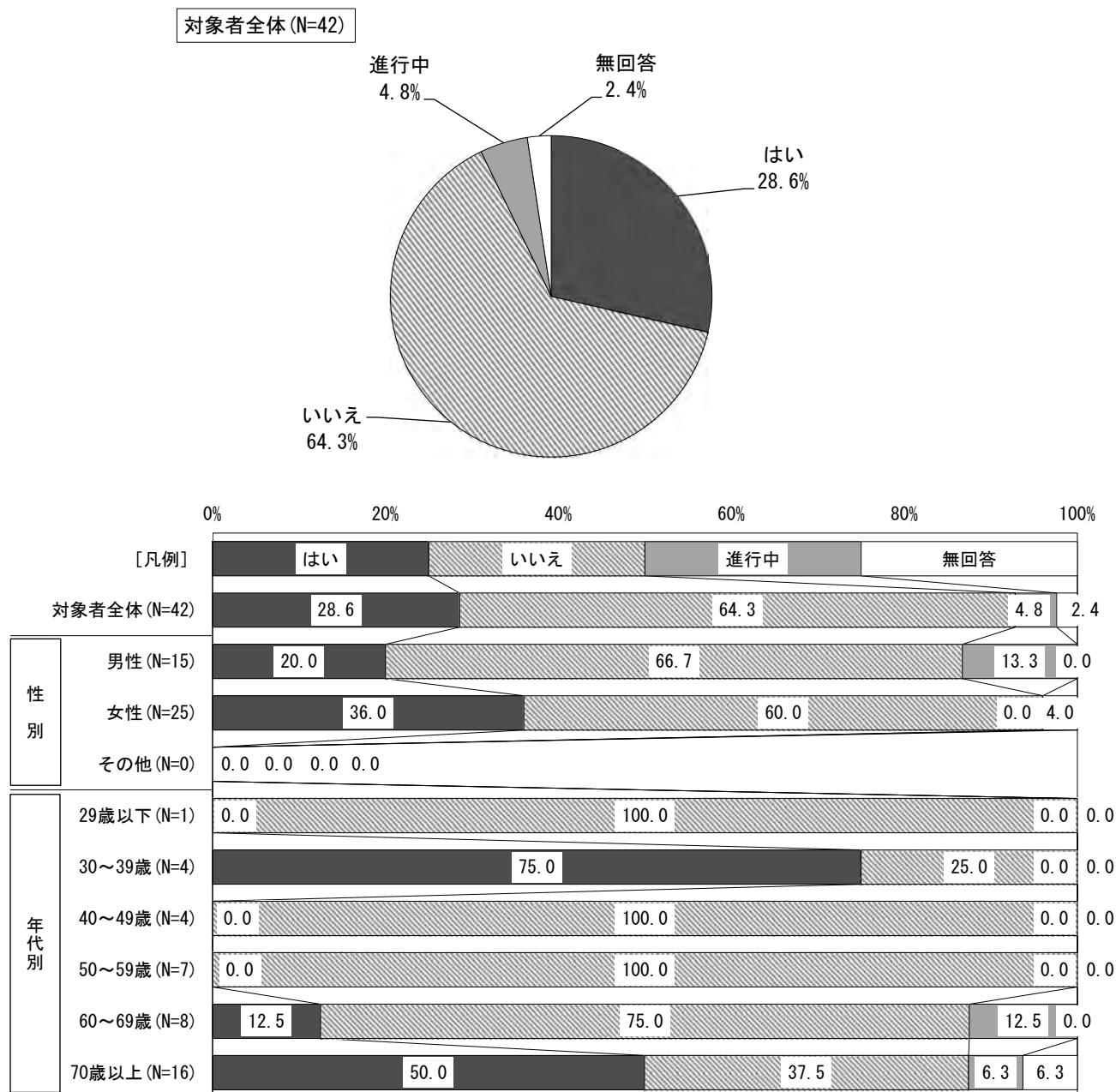
【全 体】事業者団体が開設する相談窓口相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が21.4%、「いいえ」が78.6%となっている。

◇解決するための行動によるトラブルの解決率＜ 町内会・民生委員など地域の方に相談した＞

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

町内会・民生委員など地域の方に相談した人のうち、トラブルが“解決した”人が 28.6%

※ “解決した”（「はい」の回答）



【全 体】町内会・民生委員など地域の方に相談したことによる消費生活トラブルの解決率は、「はい」が 28.6%、「いいえ」が 64.3%、「進行中」が 4.8%となっている。

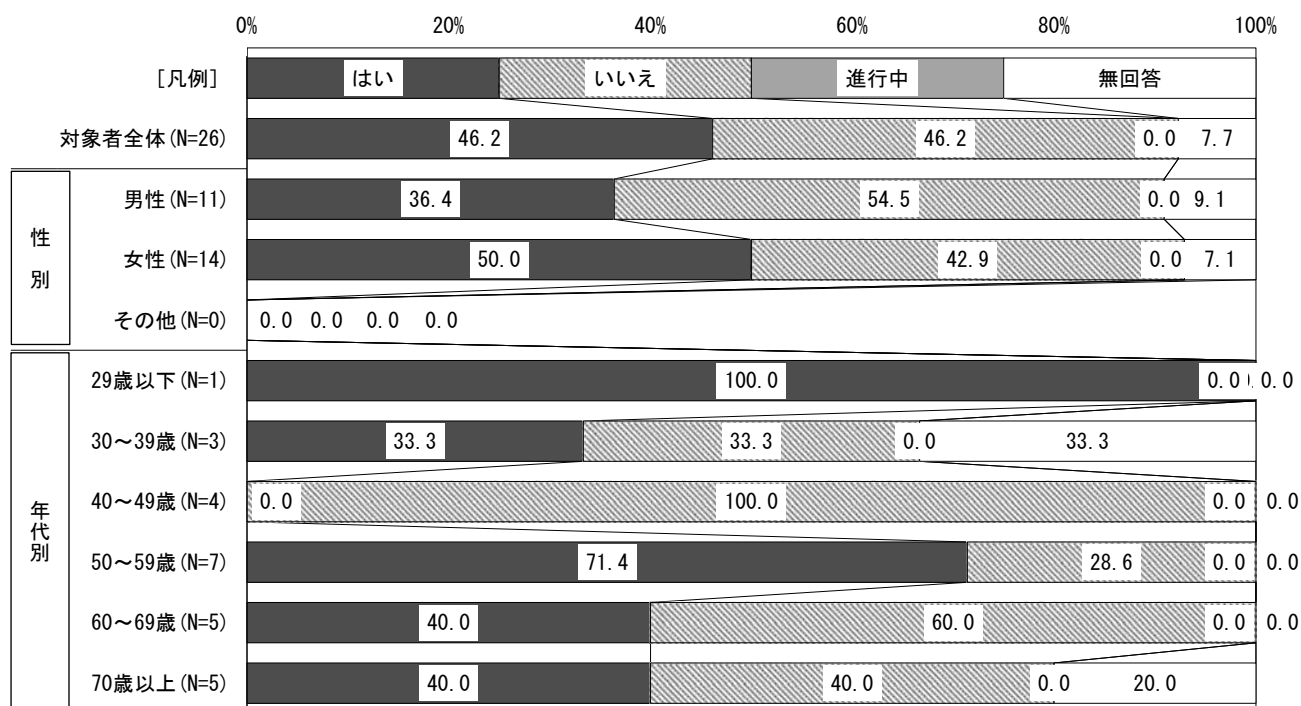
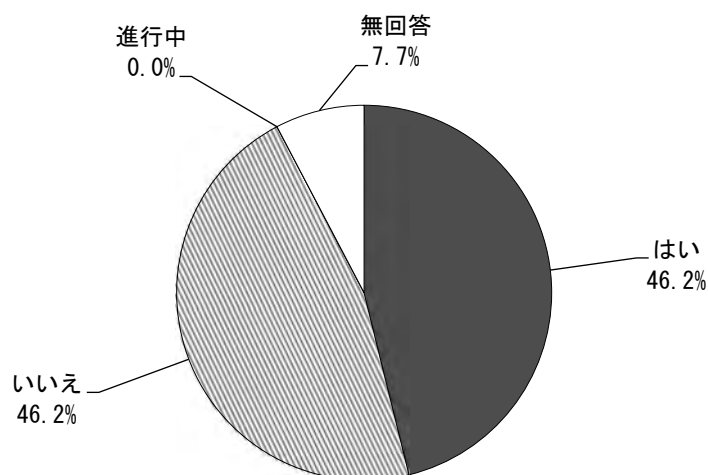
◇解決するための行動によるトラブルの解決率＜コ その他＞

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

その他の行動をした人のうち、トラブルが“解決した”人が46.2%

※ “解決した”（「はい」の回答）

対象者全体 (N=26)



【全 体】その他の方法による消費生活トラブルの解決率は、「はい」が46.2%、「いいえ」が46.2%の同率となっている。

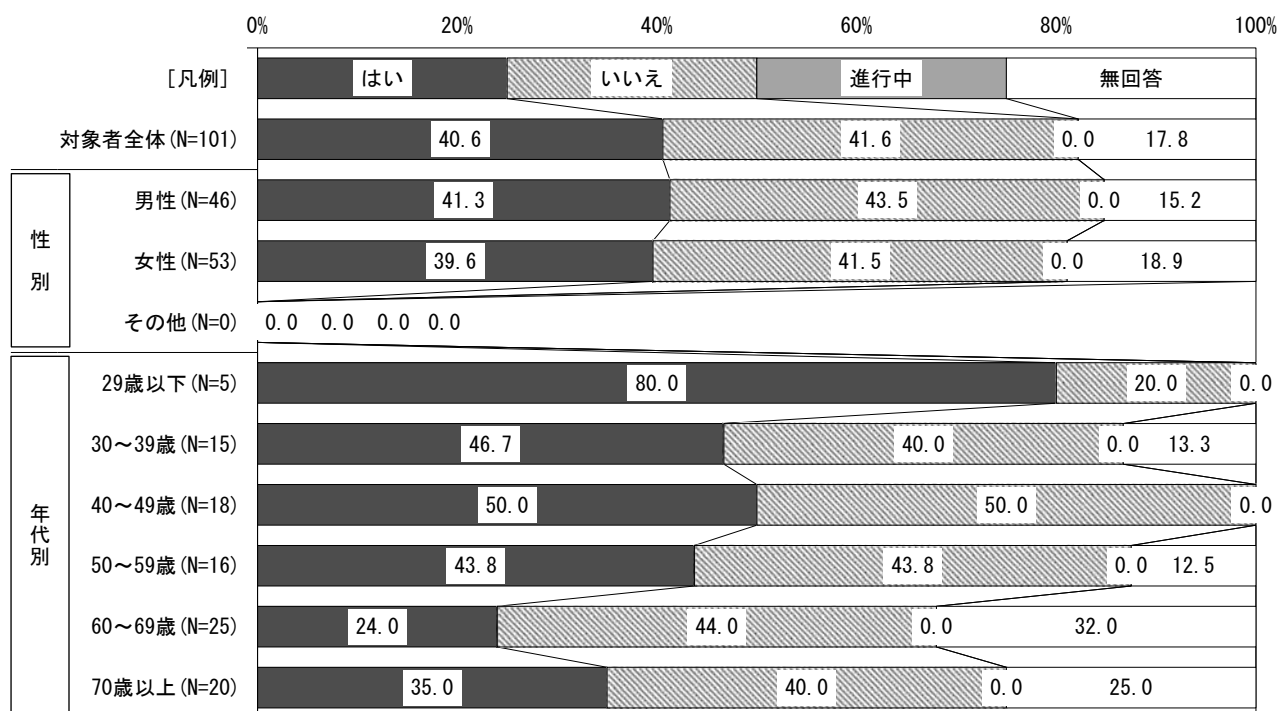
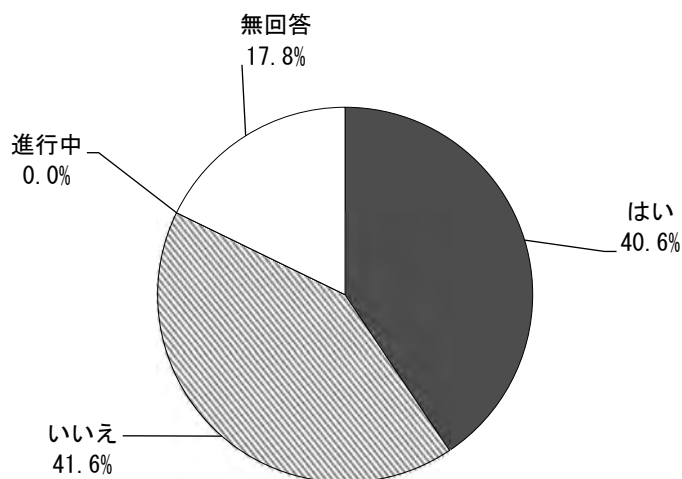
◇解決するための行動によるトラブルの解決率<サ 特に何もしていない>

問 1 0 あなたがこれまで消費者トラブルに遭ったとき、解決するために取った行動で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

特に何もしていない人のうち、トラブルが“解決した”人が40.6%

※ “解決した”（「はい」）の回答

対象者全体 (N=101)



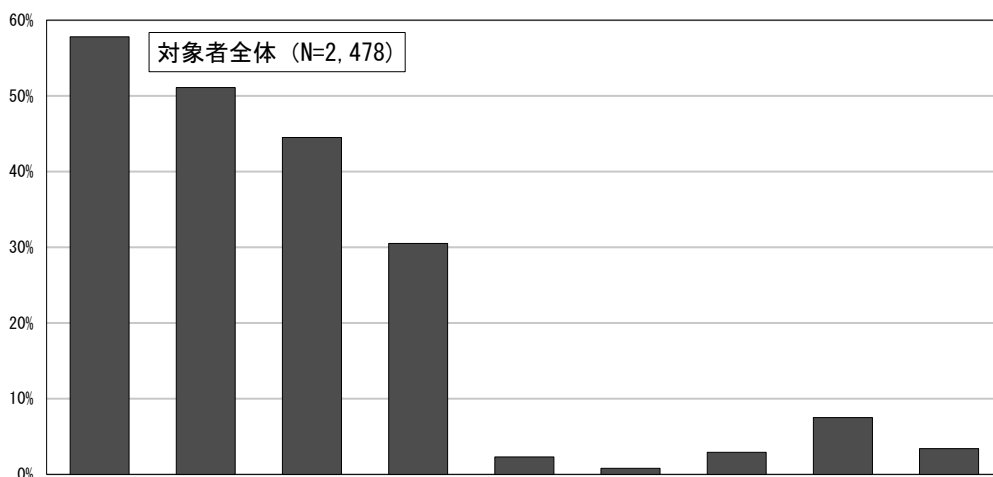
【全 体】 特に何もしていない場合の消費生活トラブルの解決率は、「はい」が40.6%、「いいえ」が41.6%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

◇トラブルによる被害に遭わないための重要な対応

問 1 1 あなたは、消費者個人としてトラブルによる被害に遭わないために、どのような対応を取ることが重要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

トラブルによる被害に遭わないための重要な対応は「自分で知識を身につけたり、学習したりする」と回答した人が 57.8%



		対象者数 (%)	自分で知識を身につけたり、学習したりする	情報収集、広報誌や行政からののお知らせ、報道等で	相談窓口等を利用する	消費者トラブルにあった時は行政等の相談窓口等を利用する	商品やサービスに関する意見や疑問に思ったことを、事業者や行政に問い合わせる	セミナーや講座に参加する	消費者団体やグループの活動に参加する	その他	特になし	無回答
対象者全体		2,478	57.8	51.1	44.5	30.5	2.3	0.8	2.9	7.5	3.4	
性別	男性	1,004	62.8	46.1	40.3	31.7	2.8	1.0	2.5	8.9	3.2	
	女性	1,416	54.8	54.7	48.2	29.9	2.1	0.6	3.2	6.4	3.2	
	その他	8	25.0	75.0	37.5	25.0	-	-	-	25.0	-	
年代別	29歳以下	210	74.3	38.6	47.1	32.9	1.9	0.5	2.9	8.1	1.9	
	30～39 歳	252	71.8	47.2	51.2	30.6	2.0	0.4	2.4	5.6	0.4	
	40～49 歳	418	65.1	49.5	42.1	30.1	3.1	0.2	5.5	6.5	2.4	
	50～59 歳	419	61.6	53.9	40.3	31.7	1.4	0.7	3.6	7.2	1.2	
	60～69 歳	491	52.1	54.4	54.2	32.4	1.8	0.8	1.4	7.7	2.4	
	70歳以上	642	44.4	53.9	39.1	28.0	3.3	1.2	2.0	8.7	7.5	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】トラブルによる被害に遭わないための重要な対応は、「自分で知識を身につけたり、学習したりする」が 57.8%、「広報誌や行政からののお知らせ、報道等で情報を収集する」が 51.1%、「消費者トラブルにあった時は行政等の相談窓口等を利用する」が 44.5%となっている。

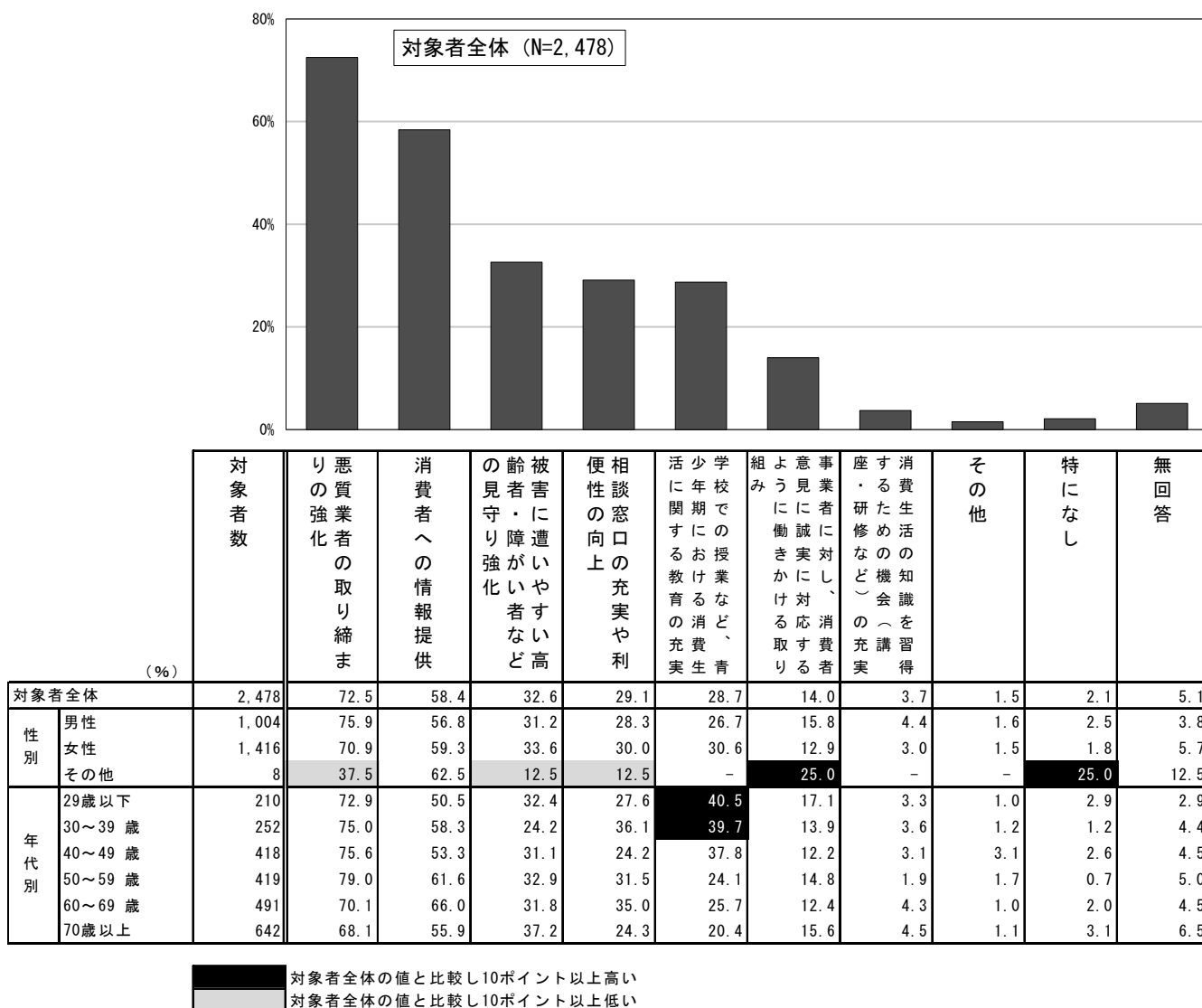
【性 別】「自分で知識を身につけたり、学習したりする」は男性が 62.8%と、女性の 54.8%より 8.0 ポイント高くなっている。また、「広報誌や行政からののお知らせ、報道等で情報を収集する」、「消費者トラブルにあった時は行政等の相談窓口等を利用する」は女性が男性より 7.9 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「自分で知識を身につけたり、学習したりする」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇トラブルによる被害に遭わないために札幌市に力を入れてほしいこと

問 1 2 消費者がトラブルによる被害に遭わないために、あなたが札幌市に力を入れてほしいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

トラブルによる被害に遭わないために札幌市に力を入れてほしいことは「悪質業者の取り締まりの強化」と回答した人が 72.5%



【全 体】トラブルによる被害に遭わないために札幌市に力を入れてほしいことは、「悪質業者の取り締まりの強化」が 72.5%、「消費者への情報提供」が 58.4%、「被害に遭いやすい高齢者・障がい者などの見守り強化」が 32.6%となっている。

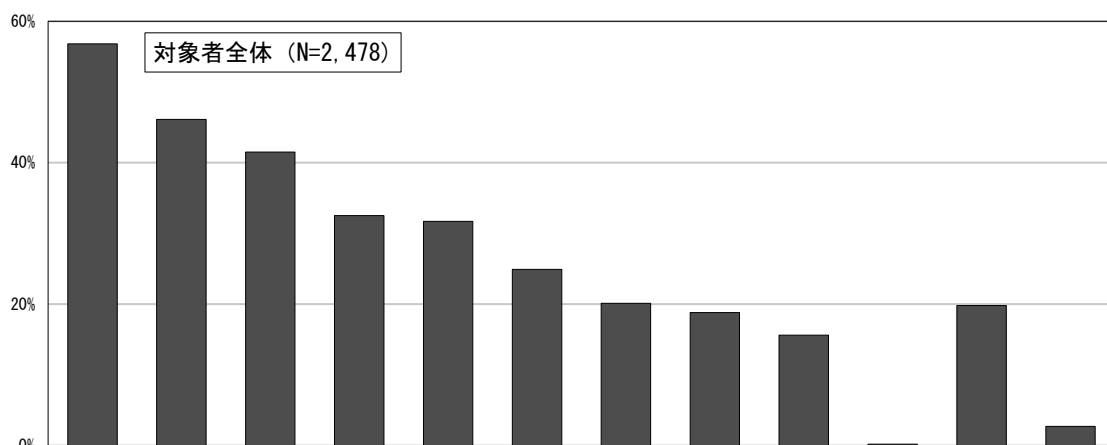
【性 別】「悪質業者の取り締まりの強化」は男性が 75.9%と、女性の 70.9%より 5.0 ポイント高くなっている。

【年代別】「学校での授業など、青少年期における消費生活に関する教育の充実」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇学校や市民講座で習ったり、見たりしたことがある消費者教育

問 1 3 この中であなたが、学校や市民講座で習ったり、ポスターやパンフレットで見たりしたことがあるものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

学校や市民講座で習ったり、見たりしたことがある消費者教育は「契約やクーリング・オフについて」と回答した人が 56.8%



	対象者数	契約やクーリング・オフについて	悪質商法について	環境問題（リサイクル・資源の節約・食品ロス削減など）について	消費者トラブルに先づいて	商品の表示（食品表示マークなど）に関する	インターネットやSNSを使用する際の注意点、マナーについて	商品の正しい使い方、使用の際の注意などについて	地産地消（※1）やフェアトレード（※2）について	生活の設計・管理について（クレジットカードやローンなど）	その他	特になし	無回答
対象者全体	2,478	56.8	46.1	41.5	32.5	31.7	24.9	20.1	18.8	15.6	0.2	19.8	2.7
性別													
男性	1,004	53.8	48.6	34.8	31.3	27.5	22.8	17.9	15.1	14.8	0.2	22.4	2.1
女性	1,416	59.9	44.9	46.7	33.6	35.0	26.8	21.6	21.5	16.5	0.1	17.7	2.9
その他	8	37.5	25.0	37.5	12.5	50.0	12.5	25.0	37.5	-	-	37.5	-
年代別													
29歳以下	210	60.5	52.9	42.9	29.5	39.5	53.8	19.5	32.9	25.2	-	25.7	-
30～39歳	252	65.1	50.8	54.0	34.5	39.7	45.2	18.7	24.2	26.2	0.4	16.3	-
40～49歳	418	53.3	36.1	41.1	23.7	28.0	34.9	15.3	19.4	13.6	-	27.0	0.2
50～59歳	419	56.1	42.5	40.3	27.9	33.2	22.9	18.9	16.7	14.6	-	23.4	1.0
60～69歳	491	62.1	48.7	38.5	33.6	31.4	16.1	18.3	18.5	12.2	0.4	18.3	1.8
70歳以上	642	52.3	49.8	40.2	40.7	28.2	9.7	26.0	13.6	13.2	0.2	13.1	7.6

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】学校や市民講座で習ったり、見たりしたことがある消費者教育は、「契約やクーリング・オフについて」が 56.8%、「悪質商法について」が 46.1%、「環境問題について」が 41.5%となっている。

【性 別】「契約やクーリング・オフについて」、「環境問題について」、「商品の表示について」、「地産地消やフェアトレードについて」は女性が男性より 6.1 ポイント以上高くなっている。

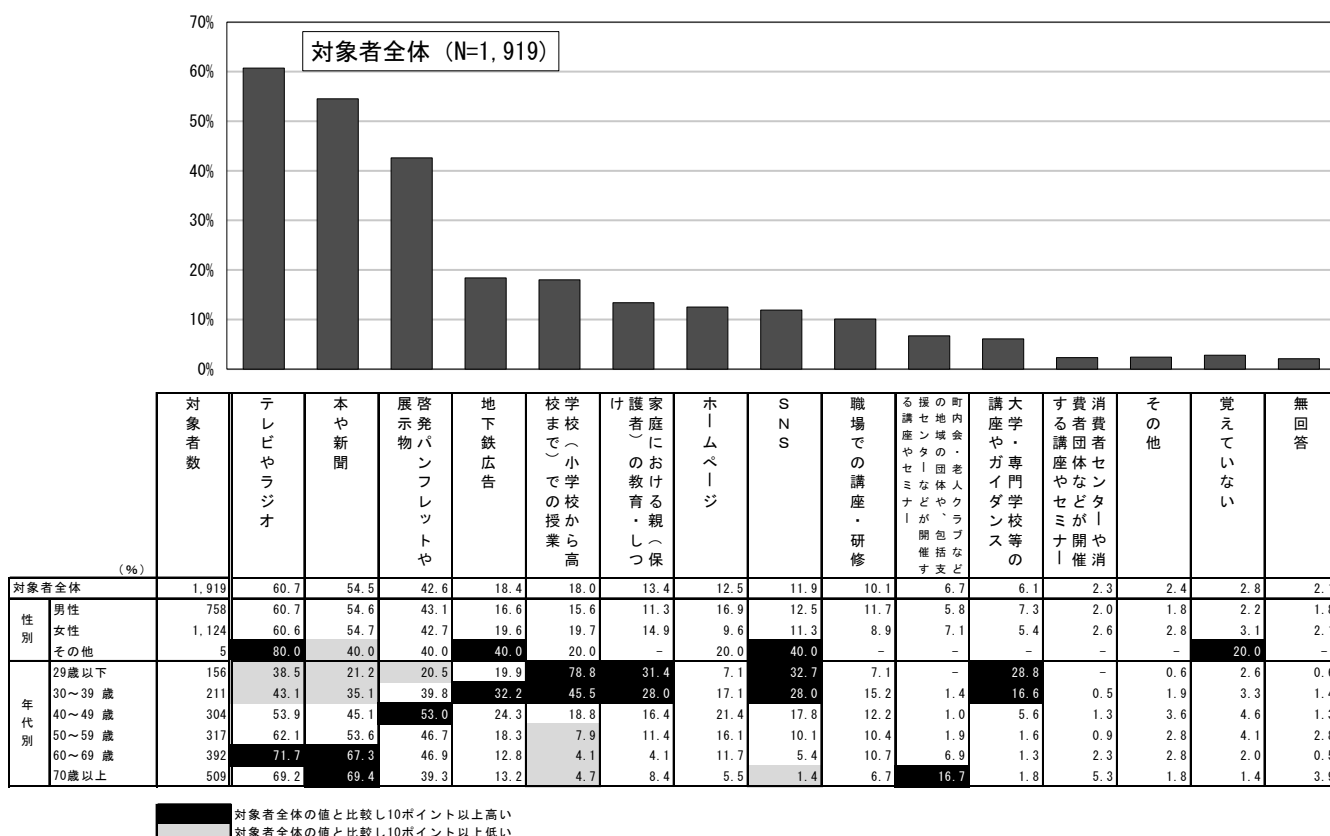
【年代別】「インターネットやSNSを使用する際の注意点、マナーについて」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇学校や市民講座で習ったり、見たりした消費者教育を認知した方法

《問13で「1」から「10」のうち、一つでも習ったり、見たりしたことがあると答えた方にお聞きます。》

問13-1 あなたは、問13の内容をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

学校や市民講座で習ったり、見たりした消費者教育を認知した方法は「テレビやラジオ」と回答した人が60.7%



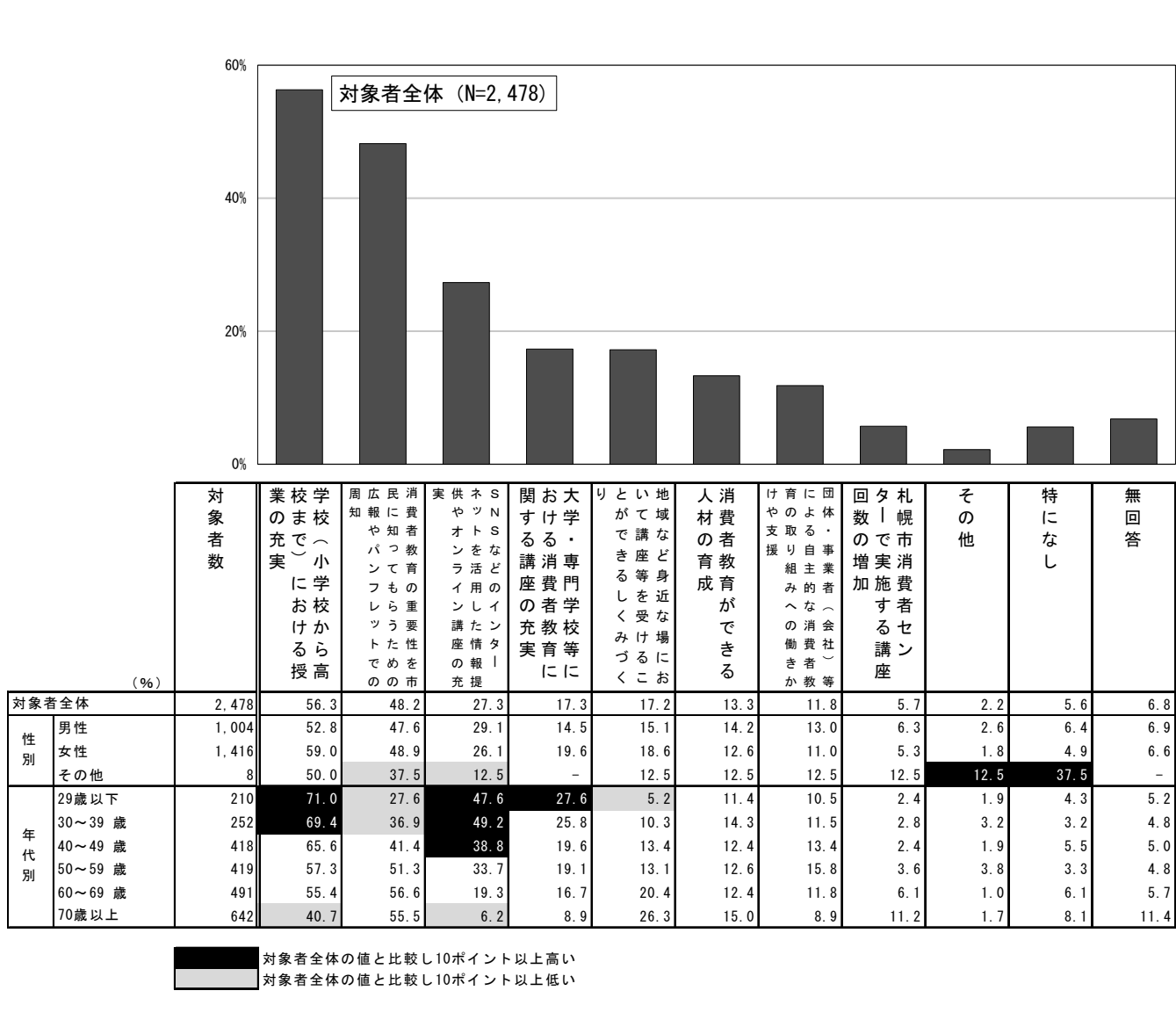
【全体】学校や市民講座で習ったり、見たりした消費者教育を認知した方法は、「テレビやラジオ」が60.7%と最も高く、次いで「本や新聞」が54.5%、「啓発パンフレットや展示物」が42.6%となっている。

【性別】「ホームページ」は男性が16.9%と、女性の9.6%より7.3ポイント高くなっている。

【年代別】「本や新聞」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「学校（小学校から高校まで）での授業」、「家庭における親（保護者）の教育・しつけ」、「SNS」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

問 1 4 あなたは、消費者教育の推進のために、何が重要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

消費者教育の推進のために重要なことは「学校（小学校から高校まで）における授業の充実」と回答した人が 56.3%



【全 体】消費者教育の推進のために重要なことは、「学校における授業の充実」が 56.3%、「消費者教育の重要性を市民に知ってもらうための広報やパンフレットでの周知」が 48.2%、「SNS などのインターネットを活用した情報提供やオンライン講座の充実」が 27.3%となっている。

【性別】「学校における授業の充実」、「大学・専門学校等における消費者教育に関する講座の充実」は女性が男性より 5.1 ポイント以上高くなっている。

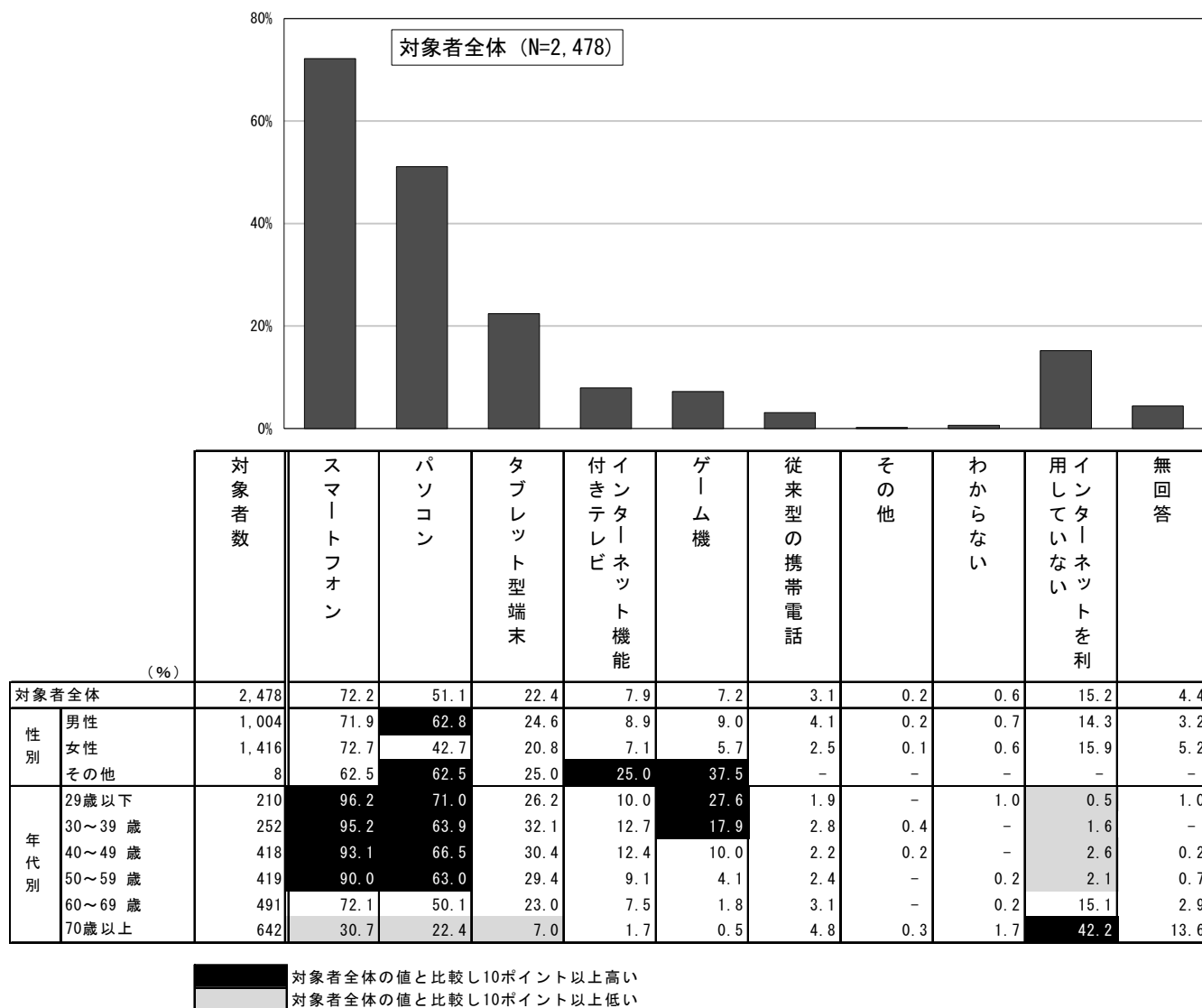
【年代別】「学校における授業の充実」、「大学・専門学校等における消費者教育に関する講座の充実」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「学校における授業の充実」が29歳以下（71.0%）で最も高く、最も低い70歳以上（40.7%）と比べると30.3ポイントの差となっている。

(4)市民のICT活用に係る意識について

◇インターネットの利用機器

問 1 5 あなたは、どのような機器でインターネットを利用していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

インターネットの利用機器は「スマートフォン」と回答した人が 72.2%



【全 体】インターネットの利用機器は、「スマートフォン」が 72.2%、「パソコン」が 51.1%、「タブレット型端末」が 22.4%となっている。

【性 別】「パソコン」は男性が 62.8%と、女性の 42.7%より 20.1 ポイント高くなっている。

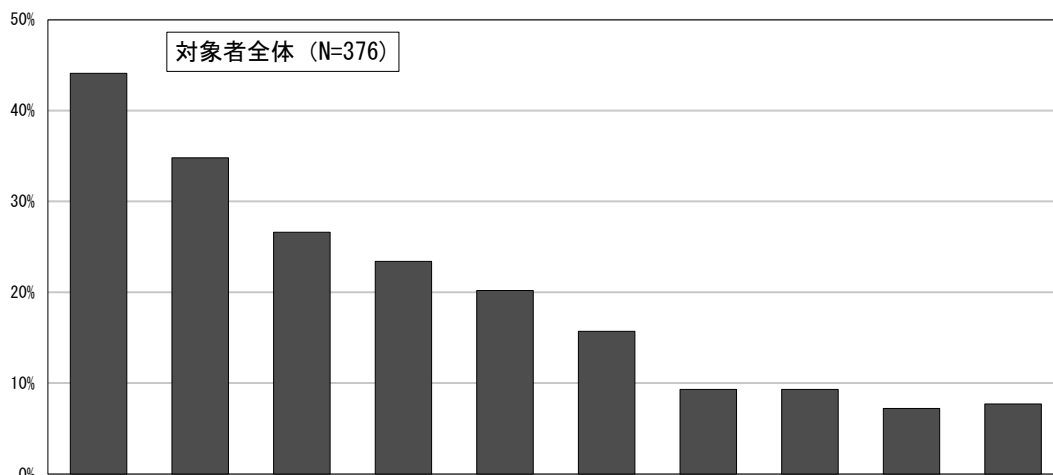
【年代別】「スマートフォン」、「ゲーム機」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「スマートフォン」が 29 歳以下 (96.2%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (30.7%) と比べると 65.5 ポイントの差となっている。

◇インターネットを利用しない理由

《問15で「9 インターネットを利用していない」と答えた方にお聞きします。》

問15-1 あなたがインターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

インターネットを利用しない理由は「必要性を感じないから」と回答した人が44.1%



		対象者数	必要性を感じないから	利用方法が難しそう	個人情報の漏えいなどの安全面で不安があるから	機器の購入費用が高いから	興味がないから	通信費やプロバイダ料などの通信費用が高いから	きっかけがないから	その他	特に理由はない	無回答
		(%)										
対象者全体		376	44.1	34.8	26.6	23.4	20.2	15.7	9.3	9.3	7.2	7.7
性別	男性	144	47.2	31.9	21.5	32.6	17.4	20.1	9.0	11.8	5.6	7.6
	女性	225	42.7	36.4	30.2	17.3	22.7	12.9	9.3	8.0	8.4	7.1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	30～39 歳	4	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-
	40～49 歳	11	36.4	27.3	9.1	45.5	27.3	36.4	9.1	9.1	9.1	-
	50～59 歳	9	44.4	44.4	44.4	44.4	22.2	33.3	11.1	-	11.1	11.1
	60～69 歳	74	33.8	33.8	44.6	31.1	17.6	23.0	16.2	4.1	6.8	5.4
	70歳以上	271	48.0	34.7	22.1	19.6	20.7	12.5	7.4	10.7	7.4	8.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】インターネットを利用しない理由は、「必要性を感じないから」が44.1%、「利用方法が難しそうだから」が34.8%、「個人情報の漏えいなどの安全面で不安があるから」が26.6%となっている。

【性 別】「機器の購入費用が高いから」、「プロバイダ料などの通信費用が高いから」は男性が女性より7.2ポイント以上高くなっている。また、「個人情報の漏えいなどの安全面で不安があるから」、「興味がないから」は女性が男性より5.3ポイント以上高くなっている。

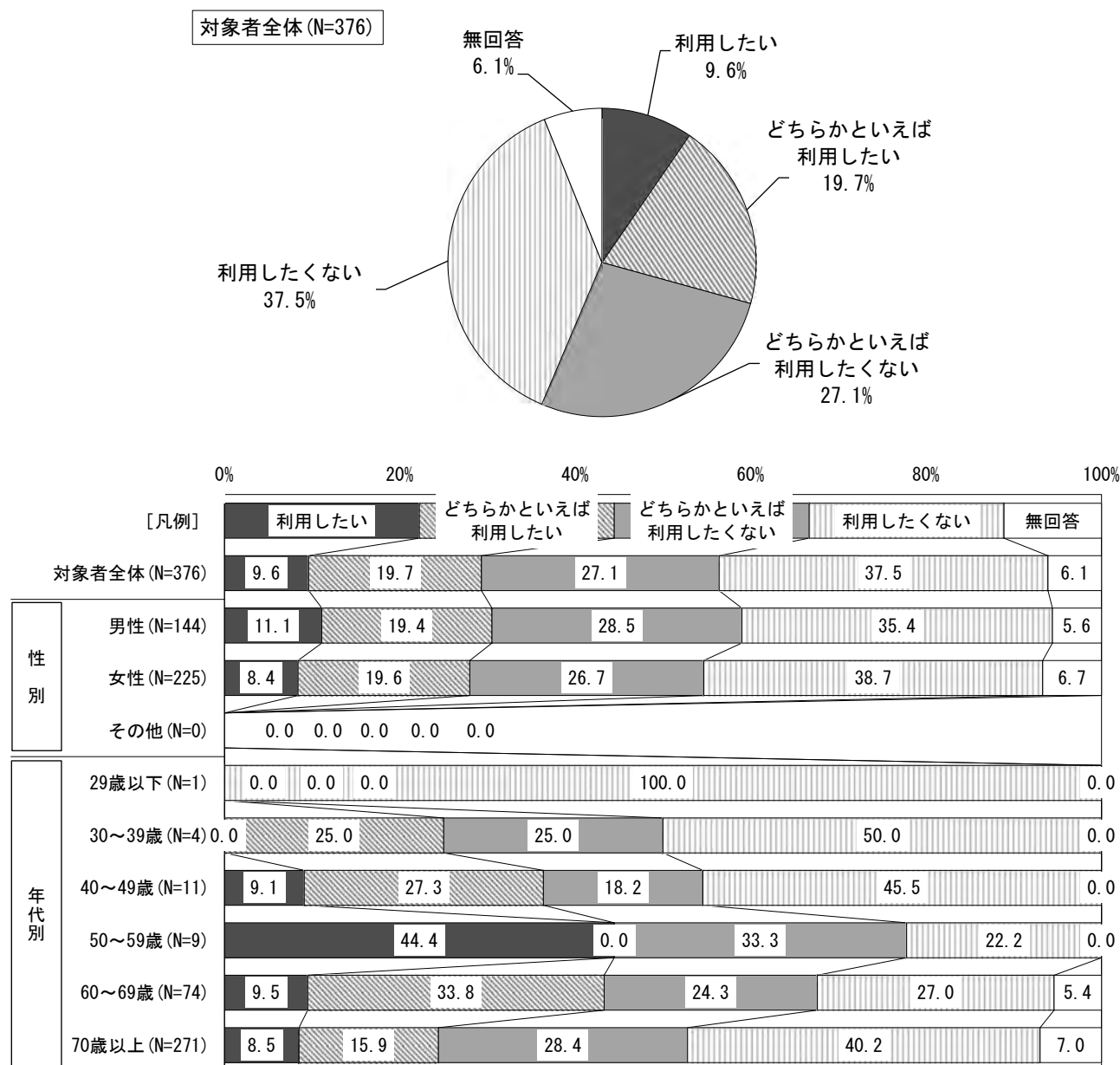
◇インターネットを利用しない理由が解消されれば利用したいと思うか

《問15で「9 インターネットを利用していない」と答えた方にお聞きします。》

問15-2 今後、上記の理由が解消されれば、あなたはインターネットを利用したいと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

インターネットを利用しない理由が解消されれば“利用したい”と回答した人は29.3%

※“利用したい”（「利用したい」＋「どちらかといえば利用したい」）



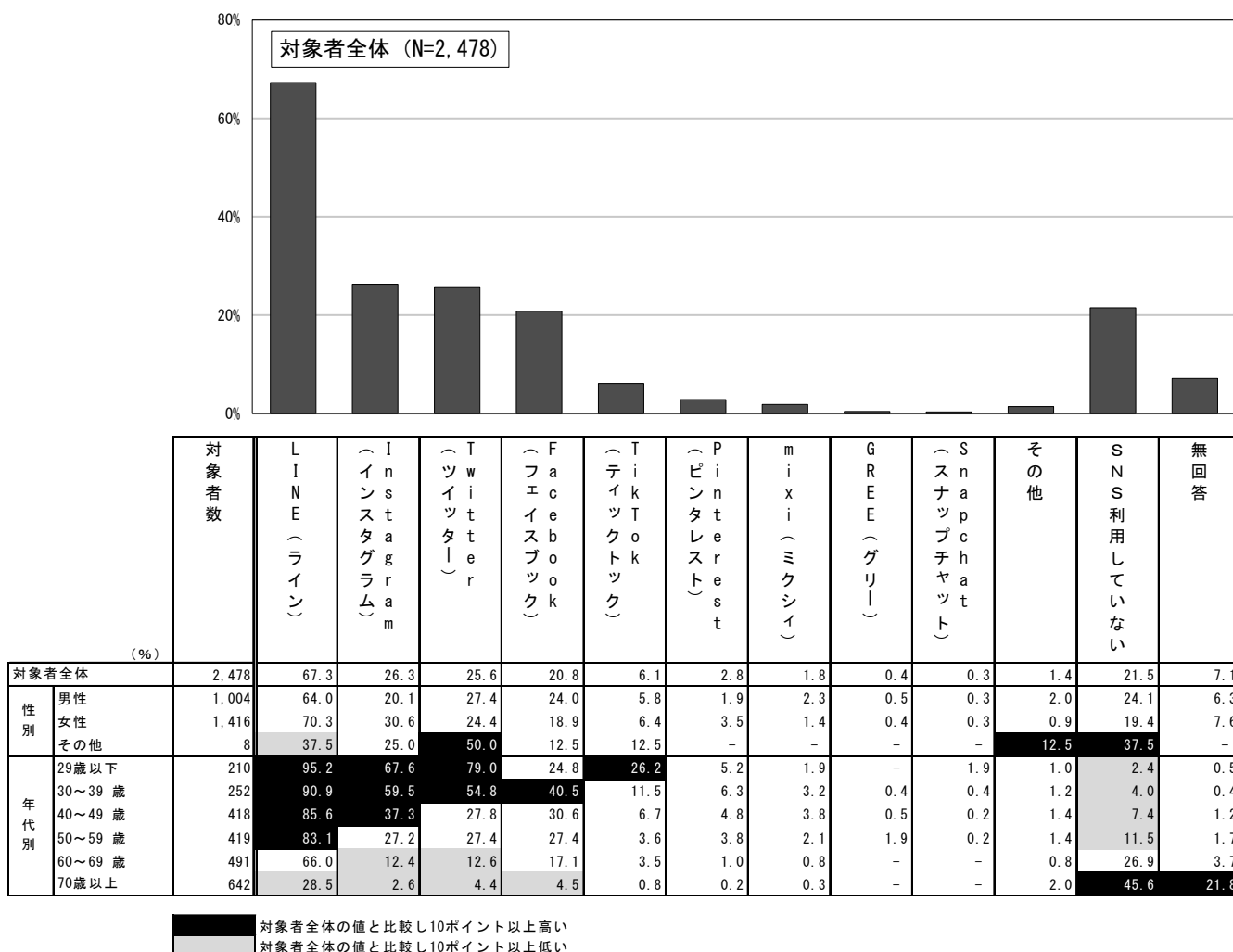
【全 体】 インターネットを利用しない理由が解消されれば利用したいと思うかは、「利用したい」が9.6%、「どちらかといえば利用したい」が19.7%、合わせると29.3%となっている。一方、「どちらかといえば利用したくない」が27.1%、「利用したくない」が37.5%、合わせると64.6%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

◇利用しているSNSの種類

問 1 6 あなたは、どのような種類のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用していますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

利用しているSNSの種類は「LINE（ライン）」と回答した人が 67.3%



【全 体】利用しているSNSの種類は、「LINE（ライン）」が67.3%、「Instagram（インスタグラム）」が26.3%、「Twitter（ツイッター）」が25.6%となっている。

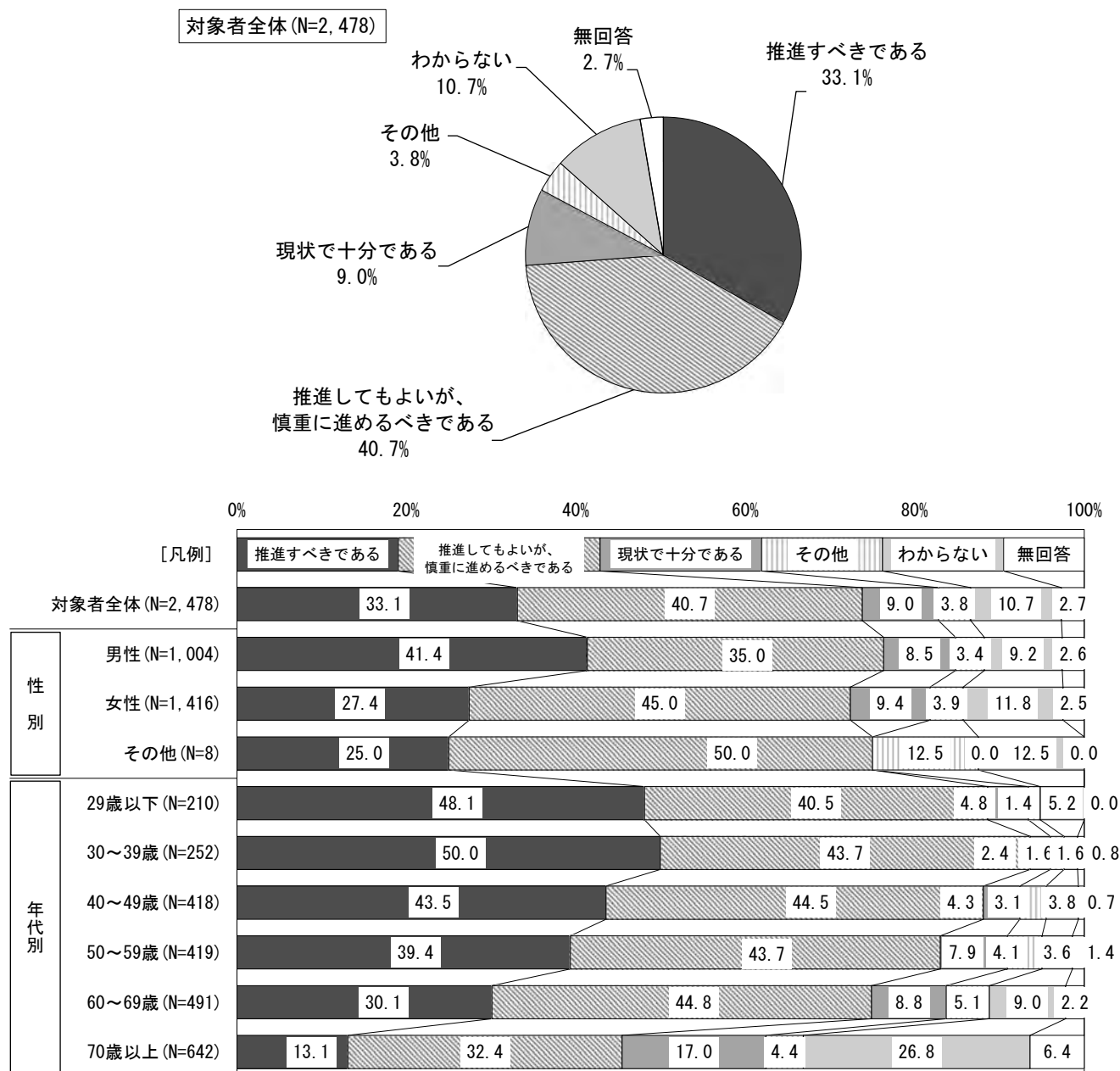
【性 別】「LINE（ライン）」、「Instagram（インスタグラム）」は女性が男性より6.3ポイント以上高くなっている。また、「Facebook（フェイスブック）」は男性が24.0%と、女性の18.9%より5.1ポイント高くなっている。

【年代別】「LINE（ライン）」、「Instagram（インスタグラム）」、「Twitter（ツイッター）」、「TikTok（ティックトック）」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS利用していない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇行政サービスのオンライン化についての考え方

問 1 7 市役所への申請手続や施設の利用申込などが、インターネットなどを通じてできるようになる行政サービスのオンライン化について、あなたはどのように考えますか。次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

行政サービスのオンライン化についての考え方は「推進してもよいが、慎重に進めるべきである」と回答した人が 40.7%



【全 体】 行政サービスのオンライン化についての考え方は、「推進すべきである」が 33.1%、「推進してもよいが、慎重に進めるべきである」が 40.7%となっている。一方、「現状で十分である」が 9.0%となっている。

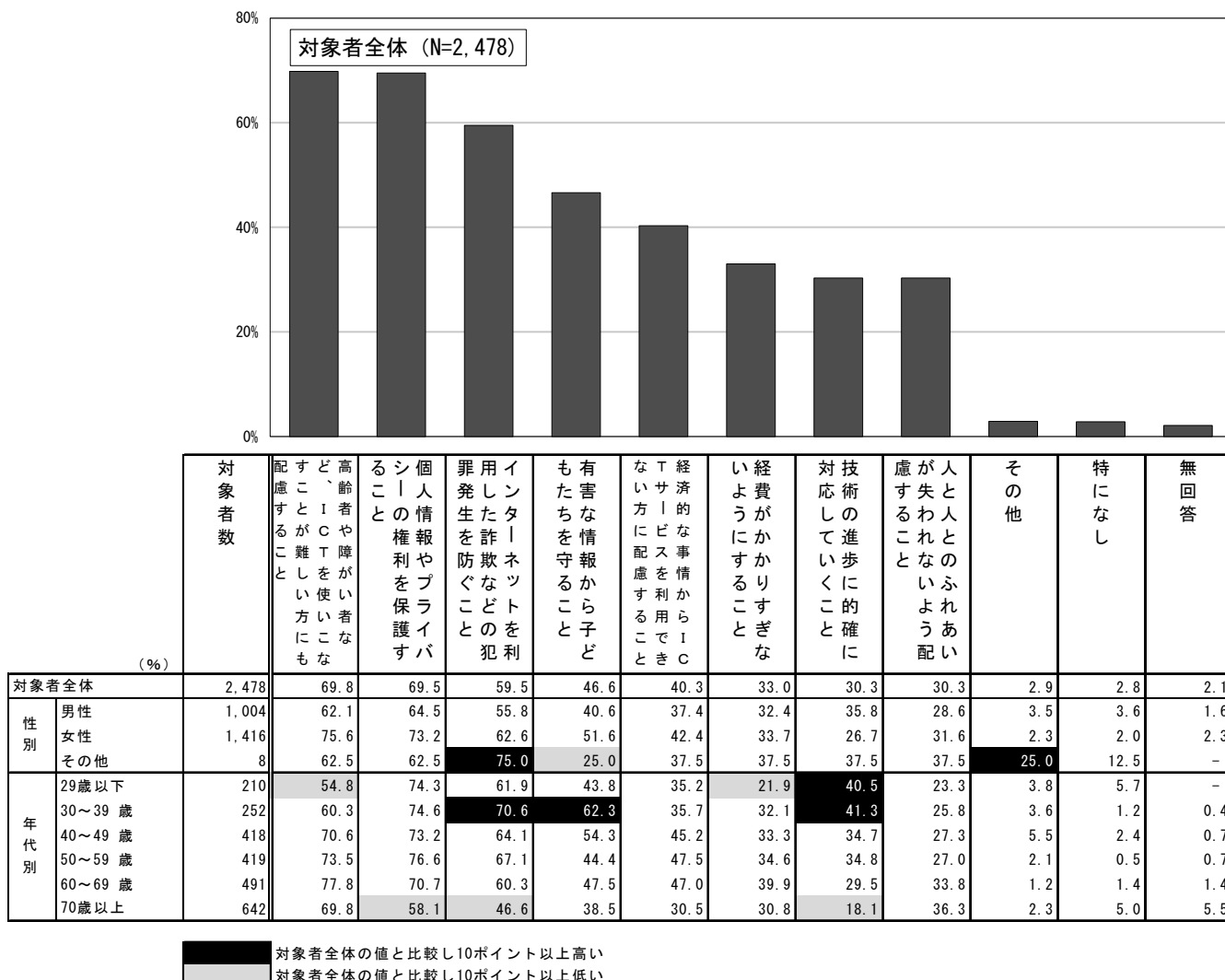
【性 別】 「推進すべきである」は男性が 41.4%と、女性の 27.4%より 14.0 ポイント高くなっている。また、「推進してもよいが、慎重に進めるべきである」は女性が 45.0%と、男性の 35.0%より 10.0 ポイント高くなっている。

【年代別】 「推進すべきである」が 30 歳代 (50.0%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (13.1%) と比べると 36.9 ポイントの差となっている。

◇札幌市の情報化施策に期待すること

問 1 8 あなたが、札幌市の情報化施策に期待することは何ですか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌市の情報化施策に期待することは「高齢者や障がい者など、ＩＣＴを使いこなすことが難しい方にも配慮すること」と回答した人が 69.8%



【全 体】札幌市の情報化施策に期待することは、「高齢者や障がい者など、ＩＣＴを使いこなすことが難しい方にも配慮すること」が 69.8%、「個人情報やプライバシーの権利を保護すること」が 69.5%、「インターネットを利用した詐欺などの犯罪発生を防ぐこと」が 59.5%となっている。

【性 別】「高齢者や障がい者など、ＩＣＴを使いこなすことが難しい方にも配慮すること」、「個人情報やプライバシーの権利を保護すること」、「インターネットを利用した詐欺などの犯罪発生を防ぐこと」、「有害な情報から子どもたちを守ることに」、「経済的な事情からＩＣＴサービスを利用できない方に配慮すること」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「技術の進歩に的確に対応していくこと」は男性が 35.8%と、女性の 26.7%より 9.1 ポイント高くなっている。

【年代別】59 歳以下では「個人情報やプライバシーの権利を保護すること」が、60 歳以上では「高齢者や障がい者など、ＩＣＴを使いこなすことが難しい方にも配慮すること」が最も高くなっている。

資料 調査票

令和3年度第2回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力をお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和3年9月3日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

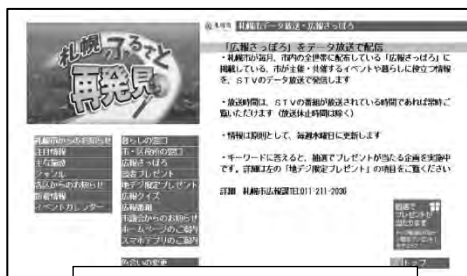
ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 津田 ☎ 011-211-2045 まで

テーマ１ 市政広報について

札幌市では、市のイベントなどのお知らせ情報を、地上デジタルテレビのデータ放送(札幌テレビ放送(STV))と、スマートフォンのアプリ(iさっぽろ)で配信しています。データ放送とアプリでは、市のお知らせ情報を、詳細かつタイムリーにご覧いただくことができるとともに、必要な情報をジャンルや日付、区などで簡単に検索することができます。



データ放送のトップ画面



iさっぽろトップ画面

問 1 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が地上デジタルテレビの「データ放送」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|
| 1 知っていて、利用したことがある | ⇒ | ☐ 問 1-1 | へ |
| 2 知っていたが、利用したことはない | ⇒ | ☐ 問 1-1 | ☐ 問 1-2 へ |
| 3 知らなかった | ⇒ | ☐ 問 2 | へ |

《**問 1**で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きます。》

問 1-1 あなたは、地上デジタルテレビの「データ放送」で札幌市からのお知らせ情報が配信されていることを、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 新聞 | 4 チラシ・ポスター |
| 5 札幌市公式ホームページ | 6 札幌市公式SNS (※) |
| 7 札幌市公式以外のホームページやSNS | 8 本や雑誌などの書籍 |
| 9 家族や知人から聞いた | 10 お店や窓口などで聞いた |
| 11 フリーペーパー（ふりっぱー） | 12 データ放送を見ていて気付いた |
| 13 その他（ ） | 14 覚えていない |

※ Facebook、Twitter、Instagram、LINE などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《**問 1**で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きます。》

問 1-2 あなたが、地上デジタルテレビの「データ放送」で、札幌市からのお知らせを利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 テレビを持っていないから | 2 データ放送を見ないから |
| 3 お知らせ情報を見たいと思わないから | 4 お知らせ情報を見つけられなかったから |
| 5 お知らせ情報を見る時間がなかったから | 6 データ放送の見方が分からないから |
| 7 お知らせ情報は別の手段で入手しているから | 8 その他（ ） |

《皆さまにお聞きます。》

問2 あなたは、札幌市からのお知らせ情報が「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」で配信されていることを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|---|-------------|---------------|
| 1 知っていて、利用したことがある | ⇒ | 問2-1 | へ |
| 2 知っていたが、利用したことはない | ⇒ | 問2-1 | 問2-2 へ |
| 3 知らなかった | ⇒ | 問3 | へ |

《**問2**で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きます。》

問2-1 あなたは、「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」で札幌市からのお知らせ情報が配信されていることを、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 新聞 | 4 チラシ・ポスター |
| 5 札幌市公式ホームページ | 6 札幌市公式SNS |
| 7 札幌市公式以外のホームページやSNS | 8 本や雑誌などの書籍 |
| 9 家族や知人から聞いた | 10 お店や窓口などで聞いた |
| 11 フリーペーパー（ふりっぱー） | 12 データ放送の「札幌市からのお知らせ」 |
| 13 アプリストア | 14 その他（ ） |
| 15 覚えていない | |

《**問2**で「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きます。》

問2-2 あなたが、「スマートフォンのアプリ(i さっぽろ)」を利用したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 スマートフォンを持っていないから |
| 2 アプリを使わないから |
| 3 アプリの入手方法が分からなかったから |
| 4 アプリをダウンロードする時間がなかったから |
| 5 お知らせ情報を見たいと思わないから |
| 6 使いにくそうだから |
| 7 アプリをダウンロードすることでスマートフォンの容量を圧迫するから |
| 8 お知らせ情報は別の手段で入手しているから |
| 9 その他（ ） |

「広報さっぽろ」は、札幌市が発行する広報誌で、毎月、各世帯にお配りし、各区役所などでも配布しています。ここからは「広報さっぽろ」についてお聞きます。

《皆さまにお聞きます。》

問3 あなたは、「広報さっぽろ」を読んでいますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください(ホームページや電子書籍で読んでいる場合も含みます。)

- | | | |
|-------------|---|-----------------|
| 1 必ず読んでいる | } | ⇒ 問4 へ |
| 2 時々読んでいる | | |
| 3 あまり読んでいない | } | ⇒ 問3-1 へ |
| 4 全く読んでいない | | |

《**問3**で「3 あまり読んでいない」または「4 全く読んでいない」と答えた方にお聞きます。》

問3-1 あなたが、広報さっぽろを読んでいない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 市政に関心がないから | 2 自分の知りたい情報が掲載されていないから |
| 3 読む時間がないから | 4 表紙のデザインが好きではないから |
| 5 各ページのデザインや文章などの構成が読みづらいから | 6 文字が多く、読む気になれないから |
| 7 市政情報は別の手段で入手しているから | |
| 8 その他 () | |

《皆さまにお聞きます。》

問4 あなたが、広報さっぽろで今後重点的に取り上げてほしい特集記事のテーマは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 地域のまちづくり活動 | 2 ボランティア |
| 3 文化・芸術 | 4 高齢者福祉 |
| 5 障がい者福祉 | 6 子ども・子育て |
| 7 教育 | 8 ごみ |
| 9 環境・エネルギー | 10 健康・食 |
| 11 スポーツ | 12 防災 |
| 13 公共施設 | 14 その他 () |
| 15 特にない | |

《**問4**で「1」から「14」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問4-1 あなたは、**問4**で答えたテーマについて、具体的にどのような特集記事を読みたいと思いますか。あなたのお考えをご自由にお書きください。

テーマ2 障がい者コミュニケーション条例等について

札幌市では、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用を促進し、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的とした「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」に基づき、さまざまな施策を行っております。

そこで、皆さまの障がい特性に応じたコミュニケーション手段に対する認知度や意識などをお伺いし、今後の施策の参考にさせていただきます。

問5 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1 手話 | 2 要約筆記 |
| 3 触手話 | 4 点字 |
| 5 指点字 | 6 手のひら書き |
| 7 音訳 | 8 口文字 |
| 9 意思伝達装置 | 10 その他 () |
| 11 特になし | |

※以下の設問において、「コミュニケーション上の障がいがある方」とは、身体障がいにより聴覚や視覚からの情報取得や発生が困難な方の他、知的障がいや精神障がいなどにより、コミュニケーションが苦手な方を含みます。

問6 あなたは、現在の札幌市は、コミュニケーション上の障がいのある方が、情報を取得したり、自分で意見したりしやすいまちだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない

問7 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1 そう思う | } ⇒ 問7-1 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | |
| 3 どちらかといえば思わない | } ⇒ 問7-2 へ |
| 4 思わない | |

《問7で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問7-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 メディア（テレビやSNSなど）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る
- 2 講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する
- 3 ボランティア活動へ参加する
- 4 障がいのある方が行う行事、催し物に参加する
- 5 日常生活の場面で困っている方がいたら助ける
- 6 その他 （)

《問7で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問7-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 取り組む時間がないから
- 2 興味がないから
- 3 きちんと対応できる自信がないから
- 4 何に取り組めばいいかわからないから
- 5 専門の人や関係者に任せた方がいいと思うから
- 6 関わる機会がないから
- 7 その他 （)

《皆さまにお聞きします。》

問8 あなたと障がい（身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい）のある方との関わりについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自分自身に障がいがある
- 2 家族や親戚に障がいのある方がいる
- 3 友人や知人に障がいのある方がいる
- 4 職場に障害のある方がいる
- 5 仕事の顧客や取引の相手先に障がいのある方がいる
- 6 施設や支援団体で障がいのある方を支援している
- 7 サークルやボランティアなどで障がいのある方と関係がある
- 8 その他 （)
- 9 身近に障がいのある方はいない

テーマ3 消費生活に関するトラブル・消費者教育などについて

札幌市消費者センターでは、悪質商法や契約に関するトラブルなど、消費生活全般に関する相談を受け、解決のお手伝いや消費生活に関する講座などを行っています。

そこで、皆さまの消費生活の状況やご意見をお伺いし、今後の参考とさせていただきます。

問9 あなたは、「札幌市消費者センター」について知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 相談や、セミナー・講座、啓発活動を行っていることを知っていた
- 2 相談ができることは知っていた
- 3 何を行っているかは知らないが、名前だけは聞いたことがあった
- 4 知らなかった

問10 あなたがこれまで消費者トラブル（※）に遭ったとき、解決するためにどのような行動を取りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

また、その方法で問題は解決しましたか。あてはまるものに○をつけてください。

項目	あなたが取った行動に○をつけてください		解決しましたか		
			はい	いいえ	進行中
ア 自分で販売店、メーカー等と交渉した		⇒	1	2	3
イ 自分で解決方法を調べて対処（無視を含む）した		⇒	1	2	3
ウ 家族・親族に相談した		⇒	1	2	3
エ 友人・知人などに相談した		⇒	1	2	3
オ 消費者センターに相談した		⇒	1	2	3
カ 弁護士会・法テラス等の法律相談を利用した		⇒	1	2	3
キ 警察に相談した		⇒	1	2	3
ク 事業者団体が開設する相談窓口相談した		⇒	1	2	3
ケ 町内会・民生委員など地域の方に相談した		⇒	1	2	3
コ その他（ ）		⇒	1	2	3
サ 特に何もしていない		⇒	1	2	3
シ 消費者トラブルに遭ったことがない					

※ 消費者トラブルの具体例:「電話や訪問販売でしつこく購入や契約を迫られた」「身に覚えのない請求をされた」「意図せずアダルトサイトなどに登録され、請求された」「知らないうちに定期購入契約になっていた」「通販で注文した商品が届かなかった」「賃貸アパート退去時に敷金が戻ってこなかった」など。

問 1 1 あなたは、消費者個人としてトラブルによる被害に遭わないために、どのような対応を取ることが重要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 広報誌や行政からのお知らせ、報道等で情報を収集する
- 2 消費者トラブルにあった時は行政等の相談窓口等を利用する
- 3 商品やサービスに関する意見や疑問に思ったことを、事業者や行政に問い合わせる
- 4 セミナーや講座に参加する
- 5 自分で知識を身につけたり、学習したりする
- 6 消費者団体やグループの活動に参加する
- 7 その他 ()
- 8 特になし

問 1 2 消費者がトラブルによる被害に遭わないために、あなたが札幌市に力を入れてほしいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 消費者への情報提供
- 2 悪質業者の取り締まりの強化
- 3 事業者に対し、消費者意見に誠実に対応するように働きかける取り組み
- 4 被害に遭いやすい高齢者・障がい者などの見守り強化
- 5 相談窓口の充実や利便性の向上
- 6 消費生活の知識を習得するための機会（講座・研修など）の充実
- 7 学校での授業など、青少年期における消費生活に関する教育の充実
- 8 その他 ()
- 9 特になし

暮らしの中で役立つ知識や活動をみんなで学び、成長するための消費生活(日常生活)に関する教育学習や啓発活動のことを「消費者教育」といいます。

問 1 3 この中であなたが、学校や市民講座で習ったり、ポスターやパンフレットで見たりしたことがあるものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 消費者トラブルに遭ったときの相談先について
- 2 契約やクーリング・オフについて
- 3 悪質商法について
- 4 生活の設計・管理について（クレジットカードやローンなど）
- 5 商品の表示（食品表示やリサイクルに関するマークなど）について
- 6 商品の正しい使い方、使用する際の注意などについて
- 7 地産地消（※1）やフェアトレード（※2）について
- 8 環境問題（リサイクル・資源の節約・食品ロス削減など）について
- 9 インターネットやSNSを使用する際の注意点、マナーについて
- 10 その他 ()
- 11 特になし ⇒ **問 1 4** へ

⇒ **問 1 3 - 1** へ

※1 地産地消とは、地元で生産されたものを地元で消費するという考え方をいいます。

※2 フェアトレードとは、手工芸品や農産物を公正な価格で取り引きし、企業や地主などから不当な搾取を受けている発展途上国の人々の経済的・社会的な自立を支援する運動をいいます。

《問13で「1」から「10」のうち、一つでも習ったり、見たりしたことがあると答えた方にお聞きします。》

問13-1 あなたは、問13の内容をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家庭における親（保護者）の教育・しつけ
- 2 学校（小学校から高校まで）での授業
- 3 大学・専門学校等の講座やガイダンス
- 4 職場での講座・研修
- 5 消費者センターや消費者団体などが開催する講座やセミナー
- 6 町内会・老人クラブなどの地域の団体や、包括支援センターなどが開催する講座やセミナー
- 7 啓発パンフレットや展示物
- 8 本や新聞
- 9 地下鉄広告
- 10 テレビやラジオ
- 11 ホームページ
- 12 SNS
- 13 その他（ ）
- 14 覚えていない

《皆さまにお聞きします》

問14 あなたは、消費者教育の推進のために、何が重要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 学校（小学校から高校まで）における授業の充実
- 2 大学・専門学校等における消費者教育に関する講座の充実
- 3 札幌市消費者センターで実施する講座回数の増加
- 4 消費者教育の重要性を市民に知ってもらうための広報やパンフレットでの周知
- 5 団体・事業者（会社）等による自主的な消費者教育の取り組みへの働きかけや支援
- 6 地域など身近な場において講座等を受けることができるしくみづくり
- 7 消費者教育ができる人材の育成
- 8 SNSなどのインターネットを活用した情報提供やオンライン講座の充実
- 9 その他（ ）
- 10 特になし

テーマ4 市民のICT活用にかかる意識について

札幌市では、今日急速に広まっているICT（インターネットなどの情報通信技術）を利用して、市民の皆さんがより迅速に正確な行政情報を入手できるよう、また、日常生活をより便利に送ることができるよう、さまざまな施策に取り組んでいます。

そこで、市民の皆さまが、日ごろインターネットなどのICTをどの程度活用し、市が行っているICTを活用した情報化施策に対してどのような意識、要望をお持ちなのかをお伺いし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

問15 あなたは、どのような機器でインターネットを利用していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------------------|----------------|
| 1 パソコン | } | ⇒ 問16 へ |
| 2 従来型の携帯電話 | | |
| 3 スマートフォン (※1) | | |
| 4 タブレット型端末 (※2) | | |
| 5 ゲーム機 | | |
| 6 インターネット機能付きテレビ | | |
| 7 その他 () | | |
| 8 わからない | | |
| 9 インターネットを利用していない | ⇒ 問15-1 問15-2 へ | |

※1 スマートフォン:一般的な携帯電話にパソコンや携帯情報機器としての機能が追加されたもの。

※2 タブレット型端末:パソコンのようなキーボードからではなく、液晶画面にタッチすることで操作する端末機器で、携帯電話(スマートフォン)よりも大型のもの。

《**問15**で「9 インターネットを利用していない」を選択した方にお聞きします》

問15-1 あなたがインターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 機器の購入費用が高いから |) |
| 2 プロバイダ料などの通信費用が高いから | |
| 3 利用方法が難しそうだから | |
| 4 興味がないから | |
| 5 必要性を感じないから | |
| 6 きっかけがないから | |
| 7 個人情報の漏えいなどの安全面で不安があるから | |
| 8 その他 () | |
| 9 特に理由はない | |

《問 1 5 で「9 インターネットを利用していない」を選択した方にお聞きします。》

問 1 5 - 2 今後、上記の理由が解消されれば、あなたはインターネットを利用したいと思いますか。
次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 利用したい
- 2 どちらかといえば利用したい
- 3 どちらかといえば利用したくない
- 4 利用したくない

《皆さまにお聞きします。》

問 1 6 あなたは、どのような種類のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用していますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 Twitter(ツイッター)
- 2 Facebook(フェイスブック)
- 3 TikTok(ティックトック)
- 4 LINE(ライン)
- 5 Instagram(インスタグラム)
- 6 Snapchat(スナップチャット)
- 7 Pinterest(ピンタレスト)
- 8 mixi(ミクシィ)
- 9 GREE(グリー)
- 10 その他 ()
- 11 SNS利用していない

問 1 7 市役所への申請手続や施設の利用申込などが、インターネットなどを通じてできるようになる行政サービスのオンライン化について、あなたはどのように考えますか。次の中から、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 推進すべきである
- 2 推進してもよいが、慎重に進めるべきである
- 3 現状で十分である
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問 18 あなたが、札幌市の情報化施策に期待することは何ですか。次の中からあてはまるものにくつでも○をつけてください。

- 1 個人情報やプライバシーの権利を保護すること
- 2 高齢者や障がい者など、ICTを使いこなすことが難しい方にも配慮すること
- 3 経済的な事情からICTサービスを利用できない方に配慮すること
- 4 インターネットを利用した詐欺などの犯罪発生を防ぐこと
- 5 有害な情報から子どもたちを守ること
- 6 技術の進歩に的確に対応していくこと
- 7 人と人とのふれあいが失われないよう配慮すること
- 8 経費がかかりすぎないようにすること
- 9 その他 ()
- 10 特になし

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

女性ひとりひとりの「はたらく」をサポート!

ココシェルジュ SAPPORO

働くことに、不安やお悩みはありませんか？
「ココシェルジュ SAPPORO」は子育て中の女性をサポートする札幌市の相談窓口です。

ご利用メニュー（すべて無料）
個別相談／セミナー／職場体験
出張相談／メール相談／在宅ワーク相談

札幌市北区北8条西3丁目
札幌エルプラザ 4階（札幌市男女共同参画センター）
TEL.011-792-6700 FAX.011-792-6701

アクセス JR札幌駅北口より徒歩3分
（札幌駅北口地下歩道12番出口から直通）
利用時間 火～土曜日／9:00～17:00
※日月祝、年末年始（12.29～1.3）、エルプラザ休館日は休業

<https://coco-cierge.com>

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、一部のサービスを停止する場合があります。詳しくはHPをご確認ください。

DV・デートDV相談窓口

札幌市配偶者暴力相談センター ☎011-728-1234

（月～金▶▶8:45～20:00 土・日・祝▶▶11:00～17:00）

女性のための性暴力被害相談窓口

性暴力被害者支援センター北海道 SACRACH(さくらこ)

☎050-3786-0799（月～金▶▶10:00～20:00 ※祝日を除く）

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は(令和3年8月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください。)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は(あてはまるものにいくつでも○をつけてください。)

- 1 配偶者 2 乳幼児(0～2歳程度)
3 就学前児童(3～5歳程度) 4 小学生(6～12歳程度)
5 中学生(13～15歳程度) 6 高校生(16～18歳程度)
7 大学(院)・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和3年9月3日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

庁舎の
建替に伴い

中央区役所・中央保健センターは
仮庁舎へ順次移転します

移転先住所
〒060-8612 中央区大通西2丁目9 札幌市役所のとなりです

移転スケジュール
令和3年 12.20 月 27 月 令和4年 1.11 火

※課ごとに移転日が異なります。
詳しくは、中央区ホームページでご確認ください。

中央区役所 移転 検索

中央区役所に関するお問い合わせ
中央区市民部
総務企画課 TEL. 011-205-3205

中央保健センターに関するお問い合わせ
中央区保健福祉部
健康・子ども課 TEL. 011-511-7222

令和3年度 第3回市民意識調査 報告書

調査期間：令和3年10月8日(金)～10月22日(金)

テーマ

- 1 郷土意識について
- 2 札幌市の施策・事業について
- 3 各家庭における災害への意識と備えについて
- 4 テレビ・ラジオの視聴状況について
- 5 海外との交流及び外国人との共生について

札幌市

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 3 年度第 3 回調査では、「郷土意識について」「札幌市の施策・事業について」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 郷土意識について
- ② 札幌市の施策・事業について
- ③ 各家庭における災害への意識と備えについて
- ④ テレビ・ラジオの視聴状況について
- ⑤ 海外との交流及び外国人との共生について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和 3 年(2021 年)10 月 8 日(金)～10 月 22 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,548 (51.0%)

(5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,548	100.0	1,022	40.1	1,507	59.1	7	0.3	12	0.5	2,548	100.0
【性別】												
男性	1,022	40.1	1,022	100.0	—	—	—	—	—	—	1,022	100.0
女性	1,507	59.1	—	—	1,507	100.0	—	—	—	—	1,507	100.0
その他	7	0.3	—	—	—	—	7	100.0	—	—	7	100.0
無回答	12	0.5	—	—	—	—	—	—	12	100.0	12	100.0
【年代】												
29歳以下	203	8.0	92	45.3	109	53.7	2	1.0	—	—	203	100.0
30～39歳	266	10.4	97	36.5	168	63.2	1	0.4	—	—	266	100.0
40～49歳	380	14.9	139	36.6	239	62.9	2	0.5	—	—	380	100.0
50～59歳	474	18.6	183	38.6	290	61.2	1	0.2	—	—	474	100.0
60～69歳	498	19.5	201	40.4	294	59.0	1	0.2	2	0.4	498	100.0
70歳以上	721	28.3	310	43.0	406	56.3	—	—	5	0.7	721	100.0
無回答	6	0.2	—	—	1	16.7	—	—	5	83.3	6	100.0
【居住区】												
中央区	308	12.1	122	39.6	185	60.1	1	0.3	—	—	308	100.0
北区	348	13.7	137	39.4	207	59.5	3	0.9	1	0.3	348	100.0
東区	322	12.6	126	39.1	192	59.6	1	0.3	3	0.9	322	100.0
白石区	258	10.1	99	38.4	158	61.2	1	0.4	—	—	258	100.0
厚別区	169	6.6	64	37.9	105	62.1	—	—	—	—	169	100.0
豊平区	305	12.0	111	36.4	192	63.0	—	—	2	0.7	305	100.0
清田区	151	5.9	69	45.7	82	54.3	—	—	—	—	151	100.0
南区	198	7.8	91	46.0	107	54.0	—	—	—	—	198	100.0
西区	292	11.5	124	42.5	168	57.5	—	—	—	—	292	100.0
手稲区	181	7.1	77	42.5	104	57.5	—	—	—	—	181	100.0
無回答	16	0.6	2	12.5	7	43.8	1	6.3	6	37.5	16	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,548	100.0	1,022	40.1	1,507	59.1	7	0.3	12	0.5	2,548	100.0
【職業】												
会社員	702	27.6	407	58.0	290	41.3	5	0.7	-	-	702	100.0
公務員	115	4.5	78	67.8	37	32.2	-	-	-	-	115	100.0
自営業	133	5.2	85	63.9	46	34.6	1	0.8	1	0.8	133	100.0
パート・アルバイト	403	15.8	76	18.9	327	81.1	-	-	-	-	403	100.0
主婦・主夫	476	18.7	-	-	475	99.8	-	-	1	0.2	476	100.0
学生	66	2.6	34	51.5	32	48.5	-	-	-	-	66	100.0
無職	544	21.4	292	53.7	248	45.6	-	-	4	0.7	544	100.0
その他	80	3.1	44	55.0	36	45.0	-	-	-	-	80	100.0
無回答	29	1.1	6	20.7	16	55.2	1	3.4	6	20.7	29	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,534	60.2	678	44.2	853	55.6	1	0.1	2	0.1	1,534	100.0
乳幼児(0～2歳程度)	73	2.9	30	41.1	43	58.9	-	-	-	-	73	100.0
就学前児童(3～5歳程度)	111	4.4	40	36.0	71	64.0	-	-	-	-	111	100.0
小学生(6～12歳程度)	224	8.8	76	33.9	146	65.2	2	0.9	-	-	224	100.0
中学生(13～15歳程度)	134	5.3	47	35.1	86	64.2	1	0.7	-	-	134	100.0
高校生(16～18歳程度)	138	5.4	58	42.0	80	58.0	-	-	-	-	138	100.0
大学(院)・専門学校生	120	4.7	37	30.8	83	69.2	-	-	-	-	120	100.0
65歳以上の高齢者	350	13.7	133	38.0	215	61.4	1	0.3	1	0.3	350	100.0
上記「1」～「8」以外の方	533	20.9	191	35.8	339	63.6	1	0.2	2	0.4	533	100.0
いない	451	17.7	165	36.6	281	62.3	2	0.4	3	0.7	451	100.0
無回答	41	1.6	10	24.4	25	61.0	1	2.4	5	12.2	41	100.0
【出生地】												
札幌生まれ	775	30.4	320	41.3	453	58.5	2	0.3	-	-	775	100.0
札幌以外	1,752	68.8	699	39.9	1,043	59.5	4	0.2	6	0.3	1,752	100.0
無回答	21	0.8	3	14.3	11	52.4	1	4.8	6	28.6	21	100.0
【居住年数】												
1年未満	32	1.3	17	53.1	15	46.9	-	-	-	-	32	100.0
1年以上～3年未満	66	2.6	32	48.5	32	48.5	1	1.5	1	1.5	66	100.0
3年以上～5年未満	59	2.3	22	37.3	36	61.0	1	1.7	-	-	59	100.0
5年以上～10年未満	135	5.3	43	31.9	92	68.1	-	-	-	-	135	100.0
10年以上～20年未満	284	11.1	116	40.8	168	59.2	-	-	-	-	284	100.0
20年以上～30年未満	414	16.2	167	40.3	245	59.2	2	0.5	-	-	414	100.0
30年以上	1,523	59.8	617	40.5	899	59.0	2	0.1	5	0.3	1,523	100.0
無回答	35	1.4	8	22.9	20	57.1	1	2.9	6	17.1	35	100.0
【現在地居住年数】												
1年未満	107	4.2	45	42.1	62	57.9	-	-	-	-	107	100.0
1年以上～3年未満	235	9.2	100	42.6	133	56.6	1	0.4	1	0.4	235	100.0
3年以上～5年未満	196	7.7	73	37.2	121	61.7	2	1.0	-	-	196	100.0
5年以上～10年未満	312	12.2	105	33.7	205	65.7	1	0.3	1	0.3	312	100.0
10年以上～20年未満	546	21.4	226	41.4	318	58.2	1	0.2	1	0.2	546	100.0
20年以上～30年未満	448	17.6	195	43.5	253	56.5	-	-	-	-	448	100.0
30年以上	694	27.2	277	39.9	411	59.2	1	0.1	5	0.7	694	100.0
無回答	10	0.4	1	10.0	4	40.0	1	10.0	4	40.0	10	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

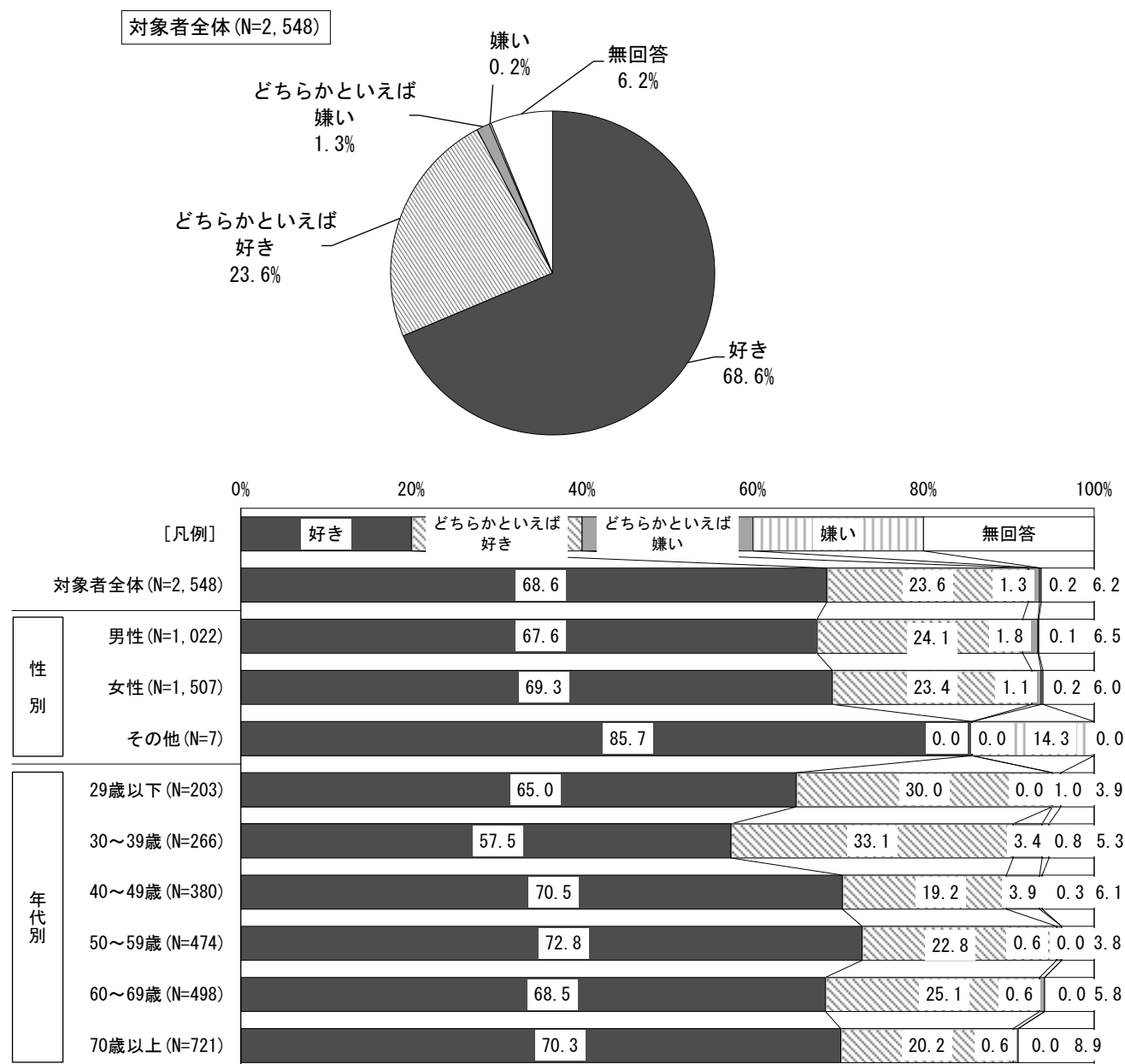
(1)郷土意識について

◇札幌の街愛着度

問1 あなたは、札幌の街が好きですか。あてはまるものに○をつけてください。

札幌を“好き”と回答した人が92.2%

※ “好き”（「好き」＋「どちらかといえば好き」）



【全 体】札幌の街愛着度は、「好き」が68.6%、「どちらかといえば好き」が23.6%、合わせると92.2%となっている。一方、「どちらかといえば嫌い」が1.3%、「嫌い」が0.2%、合わせると1.5%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

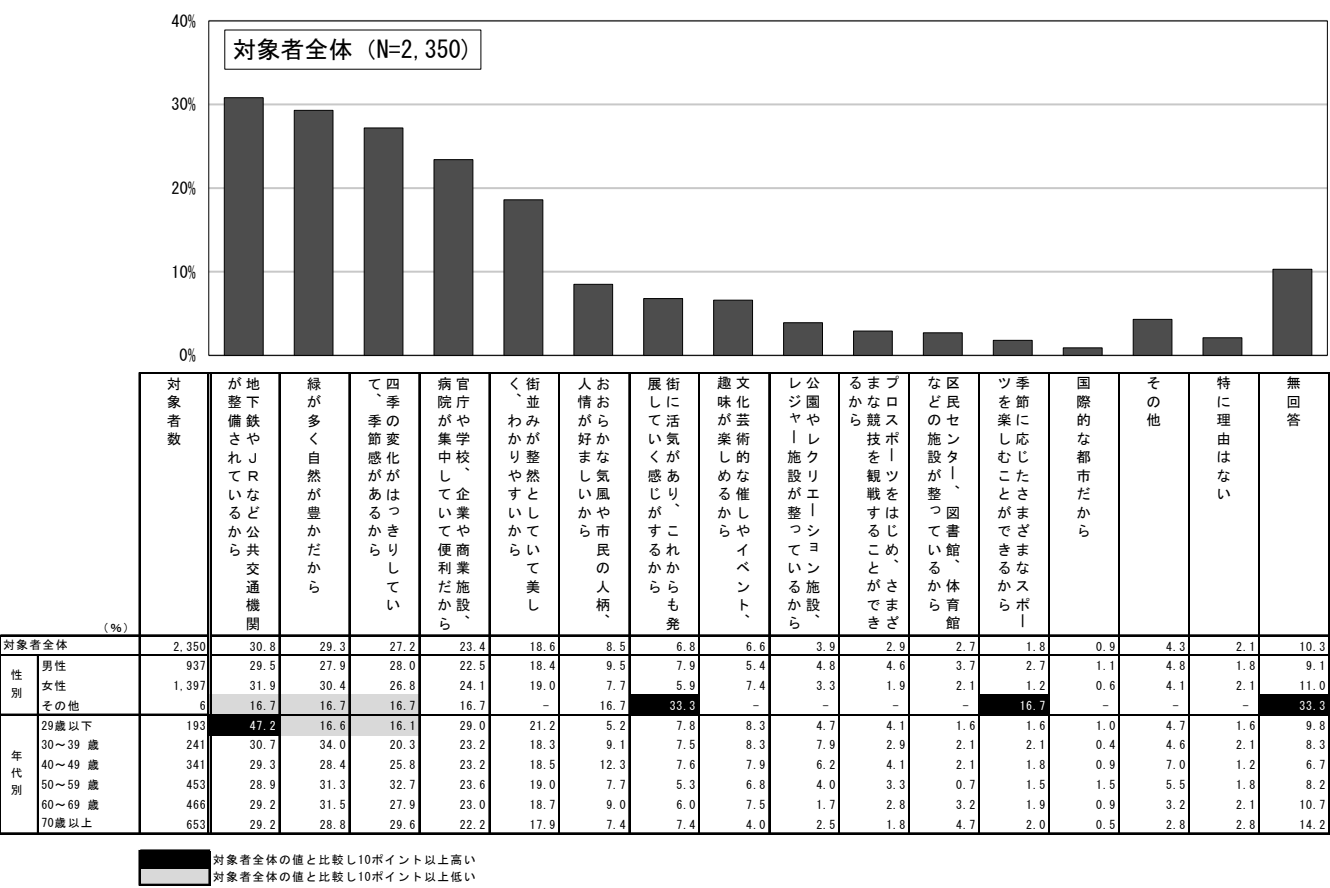
【年代別】“好き”が50歳代（95.6%）で最も高く、次いで29歳以下（95.1%）、60歳代（93.6%）となっている。

◇札幌の街が好きな理由

《問1で「1 好き」または「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたが、札幌を「好き」または「どちらかといえば好き」だと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

札幌の街が好きな理由は「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」と回答した人が30.8%



【全体】札幌の街が好きな理由は、「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」が30.8%、「緑が多く自然が豊かだから」が29.3%、「四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから」が27.2%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

【年代別】29歳以下、40歳代では「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」が、30歳代、60歳代では「緑が多く自然が豊かだから」が、50歳代、70歳以上では「四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから」が最も高くなっている。

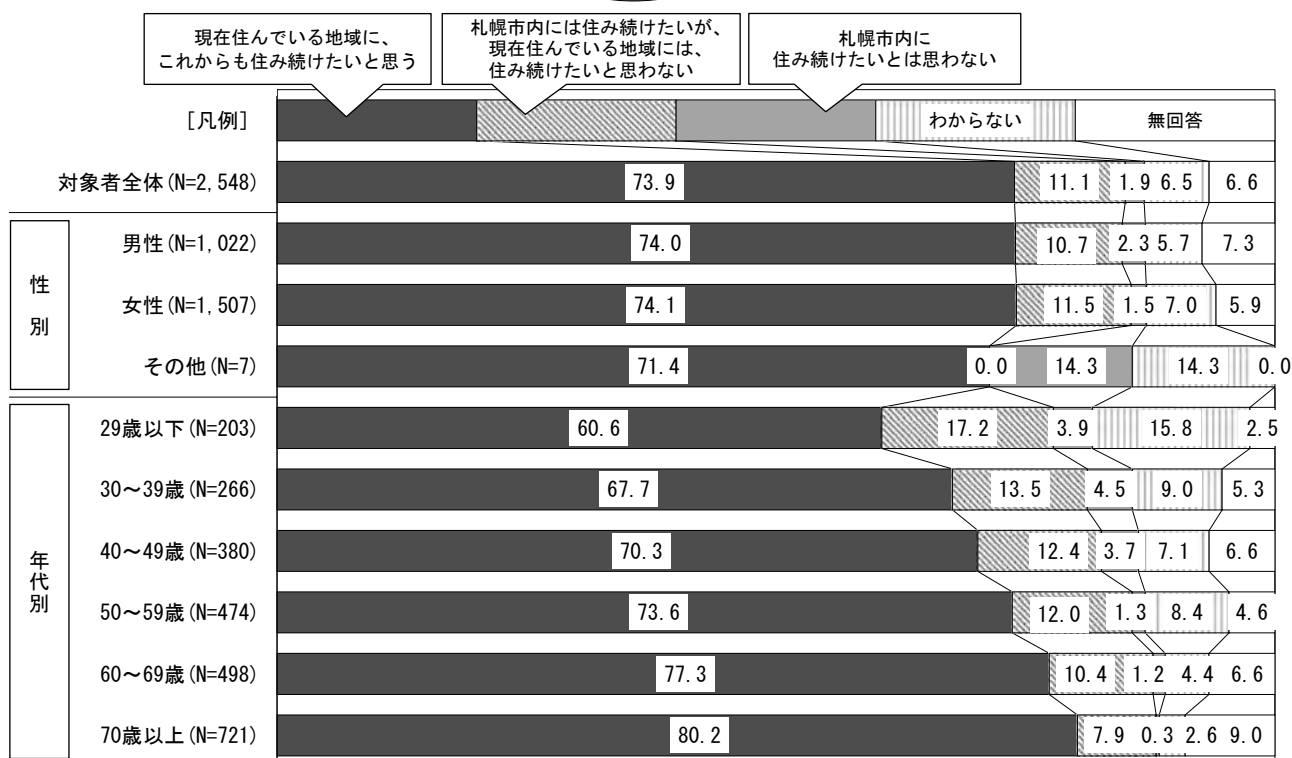
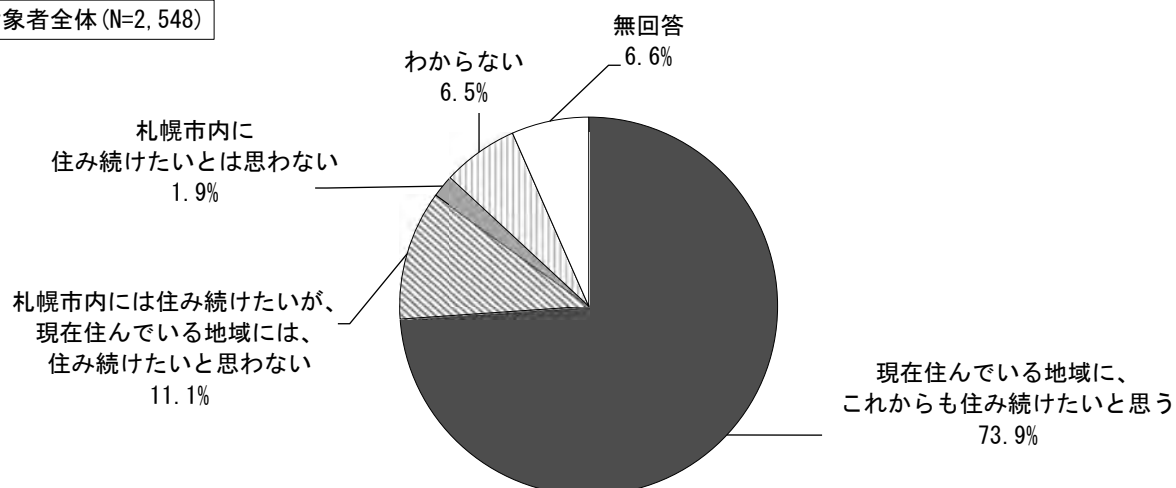
◇現在住んでいる地域の定住意向度

問2 あなたは、現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」と回答した人は 73.9%、札幌市内への“定住意向度”は 85.1%

※ “定住意向度”（「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」＋「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」）

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】 現在住んでいる地域の定住意向度は、「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」が 73.9%、「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」が 11.1%、合わせると 85.1%となっている。一方、「札幌市内に住み続けたいとは思わない」が 1.9%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

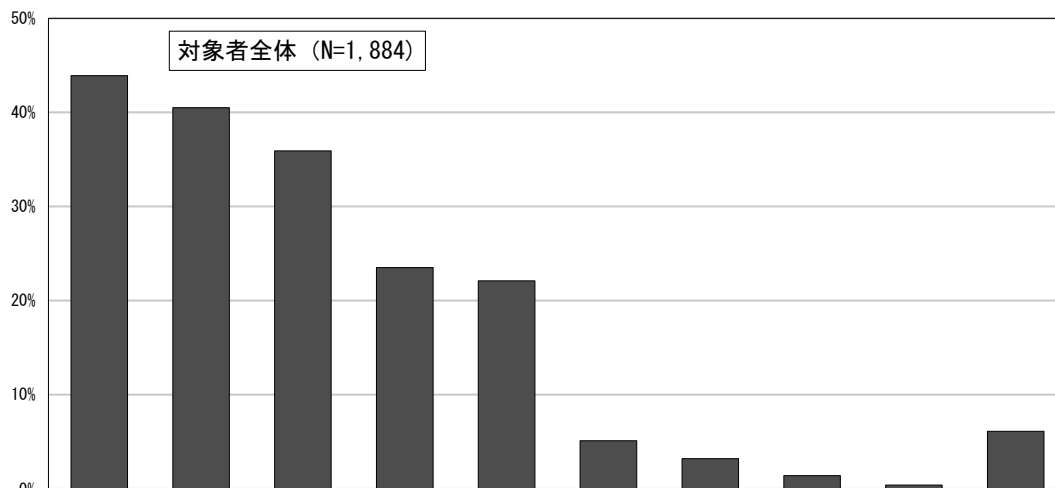
【年代別】 札幌市内への“定住意向度”は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇定住を望む理由

《問2で「1 現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたが、今後も住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

定住を望む理由は「買物や通院に便利だから」と回答した人が43.9%



		対象者数	買物や通院に便利だから	自分の家があるから	住み慣れているから	通勤や通学に便利だから	緑や自然の環境が良いから	近所づきあいなど周囲の雰囲気が良いから	文化や教育面の環境が良いから	その他	特に理由はない	無回答
		(%)										
対象者全体		1,884	43.9	40.5	35.9	23.5	22.1	5.1	3.2	1.4	0.4	6.1
性別	男性	756	41.7	42.2	35.3	24.1	23.3	4.4	3.3	1.3	0.5	5.2
	女性	1,116	45.6	39.7	36.2	22.9	21.4	5.5	3.1	1.4	0.4	6.7
	その他	5	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	20.0
年代別	29歳以下	123	41.5	17.9	39.8	50.4	14.6	1.6	4.1	2.4	-	6.5
	30～39 歳	180	40.0	34.4	31.1	40.6	21.1	4.4	5.6	0.6	-	5.0
	40～49 歳	267	39.0	32.6	32.6	39.0	20.6	7.9	5.6	3.0	-	4.5
	50～59 歳	349	39.5	39.0	36.7	32.1	22.3	4.3	2.0	0.9	0.9	4.9
	60～69 歳	385	48.3	46.2	36.6	15.6	20.3	3.6	2.6	1.6	0.8	6.5
	70歳以上	578	47.6	48.1	37.2	5.2	26.0	6.2	2.2	0.9	0.3	7.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ▨ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】定住を望む理由は、「買物や通院に便利だから」が43.9%、「自分の家があるから」が40.5%、「住み慣れているから」が35.9%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

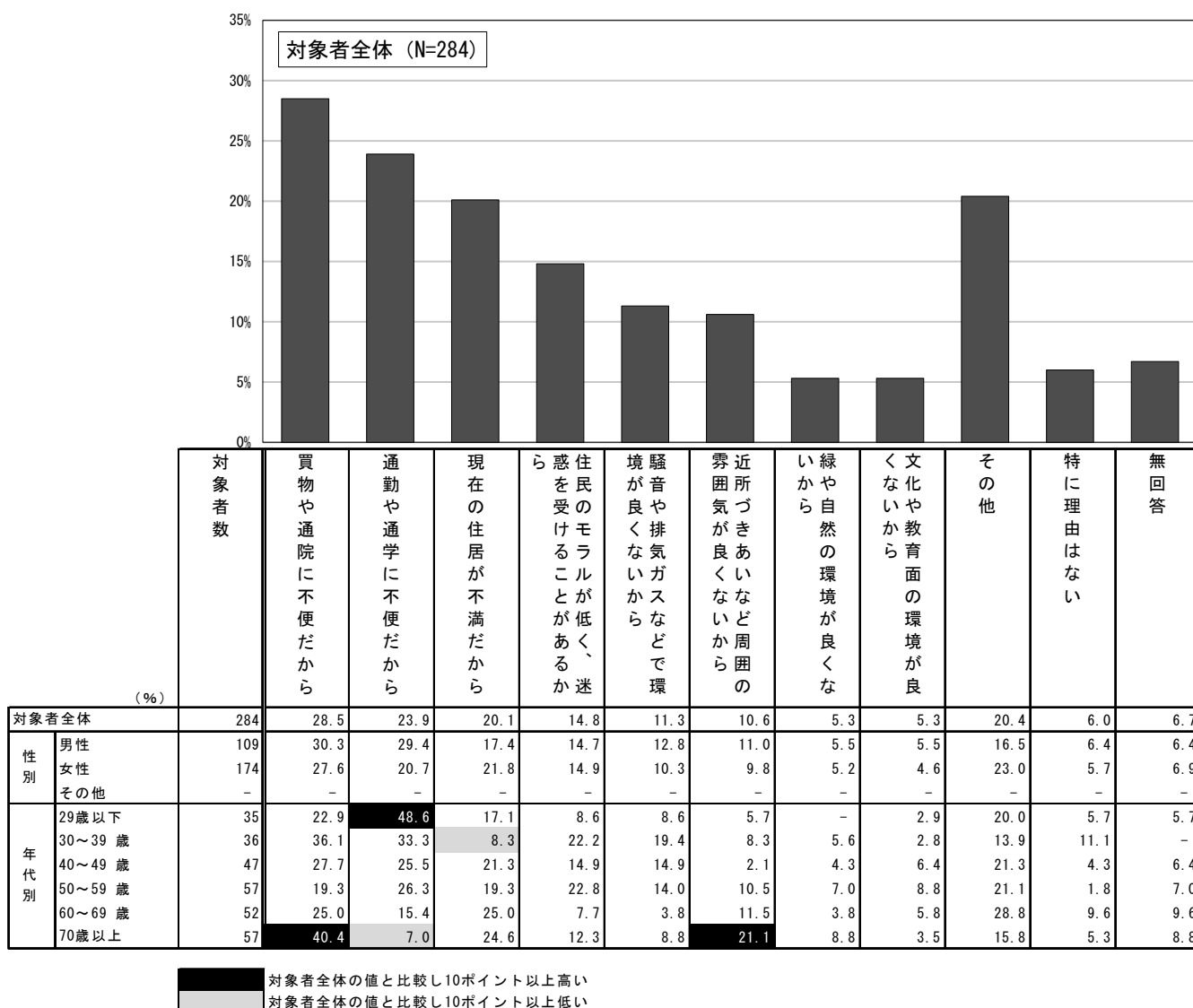
【年代別】「通勤や通学に便利だから」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由

《問2で「2 札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」と答えた方にお聞きします》

問2-2 あなたが、住み続けたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由は「買物や通院に不便だから」と回答した人が28.5%



【全体】現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由は、「買物や通院に不便だから」が28.5%、「通勤や通学に不便だから」が23.9%、「現在の住居が不満だから」が20.1%となっている。

【性別】「通勤や通学に不便だから」は男性が29.4%と、女性の20.7%より8.7ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下、50歳代では「通勤や通学に不便だから」が、30歳代、40歳代、70歳以上では「買物や通院に不便だから」が、60歳代では「買物や通院に不便だから」、「現在の住居が不満だから」が最も高くなっている。

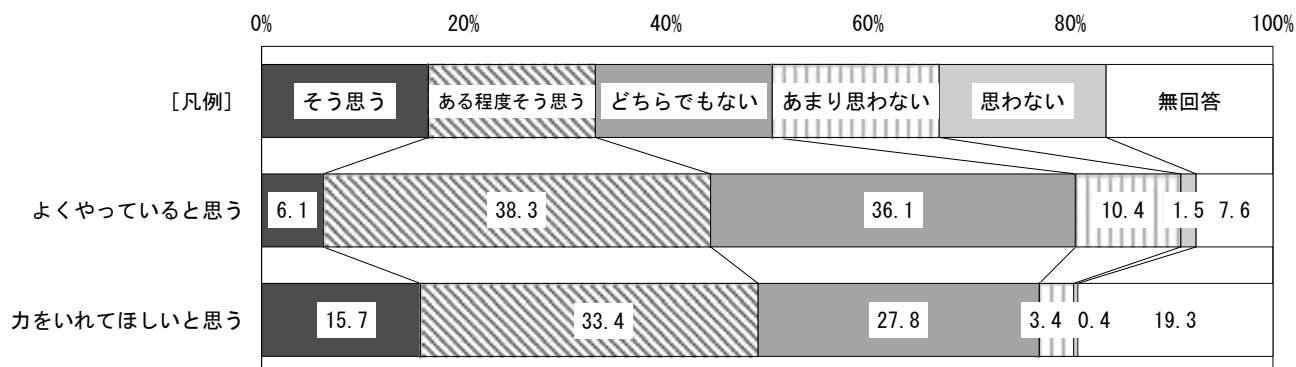
(2) 札幌市の施策・事業について

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ア 住宅・まちづくりに関すること

住宅・まちづくりに関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が49.1%

対象者全体 (N=2,548)

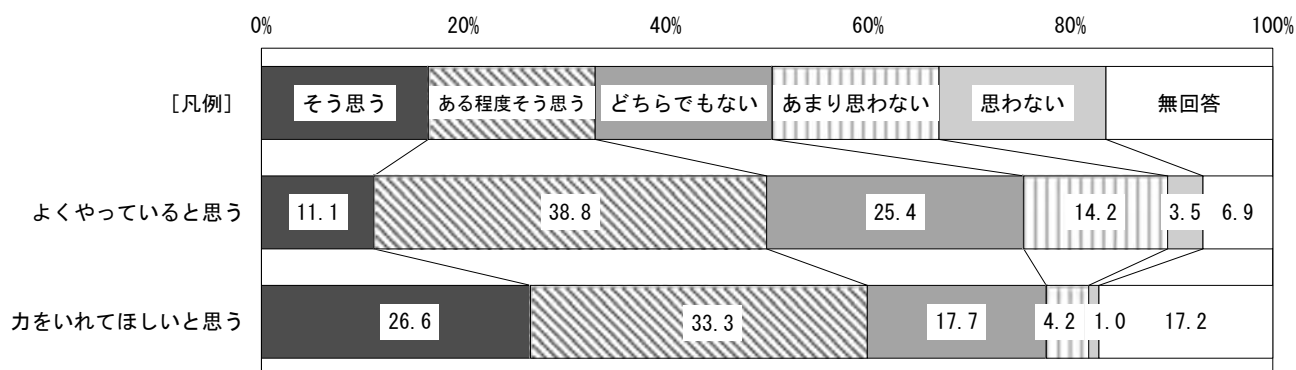


【全 体】住宅・まちづくりに関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.1%、「ある程度そう思う」が38.3%、合わせると44.3%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が15.7%、「ある程度そう思う」が33.4%、合わせると49.1%となっている。

イ 公共交通の便利さを進める事業

公共交通の便利さを進める事業については“力をいれてほしい”と回答した人が59.9%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】公共交通の便利さを進める事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が11.1%、「ある程度そう思う」が38.8%、合わせると50.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.6%、「ある程度そう思う」が33.3%、合わせると59.9%となっている。

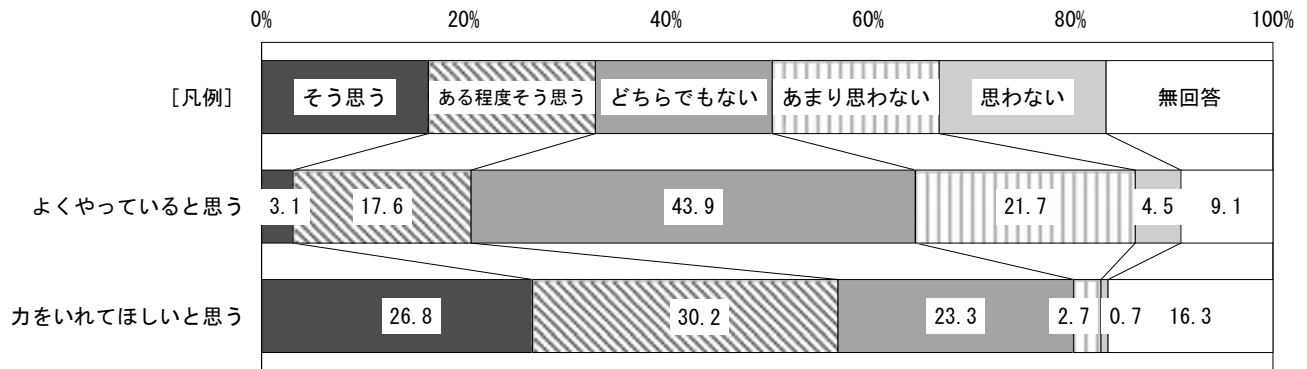
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること

産業や経済の振興、雇用の推進に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が56.9%

対象者全体 (N=2,548)

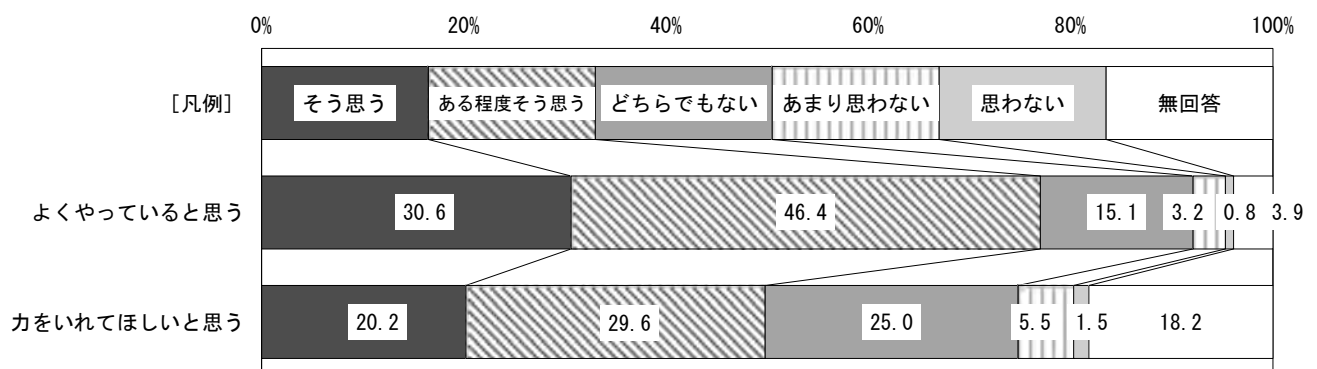


【全 体】産業や経済の振興、雇用の推進に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.1%、「ある程度そう思う」が17.6%、合わせると20.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.8%、「ある程度そう思う」が30.2%、合わせると56.9%となっている。

エ ごみや資源回収のこと

ごみや資源回収に関することについては“よくやっている”と回答した人が77.0%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】ごみや資源回収に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が30.6%、「ある程度そう思う」が46.4%、合わせると77.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が20.2%、「ある程度そう思う」が29.6%、合わせると49.8%となっている。

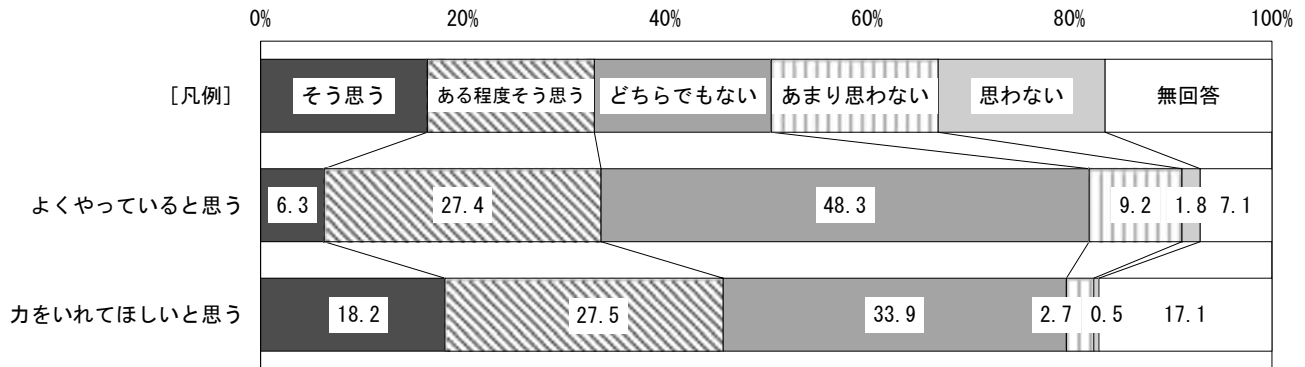
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

オ 環境保全（公害）に関すること

環境保全（公害）に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が45.7%

対象者全体（N=2,548）

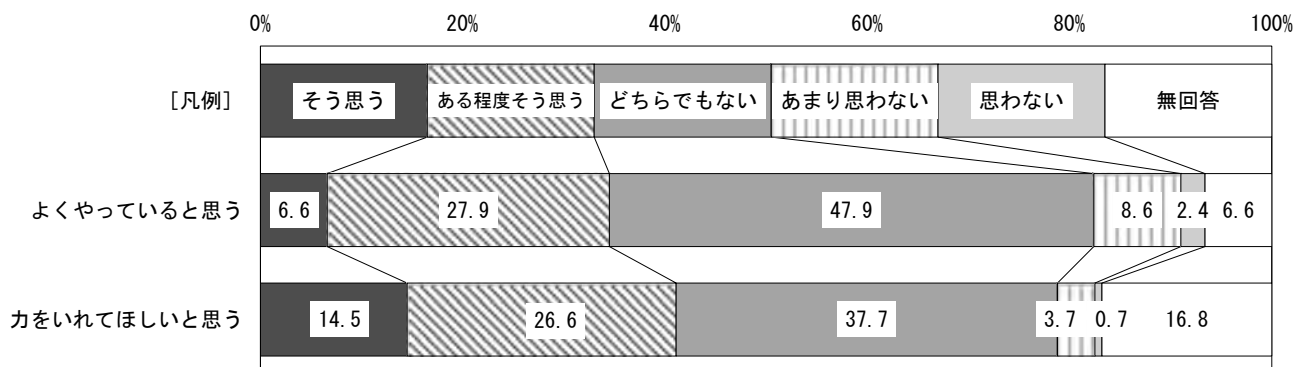


【全 体】環境保全（公害）に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.3%、「ある程度そう思う」が27.4%、合わせると33.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が18.2%、「ある程度そう思う」が27.5%、合わせると45.7%となっている。

カ 河川・湖沼などの整備に関すること

河川・湖沼などの整備に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が41.1%

対象者全体（N=2,548）



【全 体】河川・湖沼などの整備に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.6%、「ある程度そう思う」が27.9%、合わせると34.5%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が14.5%、「ある程度そう思う」が26.6%、合わせると41.1%となっている。

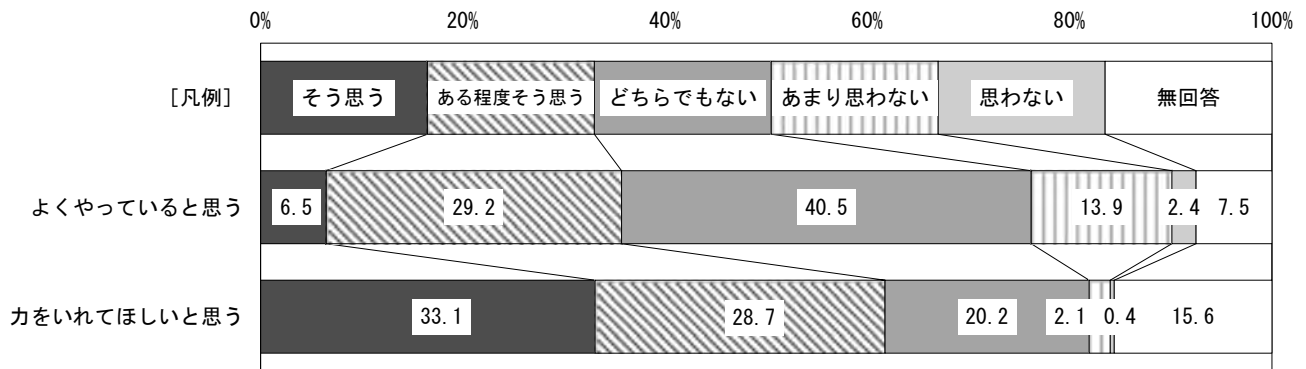
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

キ 地震・火災・水害などの防災対策

地震・火災・水害などの防災対策に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が61.8%

対象者全体 (N=2,548)

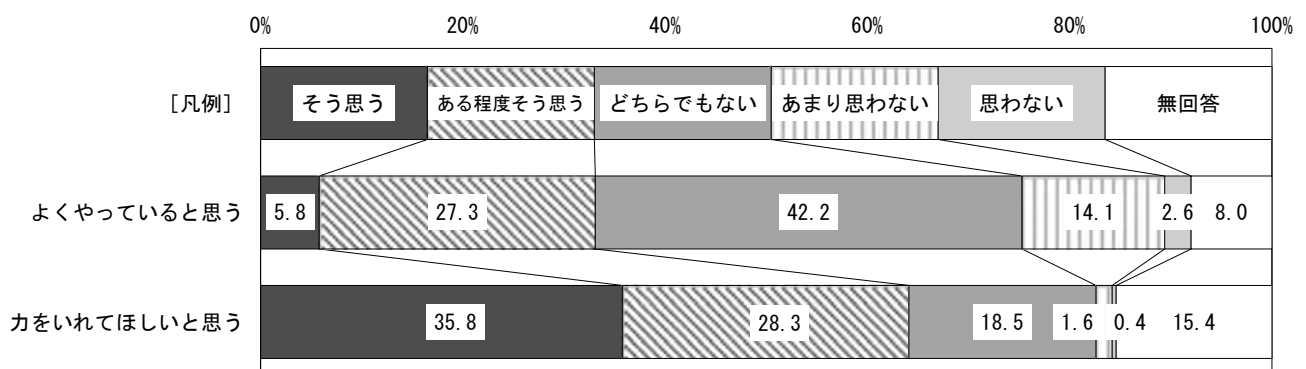


【全 体】 地震・火災・水害などの防災対策に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.5%、「ある程度そう思う」が29.2%、合わせると35.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が33.1%、「ある程度そう思う」が28.7%、合わせると61.8%となっている。

ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること

犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が64.1%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.8%、「ある程度そう思う」が27.3%、合わせると33.2%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が35.8%、「ある程度そう思う」が28.3%、合わせると64.1%となっている。

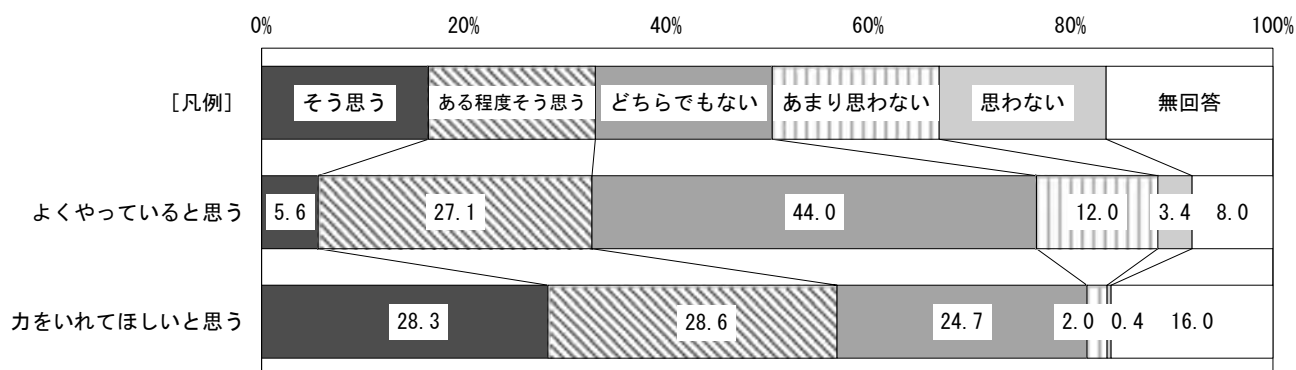
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ〇をつけてください。

ケ 交通安全対策に関すること

交通安全対策に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が56.9%

対象者全体 (N=2,548)

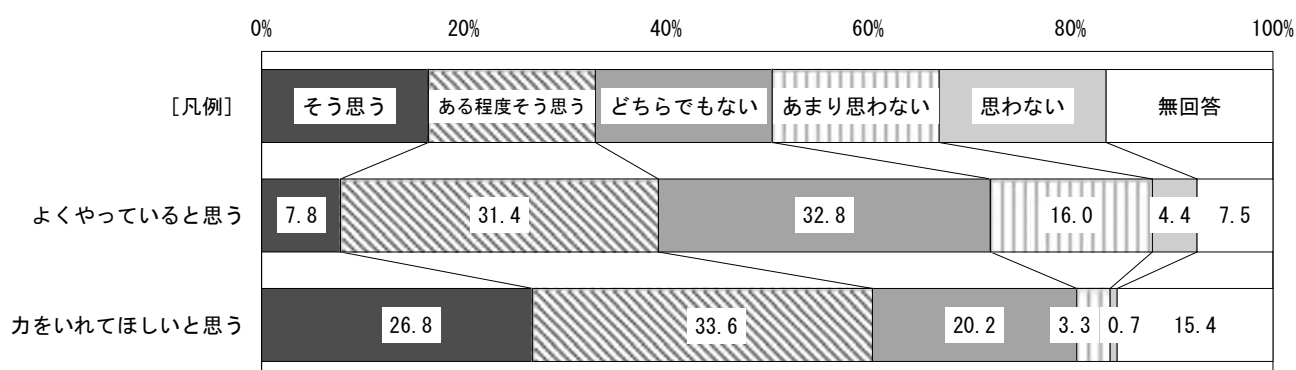


【全 体】交通安全対策に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.6%、「ある程度そう思う」が27.1%、合わせると32.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が28.3%、「ある程度そう思う」が28.6%、合わせると56.9%となっている。

コ 道路の整備・維持管理に関すること

道路の整備・維持管理に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が60.4%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】道路の整備・維持管理に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が7.8%、「ある程度そう思う」が31.4%、合わせると39.3%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.8%、「ある程度そう思う」が33.6%、合わせると60.4%となっている。

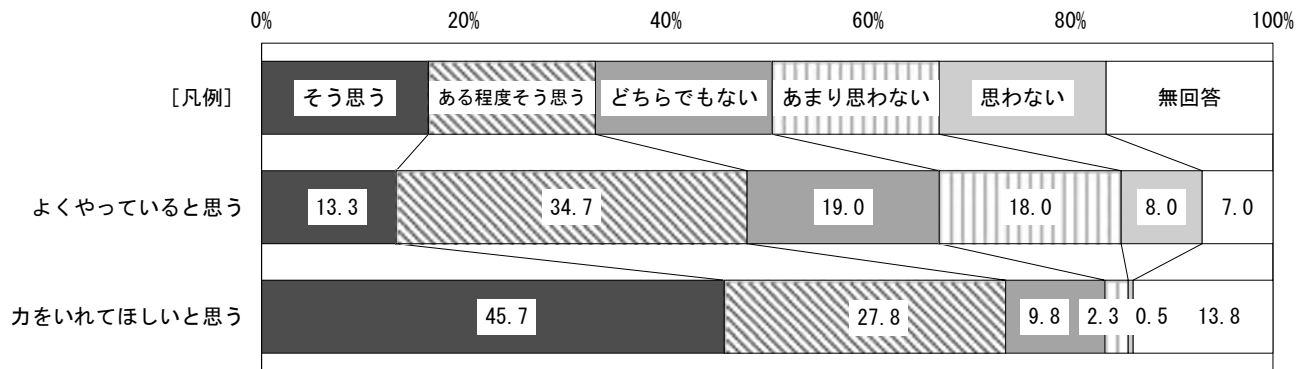
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

サ 除雪に関すること

除雪に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が73.5%

対象者全体 (N=2,548)

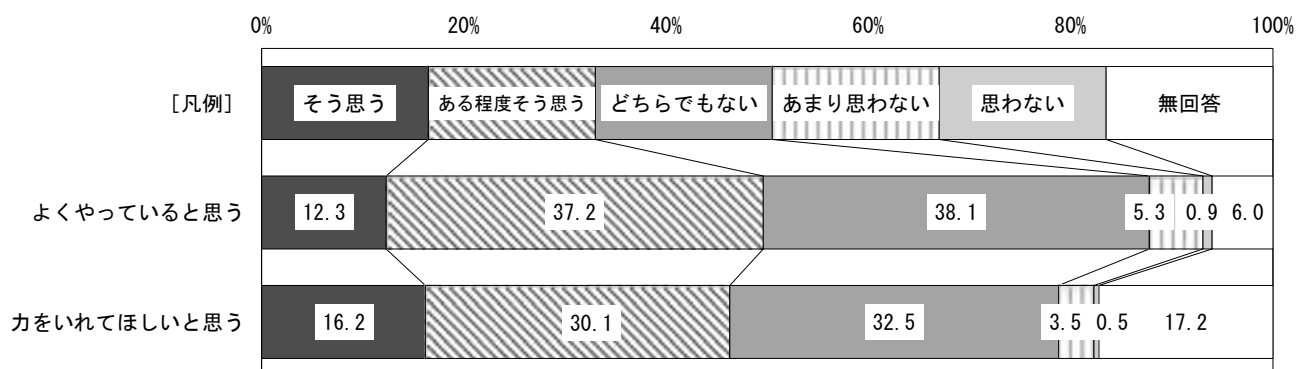


【全 体】除雪に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が13.3%、「ある程度そう思う」が34.7%、合わせると48.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が45.7%、「ある程度そう思う」が27.8%、合わせると73.5%となっている。

シ 公園や緑地など「みどり」の事業

公園や緑地など「みどり」の事業については“よくやっている”と回答した人が49.6%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】公園や緑地など「みどり」の事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が12.3%、「ある程度そう思う」が37.2%、合わせると49.6%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が16.2%、「ある程度そう思う」が30.1%、合わせると46.2%となっている。

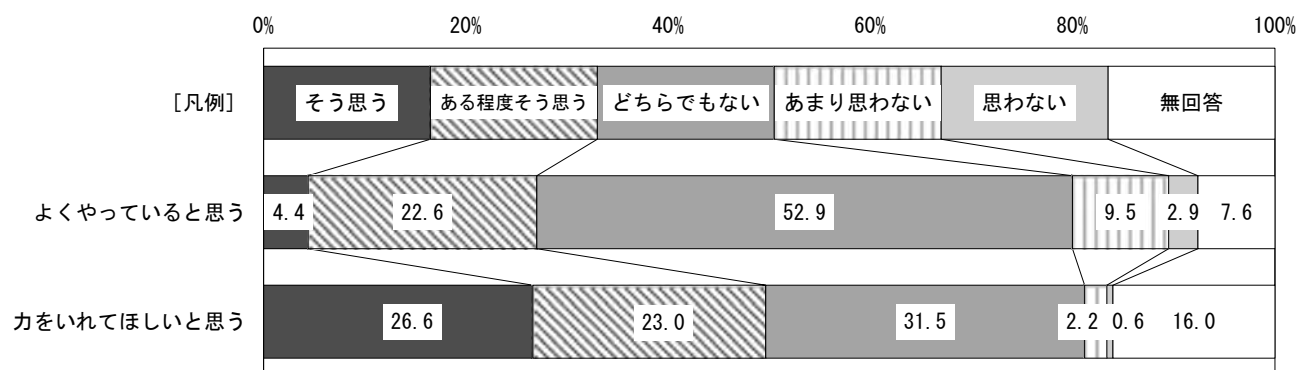
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ス 子どもの教育に関する事業

子どもの教育に関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が49.6%

対象者全体 (N=2,548)

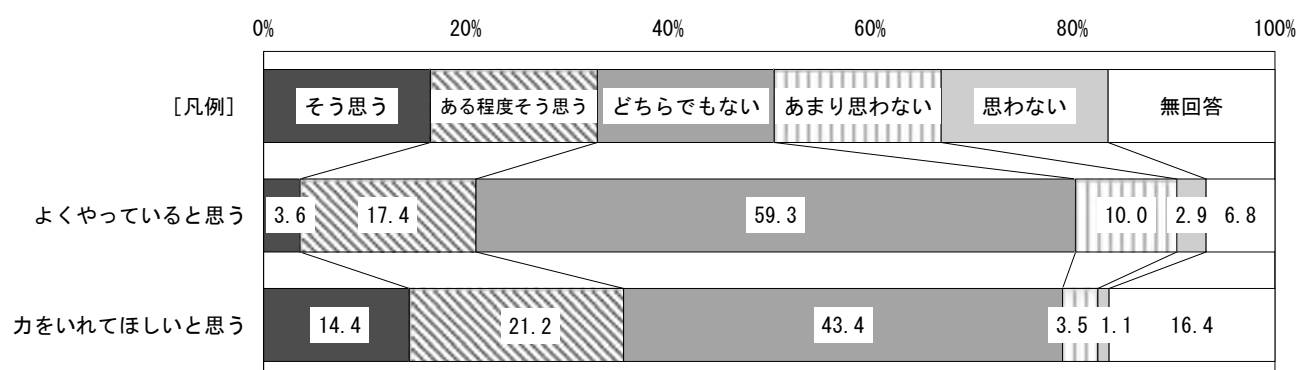


【全 体】子どもの教育に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.4%、「ある程度そう思う」が22.6%、合わせると27.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.6%、「ある程度そう思う」が23.0%、合わせると49.6%となっている。

セ 生涯学習などに関する事業

生涯学習などに関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が35.6%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】生涯学習などに関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.6%、「ある程度そう思う」が17.4%、合わせると21.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が14.4%、「ある程度そう思う」が21.2%、合わせると35.6%となっている。

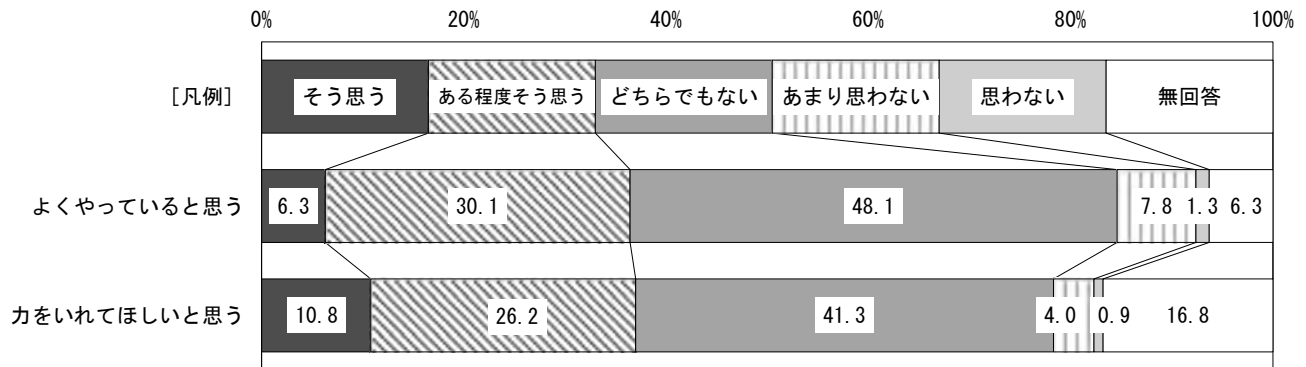
問3 “よくやっている” …「そう思う」＋「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” …「そう思う」＋「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ〇をつけてください。

ソ 文化芸術の振興に関する事業

文化芸術の振興に関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が37.0%

対象者全体 (N=2,548)

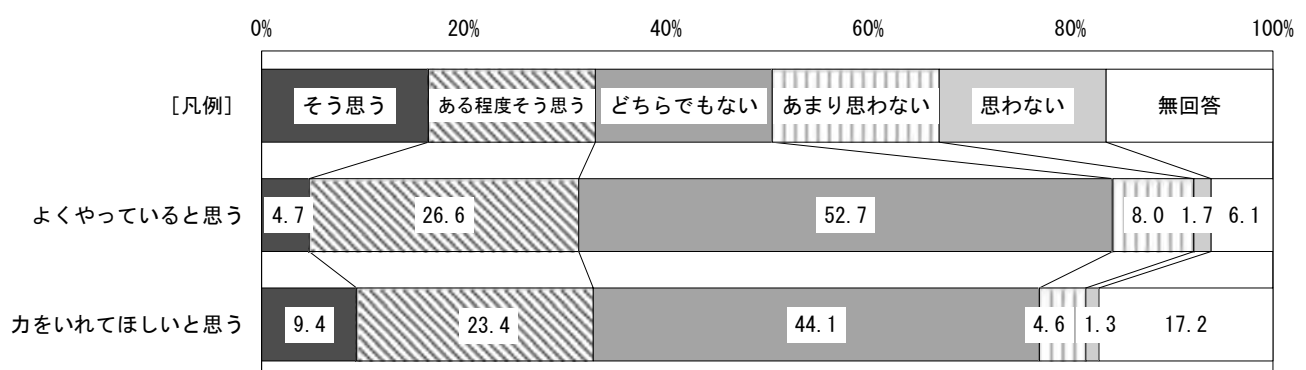


【全 体】文化芸術の振興に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.3%、「ある程度そう思う」が30.1%、合わせると36.5%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が10.8%、「ある程度そう思う」が26.2%、合わせると37.0%となっている。

タ スポーツ・レクリエーションの事業

スポーツ・レクリエーションの事業については“力をいれてほしい”と回答した人が32.8%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】スポーツ・レクリエーションの事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.7%、「ある程度そう思う」が26.6%、合わせると31.4%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が9.4%、「ある程度そう思う」が23.4%、合わせると32.8%となっている。

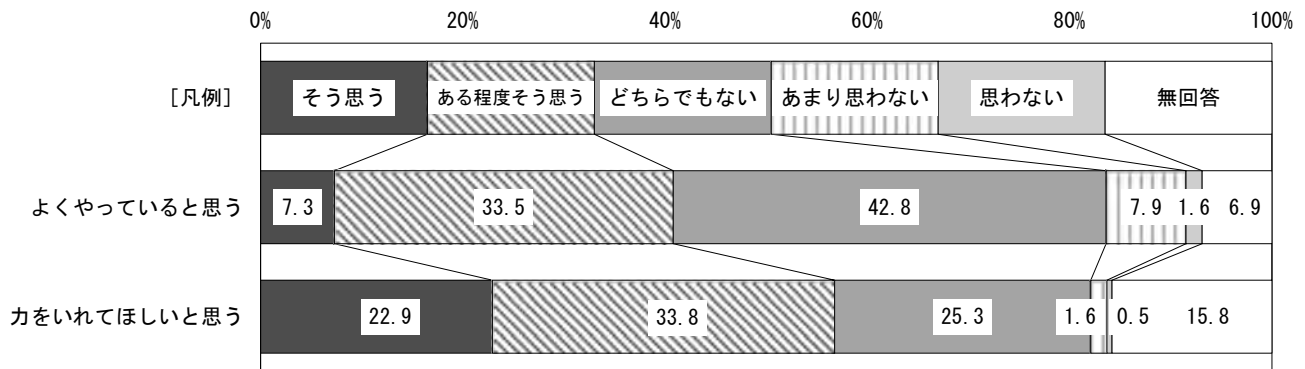
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

チ 健康づくり、医療、衛生の事業

健康づくり、医療、衛生の事業については“力をいれてほしい”と回答した人が56.7%

対象者全体 (N=2,548)

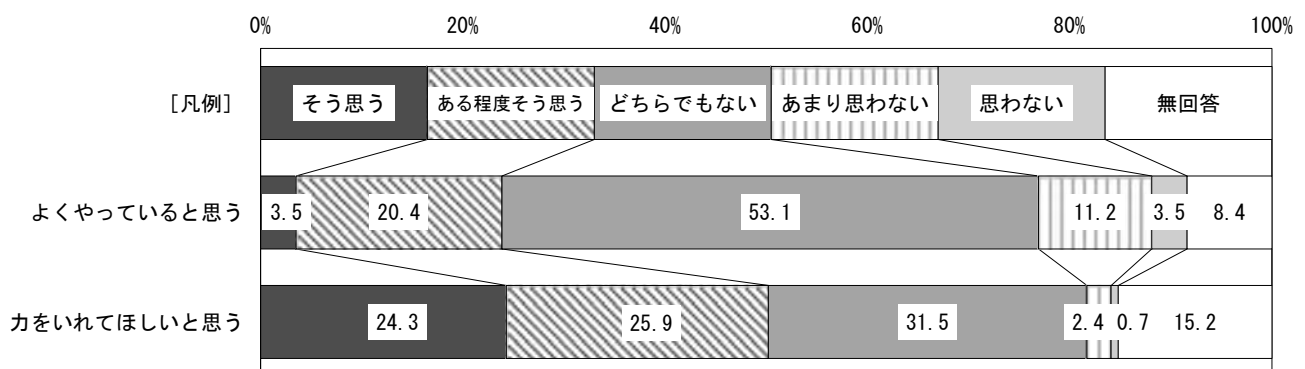


【全 体】健康づくり、医療、衛生の事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が7.3%、「ある程度そう思う」が33.5%、合わせると40.8%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が22.9%、「ある程度そう思う」が33.8%、合わせると56.7%となっている。

ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること

母子及び父子・児童福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が50.2%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】母子及び父子・児童福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.5%、「ある程度そう思う」が20.4%、合わせると23.9%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が24.3%、「ある程度そう思う」が25.9%、合わせると50.2%となっている。

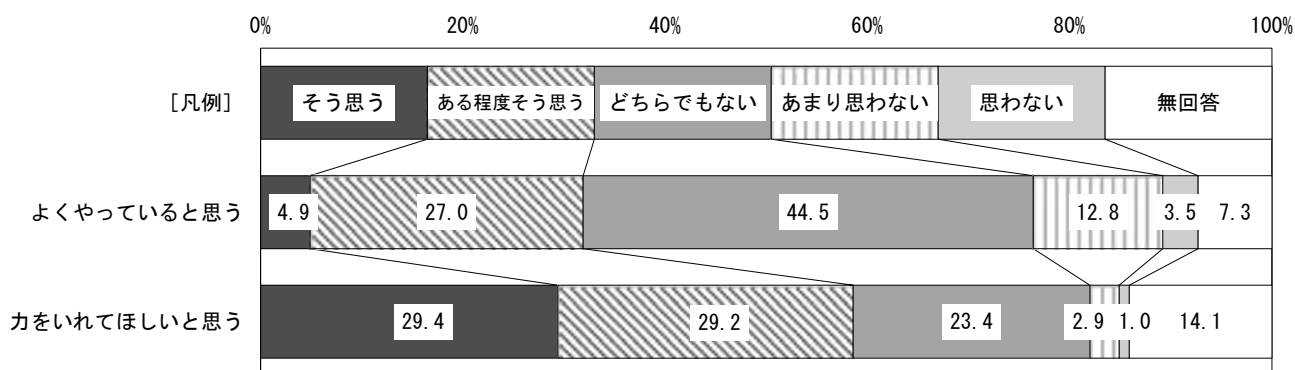
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

テ 高齢者福祉に関すること

高齢者福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が58.6%

対象者全体 (N=2,548)

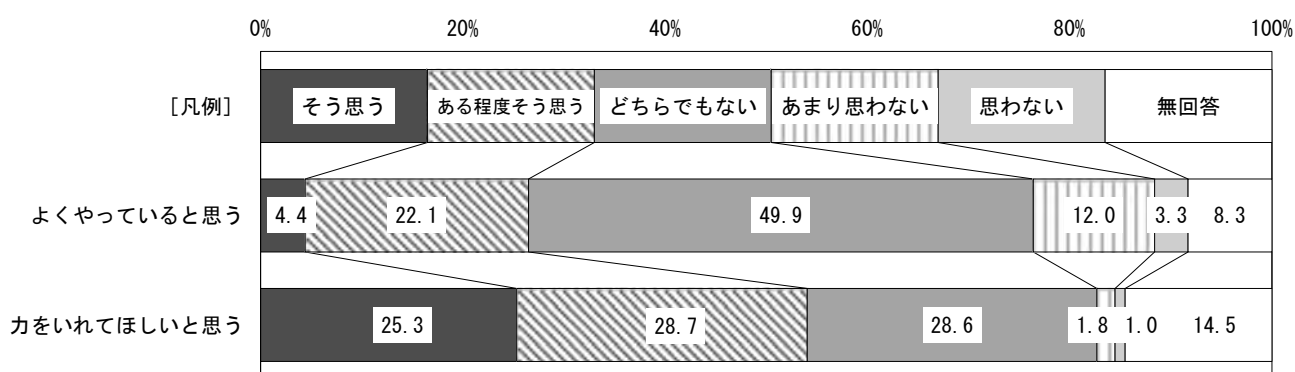


【全 体】 高齢者福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.9%、「ある程度そう思う」が27.0%、合わせると31.9%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が29.4%、「ある程度そう思う」が29.2%、合わせると58.6%となっている。

ト 障がい者福祉に関すること

障がい者福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が54.0%

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】 障がい者福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.4%、「ある程度そう思う」が22.1%、合わせると26.5%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が25.3%、「ある程度そう思う」が28.7%、合わせると54.0%となっている。

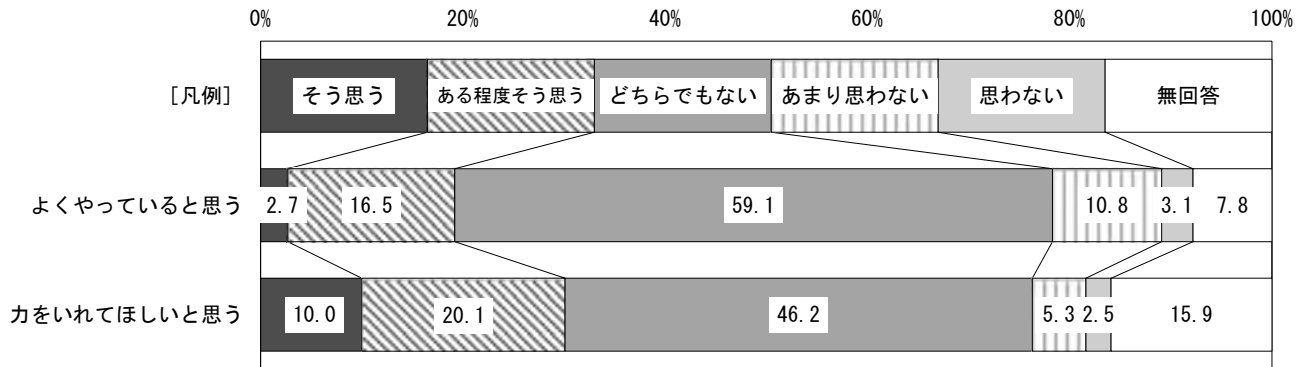
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ナ 国際化推進に関すること

国際化推進に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が30.1%

対象者全体 (N=2,548)

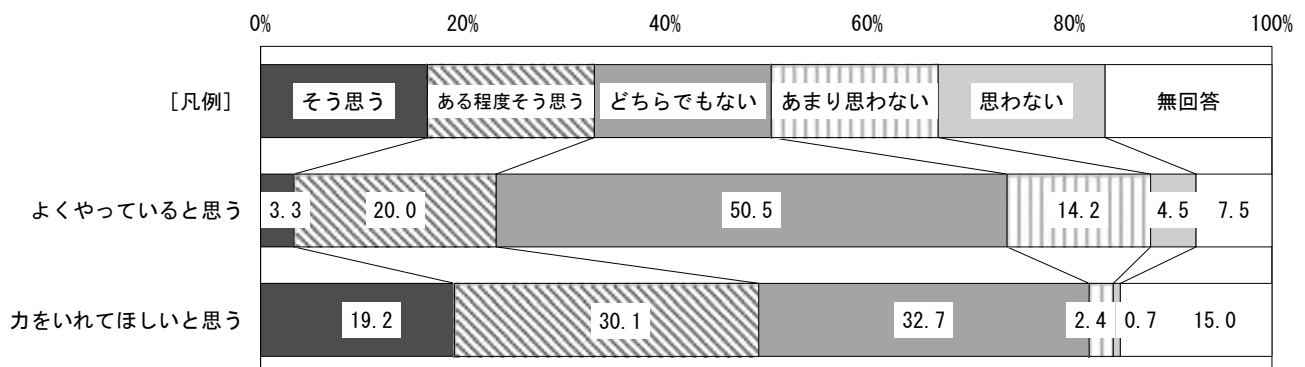


【全 体】国際化推進に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が2.7%、「ある程度そう思う」が16.5%、合わせると19.3%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が10.0%、「ある程度そう思う」が20.1%、合わせると30.1%となっている。

ニ 市民への情報提供や相談に関する事業

市民への情報提供や相談に関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が49.3%

対象者全体 (N=2,548)



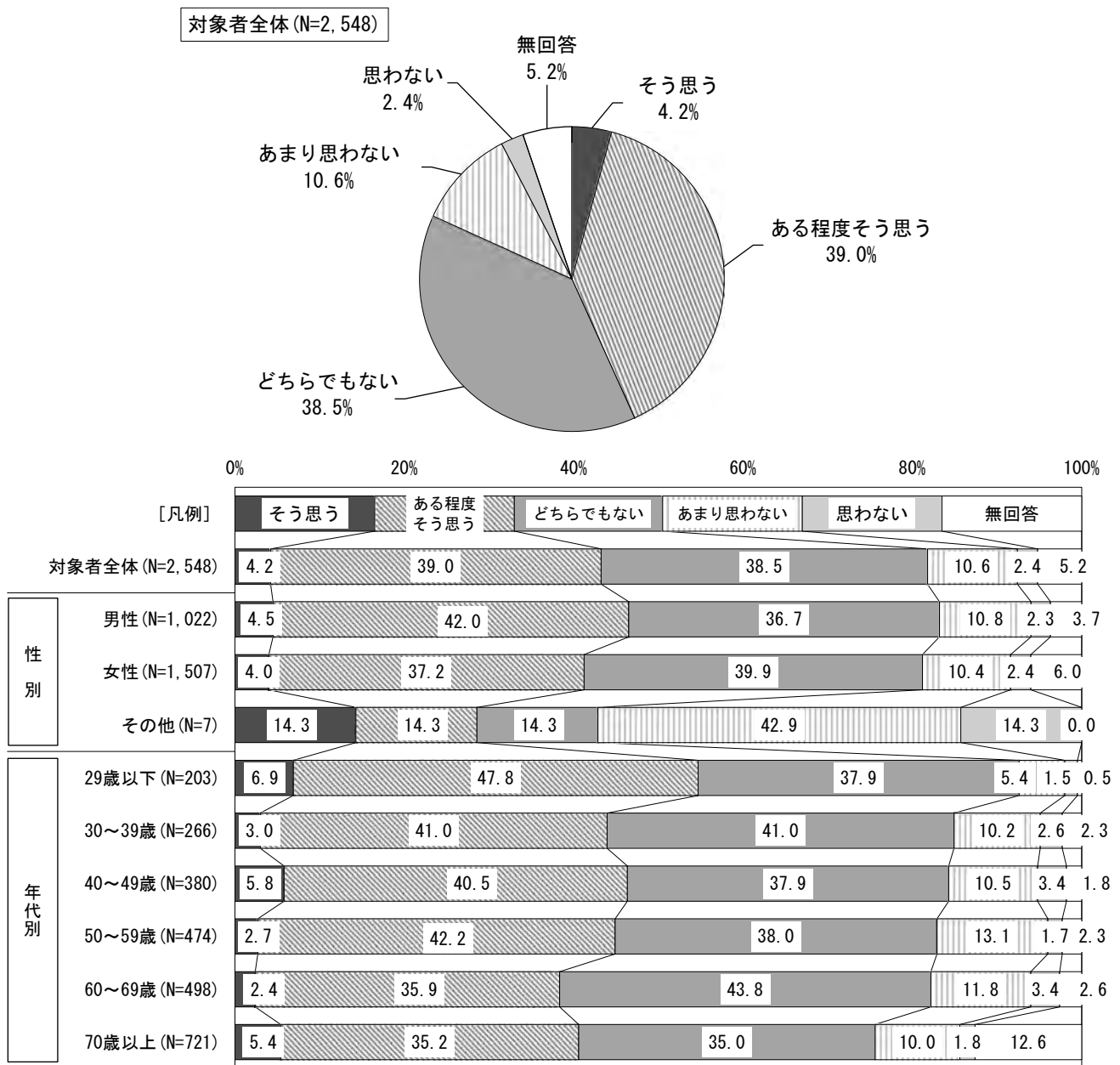
【全 体】市民への情報提供や相談に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.3%、「ある程度そう思う」が20.0%、合わせると23.4%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が19.2%、「ある程度そう思う」が30.1%、合わせると49.3%となっている。

問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ヌ 市の取り組みに対する総合的な満足度

市の取り組みに対する総合的な満足度については“よくやっている”と回答した人が43.2%



【全 体】市の取り組みに対する総合的な満足度について、よくやっていると思うかは、「思う」が4.2%、「ある程度思う」が39.0%、合わせると43.2%となっている。一方、「あまり思わない」が10.6%、「思わない」が2.4%、合わせると13.0%となっている。

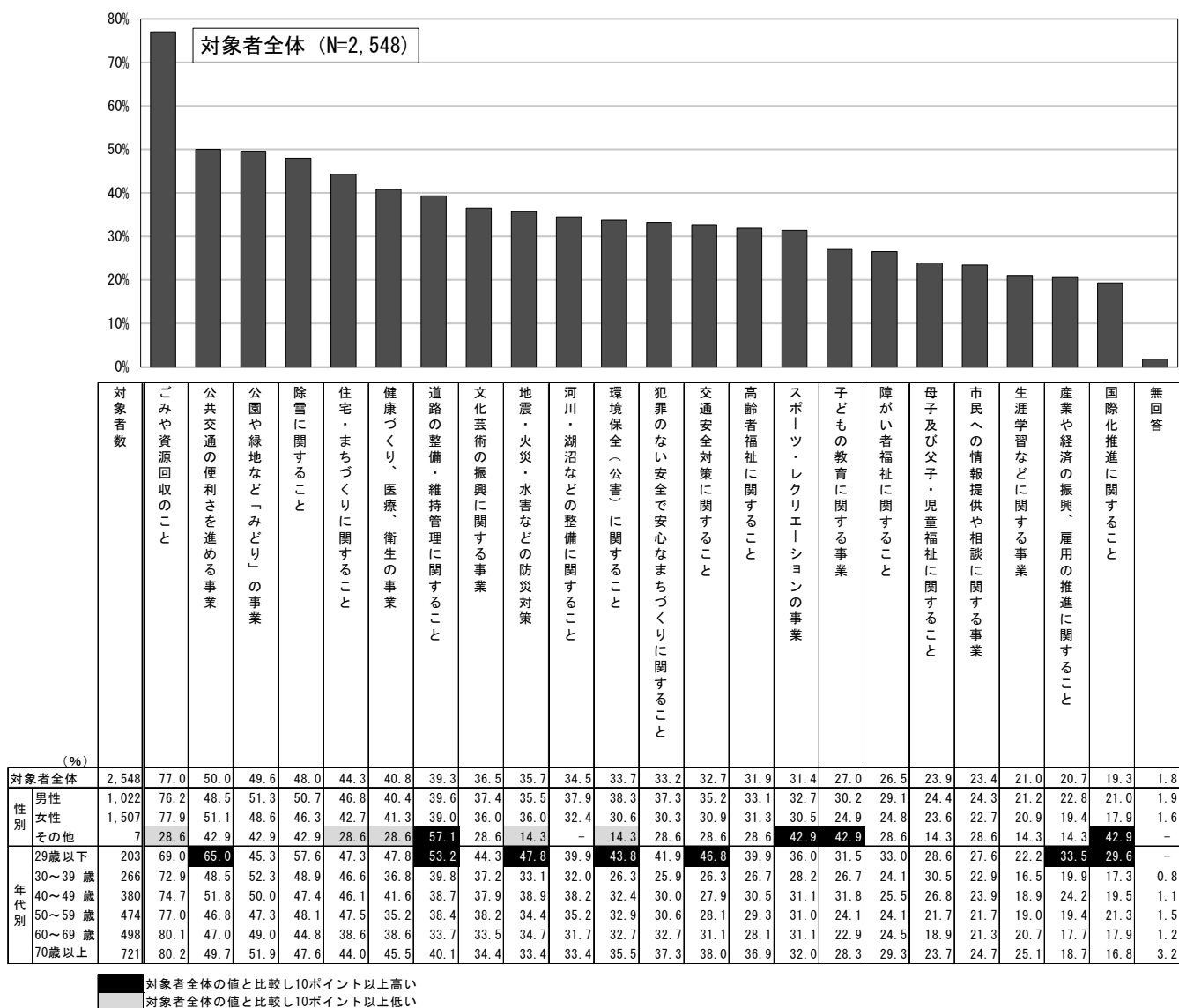
【性 別】“よくやっている”は男性が46.5%と、女性の41.2%より5.3ポイント高くなっている。

【年代別】“よくやっている”が29歳以下(54.7%)で最も高く、最も低い60歳代(38.4%)と比べると16.3ポイントの差となっている。

問3 “よくやっている”…「思う」+「ある程度思う」
“力をいれてほしい”…「思う」+「ある程度思う」

◇市政に対する評価「よくやっていると思うもの」順位表

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「よくやっていると思うもの」において“よくやっていると思う”（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合が高いものから順に記載する。



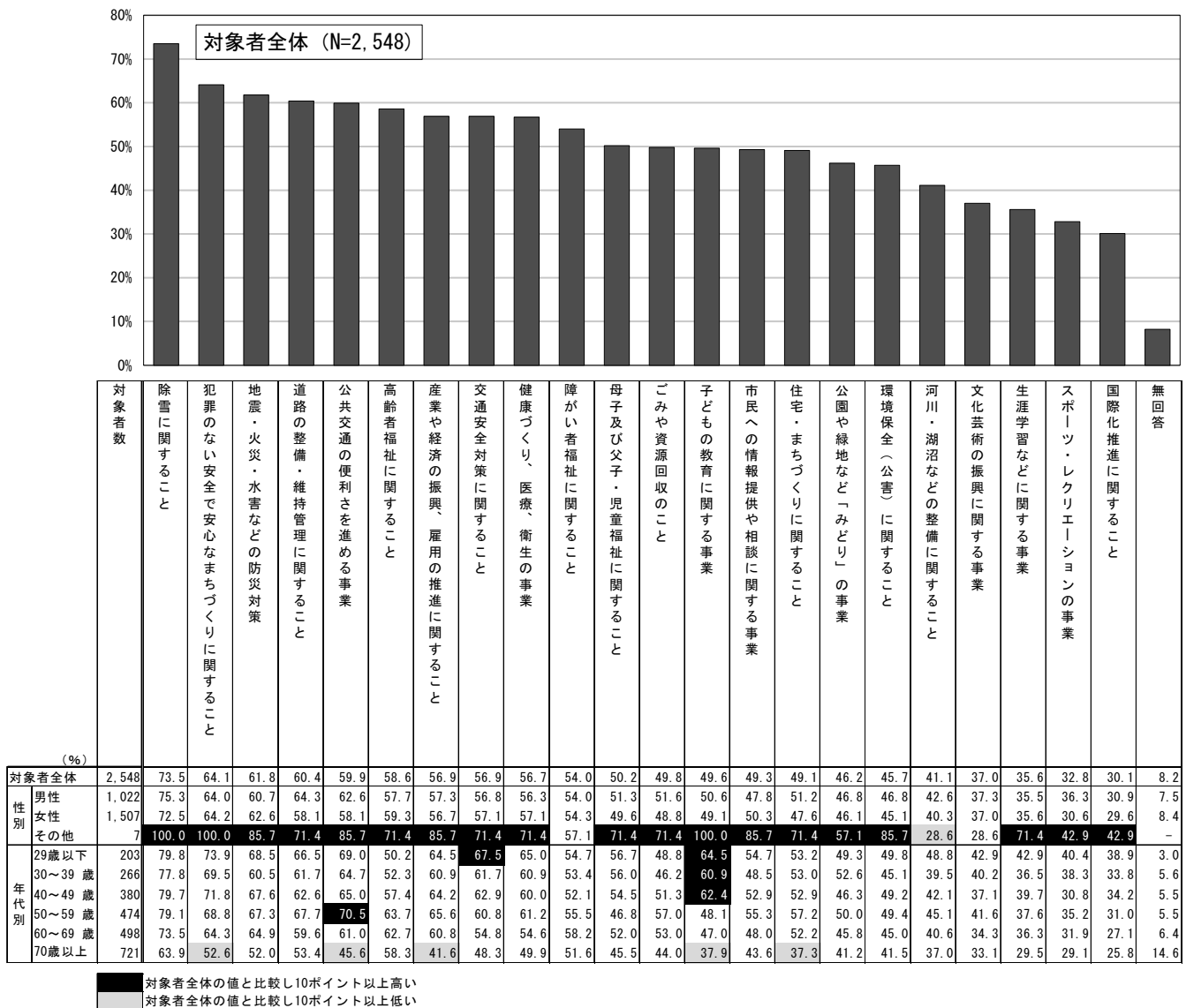
【全 体】市政に対する評価「よくやっていると思うもの」において、“よくやっていると思う”の割合は、「ごみや資源回収のこと」が77.0%、「公共交通の便利さを進める事業」が50.0%、「公園や緑地など「みどり」の事業」が49.6%となっている。

【性 別】「河川・湖沼などの整備に関すること」、「環境保全（公害）に関すること」、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」、「子どもの教育に関する事業」は男性が女性より5.3ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下では、「公共交通の便利さを進める事業」、「道路の整備・維持管理に関すること」、「地震・火災・水害などの防災対策」、「環境保全（公害）に関すること」、「交通安全対策に関すること」、「産業や経済の振興、雇用の推進に関すること」、「国際化推進に関すること」が、対象者全体より10.1ポイント以上高くなっている。

◇市政に対する評価「力をいれてほしいもの」順位表

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「力をいれてほしいと思うもの」において“力をいれてほしいと思う”（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合が高いものから順に記載する。



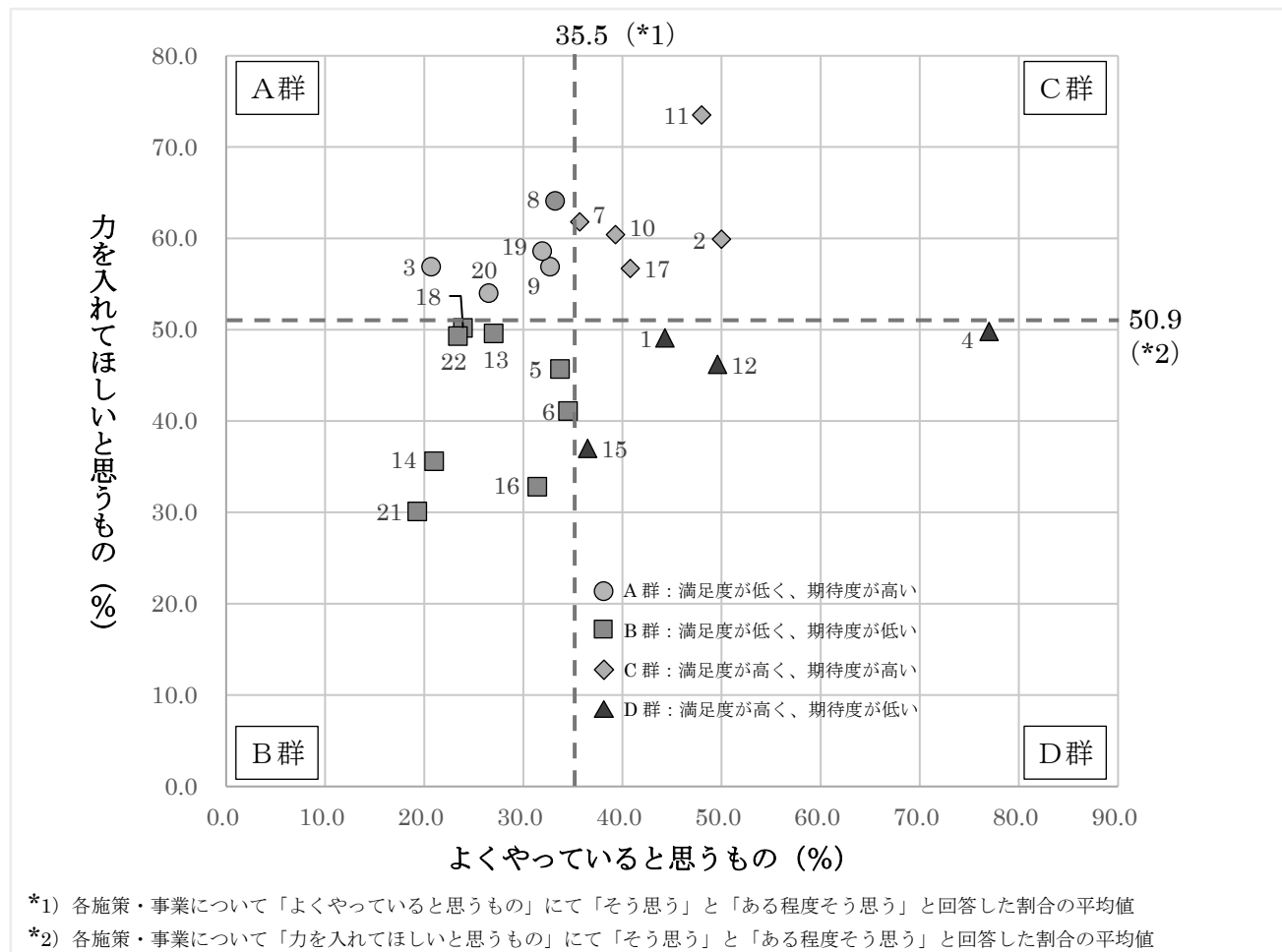
【全 体】市政に対する評価「力をいれてほしいと思うもの」において、“力をいれてほしいと思う”の割合は、「除雪に関すること」が73.5%、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」が64.1%、「地震・火災・水害などの防災対策」が61.8%となっている。

【性 別】「道路の整備・維持管理に関すること」、「スポーツ・レクリエーションの事業」は男性が女性より5.7ポイント以上高くなっている。

【年代別】70歳以上では、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」、「公共交通の便をを進める事業」、「産業や経済の振興、雇用の推進に関すること」、「子どもの教育に関する事業」、「住宅・まちづくりに関すること」が対象者全体より11.5ポイント以上低くなっている。

◇市政に対する評価[プロット図]

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「よくやっていると思うもの」「力を入れてほしいと思うもの」において『そう思う』（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合（％）を下記の表の通りプロットし、今後の方向性を定める目安とする（横軸：よくやっていると思うもの、縦軸：力を入れてほしいと思うもの。）。



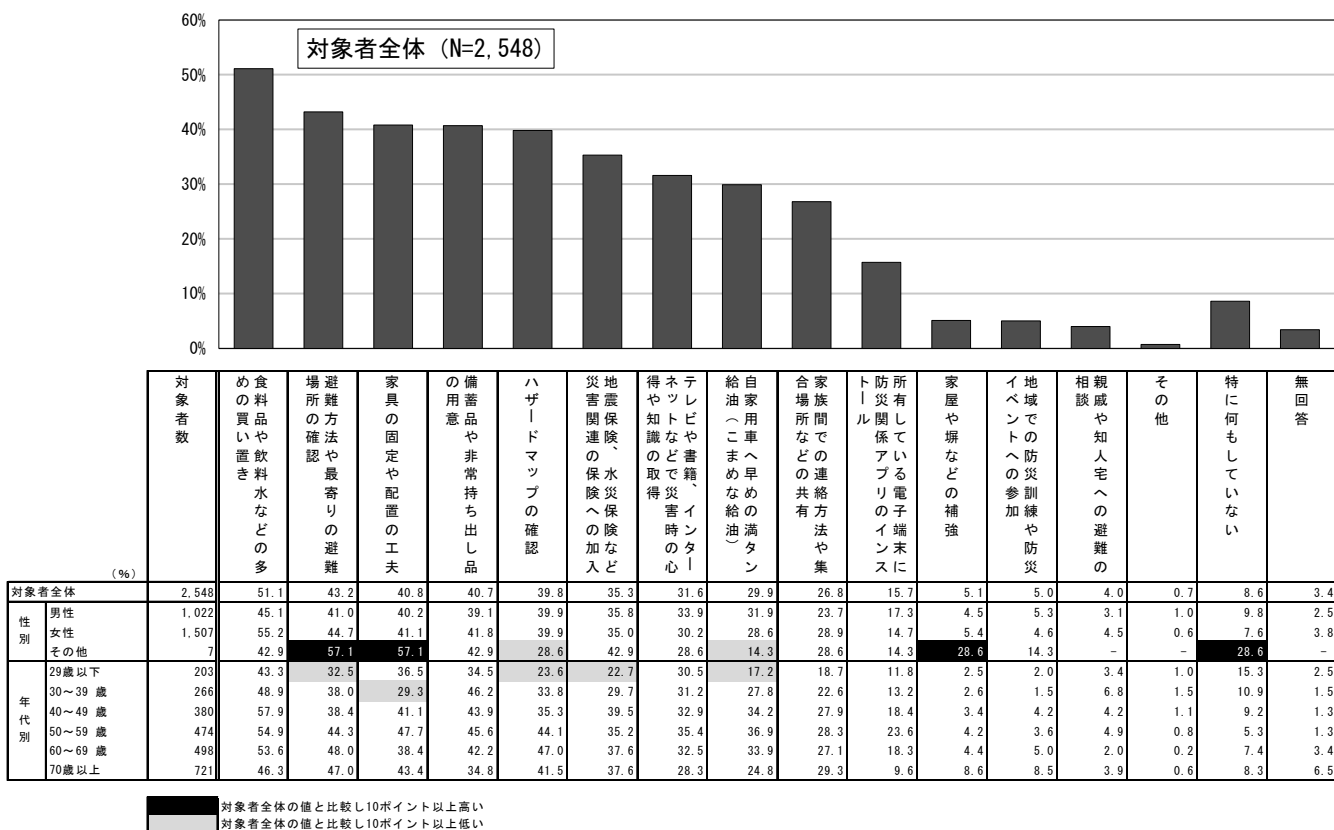
No.	市の施策・事業	よくやっていると思うもの (%)	力を入れてほしいと思うもの (%)	今後の方向性
3	産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	20.7	56.9	A群
8	犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	33.2	64.1	
9	交通安全対策に関すること	32.7	56.9	
19	高齢者福祉に関すること	31.9	58.6	
20	障がい者福祉に関すること	26.5	54.0	
5	環境保全(公害)に関すること	33.7	45.7	B群
6	河川・湖沼などの整備に関すること	34.5	41.1	
13	子どもの教育に関する事業	27.0	49.6	
14	生涯学習などに関する事業	21.0	35.6	
16	スポーツ・レクリエーションの事業	31.4	32.8	
18	母子及び父子・児童福祉に関すること	23.9	50.2	
21	国際化推進に関すること	19.3	30.1	
22	市民への情報提供や相談に関する事業	23.4	49.3	C群
2	公共交通の便利さを進める事業	50.0	59.9	
7	地震・火災・水害などの防災対策	35.7	61.8	
10	道路の整備・維持管理に関すること	39.3	60.4	
11	除雪に関すること	48.0	73.5	
17	健康づくり、医療、衛生の事業	40.8	56.7	D群
1	住宅・まちづくりに関すること	44.3	49.1	
4	ごみや資源回収のこと	77.0	49.8	
12	公園や緑地など「みどり」の事業	49.6	46.2	
15	文化芸術の振興に関する事業	36.5	37.0	

(3)各家庭における災害への意識と備えについて

◇家庭で行っている災害対策

問 4 あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

家庭で行っている災害対策は「食料品や飲料水などの多めの買い置き」と回答した人が51.1%



【全 体】家庭で行っている災害対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き」が51.1%、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」が43.2%、「家具の固定や配置の工夫」が40.8%となっている。

【性 別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き」、「家族間での連絡方法や集合場所などの共有」は女性が男性より5.2ポイント以上高くなっている。

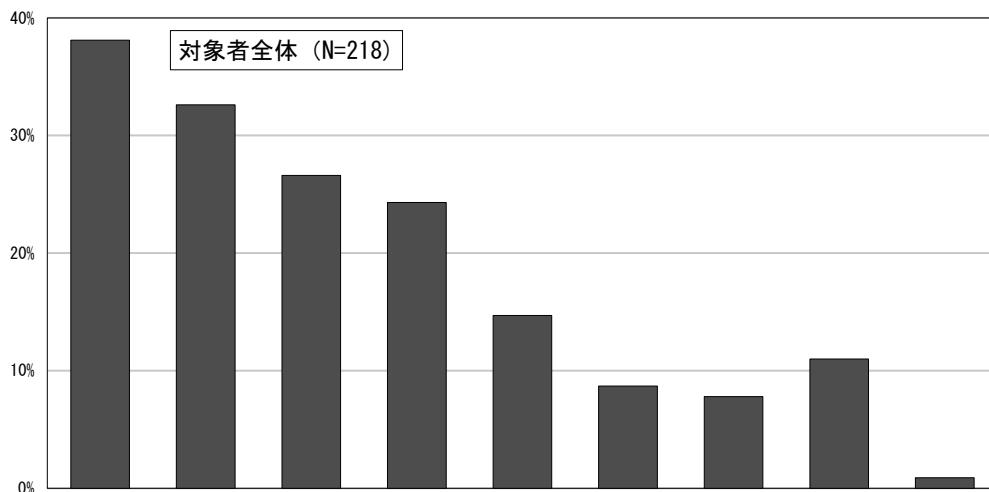
【年代別】69歳以下では「食料品や飲料水などの多めの買い置き」が、70歳以上では「避難方法や最寄りの避難場所の確認」が最も高くなっている。

◇災害対策をしない理由

《問4で「15 特に何もしていない」に○をつけた方にお聞きします。》

問4-1 あなたのご家庭で、災害に備えた対策をしない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

災害対策をしない理由は「具体的に何をすれば良いか分からない」と回答した人が38.1%



		対象者数	具体的に何をすれば良いか分からない (%)	お金がかかる (%)	備蓄品などを置くスペースがない (%)	面倒である (%)	災害が自分の身に起こると考えにくい (%)	時間がない (%)	行政に任せている (%)	その他 (%)	無回答 (%)
(%)											
対象者全体		218	38.1	32.6	26.6	24.3	14.7	8.7	7.8	11.0	0.9
性別	男性	100	38.0	32.0	27.0	33.0	17.0	10.0	9.0	7.0	1.0
	女性	115	39.1	32.2	27.0	17.4	13.0	7.8	7.0	13.9	-
	その他	2	-	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-
年代別	29歳以下	31	35.5	29.0	25.8	29.0	19.4	6.5	3.2	25.8	-
	30～39 歳	29	44.8	48.3	48.3	31.0	6.9	24.1	6.9	6.9	-
	40～49 歳	35	34.3	37.1	37.1	22.9	8.6	8.6	8.6	8.6	2.9
	50～59 歳	25	32.0	28.0	16.0	20.0	20.0	8.0	4.0	12.0	-
	60～69 歳	37	29.7	37.8	29.7	18.9	13.5	10.8	8.1	13.5	-
	70歳以上	60	46.7	23.3	13.3	25.0	18.3	1.7	11.7	5.0	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】災害対策をしない理由は、「具体的に何をすれば良いか分からない」が38.1%、「お金がかかる」が32.6%、「備蓄品などを置くスペースがない」が26.6%となっている。

【性 別】「面倒である」は男性が33.0%と、女性の17.4%より15.6ポイント高くなっている。

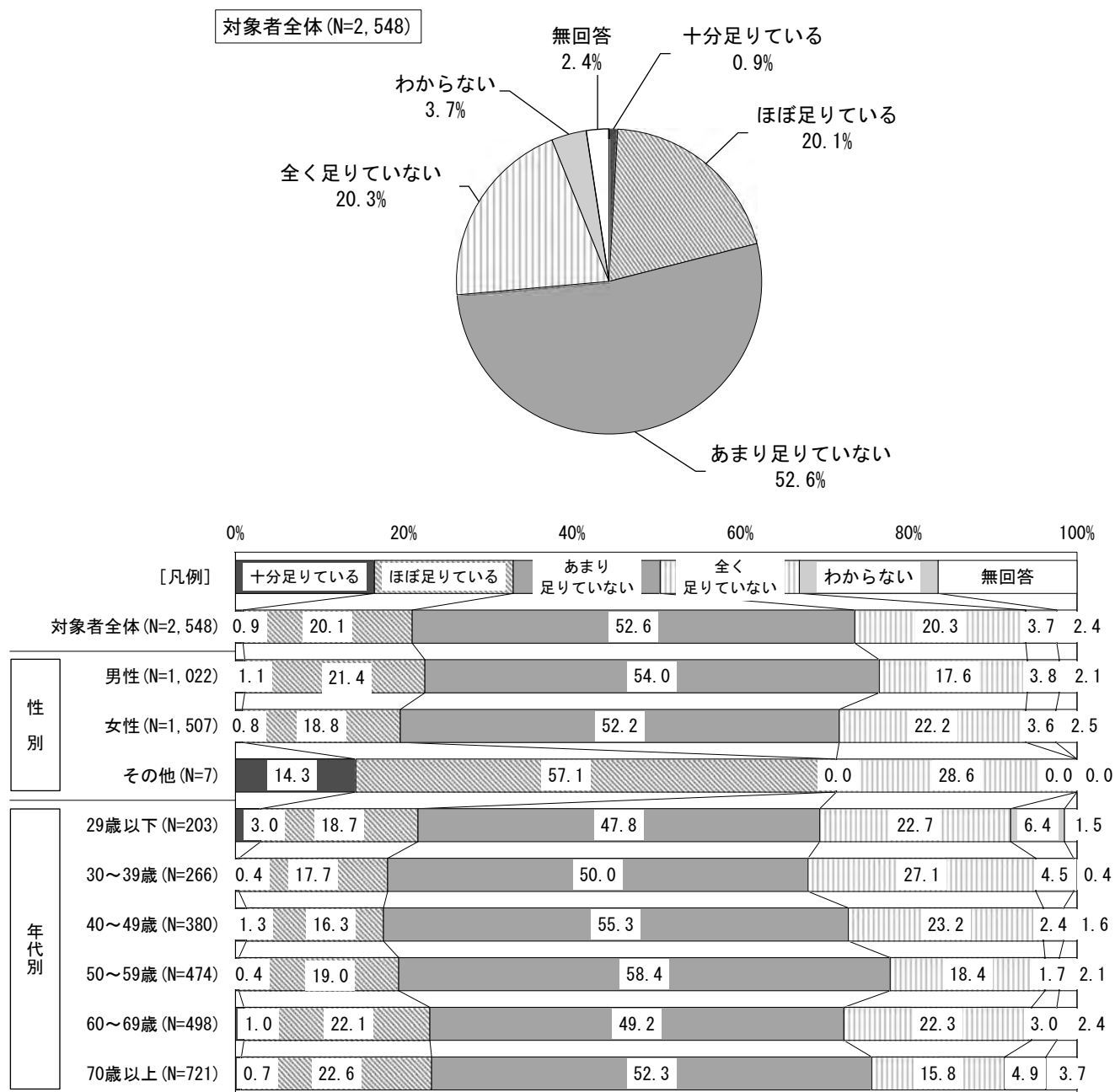
【年代別】29歳以下、50歳代、70歳以上では「具体的に何をすれば良いか分からない」が、30歳代、40歳代では「お金がかかる」と「備蓄品などを置くスペースがない」が、60歳代では「お金がかかる」が最も高くなっている。

◇災害に対する備えが足りているか

問5 あなたは、ご自身のご家庭での災害に対する備えは足りていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

災害に対する備えが “足りている” 人は 21.0%

※ “足りている”（「十分足りている」＋「ほぼ足りている」）



【全 体】 災害に対する備えが足りているかについては、「十分足りている」が0.9%、「ほぼ足りている」が20.1%、合わせると21.0%となっている。一方、「あまり足りていない」が52.6%、「全く足りていない」が20.3%、合わせると72.9%となっている。

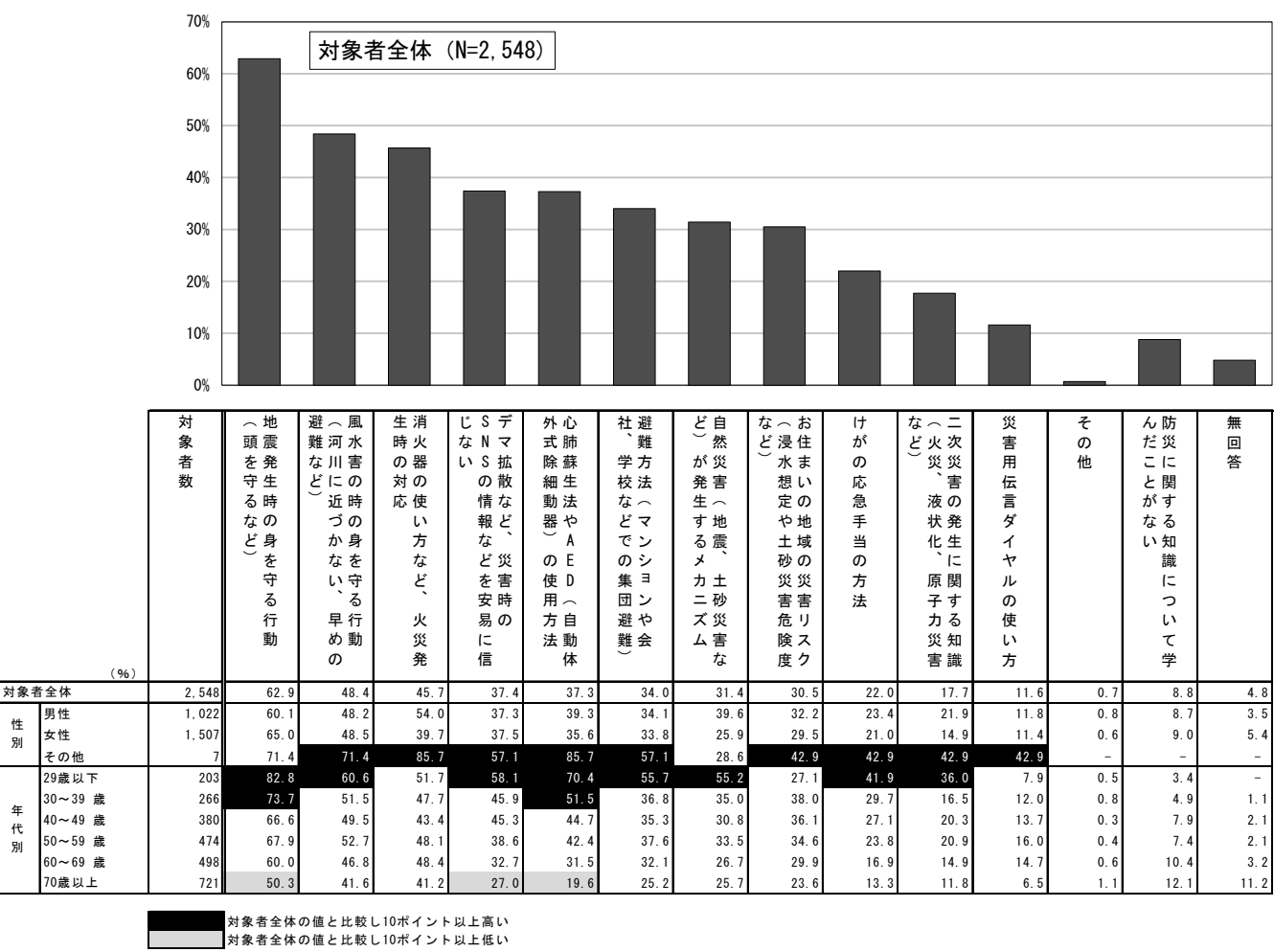
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “足りている” が70歳以上（23.3%）で最も高く、次いで60歳代（23.1%）、29歳以下（21.7%）となっている。

◇防災についてこれまでに学んだこと

問6 あなたは、これまでに防災に関してどのような教育や訓練を受けた、又は自ら学習したことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災についてこれまでに学んだことは「地震発生時の身を守る行動（頭を守るなど）」と回答した人が 62.9%



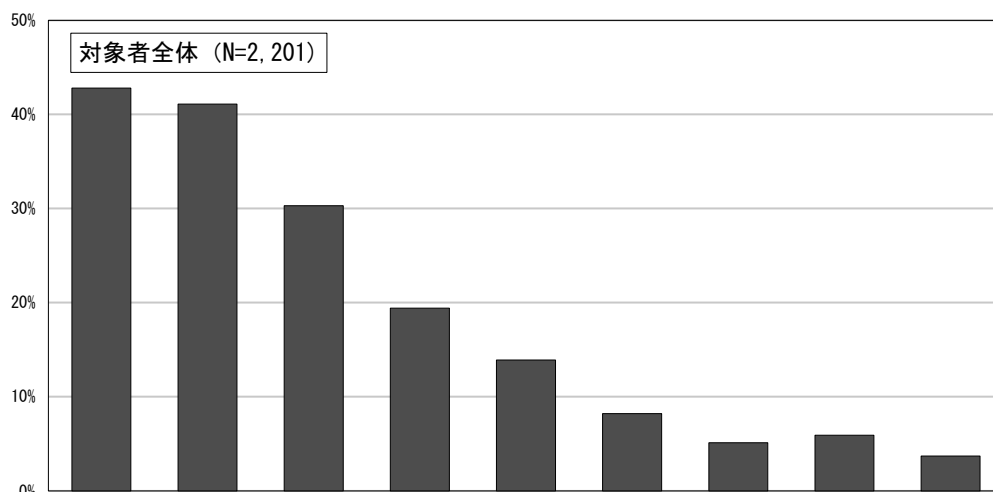
- 【全 体】防災についてこれまでに学んだことは、「地震発生時の身を守る行動（頭を守るなど）」が 62.9%、「風水害の時の身を守る行動（河川に近づかない、早めの避難など）」が 48.4%、「消火器の使い方など、火災発生時の対応」が 45.7%となっている。
- 【性 別】「消火器の使い方など、火災発生時の対応」、「自然災害（地震、土砂災害など）が発生するメカニズム」、「二次災害の発生に関する知識（火災、液状化、原子力災害など）」は男性が女性より 7.0 ポイント以上高くなっている。
- 【年代別】「デマ拡散など、災害時の SNS の情報などを安易に信じない」、「心肺蘇生法や A E D（自動体外式除細動器）の使用法」、「けがの応急手当の方法」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇防災について学んだきっかけ

《問6で「1」から「12」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問6-1 あなたが、防災について学んだきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災について学んだきっかけは「自分の住む地域以外での災害のニュースを見て気になった」と回答した人が42.8%



		対象者数	自分の住む地域以外での災害のニュースを見て気になった (%)	会社などで学ぶ機会があった (%)	学校で学んだ (%)	マンションや町内会などの地域で学ぶ機会があった (%)	自分や身近な人が実際に災害を経験した (%)	資格取得のために勉強した (%)	子供が学校で習った (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,201	42.8	41.1	30.3	19.4	13.9	8.2	5.1	5.9	3.7
性別	男性	897	38.5	51.2	26.8	18.7	12.2	10.8	3.0	5.1	4.2
	女性	1,290	45.6	33.7	32.7	19.8	15.1	6.3	6.7	6.4	3.3
	その他	7	42.9	85.7	57.1	14.3	42.9	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	196	26.0	27.6	85.2	4.1	13.8	13.8	0.5	4.1	2.6
	30～39歳	250	37.6	50.0	55.6	5.6	16.4	10.4	6.0	4.8	2.8
	40～49歳	342	31.9	50.6	38.6	14.0	19.6	8.2	14.6	8.5	1.2
	50～59歳	429	40.8	51.3	30.3	16.1	18.2	8.4	5.6	6.8	3.0
	60～69歳	430	47.0	44.7	13.5	24.9	10.0	8.6	3.3	5.6	4.0
	70歳以上	553	55.9	25.1	7.4	32.5	9.2	4.5	1.6	4.9	6.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ▨ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】防災について学んだきっかけは、「自分の住む地域以外での災害のニュースを見て気になった」が42.8%、「会社などで学ぶ機会があった」が41.1%、「学校で学んだ」が30.3%となっている。

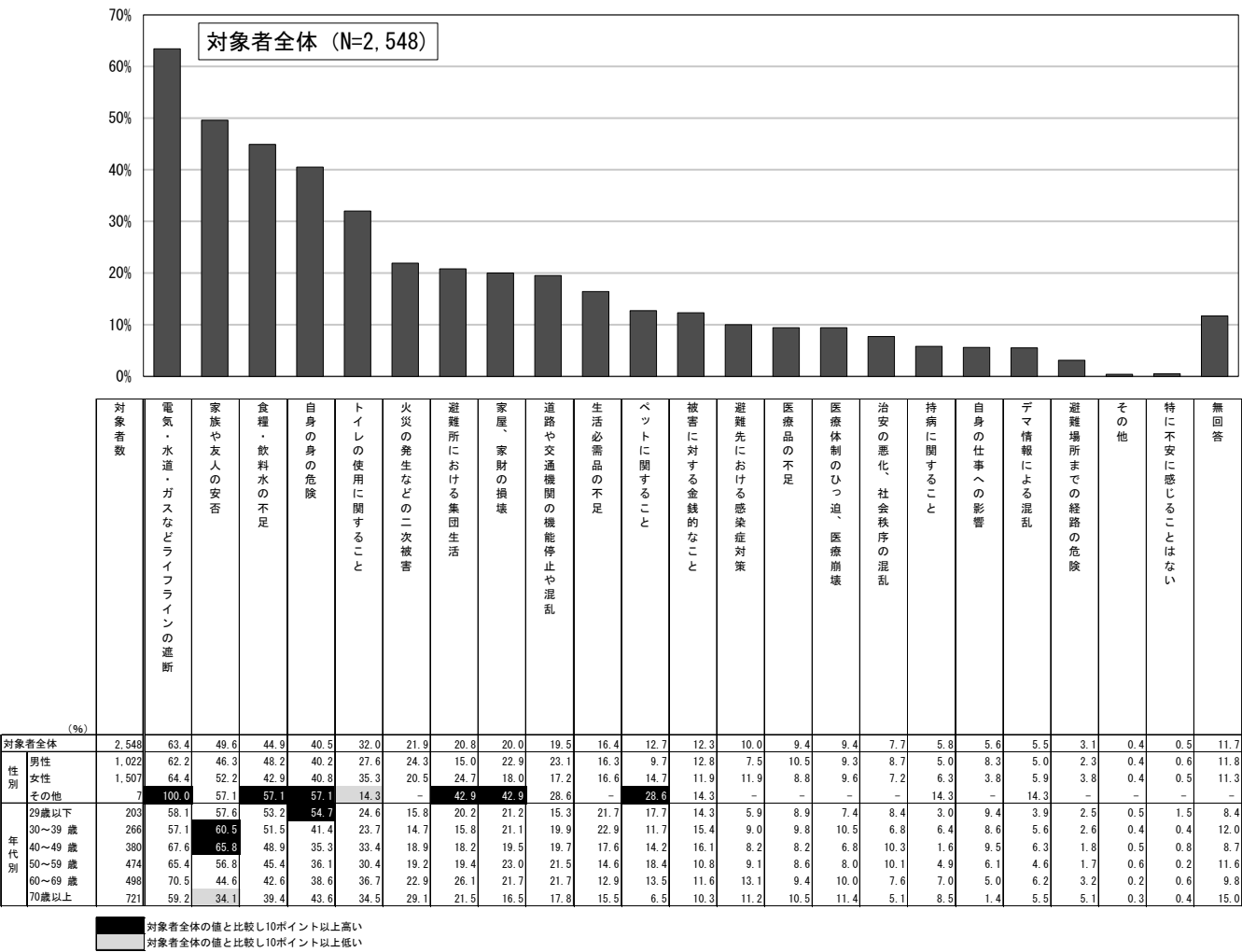
【性別】「会社などで学ぶ機会があった」は男性が51.2%と、女性の33.7%より17.5ポイント高くなっている。また、「自分の住む地域以外での災害のニュースを見て気になった」、「学校で学んだ」は女性が男性より5.9ポイント以上高くなっている。

【年代別】「学校で学んだ」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。また、「マンションや町内会などの地域で学ぶ機会があった」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇災害時に不安に感じること

問 7 あなたは、お住まいの地域で地震や風水害などの災害が発生した場合、特に不安に感じることはな
んですか。あてはまるものを最大5つまで○をつけてください。

災害時に不安に感じることは「電気・水道・ガスなどライフラインの遮断」と回答した人が 63.4%



【全 体】災害時に不安に感じることは、「電気・水道・ガスなどライフラインの遮断」が 63.4%、「家族や友人の安否」が 49.6%、「食糧・飲料水の不足」が 44.9%となっている。

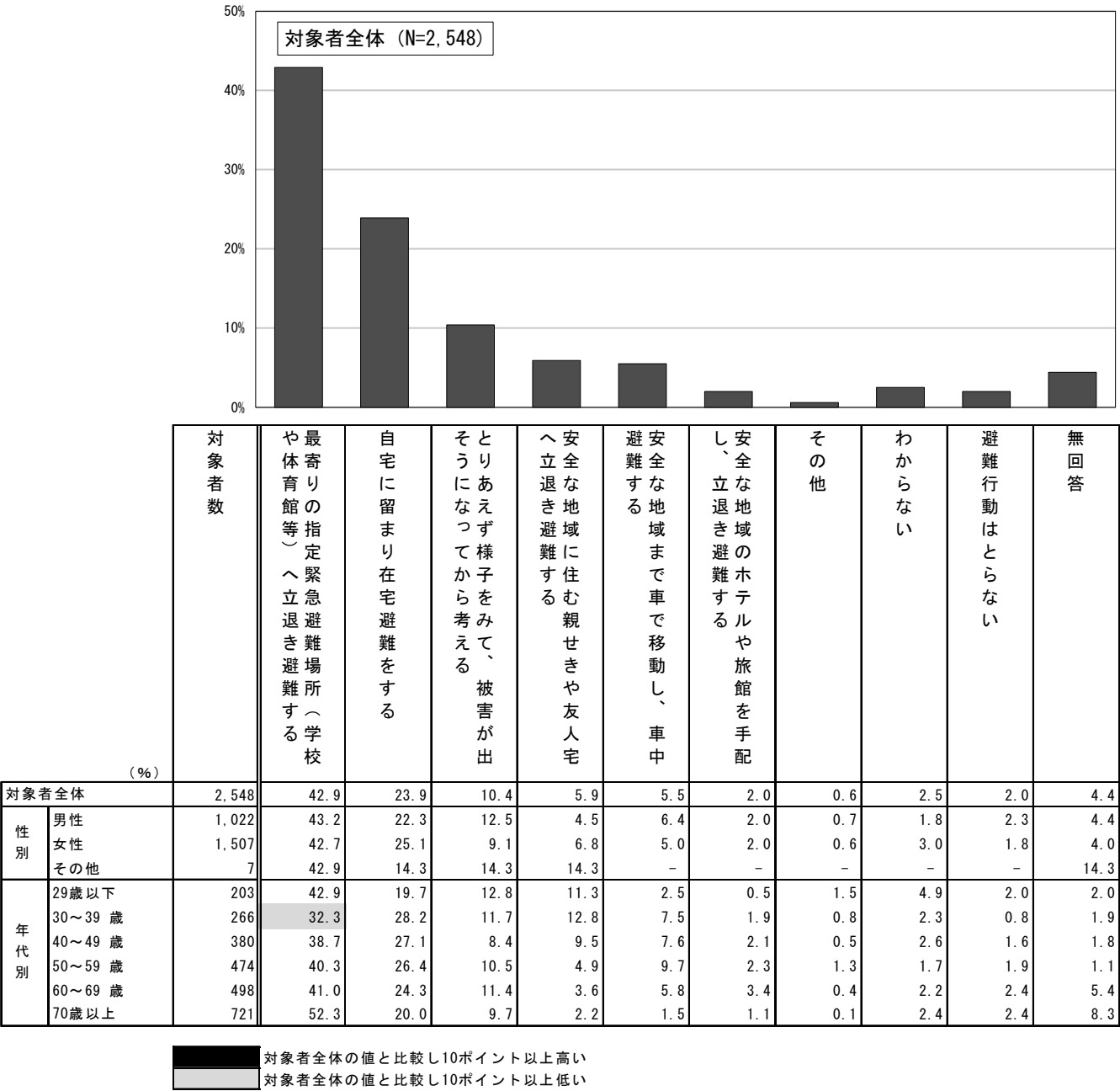
【性 別】「食糧・飲料水の不足」、「道路や交通機関の機能停止や混乱」は男性が女性より 5.3 ポイント以上高くなっている。また、「家族や友人の安否」、「トイレの使用に関すること」、「避難所における集団生活」、「ペットに関すること」は女性が男性より 5.0 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「食糧・飲料水の不足」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇災害時の避難行動

問 8 あなたは、大雨による災害の危険が高まっていると仮定し、札幌市からあなたがお住まいの地域に「高齢者等避難」や「避難指示」が発令された場合、どのような行動をとると考えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

災害時の避難行動は「最寄りの指定緊急避難場所（学校や体育館等）へ立退き避難する」と回答した人が 42.9%



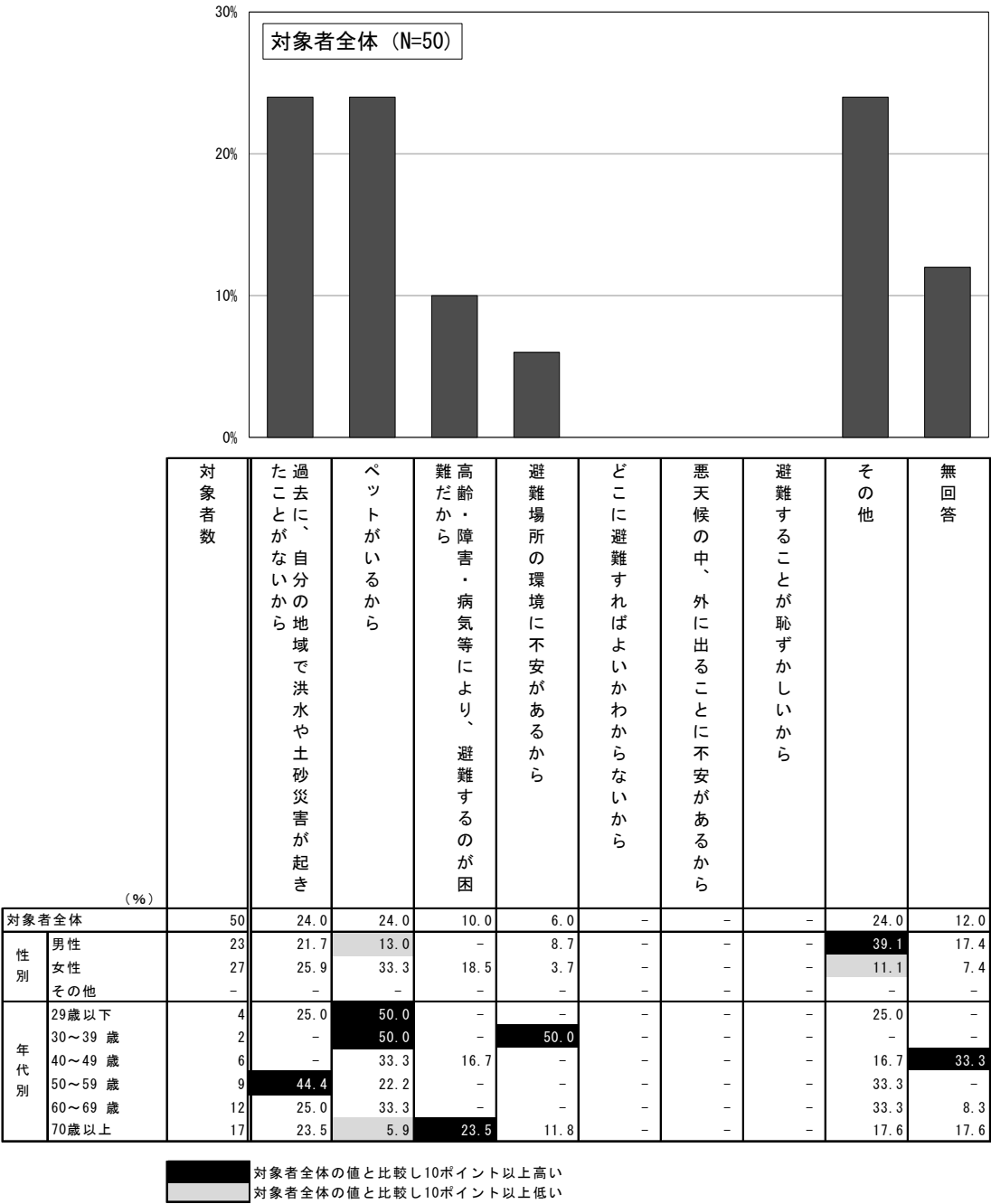
- 【全 体】災害時の避難行動は、「最寄りの指定緊急避難場所（学校や体育館等）へ立退き避難する」が 42.9%、「自宅に留まり在宅避難をする」が 23.9%、「とりあえず様子をみて、被害が出そうになってから考える」が 10.4%となっている。
- 【性 別】大きな差は見られない。
- 【年代別】「最寄りの指定緊急避難場所（学校や体育館等）へ立退き避難する」が 70 歳以上（52.3%）で最も高く、最も低い 30 歳代（32.3%）と比べると 20.0 ポイントの差となっている。

◇避難行動をとらない理由

《問8で「9 避難行動をとらない」と答えた方にお聞きします。》

問8-1 あなたが、避難行動をとらない理由はなんですか。お考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

避難行動をとらない理由は「過去に、自分の地域で洪水や土砂災害が起きたことがないから」、「ペットがいるから」と回答した人が24.0%



【全体】避難行動をとらない理由は、「過去に、自分の地域で洪水や土砂災害が起きたことがないから」、「ペットがいるから」が24.0%、「高齢・障害・病気等により、避難するのが困難だから」が10.0%となっている。

(4)テレビ・ラジオの視聴状況について

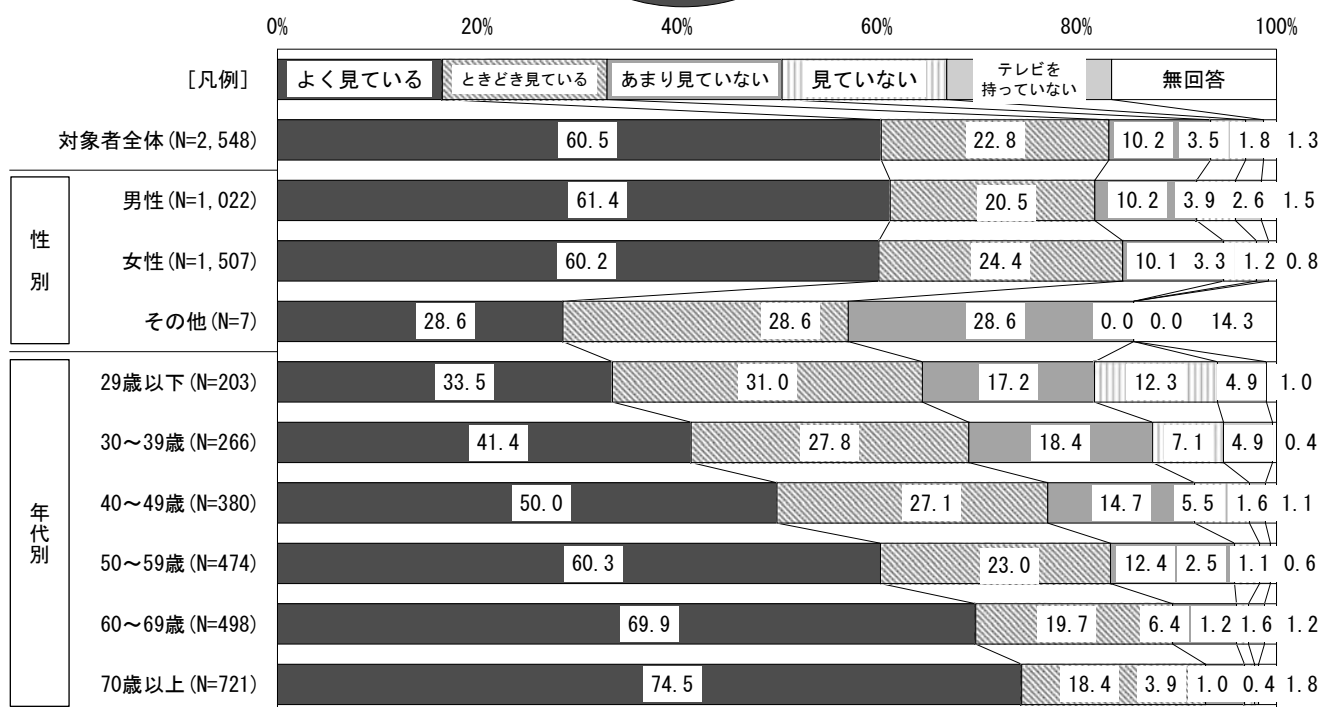
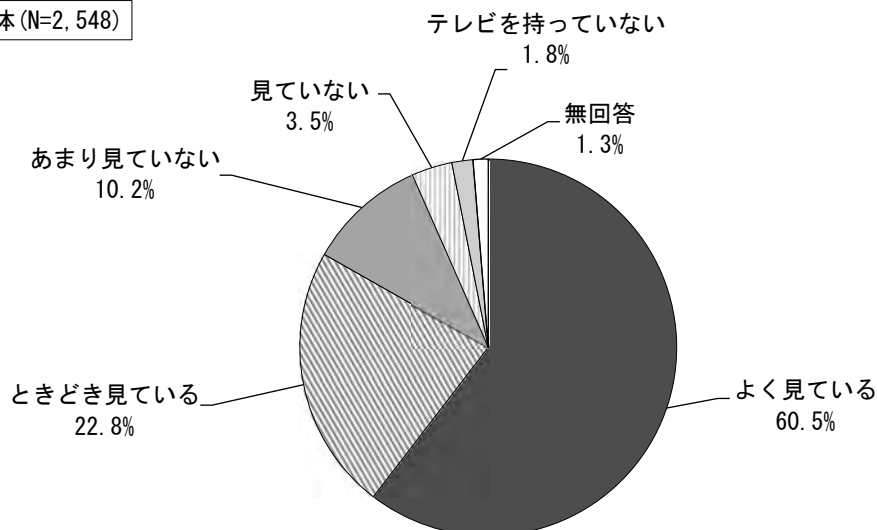
◇テレビの視聴頻度

問 9 あなたは、日頃テレビを見ていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

テレビを“見ている”と回答した人は 83.3%

※ “見ている”（「よく見ている」＋「ときどき見ている」）

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】 テレビの視聴頻度は、「よく見ている」が 60.5%、「ときどき見ている」が 22.8%、合わせると 83.3%となっている。一方、「あまり見ていない」が 10.2%、「見ていない」が 3.5%、合わせると 13.7%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “見ている” は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

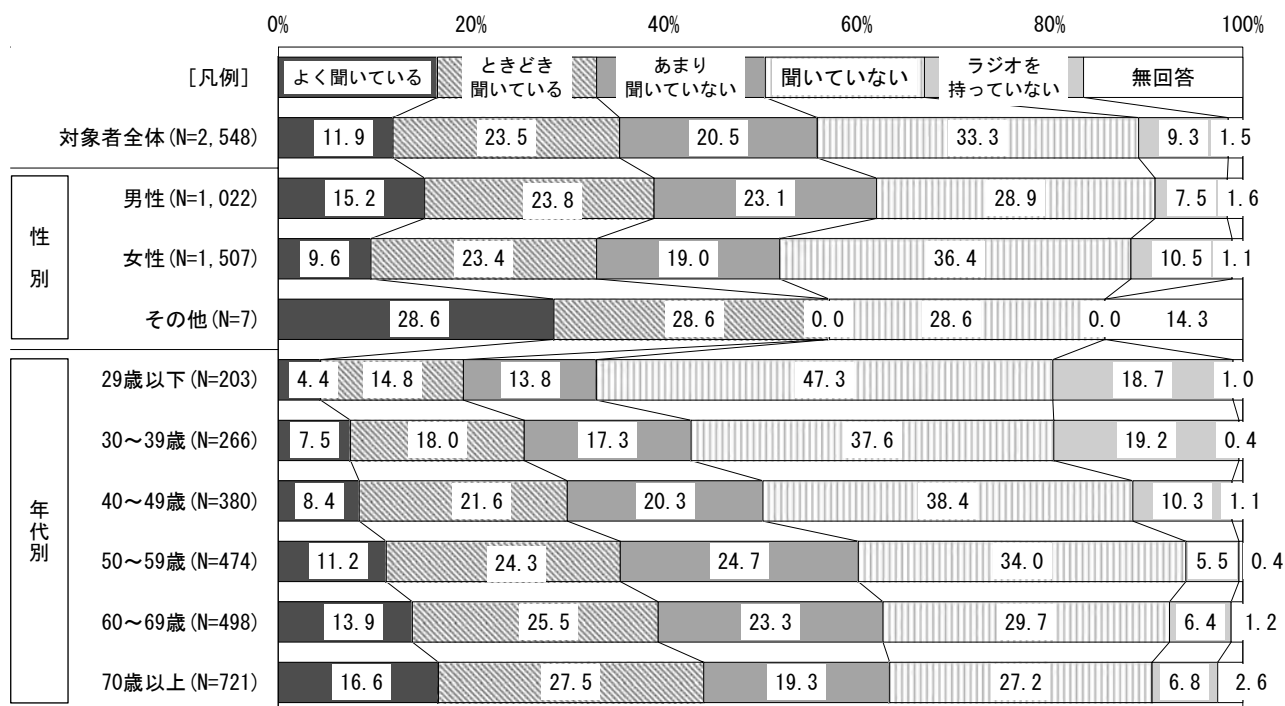
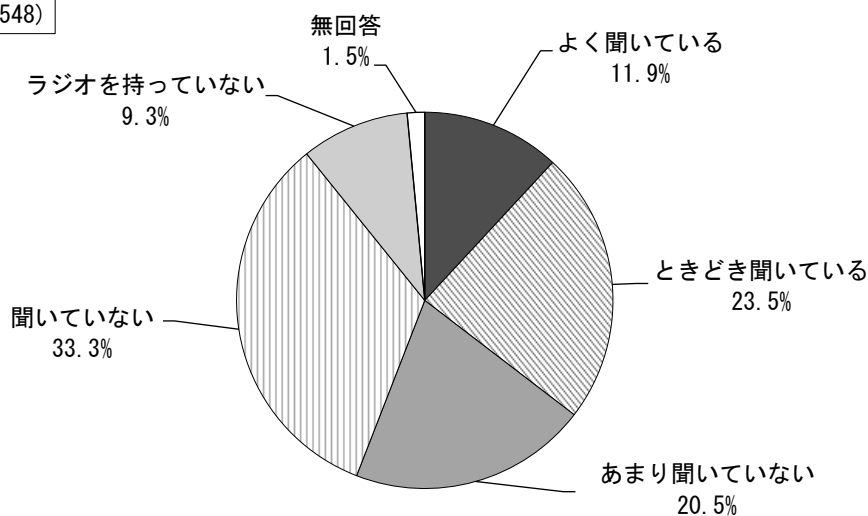
◇ラジオの視聴頻度

問 10 あなたは、日頃ラジオを聞いていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ラジオを“聞いている”と回答した人は 35.4%

※ “聞いている”（「よく聞いている」＋「ときどき聞いている」）

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】ラジオの視聴頻度は、「よく聞いている」が 11.9%、「ときどき聞いている」が 23.5%、合わせると 35.4%となっている。一方、「あまり聞いている」が 20.5%、「聞いていない」が 33.3%、合わせると 53.8%となっている。

【性 別】“聞いている”は男性が 38.9%と、女性の 33.0%より 5.9 ポイント高くなっている。

【年代別】“聞いている”は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

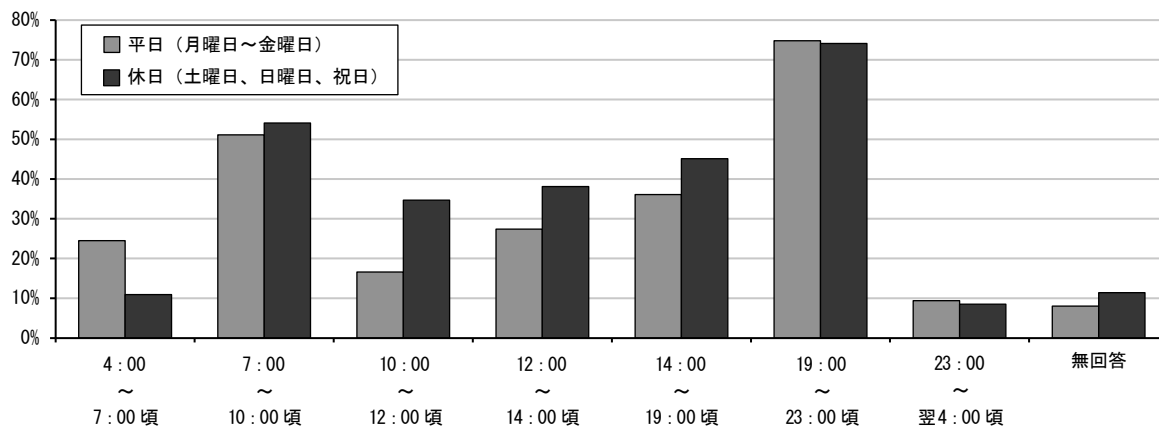
◇テレビを視聴する時間帯

問 1 1 あなたがテレビやラジオをよく視聴する時間帯はいつですか。平日と休日の状況について、よく視聴する時間帯にいくつでも〇をつけてください。

《テレビ(平日(月曜日～金曜日)・休日(土曜日、日曜日、祝日))》

テレビを最も視聴している時間帯は平日の「19：00～23：00 頃」で 74.8%

対象者全体 (N=2,548)



【平日(月曜日～金曜日テレビ)】

【休日(土曜日、日曜日、祝日テレビ)】

		対象者数	4:00～7:00 頃	7:00～10:00 頃	10:00～12:00 頃	12:00～14:00 頃	14:00～19:00 頃	19:00～23:00 頃	23:00～翌4:00 頃	無回答
		(%)								
対象者全体		2,548	24.5	51.1	16.6	27.4	36.1	74.8	9.4	8.0
性別	男性	1,022	24.1	44.7	14.1	23.6	31.4	73.8	9.4	9.2
	女性	1,507	24.9	55.6	18.1	29.7	39.3	75.9	9.3	6.8
	その他	7	14.3	42.9	42.9	57.1	28.6	42.9	14.3	28.6
年代別	29歳以下	203	13.3	33.0	6.4	9.9	18.7	70.0	10.8	16.3
	30～39 歳	266	20.7	43.6	11.3	13.2	25.6	68.0	14.7	13.5
	40～49 歳	380	28.9	44.7	8.4	12.1	25.0	75.3	10.8	10.0
	50～59 歳	474	34.6	47.9	8.6	13.7	28.7	80.0	16.5	6.3
	60～69 歳	498	29.9	54.4	16.7	31.5	43.6	81.9	5.2	5.0
	70歳以上	721	16.4	62.1	30.8	51.6	50.5	70.6	4.4	5.3

		対象者数	4:00～7:00 頃	7:00～10:00 頃	10:00～12:00 頃	12:00～14:00 頃	14:00～19:00 頃	19:00～23:00 頃	23:00～翌4:00 頃	無回答
		(%)								
対象者全体		2,548	10.9	54.1	34.7	38.1	45.1	74.1	8.5	11.4
性別	男性	1,022	12.0	53.6	35.2	37.3	43.6	72.2	8.0	11.6
	女性	1,507	10.2	54.7	34.4	38.6	46.1	75.9	8.7	10.9
	その他	7	-	28.6	28.6	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6
年代別	29歳以下	203	3.4	25.1	24.1	25.1	31.5	70.9	11.3	21.7
	30～39 歳	266	8.6	43.6	31.6	24.1	39.5	68.4	13.9	18.4
	40～49 歳	380	9.7	45.8	32.4	25.8	39.2	77.9	10.8	12.1
	50～59 歳	474	12.7	53.4	32.7	31.6	40.9	78.5	12.9	9.9
	60～69 歳	498	15.7	64.9	38.0	43.4	50.6	79.3	5.4	7.6
	70歳以上	721	10.0	63.8	39.3	54.1	53.0	69.2	3.6	8.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 テレビを視聴する時間帯は、平日、休日どちらも「19：00～23：00 頃」が最も高くなっている。

【性 別】 平日の「7：00～10：00 頃」、「12：00～14：00 頃」、「14：00～19：00 頃」は女性が男性より 6.1 ポイント以上高くなっている。

【年代別】 平日、休日ともに、いずれの年代も「19：00～23：00 頃」が最も高くなっている。

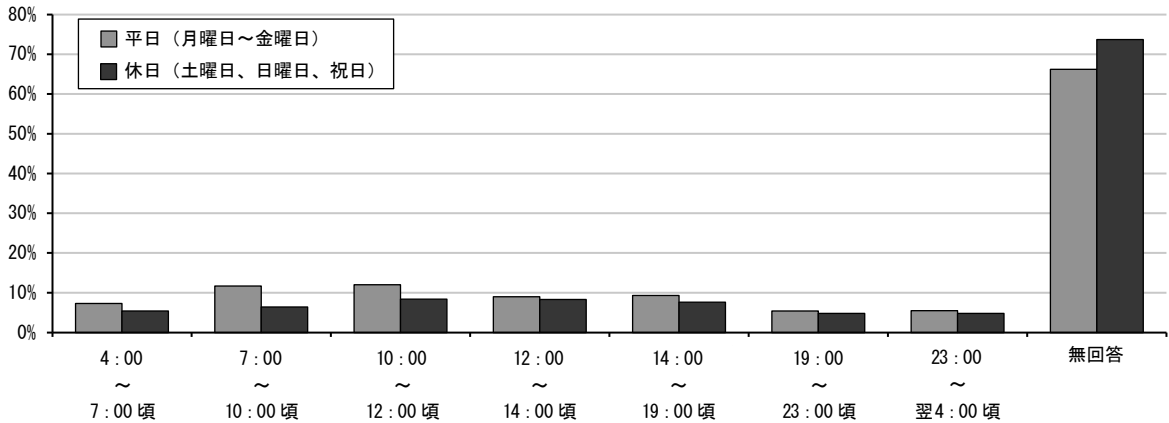
◇ラジオを視聴する時間帯

問 1 1 あなたがテレビやラジオをよく視聴する時間帯はいつですか。平日と休日の状況について、よく視聴する時間帯にいくつでも○をつけてください。

《ラジオ(平日(月曜日～金曜日)・休日(土曜日、日曜日、祝日))》

ラジオを最も視聴している時間帯は平日の「10：00～12：00 頃」で 12.0%

対象者全体 (N=2,548)



【平日(月曜日～金曜日ラジオ)】

【休日(土曜日、日曜日、祝日ラジオ)】

		対象者数	4:00 ~ 7:00 頃	7:00 ~ 10:00 頃	10:00 ~ 12:00 頃	12:00 ~ 14:00 頃	14:00 ~ 19:00 頃	19:00 ~ 23:00 頃	23:00 ~ 翌4:00 頃	無回答
		(%)								
対象者全体		2,548	7.3	11.7	12.0	9.0	9.3	5.4	5.5	66.2
性別	男性	1,022	8.5	14.8	13.8	12.7	11.4	6.4	5.8	60.4
	女性	1,507	6.5	9.6	10.9	6.5	7.8	4.7	5.2	70.2
	その他	7	-	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3	-	42.9
年代別	29歳以下	203	1.5	4.9	3.0	5.9	6.4	5.4	3.0	82.3
	30～39 歳	266	2.3	12.0	7.9	7.9	9.0	3.0	1.9	75.6
	40～49 歳	380	3.9	13.2	10.0	8.7	12.4	5.0	3.4	70.8
	50～59 歳	474	5.9	13.3	13.7	9.7	11.2	4.0	4.2	67.3
	60～69 歳	498	8.6	13.9	13.1	10.0	9.2	5.6	6.2	60.4
	70歳以上	721	12.5	10.3	15.5	9.3	7.6	7.2	8.9	58.8

4 .. 00 ?	7 .. 00 ?	10 .. 00 ?	12 .. 00 ?	14 .. 00 ?	19 .. 00 ?	23 .. 00 ?	無 回 答
7 .. 00 頃	10 .. 00 頃	12 .. 00 頃	14 .. 00 頃	19 .. 00 頃	23 .. 00 頃	4 .. 00 頃	
5.4	6.4	8.4	8.3	7.6	4.8	4.8	73.7
5.4	6.9	8.7	9.0	7.6	5.4	4.8	71.6
5.4	6.0	8.3	7.9	7.4	4.4	4.9	75.2
-	14.3	14.3	-	42.9	14.3	-	42.9
1.0	3.0	2.5	3.4	6.9	5.9	4.4	83.7
1.1	3.4	5.3	7.9	4.5	3.0	2.6	83.1
1.8	3.9	6.6	7.9	8.7	3.4	1.6	80.0
3.4	6.8	10.1	11.2	9.7	4.2	3.2	74.1
5.0	8.0	10.0	10.0	8.6	4.6	6.0	71.3
11.7	8.3	10.1	6.9	6.4	6.4	7.8	65.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】ラジオを視聴する時間帯は、平日、休日どちらも「10：00～12：00 頃」が最も高くなっている。

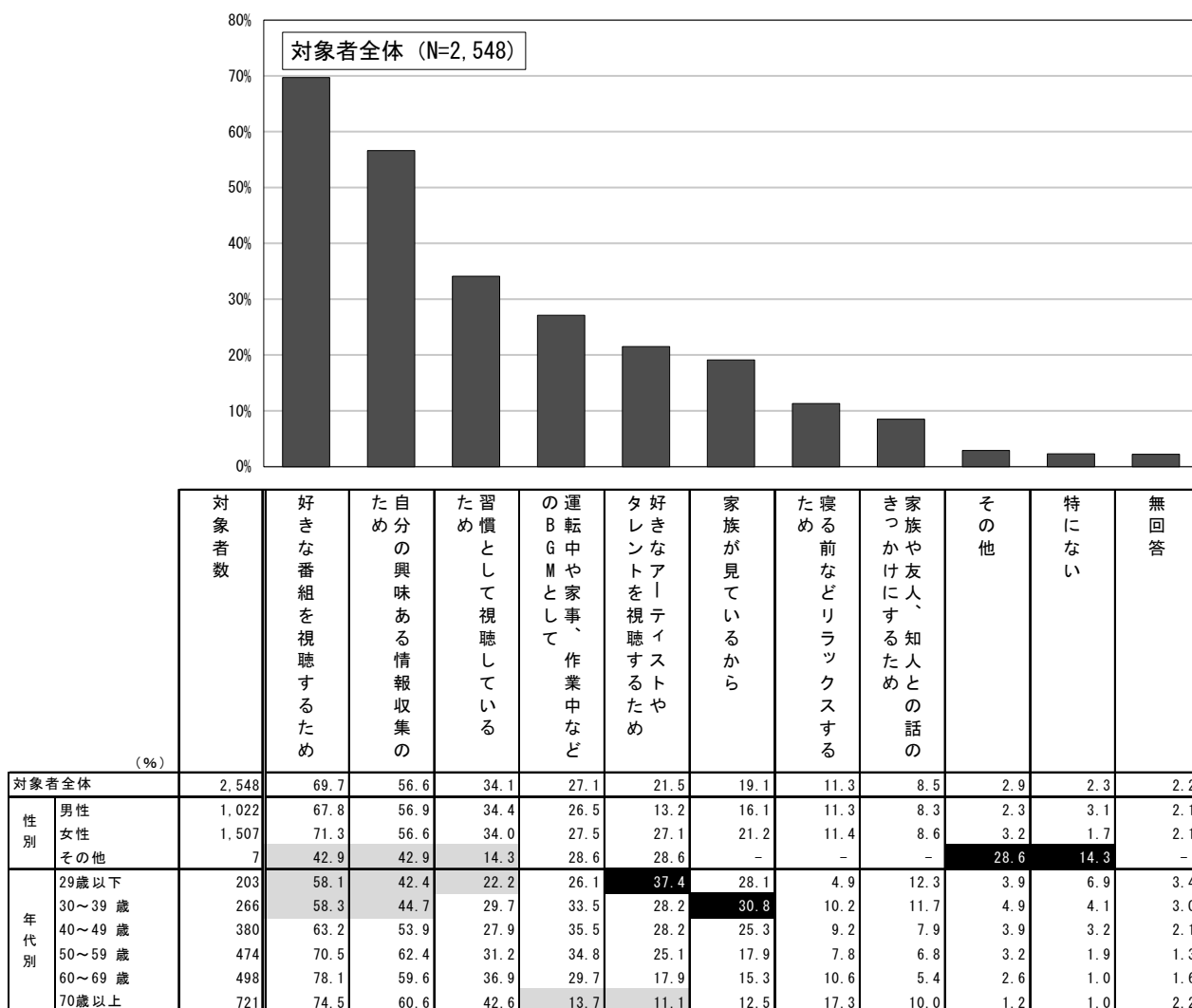
【性 別】平日は、どの時間帯でも男性が女性より高い。

【年代別】平日、休日の「4：00～7：00 頃」、休日の「7：00～10：00 頃」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇テレビやラジオの視聴目的

問 1 2 あなたは、どういった目的でテレビやラジオを視聴していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

テレビやラジオの視聴目的は「好きな番組を視聴するため」と回答した人が 69.7%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】テレビやラジオの視聴目的は、「好きな番組を視聴するため」が 69.7%、「自分の興味ある情報収集のため」が 56.6%、「習慣として視聴しているため」が 34.1%となっている。

【性 別】「好きなアーティストやタレントを視聴するため」、「家族が見ているから」は女性が男性より 5.1 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「自分の興味ある情報収集のため」が、50 歳代 (62.4%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (42.4%) と比べると 20.0 ポイントの差となっている。

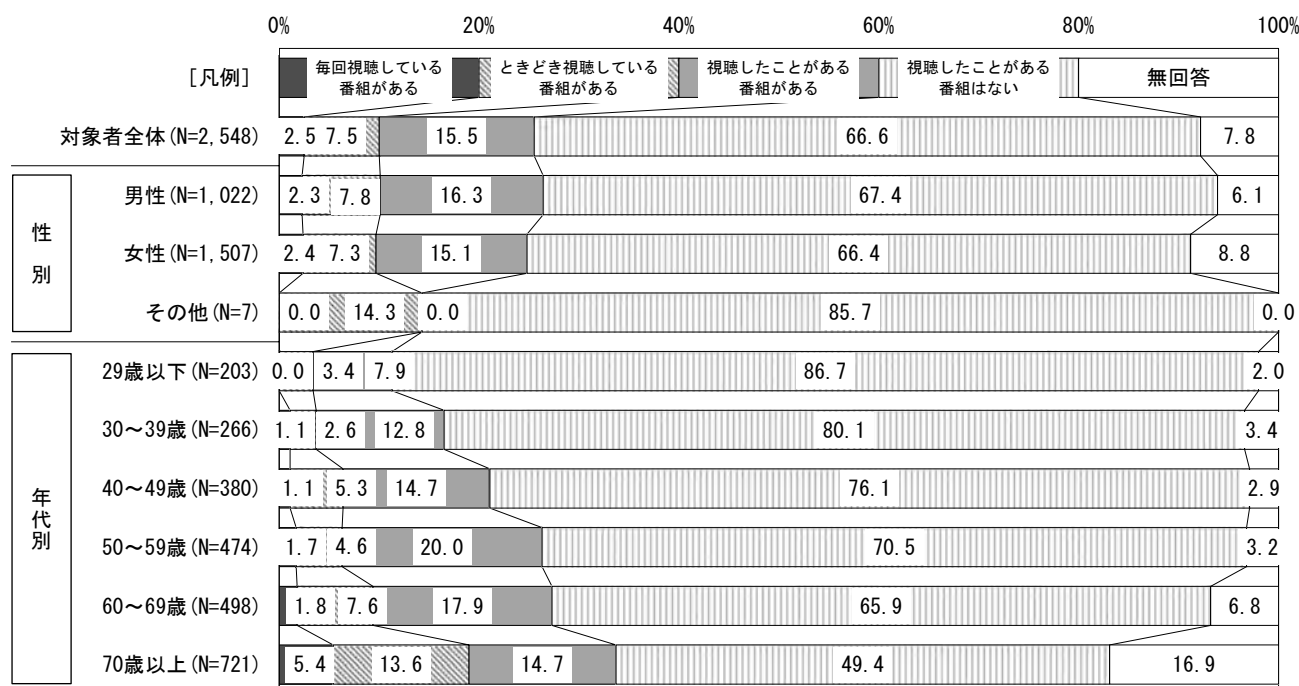
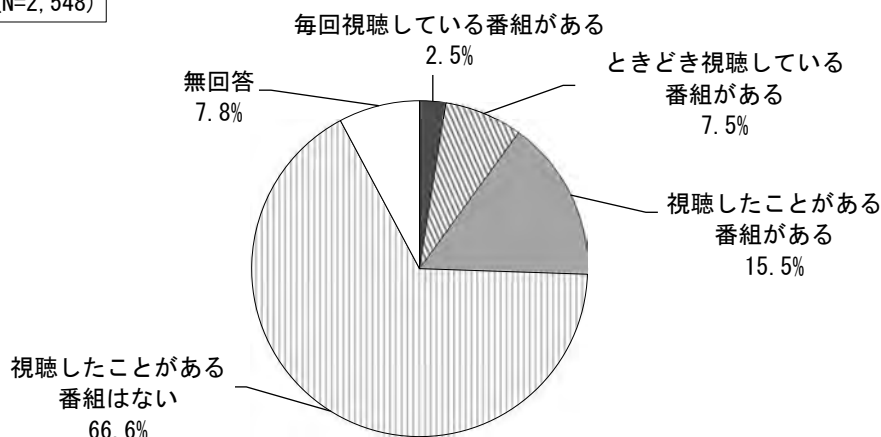
◇札幌市の広報番組視聴の有無

問 1 3 上記で紹介した札幌市の広報番組の中で、あなたが視聴している番組はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市の広報番組を“視聴したことがある”人は25.5%

※ “視聴したことがある”（「毎回視聴している番組がある」＋「ときどき視聴している番組がある」＋「視聴したことがある番組がある」）

対象者全体 (N=2,548)



【全 体】札幌市の広報番組視聴の有無は、「毎回視聴している番組がある」が2.5%、「ときどき視聴している番組がある」が7.5%、「視聴したことがある番組がある」が15.5%、合わせると25.5%となっている。一方、「視聴したことがある番組はない」が66.6%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

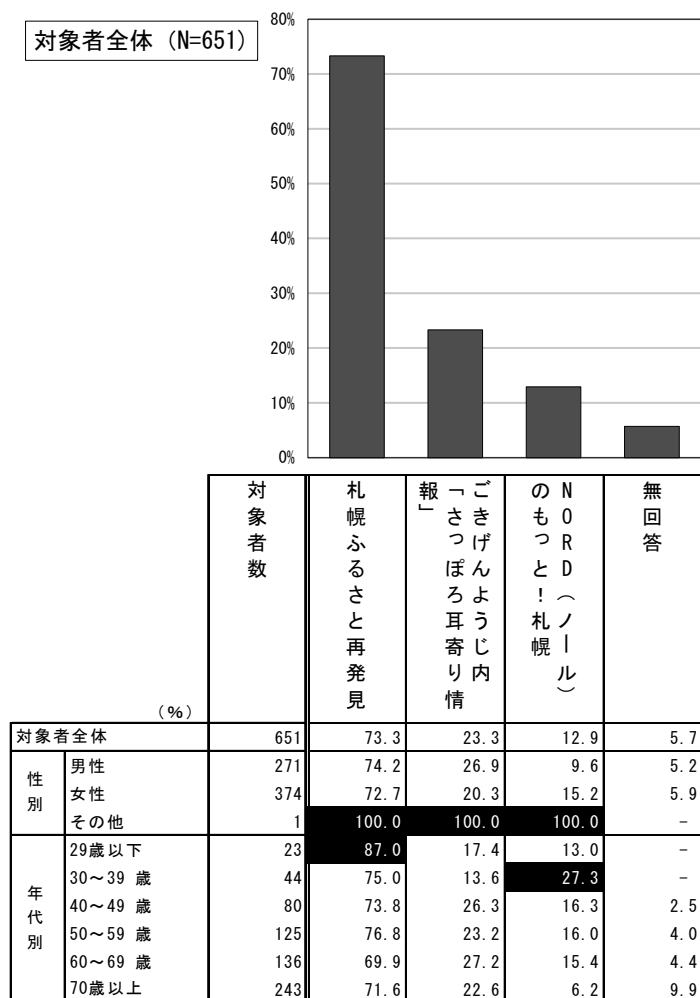
【年代別】“視聴したことがある”は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇視聴したことがある広報番組

《問13で「1 毎回視聴している番組がある」「2 ときどき視聴している番組がある」「3 視聴したことがある番組がある」と答えた方にお聞きます。》

問13-1 あなたが、視聴したことがある広報番組を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「札幌ふるさと再発見」を視聴したことがある人は 73.3%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】視聴したことがある広報番組は、「札幌ふるさと再発見」が73.3%、「ごきげんようじ内「さっぽろ耳寄り情報」」が23.3%、「NORD（ノール）のもっと！札幌」が12.9%となっている。

【性別】「ごきげんようじ内「さっぽろ耳寄り情報」」は男性が26.9%と、女性の20.3%より6.6ポイント高くなっている。また、「NORD（ノール）のもっと！札幌」は女性が15.2%と、男性の9.6%より5.6ポイント高くなっている。

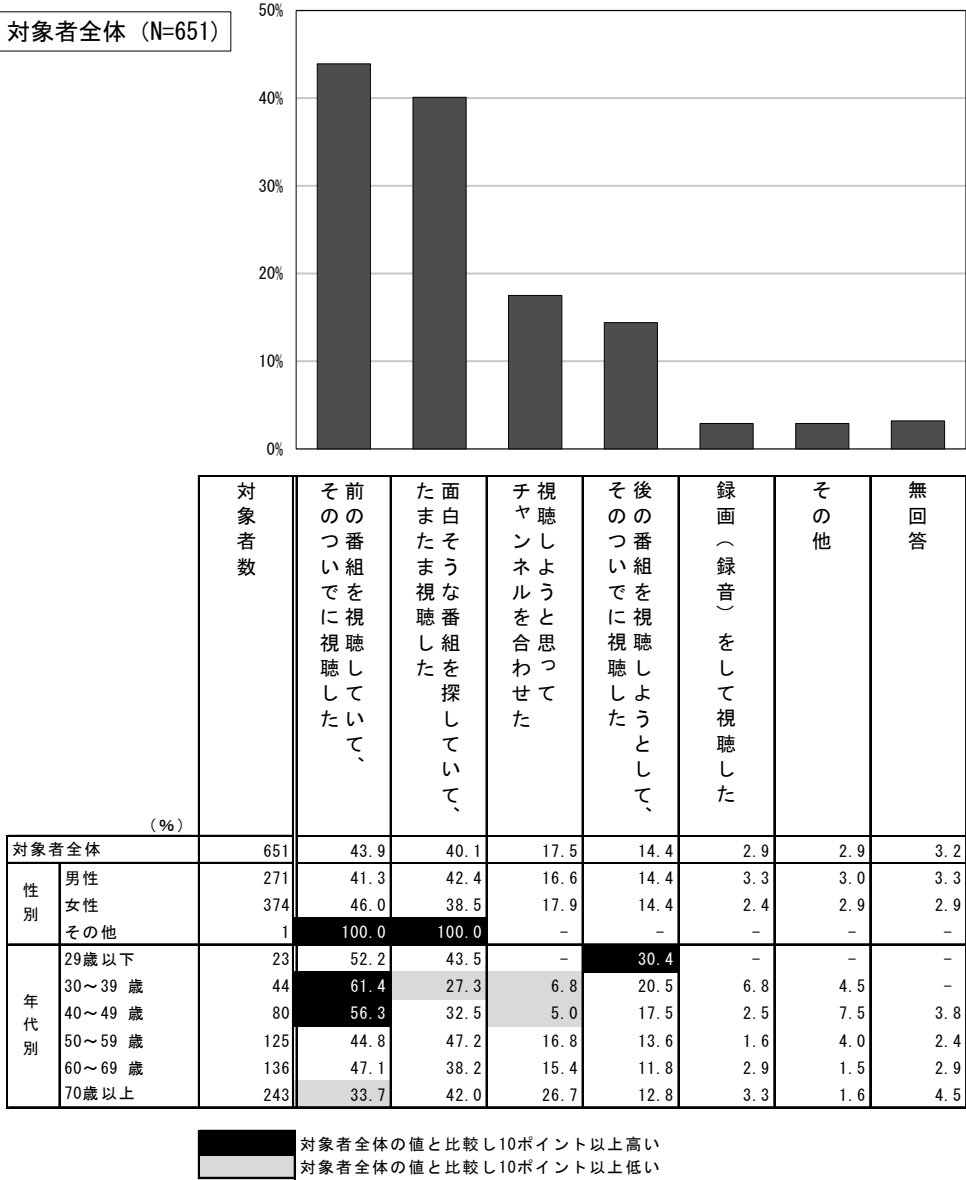
【年代別】「札幌ふるさと再発見」が29歳以下（87.0%）で最も高く、最も低い60歳代（69.9%）と比べると17.1ポイントの差となっている。

◇広報番組を視聴したときの状況

《引き続き、問13で「1 毎回視聴している番組がある」「2 ときどき視聴している番組がある」「3 視聴したことがある番組がある」と答えた方にお聞きします。》

問13-2 あなたが、広報番組を視聴した時の状況を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌市の広報番組を視聴したときの状況は「前の番組を視聴していて、そのついでに視聴した」人が43.9%



【性別】 広報番組を視聴したときの状況は、「前の番組を視聴していて、そのついでに視聴した」が43.9%、「面白そうな番組を探していて、たまたま視聴した」が40.1%、「視聴しようと思ってチャンネルを合わせた」が17.5%となっている。

【性別】 大きな差は見られない。

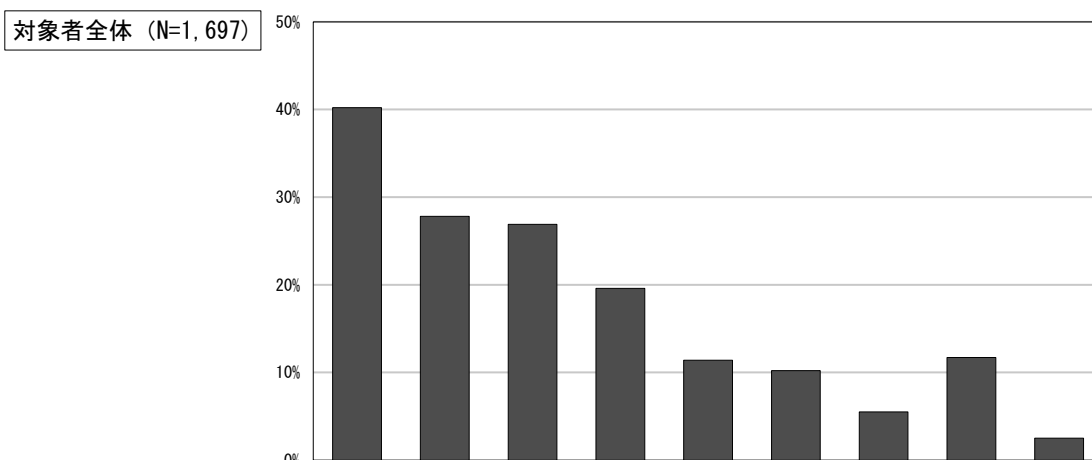
【年代別】 49歳以下、60歳代では「前の番組を視聴していて、そのついでに視聴した」が、50歳代、70歳以上では「面白そうな番組を探していて、たまたま視聴した」が最も高くなっている。

◇広報番組を視聴したいと思うきっかけ

《問13で「4 視聴したことがある番組はない」と答えた方にお聞きします。》

問13-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、広報番組を視聴したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

広報番組を視聴したいと思うきっかけは「視聴しやすい時間帯に放送している」と回答した人が40.2%



		対象者数	放送しやすい時間帯に放送している	自分の住む地域が紹介される、知り合いが出演するなど身近な情報を放送している	自分が関心のある市政情報を放送している	さまざまなチャンネル(局)で放送している	広報番組は見ない	著名人や有名人が出演している	その他	わからない	無回答
		(%)									
対象者全体		1,697	40.2	27.8	26.9	19.6	11.4	10.2	5.5	11.7	2.5
性別	男性	689	38.6	26.6	27.1	20.2	12.9	8.3	6.0	12.8	2.3
	女性	1,000	41.5	28.8	27.0	19.4	10.3	11.5	4.9	11.0	2.6
	その他	6	16.7	-	-	-	33.3	16.7	16.7	-	16.7
年代別	29歳以下	176	32.4	31.8	17.6	5.1	15.3	25.6	6.8	12.5	-
	30～39歳	213	38.0	32.4	29.6	11.3	14.1	17.8	5.6	9.4	-
	40～49歳	289	40.5	32.2	27.0	17.3	14.5	12.5	3.8	11.1	1.4
	50～59歳	334	47.3	26.3	26.3	22.8	6.6	8.4	3.3	14.4	3.3
	60～69歳	328	47.3	26.2	29.9	24.1	10.1	5.5	6.1	9.1	2.1
	70歳以上	356	32.0	22.2	27.8	26.7	11.2	2.2	7.3	12.9	5.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】広報番組を視聴したいと思うきっかけは、「視聴しやすい時間帯に放送している」が40.2%、「自分の住む地域が紹介される、知り合いが出演するなど身近な情報を放送している」が27.8%、「自分が関心のある市政情報を放送している」が26.9%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

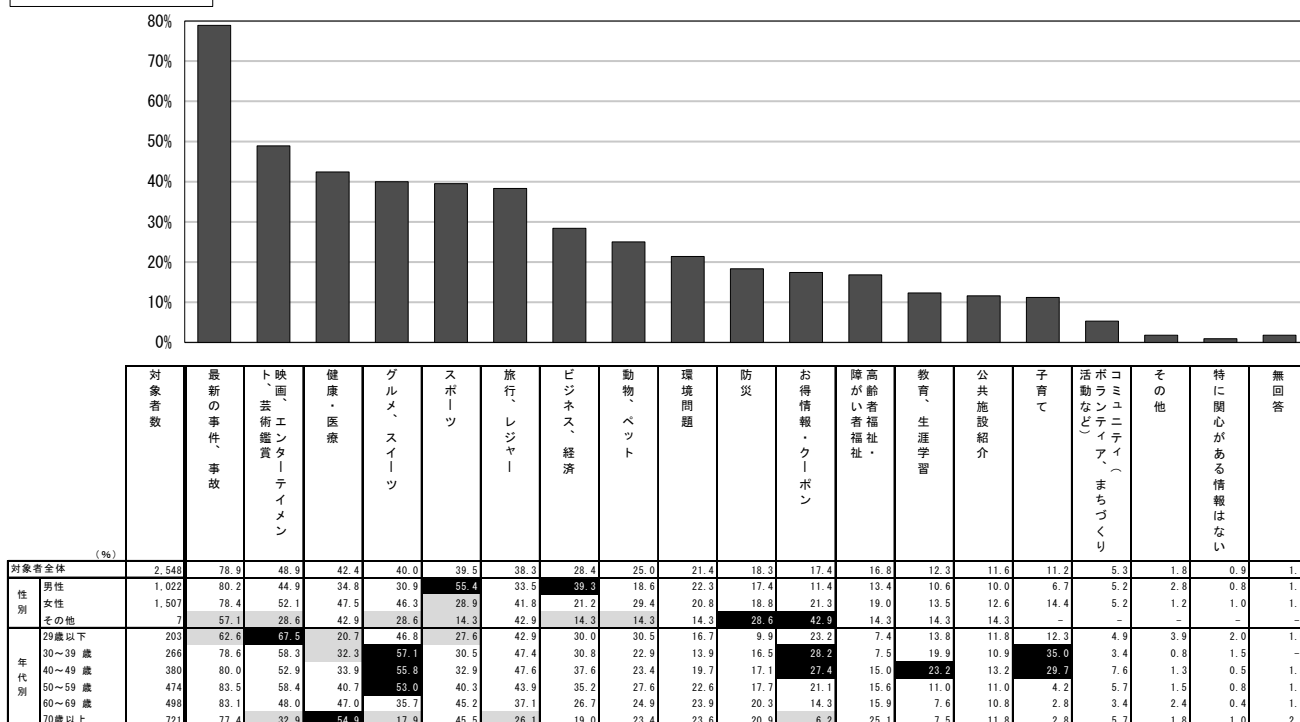
【年代別】「さまざまなチャンネル(局)で放送している」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「著名人や有名人が出演している」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇関心がある情報

問 1 4 あなたは、テレビやラジオの視聴に関わらず、どのような情報に関心を持っていますか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

関心がある情報は「最新の事件、事故」と回答した人が 78.9%

対象者全体 (N=2,548)



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】関心がある情報は、「最新の事件、事故」が 78.9%、「映画、エンターテインメント、芸術鑑賞」が 48.9%、「健康・医療」が 42.4%となっている。

【性 別】「スポーツ」、「ビジネス、経済」は男性が女性より 18.1 ポイント以上高くなっているが、その他の項目の多くは女性が男性より高くなっている。

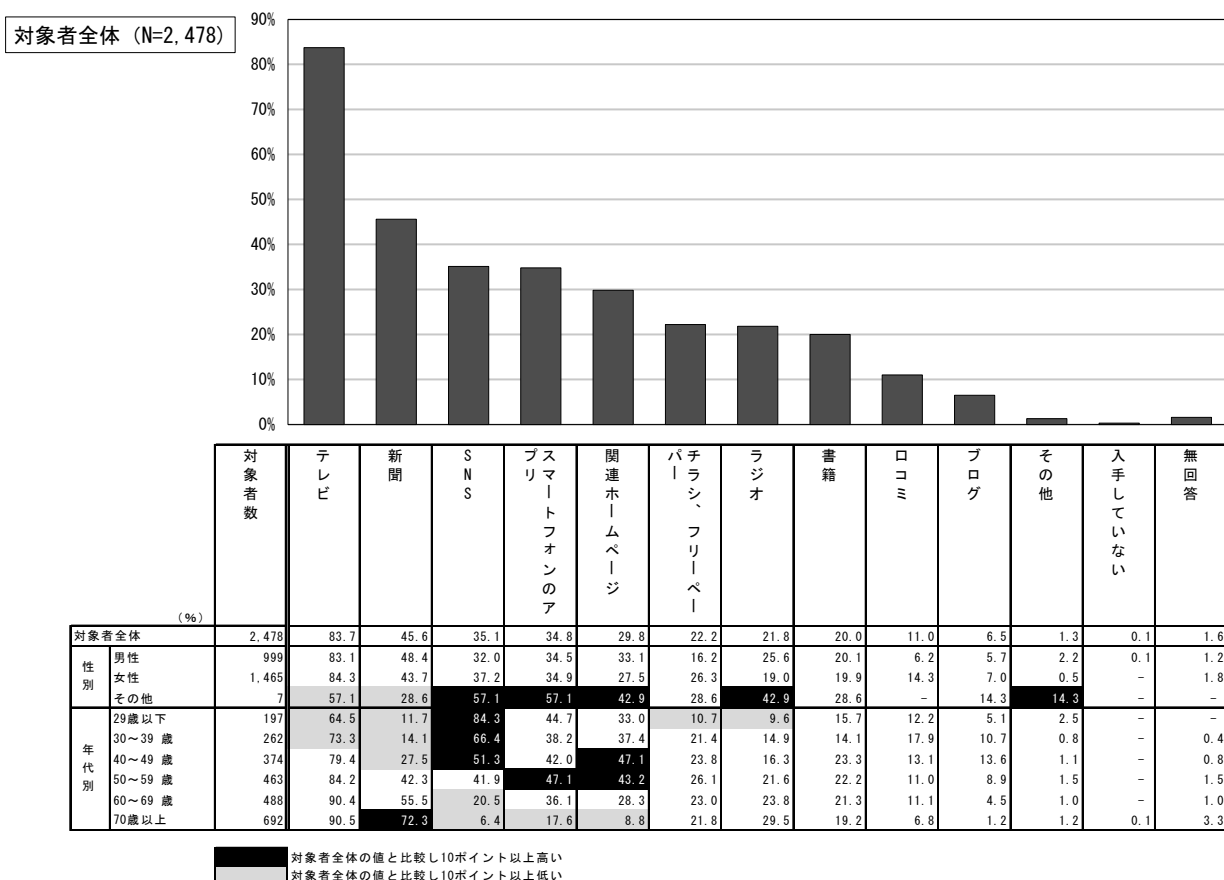
【年代別】「健康・医療」、「スポーツ」、「防災」、「高齢者福祉・障がい者福祉」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、29 歳以下では「映画、エンターテインメント、芸術鑑賞」が、その他の年代では「最新の事件、事故」が最も高くなっている。

◇関心がある情報の入手方法

《問14で「1」から「17」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問14-1 問14で関心があると答えた情報を入手する手段として、次の中から、あなたが利用しているものにいくつでも○をつけてください。

関心がある情報の入手方法は「テレビ」と回答した人が 83.7%



【全体】関心がある情報の入手方法は、「テレビ」が83.7%、「新聞」が45.6%、「SNS」が35.1%となっている。

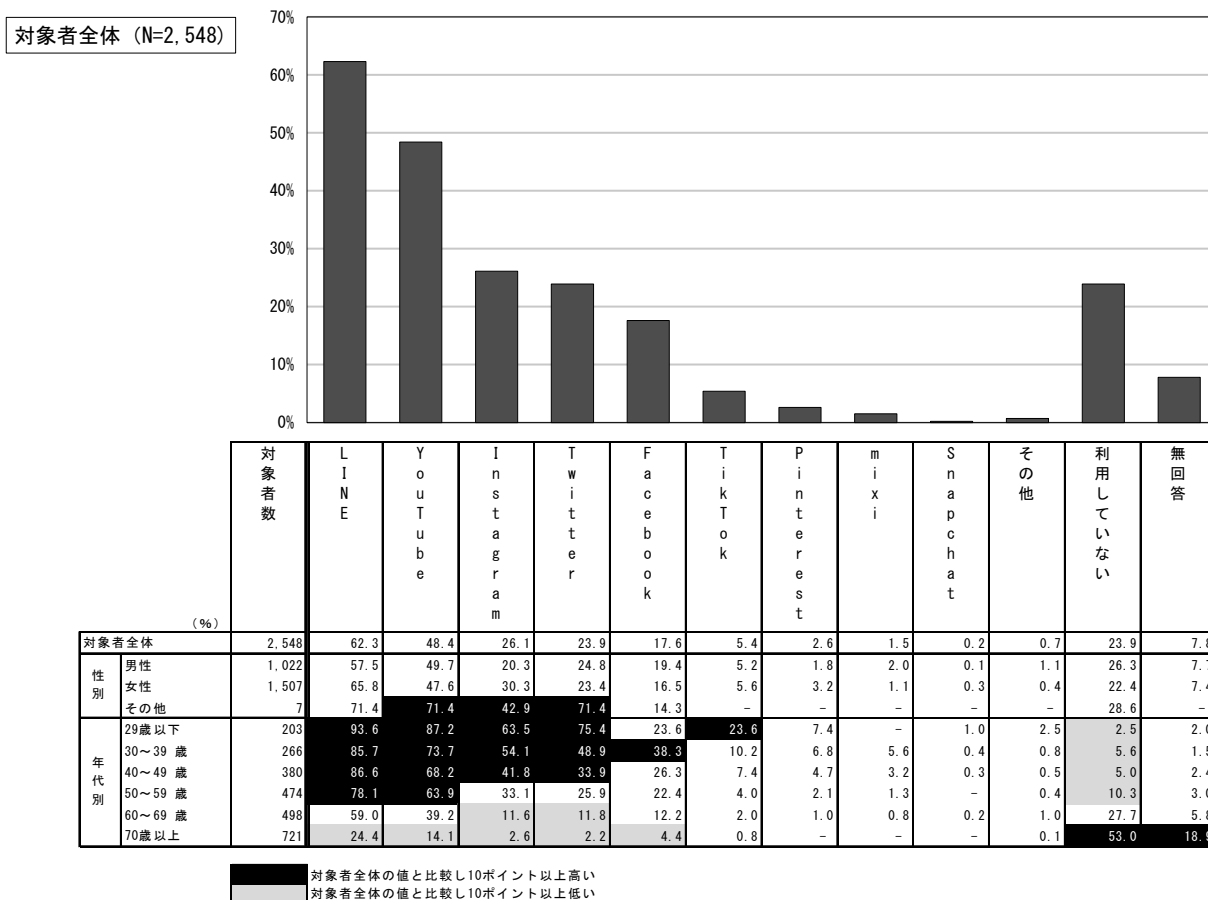
【性別】「関連ホームページ」、「ラジオ」、は男性が女性より5.6ポイント以上高くなっている。また、「SNS」、「チラシ、フリーペーパー」、「口コミ」、は女性が男性より5.2ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビ」、「新聞」、「ラジオ」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇利用しているSNS

問 1 5 あなたは、SNS を利用していますか。利用しているものにいくつでも○をつけてください。

利用しているSNSは「LINE」と回答した人が 62.3%



【全 体】利用している SNS は、「LINE」が 62.3%、「YouTube」が 48.4%、「Instagram」が 26.1% となっている。

【性 別】「LINE」、「Instagram」は女性が男性より 8.3 ポイント以上高くなっている。

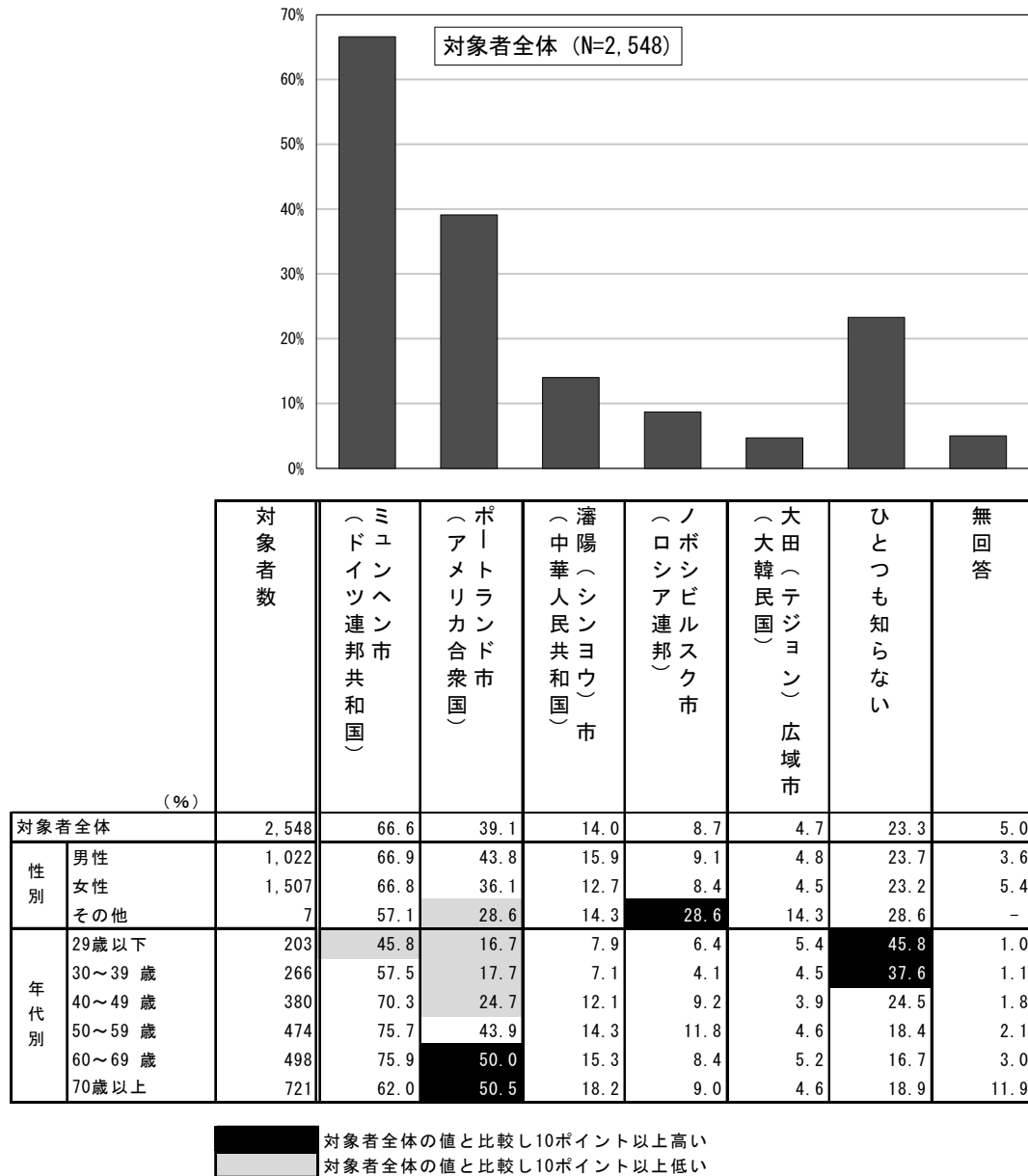
【年代別】69 歳以下では「LINE」が、70 歳以上では「利用していない」が最も高くなっている。

(5) 海外との交流及び外国人との共生について

◇札幌市の姉妹・友好都市の認知度

問 1 6 あなたは、札幌市には5つの姉妹・友好都市があることを知っていますか。知っているものにいくつでも○をつけてください。

「ミュンヘン市（ドイツ連邦共和国）」が札幌市の姉妹・友好都市だと知っている人は 66.6%



【全 体】札幌市の姉妹・友好都市の認知度は、「ミュンヘン市（ドイツ連邦共和国）」が 66.6%、「ポートランド市（アメリカ合衆国）」が 39.1%、「瀋陽（シンヨウ）市（中華人民共和国）」が 14.0%となっている。

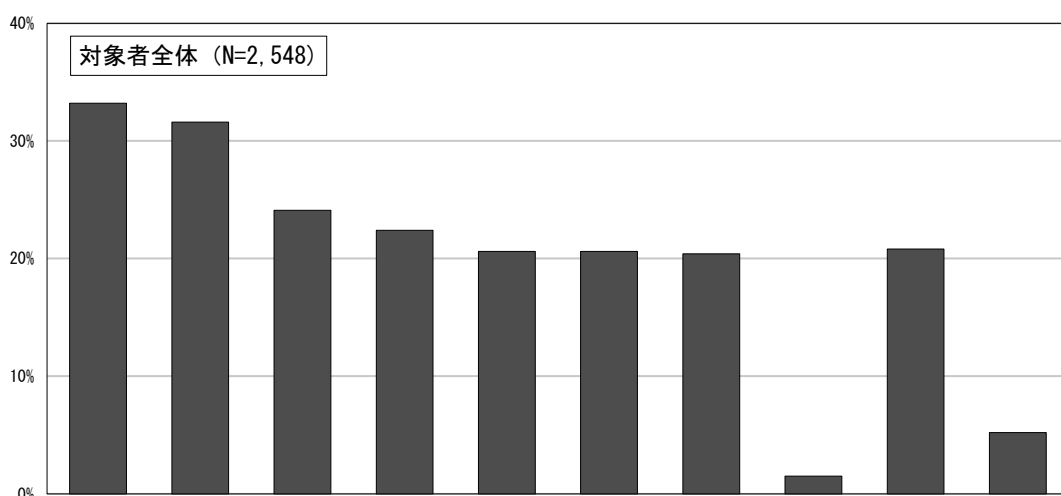
【性 別】「ポートランド市（アメリカ合衆国）」は男性が 43.8%と、女性の 36.1%より 7.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「ポートランド市（アメリカ合衆国）」が 70 歳以上（50.5%）で最も高く、最も低い 29 歳以下（16.7%）と比べると 33.8 ポイントの差となっている。

◇海外交流を進めるに当たり重視してほしいこと

問 17 あなたは、札幌市が今後、海外と交流を進めるに当たって重視してほしいことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

海外交流を進めるに当たり重視してほしいことは「子ども同士の交流」と回答した人が 33.2%



		対象者数	子ども同士の交流	スポーツや芸術、趣味などを通じた市民同士の相互交流	さまざまな分野で海外都市と交流や情報交換ができるネットワークの構築・活用	境の改善などの貧困解消や国際生活環境の向上	留学生や労働者の積極的な受け入れ	環境や福祉の相互に関する海外との関係	NPO などの市民活動団体や大学・企業等による国際交流活動	その他	特になし	無回答
		(%)										
対象者全体		2,548	33.2	31.6	24.1	22.4	20.6	20.6	20.4	1.5	20.8	5.2
性別	男性	1,022	32.2	32.8	23.2	21.6	24.8	18.8	19.9	1.6	21.9	3.8
	女性	1,507	34.0	31.1	24.9	23.0	17.9	21.9	21.0	1.3	20.3	5.7
	その他	7	42.9	28.6	14.3	42.9	-	14.3	-	14.3	-	-
年代別	29歳以下	203	30.5	37.9	30.0	25.6	30.0	17.7	17.7	1.0	21.7	1.0
	30～39 歳	266	41.0	32.3	28.9	21.1	22.2	16.5	18.8	1.5	20.3	0.8
	40～49 歳	380	46.3	32.4	26.8	21.3	21.1	21.6	18.4	1.1	17.6	1.8
	50～59 歳	474	30.8	31.2	25.7	21.5	19.8	21.1	20.9	2.3	21.1	1.9
	60～69 歳	498	31.1	34.1	25.5	21.7	18.3	20.7	19.5	0.8	21.7	4.6
	70歳以上	721	27.3	28.0	17.3	23.7	19.3	22.1	23.4	1.5	21.8	11.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】海外交流を進めるに当たり重視してほしいことは、「子ども同士の交流」が 33.2%、「スポーツや芸術、趣味などを通じた市民同士の相互交流」が 31.6%、「さまざまな分野で海外都市と交流や情報交換ができるネットワークの構築・活用」が 24.1%となっている。

【性 別】「留学生や労働者の積極的な受け入れ」は男性が 24.8%と、女性の 17.9%より 6.9 ポイント高くなっている。

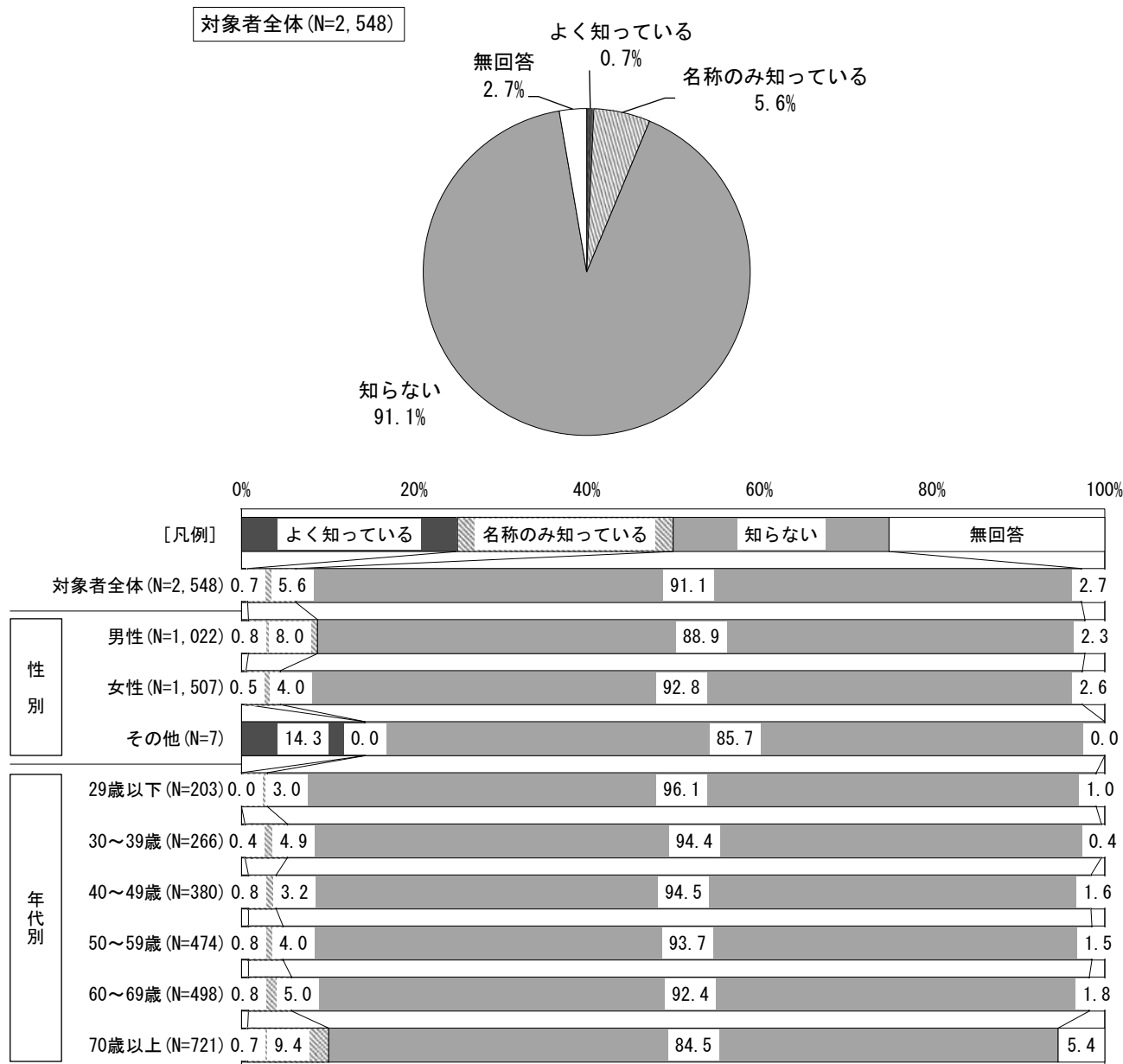
【年代別】30 歳代と 40 歳代では「子ども同士の交流」が、29 歳以下と 50 歳以上では「スポーツや芸術、趣味などを通じた市民同士の相互交流」が最も高くなっている。また、「さまざまな分野で海外都市と交流や情報交換ができるネットワークの構築・活用」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇世界冬の都市市長会の認知度

問 1 8 あなたは、「世界冬の都市市長会」を知っていますか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

世界冬の都市市長会を“知っている”人が 6.3%

※ “知っている”（「よく知っている」＋「名称のみ知っている」）



【全 体】世界冬の都市市長会の認知度は、「よく知っている」が 0.7%、「名前のみ知っている」が 5.6%、合わせると 6.3%となっている。一方、「知らない」が 91.1%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

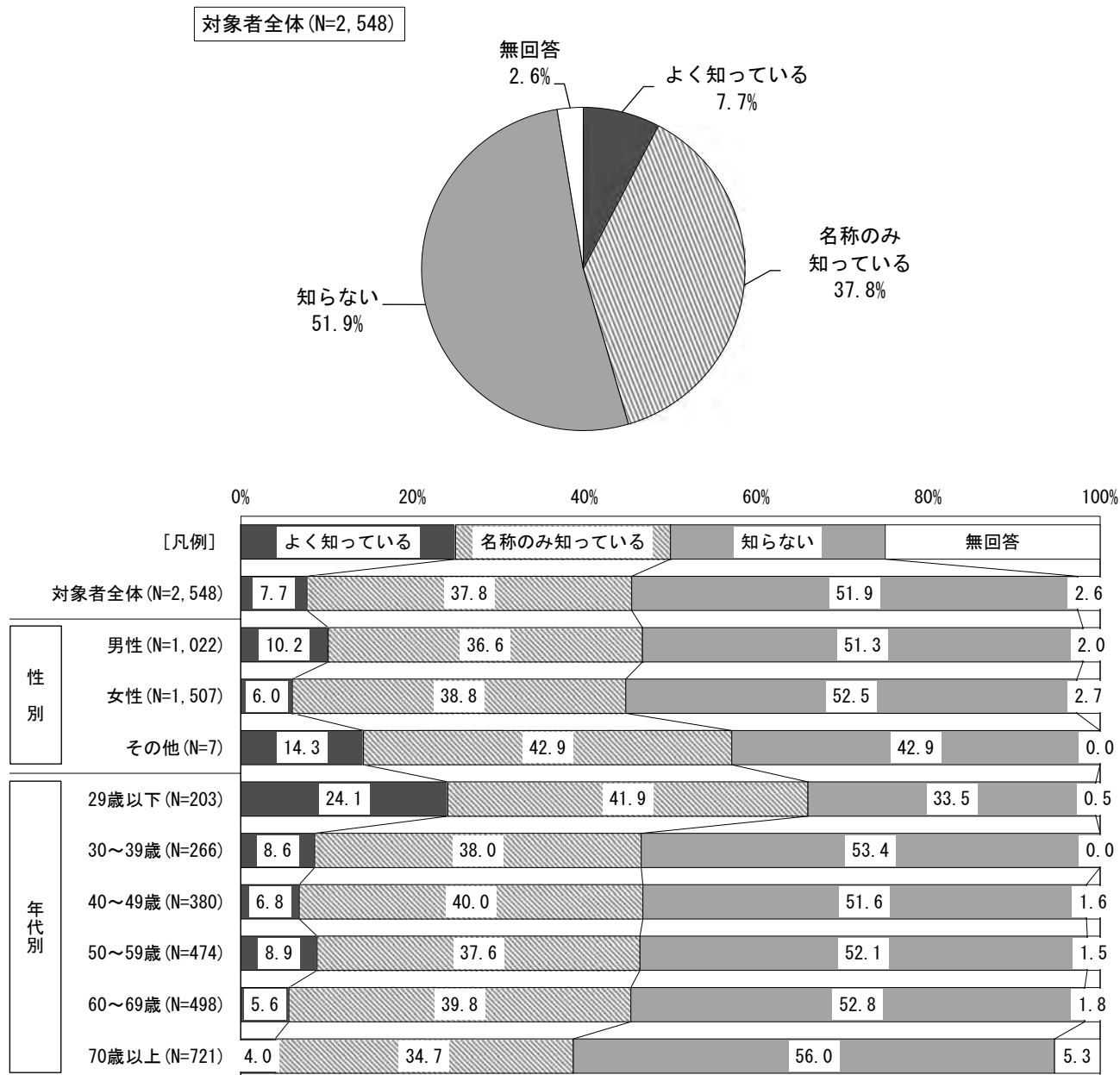
【年代別】“知っている”が 70 歳以上 (10.1%) で最も高く、次いで 60 歳代 (5.8%)、30 歳代 (5.3%) となっている。

◇多文化共生の認知度

問 1 9 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

多文化共生を“知っている”人が45.6%

※ “知っている”（「よく知っている」＋「名称のみ知っている」）



【全 体】多文化共生の認知度は、「よく知っている」が7.7%、「名前のみ知っている」が37.8%、合わせると45.6%となっている。一方、「知らない」が51.9%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

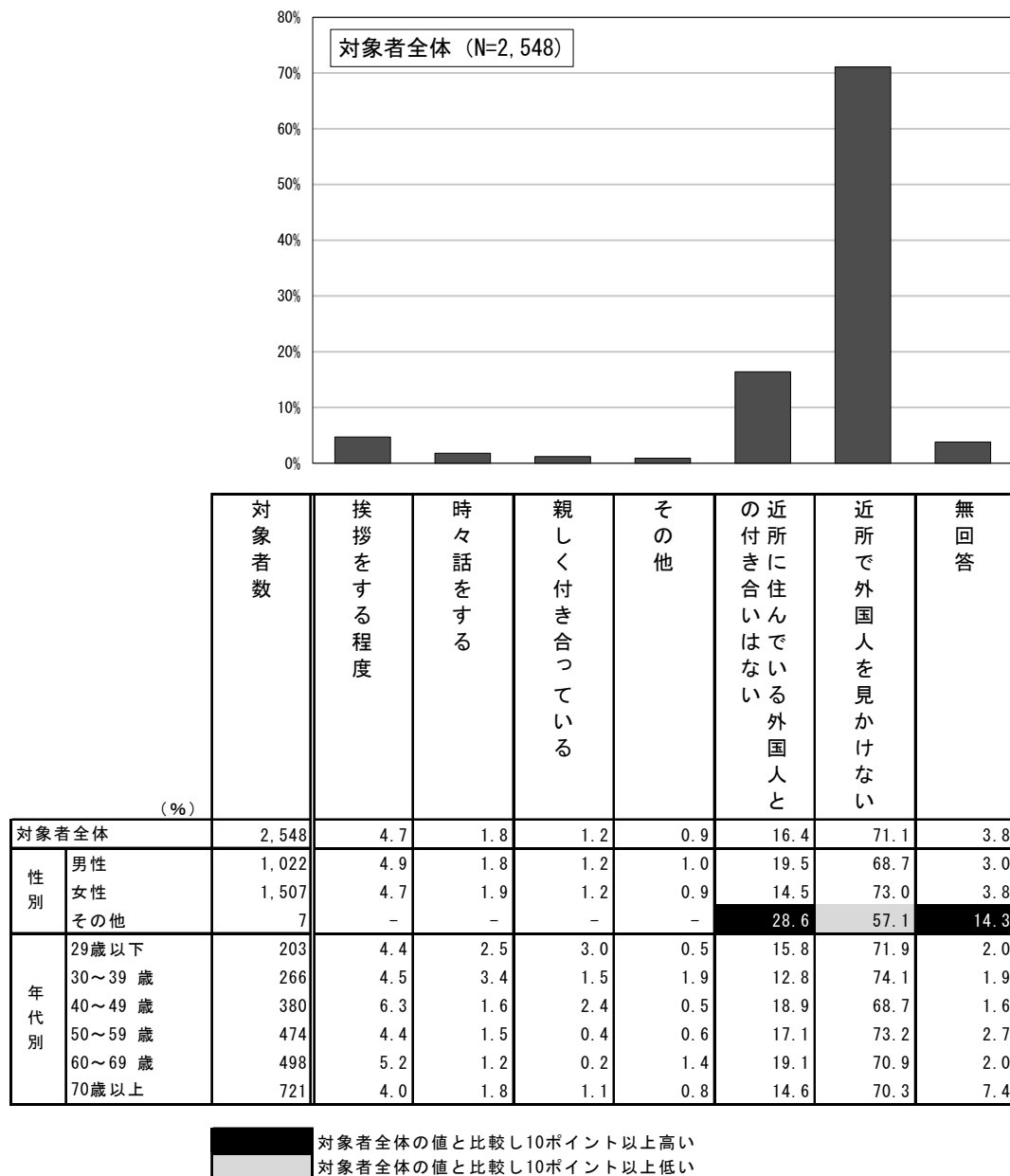
【年代別】“知っている”が29歳以下（66.0%）で最も高く、最も低い70歳以上（38.7%）と比べると27.3ポイントの差となっている。

◇外国人との付き合いの有無

問 2 0 あなたは、近所に住んでいる外国人との付き合いがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

外国人と“付き合いがある”人が7.7%

※ “付き合いがある”（「親しく付き合っている」＋「時々話をする」＋「挨拶をする程度」）



【全 体】外国人との付き合いの有無については、「親しく付き合っている」が 1.2%、「時々話をする」が 1.8%、「挨拶をする程度」が 4.7%、合わせると 7.7%となっている。一方、「近所に住んでいる外国人との付き合いはない」が 16.4%、「近所で外国人を見かけない」が 71.1%、合わせると 87.6%となっている。

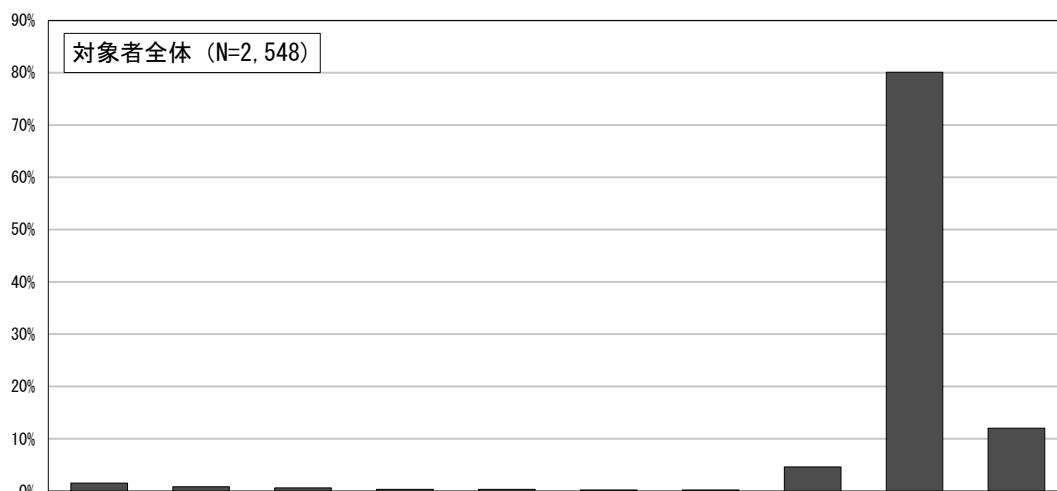
【性 別】「近所に住んでいる外国人との付き合いはない」は男性が 19.5%と、女性の 14.5%より 5.0ポイント高くなっている。

【年代別】“付き合いがある”が 40 歳代 (10.3%) で最も高く、次いで 29 歳以下 (9.9%)、30 歳代 (9.4%) となっている。

◇外国人と一緒に参加している活動

問 2 1 あなたは、現在、外国人と一緒に参加している活動はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

外国人と一緒に参加している活動は「スポーツや趣味の活動」と回答した人が1.5%



		対象者数	スポーツや趣味の活動	P T A など学校関係の活動	町内会・自治会の活動	福祉・環境などのボランティア活動	寄付や募金、チャリティーバザーなどの活動	母国の文化などを紹介する活動	N P O 活動	その他	外国人と一緒に参加している活動はない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,548	1.5	0.8	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	4.6	80.1	12.0
性別	男性	1,022	1.9	0.7	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	4.9	82.0	9.4
	女性	1,507	1.2	0.9	0.7	0.2	0.2	-	-	4.3	79.4	13.1
	その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	57.1	42.9
年代別	29歳以下	203	2.5	3.9	0.5	-	-	-	-	6.9	80.3	5.9
	30～39 歳	266	1.9	0.4	-	0.4	0.4	-	-	3.4	87.2	6.4
	40～49 歳	380	2.1	1.1	0.5	0.3	-	-	-	3.7	86.3	6.1
	50～59 歳	474	0.4	1.3	0.8	0.2	0.2	-	-	3.6	85.4	8.0
	60～69 歳	498	2.2	0.2	-	-	-	0.2	-	3.6	84.1	9.6
	70歳以上	721	0.8	-	1.2	0.4	0.3	-	0.1	6.0	68.7	22.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】外国人と一緒に参加している活動は、「スポーツや趣味の活動」が1.5%、「P T A など学校関係の活動」が0.8%、「町内会・自治会の活動」が0.6%となっている。

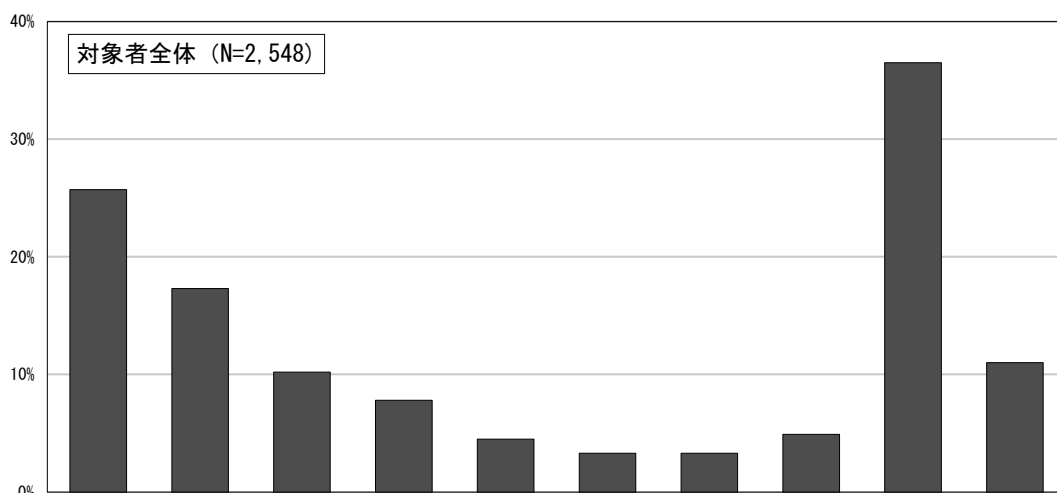
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「外国人と一緒に参加している活動はない」が30歳代(87.2%)で最も高く、最も低い70歳以上(68.7%)と比べると18.5ポイントの差となっている。

◇外国人と一緒に今後活動したいこと

問 2 2 あなたは、今後、外国人とどのような活動をしたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

外国人と一緒に今後活動したいことは「スポーツや趣味の活動」と回答した人が 25.7%



		対象者数	スポーツや趣味の活動	母国の文化などを紹介する活動	福祉・環境などのボランティア活動	町内会・自治会の活動	の寄付や募金、チャリティイベントなどの活動	P.T.A など学校関係の活動	N.P.O 活動	その他	外国人と一緒に参加したい活動はない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,548	25.7	17.3	10.2	7.8	4.5	3.3	3.3	4.9	36.5	11.0
性別	男性	1,022	27.3	14.9	8.8	8.9	3.3	1.9	2.5	4.3	42.7	8.0
	女性	1,507	24.7	19.0	11.2	7.2	5.3	4.2	3.8	5.3	32.5	12.5
	その他	7	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	28.6	28.6
年代別	29歳以下	203	40.4	20.7	9.9	5.4	7.4	6.4	5.9	2.0	33.0	3.0
	30～39 歳	266	38.0	21.4	11.7	8.6	3.4	5.6	3.8	3.0	32.0	5.3
	40～49 歳	380	35.3	17.4	11.3	10.3	5.0	8.9	4.7	4.5	32.9	3.9
	50～59 歳	474	29.3	20.5	12.4	6.8	4.0	3.2	3.2	4.0	36.7	7.2
	60～69 歳	498	21.7	16.9	10.4	8.2	3.6	0.8	2.4	4.8	40.8	8.8
	70歳以上	721	12.5	13.2	7.5	7.5	4.7	0.3	2.2	7.2	38.3	22.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】外国人と一緒に今後活動したいことは、「スポーツや趣味の活動」が 25.7%、「母国の文化などを紹介する活動」が 17.3%、「福祉・環境などのボランティア活動」が 10.2%となっている。

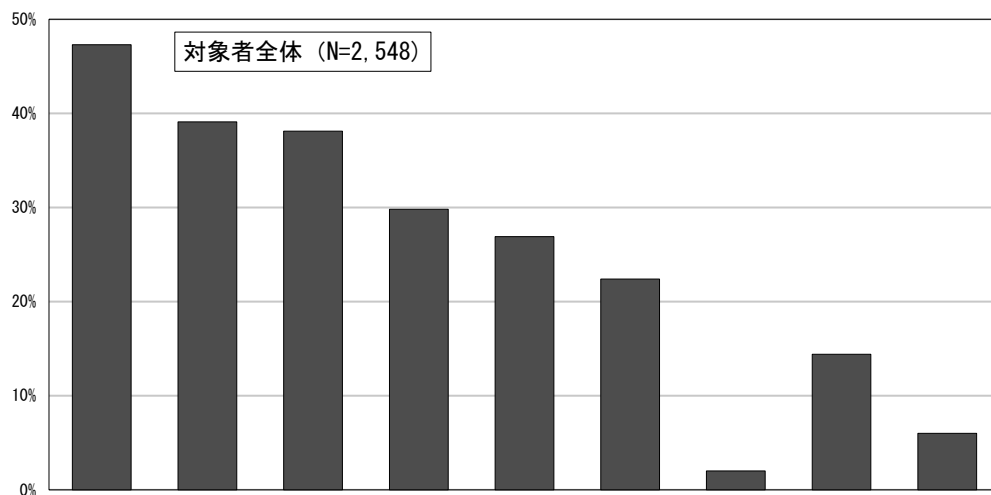
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「スポーツや趣味の活動」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇外国人市民とのまちづくりで大事だと思うこと

問 2 3 あなたは、外国人市民と共にまちづくりを行うため、何が大事だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

外国人市民とのまちづくりで大事だと思うことは「日本人が外国人に対する差別意識を持たないよう意識啓発や異文化理解を促す」と回答した人が 47.3%



		対象者数	や異文化理解を促す	日本人が外国の言葉や文化を学ぶ	日本に伝える生活するルールを外国人に伝える	地域での交流や活動に日本人と外国人が共に参加する	日本語や日本文化を外国人に伝える	行政や生活に関する情報を多言語や「やさしい日本語」で発信する	その他	特にない	無回答
		(%)									
対象者全体		2,548	47.3	39.1	38.1	29.8	26.9	22.4	2.0	14.4	6.0
性別	男性	1,022	45.4	37.3	38.9	22.3	27.2	18.6	2.5	18.0	4.3
	女性	1,507	48.7	40.5	37.6	35.0	26.7	25.0	1.7	12.1	6.7
	その他	7	57.1	-	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	-	14.3
年代別	29歳以下	203	58.1	53.7	38.9	27.6	31.0	30.5	3.4	8.9	3.0
	30～39 歳	266	53.8	53.0	41.7	31.6	34.6	25.6	1.1	9.4	2.6
	40～49 歳	380	47.1	47.4	39.2	38.4	29.5	27.9	3.7	8.4	1.8
	50～59 歳	474	48.7	43.5	43.9	31.6	31.0	21.9	3.4	11.0	3.0
	60～69 歳	498	48.6	35.7	38.0	30.9	26.3	22.7	1.4	14.9	3.2
	70歳以上	721	40.2	25.1	32.6	23.4	19.4	16.1	0.7	23.0	13.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】外国人市民とのまちづくりで大事だと思うことは、「日本人が外国人に対する差別意識を持たないよう意識啓発や異文化理解を促す」が 47.3%、「日本人が外国の言葉や文化を学ぶ」が 39.1%、「日本で生活するルールを外国人に伝える」が 38.1%となっている。

【性 別】「地域での交流や活動に日本人と外国人が共に参加する」、「行政や生活に関する情報を多言語や「やさしい日本語」で発信する」は女性が男性より 6.4 ポイント以上高くなっている。

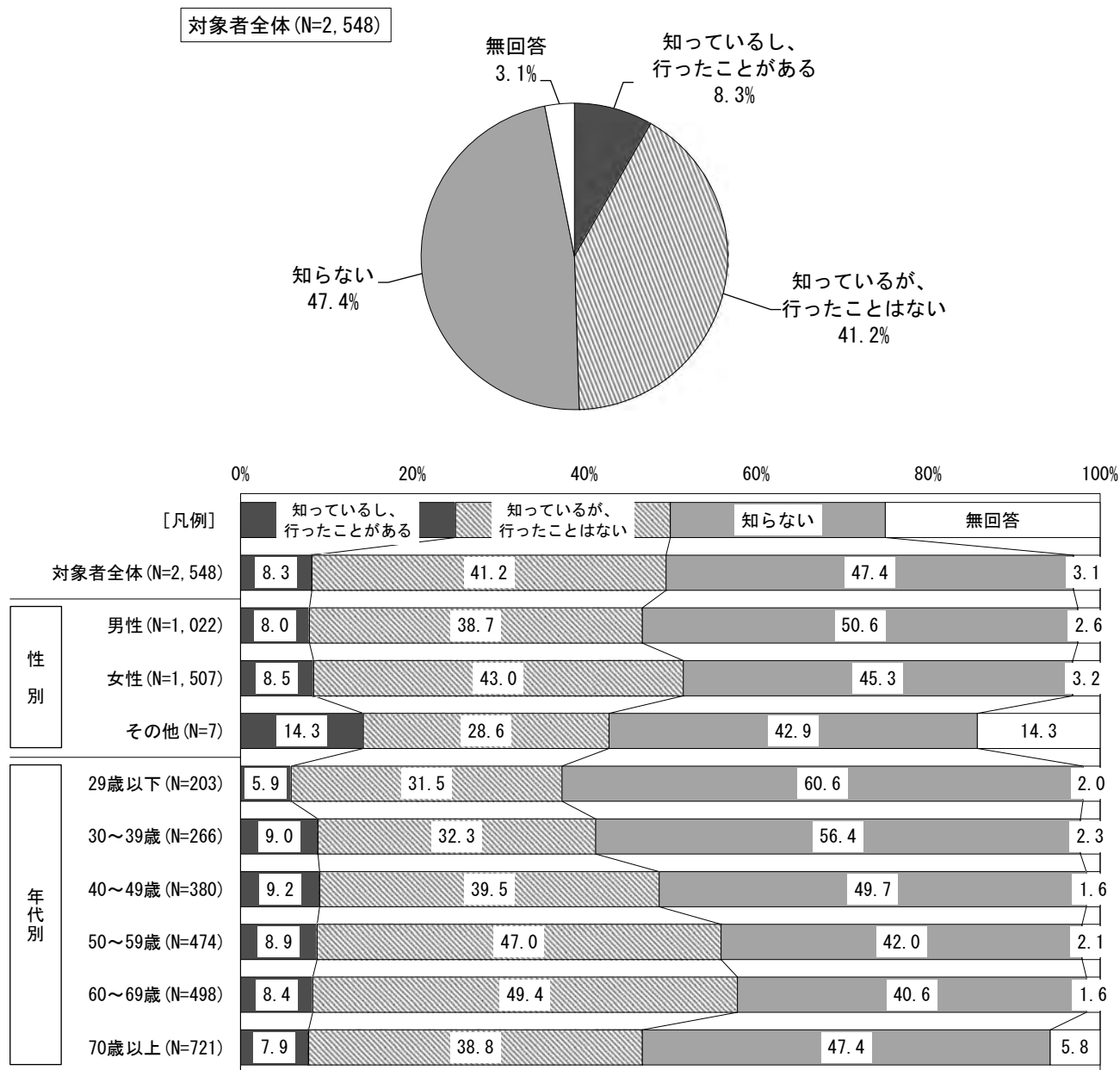
【年代別】「日本人が外国の言葉や文化を学ぶ」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇札幌国際プラザの認知度

問 2 4 あなたは、札幌国際プラザを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌国際プラザについて“知っている”人は49.5%

※ “知っている”（「知っているし、行ったことがある」＋「知っているが、行ったことはない」）



【全 体】札幌国際プラザの認知度は、「知っているし、行ったことがある」が8.3%、「知っているが、行ったことはない」が41.2%、合わせると49.5%となっている。一方、「知らない」が47.4%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

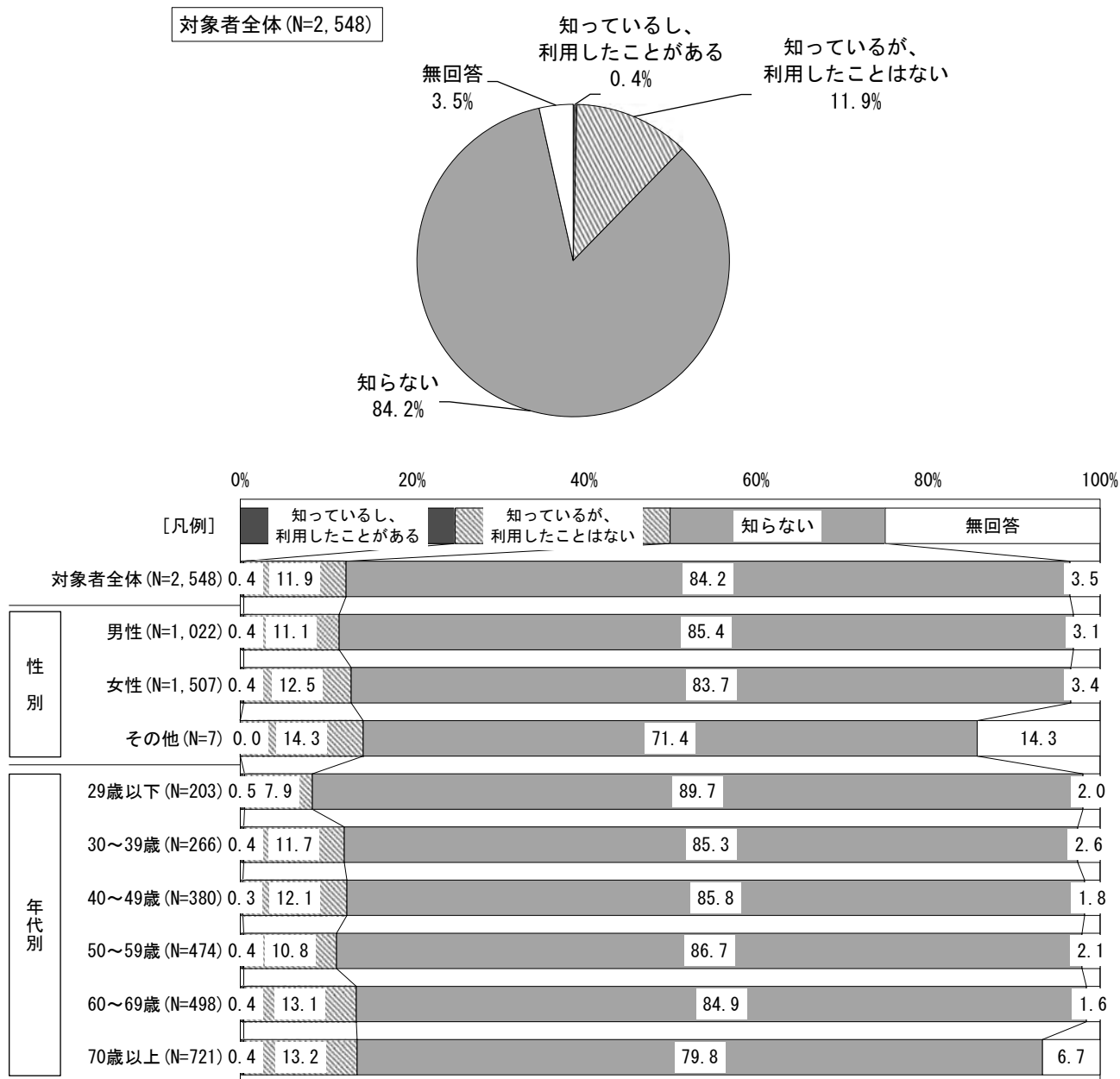
【年代別】“知っている”が60歳代（57.8%）で最も高く、最も低い29歳以下（37.4%）と比べると20.4ポイントの差となっている。

◇さっぽろ外国人相談窓口の認知度

問 2 5 あなたは、札幌国際プラザに設置されている「さっぽろ外国人相談窓口」を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

さっぽろ外国人相談窓口について“知っている”人は12.3%

※ “知っている”（「知っているし、利用したことがある」＋「知っているが、利用したことはない」）



【全 体】 さっぽろ外国人相談窓口の認知度は、「知っているし、利用したことがある」が0.4%、「知っているが、利用したことはない」が11.9%、合わせると12.3%となっている。一方、「知らない」が84.2%となっている。

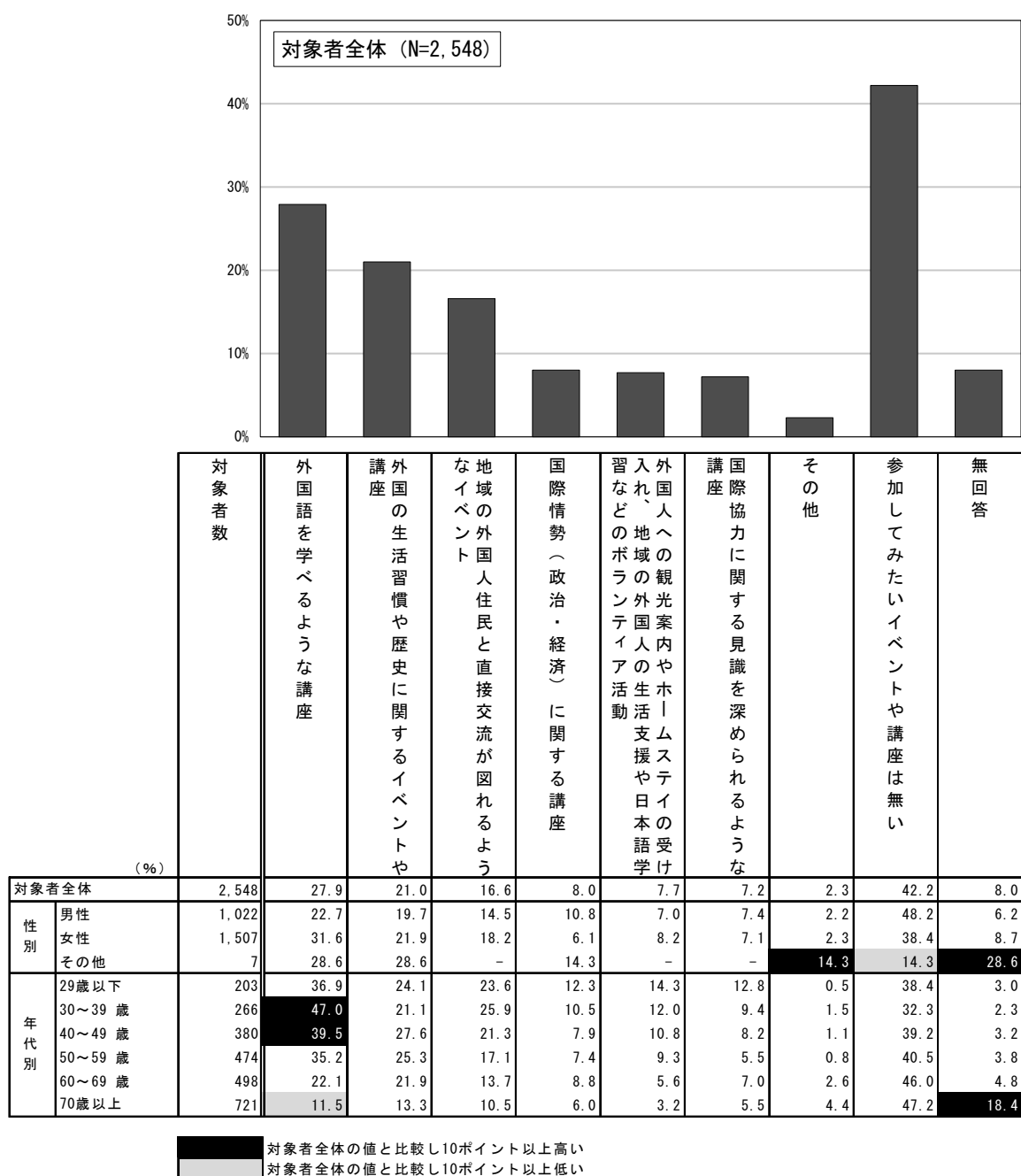
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “知っている” が70歳以上(13.6%)で最も高く、次いで60歳代(13.5%)、40歳代(12.4%)となっている。

◇国際交流や多文化共生に関するイベントで参加したい内容

問 2 6 札幌市や札幌国際プラザで行っている国際交流や多文化共生に関するイベントの中で、あなたが参加したいと思うものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

国際交流や多文化共生に関するイベントで参加したい内容は「外国語を学べるような講座」と回答した人が 27.9%



【全 体】国際交流や多文化共生に関するイベントで参加したい内容は、「外国語を学べるような講座」が 27.9%、「外国の生活習慣や歴史に関するイベントや講座」が 21.0%、「地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント」が 16.6%となっている。

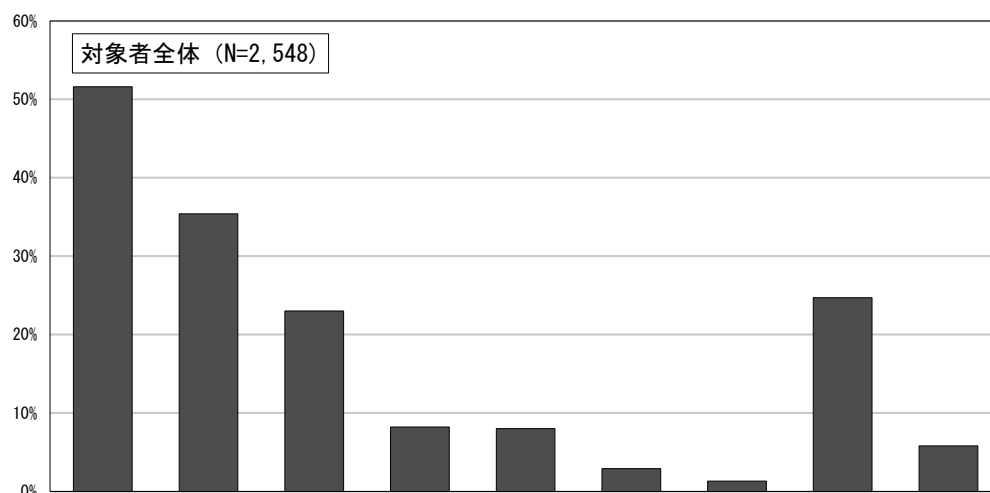
【性 別】「外国語を学べるような講座」は女性が 31.6%と、男性の 22.7%より 8.9 ポイント高くなっている。

【年代別】「外国語を学べるような講座」が 30 歳代(47.0%)で最も高く、最も低い 70 歳以上(11.5%)と比べると 35.5 ポイントの差となっている。

◇今後の外国人とのかかわり方

問 2 7 今後、外国とのかかわりが深まってきた場合、あなた自身はどのような対応をしていきたいと考えていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

今後の外国人とのかかわり方は「外国人に道などを尋ねられたら親切に教えてあげたい」と回答した人が 51.6%



		対象者数	たれ外 いた人 ら親に 切道に な道を 教えを て尋ね あげら	しる簡 てよう おきな きた外 話ぐら いの勉 強はで き	手困 助けつ ている 外国 人市民 を	的外 国人に 出会う たら積 極	き仕 合うを 機会を て増や 外国人 とたい 付	テ外 国人 ア向 けの観 光ボラ ン	そ 他	特に ない	無 回 答
(%)											
対象者全体		2,548	51.6	35.4	23.0	8.2	8.0	2.9	1.3	24.7	5.8
性別	男性	1,022	48.6	32.9	22.9	8.7	10.0	2.9	1.2	27.5	4.8
	女性	1,507	54.0	37.2	23.4	7.9	6.8	2.9	1.5	22.8	6.2
	その他	7	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	-	14.3	14.3
年代別	29歳以下	203	60.6	53.7	27.1	16.7	21.2	6.4	1.0	14.8	2.0
	30～39 歳	266	57.5	50.0	30.1	12.4	14.3	3.0	0.8	18.4	2.3
	40～49 歳	380	57.9	41.1	23.9	9.2	11.8	3.9	0.8	21.3	2.6
	50～59 歳	474	62.2	42.0	24.5	8.2	11.2	3.8	1.7	16.0	3.0
	60～69 歳	498	50.2	33.5	21.9	6.6	3.2	2.2	1.4	27.3	3.4
	70歳以上	721	38.1	18.9	18.9	5.0	1.4	1.2	1.7	35.5	12.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】今後の外国人とのかかわり方は、「外国人に道などを尋ねられたら親切に教えてあげたい」が 51.6%、「簡単な会話ぐらいはできるように、外国語の勉強をしておきたい」が 35.4%、「困っている外国人市民を手助けしたい」が 23.0%となっている。

【性 別】「外国人に道などを尋ねられたら親切に教えてあげたい」は女性が 54.0%と、男性の 48.6%より 5.4 ポイント高くなっている。

【年代別】「外国人に道などを尋ねられたら親切に教えてあげたい」が 50 歳代 (62.2%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (38.1%) と比べると 24.1 ポイントの差となっている。

時系列調査の推移、
市政に対する評価と要望の順位一覧表

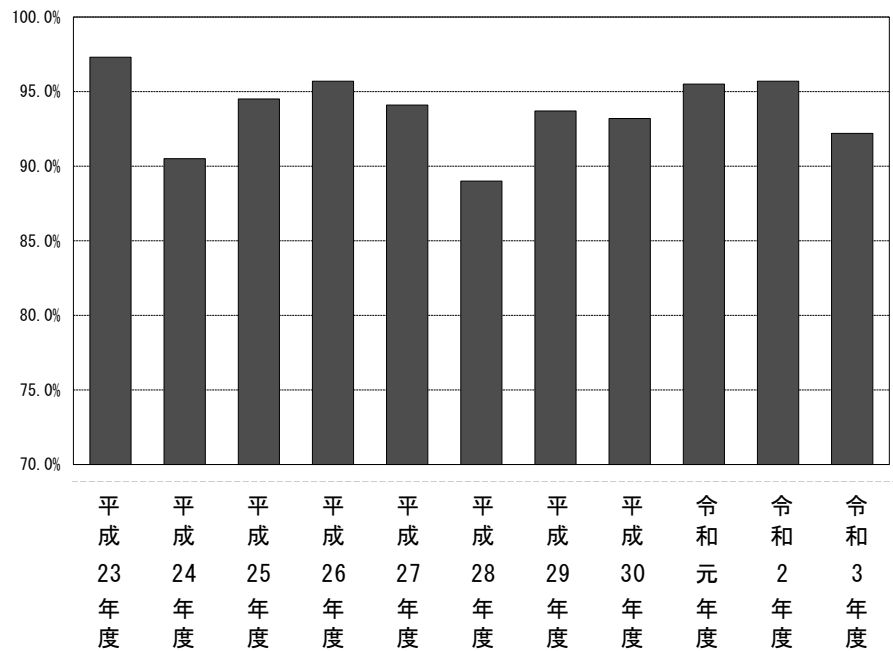
3 調査実施の概要

(1) 郷土意識に係る時系列調査

札幌の街に対する愛着度の年度別一覧表

問1 あなたは、札幌の街が好きですか。

年度	「好き」と回答した割合(*1)
平成23年度	97.3%
平成24年度	90.5%
平成25年度	94.5%
平成26年度	95.7%
平成27年度	94.1%
平成28年度	89.0%
平成29年度	93.7%
平成30年度	93.2%
令和元年度	95.5%
令和2年度	95.7%
令和3年度	92.2%

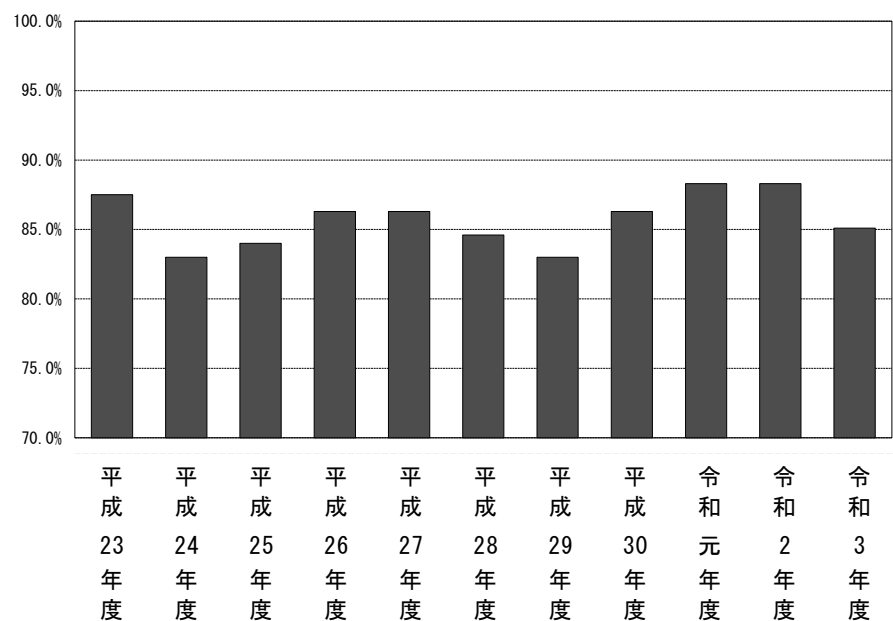


*1) 数値は、「好き」、「どちらかといえば好き」の合計である。

札幌の街に対する定住意向の年度別一覧表

問2 あなたは、現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思いますか。

年度	「住み続けたい」と回答した割合(*2)
平成23年度	87.5%
平成24年度	83.0%
平成25年度	84.0%
平成26年度	86.3%
平成27年度	86.3%
平成28年度	84.6%
平成29年度	83.0%
平成30年度	86.3%
令和元年度	88.3%
令和2年度	88.3%
令和3年度	85.1%



*2) 数値は、「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」、「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」の合計である。

(2)市の施策・事業に係る時系列調査

市政に対する評価の年度別順位一覧表

No.	施策・事業	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1	ごみ・資源回収	48.7%	1	47.1%	1	43.8%	1	50.4%	1	69.0%	1	73.7%	1	76.8%	1	74.6%	1	76.1%	1	76.2%	1	77.0%	1
2	公共交通の便利 (＊2)	17.9%	2	16.5%	3	18.7%	3	19.1%	2	53.0%	2	51.8%	3	46.5%	3	49.8%	2	48.7%	3	50.8%	3	50.0%	2
3	みどりの事業	14.8%	4	13.4%	4	11.2%	4	14.5%	4	48.1%	3	52.5%	2	47.4%	2	46.5%	3	49.1%	2	53.2%	2	49.6%	3
4	除雪	16.2%	3	20.5%	2	19.0%	2	17.7%	3	33.6%	8	46.6%	4	45.2%	4	42.8%	5	45.7%	4	46.5%	5	48.0%	4
5	住宅・まちづくり	10.3%	5	8.8%	5	7.6%	6	8.6%	6	47.6%	4	39.3%	5	36.5%	8	34.5%	9	41.6%	7	46.7%	4	44.3%	5
6	健康づくり・医療・衛生 (＊4)	6.8%	7	7.2%	6	6.2%	7	4.6%	10	35.6%	5	39.1%	6	39.3%	6	38.0%	6	44.0%	6	43.6%	6	40.8%	6
7	道路の整備・維持管理 (＊3)	9.3%	6	6.4%	7	8.8%	5	9.6%	5	34.4%	7	37.9%	7	37.4%	7	37.4%	7	39.6%	8	40.9%	8	39.3%	7
8	文化芸術の振興	3.5%	11	4.5%	9	6.1%	8	7.0%	7	33.4%	9	33.5%	9	40.0%	5	44.9%	4	45.3%	5	41.6%	7	36.5%	8
9	防災対策	2.4%	16	2.8%	16	4.0%	12	3.1%	13	29.6%	12	28.7%	15	30.1%	15	22.2%	18	34.5%	10	37.7%	9	35.7%	9
10	河川・湖沼などの整備	2.6%	14	2.8%	15	3.3%	15	2.5%	14	33.0%	10	32.7%	11	32.0%	12	29.9%	12	32.6%	13	34.9%	11	34.5%	10
11	環境問題(＊5)	1.3%	22	2.1%	21	3.5%	14	2.4%	15	34.4%	6	33.8%	8	35.0%	10	31.4%	10	32.9%	12	33.9%	12	33.7%	11
12	安全・安心なまちづくり	5.2%	8	4.1%	10	5.0%	11	5.1%	8	27.5%	14	31.6%	12	31.2%	13	29.5%	13	32.2%	14	33.0%	14	33.2%	12
13	交通安全対策	4.4%	10	3.5%	11	5.2%	10	3.8%	11	29.2%	13	30.8%	13	34.3%	11	31.0%	11	31.3%	15	33.0%	15	32.7%	13
14	高齢者福祉	4.8%	9	5.5%	8	5.8%	9	5.0%	9	26.0%	15	29.9%	14	30.6%	14	28.4%	14	34.1%	11	33.4%	13	31.9%	14
15	スポーツ・レクリエーション	3.2%	12	2.8%	13	3.9%	13	3.4%	12	32.6%	11	32.7%	11	36.0%	9	35.6%	8	39.0%	9	34.9%	10	31.4%	15
16	子どもの教育	2.1%	19	2.4%	20	1.9%	22	1.7%	21	24.9%	16	25.1%	16	25.7%	17	23.1%	17	28.1%	17	27.3%	16	27.0%	16
17	障がい者福祉	2.5%	15	2.4%	19	2.8%	16	2.4%	16	23.0%	17	24.4%	17	27.5%	16	23.5%	16	28.8%	16	25.9%	17	26.5%	17
18	母子・父子・児童福祉 (＊6)	2.8%	13	2.8%	14	2.5%	19	2.1%	18	20.4%	21	22.4%	19	24.3%	18	20.8%	20	27.6%	18	25.7%	18	23.9%	18
19	市民への情報提供・相談	2.4%	17	2.6%	17	2.2%	21	2.3%	17	21.2%	20	21.2%	20	24.2%	19	21.9%	19	25.5%	19	22.9%	19	23.4%	19
20	生涯学習	1.4%	21	2.9%	12	2.7%	17	1.3%	22	22.4%	18	23.6%	18	22.6%	21	18.6%	22	24.2%	21	21.4%	21	21.0%	20
21	産業・経済・雇用推進 (＊1)	1.8%	20	2.6%	18	2.6%	18	2.0%	19	19.2%	22	18.5%	22	20.6%	22	19.2%	21	21.3%	22	21.5%	20	20.7%	21
22	国際化推進(＊7)	2.3%	18	2.0%	22	2.3%	20	1.9%	20	22.1%	19	20.5%	21	23.4%	20	23.8%	15	24.5%	20	21.2%	22	19.3%	22

*1) 平成22年度まで「産業や経済の振興」

*2) 平成23年度まで「交通の便利」

*3) 平成23年度まで「道路の整備」

*4) 平成23年度まで「健康づくり」

*5) 平成23年度まで「環境保全(公害)」

*6) 平成25年度まで「母子・児童福祉」

*7) 平成25年度まで「国際交流」

*8) 平成27年度から回答方法を、3つまで選択から5段階評価に変更

市政に関する要望の年度別順位一覧表

No.	施策・事業	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1	除雪	39.4%	1	31.5%	1	40.6%	1	38.7%	1	74.6%	1	81.0%	1	79.7%	1	82.0%	1	76.9%	1	74.2%	1	73.5%	1
2	安全・安心なまちづくり	17.7%	4	21.8%	2	15.9%	3	19.3%	3	65.5%	2	72.5%	2	75.3%	2	75.2%	3	71.4%	2	67.3%	2	64.1%	2
3	防災対策	17.5%	7	16.4%	5	13.6%	6	13.4%	5	57.8%	6	66.8%	4	70.4%	4	78.8%	2	70.4%	3	64.4%	3	61.8%	3
4	道路の整備・維持管理 (＊3)	8.2%	10	5.5%	13	9.1%	8	6.9%	10	54.8%	8	62.7%	8	67.4%	6	67.5%	7	62.7%	7	59.6%	7	60.4%	4
5	公共交通の便利 (＊2)	17.6%	5	12.7%	7	13.6%	5	13.0%	6	56.4%	7	65.0%	6	70.6%	3	70.4%	4	63.9%	4	63.1%	4	59.9%	5
6	高齢者福祉	22.1%	2	21.5%	3	19.4%	2	20.2%	2	61.2%	3	64.0%	7	67.4%	7	67.7%	6	63.0%	6	60.9%	5	58.6%	6
7	産業・経済・雇用推進 (＊1)	17.6%	6	18.2%	4	13.6%	6	14.2%	4	61.1%	4	67.5%	3	67.0%	8	68.7%	5	63.1%	5	57.9%	9	56.9%	7
8	交通安全対策	6.5%	14	5.5%	13	5.3%	13	4.7%	14	57.9%	5	65.0%	6	68.9%	5	67.3%	8	62.6%	8	60.4%	6	56.9%	8
9	健康づくり・医療・衛生 (＊4)	9.9%	9	7.0%	10	7.1%	10	5.9%	11	53.2%	11	59.1%	9	62.4%	11	66.0%	9	59.6%	9	59.1%	8	56.7%	9
10	障がい者福祉	7.2%	12	6.3%	11	6.4%	12	5.4%	12	54.2%	9	58.5%	10	62.7%	9	60.8%	13	58.8%	10	55.1%	10	54.0%	10
11	母子・父子・児童福祉 (＊6)	7.5%	11	9.4%	8	8.4%	9	7.7%	8	53.4%	10	54.3%	14	58.7%	14	59.7%	14	55.4%	14	52.8%	11	50.2%	11
12	ごみ・資源回収	18.2%	3	7.1%	9	6.6%	11	7.0%	9	47.4%	13	55.3%	13	62.5%	10	62.6%	11	56.1%	13	52.3%	13	49.8%	12
13	子どもの教育	11.1%	8	12.8%	6	10.8%	7	10.3%	7	53.1%	12	58.2%	11	61.9%	12	62.1%	12	56.4%	12	52.5%	12	49.6%	13
14	市民への情報提供・ 相談	3.6%	16	4.3%	15	4.4%	15	4.7%	15	46.5%	14	52.0%	15	53.2%	17	53.5%	16	49.5%	16	49.0%	15	49.3%	14
15	住宅・まちづくり	7.2%	13	4.8%	14	4.1%	16	5.1%	13	46.3%	15	56.8%	12	60.8%	13	63.5%	10	57.1%	11	50.6%	14	49.1%	15
16	みどりの事業	5.4%	15	3.1%	16	3.4%	17	2.7%	16	40.6%	17	50.9%	16	54.5%	16	51.4%	17	47.6%	18	46.9%	16	46.2%	16
17	環境問題(＊5)	2.9%	17	2.2%	18	4.5%	14	2.0%	17	41.4%	16	49.9%	17	55.2%	15	54.7%	15	52.7%	15	46.5%	17	45.7%	17
18	河川・湖沼などの整備	1.6%	21	0.8%	22	1.2%	22	1.0%	22	36.6%	18	44.7%	18	47.3%	18	47.9%	18	47.7%	17	42.5%	18	41.1%	18
19	文化芸術の振興	2.3%	18	1.8%	20	1.6%	21	1.7%	19	32.7%	20	36.3%	20	41.6%	20	44.0%	19	39.5%	20	38.7%	19	37.0%	19
20	生涯学習	2.2%	20	2.3%	17	1.9%	18	1.4%	21	36.0%	19	39.2%	19	46.7%	19	42.2%	20	40.1%	19	38.3%	20	35.6%	20
21	スポーツ・レクリエー ション	2.2%	20	1.9%	19	1.7%	20	2.0%	18	30.9%	22	36.2%	21	41.6%	21	40.1%	21	38.4%	21	36.8%	21	32.8%	21
22	国際化推進(＊7)	1.2%	22	1.5%	21	1.9%	19	1.5%	20	31.1%	21	33.0%	22	39.7%	22	38.4%	22	35.0%	22	30.4%	22	30.1%	22

*1) 平成22年度まで「産業や経済の振興」

*5) 平成23年度まで「環境保全(公害)」

*2) 平成23年度まで「交通の便利」

*6) 平成25年度まで「母子・児童福祉」

*3) 平成23年度まで「道路の整備」

*7) 平成25年度まで「国際交流」

*4) 平成23年度まで「健康づくり」

*8) 平成27年度から回答方法を、3つまで選択から5段階評価に変更

市政に対する評価の区別順位一覧表

No.	施策・事業	全区		中央区		北区		東区		白石区		厚別区		豊平区		清田区		南区		西区		手稲区	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1	ごみ・資源回収	77.0%	1	78.9%	1	75.6%	1	77.0%	1	77.1%	1	76.3%	1	78.4%	1	83.4%	1	76.3%	1	73.3%	1	76.8%	1
2	公共交通の便利	50.0%	2	62.7%	2	44.0%	5	52.5%	2	54.7%	2	53.3%	2	55.1%	2	29.8%	13	41.9%	4	48.6%	3	47.0%	3
3	みどりの事業	49.6%	3	61.7%	3	49.1%	2	46.0%	3	54.3%	3	43.8%	5	48.5%	4	45.7%	4	48.5%	3	43.2%	4	50.8%	2
4	除雪	48.0%	4	54.9%	4	45.4%	4	45.0%	5	46.9%	4	49.1%	3	50.5%	3	50.3%	2	49.0%	2	49.0%	2	38.1%	5
5	住宅・まちづくり	44.3%	5	50.0%	5	46.0%	3	45.0%	4	46.1%	5	45.6%	4	43.3%	6	47.7%	3	38.4%	8	42.1%	5	37.0%	6
6	健康づくり・医療・衛生	40.8%	6	48.4%	6	38.8%	6	36.3%	8	45.3%	6	34.9%	7	43.3%	7	39.1%	7	39.4%	5	39.4%	6	41.4%	4
7	道路の整備・維持管理	39.3%	7	39.0%	10	34.8%	8	43.2%	6	38.8%	10	35.5%	6	45.9%	5	40.4%	5	37.9%	9	38.4%	7	36.5%	8
8	文化芸術の振興	36.5%	8	42.5%	8	34.2%	9	36.0%	9	39.5%	8	30.2%	10	37.7%	8	35.8%	9	38.9%	6	33.6%	8	34.8%	9
9	防災対策	35.7%	9	38.3%	11	36.8%	7	37.3%	7	39.1%	9	29.0%	12	37.4%	9	40.4%	6	36.4%	10	29.5%	12	32.0%	13
10	河川・湖沼などの整備	34.5%	10	39.9%	9	33.3%	10	29.2%	15	41.5%	7	25.4%	14	37.0%	10	35.8%	10	36.4%	11	31.5%	9	33.7%	10
11	環境問題	33.7%	11	44.2%	7	31.0%	13	34.8%	12	33.7%	12	30.2%	11	32.5%	15	34.4%	11	30.8%	15	31.5%	10	30.4%	14
12	安全・安心なまちづくり	33.2%	12	38.0%	12	31.6%	11	35.1%	10	32.6%	14	30.8%	9	33.4%	13	27.8%	15	35.4%	12	29.1%	13	37.0%	7
13	交通安全対策	32.7%	13	34.4%	14	31.0%	14	33.9%	13	33.7%	13	29.0%	13	35.1%	12	33.1%	12	34.3%	13	30.1%	11	32.0%	12
14	高齢者福祉	31.9%	14	32.1%	15	29.6%	16	35.1%	11	35.3%	11	30.8%	8	32.8%	14	28.5%	14	38.9%	7	24.7%	15	33.1%	11
15	スポーツ・レクリエーション	31.4%	15	37.7%	13	31.3%	12	28.0%	16	32.2%	15	23.1%	17	36.1%	11	36.4%	8	32.8%	14	27.7%	14	26.5%	16
16	子どもの教育	27.0%	16	29.9%	16	31.0%	15	24.5%	17	28.3%	17	25.4%	15	27.9%	16	24.5%	18	25.8%	17	22.9%	17	27.6%	15
17	障がい者福祉	26.5%	17	28.6%	17	24.7%	17	29.5%	14	30.6%	16	23.7%	16	27.2%	17	26.5%	16	29.3%	16	19.5%	20	25.4%	17
18	母子・父子・児童福祉	23.9%	18	25.3%	19	23.0%	19	24.5%	18	28.3%	18	19.5%	19	24.6%	19	25.8%	17	24.2%	18	20.2%	19	23.8%	19
19	市民への情報提供・相談	23.4%	19	26.3%	18	22.1%	20	24.2%	19	24.8%	19	17.2%	21	25.6%	18	21.9%	19	23.2%	19	23.3%	16	21.0%	20
20	生涯学習	21.0%	20	19.8%	22	21.0%	21	19.6%	22	23.3%	21	18.3%	20	22.0%	20	19.2%	20	22.2%	20	20.9%	18	24.3%	18
21	産業・経済・雇用推進	20.7%	21	23.1%	21	23.3%	18	21.4%	20	24.0%	20	23.1%	18	20.3%	22	13.2%	22	19.2%	22	15.4%	22	21.0%	21
22	国際化推進	19.3%	22	24.4%	20	17.8%	22	20.2%	21	22.1%	22	15.4%	22	21.0%	21	19.2%	21	22.2%	21	16.1%	21	11.6%	22

市政に関する要望の区別順位一覧表

No.	施策・事業	全区		中央区		北区		東区		白石区		厚別区		豊平区		清田区		南区		西区		手稲区	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1	除雪	73.5%	1	66.6%	1	74.7%	1	74.5%	1	79.1%	1	69.2%	1	73.8%	1	78.1%	1	72.7%	1	71.2%	1	80.1%	1
2	安全・安心なまちづくり	64.1%	2	62.7%	2	61.8%	2	65.2%	2	71.3%	3	62.7%	2	63.9%	3	62.9%	5	64.6%	2	61.0%	2	68.5%	2
3	防災対策	61.8%	3	60.7%	3	59.2%	6	63.7%	3	73.3%	2	58.0%	5	60.3%	4	66.9%	3	58.6%	5	58.2%	4	63.0%	5
4	道路の整備・維持管理	60.4%	4	58.4%	6	60.3%	4	59.3%	5	64.0%	4	59.8%	4	64.3%	2	64.9%	4	59.6%	4	54.5%	8	64.6%	4
5	公共交通の便利	59.9%	5	58.8%	5	61.8%	3	59.9%	4	61.6%	7	53.3%	8	60.0%	5	72.2%	2	62.6%	3	53.4%	10	61.3%	7
6	高齢者福祉	58.6%	6	54.2%	9	59.5%	5	55.6%	8	60.9%	8	60.4%	3	58.7%	6	62.9%	6	56.1%	6	59.2%	3	65.2%	3
7	産業・経済・雇用推進	56.9%	7	56.8%	7	55.2%	9	57.8%	6	63.6%	5	56.2%	6	57.0%	9	55.0%	11	55.1%	8	55.5%	7	57.5%	9
8	交通安全対策	56.9%	8	56.5%	8	58.0%	8	56.5%	7	62.8%	6	52.7%	9	57.7%	7	56.3%	9	55.1%	7	55.8%	6	56.9%	10
9	健康づくり・医療・衛生	56.7%	9	60.4%	4	58.6%	7	52.2%	9	60.5%	9	47.3%	12	57.7%	8	61.6%	7	53.0%	10	56.8%	5	58.0%	8
10	障がい者福祉	54.0%	10	52.3%	11	52.9%	10	49.7%	10	57.4%	11	55.0%	7	53.8%	10	55.6%	10	54.0%	9	54.1%	9	61.9%	6
11	母子・父子・児童福祉	50.2%	11	51.9%	12	47.1%	15	48.1%	13	52.7%	17	52.1%	11	50.5%	14	49.7%	14	48.0%	15	51.7%	11	54.1%	12
12	ごみ・資源回収	49.8%	12	51.9%	13	48.3%	14	48.8%	12	53.9%	15	42.6%	15	53.1%	12	48.3%	15	49.0%	12	47.9%	12	52.5%	13
13	子どもの教育	49.6%	13	51.6%	14	50.3%	12	42.9%	15	53.9%	16	52.7%	10	53.1%	11	57.0%	8	44.9%	16	45.9%	14	50.3%	15
14	市民への情報提供・相談	49.3%	14	51.0%	15	50.6%	11	46.3%	14	54.7%	14	46.7%	13	52.5%	13	43.0%	18	49.0%	13	46.6%	13	50.3%	14
15	住宅・まちづくり	49.1%	15	47.4%	17	49.4%	13	49.7%	11	58.1%	10	45.6%	14	47.5%	15	52.3%	12	50.0%	11	44.9%	15	48.1%	17
16	みどりの事業	46.2%	16	52.9%	10	43.7%	16	42.2%	16	55.4%	13	41.4%	16	46.9%	16	44.4%	17	42.4%	18	39.7%	17	55.8%	11
17	環境問題	45.7%	17	48.4%	16	43.7%	17	41.3%	17	55.8%	12	39.1%	17	42.6%	17	50.3%	13	48.5%	14	43.5%	16	48.6%	16
18	河川・湖沼などの整備	41.1%	18	39.0%	19	40.8%	18	36.3%	18	50.0%	18	36.7%	18	40.3%	18	46.4%	16	44.4%	17	38.4%	18	45.9%	18
19	文化芸術の振興	37.0%	19	43.5%	18	31.0%	20	34.5%	19	43.8%	19	36.1%	19	38.4%	19	38.4%	21	36.4%	20	31.8%	20	39.8%	20
20	生涯学習	35.6%	20	37.0%	20	35.3%	19	28.6%	22	38.4%	20	36.1%	20	37.0%	20	41.1%	19	30.8%	22	35.6%	19	41.4%	19
21	スポーツ・レクリエーション	32.8%	21	36.0%	21	29.6%	21	32.0%	20	34.9%	21	29.6%	21	32.8%	21	41.1%	20	36.4%	19	28.8%	21	33.1%	21
22	国際化推進	30.1%	22	34.1%	22	27.9%	22	28.9%	21	32.2%	22	27.8%	22	30.8%	22	34.4%	22	32.3%	21	26.4%	22	29.8%	22

資料 調査票

令和3年度第3回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力をお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和3年10月22日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 井上 ☎ 011-211-2045 まで

《問2で「1 現在住んでいる地域に、これからも住みたいと思う」と答えた方にお聞きます。》

問2-1 あなたが、今後も住みたいと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 通勤や通学に便利だから
- 2 買物や通院に便利だから
- 3 緑や自然の環境が良いから
- 4 文化や教育面の環境が良いから
- 5 住み慣れているから
- 6 自分の家があるから
- 7 近所づきあいなど周囲の雰囲気が良いから
- 8 その他 ()
- 9 特に理由はない

《問2で「2 札幌市内には住みたいが、現在住んでいる地域には、住みたいと思わない」と答えた方にお聞きます。》

問2-2 あなたが、住みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 通勤や通学に不便だから
- 2 買物や通院に不便だから
- 3 緑や自然の環境が良くないから
- 4 文化や教育面の環境が良くないから
- 5 騒音や排気ガスなどで環境が良くないから
- 6 近所づきあいなど周囲の雰囲気が良くないから
- 7 現在の住居が不満だから
- 8 住民のモラルが低く、迷惑を受けることがあるから
- 9 その他 ()
- 10 特に理由はない

テーマ2 札幌市の施策・事業について

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ〇をつけてください。

札幌市の取り組み	よくやっている					力をいれてほしい				
	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
《記載例》										
例 この市民意識調査について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ア 住宅・まちづくりに関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ 公共交通の便利さを進める事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ ごみや資源回収のこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 環境保全(公害)に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
カ 河川・湖沼などの整備に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 地震・火災・水害などの防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 交通安全対策に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コ 道路の整備・維持管理に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
サ 除雪に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
シ 公園や緑地など「みどり」の事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ス 子どもの教育に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
セ 生涯学習などに関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

札幌市の取り組み	よくやっている					力をいれてほしい				
	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ソ 文化芸術の振興に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
タ スポーツ・レクリエーションの事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
チ 健康づくり、医療、衛生の事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
テ 高齢者福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ト 障がい者福祉に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ナ 国際化推進に関すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ニ 市民への情報提供や相談に関する事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ヌ 市の取り組みに対する総合的な満足度	1	2	3	4	5					

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

DV/デート DV 相談窓口

ひとりで悩まずに相談してください

札幌市配偶者暴力相談センター

☎ 011-728-1234

(月～金 ▶▶ 8:45～20:00 土・日・祝 ▶▶ 11:00～17:00)

女性のための性暴力被害相談窓口

女性相談員が秘密厳守で対応します

性暴力被害者支援センター北海道 SACRACH(さくらこ)

☎ 050-3786-0799

(月～金 ▶▶ 10:00～20:00 ※祝日を除く)

テーマ3 各家庭における災害への意識と備えについて

札幌市では、近年の激甚化・頻発化する自然災害や社会情勢に応じた防災対策の実施・見直しを行っています。そこで、皆さまの防災意識や、ご家庭における災害への備えの状況などをお聞きし、今後の防災対策の参考とさせていただきます。

問4 あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家具の固定や配置の工夫
- 2 家屋や塀などの補強
- 3 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
- 4 備蓄品や非常持ち出し品の用意
- 5 食料品や飲料水などの多めの買い置き
- 6 自家用車へ早めの満タン給油（こまめな給油）
- 7 テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の取得
- 8 ハザードマップの確認
- 9 避難方法や最寄りの避難場所の確認
- 10 親戚や知人宅への避難の相談
- 11 地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入
- 12 地域での防災訓練や防災イベントへの参加
- 13 所有している電子端末に防災関係アプリのインストール
- 14 その他（
- 15 特に何もしていない ⇒ **問4-1** へ

⇒ **問5** ^

《問4で「15 特に何もしていない」に○をつけた方にお聞きます。》

問4-1 あなたのご家庭で、災害に備えた対策をしない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 具体的に何をすれば良いか分からない 2 災害が自分の身に起こるとは考えにくい
3 面倒である 4 時間がない
5 お金がかかる 6 備蓄品などを置くスペースがない
7 行政に任せている 8 その他（ ）

《皆さまにお聞きます。》

問5 あなたは、ご自身のご家庭での災害に対する備えは足りていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 十分足りている
- 2 ほぼ足りている
- 3 あまり足りていない
- 4 全く足りていない
- 5 わからない

問6 あなたは、これまでに防災に関してどのような教育や訓練を受けた、又は自ら学習したことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- ⇒ 問 6 - 1 ^

※ Facebook、Twitter、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《問6で「1」から「12」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問6-1 あなたが、防災について学んだきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 学校で学んだ 2 資格取得のために勉強した
- 3 会社などで学ぶ機会があった 4 マンションや町内会などの地域で学ぶ機会があった
- 5 子供が学校で習い、家庭で話した 6 自分や身近な人が実際に災害を経験した
- 7 自分の住む地域以外での災害のニュースを見て気になった
- 8 その他（ ）

《皆さまにお聞きます。》

問7 あなたは、お住まいの地域で地震や風水害などの災害が発生した場合、特に不安に感じることはありますか。あてはまるものを最大5つまで○をつけてください。

- | | | | |
|----|-----------------|----|---------------------|
| 1 | 自身の身の危険 | 2 | 家族や友人の安否 |
| 3 | ペットに関すること | 4 | 家屋、家財の損壊 |
| 5 | 火災の発生などの二次被害 | 6 | 電気・水道・ガスなどライフラインの遮断 |
| 7 | 道路や交通機関の機能停止や混乱 | 8 | 持病に関すること |
| 9 | 自身の仕事への影響 | 10 | トイレの使用に関すること |
| 11 | 食糧・飲料水の不足 | 12 | 生活必需品の不足 |
| 13 | 医療品の不足 | 14 | 医療体制のひっ迫、医療崩壊 |
| 15 | 避難場所までの経路の危険 | 16 | 避難所における集団生活 |
| 17 | 避難先における感染症対策 | 18 | 治安の悪化、社会秩序の混乱 |
| 19 | デマ情報による混乱 | 20 | 被害に対する金銭的なこと |
| 21 | その他（ ） | 22 | 特に不安に感じることはない |

問 8

- ⇒ **問9** ^

問 8 - 1 

◀問 8

問 8—1

-)

テーマ4 テレビ・ラジオの視聴状況について

札幌市では、市民から親しまれる広報を目指し、テレビやラジオを使って市政情報を発信しています。そこで、皆さまのテレビ・ラジオの視聴状況などについてお聞きし、今後の広報活動の参考とさせていただきます。

問9 あなたは、日頃テレビを見ていますか。あてはまるものに 1つだけ ○をつけてください。

- 1 よく見ている
- 2 ときどき見ている
- 3 あまり見ていない
- 4 見ていない
- 5 テレビを持っていない

問10 あなたは、日頃ラジオを聞いていますか。あてはまるものに 1つだけ ○をつけてください。

- 1 よく聞いている
- 2 ときどき聞いている
- 3 あまり聞いていない
- 4 聞いていない
- 5 ラジオを持っていない

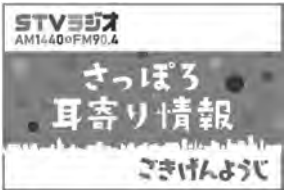
問11 あなたがテレビやラジオをよく視聴する時間帯はいつですか。平日と休日の状況について、よく視聴する時間帯に いくつでも ○をつけてください。

平日 (月曜日～金曜日)	テレビ	ラジオ	休日 (土・日・祝日)	テレビ	ラジオ
4:00～7:00 頃			4:00～7:00 頃		
7:00～10:00 頃			7:00～10:00 頃		
10:00～12:00 頃			10:00～12:00 頃		
12:00～14:00 頃			12:00～14:00 頃		
14:00～19:00 頃			14:00～19:00 頃		
19:00～23:00 頃			19:00～23:00 頃		
23:00～翌4:00 頃			23:00～翌4:00 頃		

問 1 2 あなたは、どういった目的でテレビやラジオを視聴していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家族や友人、知人との話のきっかけにするため
- 2 自分の興味ある情報収集のため
- 3 好きな番組を視聴するため
- 4 好きなアーティストやタレントを視聴するため
- 5 運転中や家事、作業中などのBGMとして
- 6 寝る前などリラックスするため
- 7 家族が見ているから
- 8 習慣として視聴しているため
- 9 その他 ()
- 10 特にない

【札幌市では、以下の広報番組を放送しています。】

テレビ		北海道放送 (HBC) 「NORD (ノール) の もっと!札幌」	ア.第4金曜日 22:54~23:00 イ.第4土曜日または最終土曜日 11:59~13:00 ウ.第4日曜日 16:54~17:00 エ.上記ウの2週間後の日曜日 16:54~17:00
		札幌テレビ (STV) 「札幌ふるさと再発見」	土曜日 (第5除く) 11時54分~11時59分
ラジオ		STV ラジオ ごきげんようじ内 「さっぽろ耳寄り情報」	土曜日 11時30分~11時45分頃

問 1 3 上記で紹介した札幌市の広報番組の中で、あなたが視聴している番組はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|-----|------------------|--------------------|
| 1 毎回視聴している番組がある | } ⇒ | 問 1 3 - 1 | 問 1 3 - 2 へ |
| 2 とときどき視聴している番組がある | | | |
| 3 視聴したことがある番組がある | | | |
| 4 視聴したことがある番組はない | ⇒ | 問 1 3 - 3 | へ |

《問 1 3 で「1 毎回視聴している番組がある」「2 ときどき視聴している番組がある」「3 視聴したことがある番組がある」と答えた方にお聞きます。》

問 1 3 - 1 あなたが、視聴したことがある広報番組を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 NORD（ノール）のもっと！札幌
- 2 札幌ふるさと再発見
- 3 ごきげんようじ内「さっぽろ耳寄り情報」

《引き続き、問 1 3 で「1 毎回視聴している番組がある」「2 ときどき視聴している番組がある」「3 視聴したことがある番組がある」と答えた方にお聞きます。》

問 1 3 - 2 あなたが、広報番組を視聴した時の状況を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 視聴しようと思ってチャンネルを合わせた
- 2 面白そうな番組を探していて、たまたま視聴した
- 3 前の番組を視聴していて、そのついでに視聴した
- 4 後の番組を視聴しようとして、そのついでに視聴した
- 5 録画（録音）をして視聴した
- 6 その他（ ）

《問 1 3 で「4 視聴したことがある番組はない」と答えた方にお聞きます。》

問 1 3 - 3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、広報番組を視聴したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 視聴しやすい時間帯に放送している
- 2 さまざまなチャンネル（局）で放送している
- 3 著名人や有名人が出演している
- 4 自分の住む地域が紹介される、知り合いが出演するなど身近な情報を放送している
- 5 自分が関心のある市政情報を放送している
- 6 広報番組は見ない
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

《皆さまにお聞きます。》

問 1 4 あなたは、テレビやラジオの視聴に関わらず、どのような情報に関心を持っていますか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 最新の事件、事故
- 2 ビジネス、経済
- 3 旅行、レジャー
- 4 映画、エンターテインメント、芸術鑑賞
- 5 高齢者福祉・障がい者福祉
- 6 子育て
- 7 教育、生涯学習
- 8 環境問題
- 9 健康・医療
- 10 グルメ、スイーツ
- 11 スポーツ
- 12 動物、ペット
- 13 コミュニティ（ボランティア、まちづくり活動など）
- 14 お得情報・クーポン
- 15 公共施設紹介
- 16 防災
- 17 その他（ ）
- 18 特に関心がある情報はない ⇒ **問 1 5** へ

⇒ **問14-1** へ

《**問 1 4**で「1」から「17」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問 1 4 - 1 **問 1 4**で関心があると答えた情報を入手する手段として、次の中から、あなたが利用しているものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ | 3 新聞 |
| 4 書籍 | 5 関連ホームページ | 6 ブログ |
| 7 SNS | 8 スマートフォンのアプリ | 9 口コミ |
| 10 チラシ、フリーペーパー | 11 その他（ ） | 12 入手していない |

《皆さまにお聞きます。》

問 1 5 あなたは、SNS を利用していますか。利用しているものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1 Twitter | 2 Facebook | 3 LINE |
| 4 Instagram | 5 Pinterest | 6 mixi |
| 7 Snapchat | 8 YouTube | 9 TikTok |
| 10 その他（ ） | 11 利用していない | |

テーマ5 海外との交流及び外国人との共生について

札幌市では、姉妹都市など海外との交流や外国人市民との共生などに関する今後の施策の方向性について検討を行っています。皆さまに、札幌市はどのような国際交流を行っていくべきか、外国人との共生はどのように進めるべきかなどをお聞きし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

問16 あなたは、札幌市には5つの姉妹・友好都市があることを知っていますか。知っているものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 ポートランド市（アメリカ合衆国） | 2 ミュンヘン市（ドイツ連邦共和国） |
| 3 瀋陽（シンヨウ）市（中華人民共和国） | 4 ノボシビルスク市（ロシア連邦） |
| 5 大田（テジョン）広域市（大韓民国） | 6 ひとつも知らない |

問17 あなたは、札幌市が今後、海外と交流を進めるに当たって重視してほしいことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 子ども同士の交流
- 2 NPOなど市民活動団体や大学・企業等による国際交流活動
- 3 スポーツや芸術、趣味などを通じた市民同士の相互交流
- 4 留学生や労働者の積極的な受け入れ
- 5 環境や福祉などに関する海外との行政間の相互交流
- 6 開発途上国の貧困解消や生活環境の改善などにつながる国際協力事業
- 7 さまざまな分野で海外都市と交流や情報交換ができるネットワークの構築・活用
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

問18 あなたは、「世界冬の都市市長会」を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 よく知っている
- 2 名称のみ知っている
- 3 知らない

【世界冬の都市市長会】

“冬は資源であり、財産である”というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まり、冬の技術や経験を学びあうためのネットワークで、現在、9カ国 22都市が会員として参加しています。1981年に札幌市が「北方都市会議」を提唱したのが始まりで、札幌市に事務局が置かれています。

問19 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 よく知っている
- 2 名称のみ知っている
- 3 知らない

【多文化共生】

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。札幌市では、多文化共生社会の実現に向けて、市民全体の異文化理解を進める様々な取り組みを行っています。

問20 あなたは、近所に住んでいる外国人との付き合いがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 親しく付き合っている 2 時々話をする
3 挨拶をする程度 4 その他（ ）
5 近所に住んでいる外国人との付き合いはない 6 近所で外国人を見かけない

問21 あなたは、現在、外国人と一緒に参加している活動はありますか。あてはまるものに 1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 町内会・自治会の活動 | 2 P T Aなど学校関係の活動 |
| 3 母国の文化などを紹介する活動 | 4 スポーツや趣味の活動 |
| 5 福祉・環境などのボランティア活動 | 6 寄付や募金、チャリティーバザーなどの活動 |
| 7 N P O活動 | 8 その他（ ） |
| 9 外国人と一緒に参加している活動はない | |

問22 あなたは、今後、外国人とどのような活動をしたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 町内会・自治会の活動 | 2 P T Aなど学校関係の活動 |
| 3 母国の文化などを紹介する活動 | 4 スポーツや趣味の活動 |
| 5 福祉・環境などのボランティア活動 | 6 寄付や募金、チャリティーバザーなどの活動 |
| 7 N P O活動 | 8 その他（ ） |
| 9 外国人と一緒に参加したい活動はない | |

問23 あなたは、外国人市民と共にまちづくりを行うため、何が大事だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 日本人が外国人に対する差別意識を持たないよう意識啓発や異文化理解を促す
- 2 日本語や日本文化を外国人に伝える
- 3 日本で生活するルールを外国人に伝える
- 4 地域での交流や活動に日本人と外国人が共に参加する
- 5 日本人が外国の言葉や文化を学ぶ
- 6 行政や生活に関する情報を多言語や「やさしい日本語」で発信する
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

問 2 4 あなたは、札幌国際プラザを知っていますか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

- 1 知っているし、行ったことがある
- 2 知っているが、行ったことはない
- 3 知らない

【公益財団法人 札幌国際プラザ】

コンベンション事業の推進や国際交流の促進等を図り、地域経済の活性化及び文化の向上並びに国際相互理解の増進に資することを目的として平成3年から活動している団体です。

問 2 5 あなたは、札幌国際プラザに設置されている「さっぽろ外国人相談窓口」(※)を知っていますか。あてはまるものに 1 つだけ ○をつけてください。

- 1 知っているし、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

※ 外国人の暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行う総合相談窓口です。

問 2 6 札幌市や札幌国際プラザで行っている国際交流や多文化共生に関するイベントの中で、あなたが参加したいと思うものはありますか。あてはまるものに いくつでも ○をつけてください。

- 1 地域の外国人住民と直接交流が図れるようなイベント
- 2 外国の生活習慣や歴史に関するイベントや講座
- 3 国際情勢（政治・経済）に関する講座
- 4 外国語を学べるような講座
- 5 国際協力に関する見識を深められるような講座
- 6 外国人への観光案内やホームステイの受け入れ、地域の外国人の生活支援や日本語学習などのボランティア活動
- 7 その他（ ）
- 8 参加してみたいイベントや講座は無い

問 2 7 今後、外国とのかかわりが深まってきた場合、あなた自身はどのような対応をしていきたいと考えていますか。あてはまるものに いくつでも ○をつけてください。

- 1 外国人に出会ったら積極的に声を掛けたい
- 2 外国人に道などを尋ねられたら親切に教えてあげたい
- 3 簡単な会話ぐらいはできるよう、外国語の勉強をしておきたい
- 4 外国人向けの観光ボランティアガイドをやりたい
- 5 仕事を通じて外国人と付き合う機会を増やしたい
- 6 困っている外国人市民を手助けしたい
- 7 その他（ ）
- 8 特にない

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は(令和3年 10 月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください。)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は(あてはまるものにいくつでも○をつけてください。)

- 1 配偶者 2 乳幼児(0～2歳程度)
3 就学前児童(3～5歳程度) 4 小学生(6～12歳程度)
5 中学生(13～15歳程度) 6 高校生(16～18歳程度)
7 大学(院)・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F 6 あなたの出生地は

- 1 札幌生まれ 2 札幌以外

F 7 あなたの札幌居住年数は

- 1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満
4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満
7 30年以上

F 8 あなたは今の場所に何年ぐらい住んでいますか

- 1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満
4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満
7 30年以上

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和3年10月22日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

令和3年度 第4回市民意識調査 報告書

調査期間：令和3年12月3日(金)～12月17日(金)

テーマ

- 1 映像の力を使ったまちづくりについて
- 2 雪対策に関する取り組みについて
- 3 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について
- 4 成年後見制度について
- 5 シティプロモートの推進について
- 6 野生鳥獣への餌やり行為について

札幌市

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 3 年度第 4 回調査では、「映像の力を使ったまちづくり」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 映像の力を使ったまちづくりについて
- ② 雪対策に関する取り組みについて
- ③ 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について
- ④ 成年後見制度について
- ⑤ シティプロモートの推進について
- ⑥ 野生鳥獣への餌やり行為について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和 3 年(2021 年)12 月 3 日(金)～12 月 17 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,541 (50.8%)

(5) 回答者の属性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,541	100.0	990	39.0	1,517	59.7	6	0.2	28	1.1	2,541	100.0
【性別】												
男性	990	39.0	990	100.0	—	—	—	—	—	—	990	100.0
女性	1,517	59.7	—	—	1,517	100.0	—	—	—	—	1,517	100.0
その他	6	0.2	—	—	—	—	6	100.0	—	—	6	100.0
無回答	28	1.1	—	—	—	—	—	—	28	100.0	28	100.0
【年代】												
29歳以下	159	6.3	66	41.5	91	57.2	2	1.3	—	—	159	100.0
30～39歳	266	10.5	97	36.5	167	62.8	1	0.4	1	0.4	266	100.0
40～49歳	382	15.0	135	35.3	246	64.4	1	0.3	—	—	382	100.0
50～59歳	449	17.7	169	37.6	278	61.9	1	0.2	1	0.2	449	100.0
60～69歳	494	19.4	198	40.1	296	59.9	—	—	—	—	494	100.0
70歳以上	768	30.2	325	42.3	435	56.6	—	—	8	1.0	768	100.0
無回答	23	0.9	—	—	4	17.4	1	4.3	18	78.3	23	100.0
【居住区】												
中央区	293	11.5	100	34.1	190	64.8	1	0.3	2	0.7	293	100.0
北区	355	14.0	144	40.6	210	59.2	—	—	1	0.3	355	100.0
東区	341	13.4	135	39.6	202	59.2	—	—	4	1.2	341	100.0
白石区	265	10.4	104	39.2	160	60.4	—	—	1	0.4	265	100.0
厚別区	191	7.5	77	40.3	113	59.2	1	0.5	—	—	191	100.0
豊平区	267	10.5	110	41.2	157	58.8	—	—	—	—	267	100.0
清田区	156	6.1	65	41.7	91	58.3	—	—	—	—	156	100.0
南区	183	7.2	79	43.2	103	56.3	1	0.5	—	—	183	100.0
西区	286	11.3	107	37.4	176	61.5	1	0.3	2	0.7	286	100.0
手稲区	185	7.3	69	37.3	114	61.6	1	0.5	1	0.5	185	100.0
無回答	19	0.7	—	—	1	5.3	1	5.3	17	89.5	19	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,541	100.0	990	39.0	1,517	59.7	6	0.2	28	1.1	2,541	100.0
【職業】												
会社員	721	28.4	402	55.8	316	43.8	1	0.1	2	0.3	721	100.0
公務員	91	3.6	54	59.3	35	38.5	1	1.1	1	1.1	91	100.0
自営業	110	4.3	69	62.7	40	36.4	-	-	1	0.9	110	100.0
パート・アルバイト	383	15.1	65	17.0	317	82.8	1	0.3	-	-	383	100.0
主婦・主夫	511	20.1	3	0.6	506	99.0	-	-	2	0.4	511	100.0
学生	36	1.4	23	63.9	13	36.1	-	-	-	-	36	100.0
無職	558	22.0	328	58.8	226	40.5	-	-	4	0.7	558	100.0
その他	95	3.7	42	44.2	51	53.7	2	2.1	-	-	95	100.0
無回答	36	1.4	4	11.1	13	36.1	1	2.8	18	50.0	36	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,608	63.3	701	43.6	899	55.9	2	0.1	6	0.4	1,608	100.0
乳幼児(0～2歳程度)	93	3.7	30	32.3	63	67.7	-	-	-	-	93	100.0
就学前児童(3～5歳程度)	110	4.3	38	34.5	72	65.5	-	-	-	-	110	100.0
小学生(6～12歳程度)	211	8.3	80	37.9	130	61.6	1	0.5	-	-	211	100.0
中学生(13～15歳程度)	107	4.2	31	29.0	75	70.1	1	0.9	-	-	107	100.0
高校生(16～18歳程度)	140	5.5	58	41.4	82	58.6	-	-	-	-	140	100.0
大学(院)・専門学校生	119	4.7	40	33.6	78	65.5	1	0.8	-	-	119	100.0
65歳以上の高齢者	323	12.7	119	36.8	202	62.5	-	-	2	0.6	323	100.0
上記「1」～「8」以外の方	553	21.8	190	34.4	361	65.3	1	0.2	1	0.2	553	100.0
いない	410	16.1	158	38.5	248	60.5	2	0.5	2	0.5	410	100.0
無回答	50	2.0	6	12.0	25	50.0	1	2.0	18	36.0	50	100.0
【居住形態】												
戸建住宅	1,196	47.1	482	40.3	706	59.0	3	0.3	5	0.4	1,196	100.0
集合住宅(アパート、マンション等)	1,267	49.9	488	38.5	773	61.0	2	0.2	4	0.3	1,267	100.0
その他	24	0.9	6	25.0	18	75.0	-	-	-	-	24	100.0
無回答	54	2.1	14	25.9	20	37.0	1	1.9	19	35.2	54	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

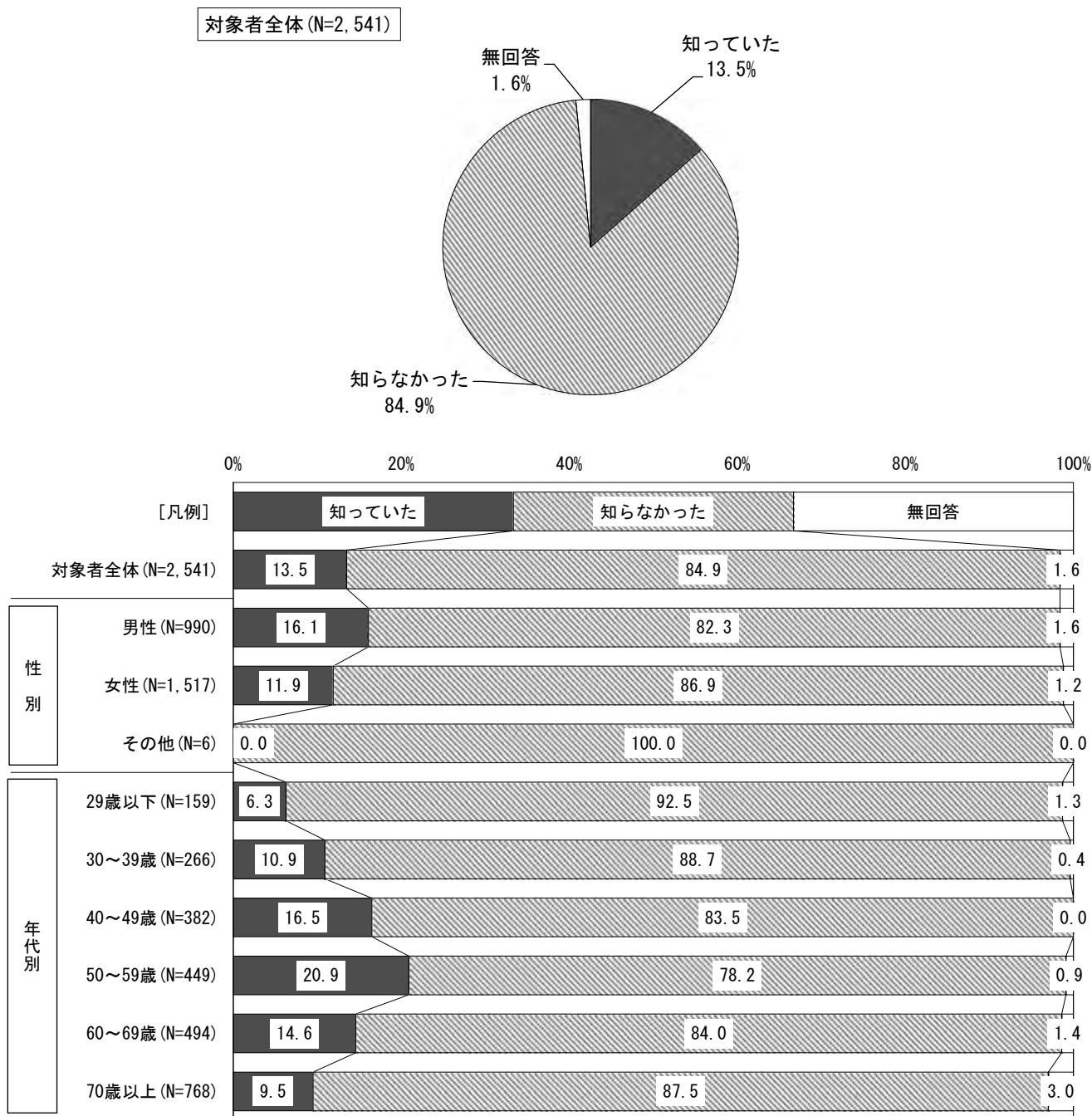
2 調査結果の詳細

(1)映像の力を使ったまちづくりについて

◇フィルムコミッションの言葉の認知度

問1 あなたは、フィルムコミッションの言葉の意味を知っていましたか。

フィルムコミッションの言葉の意味を「知っていた」人は13.5%



【全 体】 フィルムコミッションの言葉の認知度は、「知っていた」が13.5%、「知らなかった」が84.9%となっている。

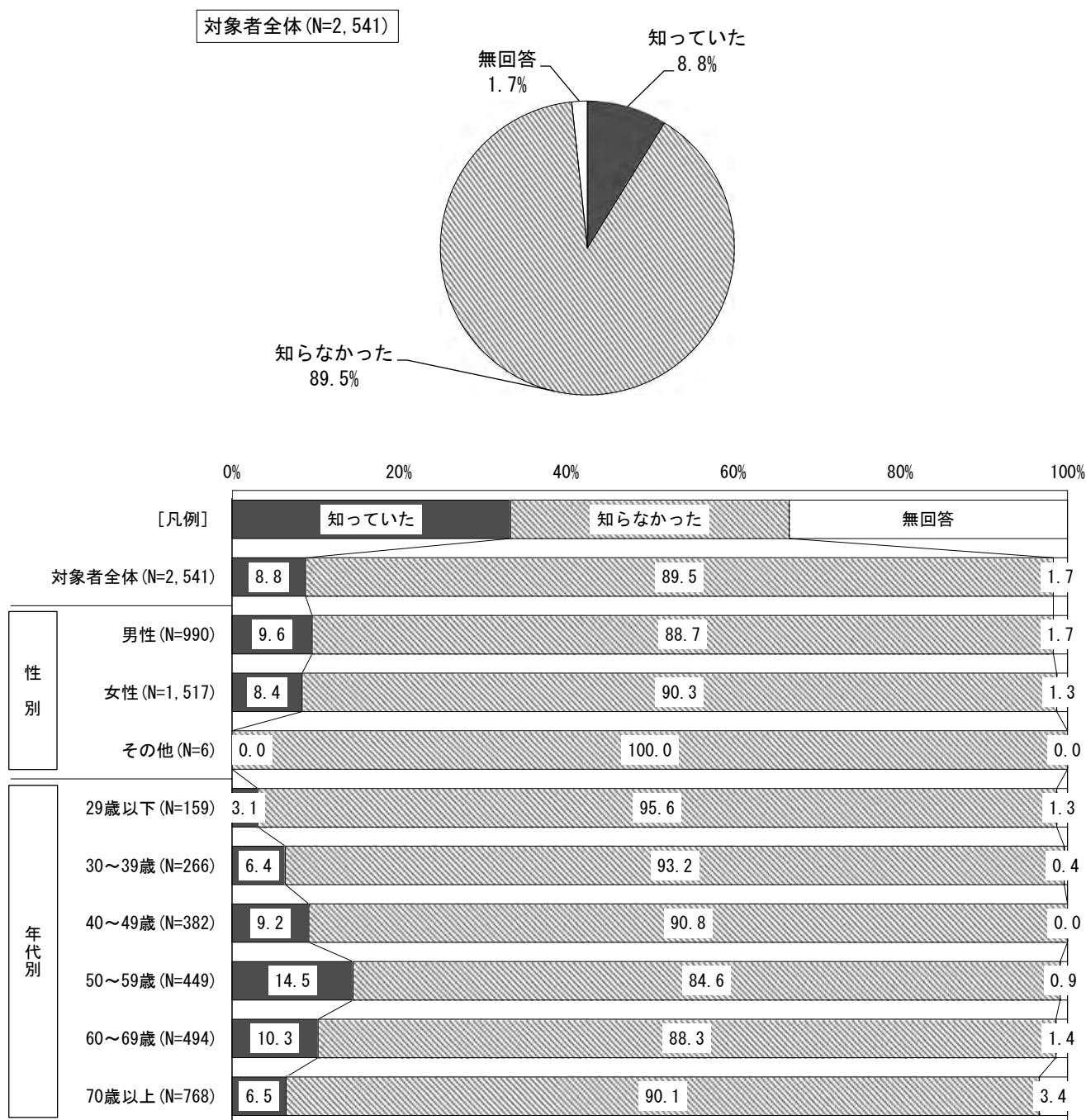
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「知っていた」が50歳代(20.9%)で最も高く、次いで40歳代(16.5%)、60歳代(14.6%)となっている。

◇札幌市によるフィルムコミッションの取組支援の認知度

問2 あなたは、札幌市がフィルムコミッションの取り組みを支援していることを知っていましたか。

札幌市によるフィルムコミッションの取組支援を「知っていた」人は8.8%



【全 体】札幌市によるフィルムコミッションの取組支援の認知度は、「知っていた」が8.8%、「知らなかった」が89.5%となっている。

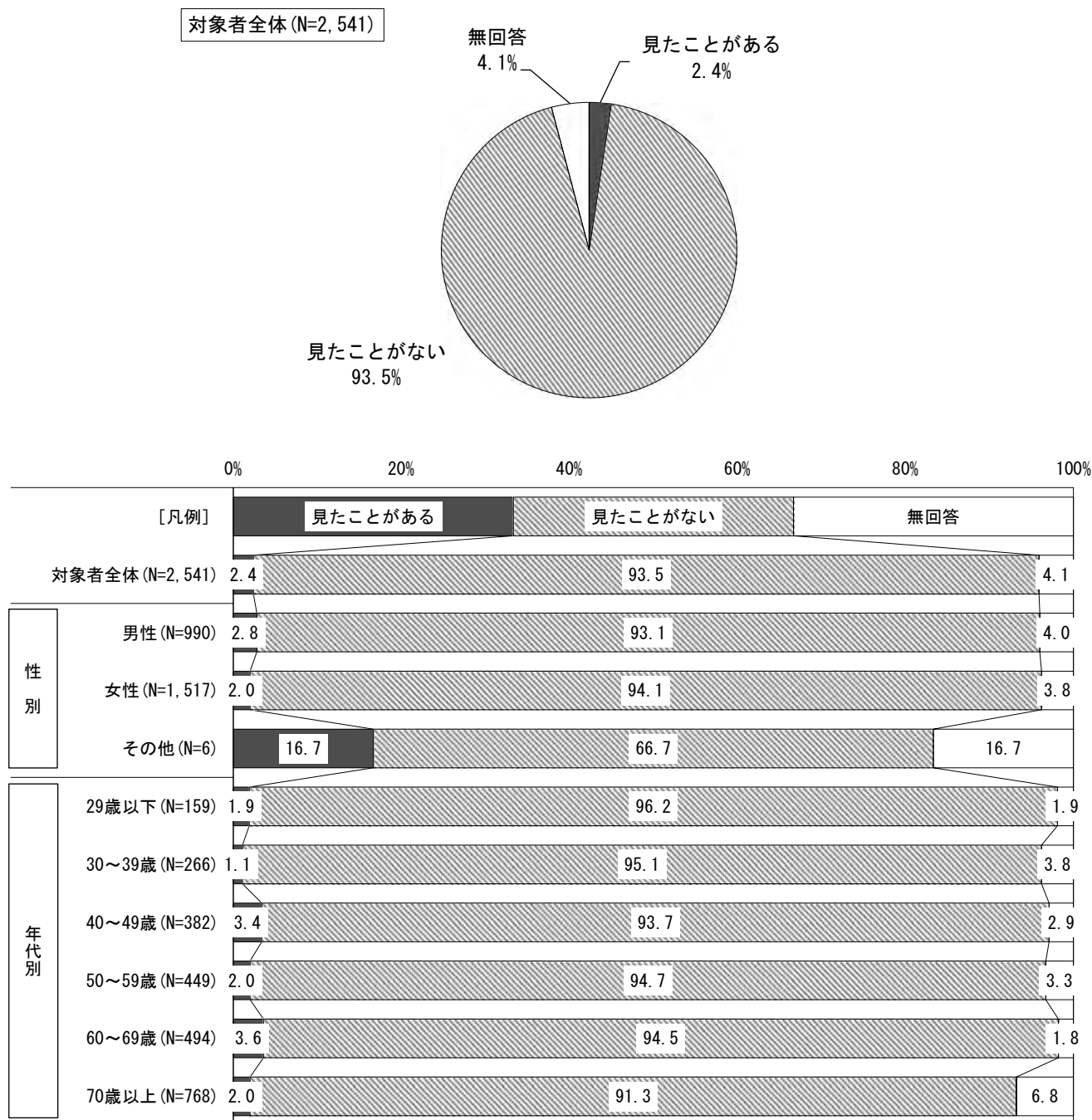
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「知っていた」が50歳代(14.5%)で最も高く、次いで60歳代(10.3%)、40歳代(9.2%)となっている。

◇札幌フィルムコミッションのロゴを見たことの有無

問3 あなたは、札幌フィルムコミッションのロゴを見たことがありますか。

札幌フィルムコミッションのロゴを「見たことがある」人は2.4%



【全 体】札幌フィルムコミッションのロゴを見たことの有無は、「見たことがある」が2.4%、「見たことがない」が93.5%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

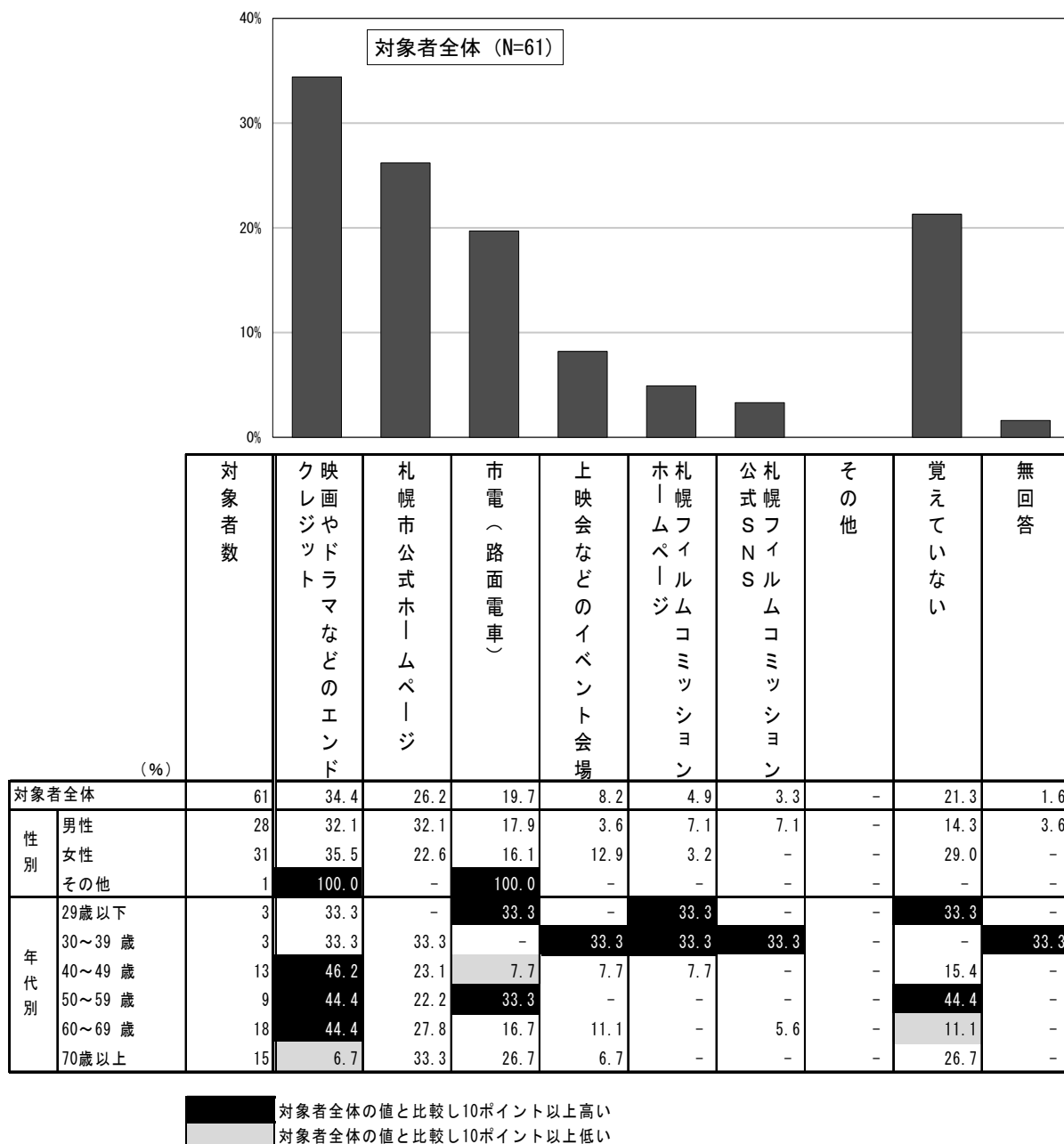
【年代別】大きな差は見られない。

◇札幌フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法

《問3で「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたが札幌フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌フィルムコミッションのロゴを「映画やドラマなどのエンドクレジット」で見た人が34.4%



【全 体】札幌フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法は、「映画やドラマなどのエンドクレジット」が34.4%、「札幌市公式ホームページ」が26.2%、「市電（路面電車）」が19.7%となっている。

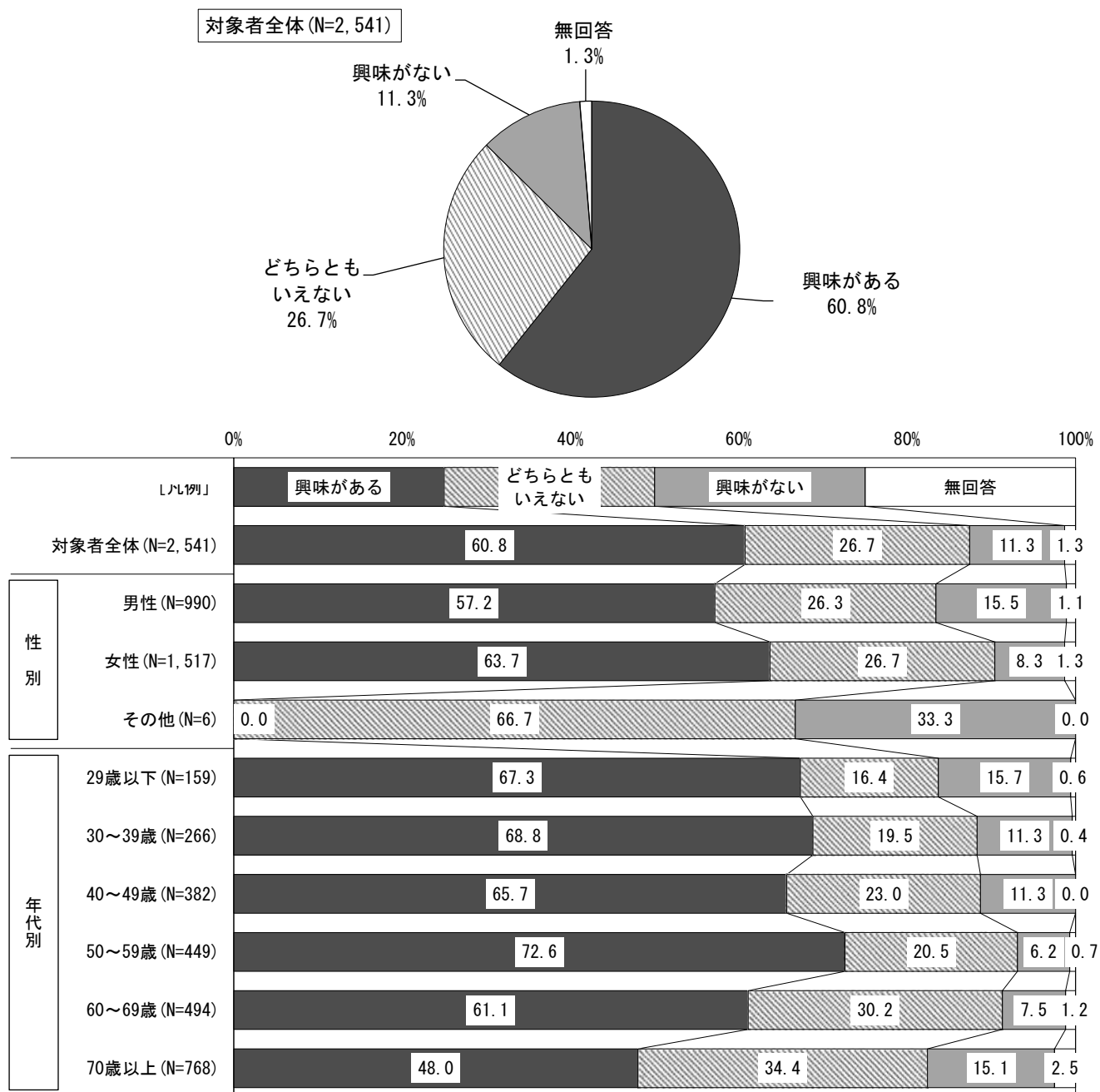
【性 別】「札幌市公式ホームページ」は男性が32.1%と、女性の22.6%より9.5ポイント高くなっている。また、「上映会などのイベント会場」は女性が12.9%と、男性の3.6%より9.3ポイント高くなっている。

◇撮影を見かけたときの撮影への興味の有無

問4 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(1) 撮影に興味がありますか。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「興味がある」人は 60.8%



【全 体】市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影について、「興味がある」が 60.8%となっている。一方、「興味がない」が 11.3%となっている。

【性 別】「興味がある」は女性が 63.7%と、男性の 57.2%より 6.5 ポイント高くなっている。また、「興味がない」は男性が 15.5%と、女性の 8.3%より 7.2 ポイント高くなっている。

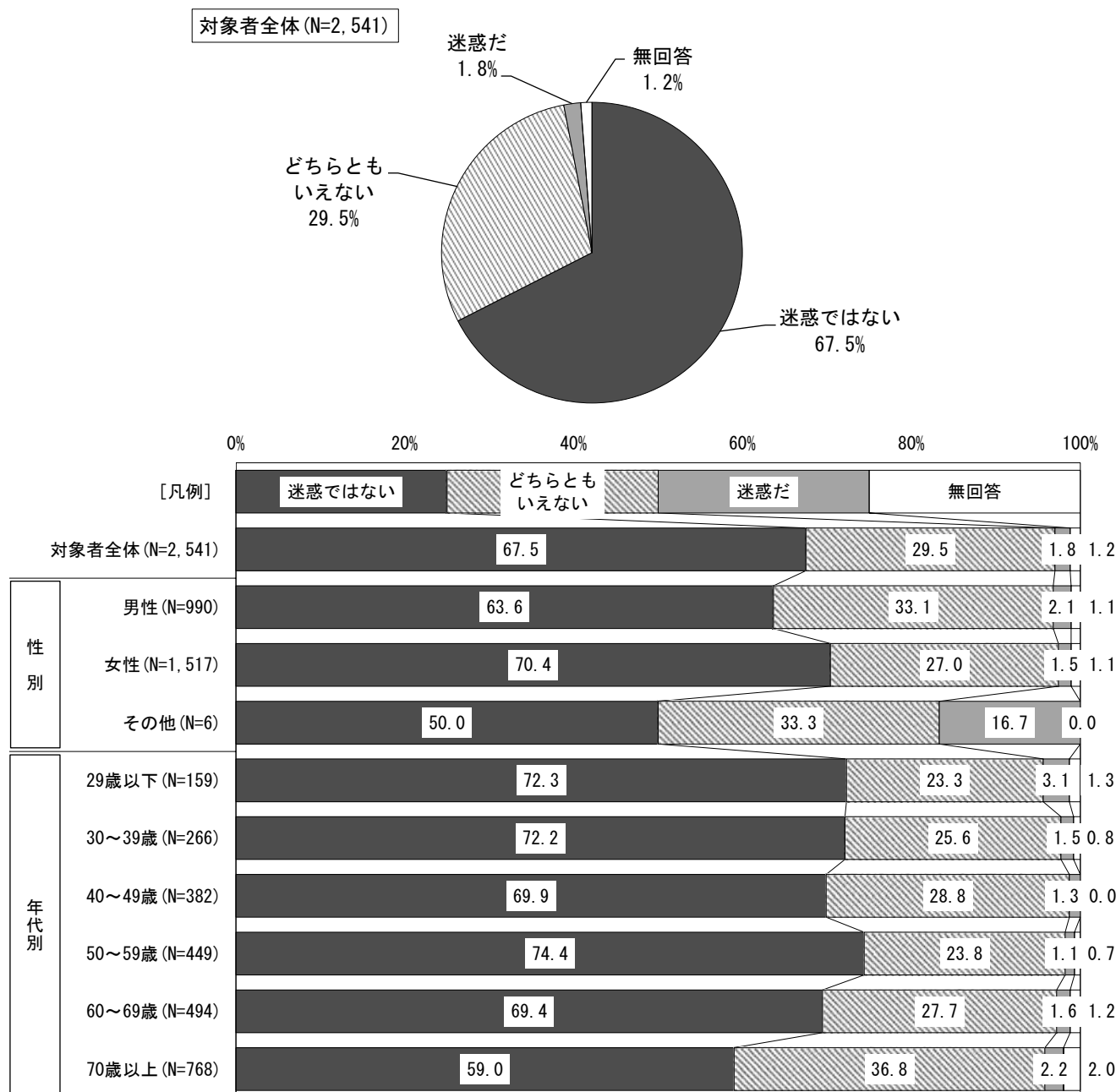
【年代別】「興味がある」が 50 歳代 (72.6%) で最も高く、次いで 30 歳代 (68.8%)、29 歳以下 (67.3%) となっている。

◇撮影を見かけたときに迷惑と感じるか否か

問4 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(2) 撮影を迷惑だと感じますか。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「迷惑ではない」と感じる人は67.5%



【全 体】市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影について、「迷惑ではない」が67.5%となっている。一方、「迷惑だ」が1.8%となっている。

【性 別】「迷惑ではない」は女性が70.4%と、男性の63.6%より6.8ポイント高くなっている。

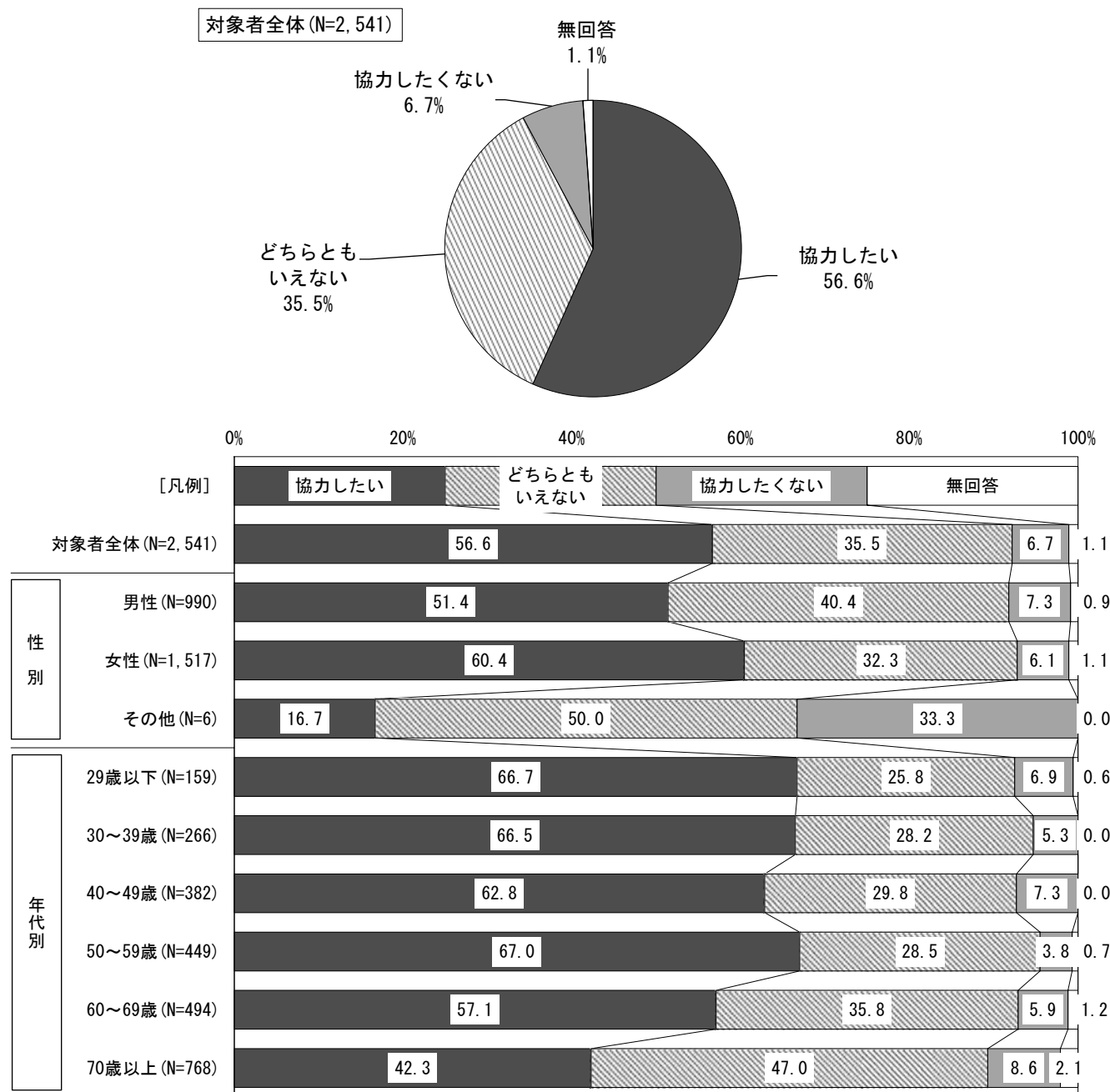
【年代別】「迷惑ではない」が50歳代(74.4%)で最も高く、次いで29歳以下(72.3%)、30歳代(72.2%)となっている。

◇撮影を見かけたときに積極的に協力したいか否か

問4 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。
それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(3) 撮影がスムーズに進むよう積極的に協力したいと思いますか(通行規制への協力、撮影の妨げとなる音を出さない、ボランティアエキストラとして参加するなど)。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「協力したい」人は56.6%



【全 体】市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影について、「協力したい」が56.6%となっている。一方、「協力したくない」が6.7%となっている。

【性 別】「協力したい」は女性が60.4%と、男性の51.4%より9.0ポイント高くなっている。また、「どちらともいえない」は男性が40.4%と、女性の32.3%より8.1ポイント高くなっている。

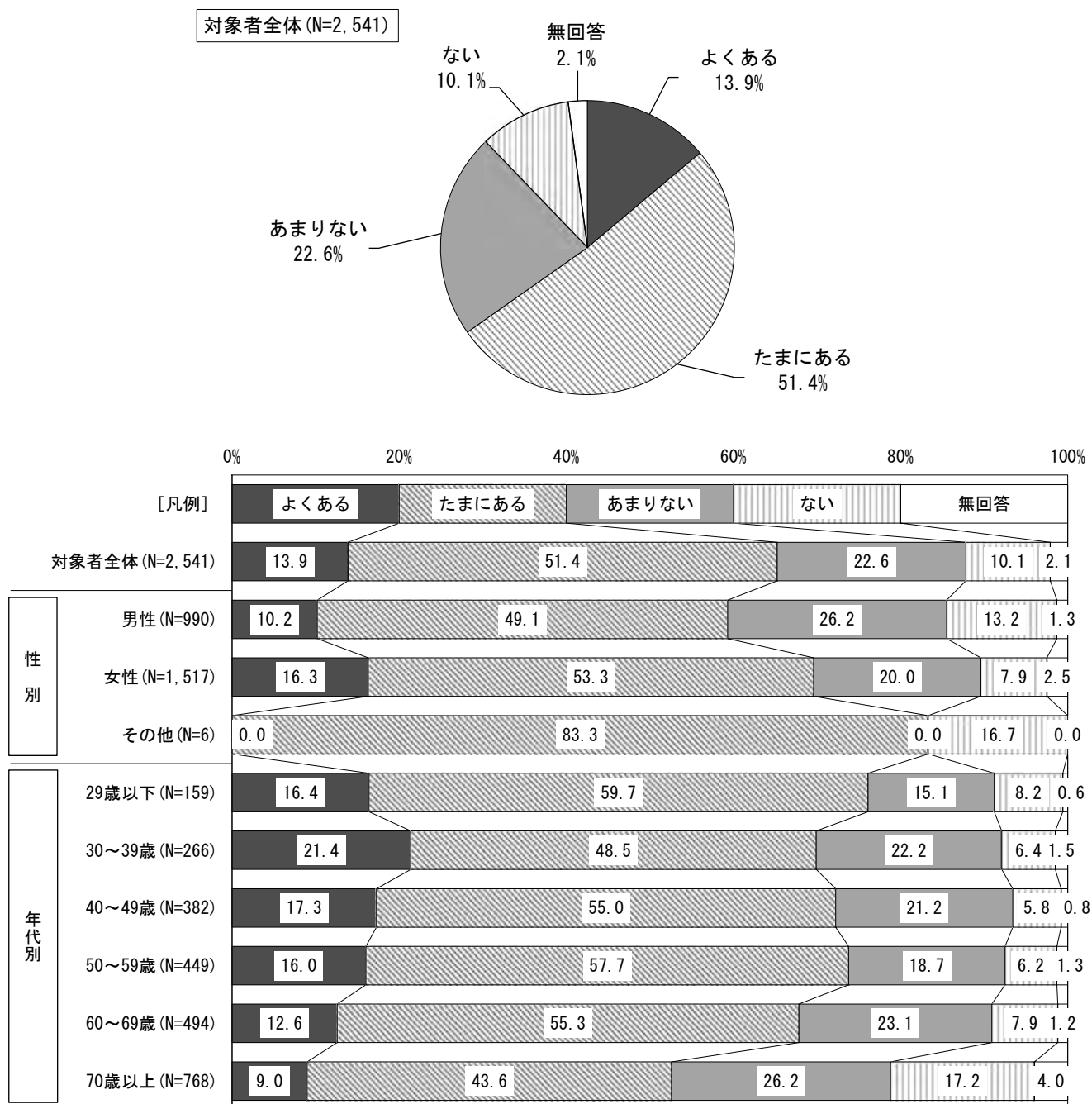
【年代別】「協力したい」が50歳代(67.0%)で最も高く、次いで29歳以下(66.7%)、30歳代(66.5%)となっている。

◇映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことがあるか否か

問5 あなたは、商品やサービスを、映画やテレビ番組などで見たことを理由に選ぶことがありますか。

映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことが“ある”人は65.2%

※ “ある”（「よくある」＋「たまにある」）



【全体】映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことについて、「よくある」が13.9%、「たまにある」が51.4%、合わせると65.2%となっている。一方、「あまりない」が22.6%、「ない」が10.1%、合わせると32.6%となっている。

【性別】“ある”は女性が69.6%と、男性の59.3%より10.3ポイント高くなっている。

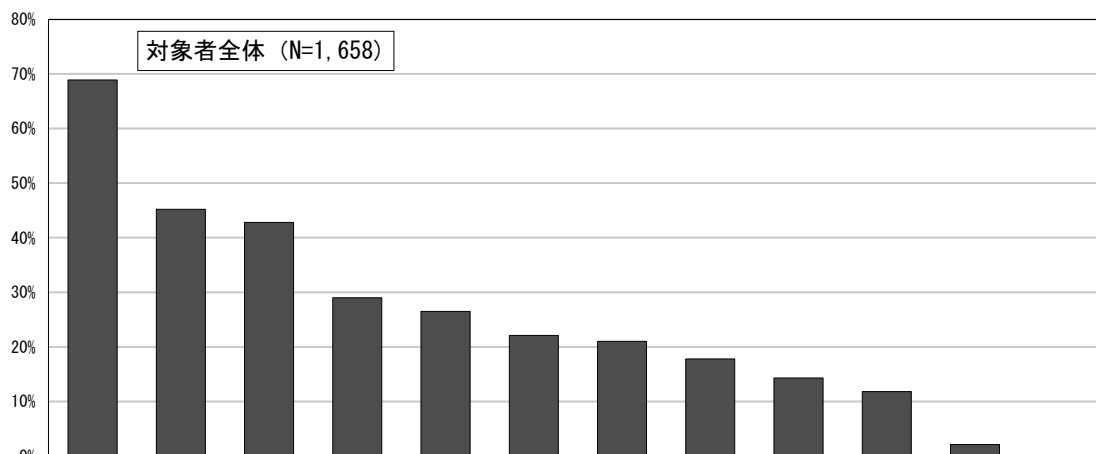
【年代別】“ある”が29歳以下（76.1%）で最も高く、次いで50歳代（73.7%）、40歳代（72.3%）となっている。

◇購入商品やサービスをどのような媒体で見かけたか

《問5で「1 よくある」または「2 たまにある」と答えた方にお聞きします。》

問5-1 あなたが選んだ商品やサービスはどのような媒体で見かけましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

購入商品やサービスを見た媒体は「テレビコマーシャル」が68.9%



		対象者数	テレビコマーシャル	テレビバラエティ	テレビ報道	インターネット上の広告	テレビショッピング	SNS (広告を除く)	テレビドラマ	動画投稿サイト (広告を除く)	映画	テレビドキュメンタリー	その他	無回答
		(%)												
対象者全体		1,658	68.9	45.2	42.8	29.0	26.5	22.1	21.0	17.8	14.3	11.8	2.1	0.2
性別	男性	587	64.4	41.1	42.1	30.7	24.7	18.4	17.5	17.4	14.8	13.5	2.9	-
	女性	1,056	71.5	47.3	43.2	28.2	27.7	24.1	23.0	18.2	13.9	10.8	1.6	0.3
	その他	5	60.0	100.0	60.0	40.0	-	40.0	60.0	-	40.0	40.0	-	-
年代別	29歳以下	121	55.4	56.2	38.8	31.4	8.3	60.3	21.5	42.1	28.1	5.0	-	-
	30~39歳	186	57.0	67.2	43.5	36.6	10.8	48.4	25.3	38.7	20.4	6.5	2.7	-
	40~49歳	276	64.5	55.1	44.2	40.9	16.3	38.8	25.7	26.4	16.7	10.5	2.2	-
	50~59歳	331	68.9	55.3	41.7	35.0	22.7	19.3	24.8	18.4	19.9	13.0	1.5	-
	60~69歳	335	76.4	39.7	42.4	28.1	32.2	5.7	21.2	7.2	9.0	13.4	2.7	-
	70歳以上	404	75.5	20.8	44.1	12.9	44.8	2.7	12.6	3.5	5.7	14.9	2.2	1.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 購入商品やサービスを見た媒体は、「テレビコマーシャル」が68.9%、「テレビバラエティ」が45.2%、「テレビ報道」が42.8%となっている。

【性別】 「テレビコマーシャル」、「テレビバラエティ」、「SNS (広告を除く)」、「テレビドラマ」は女性が男性より5.5ポイント以上高くなっている。

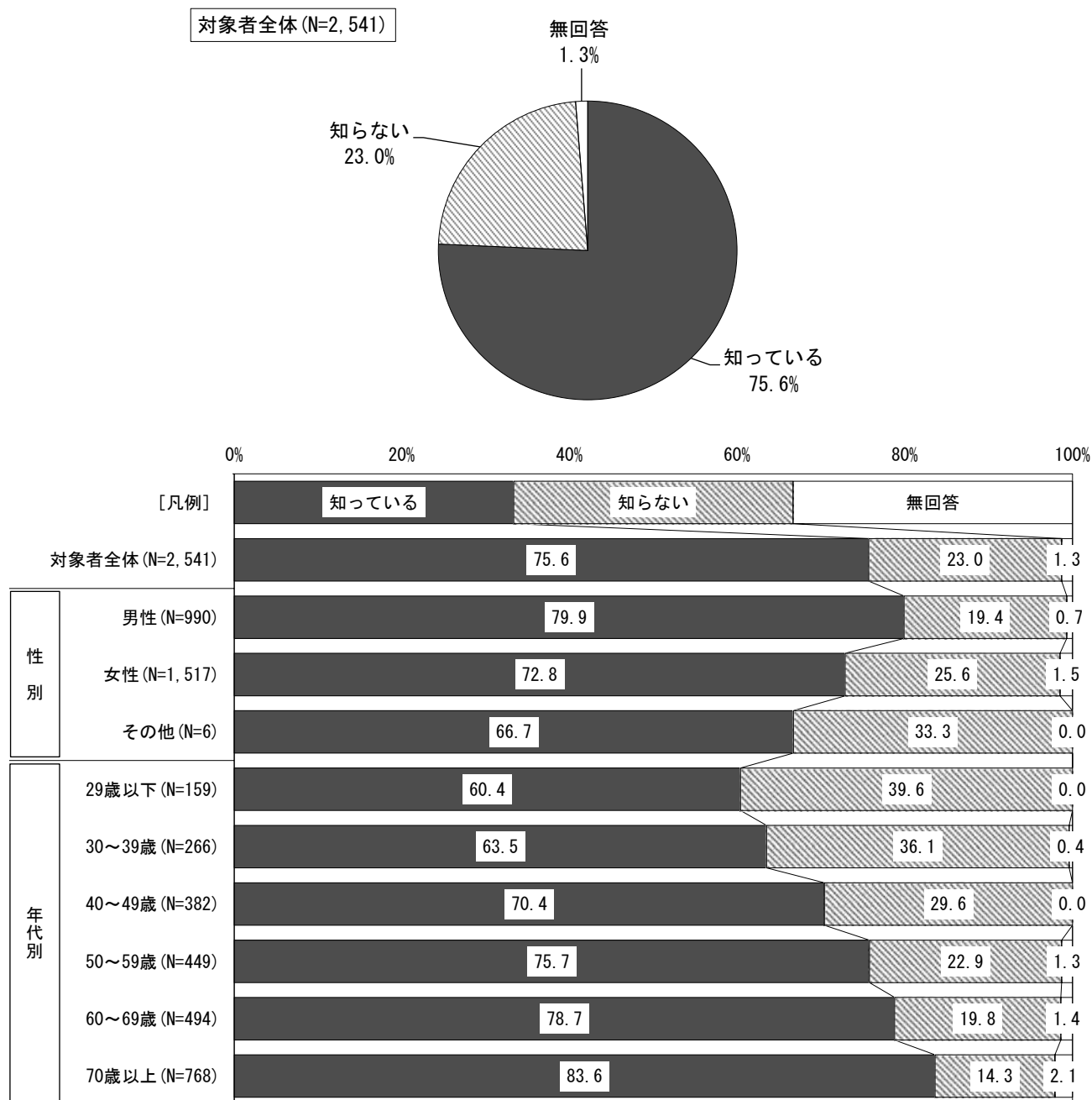
【年代別】 40歳以上では「テレビコマーシャル」が、30歳では「テレビバラエティ」が、29歳以下では「SNS (広告を除く)」が最も高くなっている。

(2) 雪対策に関する取り組みについて

◇かき分け除雪の認知度

問 6 あなたは、「札幌市の新雪除雪が、道路脇に雪を寄せる『かき分け除雪』であること」を知っていますか。

札幌市の新雪除雪がかき分け除雪であることを「知っている」人は 75.6%



【全 体】札幌市の新雪除雪がかき分け除雪であることの認知度は、「知っている」が 75.6%、「知らない」が 23.0%となっている。

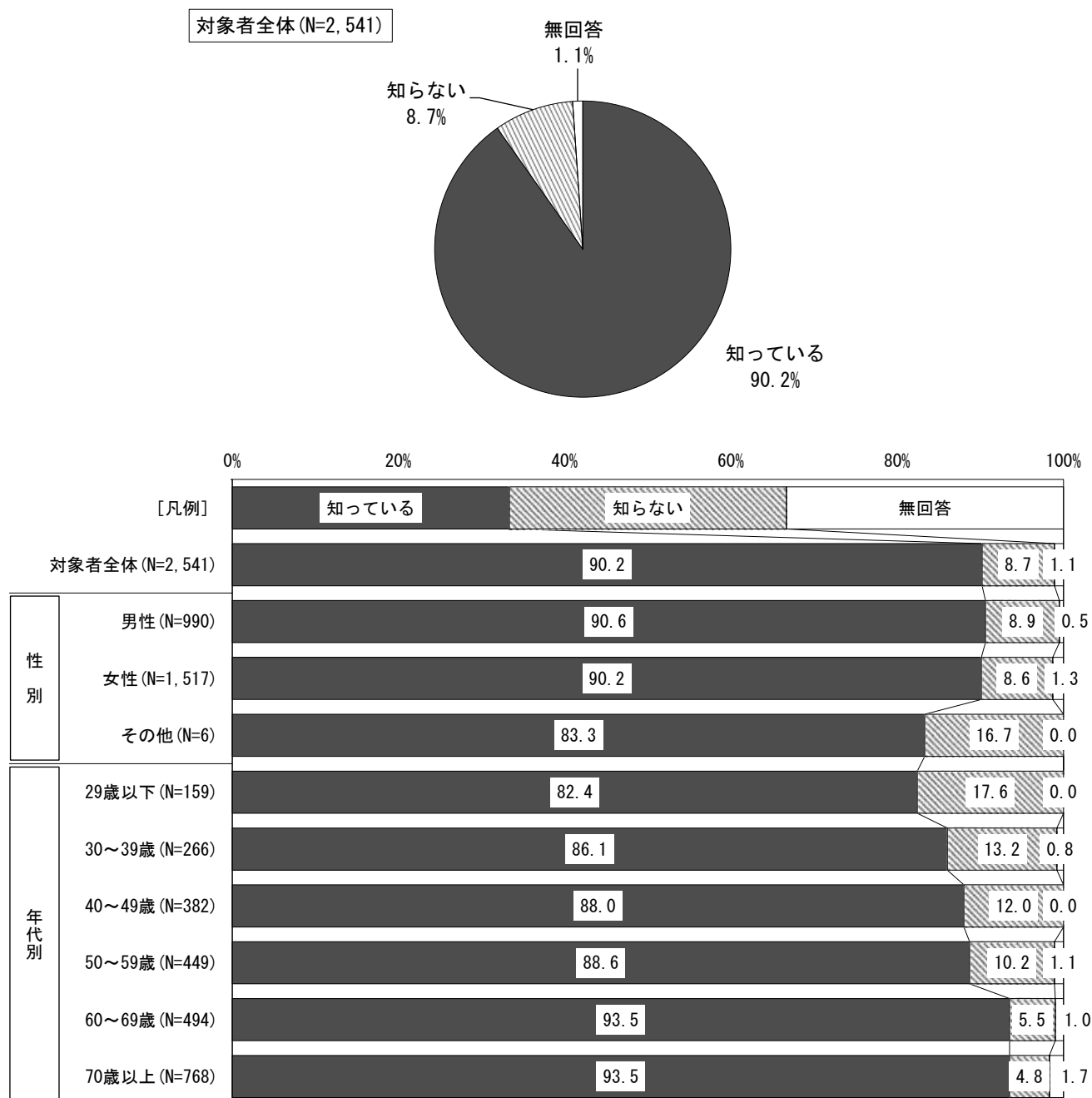
【性 別】「知っている」は男性が 79.9%と、女性の 72.8%より 7.1 ポイント高くなっている。また、「知らない」は女性が 25.6%と、男性の 19.4%より 6.2 ポイント高くなっている。

【年代別】「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇新雪除雪が行われている時間帯の認知度

問 7 あなたは、「札幌市の新雪除雪が、深夜から通勤・通学までの限られた時間に行われていること」を知っていますか。

札幌市の新雪除雪が、深夜から通勤・通学までの限られた時間に行われていることを「知っている」人は 90.2%



【全 体】新雪除雪が行われている時間帯の認知度は、「知っている」が 90.2%、「知らない」が 8.7% となっている。

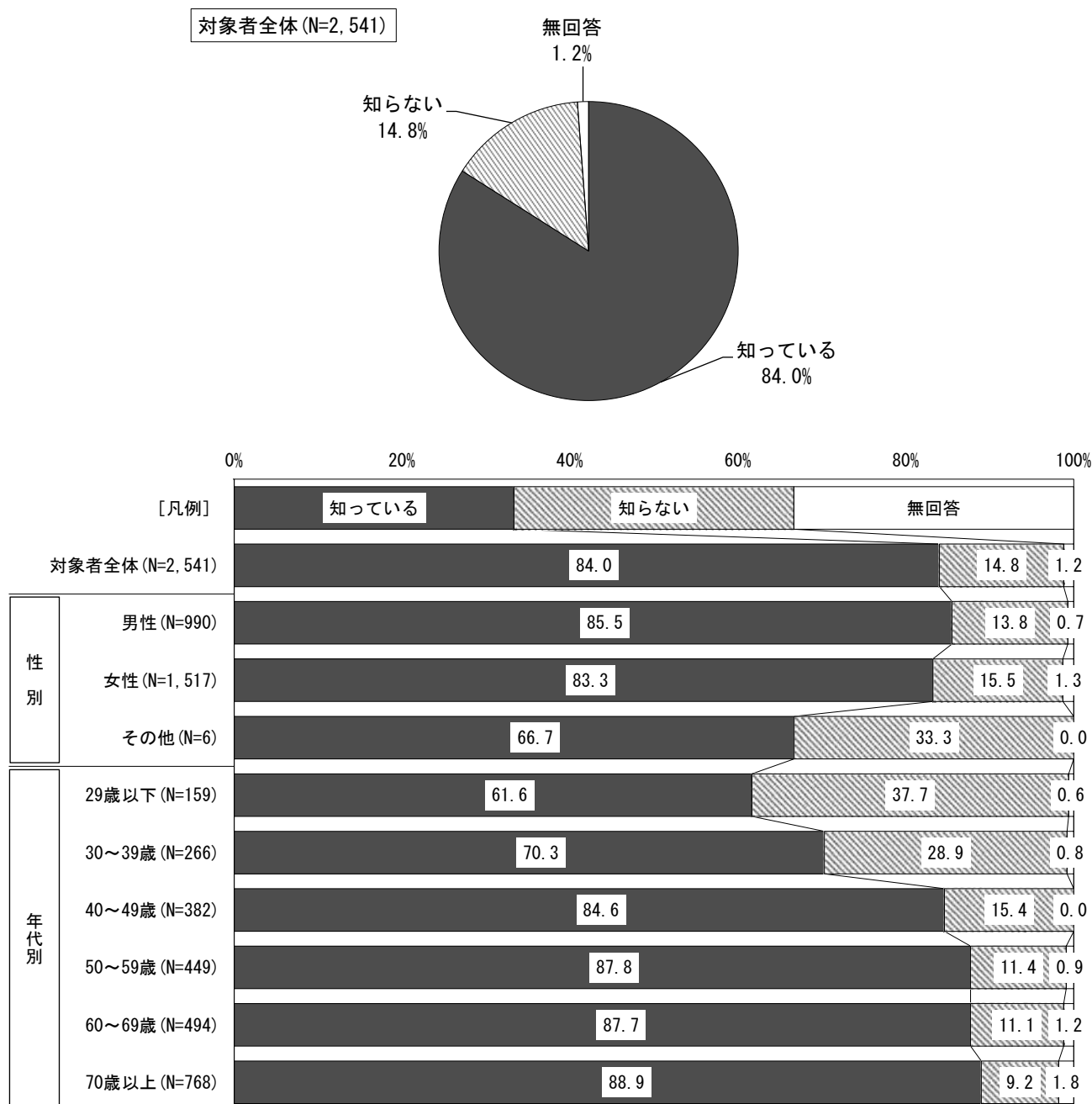
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」が 60 歳代と 70 歳以上 (93.5%) で最も高く、次いで 50 歳代 (88.6%)、40 歳代 (88.0%) となっている。

◇新雪除雪で玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理は各家庭で行うことの認知度

問 8 あなたは、「札幌市の新雪除雪で、玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理を、各家庭で行っていること」を知っていますか。

札幌市の新雪除雪で、玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理を、各家庭で行っていただいていることを「知っている」人は 84.0%



【全 体】新雪除雪で玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理は各家庭で行うことの認知度は、「知っている」が 84.0%、「知らない」が 14.8%となっている。

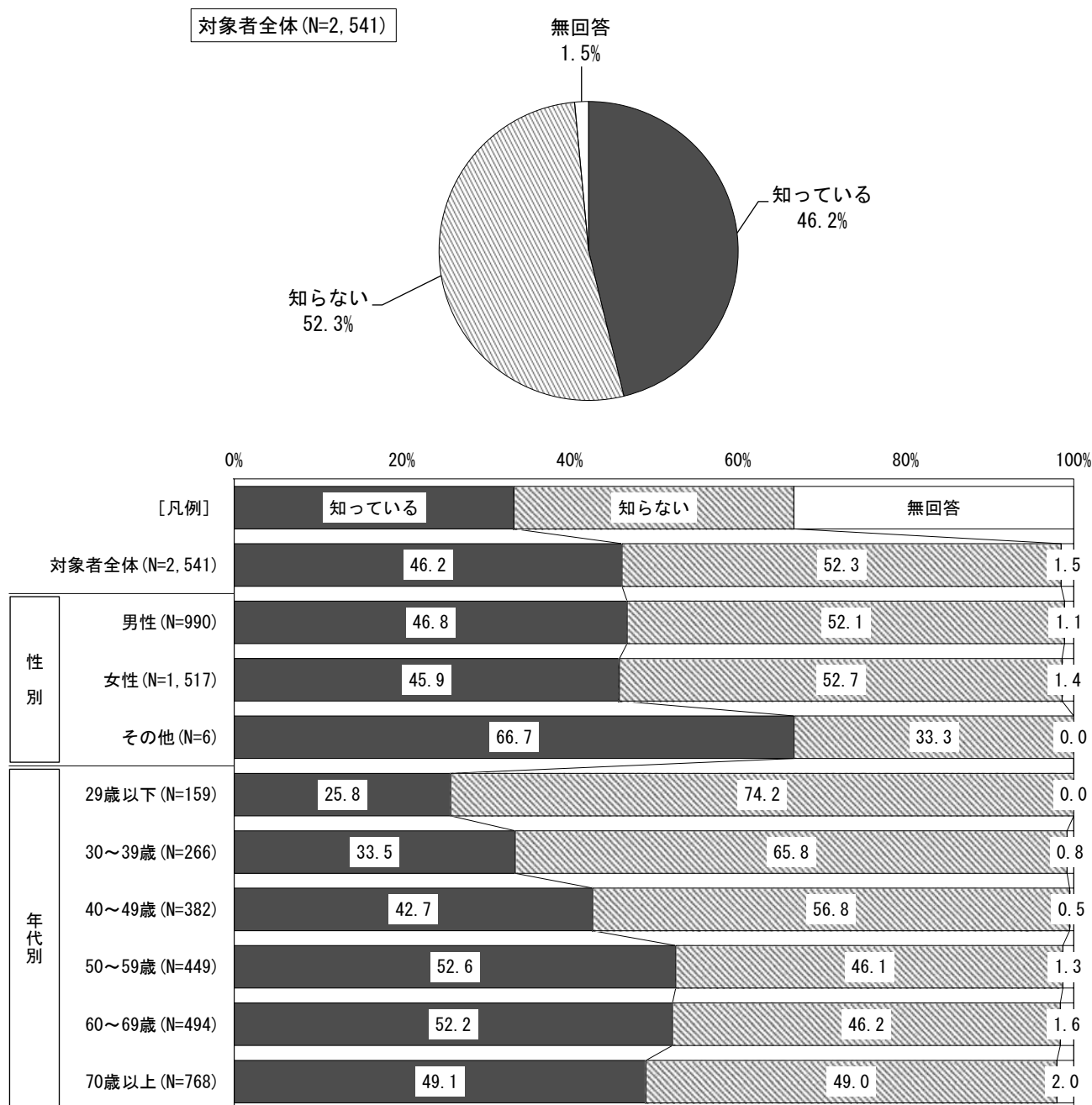
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」は 70 歳以上 (88.9%) で最も高く、次いで 50 歳代 (87.8%)、60 歳代 (87.7%) となっている。

◇除雪車がロードヒーティングや有料除排雪サービスを利用している場所にも雪を置くことの認知度

問9 あなたは、「札幌市の除雪（新雪除雪、路面整正）では、個人で設置したロードヒーティングや、有料除排雪サービスの利用により雪を処理した場所にも雪を置いていくこと」を知っていますか。

札幌市の除雪では、個人で設置したロードヒーティングや、有料除排雪サービスの利用により雪を処理した場所にも雪を置いていくことを「知っている」人は46.2%



【全 体】 除雪車がロードヒーティングや有料除排雪サービスを利用している場所にも雪を置くことの認知度は、「知っている」が46.2%、「知らない」が52.3%となっている。

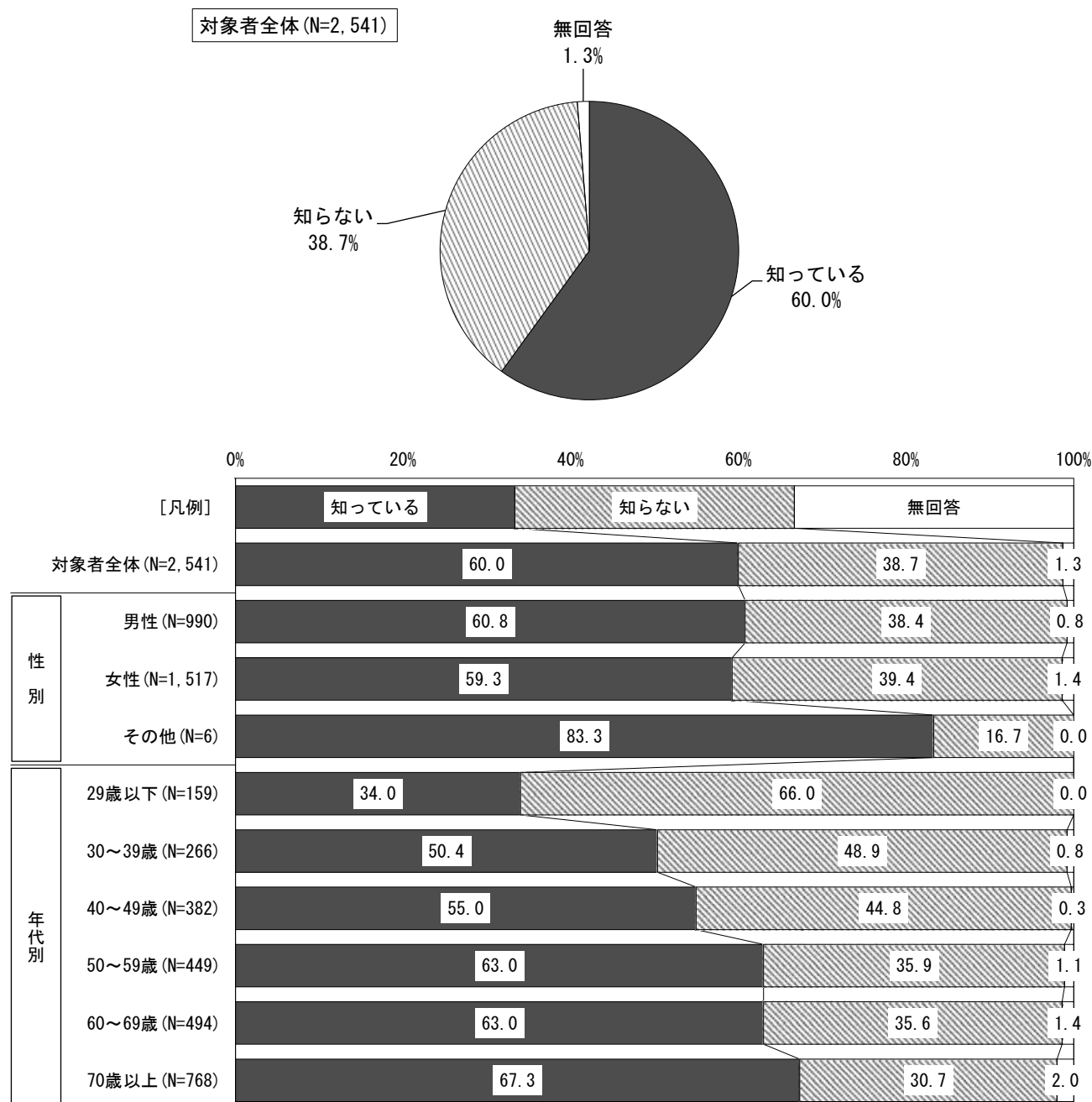
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「知っている」が50歳代（52.6%）で最も高く、最も低い29歳以下（25.8%）と比べると26.8ポイントの差となっている。

◇排雪は住宅街の生活道路では行っていないことの認知度

問 1 0 あなたは、「札幌市の排雪が、バス通りなどの幹線道路と一部の通学路のみを対象とし、住宅街の生活道路では行っていないこと」を知っていますか。

札幌市の排雪が、バス通りなどの幹線道路と一部の通学路のみを対象とし、住宅街の生活道路では行っていないことを「知っている」人は 60.0%



【全 体】 排雪は住宅街の生活道路では行っていないことの認知度は、「知っている」が 60.0%、「知らない」が 38.7%となっている。

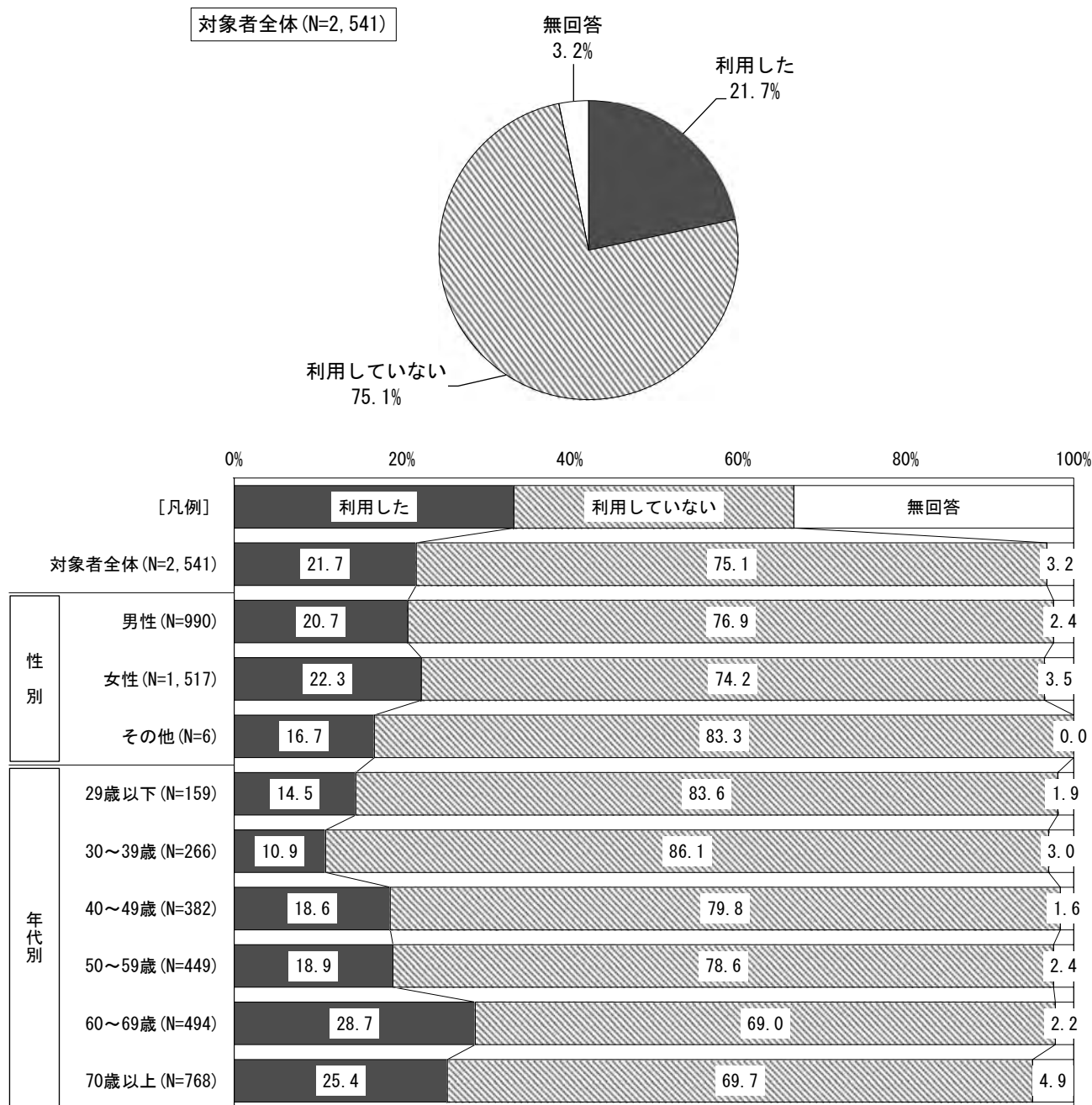
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「知っている」が 70 歳以上 (67.3%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (34.0%) と比べると 33.3 ポイントの差となっている。

◇民間企業などによる有料除排雪サービスの利用有無

問 1 1 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用しましたか。

民間企業などによる有料除排雪サービスを「利用した」人は 21.7%



【全 体】 民間企業などによる有料除排雪サービスの利用有無は、「利用した」が 21.7%、「利用していない」が 75.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

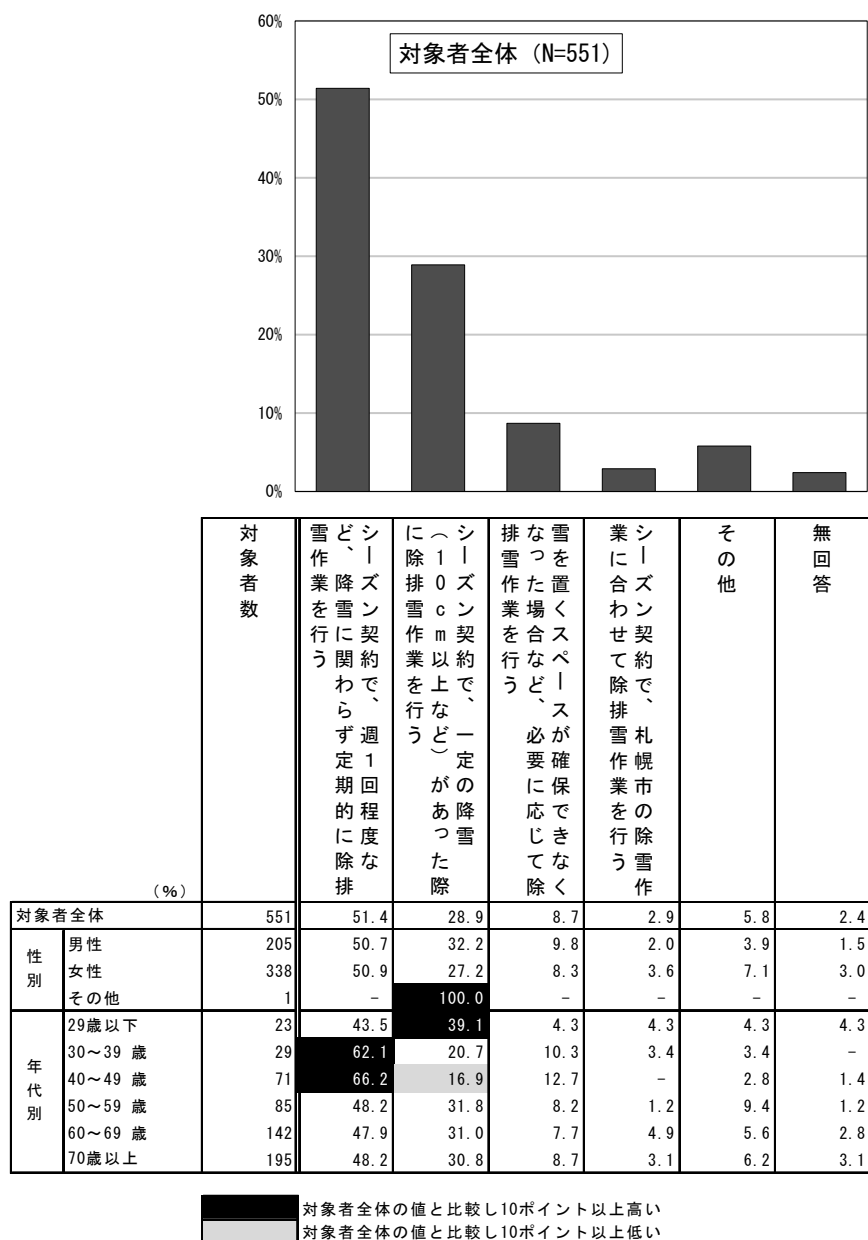
【年代別】 「利用した」が 60 歳代 (28.7%) で最も高く、次いで 70 歳以上 (25.4%)、50 歳代 (18.9%) となっている。

◇利用した有料除排雪サービスの作業内容

《問 1 1 で 「1 利用した」と答えた方にお聞きします。》

問 1 1-1 あなたが昨年度の冬に利用した有料除排雪サービスの作業について、あてはまるものに 1 つ だけ○をつけてください

利用した有料除排雪サービスの作業は「シーズン契約で、週 1 回程度など、降雪に関わらず定期的に除排雪作業を行う」と回答した人が 51.4%



【全 体】利用した有料除排雪サービスの作業内容は、「シーズン契約で、週 1 回程度など、降雪に関わらず定期的に除排雪作業を行う」が 51.4%、「シーズン契約で、一定の降雪（10cm 以上など）があった際に除排雪作業を行う」が 28.9%、「雪を置くスペースが確保できなくなった場合など、必要に応じて除排雪作業を行う」が 8.7%となっている。

【性 別】「シーズン契約で、一定の降雪（10cm 以上など）があった際に除排雪作業を行う」は男性が 32.2%と、女性の 27.2%より 5.0 ポイント高くなっている。

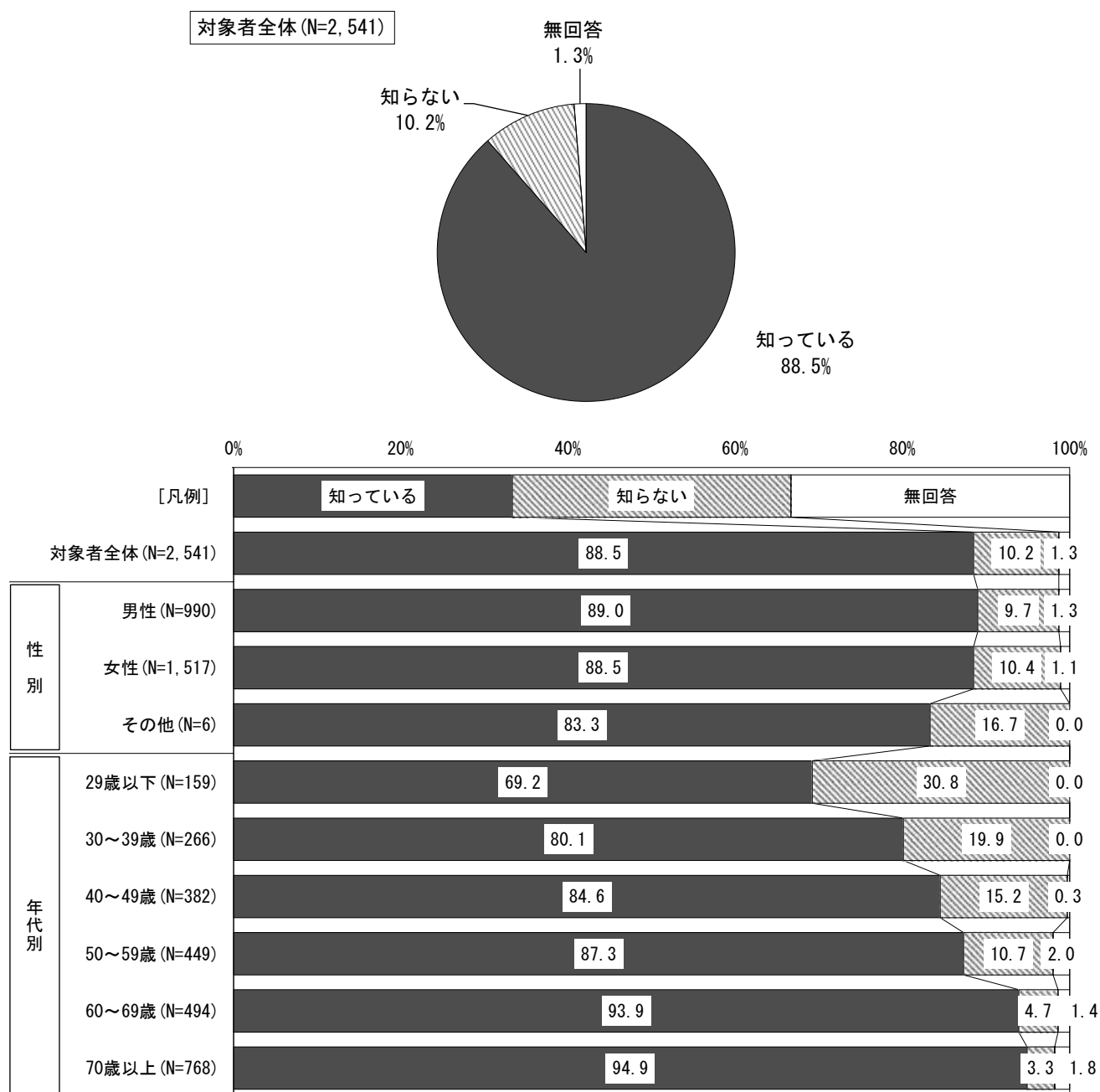
【年代別】「シーズン契約で、週 1 回程度など、降雪に関わらず定期的に除排雪作業を行う」が 40 歳代（66.2%）で最も高く、次いで 30 歳代（62.1%）、50 歳代と 70 歳以上（48.2%）となって

いる。

◇敷地内から道路へ雪出しをしてはいけないことの認知度

問 1 2 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」という冬の暮らしのルールを知っていますか。

敷地内の雪を道路に出してはいけないことを「知っている」人は 88.5%



【全 体】 敷地内から道路へ雪出しをしてはいけないことの認知度は、「知っている」が 88.5%、「知らない」が 10.2%となっている。

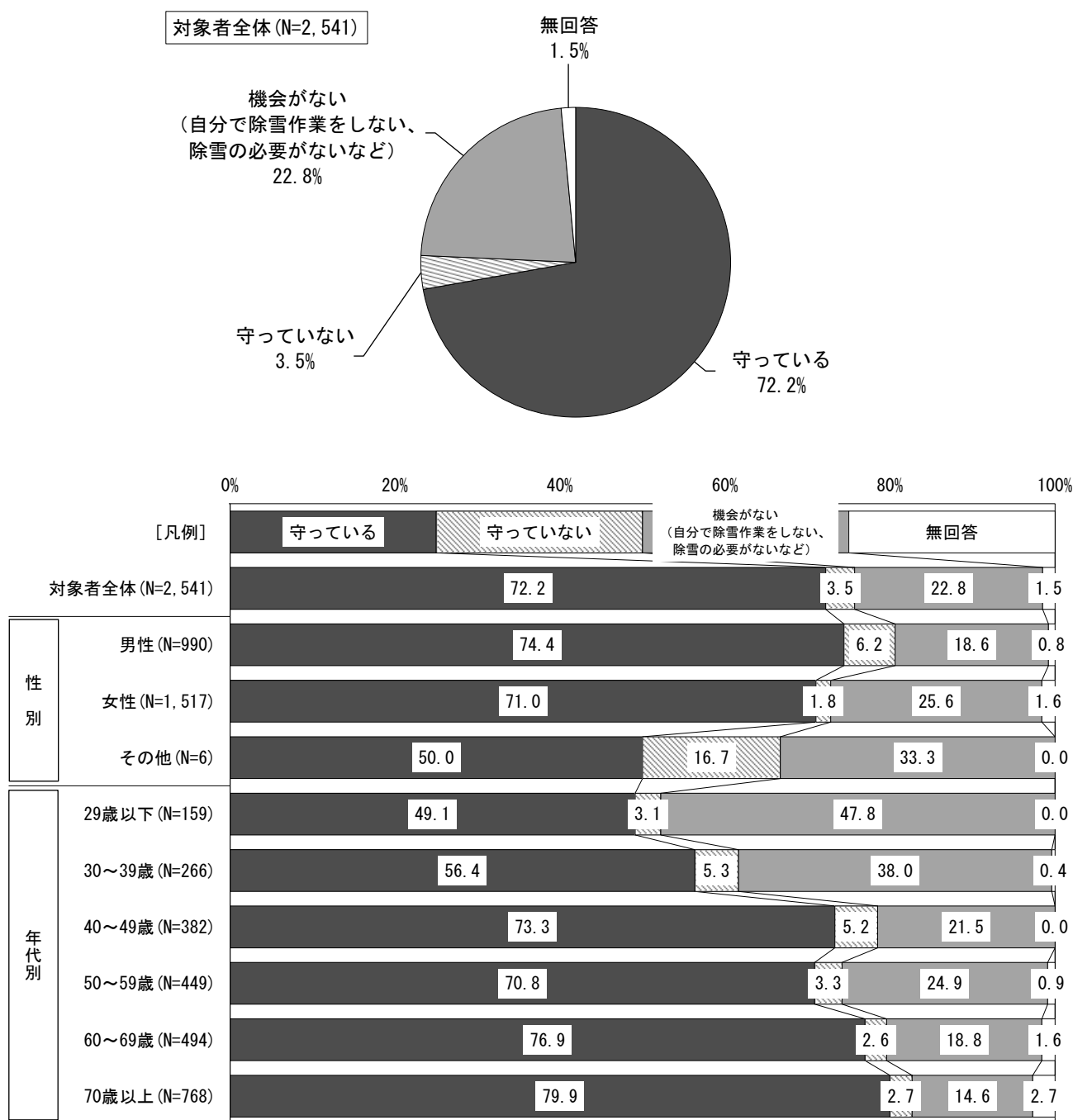
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇敷地内から道路へ雪出しをしてはいけないことを守っているか否か

問 1 3 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」という冬の暮らしのルールを守っていますか。

敷地内の雪を道路に出してはいけないことを冬の暮らしのルールとして「守っている」人は 72.2%



【全 体】敷地内から道路へ雪出しをしてはいけないことを守っているか否かは、「守っている」が 72.2%となっている。一方、「守っていない」が 3.5%、「機会がない」が 22.8%となっている。

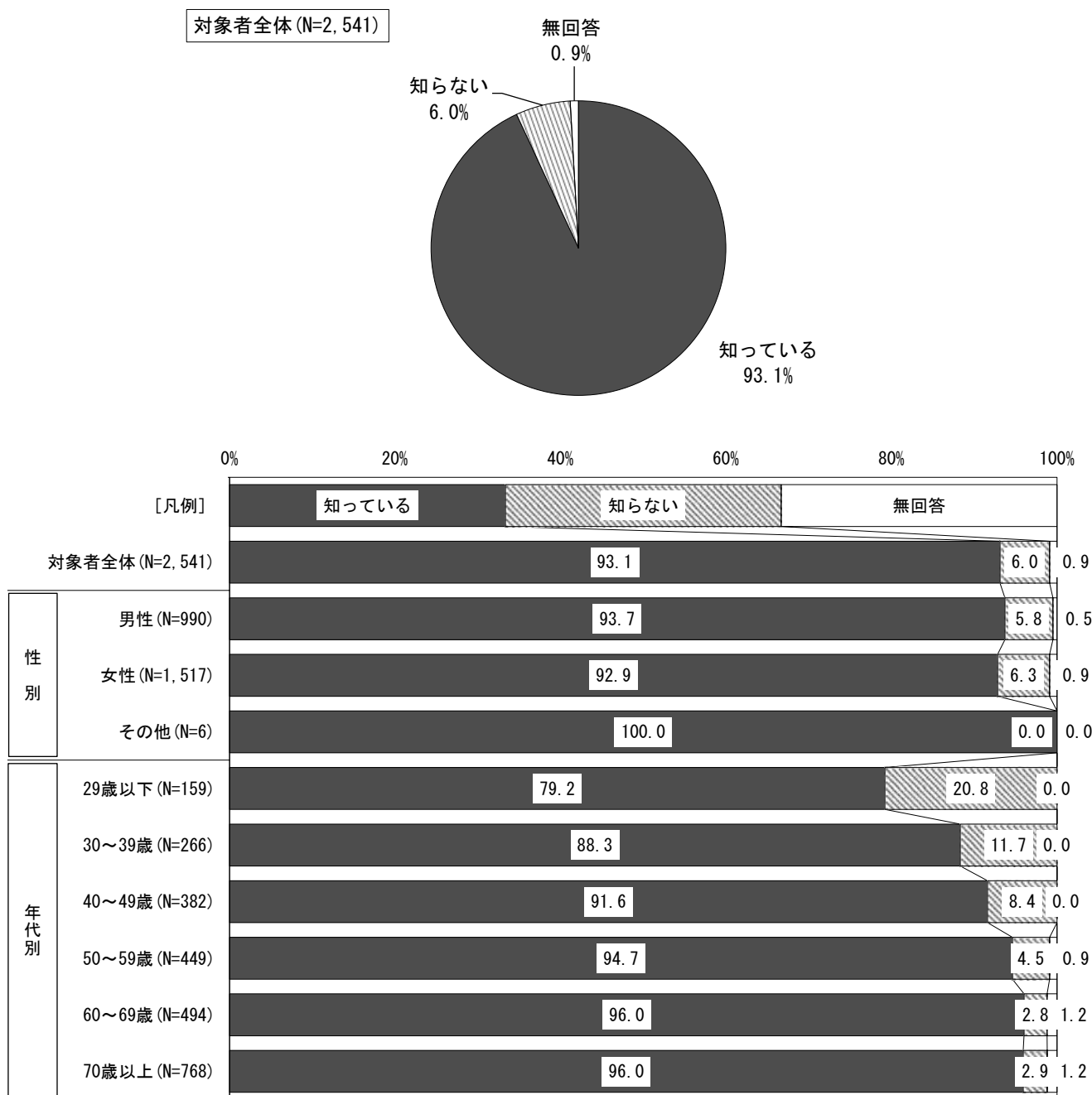
【性 別】「機会がない」は女性が 25.6%と、男性の 18.6%より 7.0 ポイント高くなっている。

【年代別】「守っている」が 70 歳以上 (79.9%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (49.1%) と比べると 30.8 ポイントの差となっている。

◇路上駐車をしてはいけないことの認知度

問 1 4 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを知っていますか。

「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを「知っている」人は 93.1%



【全 体】 路上駐車をしてはいけないことの認知度は、「知っている」が 93.1%、「知らない」が 6.0% となっている。

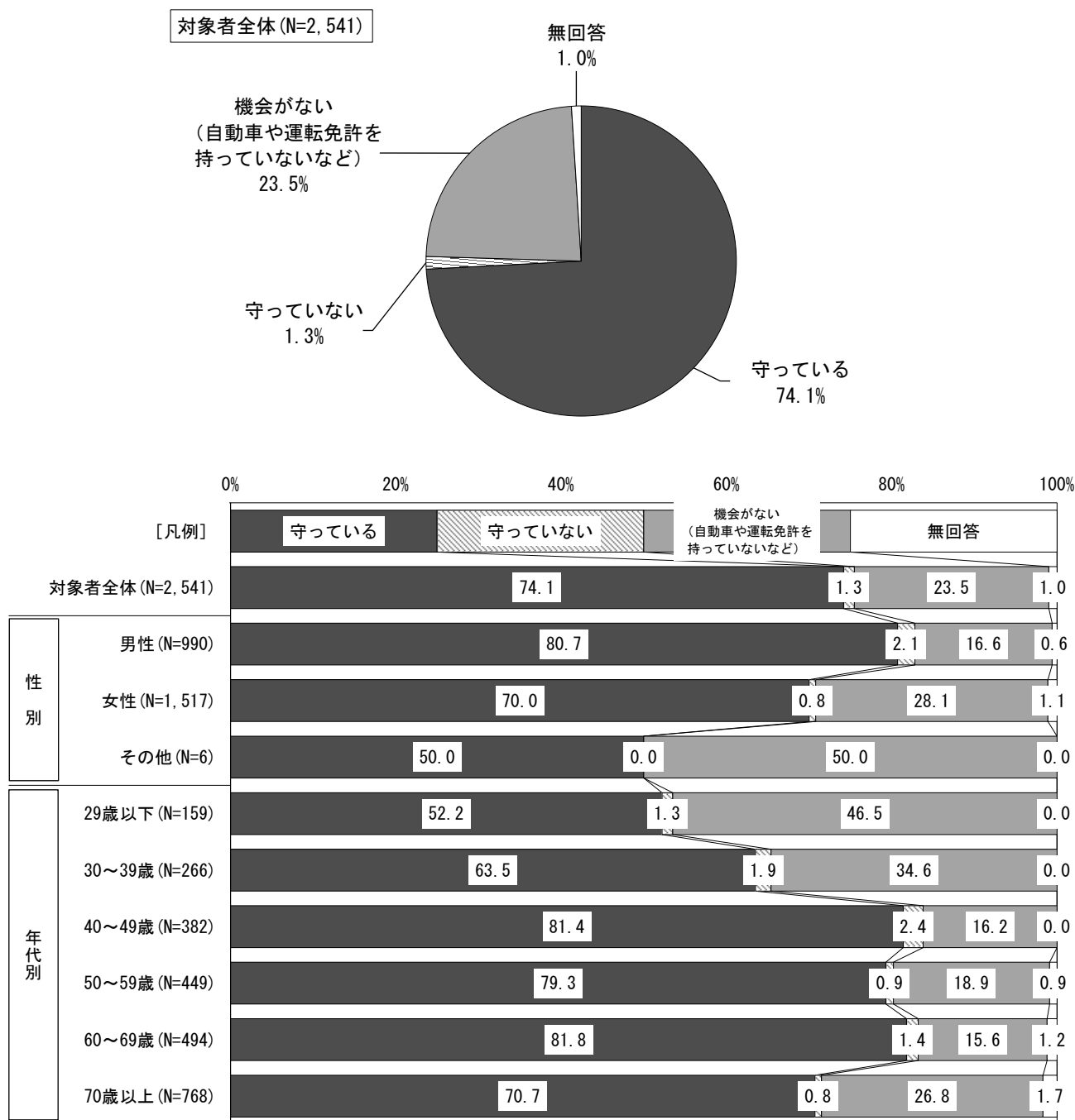
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「知っている」が 60 歳代と 70 歳以上（96.0%）で最も高く、次いで 50 歳代（94.7%）、40 歳代（91.6%）となっている。

◇路上駐車をしてはいけないことを実践しているか否か

問 1 5 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを守っていますか。

「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを「守っている」人は 74.1%



【全 体】路上駐車をしてはいけないことを実践しているか否かは、「守っている」が 74.1%となっている。一方、「守っていない」が 1.3%、「機会がない」が 23.5%となっている。

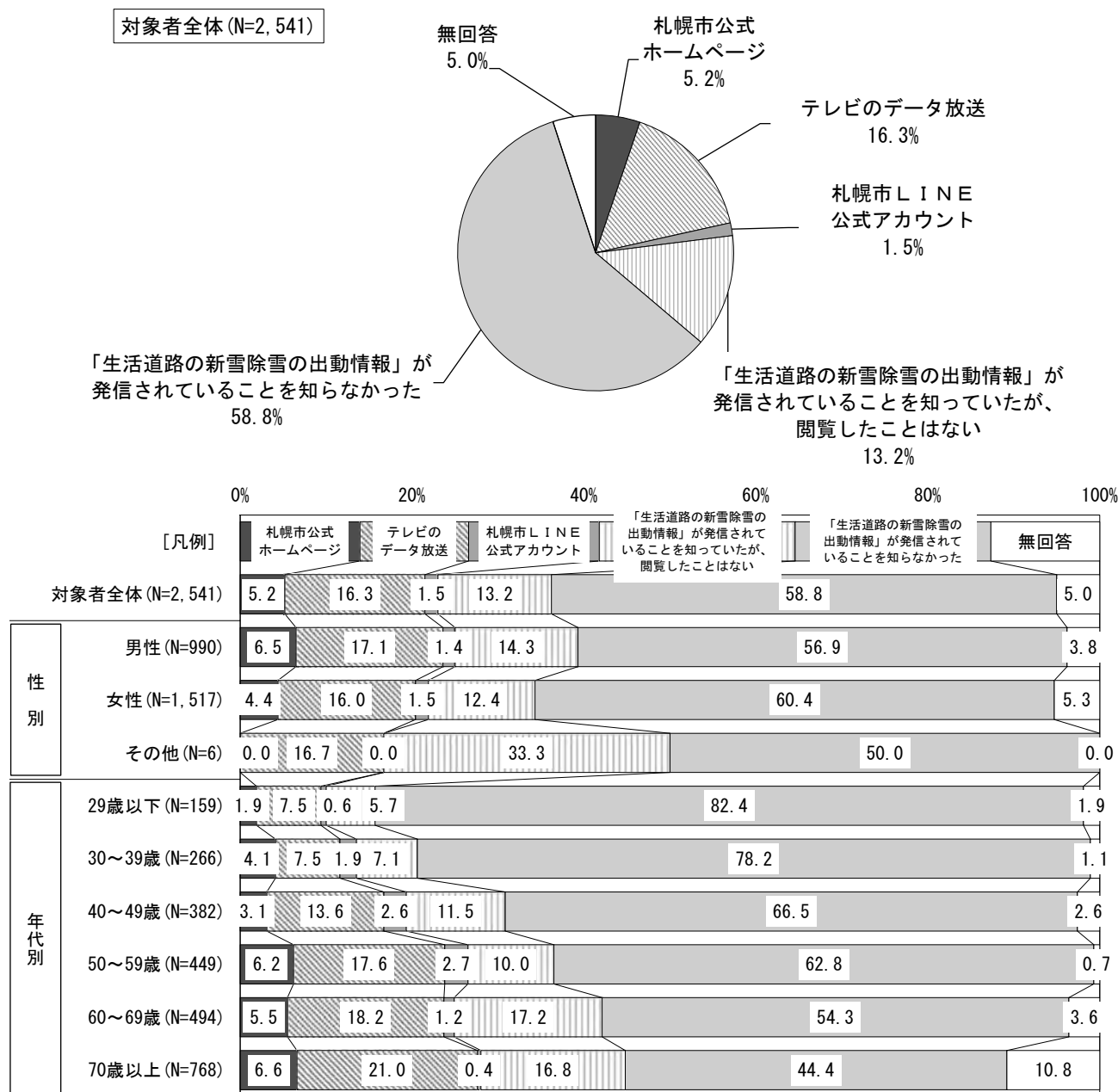
【性 別】「守っている」は男性が 80.7%と、女性の 70.0%より 10.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「守っている」が 60 歳代 (81.8%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (52.2%) と比べると 29.6 ポイントの差となっている。

◇生活道路の新雪除雪の出動情報を見た媒体

問 1 6 あなたは、「生活道路の新雪除雪の出動情報」について、主にどのメディアを閲覧しましたか。あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

生活道路の新雪除雪の出動情報を見た媒体は「テレビのデータ放送」と回答した人が 16.3%



【全 体】生活道路の新雪除雪の出動情報を見た媒体は、「札幌市公式ホームページ」が 5.2%、「テレビのデータ放送」が 16.3%、「札幌市LINE公式アカウント」が 1.5%、合わせると 23.0% となっている。一方、「生活道路の新雪除雪の出動情報」が発信されていることを知っていたが、閲覧したことはない」が 13.2%、「生活道路の新雪除雪の出動情報」が発信されていることを知らなかった」が 58.8%、合わせると 72.0% となっている。

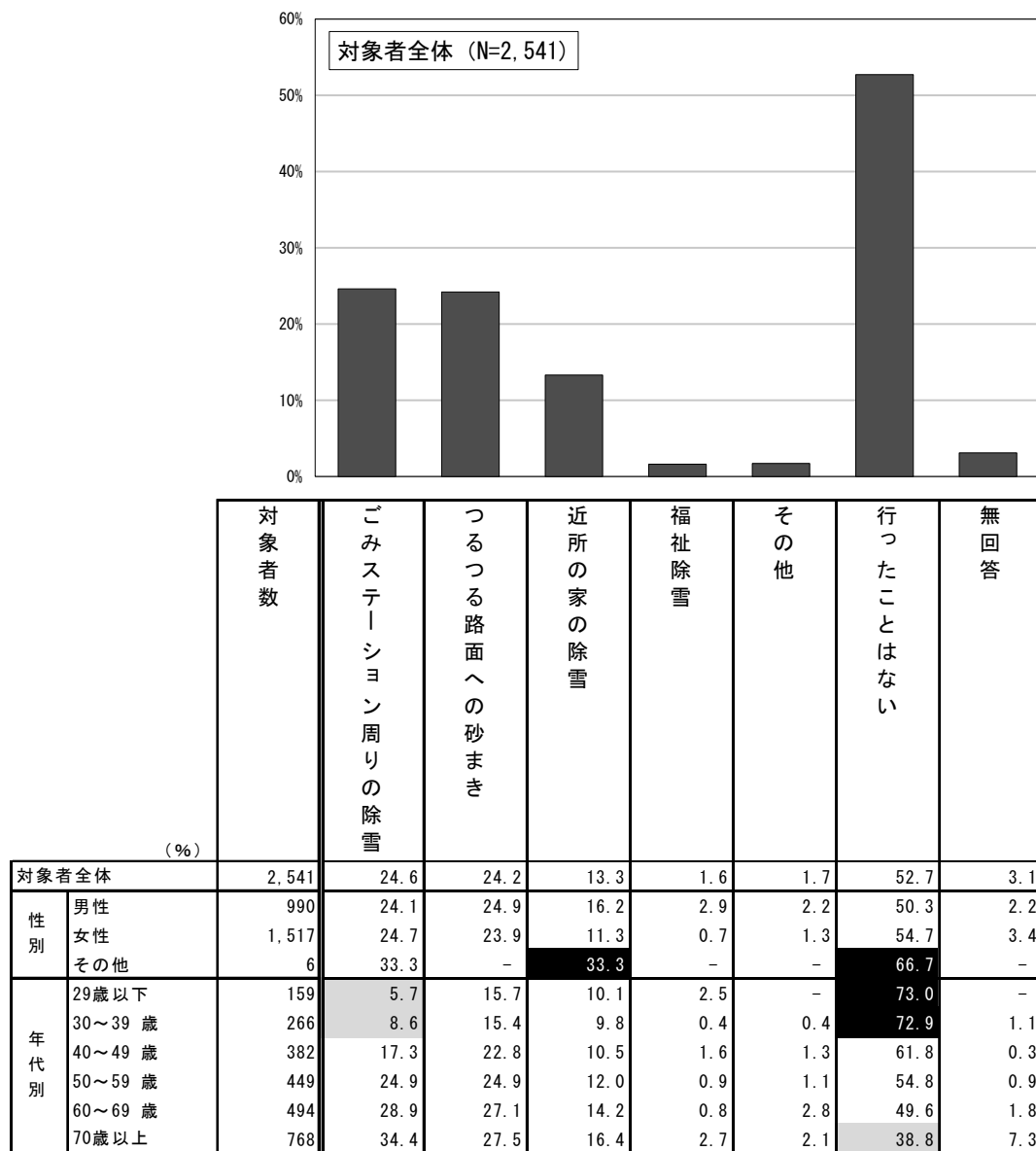
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「生活道路の新雪除雪の出動情報」が発信されていることを知らなかった」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇行ったことがある除雪ボランティア

問 1 7 あなたが、これまでに行ったことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

行ったことがある除雪ボランティアは「ごみステーション周りの除雪」と回答した人が 24.6%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】行ったことがある除雪ボランティアは、「ごみステーション周りの除雪」が 24.6%、「つるつる路面への砂まき」が 24.2%、「近所の家の除雪」が 13.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

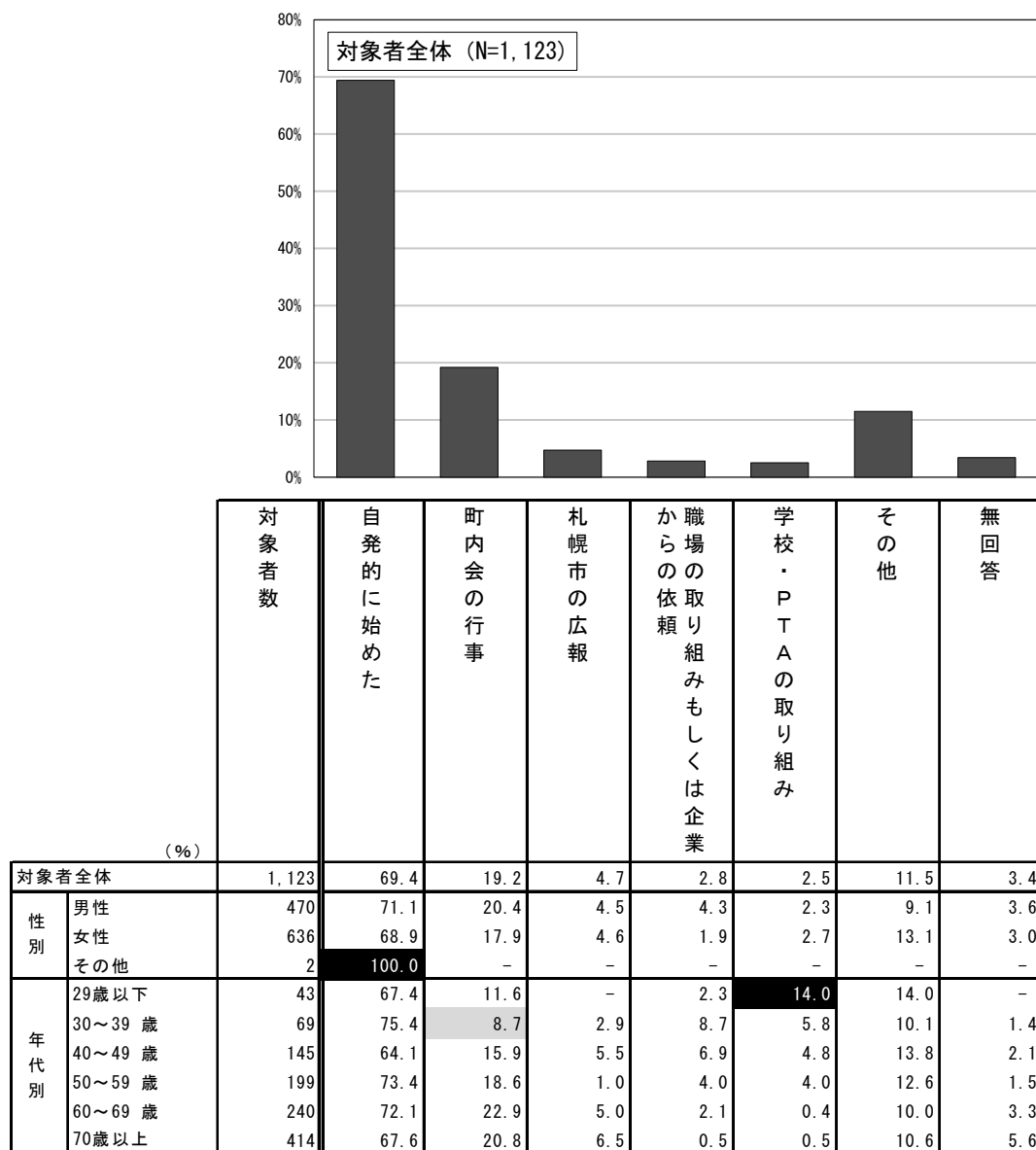
【年代別】「ごみステーション周りの除雪」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「行ったことはない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇除雪ボランティアを始めたきっかけ

《問17で「1」から「5」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問17-1 あなたが『除雪ボランティア』を始めたきっかけを教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

除雪ボランティアを始めたきっかけは「自発的に始めた」と回答した人が69.4%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 除雪ボランティアを始めたきっかけは、「自発的に始めた」が69.4%、「町内会の行事」が19.2%、「札幌市の広報」が4.7%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「自発的に始めた」が30歳代（75.4%）で最も高く、次いで50歳代（73.4%）、60歳代（72.1%）となっている。

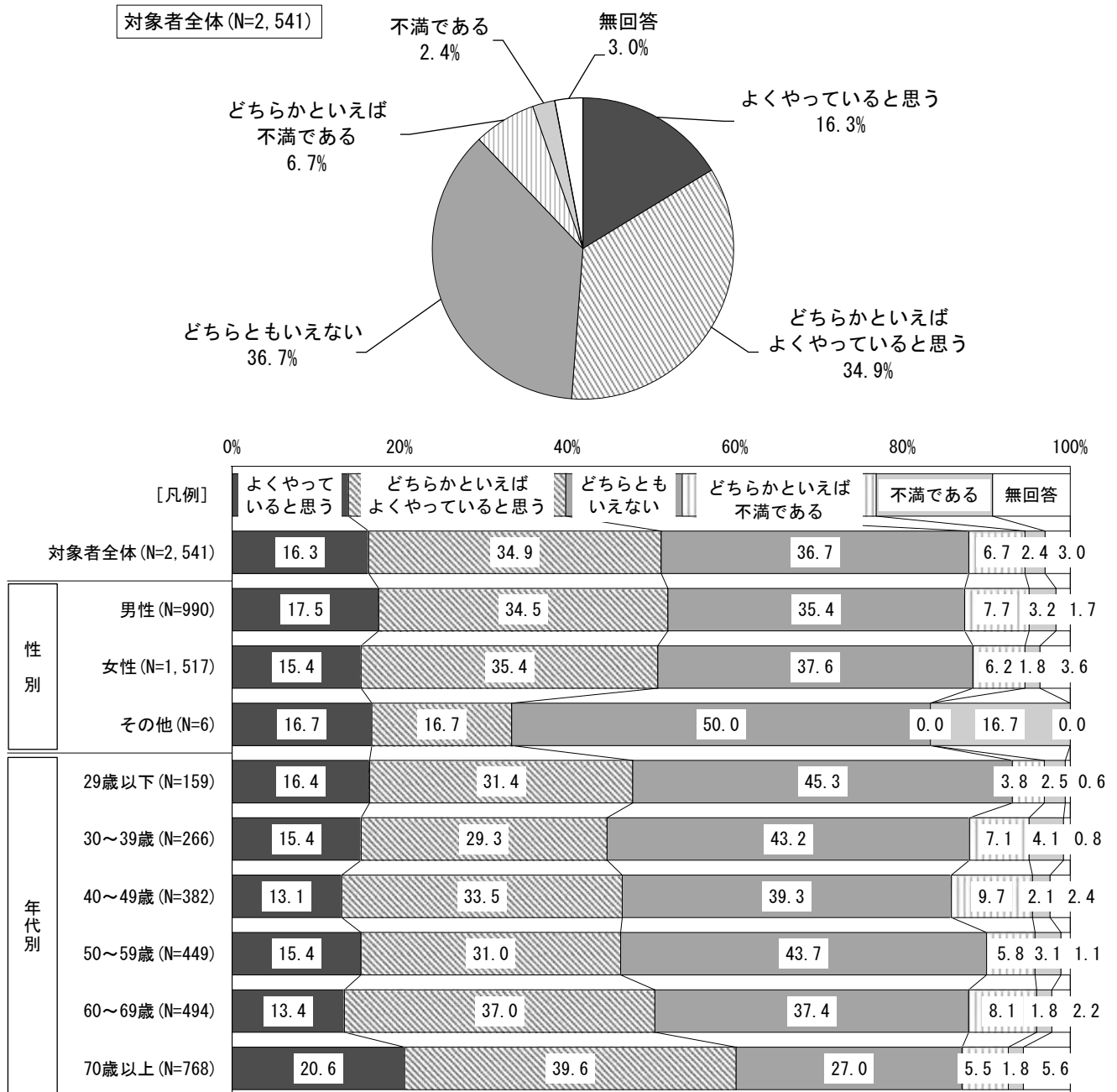
(3) 札幌市の仕事の取り組み方に対する評価について

◇市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価

問 1 8 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方に対して、どのように思いますか。

市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価は“よくやっていると思う”人が51.2%

※ “よくやっていると思う”（「よくやっていると思う」+「どちらかといえばよくやっていると思う」）



【全 体】市役所や区役所の仕事の取り組み方に対する全体の評価は、「よくやっていると思う」が16.3%、「どちらかといえばよくやっていると思う」が34.9%、合わせると51.2%となっている。一方、「どちらかといえば不満である」が6.7%、「不満である」が2.4%、合わせると9.2%となっている。

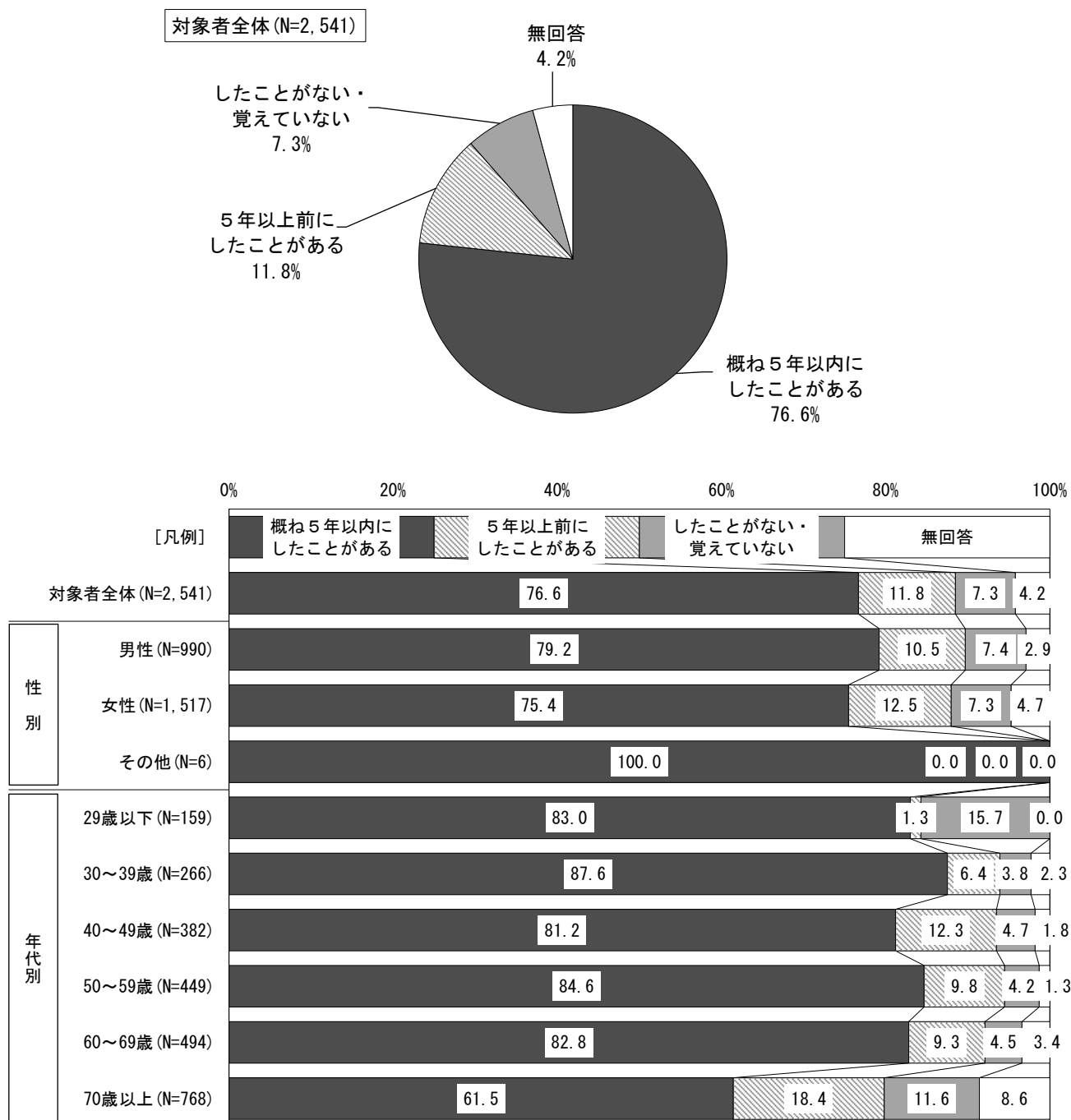
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“よくやっていると思う”が70歳以上（60.2%）で最も高く、次いで60歳代（50.4%）、29歳以下（47.8%）となっている。

◇市役所や区役所での手続き経験の有無

問 1 9 過去に市役所や区役所で届出や申請などの手続きをしたことがありますか。

市役所や区役所での手続き経験を「概ね5年以内にしたことがある」人は76.6%



【全 体】市役所や区役所での手続き経験の有無は、「概ね5年以内にしたことがある」が76.6%、「5年以上前にしたことがある」が11.8%となっている。一方、「したことがない・覚えていない」が7.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

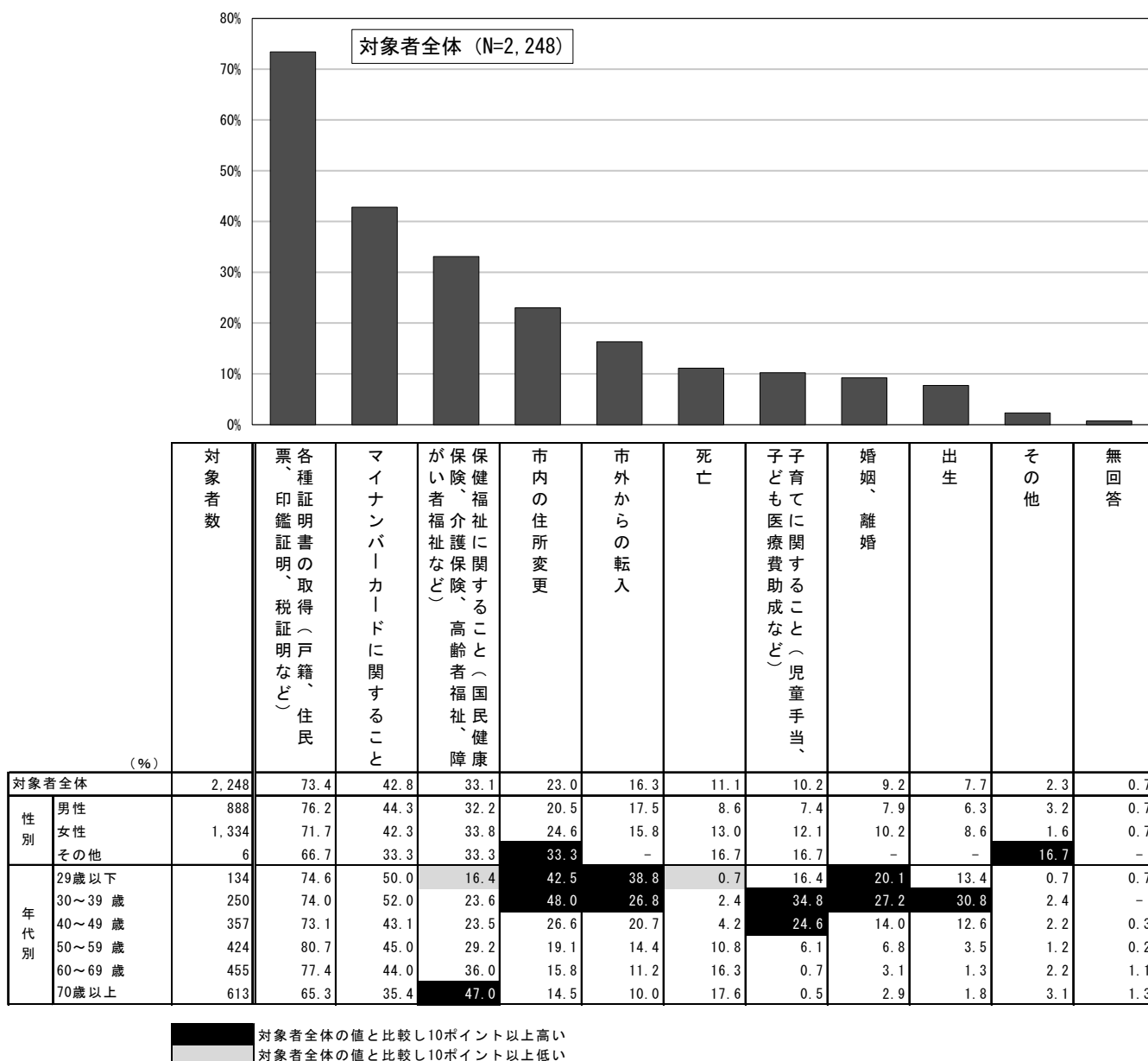
【年代別】「概ね5年以内にしたことがある」が30歳代(87.6%)で最も高く、最も低い70歳以上(61.5%)と比べると26.1ポイント差となっている。

◇市役所や区役所で行ったことがある手続き

《問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-1 あなたは、市役所や区役所でどのような手続きをしましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

市役所や区役所で行ったことがある手続きは「各種証明書の取得（戸籍、住民票、印鑑証明、税証明など）」と回答した人が73.4%



【全体】市役所や区役所で行ったことがある手続きは、「各種証明書の取得（戸籍、住民票、印鑑証明、税証明など）」が73.4%、「マイナンバーカードに関すること」が42.8%、「保健福祉に関すること（国民健康保険、介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉など）」が33.1%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「各証明書の取得（戸籍、住民票、印鑑証明、税証明など）」が50歳代（80.7%）で最も高く、次いで60歳代（77.4%）、29歳以下（74.6%）となっている。

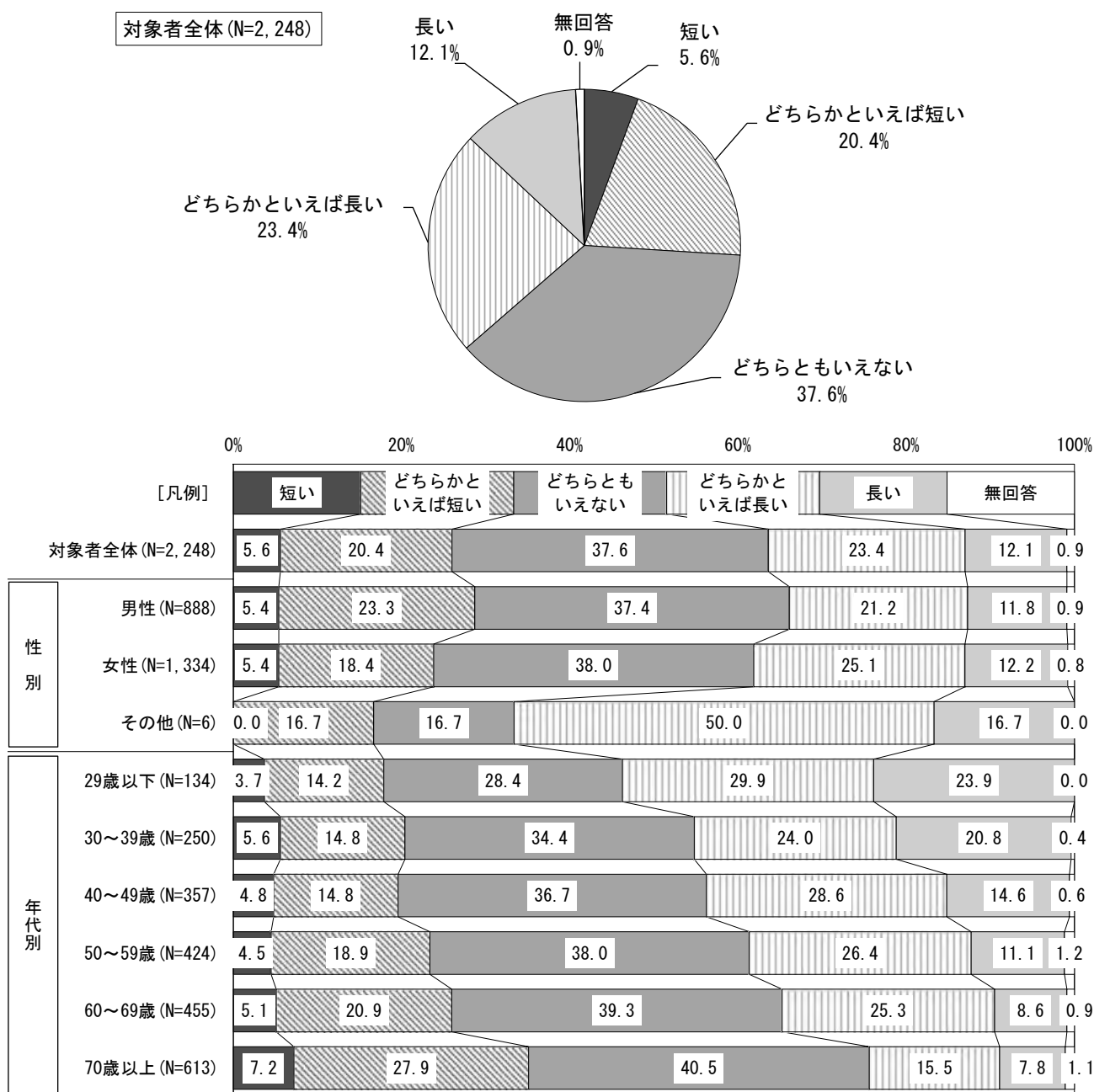
◇市役所や区役所での手続きの待ち時間に対する印象

《引き続き、問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-2 あなたは、市役所や区役所の届出や申請などの手続きについて、待ち時間をどのように思いますか。

市役所や区役所での手続きの待ち時間は“短い”と回答した人が26.0%

※ “短い”（「短い」＋「どちらかといえば短い」）



【全 体】市役所や区役所での手続きの待ち時間は、「短い」が5.6%、「どちらかといえば短い」が20.4%、合わせると26.0%となっている。一方、「どちらかといえば長い」が23.4%、「長い」が12.1%、合わせると35.5%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“長い”は年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。

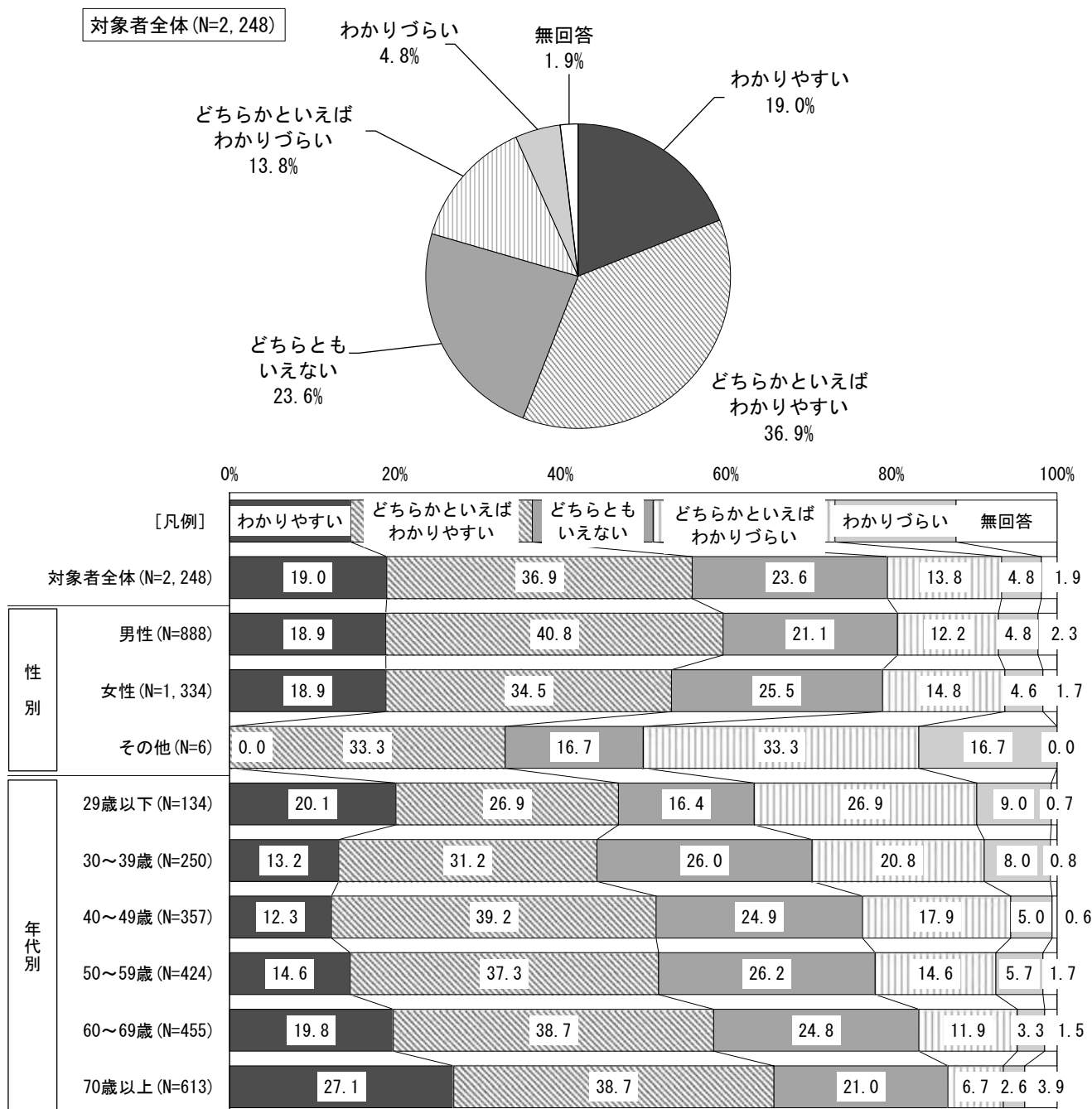
◇市役所や区役所での手続きのわかりやすさに対する印象

《引き続き、問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-3 あなたは、市役所や区役所の届出や申請などの手続きについて、わかりやすいと思いますか。

手続きについて“わかりやすい”と回答した人が55.9%

※ “わかりやすい”（「わかりやすい」＋「どちらかといえばわかりやすい」）



【全 体】市役所や区役所での手続きのわかりやすさは、「わかりやすい」が19.0%、「どちらかといえばわかりやすい」が36.9%、合わせると55.9%となっている。一方、「どちらかといえばわかりづらい」が13.8%、「わかりづらい」が4.8%、合わせると18.5%となっている。

【性 別】「わかりやすい」は男性が59.7%と、女性の53.4%より6.3ポイント高くなっている。

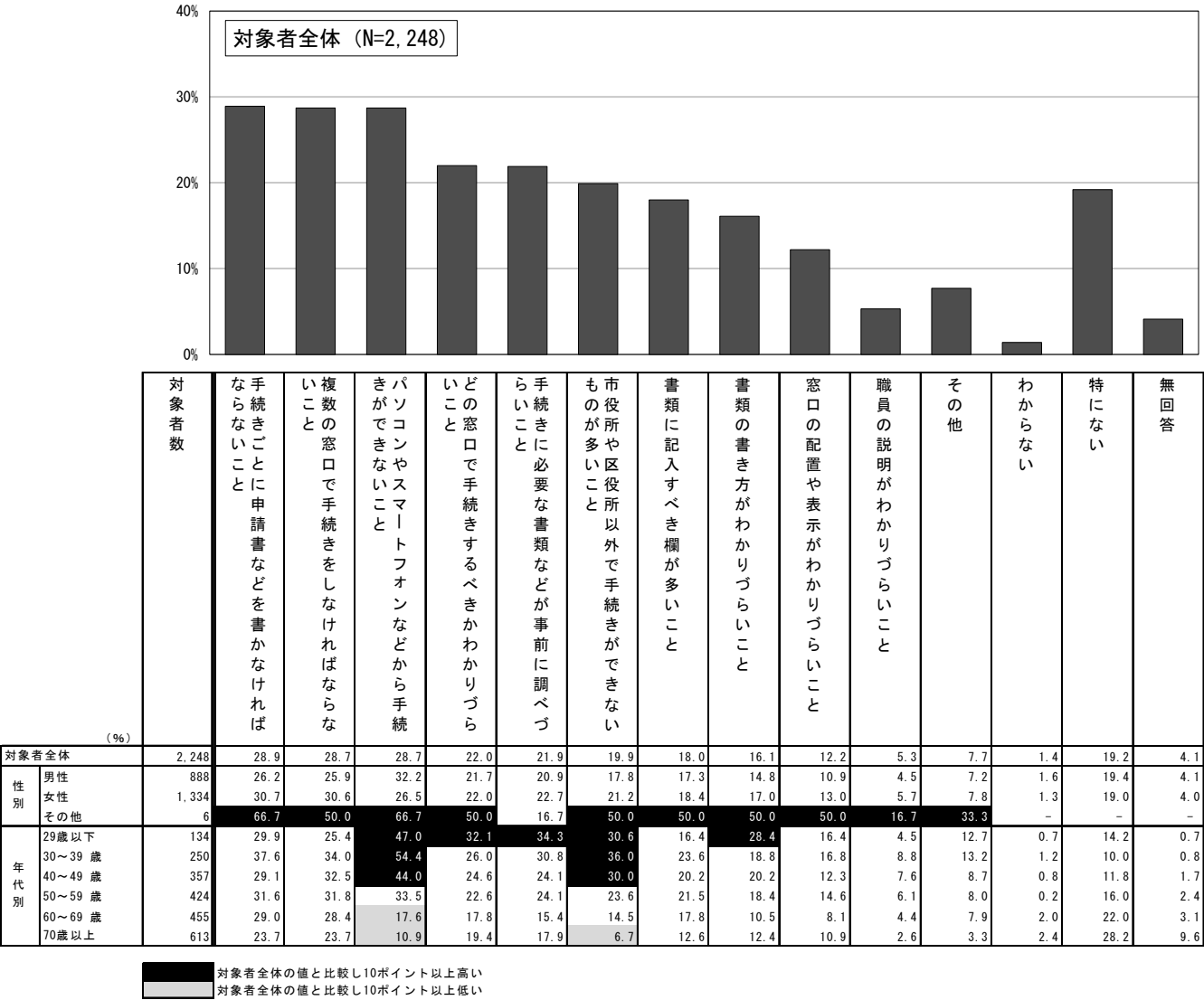
【年代別】「わかりやすい」が70歳以上（65.7%）で最も高く、次いで60歳代（58.5%）、50歳代（51.9%）となっている。

◇改善を望む手続きの内容

《引き続き、問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-4 あなたは、市役所や区役所の手続きにおいて、どのようなことを改善すべきと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

改善を望む手続きの内容は「手続きごとに申請書などを書かなければならないこと」と回答した人が28.9%



- 【全体】市役所や区役所の手続きにおいて、改善を望む手続きの内容は、「手続きごとに申請書などを書かなければならないこと」が28.9%、「複数の窓口で手続きをしなければならいこと」、「パソコンやスマートフォンなどから手続きができないこと」が28.7%となっている。
- 【性別】「パソコンやスマートフォンなどから手続きができないこと」は男性が32.2%と、女性の26.5%より5.7ポイント高くなっている。
- 【年代別】59歳以下では「パソコンやスマートフォンなどから手続きができないこと」が、60歳代では「手続きごとに申請書などを書かなければならないこと」が、70歳以上では「手続きごとに申請書などを書かなければならないこと」、「複数の窓口で手続きしなければならいこと」が最も高くなっている。

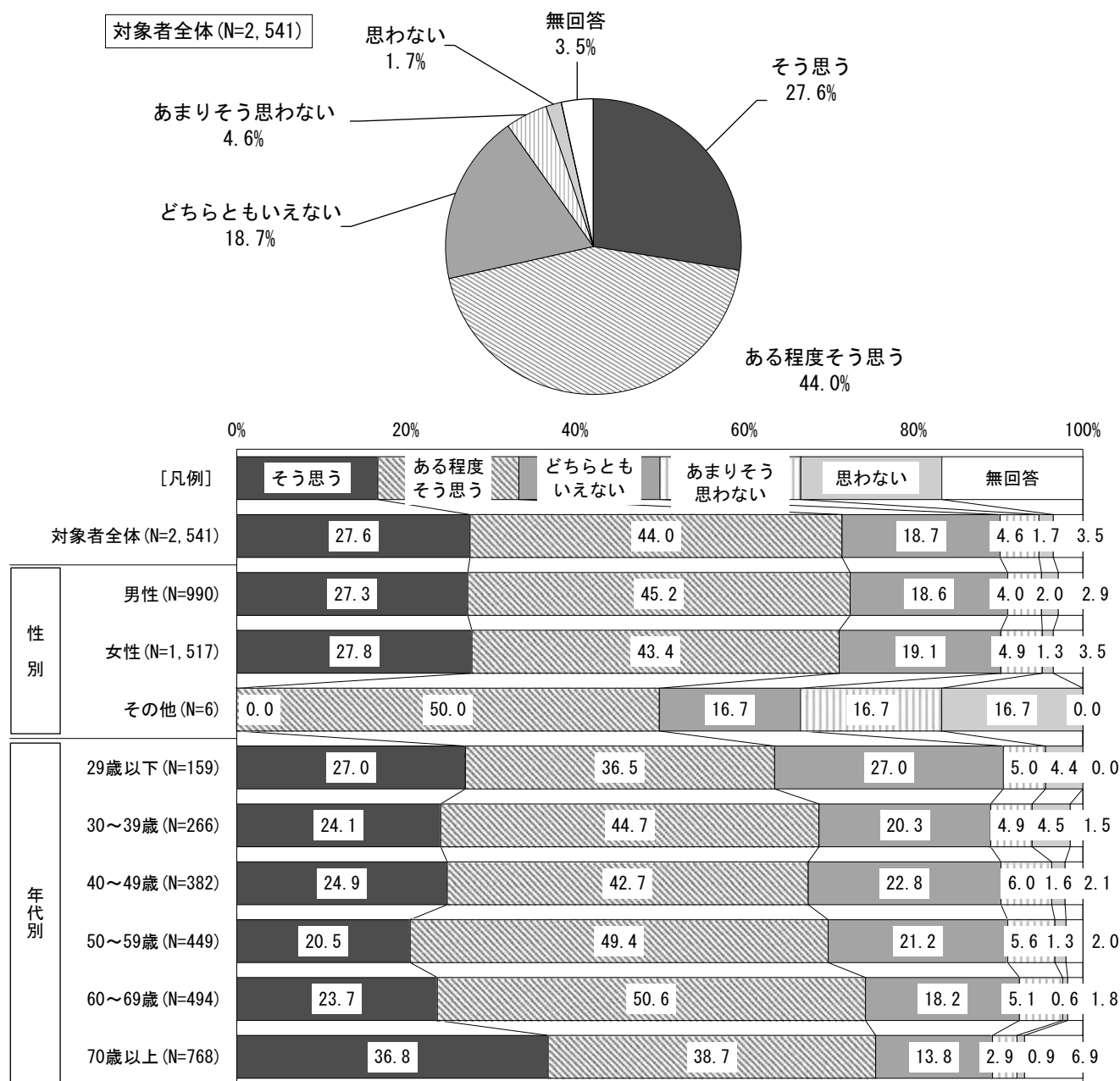
◇市役所の仕事の取り組み方の評価

問 2 0 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方について、よくやっていると思いますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

ア 窓口や電話で親切な対応を行っている

窓口や電話で親切な対応を行っているかについて “そう思う” と回答した人が 71.6%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）



【全 体】 窓口や電話で親切な対応を行っているかについて、「そう思う」が 27.6%、「ある程度そう思う」が 44.0%、合わせると 71.5%となっている。一方、「あまりそう思わない」が 4.6%、「思わない」が 1.7%、合わせると 6.2%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “そう思う” が 70 歳以上 (75.5%) で最も高く、次いで 60 歳代 (74.3%)、50 歳代 (69.9%) となっている。

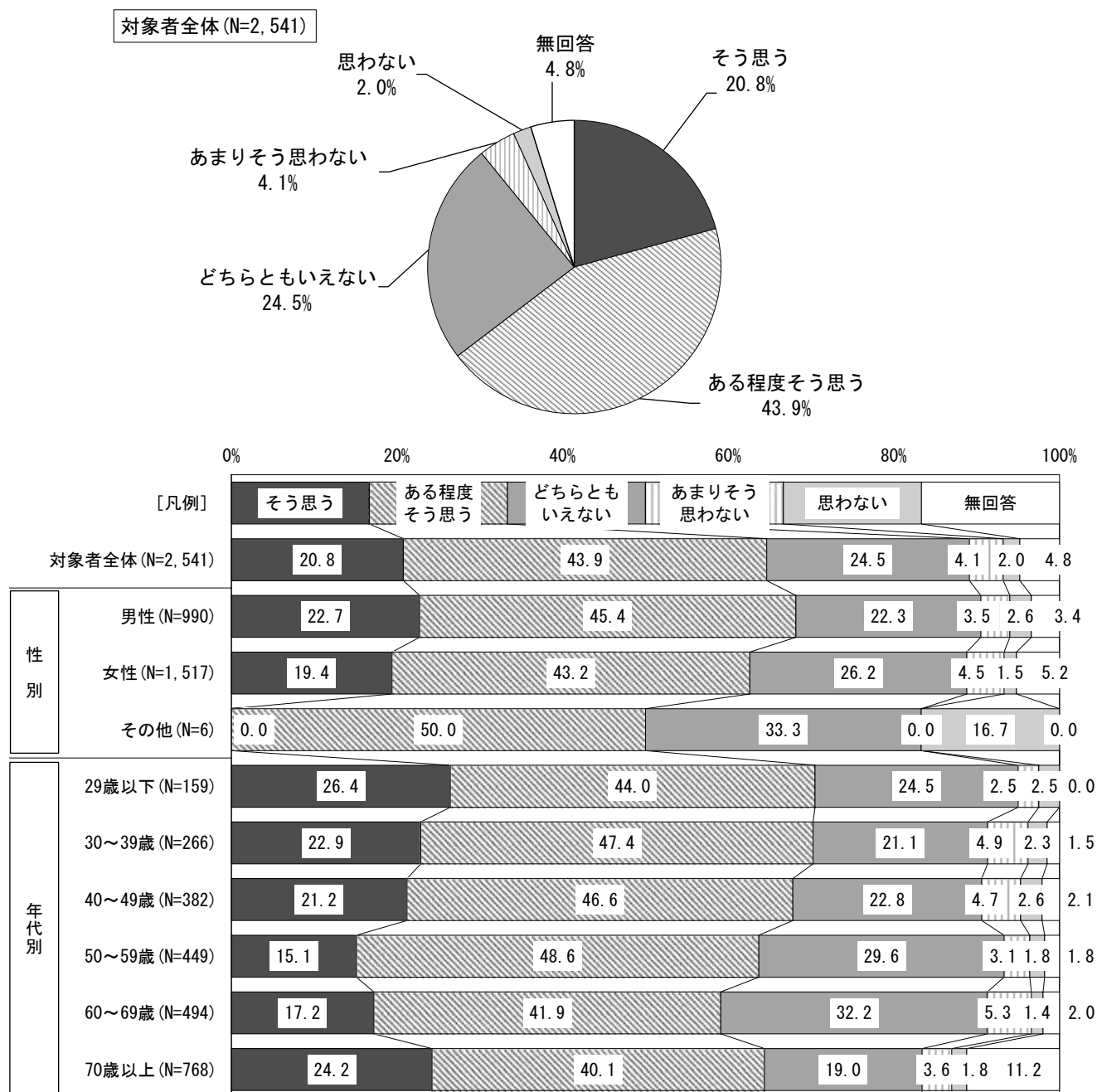
◇市役所の仕事の取り組み方の評価

問 2 0 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方について、よくやっていると思いますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

イ 必要な業務（サービス）を実施している

必要な業務（サービス）を実施しているかについて “そう思う” と回答した人が 64.7%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）



【全 体】 必要な業務（サービス）を実施しているかについて、「そう思う」が 20.8%、「ある程度そう思う」が 43.9%、合わせると 64.7%となっている。一方、「あまりそう思わない」が 4.1%、「思わない」が 2.0%、合わせると 6.0%となっている。

【性 別】 “そう思う” は男性が 68.1%と、女性の 62.7%より 5.4 ポイント高くなっている。

【年代別】 “そう思う” が 29 歳以下 (70.4%) で最も高く、次いで 30 歳代 (70.3%)、40 歳代 (67.8%) となっている。

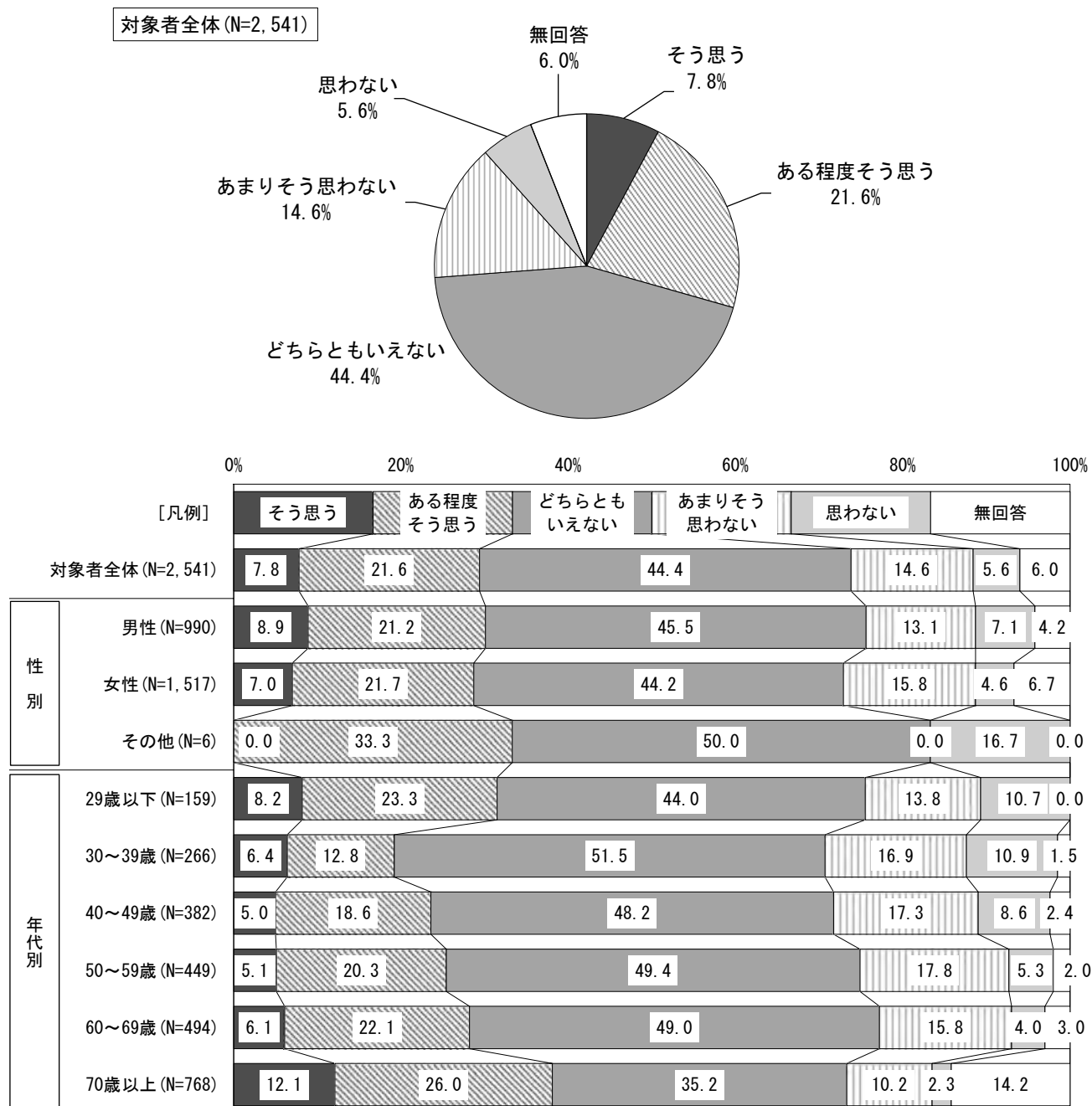
◇市役所の仕事の取り組み方の評価

問 2 0 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方について、よくやっていると思いますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている

事務や事業の効率化、見直しを進めているかについて “そう思う” と回答した人が 29.4%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）



【全 体】事務や事業の効率化、見直しを進めているかについて、「そう思う」が7.8%、「ある程度そう思う」が21.6%、合わせると29.3%となっている。一方、「あまりそう思わない」が14.6%、「思わない」が5.6%、合わせると20.2%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“そう思う”が70歳以上(38.2%)で最も高く、次いで29歳以下(31.4%)、60歳代(28.1%)となっている。

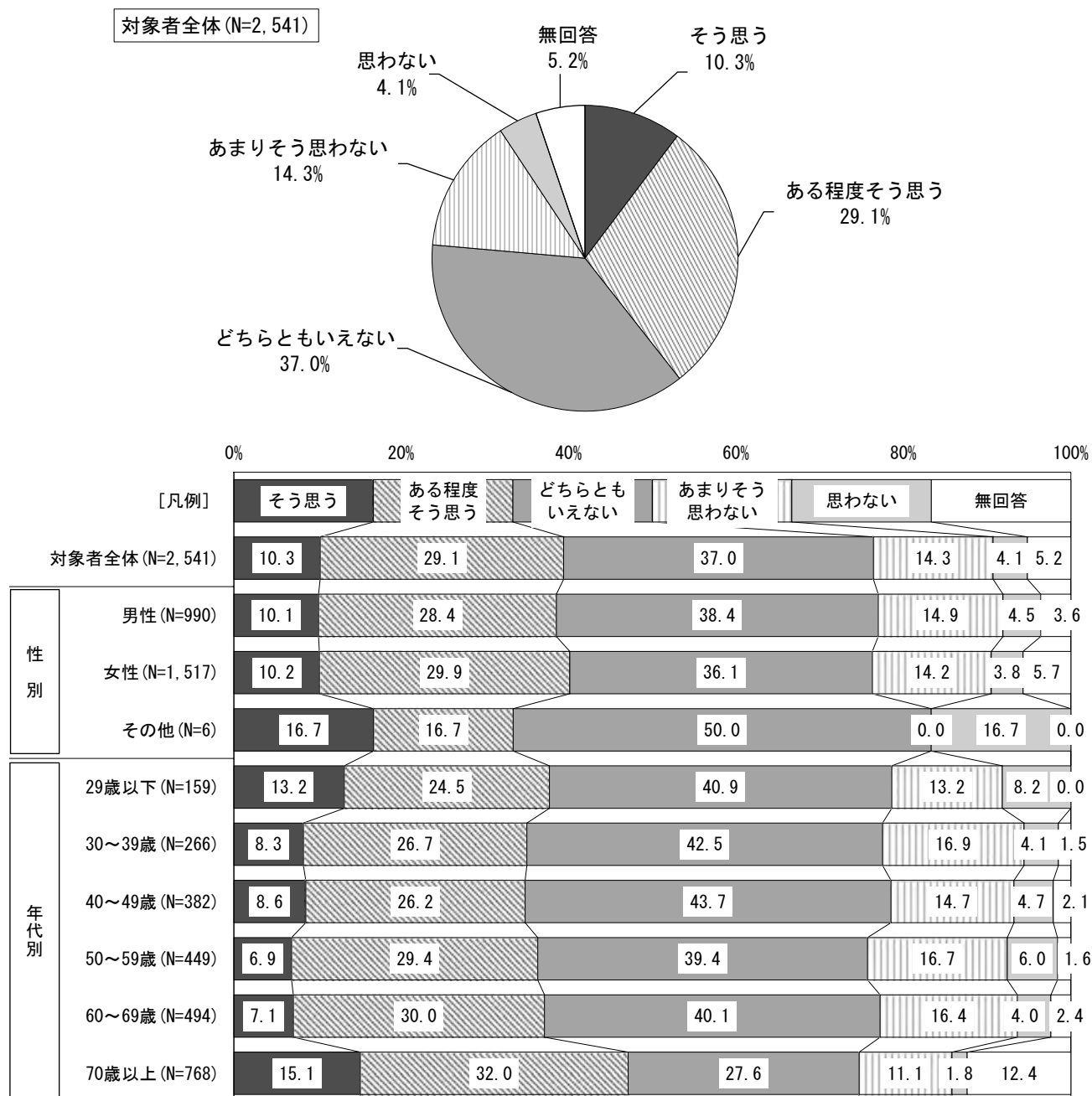
◇市役所の仕事の取り組み方の評価

問 2 0 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方について、よくやっていると思いますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

エ 市政情報を積極的に発信している

市政情報を積極的に発信しているかについて “そう思う” と回答した人が 39.4%

※ “そう思う”（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）



【全 体】 市政情報を積極的に発信しているかについて、「そう思う」が 10.3%、「ある程度そう思う」が 29.1%、合わせると 39.4%となっている。一方、「あまりそう思わない」が 14.3%、「思わない」が 4.1%、合わせると 18.4%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

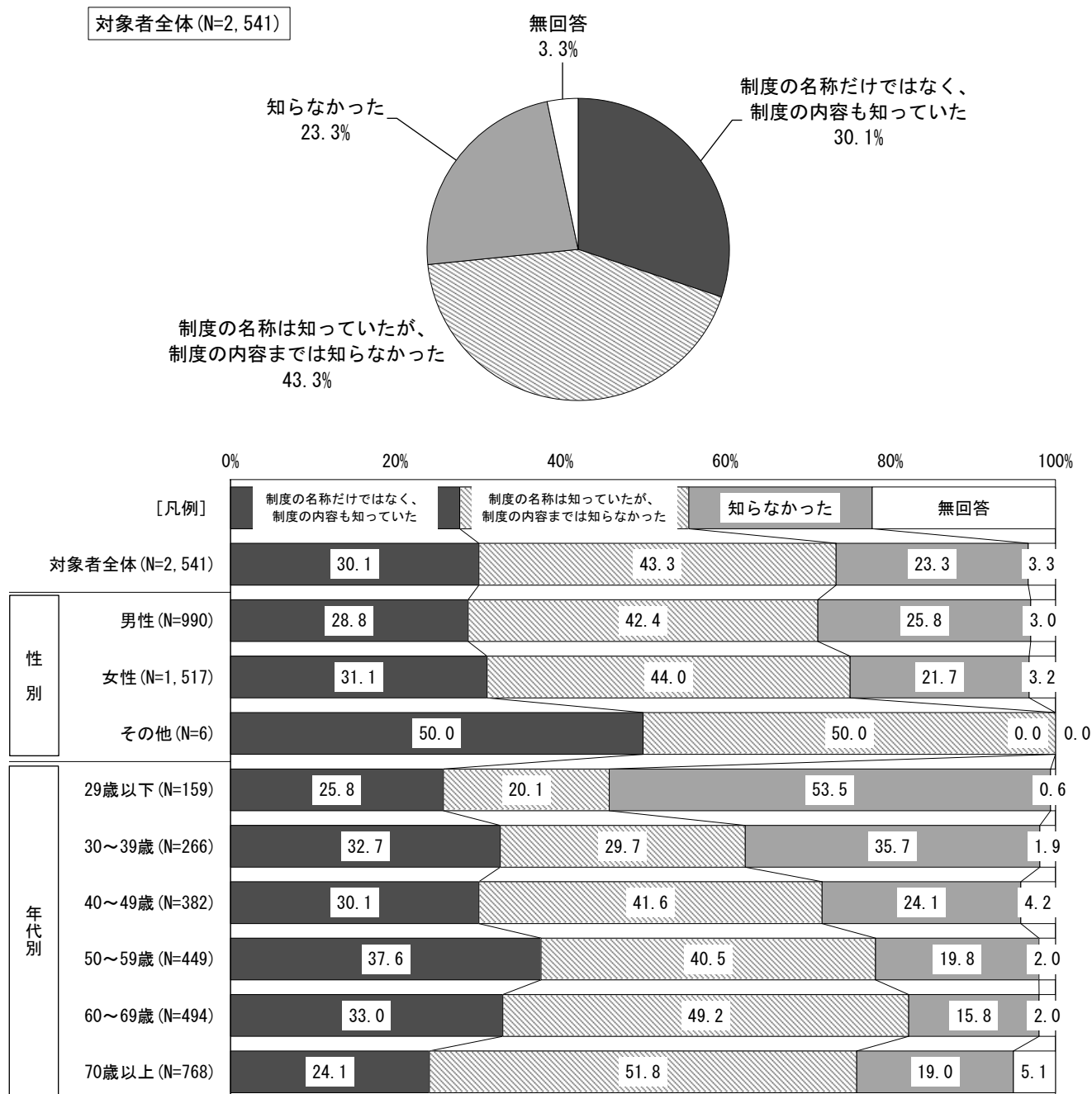
【年代別】 “そう思う” が 70 歳以上 (47.1%) で最も高く、次いで 29 歳以下 (37.7%)、60 歳代 (37.0%) となっている。

(4) 成年後見制度について

◇成年後見制度の認知度

問 2 1 あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか。

成年後見制度について、制度の名称だけではなく、制度の内容も知っていた人は 30.1%



【全 体】 成年後見制度の認知度は、「制度の名称だけではなく、制度の内容も知っていた」が 30.1% となっている。一方、「制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった」が 43.3%、「知らなかった」が 23.3%、合わせると 66.6%となっている。

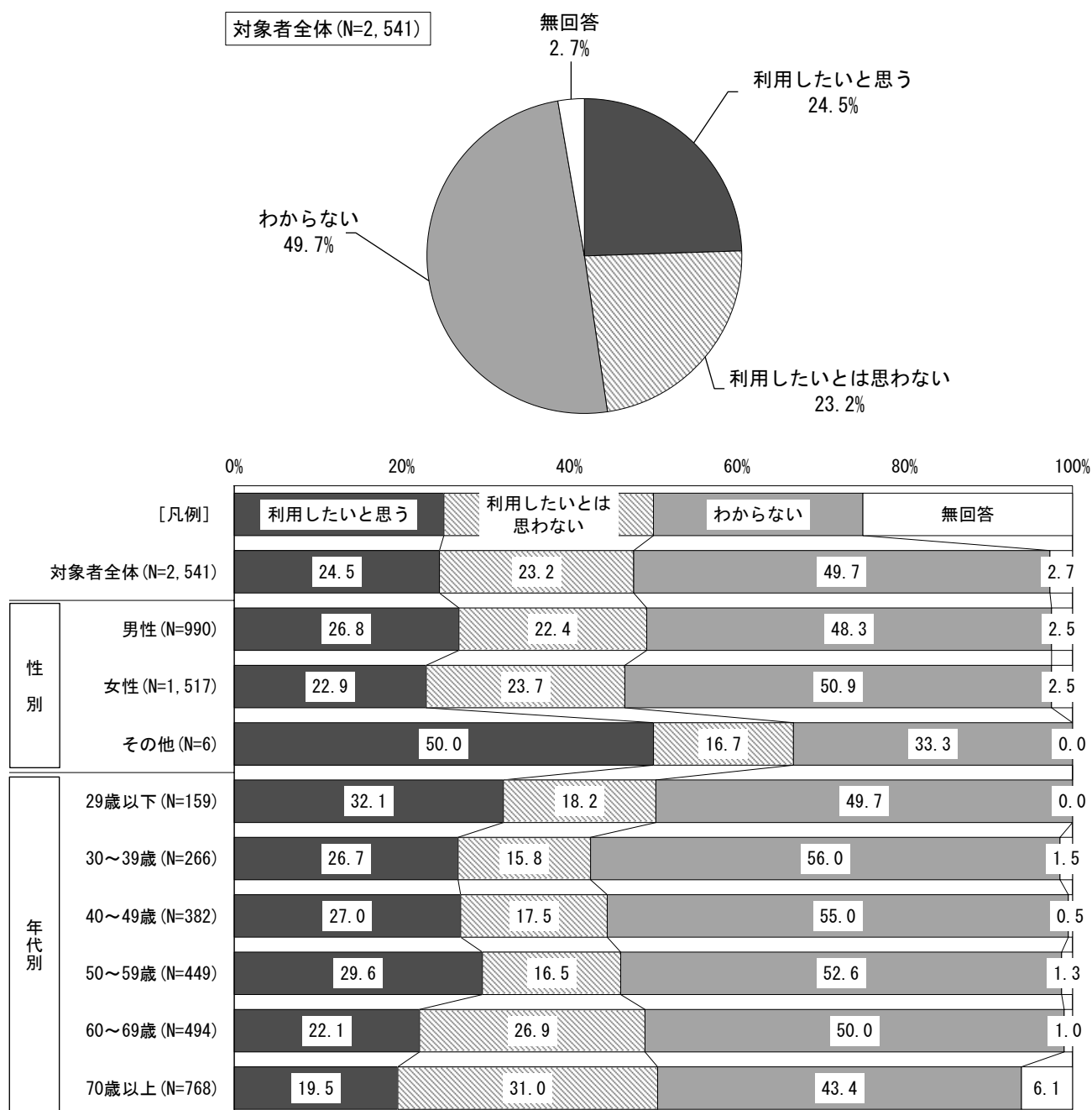
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “知らなかった” は 29 歳以下 (73.6%) で最も高く、次いで 70 歳以上 (70.8%)、40 歳代 (65.7%) となっている。

◇成年後見制度を利用したいと思うか否か

問 2 2 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

成年後見制度を「利用したいと思う」人は 24.5%



【全 体】成年後見制度を利用したいと思うか否かは、「利用したいと思う」が 24.5%となっている。
一方、「利用したいとは思わない」が 23.2%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

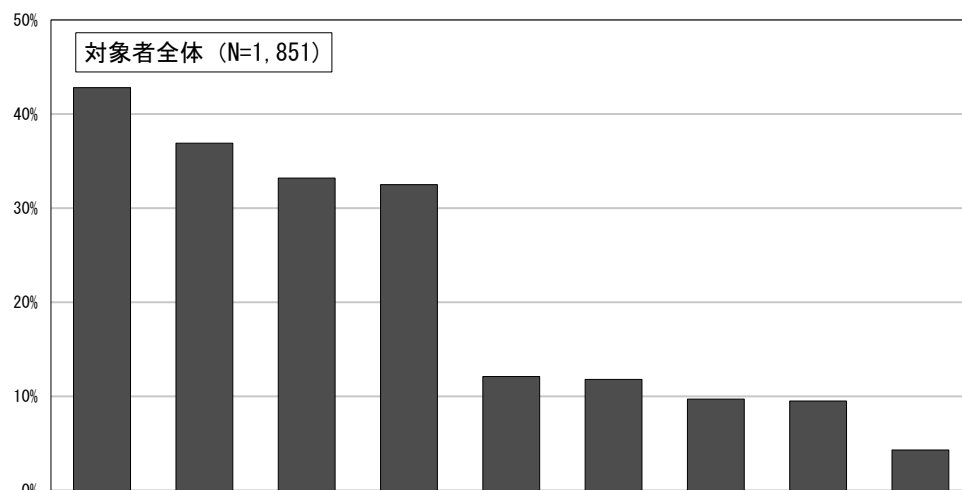
【年代別】「利用したいとは思わない」が 70 歳以上 (31.0%) で最も高く、最も低い 30 歳代 (15.8%) と比べると 15.2 ポイントの差となっている。

◇成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由

《問 2 2 で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問 2 2-1 あなたが、「利用したいとは思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由は「他人に財産管理をされることに抵抗がある」と回答した人が 42.8%



		対象者数	他人に財産管理をされることに抵抗がある	制度を利用するための手続きが複雑そうである	制度の内容や利用方法がよくわからない	利用するために費用(経済的負担)がかかる	制度自体に良いイメージがない	必要性がわからない	その他	特に理由はない	無回答
		(%)									
対象者全体		1,851	42.8	36.9	33.2	32.5	12.1	11.8	9.7	9.5	4.3
性別	男性	700	43.6	34.0	35.3	28.7	13.4	14.4	7.4	9.9	4.4
	女性	1,132	42.3	38.6	31.8	34.7	11.2	10.2	11.1	9.2	4.1
	その他	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-
年代別	29歳以下	108	39.8	34.3	39.8	33.3	4.6	13.0	8.3	7.4	3.7
	30～39 歳	191	51.3	39.3	45.0	33.5	12.6	15.7	6.8	6.8	2.6
	40～49 歳	277	42.6	33.9	35.7	30.0	8.7	11.2	9.4	10.5	1.8
	50～59 歳	310	49.4	36.8	33.2	37.4	15.2	10.0	7.4	6.5	2.9
	60～69 歳	380	39.7	38.4	28.2	33.9	12.1	9.2	11.1	10.8	4.7
	70歳以上	571	39.1	37.0	29.9	29.2	13.1	13.5	11.4	10.9	6.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】成年後見制度を利用したいと思わない、わからない理由は、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」が 42.8%、「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が 36.9%、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が 33.2%となっている。

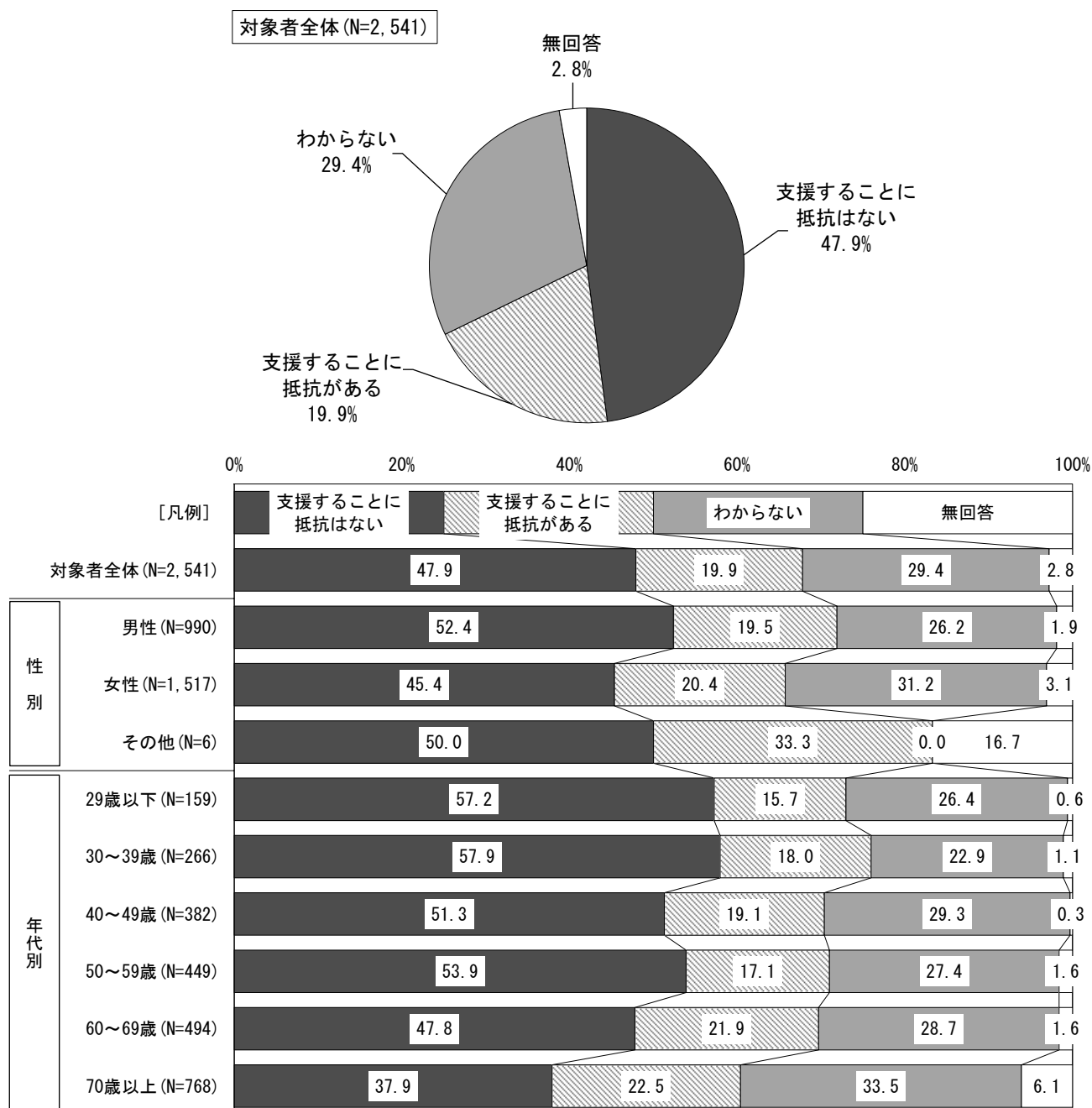
【性 別】「利用するために費用(経済的負担)がかかる」は女性が 34.7%と、男性の 28.7%より 6.0 ポイント高くなっている。

【年代別】「制度の内容や利用方法がよくわからない」が 30 歳代 (45.0%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (29.9%) と比べると 15.1 ポイントの差となっている。

◇親族の後見人となり支援することに抵抗があるか否か

問 2 3 あなたは、親族の判断能力が不十分となった場合、親族の後見人となって財産管理や契約行為の支援をすることに抵抗はありますか。

親族の後見人となり「支援することに抵抗はない」人は 47.9%



【全 体】 親族の後見人となり支援することに抵抗があるか否かは、「支援することに抵抗はない」が 47.9%となっている。一方、「支援することに抵抗がある」が 19.9%となっている。

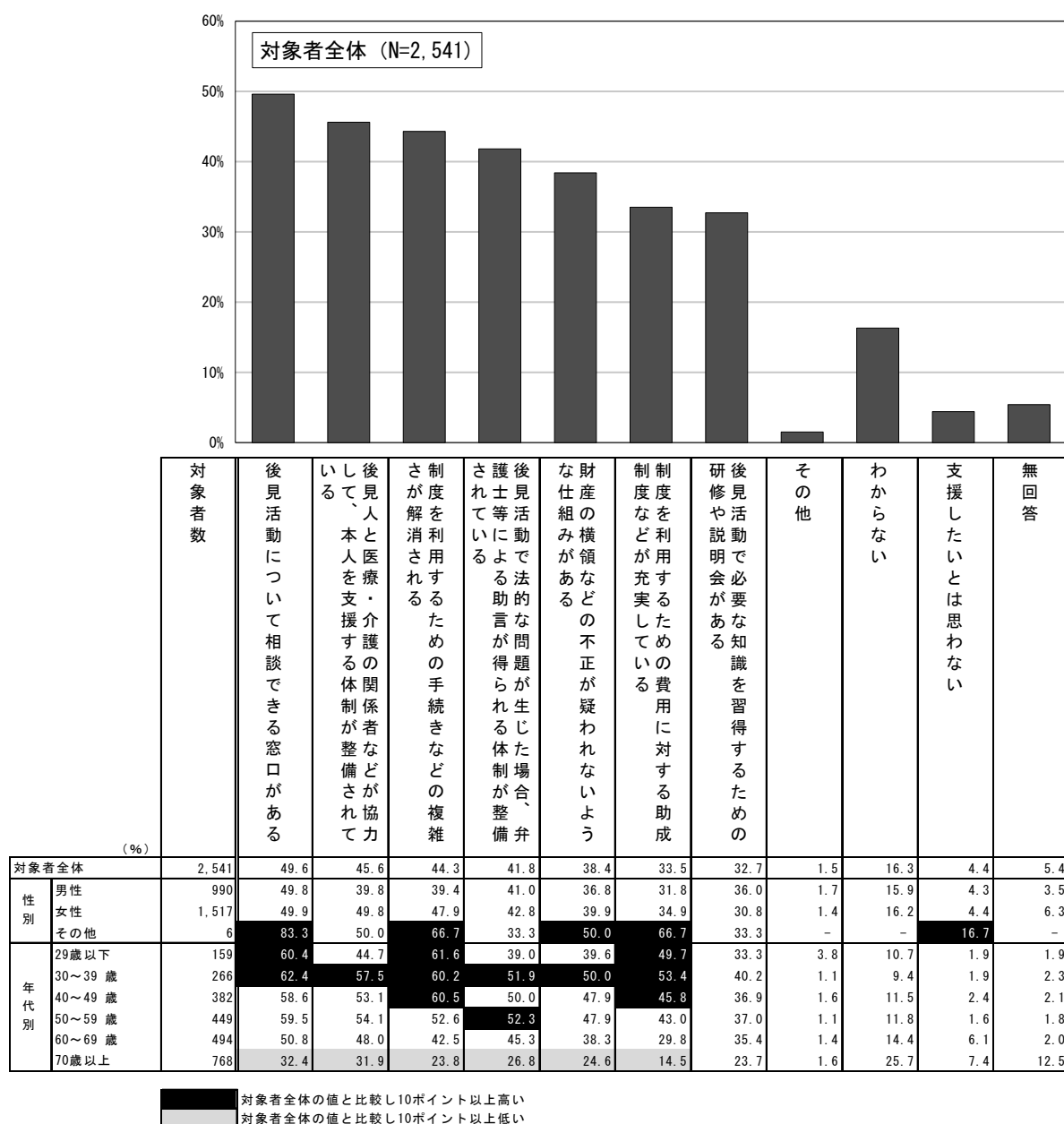
【性 別】 「支援することに抵抗はない」は男性が 52.4%と、女性の 45.4%より 7.0 ポイント高くなっている。

【年代別】 「支援することに抵抗はない」が 30 歳代 (57.9%) で最も高く、次いで 29 歳以下 (57.2%)、50 歳代 (53.9%) となっている。

◇親族からの依頼で後見人として支援する場合の環境

問 2 4 あなたが、親族から後見人になってほしいと依頼されたとき、どのような環境であれば、後見人として支援したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

親族からの依頼で後見人として支援する場合の環境は「後見活動について相談できる窓口がある」と回答した人が 49.6%



【全 体】親族からの依頼で後見人として支援する場合の環境は、「後見活動について相談できる窓口がある」が 49.6%、「後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている」が 45.6%、「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」が 44.3%となっている。

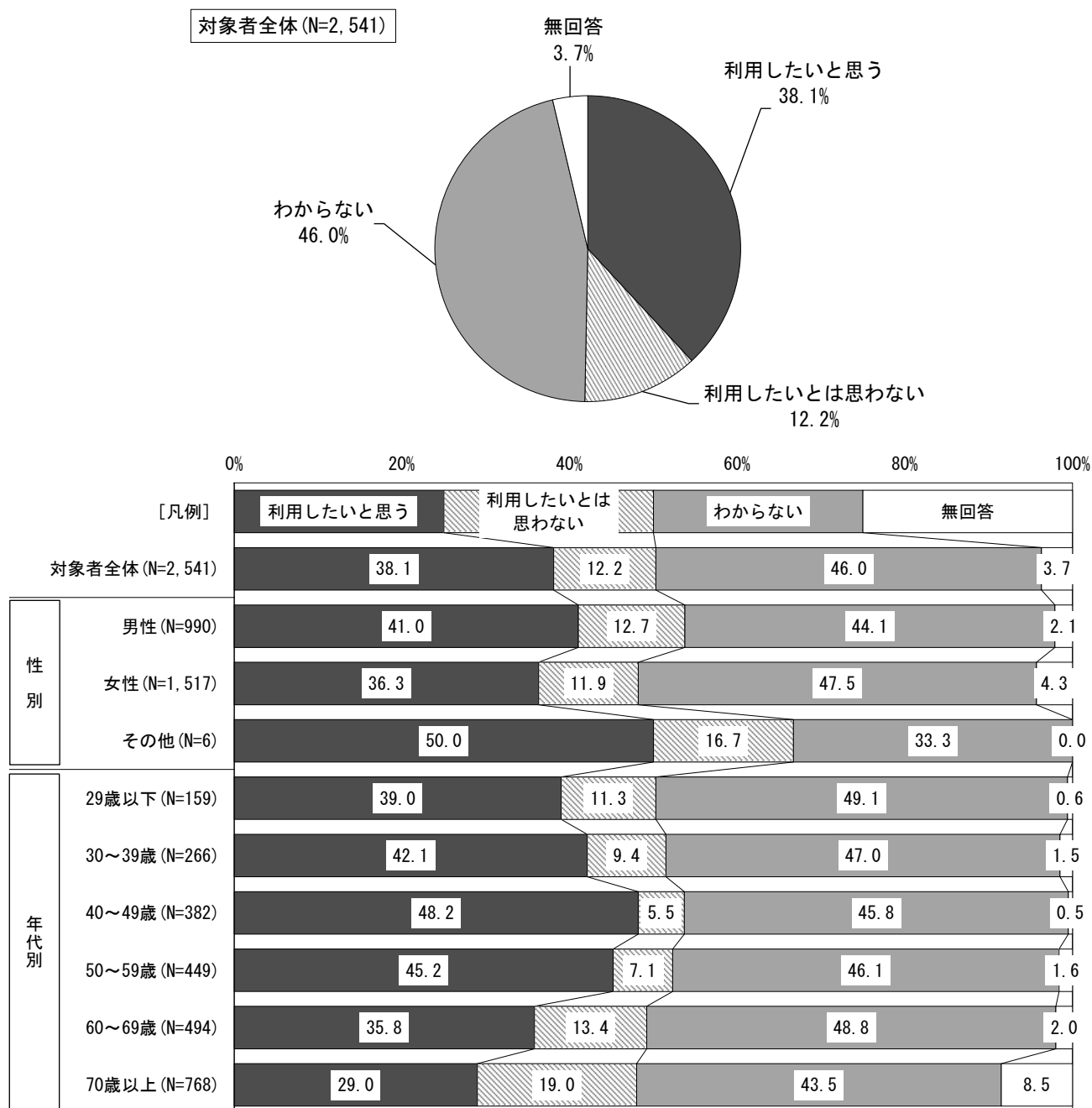
【性 別】「後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている」、「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」は女性が男性より 8.5 ポイント以上高くなっている。また、「後見活動で必要な知識を習得するための研修や説明会がある」は男性が 36.0%と、女性の 30.8%より 5.2 ポイント高くなっている。

【年代別】29 歳以下、40 歳代では「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される」が、30 歳代、50 歳以上では「後見活動について相談できる窓口がある」が最も高くなっている。

◇相談できる窓口があった場合に成年後見制度を利用したいと思うか否か

問 2 5 あなたは、身近に成年後見制度について相談できる窓口があった場合、利用したいと思いますか。

相談できる窓口があった場合に成年後見制度を「利用したいと思う」人は 38.1%



【全 体】相談できる窓口があった場合に成年後見制度を利用したいと思うか否かは、「利用したいと思う」が 38.1%となっている。一方、「利用したいとは思わない」が 12.2%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

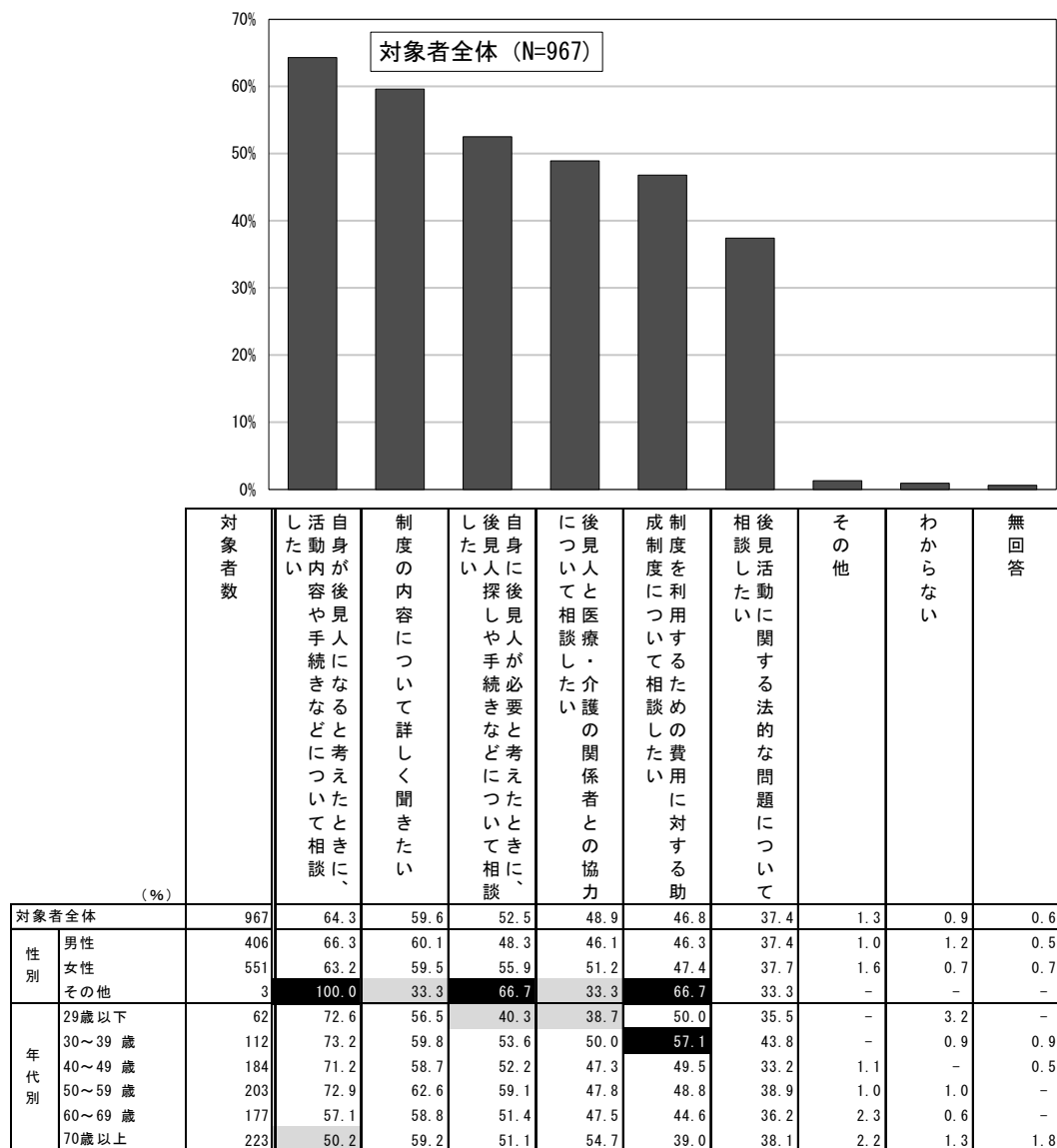
【年代別】「利用したいと思う」が 40 歳代 (48.2%) で最も高く、次いで 50 歳代 (45.2%)、30 歳代 (42.1%) となっている。

◇窓口で相談したいこと

《問25で「1 利用したいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問25-1 あなたは、窓口でどのようなことを相談したいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

窓口で相談したいことは「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」と回答した人が 64.3%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ▨ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】窓口で相談したいことは、「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」が 64.3%、「制度の内容について詳しく聞きたい」が 59.6%、「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」が 52.5%となっている。

【性 別】「自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい」、「後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい」は女性が男性より 5.1 ポイント以上高くなっている。

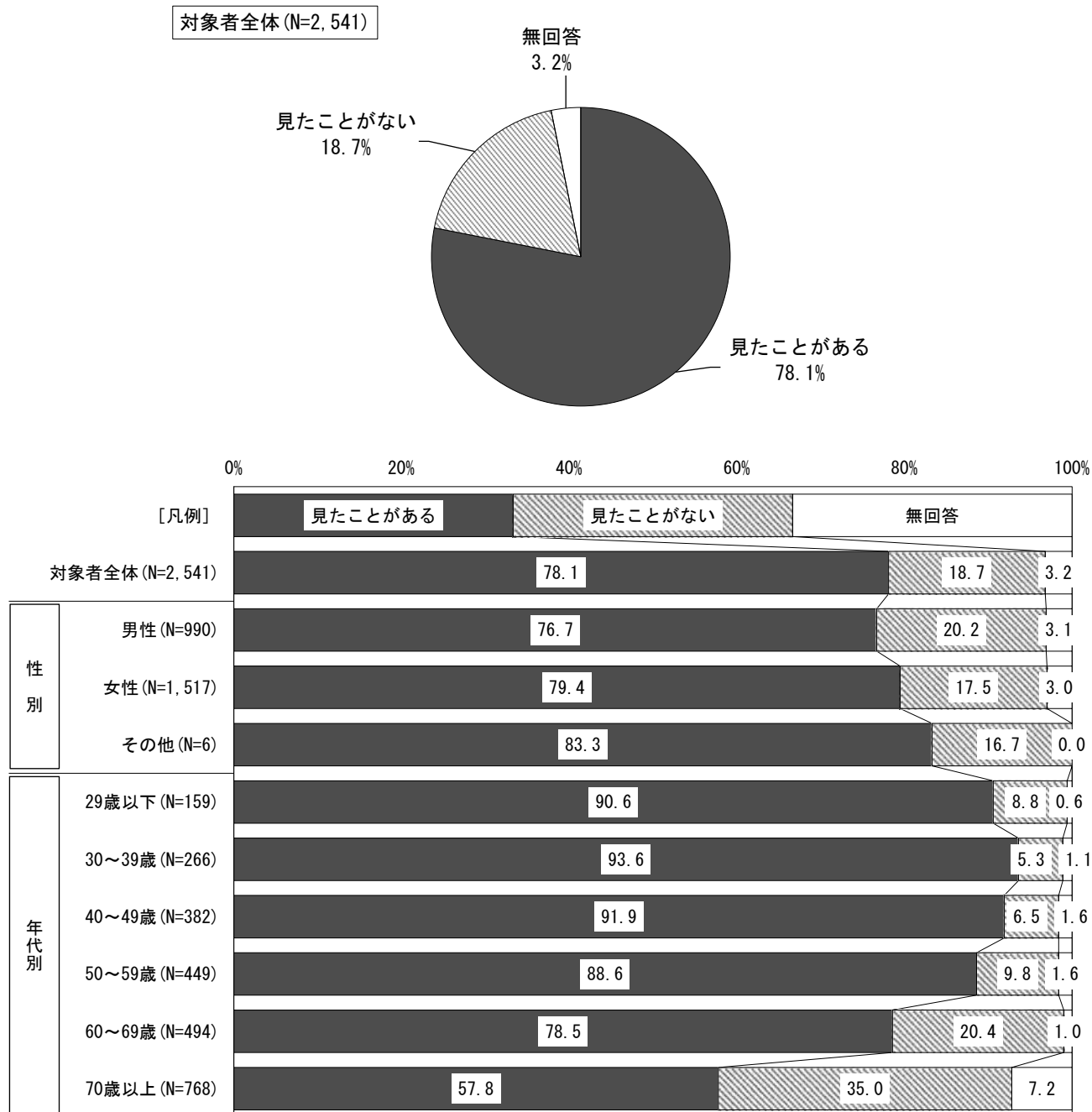
【年代別】「自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい」が 30 歳代 (73.2%) で最も高く、最も低い 70 歳以上 (50.2%) と比べると 23.0 ポイントの差となっている。

(5)シティプロモートの推進について

◇サッポロスマイルロゴを見たことの有無

問 2 6 あなたは、「笑顔になれる街」札幌をイメージした「サッポロスマイルロゴ」を見たことがありますか。

サッポロスマイルロゴを「見たことがある」人は 78.1%



【全 体】 サッポロスマイルロゴを見たことの有無は、「見たことがある」が 78.1%、「見たことがない」が 18.7%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

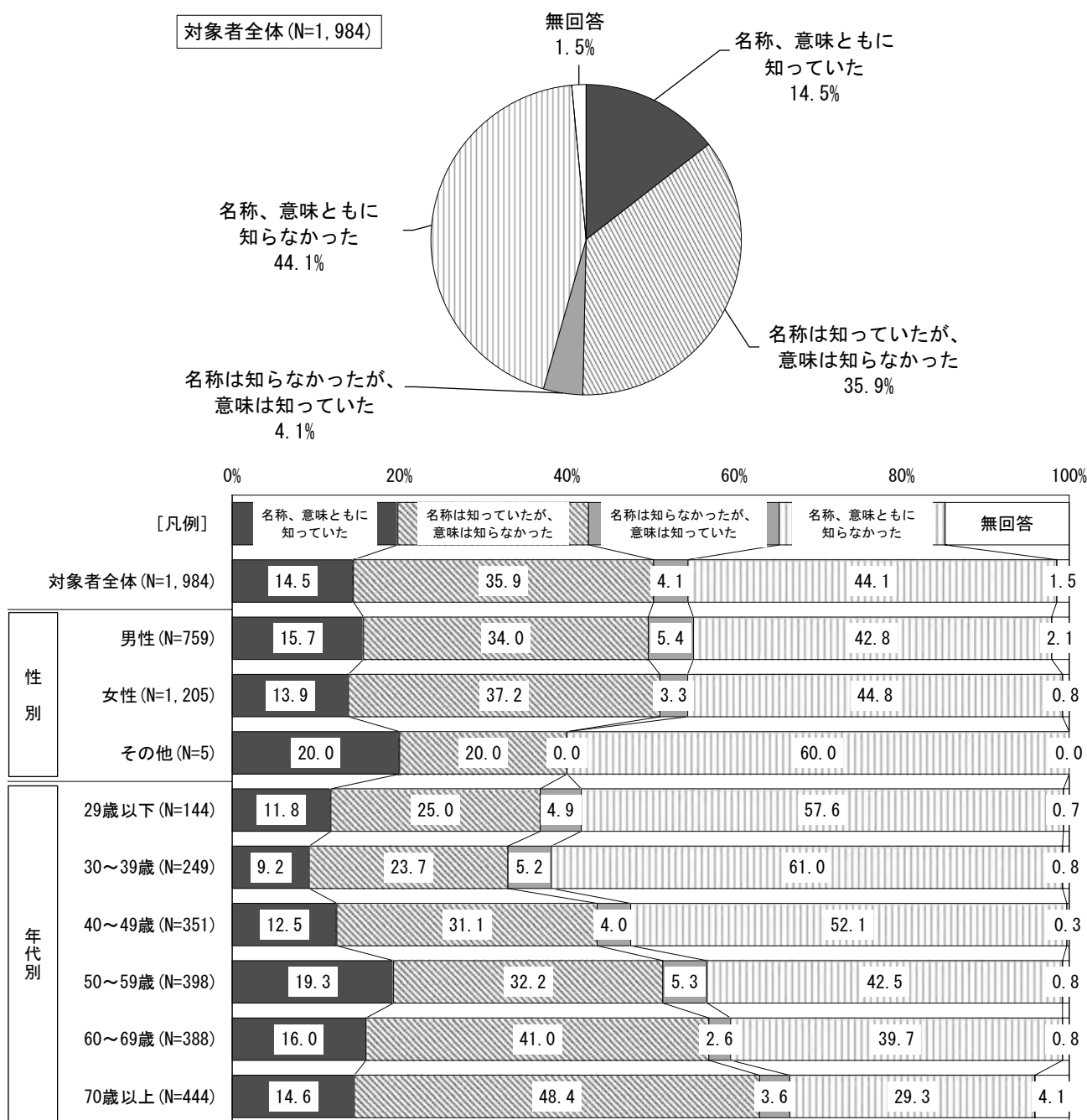
【年代別】 「見たことがある」が 30 歳代 (93.6%) で最も高く、次いで 40 歳代 (91.9%)、29 歳以下 (90.6%) となっている。

◇サッポロスマイルロゴの認知度

《問26で「1 見たことがある」に○をつけた方にお聞きします。》

問26-1 あなたは、ロゴが「サッポロスマイル」という名称で、「笑顔（笑顔になれる街）」「札幌の魅力づくり・魅力発信」という意味が込められていることを知っていましたか。

サッポロスマイルロゴの名称、意味ともに「知っていた」人は14.5%



【全 体】 サッポロスマイルロゴの認知度は、「名称、意味ともに知っていた」が14.5%、「名称は知っていたが、意味は知らなかった」が35.9%、「名称は知らなかったが、意味は知っていた」が4.1%となっている。一方、「名称、意味ともに知らなかった」が44.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

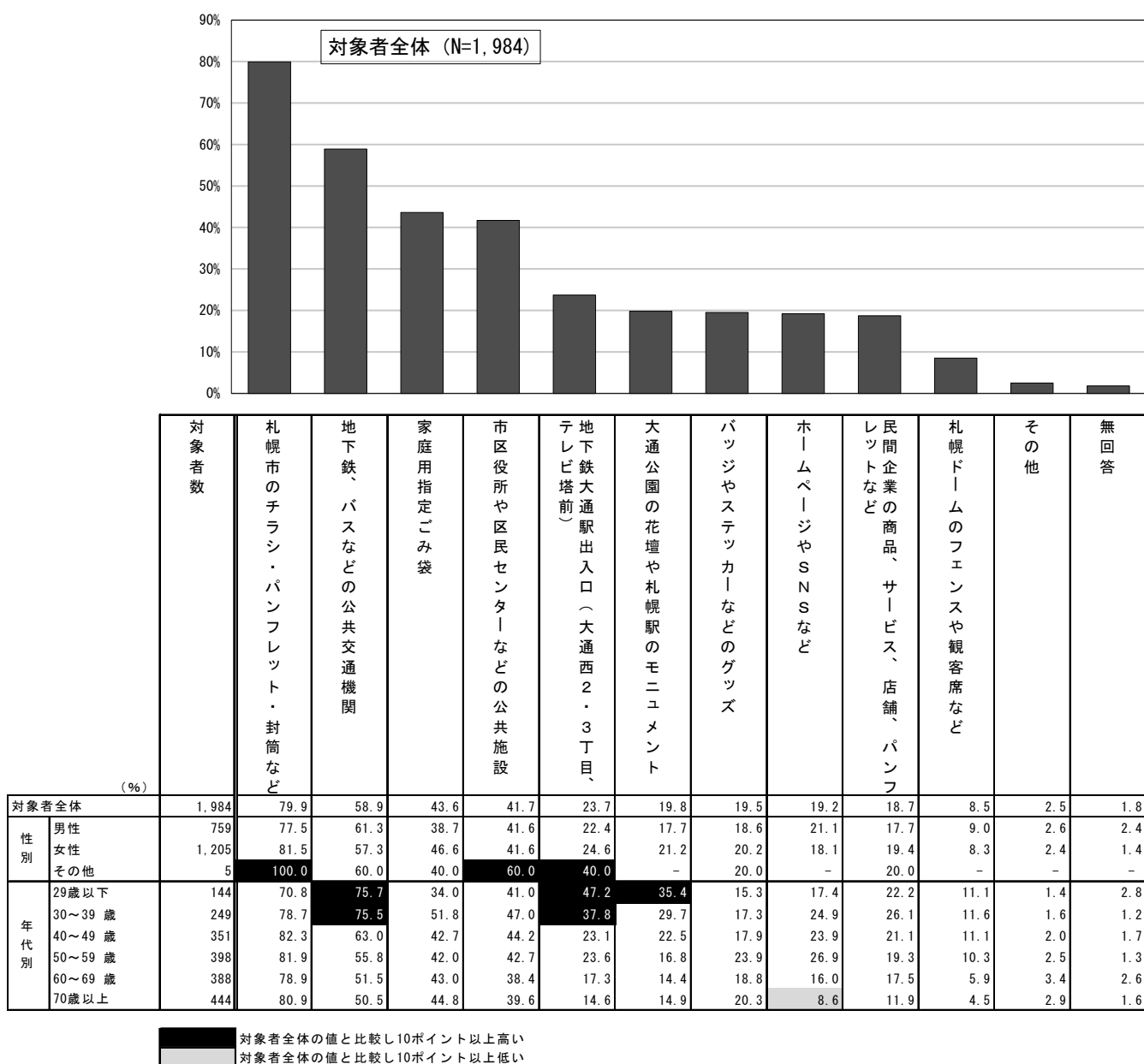
【年代別】 「名称、意味ともに知っていた」が50歳代（19.3%）で最も高く、最も低い30歳代（9.2%）と比べると10.1ポイントの差となっている。

◇サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所

《問26で「1 見たことがある」に○をつけた方にお聞きします。》

問26-2 「サッポロスマイル」は以下のようなものに使われています。あなたが見たことのあるものにいくつでも○をつけてください。

サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所は「札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など」と回答した人が79.9%



【全体】 サッポロスマイルロゴを見たことがある媒体や場所は、「札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など」が79.9%、「地下鉄、バスなどの公共交通機関」が58.9%、「家庭用指定ごみ袋」が43.6%となっている。

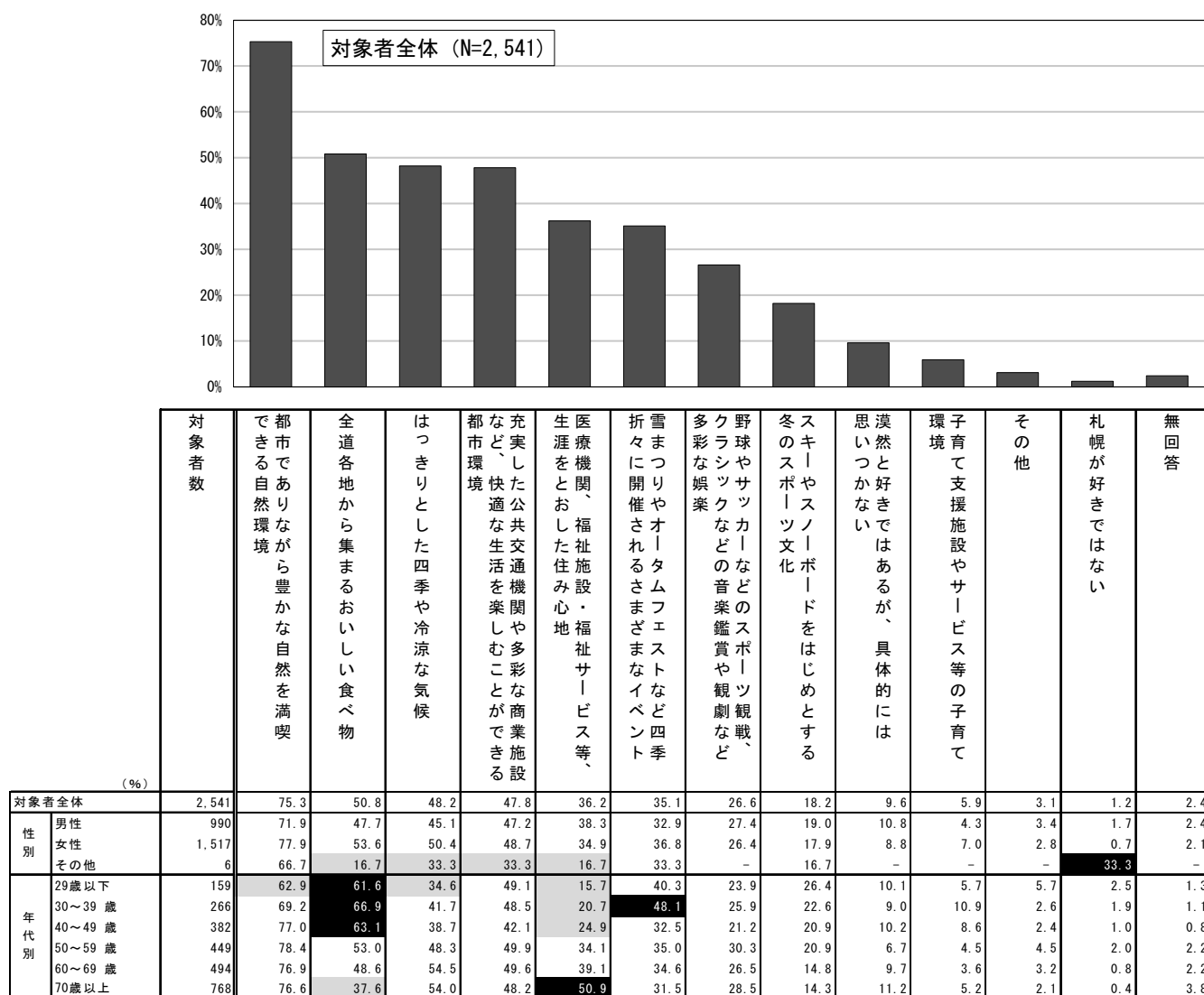
【性別】 「家庭用指定ごみ袋」は女性が46.6%と、男性の38.7%より7.9ポイント高くなっている。

【年代別】 「地下鉄、バスなどの公共交通機関」、「地下鉄大通駅出入口（大通西2・3丁目、テレビ塔前）」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇札幌の魅力について

問 2 7 あなたは、札幌のどのようなところが好きですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の魅力は「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」と回答した人が 75.3%



対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】札幌の魅力は、「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」が 75.3%、「全道各地から集まるおいしい食べ物」が 50.8%、「はつきりとした四季や冷涼な気候」が 48.2% となっている。

【性 別】「都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境」、「全道各地から集まるおいしい食べ物」、「はつきりとした四季や冷涼な気候」は女性が男性より 5.3 ポイント以上高くなっている。

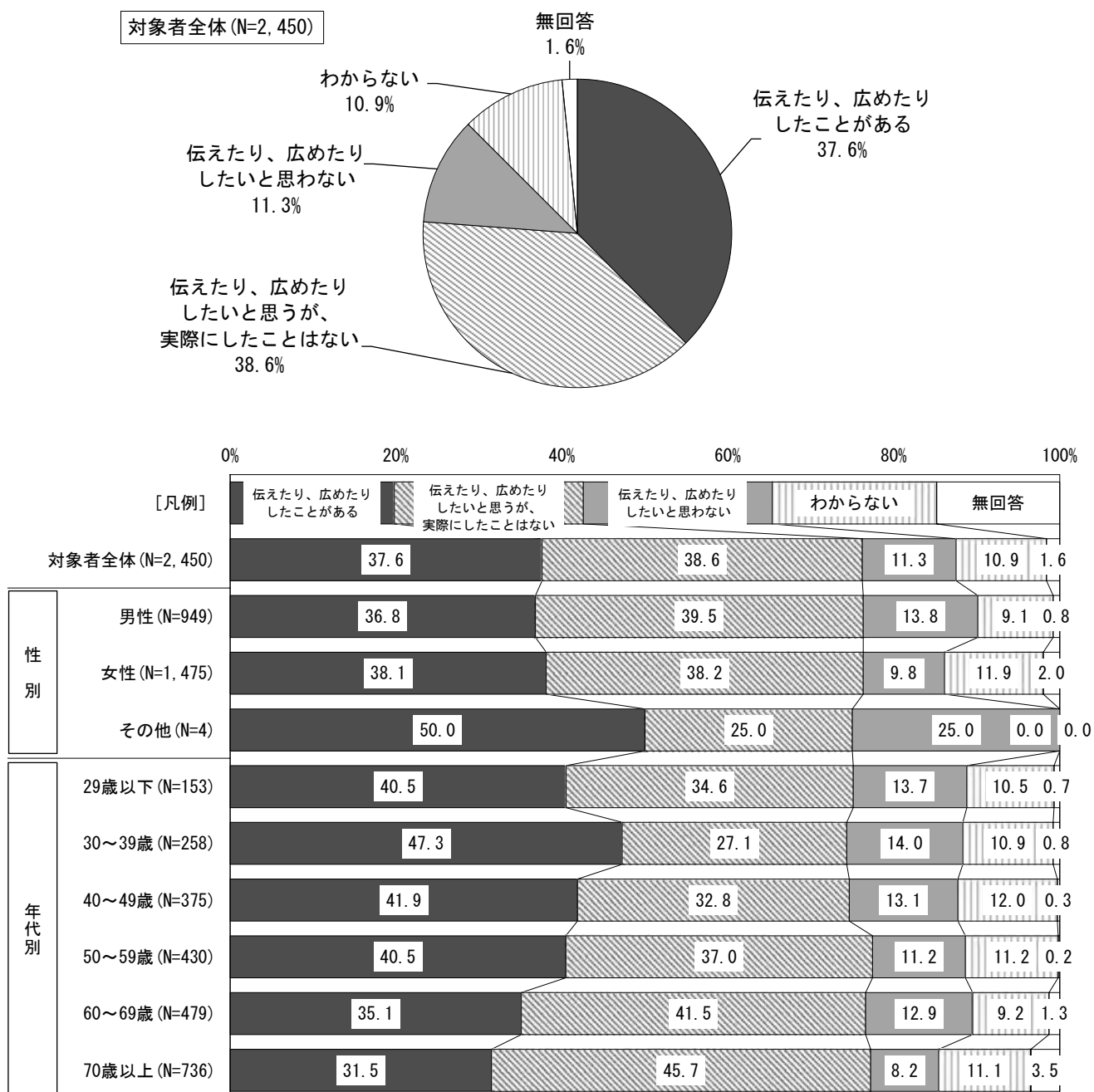
【年代別】「医療機関、福祉施設・福祉サービス等、生涯をととした住み心地」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否か

《問27で「1」から「11」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問27-1 あなたは、札幌の魅力や好きなところに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌の魅力を「伝えたり、広めたりしたことがある」人は37.6%



【全 体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりしたことがあるか否かは、「伝えたり、広めたりしたことがある」が37.6%、「伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」が38.6%となっている。一方、「伝えたり、広めたりしたいと思わない」が11.3%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

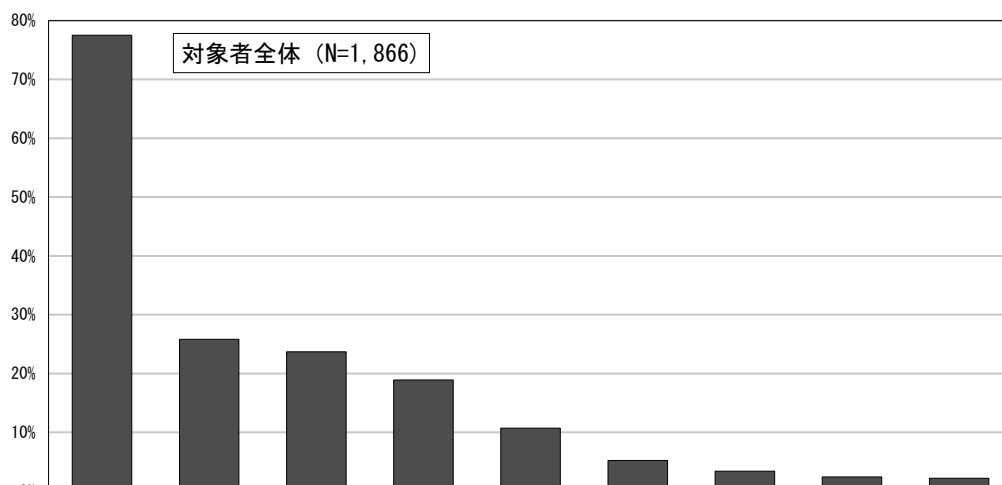
【年代別】59歳以下では「伝えたり、広めたりしたことがある」が、60歳以上では「伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」が最も高くなっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段

《問27-1で「1 伝えたり、広めたりしたことがある」または「2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」に○をつけた方にお聞きします。》

問27-2 あなたは、どのような手段を使って札幌の魅力や好きなところに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしようと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段は「直接口頭」と回答した人が77.5%



		対象者数	直接口頭	SNSでの写真や文章の投稿	年賀状や手紙などの郵便物	電話	電子メール	ブログやホームページなど	YouTubeなどの動画配信	その他	無回答
		(%)									
対象者全体		1,866	77.5	25.8	23.7	18.9	10.7	5.2	3.4	2.4	2.2
性別	男性	724	79.3	26.1	20.0	16.9	12.2	5.0	4.3	3.2	2.1
	女性	1,126	76.6	25.8	25.8	19.8	9.8	5.3	2.8	2.0	2.3
	その他	3	100.0	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-
年代別	29歳以下	115	80.0	47.8	1.7	7.0	5.2	3.5	4.3	-	0.9
	30～39 歳	192	81.3	46.4	8.9	10.9	9.4	2.1	2.1	1.6	0.5
	40～49 歳	280	78.2	41.1	14.6	10.0	11.1	8.9	2.1	1.4	1.1
	50～59 歳	333	77.8	31.5	20.4	13.2	14.4	6.0	3.9	2.1	1.2
	60～69 歳	367	78.2	16.9	29.7	22.9	13.4	5.2	4.1	2.2	0.8
	70歳以上	568	75.5	9.5	35.2	28.9	8.3	4.2	3.5	4.0	4.9

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりする手段は、「直接口頭」が77.5%、「SNSでの写真や文章の投稿」が25.8%、「年賀状や手紙などの郵便物」が23.7%となっている。

【性 別】「年賀状や手紙などの郵便物」は女性が25.8%と、男性の20.0%より5.8ポイント高くなっている。

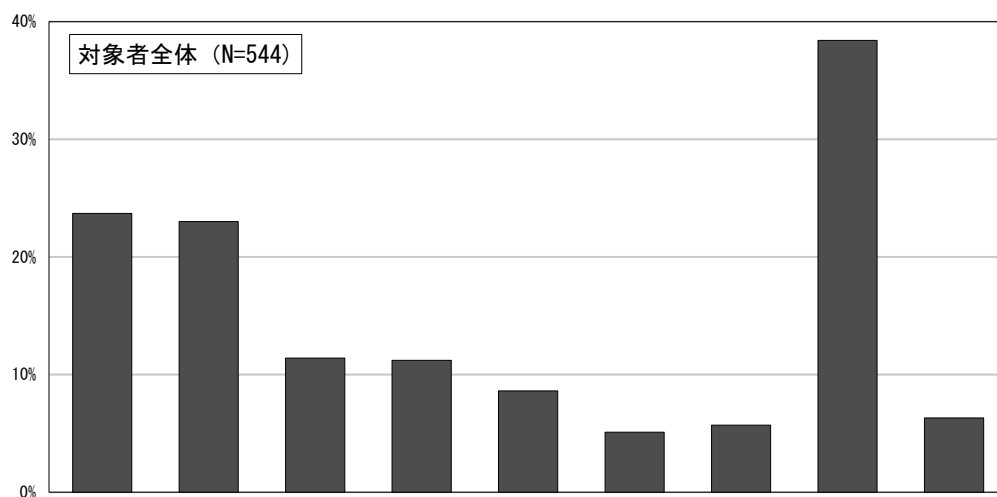
【年代別】「SNSでの写真や文章の投稿」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「年賀状や手紙などの郵便物」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけ

《問27-1で「3 伝えたり、広めたりしたいと思わない」または「4 わからない」に○をつけた方にお聞きします。》

問27-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、札幌の魅力や好きなところを他の人に伝えたり、広めたりする機会につながるといいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけは「札幌の魅力を実際に体験すること」と回答した人が23.7%



		対象者数	札幌の魅力を実際に体験すること	自分が気づいていなかった札幌の魅力をj知ること	情報発信する場所や機会があること	文化や歴史などの知識を深めること	地域活動やイベントなどに自分自身が関わること	SNSなど最新の情報発信の方法を知ること	その他	わからない	無回答
		(%)									
対象者全体		544	23.7	23.0	11.4	11.2	8.6	5.1	5.7	38.4	6.3
性別	男性	217	23.0	24.0	7.4	9.2	6.9	3.7	7.8	41.5	5.1
	女性	320	24.4	22.2	14.1	12.5	10.0	6.3	4.4	36.6	6.6
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	37	29.7	10.8	24.3	8.1	10.8	13.5	5.4	32.4	5.4
	30～39歳	64	26.6	26.6	20.3	9.4	7.8	9.4	7.8	35.9	1.6
	40～49歳	94	24.5	21.3	19.1	12.8	19.1	8.5	1.1	34.0	2.1
	50～59歳	96	25.0	30.2	9.4	11.5	8.3	6.3	6.3	39.6	2.1
	60～69歳	106	22.6	17.9	7.5	13.2	6.6	2.8	7.5	42.5	6.6
	70歳以上	142	19.7	23.2	3.5	9.9	3.5	-	6.3	40.8	13.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の魅力を伝えたり、広めたりするきっかけは、「札幌の魅力を実際に体験すること」が23.7%、「自分が気づいていなかった札幌の魅力をj知ること」が23.0%、「情報発信する場所や機会があること」が11.4%となっている。

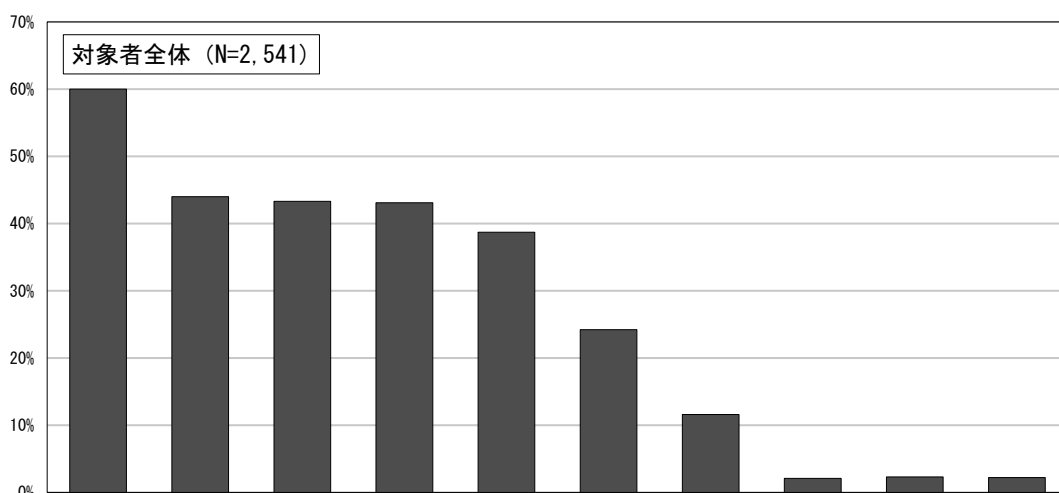
【性別】「情報発信する場所や機会があること」は女性が14.1%と、男性の7.4%より6.7ポイント高くなっている。

【年代別】「情報発信する場所や機会があること」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇札幌の情報を知る際の入手手段

問 2 8 あなたは住んでいる街（札幌）の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌の情報を知る際の入手手段は「テレビやラジオなどの番組」と回答した人が 60.0%



		対象者数	テレビやラジオなどの番組	家族や友人、知人などからの口コミ	街の情報誌	ブログやホームページなど	新聞	SNSでの写真や文章の投稿	YouTubeなどの配信動画	その他	入手していない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,541	60.0	44.0	43.3	43.1	38.7	24.2	11.6	2.1	2.3	2.2
性別	男性	990	58.5	34.8	42.6	44.2	40.4	22.0	14.4	2.3	2.7	1.8
	女性	1,517	61.0	50.4	44.0	42.6	37.7	25.8	9.8	1.9	1.9	2.2
	その他	6	50.0	16.7	50.0	33.3	50.0	33.3	16.7	-	-	-
年代別	29歳以下	159	45.9	45.3	21.4	45.3	6.9	67.3	17.0	0.6	4.4	1.3
	30～39 歳	266	53.0	54.1	39.5	57.9	10.2	50.4	18.0	2.6	2.3	0.8
	40～49 歳	382	55.8	47.1	48.2	65.4	17.8	40.8	16.8	2.4	0.8	0.8
	50～59 歳	449	60.6	45.7	49.7	60.4	35.4	28.1	15.4	1.8	2.2	1.1
	60～69 歳	494	64.8	39.1	47.2	41.9	49.4	11.5	10.5	1.4	2.6	1.0
	70歳以上	768	64.2	41.0	41.4	17.6	60.9	3.9	4.3	2.6	2.3	4.7

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】札幌の情報を知る際の入手手段は、「テレビやラジオなどの番組」が 60.0%、「家族や友人、知人などからの口コミ」が 44.0%、「街の情報誌」が 43.3%となっている。

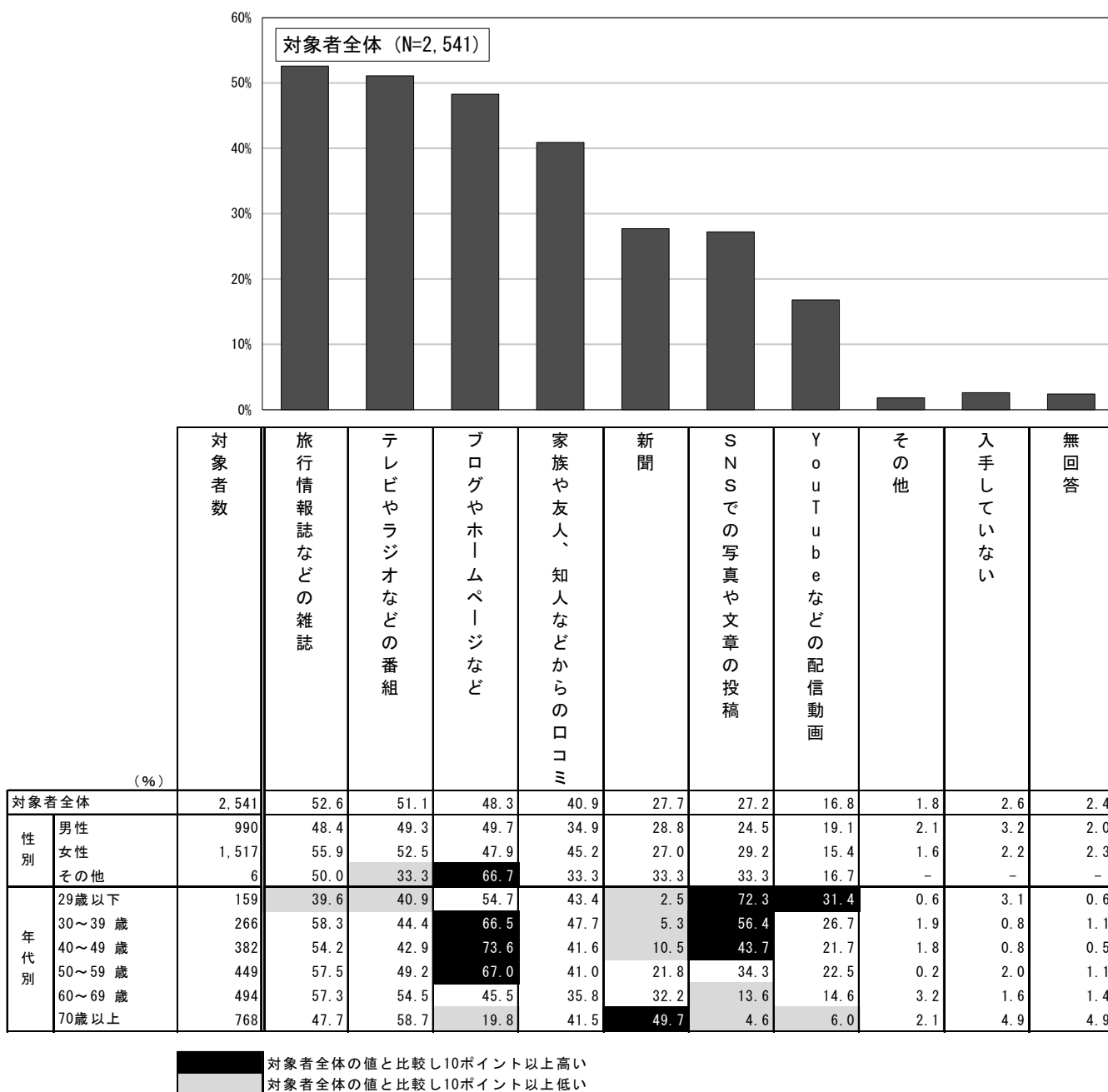
【性 別】「家族や友人、知人などからの口コミ」は女性が 50.4%と、男性の 34.8%より 15.6 ポイント高くなっている。

【年代別】29 歳以下では「SNSでの写真や文章の投稿」が、30 歳代、40 歳代では「ブログやホームページなど」が、50 歳以上では「テレビやラジオなどの番組」が最も高くなっている。

◇札幌以外の街の情報を知る際の入手手段

問 2 9 あなたは札幌以外の街の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌以外の街の情報を知る際の入手手段は「旅行情報誌などの雑誌」と回答した人が 52.6%



【全 体】札幌以外の街の情報を知る際の入手手段は、「旅行情報誌などの雑誌」が 52.6%、「テレビやラジオなどの番組」が 51.1%、「ブログやホームページなど」が 48.3%となっている。

【性 別】「旅行情報誌などの雑誌」、「家族や友人、知人などからの口コミ」は女性が男性より 7.5 ポイント以上高くなっている。

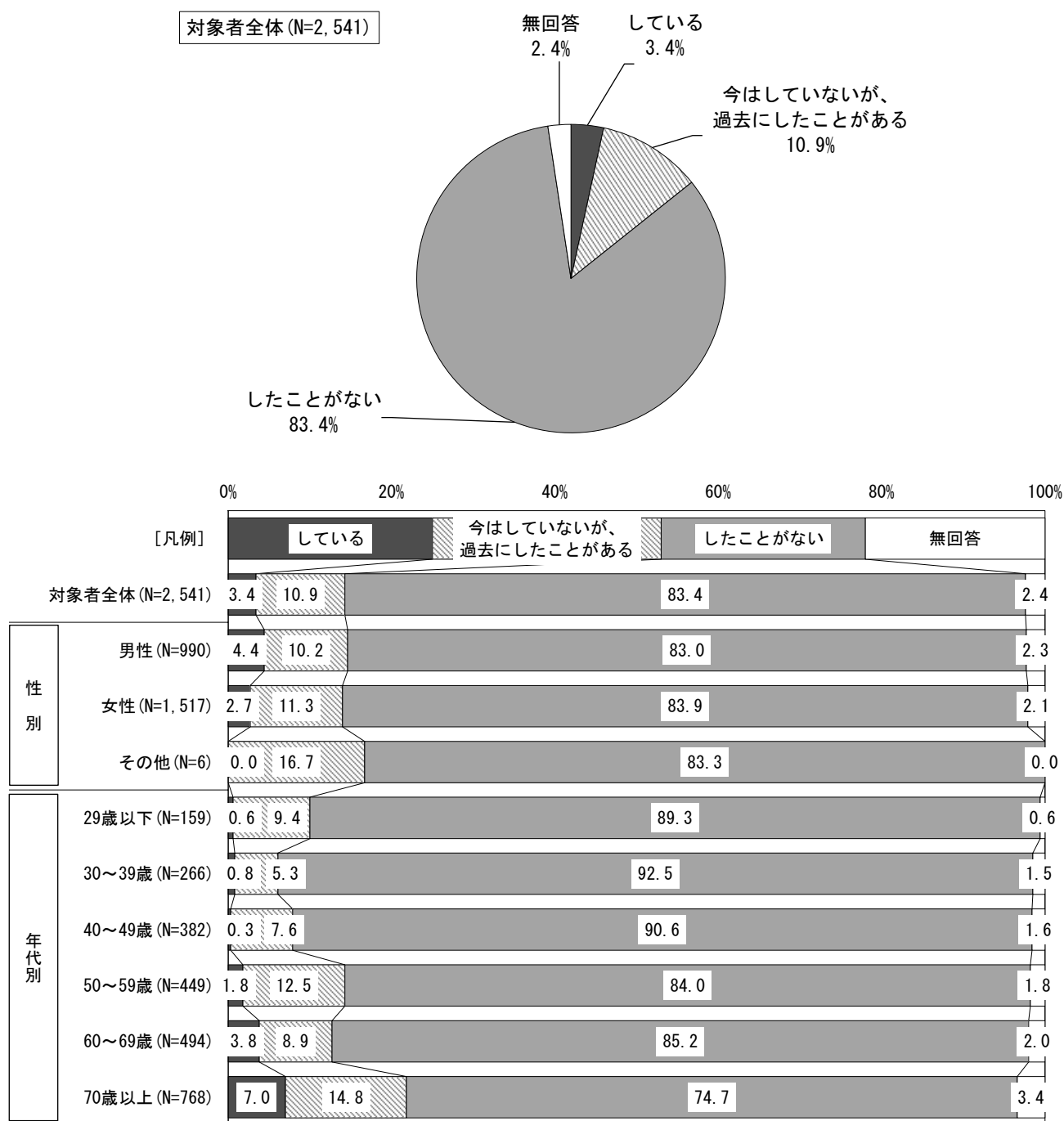
【年代別】29 歳以下では「SNSでの写真や文章の投稿」が、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「ブログやホームページなど」が、60 歳代では「旅行情報誌などの雑誌」が、70 歳以上では「テレビやラジオなどの番組」が最も高くなっている。

(6)野生鳥獣への餌やり行為について

◇餌やり行為をしたことがあるか否か

問30 あなたは、野生鳥獣への餌やりをしていますか、またはしたことがありますか。

餌やり行為を「したことがない」人は 83.4%



【全 体】餌やり行為をしたことがあるか否かは、「している」が 3.4%、「今はしていないが、過去にしたことがある」が 10.9%となっている。一方、「したことがない」が 83.4%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

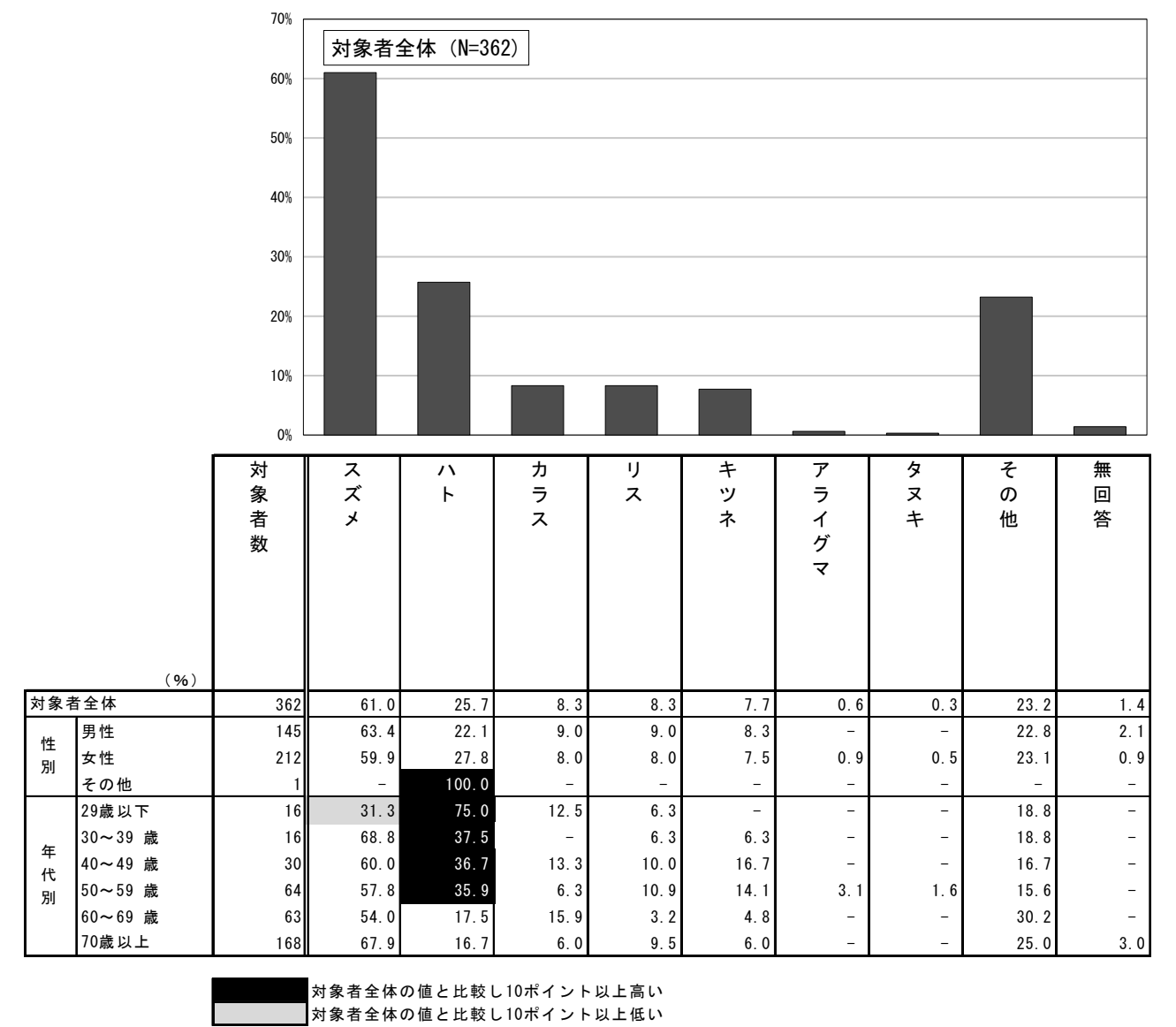
【年代別】「したことがない」が 30 歳代 (92.5%) で最も高く、次いで 40 歳代 (90.6%)、29 歳以下 (89.3%) となっている。

◇餌やりをしている(したことがある)野生鳥獣の種類

《問30で「1 している」または「2 今はしていないが、過去にしたことがある」と答えた方にお聞きます。》

問30-1 あなたが、餌やりをしている、または過去にしたことがある対象の野生鳥獣の種類は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やりをしている(したことがある)野生鳥獣の種類は「スズメ」と回答した人が61.0%



【全 体】餌やりをしている（したことがある）野生鳥獣の種類は、「スズメ」が61.0%、「ハト」が25.7%、「カラス」と「リス」が8.3%となっている。

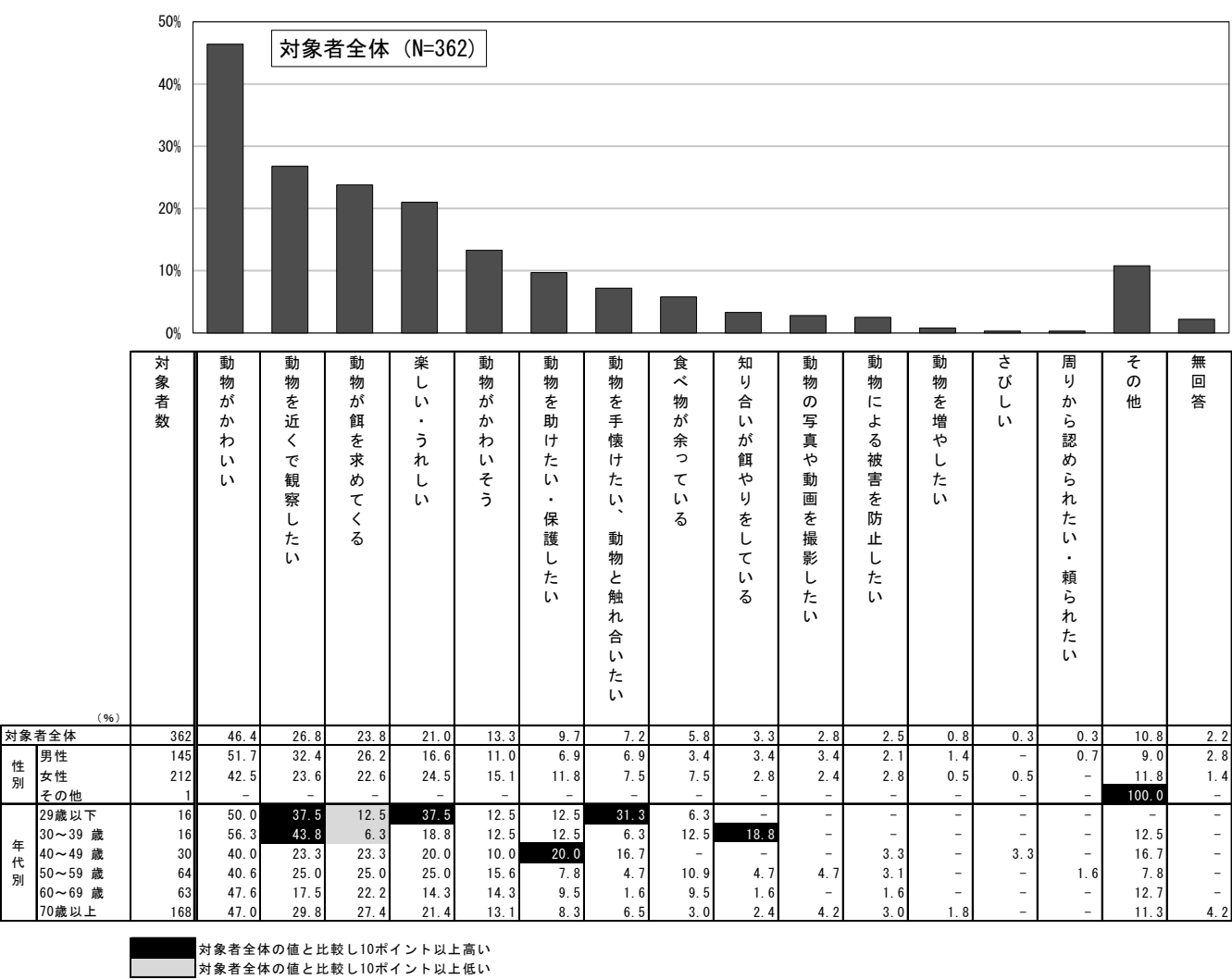
【性 別】「ハト」は女性が27.8%と、男性の22.1%より5.7ポイント高くなっている。

◇餌やりをしている(したことがある)理由

《問 30 で「1 している」または「2 今はしていないが、過去にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問 30-2 あなたが、野生鳥獣に餌やりをしている、または過去にした理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やりをしている(したことがある)理由は「動物がかわいい」と回答した人が 46.4%



【全 体】餌やりをしている(したことがある)理由は、「動物がかわいい」が 46.4%、「動物を近くで観察したい」が 26.8%、「動物が餌を求めてくる」が 23.8%となっている。

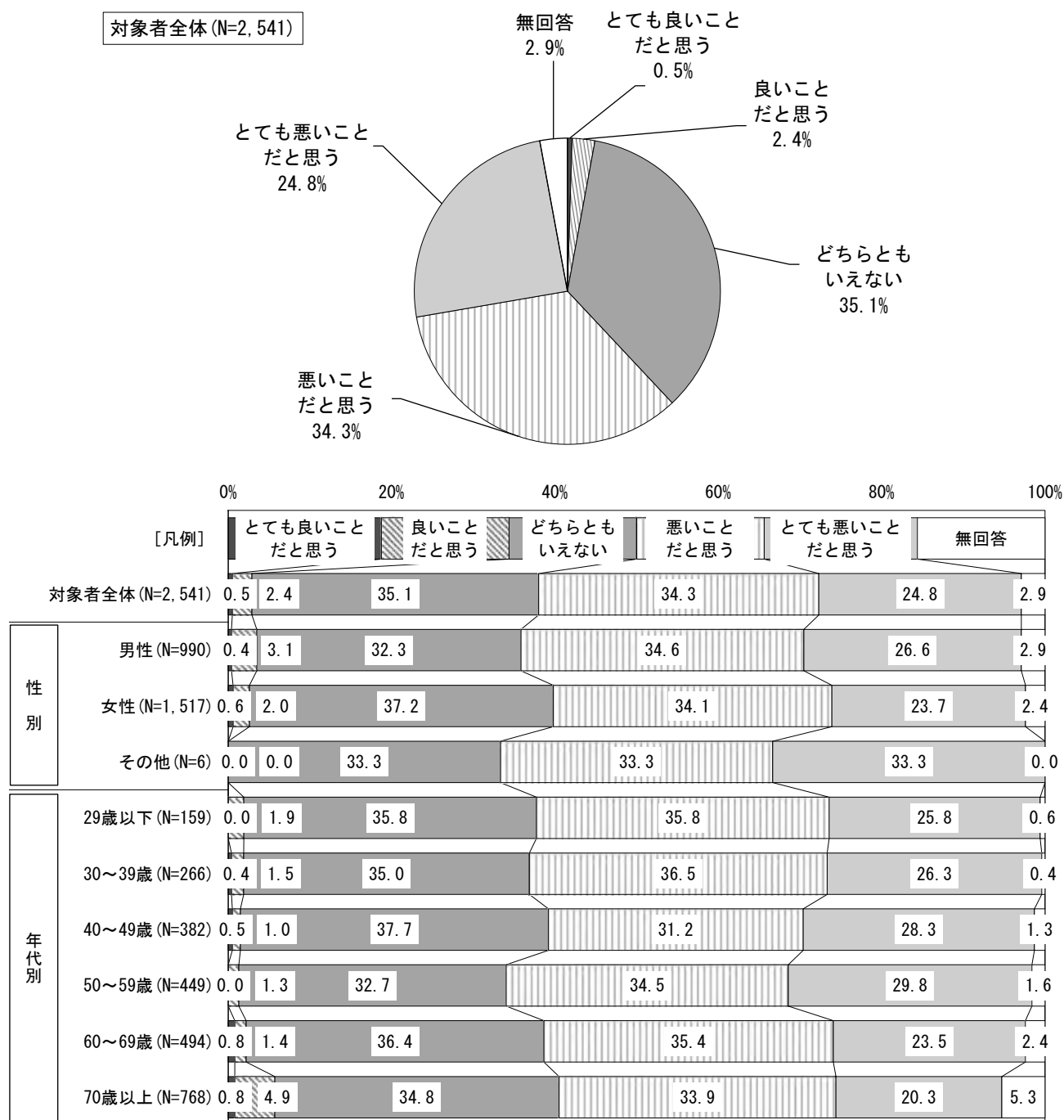
【性 別】「動物がかわいい」、「動物を近くで観察したい」は男性が女性より 8.8 ポイント以上高くなっている。また、「楽しい・うれしい」は女性が 24.5%と、男性の 16.6%より 7.9 ポイント高くなっている。

◇餌やり行為をどう思うか

問3 1 あなたは、野生鳥獣への餌やり行為についてどう思いますか。

餌やり行為を“悪いことだと思う”と回答した人が59.1%

※ “悪いことだと思う”（「悪いことだと思う」＋「とても悪いことだと思う」）



【全 体】 餌やり行為をどう思うかは、「とても良いことだと思う」が0.5%、「良いことだと思う」が2.4%、合わせると3.0%となっている。一方、「悪いことだと思う」が34.3%、「とても悪いことだと思う」が24.8%、合わせると59.1%となっている。

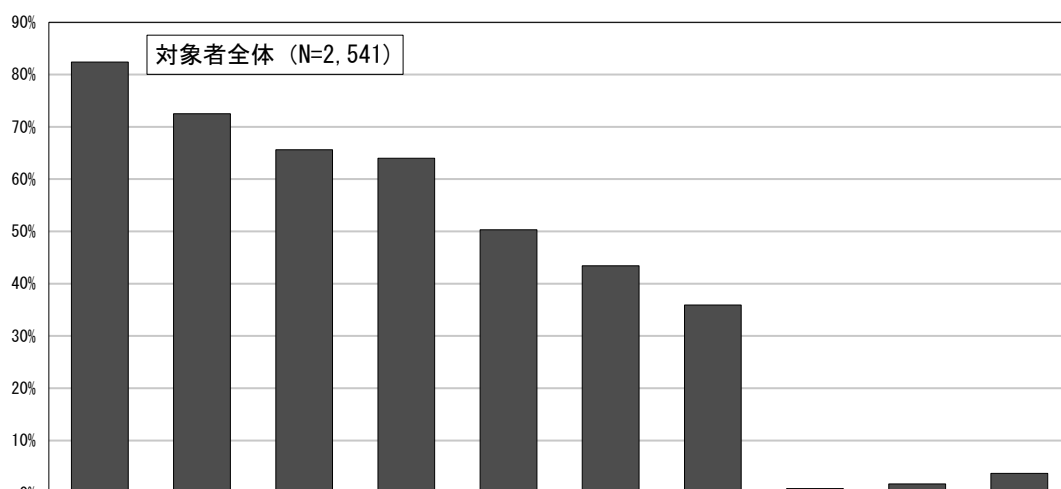
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 “悪いことだと思う”が50歳代（64.4%）で最も高く、次いで30歳代（62.8%）、29歳以下（61.6%）となっている。

◇餌やり行為によっておこる影響

問3 2 野生鳥獣への餌やり行為によって、以下のような影響が生じることがあります。あなたが知っているものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やり行為によっておこる影響は「生活環境の悪化（フンや羽根による汚染、騒音など）」と回答した人が 82.4%



		対象者数	生活環境の悪化（フンや羽根による汚染、騒音など）	人の健康への影響（エキノコックス・鳥インフルエンザ等の発生など）	餌やりされた動物の生態・行動の変化（人への警戒心の低下、行動範囲の変化など）	意図しない動物の誘引（ヒグマやキツネの市街地への出没など）	害、交通事故など	生態系のかく乱（特定の動物の個体数増加など）	餌やりされた動物の健康への影響（感染症のまん延、免疫力の低下など）	その他	知っている影響はない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,541	82.4	72.5	65.6	64.0	50.3	43.4	35.9	0.8	1.7	3.7
性別	男性	990	82.9	71.2	64.2	64.1	52.5	44.6	34.5	0.8	1.8	2.5
	女性	1,517	82.4	73.6	66.8	63.9	48.9	42.6	36.8	0.7	1.6	4.2
	その他	6	100.0	83.3	100.0	100.0	100.0	83.3	33.3	-	-	-
年代別	29歳以下	159	79.9	62.3	72.3	62.9	44.0	49.7	40.3	0.6	3.1	1.3
	30～39 歳	266	87.6	65.4	71.4	61.3	50.0	48.9	36.5	1.1	2.6	0.8
	40～49 歳	382	83.8	69.4	71.5	65.7	51.8	49.0	40.1	1.3	2.1	1.6
	50～59 歳	449	84.6	77.1	72.4	70.8	56.1	49.2	38.8	0.7	0.7	2.4
	60～69 歳	494	83.8	79.1	69.2	67.8	51.8	43.1	35.4	0.4	1.2	3.2
	70歳以上	768	79.2	72.3	53.9	58.3	47.0	34.4	31.5	0.7	1.7	6.6

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 餌やり行為によっておこる影響は、「生活環境の悪化」が 82.4%、「人の健康への影響」が 72.5%、「餌やりされた動物の生態・行動の変化」が 65.6%となっている。

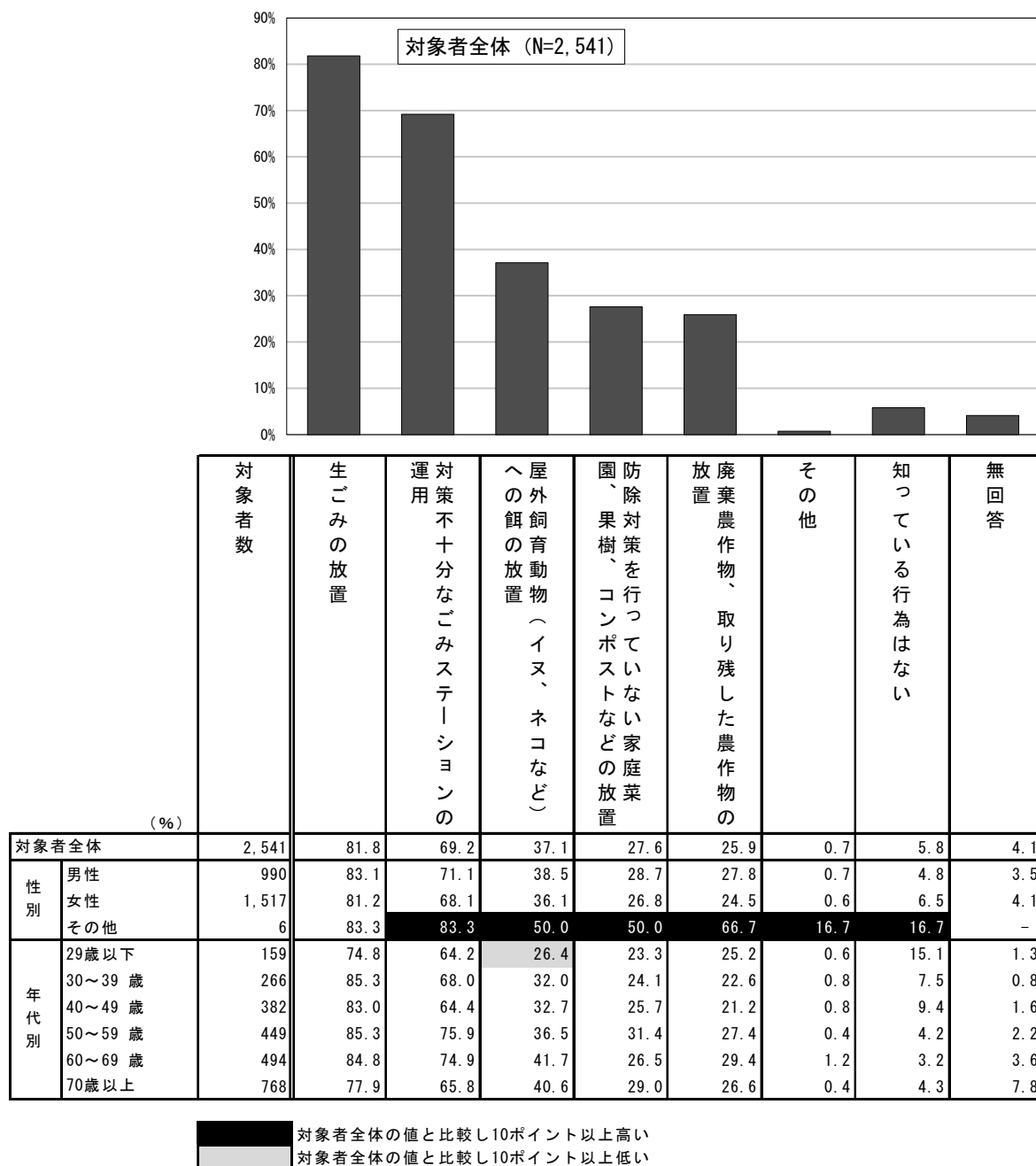
【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「生活環境の悪化」が 30 歳代（87.6%）で最も高く、次いで 50 歳代（84.6%）、40 歳代と 60 歳代（83.8%）となっている。

◇間接的な餌やり行為で知っているもの

問 3 3 意図して野生鳥獣へ餌やりする行為以外にも、以下のような行為も間接的な餌やり行為（非意図的な餌やり）となり得ることがあります。間接的な餌やり行為として、あなたが知っているものがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

間接的な餌やり行為で知っているものは「生ごみの放置」と回答した人が 81.8%



【全 体】間接的な餌やり行為で知っているものは、「生ごみの放置」が 81.8%、「対策不十分なごみステーションの運用」が 69.2%、「屋外飼育動物（イヌ、ネコなど）への餌の放置」が 37.1% となっている。

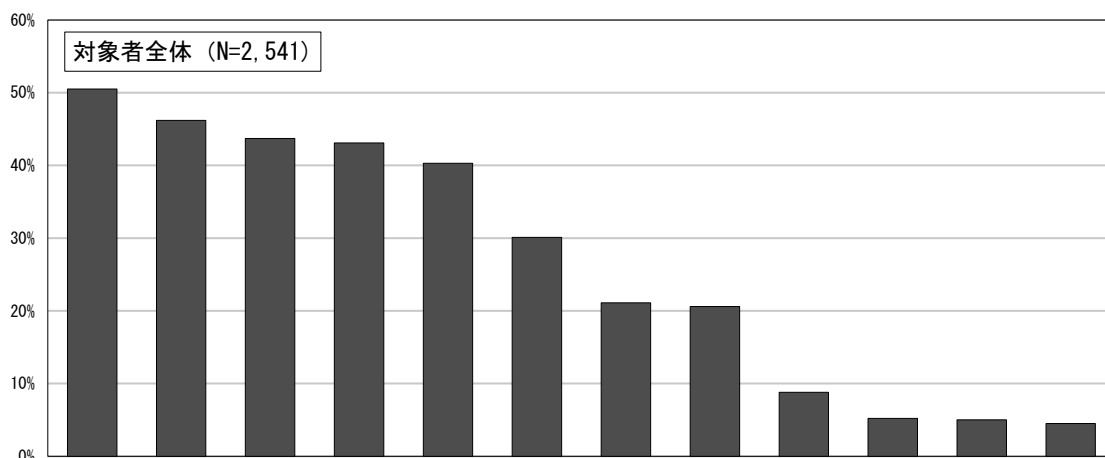
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「生ごみの放置」が 30 歳代と 50 歳代（85.3%）で最も高く、次いで 60 歳代（84.8%）、40 歳代（83.0%）となっている。

◇餌やり行為を減らす啓発方法

問3 4 あなたが、野生鳥獣への餌やり行為を減らすための啓発方法として、有効だと思う方法はどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やり行為を減らす啓発方法は「小中学校等での教育」と回答した人が 50.5%



		対象者数	小中学校等での教育	町内会の回覧板	行政によるパトロール	地域によるパトロール	広報さつぽろ	地域の掲示板等へのポスターの掲示	SNS (市公式Twitter、LINEなど)	札幌市公式ホームページ	市職員による出前講座	その他	有効だと思う啓発方法はない	無回答
		(%)												
対象者全体		2,541	50.5	46.2	43.7	43.1	40.3	30.1	21.1	20.6	8.8	5.2	5.0	4.5
性別	男性	990	51.4	44.9	46.5	42.0	40.0	29.6	21.5	21.1	8.7	5.6	4.6	3.9
	女性	1,517	50.2	47.3	42.2	44.1	40.7	30.7	21.0	20.6	8.8	4.8	5.1	4.4
	その他	6	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	33.3	-
年代別	29歳以下	159	56.0	28.9	44.0	45.9	24.5	27.7	34.0	15.1	7.5	8.8	8.8	0.6
	30～39 歳	266	56.8	31.2	55.6	50.0	23.3	24.4	37.2	14.7	9.0	9.0	6.0	1.1
	40～49 歳	382	55.0	39.3	52.1	43.7	31.2	25.7	28.3	17.0	9.4	7.9	3.4	3.1
	50～59 歳	449	54.1	44.1	44.1	42.3	39.9	32.3	28.5	26.1	11.1	3.8	6.7	2.7
	60～69 歳	494	50.4	49.2	44.3	45.1	47.0	34.0	17.6	26.1	9.3	3.4	5.1	4.3
	70歳以上	768	43.9	58.2	35.3	39.5	50.5	31.3	7.6	19.4	6.9	3.5	3.5	7.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】餌やり行為を減らす啓発方法は、「小中学校等での教育」が 50.5%、「町内会の回覧板」が 46.2%、「行政によるパトロール」が 43.7%となっている。

【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】「町内会の回覧板」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、69 歳以下では「小中学校等での教育」が、70 歳以上では「町内会の回覧板」が最も高くなっている。

資料 調査票

令和3年度第4回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和3年12月17日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 津田 ☎ 011-211-2045 まで

テーマ1 映像の力を使ったまちづくりについて

札幌市では、映像の持つ宣伝効果を利用し、映像を活用したまちづくりを進めています。

そこで、市民の皆さまの、映像や撮影に関する意識などを調査し、今後のまちづくりの取り組みの参考とさせていただきます。

映画、テレビドラマ、コマーシャルなどのあらゆる種類のロケーション撮影(屋外での撮影)を誘致・支援し、ロケーション撮影を円滑に進めるため、作品に出演するボランティアエキストラ(※)を募集したり、撮影の許認可手続きを支援したりする機関を「フィルムコミッション」といいます。

【札幌フィルムコミッション誘致作品】



※ ボランティアエキストラとは、映画やテレビ等の撮影で、無償で群衆・通行人などを演じる出演者のことです。

問1 あなたは、フィルムコミッションの言葉の意味を知っていましたか。

1 知っていた

2 知らなかった

問2 あなたは、札幌市がフィルムコミッションの取り組みを支援していることを知っていましたか。

1 知っていた

2 知らなかった

札幌市では、フィルムコミッションの取り組みを広く発信するため、平成29年度に札幌フィルムコミッションのロゴを制作しました。このロゴを活用して札幌フィルムコミッションの取組内容に関する普及啓発などを行っています。

【札幌フィルムコミッションのロゴ】



札幌フィルムコミッション



札幌フィルムコミッション
Sapporo Film Commission



SFC
札幌フィルムコミッション

問3 あなたは、札幌フィルムコミッションのロゴを見たことがありますか。

1 見たことがある ⇒ 問3-1 へ

2 見たことがない ⇒ 問4 へ

《問3で「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします。》

問3-1 あなたが札幌フィルムコミッションのロゴを見た場所や方法について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 札幌市公式ホームページ | 2 札幌フィルムコミッションホームページ |
| 3 札幌フィルムコミッション公式SNS (※) | 4 映画やドラマなどのエンドクレジット |
| 5 上映会などのイベント会場 | 6 市電 (路面電車) |
| 7 その他 () | 8 覚えていない |

※ Facebook、Twitter、Instagram、LINE などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《皆さまにお聞きします。》

問4 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(1) 撮影に興味がありますか。

- | |
|-------------|
| 1 興味がある |
| 2 どちらともいえない |
| 3 興味がない |

(2) 撮影を迷惑だと感じますか。

- | |
|-------------|
| 1 迷惑ではない |
| 2 どちらともいえない |
| 3 迷惑だ |

(3) 撮影がスムーズに進むよう積極的に協力したいと思いますか (通行規制への協力、撮影の妨げとなる音を出さない、ボランティアエキストラとして参加するなど。)

- | |
|-------------|
| 1 協力したい |
| 2 どちらともいえない |
| 3 協力したくない |

問5 あなたは、商品やサービスを、映画やテレビ番組などで見たことを理由に選ぶことがありますか。

- | | | |
|---------|---|----------|
| 1 よくある | } | ⇒ 問5-1 へ |
| 2 たまにある | | |
| 3 あまりない | } | ⇒ テーマ2 へ |
| 4 ない | | |

《問5で「1 よくある」または「2 たまにある」と答えた方にお聞きします。》

問5-1 あなたが選んだ商品やサービスはどのような媒体で見かけましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 映画 | 2 テレビドラマ |
| 3 テレビバラエティ | 4 テレビドキュメンタリー |
| 5 テレビ報道 | 6 テレビショッピング |
| 7 テレビコマーシャル | 8 インターネット上の広告 |
| 9 動画投稿サイト (広告を除く) | 10 SNS (広告を除く) |
| 11 その他 () | |

札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいます。そこで、札幌市による道路の除雪作業に関する認識や、市民の皆さまによる取り組みの現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

- 新雪除雪…まとまって降り積もった路面の雪（新雪）を道路脇に寄せ、通行幅を確保する作業
- 路面整正…路面の凸凹やわだちを削り、平らにする作業
- 排雪 …除雪で積み上げた道路脇の雪を、雪堆積場や融雪施設などへ運搬する作業

1 知っている 2 知らない

1 知っている 2 知らない

1 知っている 2 知らない

1 知っている 2 知らない

1 知っている 2 知らない

1 利用した ⇒ 問11-1へ
2 利用していない ⇒ 問12へ

《問 1 1 で「1 利用した」と答えた方にお聞きします。》

問 1 1 - 1 あなたが昨年度の冬に利用した有料除排雪サービスの作業について、あてはまるものに 1 つだけ○をつけてください。

- 1 シーズン契約で、週 1 回程度など、降雪に関わらず定期的に除排雪作業を行う
- 2 シーズン契約で、一定の降雪（10cm 以上など）があった際に除排雪作業を行う
- 3 シーズン契約で、札幌市の除雪作業に合わせて除排雪作業を行う
- 4 雪を置くスペースが確保できなくなった場合など、必要に応じて除排雪作業を行う
- 5 その他（ ）

札幌市では、市民の皆さまと協力して快適な冬を過ごせるよう、冬の暮らしのルールに関する情報発信を行っています。

＜冬の暮らしのルール＞

- 敷地内の雪を道路に出してはいけない
 - 除雪作業の支障になるため、路上駐車をしてはいけない
- ※車体の一部が歩道に出ている場合も、歩道の除雪に支障となる場合があります。



《皆さまにお聞きします。》

問 1 2 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」という冬の暮らしのルールを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 1 3 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」という冬の暮らしのルールを守っていますか。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 機会がない（自分で除雪作業をしない、除雪の必要がないなど）

問 1 4 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 1 5 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」という冬の暮らしのルールを守っていますか。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 機会がない（自動車や運転免許を持っていないなど）

札幌市では、翌日の雪かきや通勤・通学時間の参考にしていただくため、「生活道路の新雪除雪の出動情報」を発信しています。

- 期間 : 令和2年12月1日(火)～令和3年3月19日(金)
- メディア : 札幌市公式ホームページ、テレビのデータ放送(HTB、NHK、HBC、UHB)、札幌市LINE公式アカウント

問16 あなたは、「生活道路の新雪除雪の出動情報」について、主にどのメディアを閲覧しましたか。
あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 札幌市公式ホームページ
- 2 テレビのデータ放送
- 3 札幌市LINE公式アカウント
- 4 「生活道路の新雪除雪の出動情報」が発信されていることを知っていたが、閲覧したことはない
- 5 「生活道路の新雪除雪の出動情報」が発信されていることを知らなかった

札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼びかけています。
(申請や登録を行わずに、自発的に行っているものも含みます。)

＜除雪ボランティアの例＞

- つるつる路面への砂まき …… 転倒防止のため、砂袋やペットボトルで砂をまく
- ごみステーション周りの除雪 …… ごみを出しやすいように除雪する
- 近所の家の除雪 …… 困っている人の除雪を手伝う
- 福祉除雪(地域協力員に登録) …… 自力で除雪することが困難な高齢の方や障がいのある方の家の出入口から玄関先までを除雪する

問17 あなたが、これまでにに行ったことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 つるつる路面への砂まき
 - 2 ごみステーション周りの除雪
 - 3 近所の家の除雪
 - 4 福祉除雪
 - 5 その他 ()
 - 6 行ったことはない ⇒ **テーマ3** へ
- } ⇒ **問17-1** へ

《**問17**で「1」から「5」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。》

問17-1 あなたが『除雪ボランティア』を始めたきっかけを教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市の広報
- 2 町内会の行事
- 3 職場の取り組みもしくは企業からの依頼
- 4 学校・PTAの取り組み
- 5 自発的に始めた
- 6 その他 ()

《引き続き、問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-3 あなたは、市役所や区役所の届出や申請などの手続きについて、わかりやすいと思いますか。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 わかりやすい | 2 どちらかといえばわかりやすい |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばわかりづらい |
| 5 わかりづらい | |

《引き続き、問19で「1 概ね5年以内にしたことがある」または「2 5年以上前にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問19-4 あなたは、市役所や区役所の手続きにおいて、どのようなことを改善すべきと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 どの窓口で手続きするべきかわかりづらいこと | |
| 2 複数の窓口で手続きをしなければならないこと | |
| 3 窓口の配置や表示がわかりづらいこと | |
| 4 手続きに必要な書類などが事前に調べづらいこと | |
| 5 書類の書き方がわかりづらいこと | |
| 6 書類に記入すべき欄が多いこと | |
| 7 手続きごとに申請書などを書かなければならないこと | |
| 8 市役所や区役所以外で手続きができないものが多いこと | |
| 9 パソコンやスマートフォンなどから手続きができないこと | |
| 10 職員の説明がわかりづらいこと | |
| 11 その他（ | ） |
| 12 わからない | |
| 13 特にない | |

《皆さまにお聞きします。》

問20 あなたは、市役所や区役所の仕事の取り組み方について、よくやっていると思いますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

項 目 (市役所の仕事の取り組み方)	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない
ア 窓口や電話で親切な対応を行っている	1	2	3	4	5
イ 必要な業務（サービス）を実施している	1	2	3	4	5
ウ 事務や事業の効率化、見直しを進めている	1	2	3	4	5
エ 市政情報を積極的に発信している	1	2	3	4	5

テーマ4 成年後見制度について

札幌市では、成年後見制度の利用がより一層進むような体制づくりに向けて取り組んでいます。

そこで、成年後見制度に対して、市民の皆さまがどのような認識をお持ちであるのかをお伺いし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

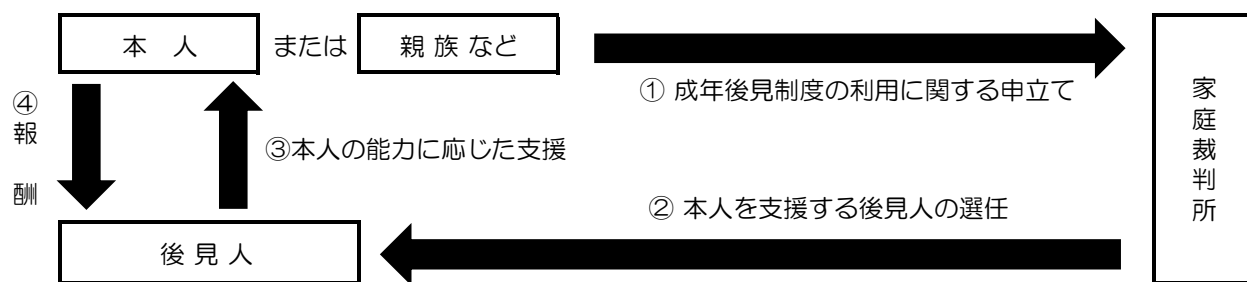
成年後見制度は、認知症や精神上的の障がいなどによって判断能力が十分ではない方（本人）の財産管理や、施設入所・入院といった契約などの手続きを後見人が支援する制度です。

本人の権利を守る後見人は、家庭裁判所に申立てを行うことにより選任されます。また、後見人から支援を受けた場合、原則として本人には費用負担（後見人報酬）が生じます。

問2 1 あなたは、「成年後見制度」を知っていましたか。

- 1 制度の名称だけではなく、制度の内容も知っていた
- 2 制度の名称は知っていたが、制度の内容までは知らなかった
- 3 知らなかった

【参考：成年後見制度の利用手続きの流れ】



問2 2 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

- 1 利用したいと思う ⇒ 問2 3
 - 2 利用したいとは思わない
 - 3 わからない
- } ⇒ 問2 2-1 へ

《問2 2で「2 利用したいとは思わない」または「3 わからない」と答えた方にお聞きします。》

問2 2-1 あなたが、「利用したいとは思わない」または「わからない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 制度の内容や利用方法がよくわからない
- 2 制度を利用するための手続きが複雑そうである
- 3 他人に財産管理をされることに抵抗がある
- 4 利用するために費用(経済的負担)がかかる
- 5 制度自体に良いイメージがない
- 6 必要性がわからない
- 7 その他 ()
- 8 特に理由はない

《皆さまにお聞きます。》

問 2 3 あなたは、親族の判断能力が不十分となった場合、親族の後見人となって財産管理や契約行為の支援をすることに抵抗はありますか。

- 1 支援することに抵抗はない
- 2 支援することに抵抗がある
- 3 わからない

問 2 4 あなたが、親族から後見人になってほしいと依頼されたとき、どのような環境であれば、後見人として支援したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 後見活動について相談できる窓口がある
- 2 後見活動に必要な知識を習得するための研修や説明会がある
- 3 制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消される
- 4 制度を利用するための費用に対する助成制度などが充実している
- 5 財産の横領などの不正が疑われないような仕組みがある
- 6 後見人と医療・介護の関係者などが協力して、本人を支援する体制が整備されている
- 7 後見活動で法的な問題が生じた場合、弁護士等による助言が得られる体制が整備されている
- 8 その他 ()
- 9 わからない
- 10 支援したいとは思わない

問 2 5 あなたは、身近に成年後見制度について相談できる窓口があった場合、利用したいと思いますか。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 利用したいと思う | ⇒ 問 2 5 - 1 へ |
| 2 利用したいとは思わない | } ⇒ テーマ 5 へ |
| 3 わからない | |

《**問 2 5**で「1 利用したいと思う」と答えた方にお聞きます。》

問 2 5 - 1 あなたは、窓口でどのようなことを相談したいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 制度の内容について詳しく聞きたい
- 2 自身が後見人になると考えたときに、活動内容や手続きなどについて相談したい
- 3 自身に後見人が必要と考えたときに、後見人探しや手続きなどについて相談したい
- 4 制度を利用するための費用に対する助成制度について相談したい
- 5 後見人と医療・介護の関係者との協力について相談したい
- 6 後見活動に関する法的な問題について相談したい
- 7 その他 ()
- 8 わからない

テーマ5 シティプロモートの推進について

札幌市では、札幌に関わる皆さまが「笑顔になれる街」を目指して、「サッポロスマイル（ロゴ）」を活用した取り組みを進めています。ロゴの認知度や皆さまがロゴに対して感じていることを把握し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

【サッポロスマイル(ロゴ)】



問26 あなたは、「笑顔になれる街」札幌をイメージした「サッポロスマイルロゴ」を見たことがありますか。

- 1 見たことがある ⇒ **問26-1** **問26-2** へ
- 2 見たことがない ⇒ **問27** へ

《**問26**で「1 見たことがある」に○をつけた方にお聞きます。》

問26-1 あなたは、ロゴが「サッポロスマイル」という名称で、「笑顔(笑顔になれる街)」「札幌の魅力づくり・魅力発信」という意味が込められていることを知っていましたか。

- 1 名称、意味ともに知っていた
- 2 名称は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 名称は知らなかったが、意味は知っていた
- 4 名称、意味ともに知らなかった

《**問26**で「1 見たことがある」に○をつけた方にお聞きます。》

問26-2 「サッポロスマイル」は以下のようなものに使われています。あなたが見たことのあるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市のチラシ・パンフレット・封筒など
- 2 市区役所や区民センターなどの公共施設
- 3 民間企業の商品、サービス、店舗、パンフレットなど
- 4 地下鉄、バスなどの公共交通機関
- 5 ホームページやSNSなど
- 6 バッジやステッカーなどのグッズ
- 7 地下鉄大通駅出入口（大通西2・3丁目、テレビ塔前）
- 8 大通公園の花壇や札幌駅のモニュメント
- 9 家庭用指定ごみ袋
- 10 札幌ドームのフェンスや観客席など
- 11 その他（ ）

札幌には、良好な都市機能や豊かな自然、おいしい食べ物や四季折々のイベントなど多くの魅力があります。観光やビジネス、移住など様々な場面で札幌に関心を持ってくれる人を増やしていくために、市民一人ひとりが札幌の街に愛着を持ち、札幌の情報を発信していくことが大切です。

問 2 7 あなたは、札幌のどのようなところが好きですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 都市でありながら豊かな自然を満喫できる自然環境
- 2 全道各地から集まるおいしい食べ物
- 3 はっきりとした四季や冷涼な気候
- 4 充実した公共交通機関や多彩な商業施設など、快適な生活を楽しむことができる都市環境
- 5 雪まつりやオータムフェストなど四季折々に開催されるさまざまなイベント
- 6 スキーやスノーボードをはじめとする冬のスポーツ文化
- 7 野球やサッカーなどのスポーツ観戦、クラシックなどの音楽鑑賞や観劇など多彩な娯楽
- 8 子育て支援施設やサービス等の子育て環境
- 9 医療機関、福祉施設・福祉サービス等、生涯をとおした住み心地
- 10 漠然と好きではあるが、具体的には思いつかない
- 11 その他 ()
- 12 札幌が好きではない

⇒ **問 2 7 - 1** へ

⇒ **問 2 8** へ

《**問 2 7**で「1」から「11」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問 2 7 - 1 あなたは、札幌の魅力や好きなどに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 伝えたり、広めたりしたことがある
- 2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない
- 3 伝えたり、広めたりしたいと思わない
- 4 わからない

⇒ **問 2 7 - 2** へ

⇒ **問 2 7 - 3** へ

《**問 2 7 - 1**で「1 伝えたり、広めたりしたことがある」または「2 伝えたり、広めたりしたいと思うが、実際にしたことはない」に○をつけた方にお聞きします。》

問 2 7 - 2 あなたは、どのような手段を使って札幌の魅力や好きなどに関する情報を他の人に伝えたり、広めたりしようと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 直接口頭
- 2 SNSでの写真や文章の投稿
- 3 YouTubeなどの動画配信
- 4 ブログやホームページなど
- 5 年賀状や手紙などの郵便物
- 6 電話
- 7 電子メール
- 8 その他 ()

《問27-1で「3 伝えたり、広めたりしたいと思わない」または「4 わからない」に○をつけた方にお聞きします。》

問27-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、札幌の魅力や好きなところを他の人に伝えたり、広めたりする機会につながるとおもいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 自分が気づいていなかった札幌の魅力を知ること
- 2 札幌の歴史や地元ならではの文化や習慣などの知識を深めること
- 3 札幌の魅力を実際に体験すること
- 4 地域活動やイベントなどに自分自身が関わること
- 5 SNSなど最新の情報発信の方法を知ること
- 6 情報発信する場所や機会があること
- 7 その他 ()
- 8 わからない

《皆さまにお聞きします。》

問28 あなたは住んでいる街(札幌)の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 テレビやラジオなどの番組 | 2 新聞 |
| 3 街の情報誌 | 4 ブログやホームページなど |
| 5 SNSでの写真や文章の投稿 | 6 YouTubeなどの配信動画 |
| 7 家族や友人、知人などからの口コミ | 8 その他 () |
| 9 入手していない | |

問29 あなたは札幌以外の街の情報を知りたいと思ったとき、どのような手段を使って情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 テレビやラジオなどの番組 | 2 新聞 |
| 3 旅行情報誌などの雑誌 | 4 ブログやホームページなど |
| 5 SNSでの写真や文章の投稿 | 6 YouTubeなどの配信動画 |
| 7 家族や友人、知人などからの口コミ | 8 その他 () |
| 9 入手していない | |

テーマ6 野生鳥獣への餌やり行為について

札幌市では、さまざまな野生鳥獣対策を実施しておりますが、近年、野生鳥獣への餌やり行為やそれによる生活環境の悪化に関する相談の件数が増えています。

そこで、野生鳥獣への餌やり行為に対する皆さまの意識などについてお伺いし、今後の方針の参考とさせていただきます。

問30 あなたは、野生鳥獣への餌やりをしていますか、またはしたことがありますか。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1 している | } ⇒ 問30-1 問30-2 へ |
| 2 今はしていないが、過去にしたことがある | |
| 3 したことがない ⇒ 問31 へ | |

《**問30**で「1 している」または「2 今はしていないが、過去にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問30-1 あなたが、餌やりをしている、または過去にしたことがある対象の野生鳥獣の種類は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------|-----------|
| 1 カラス | 2 ハト |
| 3 スズメ | 4 リス |
| 5 キツネ | 6 アライグマ |
| 7 タヌキ | 8 その他 () |

問30-2 あなたが、野生鳥獣に餌やりをしている、または過去にした理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 動物の写真や動画を撮影したい | 2 動物を近くで観察したい |
| 3 動物がかわいい | 4 動物を手懐けたい、動物と触れ合いたい |
| 5 動物がかわいそう | 6 動物を助きたい・保護したい |
| 7 動物を増やしたい | 8 動物による被害を防止したい |
| 9 楽しい・うれしい | 10 さびしい |
| 11 周りから認められたい・頼られたい | 12 食べ物が余っている |
| 13 動物が餌を求めてくる | 14 知り合いが餌やりをしている |
| 15 その他 () | |

《皆さまにお聞きします。》

問31 あなたは、野生鳥獣への餌やり行為についてどう思いますか。

- 1 とても良いことだと思う
- 2 良いことだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 悪いことだと思う
- 5 とても悪いことだと思う

問32 野生鳥獣への餌やり行為によって、以下のような影響が生じることがあります。あなたが知っているものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 生活環境の悪化（フンや羽根による汚染、騒音など）
- 2 人の健康への影響（エキノコックス・鳥インフルエンザ等の発生など）
- 3 人間社会とのあつれきの発生（農業被害、交通事故など）
- 4 餌やりされた動物の健康への影響（感染症のまん延、免疫力の低下など）
- 5 餌やりされた動物の生態・行動の変化（人への警戒心の低下、行動範囲の変化など）
- 6 意図しない動物の誘引（ヒグマやキツネの市街地への出没など）
- 7 生態系のかく乱（特定の動物の個体数増加など）
- 8 その他（）
- 9 知っている影響はない

問33 意図して野生鳥獣へ餌やりする行為以外にも、以下のような行為も間接的な餌やり行為（非意図的餌やり）となり得ることがあります。間接的な餌やり行為として、あなたが知っているものはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 生ごみの放置
- 2 対策不十分なごみステーションの運用
- 3 防除対策を行っていない家庭菜園、果樹、コンポストなどの放置
- 4 廃棄農作物、取り残した農作物の放置
- 5 屋外飼育動物（イヌ、ネコなど）への餌の放置
- 6 その他（）
- 7 知っている行為はない

問34 あなたが、野生鳥獣への餌やり行為を減らすための啓発方法として、有効だと思う方法はどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 行政によるパトロール
- 2 地域によるパトロール
- 3 広報さっぽろ
- 4 札幌市公式ホームページ
- 5 SNS（市公式T w i t t e r、L I N Eなど）
- 6 町内会の回覧板
- 7 地域の掲示板等へのポスターの掲示
- 8 市職員による出前講座
- 9 小中学校等での教育
- 10 その他（）
- 11 有効だと思う啓発方法はない

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は(令和3年 12 月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください。)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は(あてはまるものにいくつでも○をつけてください。)

- 1 配偶者 2 乳幼児(0～2歳程度)
3 就学前児童(3～5歳程度) 4 小学生(6～12歳程度)
5 中学生(13～15歳程度) 6 高校生(16～18歳程度)
7 大学(院)・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F 6 あなたのお住まいの形態は

- 1 戸建住宅 2 集合住宅(アパート、マンション等) 3 その他()

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和3年12月17日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。



札幌の旬な情報や魅力をお伝えする 札幌市広報番組をご紹介します！



NORDのもっと！札幌(HBC)



毎月最終金曜日 22時54分～23時
翌日(土曜日) 11時59分～13時
(※プラキタ内)
翌々日(日曜日) 16時54分～17時
2週後(日曜日) 16時54分～17時

HBC

ボーイズユニット「NORD」が
「もっと！」知りたい
旬な市政情報をご紹介します！

札幌ふるさと再発見(STV)

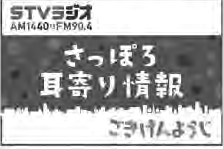


毎週土曜日(第5土曜日除く)
11時54分～11時59分

STV

ボランティアや市民活動、イベントなど
地域を元気にする取り組みを
お届けし、札幌の魅力を再発見します。

さっぽろ耳寄り情報(STVラジオ)



STV557
AM1460・FM90.4

**さっぽろ
耳寄り情報**

ごきげんよう

STV-R

毎週土曜日
11時30分～11時45分ごろ
※「ごきげんよう」内

札幌市の市政情報を
木村洋二アナウンサーと
分かりやすくご紹介します。

SAPPORO

参 考 資 料

年度、局別調査項目	311
-----------------	-----

年度、局別調査項目

※ 平成28年度から「市民アンケート」と「市政世論調査」を統合し、「市民意識調査」とした。
 ※ 調査項目は平成28年度の機構に合わせて整理した。

● 市民アンケート ◎ 市政世論調査 ○ 市民意識調査

局	調査項目	調査年度																						
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3		
危機管理対策室	防災対策					●		●	●		●	●	●											
	防災意識・災害への備えについて														●	●	○	○		○	○	○		

局	調査項目	調査年度																										
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3						
総務局	国際化・国際交流																										○	
	姉妹・友好都市交流								●																			
	協働型社会の現状		●◎																									
	協働型社会に向け活動しやすくなる環境		◎	◎																								
	IT（パソコンやインターネットなど）の活用											◎																
	パソコンやインターネット等の利用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	広報さっぽろ	●	●		●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	テレビ広報番組																	○								○		
	札幌市コールセンター						●			●			●			●				●								
	市職員の仕事ぶり			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市役所サービスアップ				●																							
	ネーミングライツ								●																			
	市電・市花の送付について						●																					
	シティプロモートの推進														●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	組織体質・職員意識の改革		●◎																									
	経営改革の目標		●◎																									
	財政健全化		◎																									
	出資団体の方向性		◎																									
	市民と行政の役割の見直し		◎																									
	「問い合わせ」サービス		●																									
	動画の視聴について																		○	○	○	○						
	おもてなしについて																		○									

局	調査項目	調査年度																										
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3						
まちづくり政策局	まちづくりに関する意識						●				●																	
	新たな都市農村交流のあり方									●																		
	今後目指すべきまちの姿について														●				○									
	街並み		●																									
	都心交通			●																								
	都心の魅力向上																											
	地下通路・歩行空間（都心部）																											
	公共交通機関の利用（都市交通）										●																	
	市内バス路線の維持													●														
	人にやさしい交通対策・さわやかノーカーデー			●				●																				
	雪エネルギーの利用		●																									
	路面電車の在り方		●			●																						
	札幌の「景観」に関する意識について															●												
	環境・エネルギーについて																	○										
	札幌市立大学について																	○										
	札幌丘珠空港の利用促進について																	○										
	さっぽろ えきバス・ナビ										●																○	
	サマータイム制度						●																					
	自転車の利用							◎																				
	女性の活躍推進について																		○									

年度、局別調査項目

※ 平成28年度から「市民アンケート」と「市政世論調査」を統合し、「市民意識調査」とした。
 ※ 調査項目は平成28年度の機構に合わせて整理した。

● 市民アンケート ◎ 市政世論調査 ○ 市民意識調査

局	調査項目	調査年度																													
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3									
市民文化局	出張所・連絡所(まちづくりセンター)			●							●																				
	証明書交付サービス								●																						
	安全安心なまちづくり				◎							●				●	○														
	市民憲章						◎																								
	地域コミュニティ						◎				●					●	○		○												
	消費生活						●						●					○										○			
	男女共同参画型社会																														
	男女の地位・役割																														
	区役所の役割																														
	市民自治			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎																
	交通事故防止対策																	○													
	札幌市交通災害共済	●																													
	環境に配慮した生活(エコライフ)	●																													
	成人式					●			●																						
	市民まちづくり活動														●																
	交通安全対策に関すること															●															
	犯罪防止に関する意識について															●															
	区民センターなどの利用								●																						
	さぼーとぽっと基金について																	○												○	
	アイヌ施策について																												○		

局	調査項目	調査年度																												
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3								
スポーツ局	スポーツ関心度					◎												○												
	ノルディックスキー世界選手権札幌大会					◎																								
	夏季オリンピック誘致					●																								
	札幌ドーム								●																					
	冬季オリンピック・パラリンピックの招致について														●															
	スポーツ施設について																○													

局	調査項目	調査年度																												
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3								
保健福祉局	高齢者に対する施策																													
	健康と生活環境																													
	食品の安全性等に関する意識			●					●																					
	食育について							●		●				●																
	ペット						●								●															
	シックハウス症候群	●																												
	自殺予防対策								●			●		●	●			○										○		
	「友引の日」の火葬場の開場									●																				
	未受診妊婦防止解消キャンペーン										●																			
	地域での支え合い												●																	
	障がいのある方に対する市民意識												●																	
	食品中の放射性物質												●																	
	食の安全・安心について														●			○		○										
	医療に関する相談窓口・かかりつけ医・在宅医療について														●		○		○	○	○									
	市民の健康づくり														◎															
	お墓に関する考え方について															●														
	食育と農体験について																		○											
	成年後見制度について																		○										○	
	歯・口腔の健康づくりについて																			○										
	札幌市手話言語条例・札幌市障がい者コミュニケーション条例について																			○								○		
	受動喫煙の防止について																				○									

年度、局別調査項目

※ 平成28年度から「市民アンケート」と「市政世論調査」を統合し、「市民意識調査」とした。
 ※ 調査項目は平成28年度の機構に合わせて整理した。

● 市民アンケート ◎ 市政世論調査 ○ 市民意識調査

局	調査項目	調査年度																													
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3									
子ども未来局	子どもを取り巻く環境と課題			◎																											
	近所の子どもの関わり			◎																											
	子どもの権利条約			◎																											
	子どもの健全育成			◎				●																							
	理想の大人像			◎																											
	少子化													●																	
	ワーク・ライフ・バランスの推進													●																	

局	調査項目	調査年度																												
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3								
経済観光局	市民農園の利用	●																												
	都市農業に関する意識				●																									
	産業振興・雇用対策				●							●	●																	
	映像による本市のプロモーションについて													●			○	○	○	○	○	○	○							
	札幌の農業について															●			○			○								
	生鮮食品の購入に関する意識について															●														
	観光ボランティア																													
	集客交流			●		●																								
	外国人観光客への対応																													
	旅行に必要な情報																													
	お勧め観光場所と時期											●																		
	雪まつり				●																									
	藻岩山					●																								
	観光まちづくりに関する意識について														●															
	札幌市中央卸売市場について																	○												

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
環境局	ごみ問題				●																								
	さっぽろ・ダイエットプラン																												
	分別収集(容器包装リサイクル法を含む)				●								●																
	「容器包装プラスチック」と「チラシ・パンフレット類」の分別について													●															
	家電リサイクル法																												
	地球温暖化対策				●				◎																				
	環境に配慮した生活(エコライフ)								◎																				
	新エネルギー								◎																				
	エコドライブ(アイドリング・ストップ運動)												●																
	リサイクル													●															
	水(水辺)環境	◎																											
	水辺の利用	◎																											
	水に対する配慮・取組	◎																											
	水環境の施策	◎																											
	水道水源	◎																											
	カラス		●																										
	化学物質に関する情報提供等			●																									
	円山動物園						●			●			●						○			○							
	木質ペレット										●																		
	生物多様性												●		●				○			○							
	エネルギーと地球温暖化対策														◎														
	エコドライブの推進。次世代自動車の普及について															●													
	札幌市に生息するヒグマとの共生と出没対策について																	○											
	野生鳥獣への餌やり行為について																											○	
	家庭用指定ごみ袋について																		○										
	札幌市ポイ捨て等禁止条例について																			○									

年度、局別調査項目

※ 平成28年度から「市民アンケート」と「市政世論調査」を統合し、「市民意識調査」とした。
 ※ 調査項目は平成28年度の機構に合わせて整理した。

● 市民アンケート ◎ 市政世論調査 ○ 市民意識調査

局	調査項目	調査年度																						
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3		
建設局	豪雪時の除雪(雪と市民生活)									◎		●												
	雪対策に関する広報												●											
	屋外広告物と許可													●										
	屋外広告物とまちの景観																							
	道路情報の提供					●																		
	駐輪場対策												◎											
	雪対策に関する取組について													●	●	○	○	○	○	○	○	○		

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
下水道河川局	下水道に対する意識について																			○									

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
都市局	空き家対策の推進															●				○									

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
交通局	通勤・通学及びそれ以外での交通手段		●																										
	赤字バス路線の対策																												
	公共交通機関と自家用車の利用		●							●																			
	地下鉄・市電内での携帯電話								●																				
	ICカード乗車券「SAPICA(サピカ)」									●																			
	地下鉄駅の利便性														●														
	エスカレーターの利用方法														●														
	地下鉄の快適な環境づくり															●													
	安全・快適な乗車に向けた利用マナーについて															●													
	市内バス路線のサービス水準について																●												

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
水道局	水道水の使用									●																			

局	調査項目	調査年度																											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3							
消防局	救急体制				◎																								
	救急車の利用状況							●																					
	応急手当				◎												○										○		
	住宅用防災機器	●																											
	住宅用火災警報器				●		●	●	●			●																	
	建物の防火安全に関する情報提供							●																					
	地域防災活動				◎							●																	
	子どもの防火・防災教育									●																			
	札幌市内における救急行政の取組について														●														
	消防団について																										○		
	住宅の防火対策について																	○											

局	調査項目	調査年度																				
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
教育委員会	生涯学習			●		◎					●◎					◎						
	図書館					●																
	野外教育事業について																				○	

年度、局別調査項目

※ 平成28年度から「市民アンケート」と「市政世論調査」を統合し、「市民意識調査」とした。
 ※ 調査項目は平成28年度の機構に合わせて整理した。

● 市民アンケート ◎ 市政世論調査 ○ 市民意識調査

局	調査項目	調査年度																										
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3						
議会事務局	市議会の広報	●					●									●												

局	調査項目	調査年度																										
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3						
オンブズマン事務局	オンブズマン制度	●			●									●														

経年調査項目		調査年度																				
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
郷土意識	札幌の街に対する愛着度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
	定住意向	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
市政一般全区共通	よくやっていると思う施策	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
	市政への要望	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○

令和３年度
市民意識調査報告書

市政等資料番号	
関係部局保存期間	１年

令和４年（２０２２年）　　月発行

編集・発行　札幌市総務局広報部市民の声を聞く課
〒０６０-８６１１　札幌市中央区北１条西２丁目
TEL　０１１-２１１-２０４５

この報告書は再生紙を使用しています。